



XC 90

TWIN ENGINE

OWNER'S MANUAL

VÄLKOMMEN!

ボルボ社では、末永くお車をご愛顧いただけることを願っております。お買い上げいただいた車両は、運転者および同乗者の方々に安全で快適なドライビングをご提供できるように設計されています。ボルボ車は世界でもっとも安全な車の1つです。ボルボ車は、現在の安全・環境基準も満たしています。

このオーナーズマニュアルには、各装備の取り扱い方法や車のお手入れ方法などが記載されています。安全で快適なドライブをお楽しみいただくために、ご使用前にこのマニュアルを必ずお読みください。

目次

イントロダクション

オーナーズインフォメーションに関する情報	14
車載のデジタルオーナーズマニュアル	15
デジタルオーナーズマニュアルの使い方	16
モバイル機器対応のオーナーズマニュアル	18
インターネットでの車両に関するサポートと情報提供	18
オーナーズマニュアルを読む	19
データの記録	22
アクセサリー、追加装備、および診断ソケットに関する重要情報	23
Volvo ID	24
Drive-E - さらにクリーンに走る喜びを	26
IntelliSafe - 運転者サポート	29
センサス - 接続および維持	30
オーナーズマニュアルと環境	33
ウインド、ガラスおよびミラー	33
センターディスプレイの概要	34
センターディスプレイの操作	37
センターディスプレイのビュー内での移動	41
センターディスプレイのステータスバーで使用されるシンボル	46

センターディスプレイの設定を変更する	46
機能ビューと車両機能用ボタン	48
センターディスプレイのキーボードの使用	50
XC90 Twin Engine の概要	55

重要です。必ずお読みください。

ご使用に際して！	60
重要な安全上のご注意！	61
火災および排気ガスに関するご注意	68
エンジン始動時のご注意！	71
発進時のご注意！	73
重要な操作上のご注意！	73
してはいけないこと！	78
その他使用上のご注意！	88
踏切などで動けなくなったとき！	88
万が一、事故を起こしてしまったら…	89
冬道での安全走行のポイント！	90
タイヤ・ホイールについて！	91
タイヤチェーンについて！	92
燃料補給時のご注意！	93
保証とアフターサービス	94

重要な安全上のご注意！

重要な安全上のご注意！	96
妊娠中の安全確保のために	96
Whiplash Protection System	97
シートベルト	98
シートベルトテンショナー	99
シートベルトの着脱	100
ドアおよびシートベルトリマインダー	102
エアバッグ	104
運転席側および助手席側エアバッグ	104
助手席側エアバッグ*のオン/オフ	106
サイドエアバッグ	108
インフレーターブルカーテン	109
セーフティモード	110
セーフティモード起動後の車両の始動/移動	111
チャイルドセーフティ	111
チャイルドシート	112
チャイルドシート用のアッパーマウンティングポイント	114
チャイルドシート用のロアマウンティングポイント	115
車両のシートベルトを使用するチャイルドシートの取付位置に関する表	116
i-Size/ISOFIX マウンティングポイント	118

ISOFIX チャイルドシートの取付位置に関する表	119
i-Size チャイルドシートの取付位置に関する表	122
インテグレートッドブースタークッション*	123
インテグレートッドブースタークッション*を起こす	124
インテグレートッドブースタークッション*を下げる	124

計器およびコントロール装置

計器およびコントロール装置、左ハンドル車	128
計器およびコントロール装置、右ハンドル車	129
ドライバーディスプレイ	131
ドライバーディスプレイに表示されるハイブリッドに関する情報	133
ドライバーディスプレイの表示灯	135
ドライバーディスプレイの警告灯	137
外気温計	139
時計	140
ドライバーディスプレイのライセンス契約	140
ドライバーディスプレイのアプリケーションメニュー	146
ドライバーディスプレイのアプリケーションメニューを使用する	147
ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイのメッセージ	148
ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイのメッセージの管理	149
ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイから保存されたメッセージを管理する	151
ヘッドアップディスプレイ*	153
音声認識	156
音声認識を使用する	156

音声認識の設定	157	ステアリングホイール	176	ドアミラーの調節	196
電話の音声認識コントロール	158	ステアリングホイールの調節	177	ルームミラー	198
ラジオおよびメディアの音声認識 コントロール	158	ライトスイッチ	178	コンパス*	199
エアコンディショナーの音声操作	159	ポジションランプ	180	コンパス*を校正する	199
音声認識および地図ナビゲーション	160	ロービーム	180	パノラマルーフ*	200
フロントマニュアルシート	161	ハイビームのオン/オフ	181	パノラマルーフ*の操作	201
フロントパワーシート*	162	アクティブバンディングランプ	184	HomeLink®*	205
フロントパワーシート*の調節	162	ヘッドライトの照射パターンの調整	184	HomeLink®* のプログラミング	206
フロントパワーシート*のメモリー 機能を使用する	163	リアフォグランプ	185	トリップコンピューター	208
マルチファンクションフロント シート*	164	ブレーキランプ	185	ドライバーディスプレイにトリッ プデータを表示する	209
マルチファンクションフロント シート*の機能の調節	165	非常点滅灯	186	センターディスプレイに走行統計 を表示する	211
運転席のイージーエントリー/ イージーエグジット*	168	方向指示器を使用する	186	設定ビュー	212
運転席から助手席シートを調節する*	169	ルームランプ	187	設定ビューのカテゴリ	213
リアシート	169	ホームセーフライト点灯	189	設定ビューでシステム設定を変更する	214
2列目シートのヘッドレストの調節	170	アブローチライト点灯	190	設定ビューの設定のリセット	215
2列目シートの前後位置の調節	171	ウインドスクリーンワイパーを 使用する	190	アプリの設定を変更する	216
2列目シートのバックレストの傾 き調節	172	レインセンサー のオン/オフ	191	名義変更に伴うユーザーデータの リセット	216
2列目シートのバックレストを倒す	173	ウインドスクリーンおよびヘッド ライトウォッシャー	192		
3列目シートへの乗り降り	175	リアウインドワイパーおよび ウォッシャー	193		
3列目シートのバックレストを倒す	175	パワーウインド	194		
		パワーウインドの操作	194		
		サンブラインドを使用する	196		

エアコンディショナー

エアコンディショナー	218
エアコンディショナー - センサー	218
体感温度	219
空気の質	219
クリーンエアフィルター	220
Clean Zone Interior Package*	220
Interior Air Quality System*	221
エアコンディショナー	221
センターディスプレイのエアコンディショナー	222
トンネルコンソール後部のエアコンディショナー	224
エアコンディショナーの自動調節	224
エアコンディショナーのオン/オフ	225
温度の調節	226
ファンレベルの調節	228
ウインドおよびドアミラーのデフロスターのオン/オフ	230
エアリサーキュレーションのオン/オフ	232
エアディストリビューション	233
エアディストリビューションの変更	234
空気吹出口の開閉および向き変更	235
エアディストリビューションオフ	236
シートのヒーター*のオン/オフ	239

シートベンチレーション*のオン/オフ	240
ステアリングホイールヒーター*のオン/オフ	241
パーキングエアコンディショナー	242
プリコンディショニングの開始/停止	243
プリコンディショニングタイマー	245
プリコンディショニングタイマーの設定	245
プリコンディショニングタイマーのオン/オフ	247
快適環境維持機能のオン/オフ	248
パーキングエアコンディショナーのシンボルおよびメッセージ	249
ヒーター	250
パーキングヒーター	251
エクストラヒーター	252

荷物の積み込みおよび収納

車内インテリア	254
トンネルコンソール	255
電源ソケット	256
シガレットライター*の使用	260
灰皿*を空にする	261
グローブボックスの使用	261
サンバイザー	262
カーゴスペース	262
荷物の積み込み	262
荷物固定用アイレット	264
バッグフック	265
ラゲッジカバー	266
セーフティネット*	268
スチールガードネット*	270

ロックおよびアラーム

リモートコントロールキー	274
リモートコントロールキーの作動範囲	276
スタートおよびロックシステム のアンテナ位置	276
外側からのロック/ロック解除	277
車両のロック/ロック解除の表示	279
内側からのロック/ロック解除	281
デッドロック	282
テールゲートのロック/ロック解除	283
プライベートロックのオン/オフ	285
脱着式キーブレード	287
脱着式キーブレードによるロッ ク/ロック解除	288
パワーテールゲート*	289
足の動きによるテールゲートの開閉*	292
リモートコントロールキーの電池交換	294
イモビライザー	297
チャイルドロック	298
アラーム	299
アラームの自動セット/再セット	301
リモートコントロールキーを使用 しないアラームの解除	302
リモートコントロールキーシステ ムの型式認定	303

運転者サポート

速度感应式のステアリングホイー ル操舵力	310	アダプティブクルーズコントロー ル*の速度を管理する	330
エレクトロニック・スタビリティ・ コントロール	310	アダプティブクルーズコントロー ル*の車間時間の設定	331
エレクトロニック・スタビリティ・ コントロールのスポーツモード	311	アダプティブクルーズコントロー ル*の解除/作動	332
エレクトロニック・スタビリティ・ コントロールのシンボルおよび メッセージ	313	アダプティブクルーズコントロー ルによる追い越しアシスト*	334
Roll Stability Control	315	アダプティブクルーズコントロー ルによる追従対象車両変更および オートブレーキ	335
速度リミッター*	315	アダプティブクルーズコントロー ル*の限界	336
速度リミッターの作動と起動	316	クルーズコントロール とアダプ ティブクルーズコントロール* を 切り替える	337
速度リミッターの速度を管理する	317	アダプティブクルーズコントロー ル*のシンボルおよびメッセージ	338
速度リミッターの解除/再作動	317	Pilot Assist*	339
速度リミッター をオフにする	318	Pilot Assist*の作動と起動	342
自動速度リミッター*	319	Pilot Assist*の車間時間の設定	343
自動速度リミッターの作動/解除	320	Pilot Assist*のオフ/オン	344
自動速度リミッターの許容範囲の変更	321	Pilot Assist*によるオートブレーキ	345
クルーズコントロール	322	Pilot Assist*の限界	346
クルーズコントロールの作動と起動	323	レーダーユニット	348
クルーズコントロールの速度を管 理する	323	レーダーユニットの限界	349
クルーズコントロールの解除/再作動	324	レーダーユニットの型式認定	352
クルーズコントロールを解除する	326		
アダプティブクルーズコントロール*	326		
アダプティブクルーズコントロー ル*の作動と起動	329		

カメラユニット	355	レーンアシスト*	377	Cross Traffic Alert*を起動/解除する	405
カメラユニットの限界	356	Lane Departure Warning*を起動/解除する	379	Cross Traffic Alert の限界	406
ロード・サイン・インフォメーション*	359	Lane Keeping Aid*を起動/解除する	380	Blind Spot Information* および Cross Traffic Alert* に関するメッセージ	408
ロード・サイン・インフォメーションの標識表示	359	レーンアシスト*のシンボルおよびメッセージ	381		
スピード違反取り締まりカメラに関する情報	361	パークアシスト*	383		
ロード・サイン・インフォメーションのオン/オフ	362	パークアシスト*の作動/解除	385		
ロード・サイン・インフォメーション*の限界	363	パークアシスト*の限界	385		
車間警告機能*	363	パークアシスト* に関するメッセージ	387		
車間警告機能*の作動と車間時間の設定	364	パークアシスト・カメラ*	388		
車間警告機能*の限界	365	ガイドラインとパークアシスト・カメラ*の視野	390		
City Safety	366	パークアシスト・カメラ*の起動	392		
City Safety の警告距離の設定	368	パークアシスト・カメラ*の限界	393		
City Safety による障害物の検知	369	パークアシスト・パイロット*	394		
City Safety の横方向の交通への対応	370	アクティブパークアシスト*による駐車	396		
City Safety の限界	371	パークアシスト・パイロット*の限界	399		
City Safety に関するメッセージ	374	パークアシスト・パイロット* に関するメッセージ	401		
Rear Collision Warning	375	Blind Spot Information*	402		
Driver Alert Control	375	Blind Spot Information*を起動/解除する	403		
Driver Alert Control を起動/解除する	376	Blind Spot Information*の限界	404		
Driver Alert Control の限界	377	Cross Traffic Alert*	404		

運転操作の要領

イグニッション位置	410	ヒル・スタート・アシスト	434	車両移動	455
エンジンを始動する	411	停車時のオートブレーキ	434	ハイブリッドバッテリーの充電	455
エンジンの停止	413	低速コントロール	435	充電電流	456
ステアリングホイールロック	413	ヒルディセントコントロール	436	充電ケーブル	457
別のバッテリーによるジャンプスタート	414	水たまりでの運転	437	充電ケーブルの漏電遮断器	458
トランスミッション	415	エンジンおよび駆動システムのオーバーヒート	438	充電ケーブルの温度モニタリング	459
オートマチックトランスミッションのギヤポジション	416	メインバッテリーへの過剰な負荷	439	ハイブリッドバッテリーの充電準備	459
ギヤシフトインジケーター	419	長距離走行の準備	440	ハイブリッドバッテリーの充電を開始する	460
ギヤセクターインヒビター	419	冬季の路面状況への対応	440	充電状態	461
ステアリングホイールパドルによるギヤチェンジ*	420	燃料給油口フラップの開閉と給油	441	ハイブリッドバッテリーの充電を停止する	463
駆動システム	421	燃料の取り扱い	442	ハイブリッドバッテリー搭載車の長期保管	464
ドライブモード	422	ガソリン	443	ハイブリッドに関するシンボルおよびメッセージ	466
オートレベライザー*	426	経済的な走行	444		
AWD(全輪駆動車)	427	都市環境における電気による走行可能距離	445		
ブレーキ機能	427	トローイングブラケット*	446		
フットブレーキ	428	格納式トウバー*	447		
アダプティブブレーキランプ	430	トローイングブラケット*の仕様	449		
制動力増幅	430	トレーラーなどのけん引	450		
衝突後のオートブレーキ	431	特殊な条件でのトレーラーなどのけん引	452		
パーキングブレーキ	431	トレーラー・スタビリティ・アシスト*	452		
パーキングブレーキを使用する	432	けん引フック	453		
パーキングブレーキに不具合がある場合	433	けん引	454		

オーディオ・メディア

オーディオ・メディア	470
オーディオ設定	470
ラジオ	471
ラジオ放送局の変更および検索	472
ラジオの設定	474
メディアプレーヤー	475
メディア再生	476
Gracenote®	478
メディアの検索	479
CD プレーヤー*	480
Bluetooth 経由のメディア	480
Bluetooth 経由でメディアを接続する	480
AUX-/USB 端子経由のメディア	481
AUX-/USB 端子経由でメディアを接続する	481
ビデオ	482
メディアのオーディオ設定	482
テレビ*	483
TV*の設定	484
Apple CarPlay*	484
Apple CarPlay*の設定	486
メディアの技術仕様	487
電話	488
電話機の接続	489

電話機の接続/切断	490
通話の操作	491
テキストメッセージの操作	492
電話の設定	494
テキストメッセージの設定	494
オンライン車両	494
車両に接続する	495
Bluetooth 設定	497
Wi-Fi ホットスポットによるインターネットの共有	497
インターネット接続なし/接続不良	498
Wi-Fi ネットワークを削除する	498
Wi-Fi の技術とセキュリティ	499
カーモデム* の設定	499
アプリ	500
アプリのダウンロード、アップデートおよびアンインストール	500
オーディオ・メディアのライセンス契約	502
サービスの利用規約とお客様の個人情報保護方針	513

ホイールおよびタイヤ

タイヤ	516
タイヤの回転方向	517
タイヤのトレッド摩耗インジケーター	517
タイヤ空気圧の点検	518
タイヤ・プレッシャー・モニタリング	519
タイヤ・プレッシャー・モニタリング・システムを使用してタイヤ空気圧を点検する	521
タイヤ・プレッシャー・モニタリングによるタイヤ空気圧の修正	522
タイヤ・プレッシャー・モニタリング・システムの校正	523
タイヤ・プレッシャー・モニタリング・システム の型式認定	525
緊急パンクリペアーキット	529
緊急パンクリペアーキットを使用する	530
緊急パンクリペアーキットのコンプレッサーを使用してタイヤに空気を入れる	533
ホイールを交換する場合	534
ホイールの取り外し	534
ホイールの取り付け	537
ホイールボルト	538
スペアタイヤ*	538
ウインタータイヤ	538
カーゴスペース内のツール	539
三角警告板(停止表示板)	540

ジャッキ*	540
救急用品キット	541
ホイールリムのサイズ表示	541
タイヤのサイズ表示	542

保守点検

ボルボメンテナンスサービスプログラム	544	ウォッシュャー液リザーバータンク	568
車両状態	544	バッテリー	569
コネクテッド・サービス予約	545	バッテリーに表示されているシンボル	572
リモートアップデート	548	ハイブリッドバッテリー	572
システムアップデート	548	ヒューズ	573
車両とサービス工場間のデータ送信	549	ヒューズの交換	574
車両を持ち上げる	551	エンジンルーム内のヒューズ	575
ボンネットの開閉	553	ヒューズ - グローブボックス下	579
エンジンルームの概要	554	カーゴスペース内ヒューズ	583
エンジンオイル	556	エクステリアの清掃	587
エンジンオイルの点検と補充	557	磨きおよびワックスがけ	589
クーラントの補充	558	防錆	590
エアコンディショナーシステムの点検整備	559	内装の清掃	590
ランプ交換	560	センターディスプレイの清掃	591
ロービームランプ交換	562	塗装の損傷	592
ヘッドライトの楕円形カバーを外す	562	塗装面の補修	593
ハイビームランプ交換	563		
デイトタイムランニングライト/ポジションランプのランプ交換	564		
フロント方向指示器ランプ交換	564		
バルブ仕様	565		
サービスポジションのワイパーブレード	565		
ワイパーブレードの交換	567		

仕様

タイプの表示	596
寸法	599
重量	601
けん引重量およびトウボール荷重	602
エンジンの仕様	603
エンジンオイル - 仕様	604
エンジンオイルに対する過酷な走行条件	605
クーラント - 仕様	606
トランスミッションフルード - 仕様	606
ブレーキフルード - 仕様	606
燃料タンク - 容量	607
エアコンディショナー - 仕様	607
燃料消費量およびCO2 排出量	608
承認タイヤ空気圧	610
ハイブリッドバッテリー - 仕様	611

50 音順索引

50 音順索引	613
---------	-----

イントロダクション

オーナーズインフォメーションに関する情報

オーナーズマニュアルには車両のセンターディスプレイ版、モバイルアプリ版、ボルボのサポートページで利用できるウェブ版があります。また、グローブボックスには、Quick Guide と仕様およびヒューズ情報などを収録したオーナーズマニュアル付録冊子が収納されています。完全版オーナーズマニュアルの印刷版は別売りです。

デジタルオーナーズマニュアル

車両のセンターディスプレイ

車両のセンターディスプレイでデジタル¹オーナーズマニュアルを使用することができます。ここでは、車両のエクステリア画像およびインテリア画像を使用したビジュアル操作ガイドのオプションなどがあります。情報はさまざまなカテゴリーに分類されており、検索することもできます。詳しくは「[車載のデジタルオーナーズマニュアル](#)」をご覧ください。

モバイルアプリ

デジタルオーナーズマニュアルはモバイルアプリとして入手することもでき、App Store などからダウンロードすることができます。アプリには車両のエクステリア画像およびインテリア画像を使用したビジュアル操作ガイドやビデオが含まれています。オーナーズマニュアルはセクション間を簡単に移動することができます。

また、内容は検索可能です。詳しくは「[モバイル機器対応のオーナーズマニュアル](#)」をご覧ください。

ウェブ版

オーナーズマニュアルはボルボのサポートページ support.volvocars.com からオンラインおよびPDF ファイル形式で利用することができます。サポートページには、インターネット接続で利用できるサービスや機能などに関するビデオおよびステップ・バイ・ステップの操作説明もあります。サポートページは多くの市場で利用することができます。詳しくは「[インターネットでの車両に関するサポートと情報提供](#)」をご覧ください。

印刷版オーナーズインフォメーション

付録冊子

車内の印刷版オーナーズマニュアルはデジタルオーナーズマニュアルの付録で¹、重要な説明、ヒューズ関連の情報および一部の仕様が収録されています。付録冊子には、実用的な理由からセンターディスプレイで情報を読めないときに役立つ可能性のある指示も収録されています。オーナーズマニュアルの構成については、「[オーナーズマニュアルを読む](#)」を参照してください。

Quick Guide

Quick Guide も印刷版として提供され、車両でよく使われる機能について最初に読んでおく役立つ情報が収録されています。

印刷版で提供されるその他のオーナーズインフォメーション

選択した装備レベルや市場などにより、他にも印刷版で提供される可能性のあるオーナーズインフォメーションがあります。完全版オーナーズマニュアルの印刷版は別売りです²。印刷版のオーナーズマニュアルまたは付録冊子の注文については、[ボルボディーラー](#)にお問い合わせください。

センターディスプレイの言語を変更する

センターディスプレイの言語は変更できますが、情報が国や地域の法令に該当しないことがあります。

❗ 重要

安全運転を行い、適用される法律や規則に従う責任は、つねに運転者にあります。また、オーナーズマニュアルに記載されているボルボの推奨事項に従って、車両の維持および取り扱いを行うことも重要です。

万が一、センターディスプレイの情報とマニュアル(印刷版)の情報が異なる場合、必ず印刷版のマニュアルに記載されている情報に従ってください。

¹ センターディスプレイのオーナーズマニュアルに対応していない市場向けの車両には、完全版オーナーズマニュアルの印刷版が付属します。

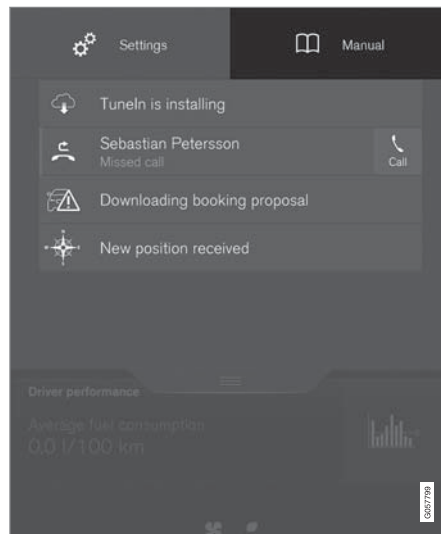
² センターディスプレイのオーナーズマニュアルに非対応の市場では、このマニュアルが最初から車両に付属します。

関連情報

- 車載のデジタルオーナーズマニュアル (p. 15)
- モバイル機器対応のオーナーズマニュアル (p. 18)
- インターネットでの車両に関するサポートと情報提供 (p. 18)
- オーナーズマニュアルを読む (p. 19)

車載のデジタルオーナーズマニュアル

オーナーズマニュアル(印刷版)でデジタルオーナーズマニュアルに言及している場合、車内のセンターディスプレイに表示されるマニュアルのことを指しています。



デジタルオーナーズマニュアルはトップビューから利用できます。

デジタルオーナーズマニュアルには、目的の情報を見つけるためのさまざまなオプションが用

意されています。オプションはオーナーズマニュアルのトップメニューから利用することができます。☰を押すと、オプションが表示されます。

- **スタート** - デジタルオーナーズマニュアルを開いたときに表示される最初のページ。歓迎のメッセージが表示されます。
- **カテゴリ** - すべての項目がカテゴリ別に分類されています。同じ項目が複数のカテゴリに分類されていることがあります。
- **Quick Guide** - 特に役立つ項目がまとめられています。
- **エクステリア** - 車両のエクステリア画像。さまざまな部分が「ホットスポット」として識別されています。ホットスポットをタップすると、その部分に関する項目が表示されます。
- **インテリア** - 車両のインテリア画像。さまざまな部分が「ホットスポット」として識別されています。ホットスポットをタップすると、その部分に関する項目が表示されます。
- **お気に入り** - ブックマークに登録したお気に入りの項目を素早く表示できます。

i 注意

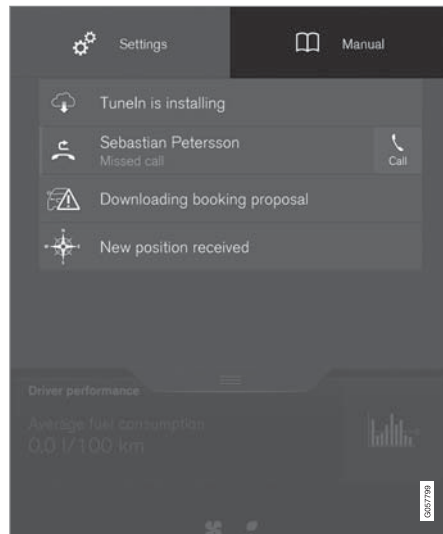
走行中にデジタルオーナーズマニュアルを利用することはできません。

◀◀ 関連情報

- デジタルオーナーズマニュアルの使い方 (p. 16)

デジタルオーナーズマニュアルの使い方

デジタルオーナーズマニュアルは車内のセンターディスプレイから利用することができます。コンテンツは検索可能で、セクション間の移動も簡単です。



オーナーズマニュアルはトップビューから利用できます。

デジタルオーナーズマニュアルを見る - センターディスプレイのトップビューを下方向にドラッグして、**取扱説明書**を押します。

デジタルオーナーズマニュアルには、目的の情報を見つけるためのさまざまなオプションが用意されています。

オーナーズマニュアルメニューにアクセスするには、オーナーズマニュアルの上部バーにある **☰** を押してください。

カテゴリによる検索

オーナーズマニュアルの項目は、メインカテゴリおよびサブカテゴリの形式に構成されています。検索性を向上させるために、同じ項目が複数の適切なカテゴリに分類されています。

1. **☰** を押して、**カテゴリ** を選択します。
 - ◻ メインカテゴリがリストで表示されます。
2. 任意のメインカテゴリ(🔍)をタップします。
 - ◻ サブカテゴリ(🔍)と項目(🔍)のリストが表示されます。
3. 項目名をタップすると、項目が開きます。戻るには、「戻る」矢印を押します。検索をやりに直すには、**☰** を押します。

エクステリアおよびインテリアのホットスポット

車両のエクステリアおよびインテリア画像。さまざまな部分が「ホットスポット」として識別されています。

1. **☰** を押して、**エクステリア/インテリア** を選択します。
 - ＞ ホットスポットを特定したエクステリア/インテリア画像が表示されます。ホットスポットからは、車両の関連箇所に関する項目に移動できます。画面を横方向にスワイプすると、前後の画像を表示できます。
2. ホットスポットをタップします。
 - ＞ その箇所に関する項目のタイトルが表示されます。
3. タイトルをタップすると、項目が開きます。戻るには、「戻る」矢印を押します。検索をやり直すには、**☰** を押します。

よく使われる機能を Quick Guide で調べる

オーナーズマニュアルメニューの **Quick Guide** には、よく使われる機能について役立つ項目がまとめられています。項目はカテゴリーを使用して閲覧することもできますが、ここでは、素早く閲覧できるようにまとめられています。目的の項目をタップすると、全文を読むことができます。

お気に入り

ここでは、お気に入りとして保存されている項目があります。もっとも最近保存された項目が先頭に表示されます。目的の項目をタップすると、全文を読むことができます。

項目をお気に入りとして保存する/お気に入りから削除する

項目が開いているときに右上の **☆** を押すと、項目がお気に入りとして保存されます。お気に入りとして保存されると、星印が塗りつぶされます：**★**。

お気に入りから項目を削除するには、現在の項目の星印をもう一度押します。

検索機能の使用

1. オーナーズマニュアルのトップメニューの **🔍** をタップします。画面の下側にキーボードが表示されます。
2. キーワード(「シートベルト」など)を入力します。
 - ＞ 文字を入力すると、候補の項目が表示されます。
3. 項目名をタップすることにより確定します。検索モードを終了するには、検索フィールドの横にある上矢印をタップします。

関連情報

- 車載のデジタルオーナーズマニュアル (p. 15)
- センターディスプレイのキーボードの使用 (p. 50)

モバイル機器対応のオーナーズマニュアル

オーナーズマニュアルはモバイルアプリとして App Store および Google Play からダウンロードすることができます。アプリはスマートフォンおよびタブレット向けに編集されています。

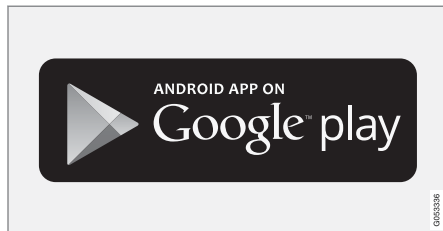
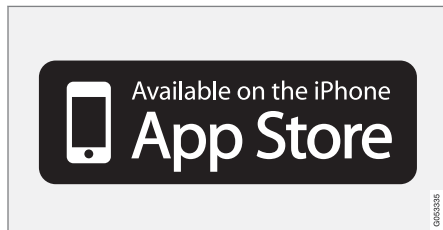


オーナーズマニュアルはモバイルアプリとして App Store または Google Play からダウンロードすることができます。ここに表示されている QR コードを使用すると、アプリに直接

移動できます。App Store または Google Play で「Volvo manual」（ボルボマニュアル）を検索する方法もあります。

このアプリには、動画とエクステリア画像およびインテリア画像が含まれており、車両のさま

ざまな部分が「ホットスポット」として強調され、各箇所に関する項目と関連付けられています。オーナーズマニュアルはセクション間を簡単に移動することができます。また、内容は検索可能です。



モバイルアプリは App Store および Google Play からダウンロードすることができます。

関連情報

- オーナーズマニュアルを読む (p. 19)
- インターネットでの車両に関するサポートと情報提供 (p. 18)

インターネットでの車両に関するサポートと情報提供

車両に関する詳しい情報は、ボルボ・カーズのウェブサイトとサポートサイトで入手できません。ウェブサイトから、お客様と車両のパーソ

ナルウェブサイトである My Volvo³ に移動することもできます。

インターネットでのサポート

サポートサイトのページを表示するには、support.volvocars.com に移動するか、下の QR コードを使用してください。サポートサイトはほとんどの市場で利用することができます。



サポートサイトへのアクセス用 QR コード

サポートサイトの情報はさまざまなカテゴリーに分類されており、検索することができます。Volvo On Call (VOC)*、ナビゲーションシステム*およびアプリなど、ウェブベースのサービスや機能に関するサポート情報が掲載されています。ビデオやステップ・バイ・ステップの指示で、さまざまな手順(携帯電話経由で車両をインターネットに接続する方法など)について解説します。

ダウンロード可能な情報

地図

Sensus Navigation 装備車の場合、サポートサイトから地図をダウンロードすることができます。

³ 特定市場に適用

モバイルアプリ

2014 年および 2015 年モデル以降の一部のボルボモデルでは、アプリ形式のオーナーズマニュアルを利用することができます。VOC*アプリもここからアクセスすることができます。

以前のモデルのオーナーズマニュアル

ここからは以前のモデルのオーナーズマニュアルを PDF 形式で入手することができます。Quick Guide および付録もサポートページからアクセスすることができます。必要な出版物をダウンロードするには、車両モデルとモデルイヤーを選択してください。

連絡先

サポートサイトには、カスタマーサポートとお客様の最寄りのボルボディーラーの連絡先が掲載されています。

インターネットで利用可能な My Volvo³

お客様と車両のパーソナルウェブサイトである My Volvo ウェブには、www.volvocars.com から移動することができます。

個人用 Volvo ID を作成して、My Volvo ウェブにログインし、サービス、契約および保証などの概要を把握してください。My Volvo ウェブには、お客様の車両モデルに対応するアクセサリやソフトウェアに関する情報もあります。

関連情報

- Volvo ID (p. 24)

オーナーズマニュアルを読む

運転の前に、ボルボ車についてご理解いただくため、オーナーズマニュアルを十分にお読みください。

オーナーズマニュアルをお読みになると、新しい機能をご理解いただけると共に、さまざまな状況で適切な判断ができ、また車両の色々な機能を十分にご活用いただけます。オーナーズマニュアルに記載されている、注意、警告指示を厳守してください。

製品改良のため、開発作業はつねに続けられています。改良により、オーナーズマニュアルに収録されている情報、説明および図が実際の車両と異なる場合があります。製造者(メーカー)が予告なく変更する場合があります。

© ボルボ・カー・コーポレーション

重要

車両からこのマニュアルを持ち出さないでください。万が一問題が発生した場合に、どこでどのようにして専門家のヘルプが受けられるかに関する情報を入手できなくなります。

4 オプション/アクセサリー

標準装備の他に、オプション装備(メーカーオプション)やアクセサリー装備(ディーラーオプション)などについても記載されています。

このオーナーズマニュアルでは、オプション/アクセサリーには必ず*マークが付いています。

オーナーズマニュアルに記載されていても、車両にその装備がない場合があります。車両の装備は、各市場でのニーズや、国、地域の法規に適合するようになっています。

標準装備またはオプション/アクセサリー装備についてご不明な点は、ボルボ指定のディーラーにお問い合わせください。

特別なテキスト

警告

ケガのおそれがある場合は、警告テキストが表示されます。

重要

損傷のおそれがある場合は、「重要」と表示されます。

注意

「注意」には、装備や機能を使いやすくするためのヒントなどが記載されています。

脚注

オーナーズマニュアルには、ページの下部または表の最後に脚注の形で情報が収録されています。これは、本文中の番号に対応した補足情報です。表内の記載に対応した脚注の場合は、参照先の番号ではなく文字が使用されています。

ディスプレイテキスト

車内には、メニューテキストとディスプレイテキストを表示するディスプレイがあります。オーナーズマニュアルでは、ディスプレイに表示されるテキストと通常のテキストは書体が異なります。メニューテキストおよびディスプレイテキストの例：**電話、新しいメッセージ**。

表示ラベル

重要な情報を簡潔かつ明確な方法で表示するように、車内にはさまざまな表示ラベルが使用されています。表示ラベルは、警告/情報の重要度に応じて次のように分類されています。

ケガに対する警告



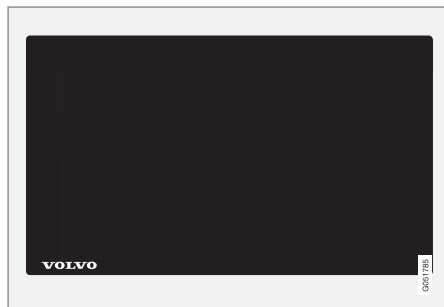
黄色地に黒の ISO シンボル、メッセージ欄は黒地に白字テキスト/イメージ。危険な状況であることを示すために使用。この警告を無視した場合、大ケガや死亡にいたるおそれがあります。

重大な損傷のおそれ



黒地または青地の警告欄およびメッセージ欄に、白の ISO シンボルおよび白字テキスト/イメージ。危険な状況であることを示すために使用。この警告を無視した場合、物品などが損傷を受けるおそれがあります。

インフォメーション



黒地のメッセージ欄に、白の ISO シンボルおよび白字テキスト/イメージ。

❗ 注意

オーナーズマニュアルに掲載されている表示ラベルは、車両の表示ラベルと若干異なっている場合があります。ラベル掲載の目的は、ラベルの概観と車両に貼られている位置を示すことです。お客様の車両に関する情報は、車両内の各ラベルに記載されています。

作業手順のリスト

このオーナーズマニュアルでは、指定の順番で行うべき作業手順には、番号が付いています。

- ❶ 作業手順がステップ・バイ・ステップで図示されている場合は、図の中に手順に対応した番号が付いています。
- A 作業手順を指定の順番で行う必要がない場合は、文字の付いた箇条書きの説明が図の近くにあります。
- ➡ 矢印(番号付きの矢印、番号のない矢印の両方があります)は、可動部分の動きを示すためのものです。
- A 順序を変えても問題がない場合には、動きをはっきりさせるために文字を伴った矢印が使用されています。

作業手順がステップ・バイ・ステップで図示されていない場合は、手順を示す番号には普通の字体が使われています。

位置リスト

- ❶ 図の中の色々なコンポーネントを指し示すには、赤丸付きの番号が使用されています。図のそばに位置リストがあり、それぞれの番号は図の中の番号と対応しています。

箇条書き

順不同のものを表記するときは、黒丸付きの箇条書きが使用されています。

例：

- クーラント
- エンジンオイル

関連情報

密接に関連している情報を含む他の項目を指しています。

図

本書の図には略図が使用されていることがあるため、装備レベルや市場によっては、実際の車両と外観が異なる場合があります。

次ページに続く

▶▶ このシンボルは、項が次ページに続いている場合、ページの右下に表示されます。

◀ 前ページから続く

◀◀ このシンボルは、項が前ページから続いている場合、ページの左上に表示されます。

関連情報

- 車載のデジタルオーナーズマニュアル (p. 15)
- モバイル機器対応のオーナーズマニュアル (p. 18)
- インターネットでの車両に関するサポートと情報提供 (p. 18)

データの記録

ボルボ社の安全および品質保証の一環として、車両の作動、機能および事故に関する特定の情報が車両に記録されます。

この車両には「Event Data Recorder」(EDR)が搭載されています。この装置の主な目的は、交通事故や、エアバッグが作動する、または車両が路上の障害物にぶつかるといった、衝突に似た状況に関連するデータを記録することです。データは、こういった種類の状況下で車両システムがどのように作動するかについて理解を深めるために記録されます。EDR は車両の運動状態および安全システムに関するデータを、短時間(通常 30 秒以下)記録するよう設計されています。

この車両に搭載された EDR は交通事故、または衝突に似た状況があった場合に、以下に関するデータを記録するよう設計されています。

- 車内のさまざまなシステムがどのように作動したか
- 運転席および助手席のシートベルトは作動したか
- ドライバーによるアクセルまたはブレーキペダルの使用
- 車両の走行速度

この情報は、弊社が交通事故、ケガ、車両の損傷が発生する状況をより把握するために役立ちます。EDR は、重大な衝突状況が発生した場合

にのみデータを記録します。EDR は、通常の走行状況下では一切データの記録を行いません。同様に、誰が運転しているか、または事故やニアミス状況の地理的な位置に関するデータをシステムが記録することはありません。ただし警察などの第三者が、交通事故後に規定に沿って収集した個人情報の類と共に記録されたデータを使用する場合があります。データを解析するには、車両または EDR にアクセスするための特殊な機器およびアクセス権が必要です。

EDR に加え、車両には車両の機能を継続的に確認しモニターするよう設計された、多数のコンピューターが搭載されています。これらのコンピューターは通常の走行時にデータを記録することができますが、特に車両の操作や機能性に影響する不具合を記録したり、車両の運転者サポート機能(例: City Safety やオートブレーキ機能)が起動したときのデータを記録することができます。

記録された一部のデータは、サービスおよびメンテナンステクニシャンが車両に発生した不具合を診断し、修正するために必要です。記録された情報はまた、ボルボが法律および政府当局によって定められた法的要件を満たすために必要です。車両で記録された情報は、該当の車両がサービスまたは修理を受けるまで、車内のコンピューターに保存されます。

上記に加え、記録された情報は、ボルボ車両の安全性および品質の継続的な向上を目的とした

研究や製品開発のために、集計形式で使用される場合があります。

車両所有者の同意なしに、ボルボが上述の情報を第三者に開示することはありません。国の法令および規制を順守するため、ボルボはこれらの情報へアクセスする法的権利を行使する警察または当局へ、関わる情報を開示せざるを得ない場合があります。車両のコンピューターに記録された情報を読み取り、解析するためには特殊な機器が必要です。ボルボ社およびボルボ社と契約を結んでいるサービス工場がこの機器へのアクセス権を持っています。ボルボ社は、点検整備時にボルボに転送される情報が、安全な方法で保管ならびに処理され、その処理が適用される法的要件を満たすものであるように保証する責任を負っています。詳しくはボルボディーラーにお問い合わせください。

アクセサリ、追加装備、および診断ソケットに関する重要情報

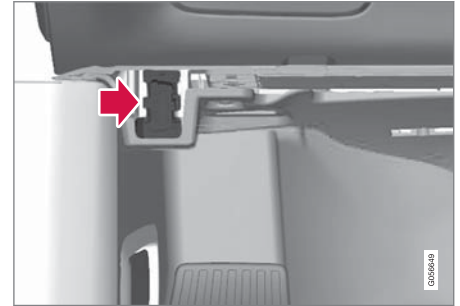
アクセサリや追加装備、またはソフトウェア/診断ツールの不適切な接続や取り付けは、車両の電気系統に支障をきたすおそれがあります。

一部のアクセサリは、車両のコンピューターシステムに関連ソフトウェアをインストールしないと正常に作動しません。このため、ボルボは、電気系統に接続または影響するアクセサリを取り付ける前には、ボルボ指定のサービス工場に必ずお問い合わせください。

車両の診断ソケットへ設備を接続する

警告

ボルボ・カーズは、非認定の機器を車両のデータリンクコネクタ (On-Board-Diagnostics (OBD-II)) に接続したことによる結果について一切責任を負いません。



診断ソケットはメーター・パネルの下のステアリングホイール側にあります。

Volvo ID

Volvo ID を使用すると、幅広い個人向けボルボサービス⁴にオンラインでアクセスすることができます。

Volvo ID を車両、Volvo On Call モバイルアプリ⁵または My Volvo⁶ から作成することは重要です。一部の機能およびサービスを利用するには、車両を個人の Volvo ID に登録する必要があります。Volvo ID を車両に登録すると、さまざまなボルボサービスを車両から直接利用できるようになります。

サービスの例：

- My Volvo - お客様とおお客様の車両のパーソナルウェブサイト。
- Volvo On Call、VOC* - Volvo On Call モバイルアプリへのログイン時に Volvo ID が使用されます。
- 車両に送信 - インターネット上の地図サービスから住所を車両に直接送信することができます。
- コネクテッド・サービス予約 - お気に入りサービス工場/ディーラーを My Volvo に登録して、サービスを車両から直接予約できるようになります。

⁴ 利用できるサービスは、時間の経過とともに変化する場合があります。また、装備レベルや市場によっても異なります。

⁵ Volvo On Call*、VOC 利用契約が必要です。

⁶ 一部市場でのみ利用可能。

Volvo ID の作成

すでに Volvo ID をお持ちの場合(別の車両で作成した場合など)、「Volvo ID を車両に登録する」を参照してください。

Volvo ID はいくつかの方法で作成することができます。Volvo ID を My Volvo または Volvo On Call モバイルアプリで作成した場合、さまざまな Volvo ID サービスを使用できるようにするには、Volvo ID を車両にも登録する必要があります。

My Volvo⁶を使用する

1. www.volvocars.com のページを表示して、My Volvo に移動します。
2. 個人用メールアドレスを入力します。
3. 指定のメールアドレスに自動送信されてくる指示に従います。
> これで Volvo ID が作成されました。ID を車両に登録する方法については、以下をお読みください。

Volvo On Call (VOC) モバイルアプリ⁵を使用する

1. App Store、Windows Phone、Google Play などを経由してスマートフォンから最新版の VOC アプリをダウンロードします。

2. アプリのスタートページから Volvo ID の作成を選択し、個人用メールアドレスを入力します。
3. 指定のメールアドレスに自動送信されてくる指示に従います。
> これで Volvo ID が作成されました。ID を車両に登録する方法については、以下をお読みください。

Volvo ID を車両に登録する

Volvo ID をウェブまたは VOC アプリで作成した場合、以下の手順で車両に登録してください。

1. センターディスプレイのアプリビューで **リモート更新サービス** から Volvo ID アプリをダウンロードします。ダウンロード方法についての詳細は、「アプリのダウンロード、アップデートおよびアンインストール」をお読みください。

注意

アプリをダウンロードするには、車両をインターネットに接続する必要があります。

2. アプリを起動し、ご自分の Volvo ID/メールアドレスを入力します。

3. Volvo ID に関連付けられているメールアドレスに自動送信されてくる指示に従います。
 - ＞ これで Volvo ID が車両に登録されました。Volvo ID サービスを利用することができます。

Volvo ID の作成と登録

1. まだダウンロードしていない場合、Volvo ID アプリを **リモート更新サービス** からダウンロードします。
2. アプリを起動して、個人用メールアドレスを登録します。
3. 指定のメールアドレスに自動送信されてくる指示に従います。
 - ＞ Volvo ID が作成され、車両に自動的に登録されます。これで Volvo ID サービスを利用することができます。

Volvo ID の利点

- ユーザー名1つとパスワード1つでオンラインサービスにアクセスできます。ユーザー名1つとパスワード1つを覚えておくだけです。
- あるサービス(VOC など)のユーザー名/パスワードを変更すると、その他のサービス(My Volvo など)のユーザー名/パスワードも自動的に変更されます。

関連情報

- アプリのダウンロード、アップデートおよびアンインストール (p. 500)
- 車両に接続する (p. 495)

Drive-E - さらにクリーンに走る喜びを

ボルボでは、環境への悪影響を減らすために、より安全でより効率的な製品およびソリューションの開発に取り組み続けています。



環境への配慮はボルボ・カーズの本質的価値であり、すべての事業に影響を及ぼします。環境研究は車両のライフサイクル全体に基づくもので、設計から廃棄およびリサイクルにいたるまでの期間で車両が環境に及ぼす影響を考慮します。ボルボ・カーズには、「ボルボの開発する新製品は必ず先代の製品よりも環境への影響が小さいものでなければならない」という基本理念があります。

ボルボで環境管理に取り組んだ結果、環境保護にさらに効果的で、低公害化を実現するドライブライン Drive-E が開発されました。ボルボは個人環境も重視します。例えば、エアコンディショナーシステムの働きにより、車内の空気は車外の空気よりもきれいです。

ボルボ車は厳しい国際環境基準に適合します。ボルボの製造工場はすべて、ISO 14001 認証を取得する必要があります。この認証取得により、事業に伴う環境問題に対して体系的な取り組みが可能になり、環境影響を低減しつつ改善を継

続することができます。ISO 認証の取得は、現行の環境法令および規制を順守していることも意味します。ボルボはパートナーにもこの認証の取得を要求しています。

燃費

車両の全体的な環境影響の大部分はその使用によるものであるため、ボルボ・カーズの環境への取り組みでは、燃料消費量、二酸化炭素排出量、その他の空気汚染物質の低減を重視しています。ボルボ車は、非常に効率のよい燃費を

誇っています。燃費が良ければよいほど、温室効果の原因となる二酸化炭素の排出量が少なくなります。

環境向上への貢献

エネルギー効率および燃料効率に優れた車両は、環境影響の低減に貢献するだけでなく、維持費の低減にもつながります。運転者は簡単に燃料消費量の低減を図ることができるため、燃料費を節約すると同時に環境の向上に貢献することになります。以下はいくつかのヒントです。

- 効果的な平均速度をあらかじめ想定してください。速度が約 80 km/h (約 50 mph) を超える場合、または 50 km/h (約 30 mph) 未満の場合、エネルギー消費量が増加します。
- メンテナンスノート(整備手帳)で推奨されている間隔に従って、車両の点検整備を実施してください。
- 無用なアイドリングは避けてください。長時間停車するときは、エンジンを停止してください。地域の規則に従って、交通法規を遵守してください。
- 計画的に走行してください。何度も不必要に停止したり、走行速度にバラツキがあると、燃料消費量が増加します。
- プリコンディショニングを使用することにより、ハイブリッドバッテリーによる走行可能距離を向上し、走行中に必要なエネルギーの低減を図ることができます。

使用済みのバッテリーやオイルなど、環境に有害な廃棄物は、環境に配慮した適切な方法で処理してください。この種の廃棄物の処理についてご不明な点は、ボルボ指定のサービス工場にご相談ください。

効率のよいエミッションコントロール

ボルボ車は「内も外もクリーン」というコンセプトの基に設計されています。このコンセプトは、車内の空気を清浄に保ち、なおかつ車外に排出されるガスをできるだけ効率よくコントロールすることを指しています。ボルボ車の排気ガスは、現在の排気ガス規制値のほとんどを大幅に下回ります。

車内の空気を清浄に保つ

クリーンエアフィルターは、空気取入口から埃や花粉が車内に侵入することを防ぎます。

インテリア・エア・クオリティ・システム (IAQS)*が、車内に取り入れられる空気を外気よりも清浄に保ちます。

このシステムは、車内の空気から、粒子状物質、炭化水素、窒素酸化物、地表オゾンなどの有害物質を除去します。センサーが外気の汚れを感知すると空気取入口を閉じて、内気のリサーキュレーションに切り替えます。このような状況は、渋滞走行時やトンネル通過時などに発生する場合があります。

IAQS はクリーン・ゾーン・インテリア・パッケージ (CZIP)*に含まれています。このパッケージには、車両をリモートコントロールキーでロック

解除したときにファンを作動できるようにする機能も含まれています。

インテリア

ボルボ車のインテリアには厳選された素材が使用されており、快適にお使いいただけるように検査を実施しています。細部の中には手製の箇所もあります。ステアリングホイールの織り目などは手で縫合されています。インテリアは、高温や強い光にさらされたときに不快感の原因になる強烈な臭いや化学物質を発生することがないようにモニターされます。

ボルボのサービス工場と環境

定期的にメンテナンスを受けることにより、車両の耐用年数が長くなるだけでなく、燃料消費量も低減します。これは、環境保全への貢献にもつながります。ボルボ指定のサービス工場に修理やメンテナンスをご依頼いただければ、ボルボ社のシステムに基づいて適切な整備を実施します。ボルボ社では、サービス工場から出るガス、廃液、廃棄物などはできるだけ環境に悪影響を与えない方法で処理するなど、環境対策を徹底させています。ボルボ指定のサービス工場には、環境対策に関するボルボの教育・訓練を受けたメカニックがおり、必要な機器や工具も揃っておりますので、最善の環境対策をご提供することができます。

リサイクル

ボルボはライフサイクルの視点で取り組んでいるため、環境に優しい方法で車両をリサイクルすることも重要視しています。車両のほとんど



イントロダクション

- ◀◀ の部品がリサイクルできます。車両を廃車にされるオーナーの皆様には、ディーラーから認定/承認リサイクル施設の紹介を受けていただくようお願いいたします。

関連情報

- ドライブモード (p. 422)
- オーナーズマニュアルと環境 (p. 33)
- 経済的な走行 (p. 444)
- 燃料消費量およびCO2 排出量 (p. 608)
- 空気の質 (p. 219)

IntelliSafe - 運転者サポート

IntelliSafe はボルボ・カーズの車両安全に関するコンセプトです。このコンセプトには、車両で移動するときの安全性を高め、ケガを予防し、乗員を他の道路使用者から保護するためのシステムが多数含まれています。

サポート

IntelliSafe には、車両の安全運転に役立つシステムが組み込まれています。車両に搭載されている運転者サポート機能には、例えば自車と前方車両との距離を一定に保つアダプティブクルーズコントロール(Adaptive Cruise Control)* などがあります。

Park Assist Pilot* は周辺エリアを感知し運転者が駐車しやすいよう支援します。

他にも、運転者支援システムには、アクティブハイビーム、Cross Traffic Alert (CTA)*、および Blind Spot Information (BLIS)* システムなどがあります。

予防

事故の防止を支援する機能の一例が City Safety です。これは他の車両、歩行者またはサイクリストとの衝突の危険を運転者に知らせる機能です。運転車が警告に反応せず衝突の危険が差し迫ると、City Safety が自動的にブレーキを作動します。

Lane Keeping Aid (LKA)* もまた、事故の防止に役立つ機能です。車両が左右の車線を逸脱しそ

うになると運転者に警告を発し、車線内にとどまるようにステアリングを修正します。

保護

車両には危機的な状況や衝突時にシートベルトのゆるみを取り除いて、保護性能をさらに高めることのできるシートベルトテンショナーが装備されています。運転者および乗員用のエアバッグとインフレーターブルカーテンも装備されています。

関連情報

- アダプティブクルーズコントロール* (p. 326)
- パークアシスト・パイロット* (p. 394)
- ハイビームのオン/オフ (p. 181)
- Cross Traffic Alert*を起動/解除する (p. 405)
- Blind Spot Information* (p. 402)
- City Safety (p. 366)
- レーンアシスト* (p. 377)
- Roll Stability Control (p. 315)
- シートベルト (p. 98)
- 重要な安全上のご注意！ (p. 96)
- エアバッグ (p. 104)

センサス - 接続および維持

Sensus インターネットを利用したり、さまざまなタイプのアプリを使用したりすることができます。また、車両を Wi-Fi ホットスポットとして使用することもできます。

必要なときに、必要な場所で情報を提供
車内の複数のディスプレイにより、適切なタイミングで情報が提供されます。情報の表示される場所は、運転者による情報の優先順位に応じて異なります。

Sensus について



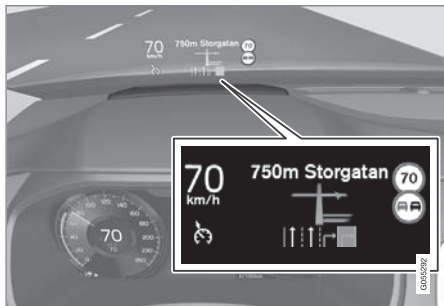
Sensus はデジタル世界との知的インターフェースおよびオンライン接続を提供します。直感的なナビゲーション構成により、必要なときに、運転の邪魔をすることなく、適切なサポート、情報およびエンターテインメントを提供することができます。

Sensus には、エンターテインメント、オンライン接続、ナビゲーション*、運転者と車両とのユーザーインターフェースに関連する車載ソリューションがすべて組み込まれています。お客様と車両と外部の世界をつなぎ、コミュニケーションを可能にするのが Sensus です。



情報にはさまざまな種類があり、その優先順位に応じて、表示されるディスプレイが異なります。

ヘッドアップディスプレイ*



ヘッドアップディスプレイには、運転者がすみやかに対処する必要がある特定の情報が表示されます。このような情報には、交通警告、速度

情報およびナビゲーション*情報などが含まれます。ヘッドアップディスプレイには、ロード・サイン・インフォメーションや電話の着信も表示されます。ディスプレイはステアリングホイール右側キヤパッドおよびセンターディスプレイから操作します。

ドライバーディスプレイ



ドライバーディスプレイには、速度や電話の着信、再生中の曲に関する情報などが表示されま



- ◀◀ す。ディスプレイの操作には、ステアリングホイールのキーパッド2つを使用します。

センターディスプレイ



車両の主要機能の多くは、センターディスプレイから操作します。センターディスプレイはタッチスクリーンです。したがって、車内のボタンおよびスイッチ類の数は最小限に抑えられています。画面は手袋を着用しているときでも操作することができます。

エアコンディショナーシステム、エンターテインメントシステムおよびシート位置などは、ここから操作します。センターディスプレイに表示される情報については、必要に応じて、運転者または車内の乗員が対応することができます。

音声認識システム



音声認識システムは、運転者がステアリングホイールから手を離すことなく使用することができます。このシステムは自然な話し言葉を理解することができます。音声認識は、曲

の再生、電話の発信、設定温度の変更、テキストメッセージの読み上げなどに使用することができます。

すべての機能/システムの詳細については、オーナーズマニュアルまたはその追補版の該当セクションを参照してください。

関連情報

- センターディスプレイの操作 (p. 37)
- センターディスプレイのビュー内での移動 (p. 41)
- ヘッドアップディスプレイ* (p. 153)
- ドライバーディスプレイ (p. 131)
- 音声認識 (p. 156)

オーナーズマニュアルと環境

オーナーズマニュアルには、管理森林に由来する紙が使用されています。

森林管理協議会 (FSC)® のシンボルは、オーナーズマニュアルに使用されている紙パルプが FSC® が認証した森やその他の管理資源に由来していることを示します。



関連情報

- Drive-E - さらにクリーンに走る喜びを (p. 26)

ウインド、ガラスおよびミラー

車両には、ウインド、ガラスおよびミラー用のコントロールがあります。車両の一部のウインドはラミネーションで強化され、特に車内の防音性を向上させています。

ラミネーテッドガラス

ウインドスクリーンおよびパノラマ*ルーフにはラミネーテッドガラスが使用されています。ガラスは補強されているため、不正侵入に対する保護が強化され、車内の防音効果も高くなっています。リアウインドを除く、その他のガラス面については、ラミネーテッドガラスはオプション装備です。



ラミネーテッドガラスが採用されているウインドには、このシンボルが表示されています⁷。

関連情報

- パノラマ*ルーフ* (p. 200)
- パワーウインド (p. 194)
- ウインドおよびドアミラーのデフロスターのオン/オフ (p. 230)
- サンプラインドを使用する (p. 196)
- ルームミラー (p. 198)
- ドアミラーの調節 (p. 196)

- ヘッドアップディスプレイ* (p. 153)

⁷ ウインドスクリーンまたはパノラマ*ルーフ*には適用されません。これらのガラスには必ずラミネーテッドガラスが採用されているため、このシンボルはありません。

センターディスプレイの概要

車両の機能の多くは、センターディスプレイで操作できます。センターディスプレイとその機能の概要を把握してください。



センターディスプレイの基本ビュー(3つ)右にスワイプすると機能ビュー、左にスワイプするとアプリビューが表示されます⁸。

1 機能ビュー - 1回押すことでオン/オフできる車両機能。一部の機能はトリガー機能

⁸ 右ハンドル車の場合、方向が逆になります。



- であり、設定オプションのあるウィンドウが開きます。**カメラ**および**パーキング機能**などがこれに該当します。
- 2 ホームビュー - 画面が起動したときに最初に表示されるビュー。
 - 3 アプリケーションビュー(アプリビュー) - ダウンロードしたアプリ(サードパーティー製アプリ)および内蔵機能用アプリ(**FM ラジオ**など)。アプリアイコンをタップすると、アプリが開きます。
 - 4 ステータスバー - 車内のアクティビティが画面上部に表示されます。ステータスバーの左側にはネットワーク/接続情報、右側には実行中のバックグラウンドアクティビティの表示とメディア関連情報および時計が表示されます。
 - 5 トップビュー - トップビューを表示するには、タブを下方向にドラッグします。**設定**、**取扱説明書**、および車両の保存済みメッセージには、ここからアクセスできます。
 - 6 ナビゲーション - 地図ナビゲーションに移動します。サブビューをタップすると、サブビューが展開します。
 - 7 メディア - 最近使用したメディア関連アプリ。サブビューをタップすると、サブビューが展開します。
 - 8 電話 - ここからは電話機能を利用できます。サブビューをタップすると、サブビューが展開します。
 - 9 エキストラサブビュー - 最近使用したアプリ/車両機能で、その他のサブビューに属さないもの。サブビューをタップすると、サブビューが展開します。
 - 10 クライメート列 - 温度、シートヒーターレベルおよびファンレベルの設定表示と直接操作。クライメート列の中央にあるシンボルをタップすると、クライメートビューが開き、詳細な設定オプションが表示されます。

関連情報

- センターディスプレイの操作 (p. 37)
- センターディスプレイのビュー内での移動 (p. 41)
- 機能ビューと車両機能用ボタン (p. 48)
- アプリの設定を変更する (p. 216)
- センターディスプレイのステータスバーで使用されるシンボル (p. 46)
- 設定ビュー (p. 212)
- メディアプレーヤー (p. 475)
- 電話 (p. 488)
- センターディスプレイのエアコンディショナー (p. 222)
- センターディスプレイの清掃 (p. 591)

センターディスプレイの操作

車両の機能の多くは、センターディスプレイから操作および管理されます。センターディスプレイはタッチスクリーンで、タッチに反応します。

センターディスプレイのタッチスクリーン機能の使用

画面の反応は、操作の種類(タップ、ドラッグ、スワイプ)に応じて異なります。複数のビューの切り替え、オブジェクトのマーキング、リス

トのスクロール、アプリの移動などの操作は、画面をさまざまな方法でタッチすることにより行うことができます。

赤外線フィルムの採用により、画面は画面の真上に指があることを感知できます。この技術により、手袋をはめたままでも画面を使用することができます。



画面の操作は、2人の人が同時に行うことができます。運転席側と助手席側のエアコンディショ

ナー設定を個別に調節するときなどに便利です。

❗ 重要





尖ったものを使用して画面を操作すると傷をつけるおそれがあります。

次表には、さまざまな画面操作手順が示されています。

手順	実行	結果
	1回タップする。	オブジェクトをハイライト表示する、選択を確定する、または機能を有効にする。
	2回連続タップする。	デジタルオブジェクト(地図など)を拡大表示する*。
	長押しする。	オブジェクトをグラブする。アプリの移動や地図上での地図ポイントの移動*に使用できる。指を画面に押し当てた状態で、オブジェクトを任意の場所にドラッグする。
	2本指で1回タップする。	デジタルオブジェクト(地図など)を縮小表示する*。





手順	実行	結果
	ドラッグ	ビューを切り替える、リスト、テキストまたはビューをスクロールする。押したままドラッグすると、アプリの移動または地図上での地図ポイントの移動*ができる。画面上を横方向または上下方向にドラッグする。
	スワイプ/素早いドラッグ	ビューを切り替える、リスト、テキストまたはビューをスクロールする。画面上を横方向または上下方向にドラッグする。
	ピンチアウト	拡大表示する。
	ピンチイン	縮小表示する。

別のビューからホームビューに戻る

1. ホームボタンを短く押します。
 - ＞ ホームビューの最後の位置が表示されます。
2. もう一度短く押します。
 - ＞ ホームビューのすべてのサブビューが初期設定に戻ります。

i 注意

ホームビュー標準モードで、ホームボタンを短く押してください。さまざまなビューへのアクセス方法を説明するアニメーションが画面に表示されます。

車両機能用アプリおよびボタンの移動

アプリビューと機能ビューの車両機能用アプリおよびボタンは、お好みに応じて、それぞれ移動および整理することができます。

1. アプリ/ボタンを長押しします。
 - ＞ アプリ/ボタンの大きさが変わり、少し透明になります。これで移動できる状態になりました。
2. アプリ/ボタンをビューの下側の空きスペースにドラッグします。

アプリ/ボタンの配置に使用できる行数は最大48です。表示中のビューの外側にアプリ/ボタンを移動させるには、アプリ/ボタンをビューの下部までドラッグします。新しい行が追加さ

れ、ドラッグしたアプリ/ボタンが配置されます。

アプリ/ボタンは下の行に適宜配置することができます。ビューの外に配置されたアプリ/ボタンは、ビューのノーマルモードでは表示されません。

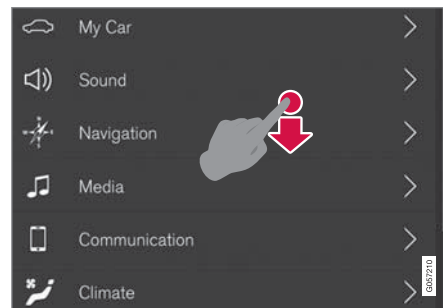
画面をスワイプすると、ビューを上下にスクロールできます。

i 注意

ほとんどまたはまったく使用しないアプリは、下部に移動して、画面に表示されないようにしてください。こうすると、よく使うアプリを見つけやすくなります。

リスト、項目またはビューのスクロール

画面にスクロールインジケータが表示された場合、ビューを下または上方向にスクロールすることができます。ビューの任意の場所で下/上方向にスワイプしてください。



スクロールインジケータは、ビューをスクロールできるときにセンターディスプレイに表示されます。

センターディスプレイのコントロールの使用



温度コントロール

イントロダクション

- ◀◀ このコントロールは多くの車両機能に使用されます。以下のいずれかの方法で温度などを調節します。
 - コントロールを目標の温度までドラッグする。
 - +/- をタップして温度を徐々に上昇/低下させる。
 - コントロールに表示されている目標温度をタップする。

関連情報

- センターディスプレイのビュー内での移動 (p. 41)
- 設定ビュー (p. 212)
- センサス - 接続および維持 (p. 30)
- リモートコントロールキーの作動範囲 (p. 276)
- アプリのダウンロード、アップデートおよびアンインストール (p. 500)
- センターディスプレイのキーボードの使用 (p. 50)
- センターディスプレイの設定を変更する (p. 46)

センターディスプレイのビュー内での移動

センターディスプレイには、ホームビュー、トップビュー、クライメートビュー、アプリケーションビュー(アプリビュー)、機能ビューという5つの基本ビューがあります。運転席ドアを開けると、画面は自動的に起動します。

ホームビュー

ホームビューは、画面が起動したときに表示されるビューです。このビューは、4つのサブビュー(ナビゲーション、メディア、電話、エキストラ)で構成されます。

アプリ/機能ビューで選択したアプリ/車両機能は、ホームビューの各サブビューで起動します。例えば、**FMラジオ** は **メディア** サブビューで起動します。

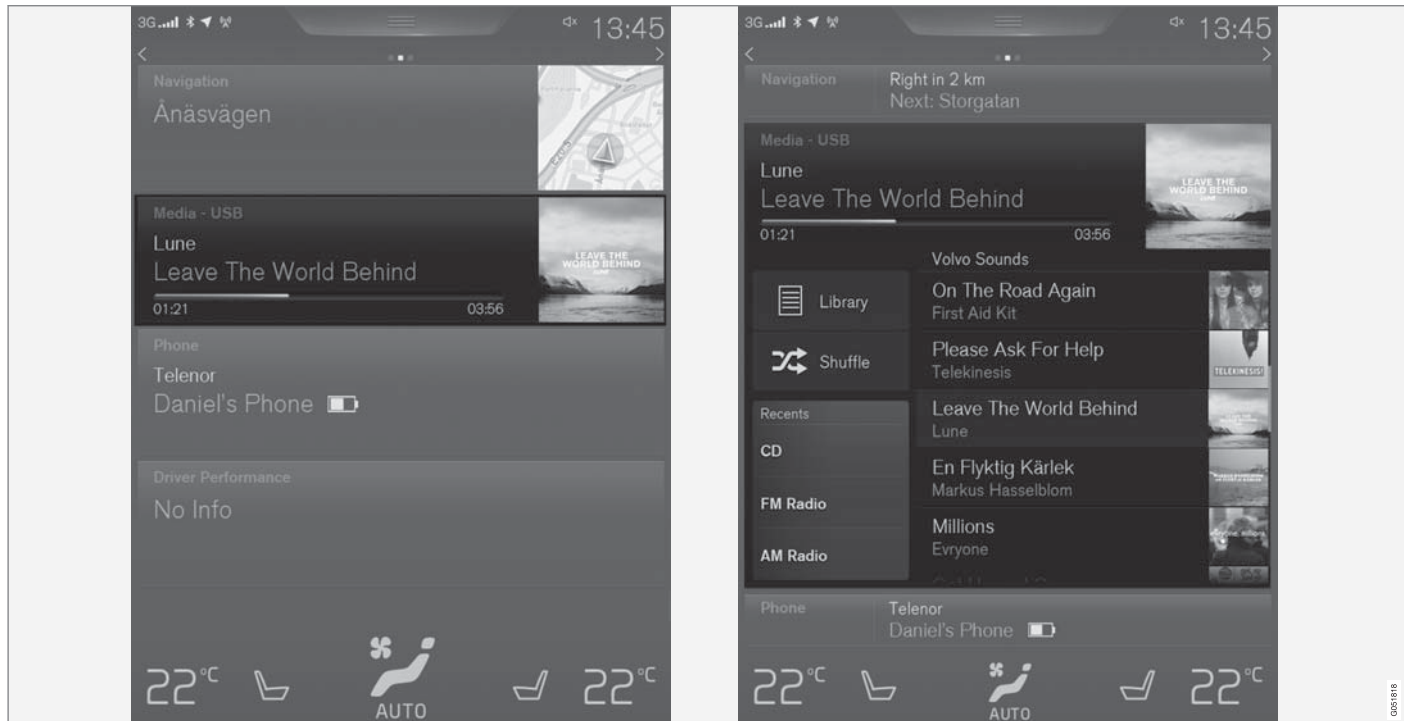
最後に使用したアプリ/車両機能が他の3つのサブビューのいずれにも該当しない場合、そのアプリはエキストラサブビューに含まれます。

サブビューには各アプリに関する簡単な情報が表示されます。

① 注意
初めて車両をお使いになる場合、ホームビューの一部のサブビューにはコンテンツがありません。

① 注意
ホームビュー標準モードで、ホームボタンを短く押してください。さまざまなビューへのアクセス方法を説明するアニメーションが画面に表示されます。

◀ サブビューをデフォルトモードから展開する



メディアサブビューのデフォルトモードと展開モード

サブビューの展開

- サブビューの任意の場所を押します。サブビューが展開すると、ホームビューの4番目のサブビューが一時的に消えます。他の2つは最小化され、一部の情報のみが表示されます。

展開したビューでは、アプリの基本機能にアクセスできます。

展開したサブビューを閉じる

- サブビューは3通りの方法で閉じることができます。
 - 展開したサブビューの上部をタップします。
 - 別のサブビューをタップします(タップされたサブビューが展開モードで開きます)。
 - センターディスプレイの下にあるホームボタンを短く押します。

サブビューをフルスクリーンモードで開く/閉じる

エキストラサブビューおよびナビゲーションのサブビューは、フルスクリーンモードで開くことができます。フルスクリーンモードでは、表示される情報および設定オプションが増えます。

新しいサブビューがフルスクリーンモードで開いている場合、その他のサブビューの情報は表示されません。



展開モードのときに、アプリをフルスクリーンで開く - シンボルを押します。



展開モードに戻るには、シンボルを押します。画面の下部にあるホームボタンを押す方法もあります。



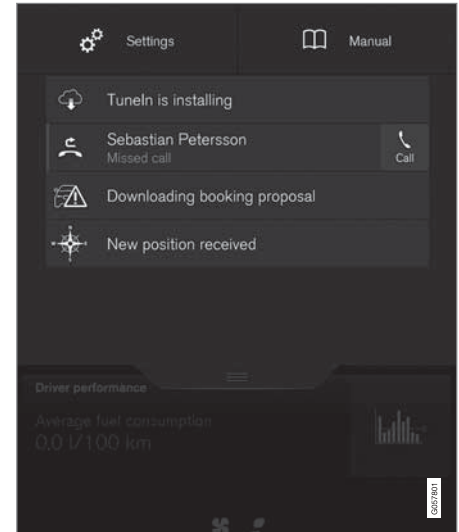
センターディスプレイのホームボタン

ホームボタンを押すと、いつでもホームビューに戻ることができます。フルスクリーンモードからホームビューの標準ビューに戻る - ホームボタンを2回押します。

ステータスバー

車内のアクティビティが画面上部に表示されません。ステータスフィールドの左側にはネットワーク/接続情報、右側には実行中のバックグラウンドアクティビティの表示とメディア関連情報および時計が表示されます。

トップビュー



トップビューが下にドラッグされた状態

画面上部のステータスバーの中央にタブがあります。タブを押す、または画面の上から下方



- ◀ にドラッグ/スワイプすることにより、トップビューを開きます。

トップビューでは以下の項目を利用できます。

- **設定**
- **取扱説明書**
- 車両の保存済みメッセージ

トップビューから移動する - トップビューの外側を押すか、またはトップビューの下部を押して、上方向にドラッグします。これに伴い、下層のビューが表示されて使用できるようになります。

注意

始動中/停止中、または画面にメッセージが表示されているときは、トップビューを使用することができません。エアコンビューが表示されているときも使用できません。

アプリからトップビューに移動する

アプリ(例: FM ラジオ)が動作しているときにトップビューを下方向にドラッグします

- **FMラジオ 設定** を押します。FM ラジオに関連付けられている設定が表示されます。
- **FM ラジオ 取扱説明書** を押します。FM ラジオに関連付けられている項目が開きます。

これは車両の一部のアプリにのみ適用されます。ダウンロードしたサードパーティー製アプ

リの場合、特定アプリの項目または設定などは利用できません。

クライメートビュー

クライメート列は画面の下部に常時表示されています。よく使うエアコンディショナー設定(温度、シートヒーターおよびファンの設定など)は、この列で直接変更することができます。



クライメート列の中央にあるシンボルを押すと、クライメートビューが開き、詳細なエアコンディショナー設定を利用できるようになります。



このシンボルを押すと、クライメートビューが閉じて前のビューに戻ります。

エアコンディショナーについては、「センターディスプレイのエアコンディショナー」を参照してください。

アプリケーションビュー



アプリケーションビューと車両のアプリ

ホームビューからアプリケーションビュー(アプリビュー)にアクセスするには、画面を右から左にスワイプします⁹。ここでは、ダウンロードしたアプリ(サードパーティー製アプリ)および内蔵機能用アプリ(**FM ラジオ** など)があります。一部のアプリについては、アプリビューに簡単

⁹ 左ハンドル車に適用されます。右ハンドル車の場合、反対方向にスワイプします。

な情報が直接表示されます(メッセージの未読メッセージの数など)。

アプリのアイコンをタップすると、アプリが起動します。関連するサブビュー(メディアなどで開きます)。

アプリの数が多い場合、アプリビューを下方向にスクロールすることができます。下方向にスクロールするには、下から上にスワイプ/ドラッグしてください。

アプリを移動するには:

1. アプリを長押しします。
 - 移動できる状態のときには、アプリの色が少し透明になり、大きさがやや大きくなります。
2. アプリを任意の場所にドラッグします。

注意
アプリおよび車両機能ボタンは、既に使用中のスロットには配置できません。

画面を左から右にスワイプする⁹、またはホームボタンを押すと、ホームビューに戻ることができます。

⁹ 左ハンドル車に適用されます。右ハンドル車の場合、反対方向にスワイプします。

機能ビュー



機能ビューとさまざまな車両機能ボタン

ホームビューから機能ビューにアクセスするには、画面を左から右にスワイプします⁹。ここでは、**レーン・デパーチャー・ウオニング**、**レーン・キープング・エイド**^{*}、**パークアシスト**などさまざまな車両機能をオン/オフすることができます。

機能の数が多い場合、ここでもビューを下方向にスクロールすることができます。下方向にス

クロールするには、下から上にスワイプ/ドラッグしてください。

アプリビューではアプリアイコンを押すことによりアプリを起動しますが、機能ビューはアプリビューと異なり、対応する機能ボタンを押すことで機能をオン/オフします。一部の機能(トリガー機能)は、押したときに新しいウィンドウで開きます。「機能ビューと車両機能用ボタン」を参照してください。

機能ボタンの移動や並べ替えは、アプリビューと同様に行うことができます。「アプリケーションビュー」の情報を参照してください。

関連情報

- センターディスプレイの操作 (p. 37)
- センターディスプレイの概要 (p. 34)
- 機能ビューと車両機能用ボタン (p. 48)
- アプリの設定を変更する (p. 216)
- センターディスプレイのステータスバーで使用されるシンボル (p. 46)
- センターディスプレイのエアコンディショナー (p. 222)

センターディスプレイのステータスバーで使用されるシンボル

センターディスプレイのステータスバーに表示できるシンボルの概要

ステータスバーには、進行中のアクティビティとその状況(場合による)が表示されます。スペースに制限があるため、ステータスバーにすべてのシンボルがつねに表示されるとは限りません。

シンボル	意味
	ローミング有効。
	携帯電話ネットワークの信号強度。
	Bluetooth 機器接続済み。
	Bluetooth は有効だが、機器は未接続。
	Wi-Fi ネットワークに接続済み。
	テザリング有効(Wi-Fi ホットスポット)。車両は利用可能な接続を共有します。
	カーモデム有効。
	USB を使用してインターネットに接続済み。

シンボル	意味
	携帯電話ネットワークとの接続タイプ(2G、3G)。
	リモート診断実行中。
	処理中。
	プリコンディショニング中。
	オーディオソース再生中。
	オーディオソース停止。
	通話中。
	オーディオソース消音。
	ラジオチャンネルからニュースを受信。
	トラフィックインフォメーションを受信。
	時計

関連情報

- ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイのメッセージ (p. 148)
- センターディスプレイのビュー内での移動 (p. 41)

センターディスプレイの設定を変更する

運転席ドアを開けると、センターディスプレイは自動的に起動します。サウンドおよびテーマをカスタマイズするために、センターディスプレイの設定を変更することができます。運転中に邪魔にならないように画面をオフにすることができます。

画面をオフにした後、オンに戻す



センターディスプレイのホームボタン

センターディスプレイをオフにすると、走行中の妨げにならないように画面が暗くなります。クライメート列の表示は継続され、画面に関連付けられているアプリとその他の機能は動作を続けます。

1. 画面の下にあるホームボタンを長押しします。
 - ＞ 画面のクライメート列以外の部分が暗くなります。クライメート列は表示され続けます。エアコンディショナー、オーディオ、ガイド*およびアプリなど、すべての機能が動作を続けます。このモードのとき、付属のクロスを使用して画面を清掃することができます。「センターディスプレイの清掃」を参照してください。
2. 画面をオンに戻す - ホームボタンをタップします。
 - ＞ 画面をオフにする前に表示されていたビューが再表示されます。

① 注意

操作実行のプロンプトが画面に表示されているときには、画面をオフにすることはできません。

① 注意

エンジンをオフにし、運転者のドアを開けると、センターディスプレイは自動的にオフになります。

センターディスプレイのシステムサウンドの音量をオフにする/変更する。

センターディスプレイのシステムサウンドの音量を変更または完全にオフにすることができます。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** を押します。
2. **サウンド** → **システム*リウム**を押します。
3. スクリーンのタッチサウンドの音量を変更/オフにするには **スクリーンタッチ** でコントロールをドラッグし、スクリーンキーボードのタッチサウンドの音量を変更/オフにするには **キーボード*タッチ** を使用します。コントロールを任意の音量までドラッグします。

画面の外観の変更

1. トップビューで **設定** を押します。
2. **My Car** → **ディスプレイ** → **テーマ** を押します。
3. テーマ (**Minimalistic** または **Chrome rings** など)を選択します。

これらの外観に追加する形で、**ノーマル** および **明るい** から選択することができます。**ノーマル** を選択すると、画面の背景が暗く、テキストが明るくなります。この設定がすべてのテーマの初期設定です。Light (ライト)を選択することもできます。この場合、背景が明るく、テキストが暗くなります。この設定は、日差しが強いときなどに役立ちます。

ユーザーはいつでもこの設定を選択することができます。この設定は周囲光の影響を受けません。

関連情報

- 設定ビュー (p. 212)
- センサス - 接続および維持 (p. 30)
- センターディスプレイの清掃 (p. 591)
- センターディスプレイの操作 (p. 37)

機能ビューと車両機能用ボタン

車両機能のボタンはすべて機能ビュー(センサーディスプレイの基本ビューの1つ)に配置

されています。ホームビューから機能ビューに移動するには、画面を左から右にスワイプしてください¹⁰。

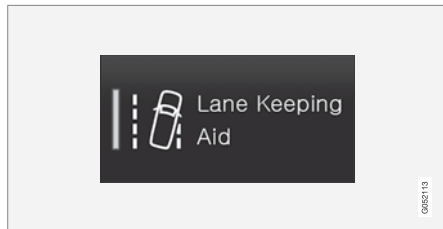
さまざまな種類のボタン

車両機能には3種類のボタンがあります。以下を参照してください。

ボタンの種類	特性	該当する車両機能
ボタン機能	オン/オフ位置があります。 機能が動作しているときは、ボタンアイコンの左にあるLEDインジケーターが点灯します。ボタンを押すと、機能がオン/オフになります。	機能ビューのほとんどのボタンは機能ボタンです。
トリガーボタン	オン/オフ位置がありません。 トリガーボタンを押すと、その機能のウィンドウが開きます。例えば、シート位置を変更するためのウィンドウなどが考えられます。	<ul style="list-style-type: none"> ● カメラ ● ヘッドレスト格納 ● シート折りたたみ機能 ● ヘッドアップディスプレイの調節
パーキングボタン	オン、オフおよびスキャンモードがあります。 機能ボタンと似ていますが、パーキングスキャン用の位置が追加されています。	<ul style="list-style-type: none"> ● パークイン ● パークアウト

¹⁰ 左ハンドル車に適用されます。右ハンドル車の場合、反対方向にスワイプします。

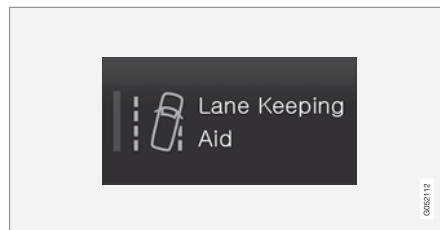
ボタンのさまざまなモード



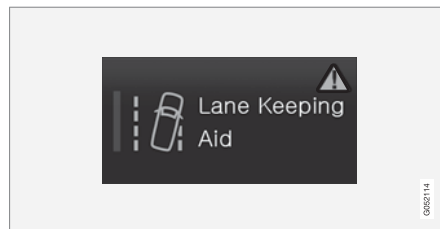
機能ボタンまたはパーキングボタンのLEDインジケーターが緑で点灯している場合、その機能は動作しています。一部の機能は、機能がオンになると、追加の説明が表示されます。この説明が数秒間表示された後、ボタンのLEDインジケーターが点灯します。

例えば、**レーン・キープ・エイト** の場合、ボタンを押すと、**所定速度時のみに 機能を起動します** と表示されます。

ボタンを短く1回タップすると、機能がオン/オフになります。



機能が解除されると、LEDインジケーターが消灯します。



ボタンの右側に三角の警告マークが表示されている場合、正常に動作していないものがあります。

関連情報

- センターディスプレイの概要 (p. 34)
- センターディスプレイのビュー内での移動 (p. 41)
- 設定ビューのカテゴリ (p. 213)

センターディスプレイのキーボードの使用

センターディスプレイキーボードを使用すると、キーを使用して入力することができます。文字を画面に手書きで入力することもできます。

キーボードで入力する

車内でテキストメッセージを入力するとき、パスワードを入力するとき、またはデジタルオーナーズマニュアルの項目を検索するときなど、文字および数字を入力するときには、キーボードを使用することができます。

キーボードは画面に入力できる場合のみ表示されます。



画像はキーボードに表示される可能性のあるボタンのいくつかを示しています。外観は言語設定およびキーボードの使用される状況に応じて異なります。

- ① 候補単語またはピン音の列¹¹。新しい文字の入力に伴って、候補単語は変化します。右矢印と左矢印を使用して、候補単語間を移動します。候補単語をタップして選択します。

¹¹ 日本語、中国語または台湾語のキーボードを選択した場合に適用されます。



一部の言語はこの機能に対応していません。対応していない場合、キーボードに候補単語の列は表示されません。

- ② キーボードで入力可能な文字は、選択されている言語により異なります(ステップ7参照)。文字をタップして入力します。
- ③ ボタンの機能は、キーボードが使用されている状況に応じて異なり、**0** または **.com** を入力する場合と**改行する**場合があります。
- ④ キーボードを非表示にします。非表示にできない場合、ボタンは表示されません。
- ⑤ 大文字で書くときに使用されます。大文字を1文字書いた後に小文字で入力を続けるには、もう1回押します。もう1回押すと、すべての文字が大文字になります。もう1回押すと、キーボードは小文字に戻ります。このモードでは、ピリオド、感嘆符または疑問符の後の最初の文字が大文字になります。テキストフィールドの最初の文字も大文字になります。名前または住所を入力するテキストフィールドの場合、各単語の先頭が自動的に大文字になります。パスワード、ウェブアドレスまたはメールアドレスを入力するテキストフィールドの場合、ボタンで設定を変更しない限り、すべての文字が自動的に小文字になります。
- ⑥ 数字の入力。数字入力のキーボード(2)が表示されます。**ABC** (数字モードのとき、**123** の代わりに表示)を押すと文字キー

ボードに戻り、**#\~** を押すと特殊文字のキーボードが開きます。

- ⑦ 文字入力言語を変更します(**UK** など)。利用可能な文字および候補単語(1)は、選択した言語により異なります。押して言語のリストを開き、使用する言語をタップします。キーボードの言語を追加するには、「キーボード言語の変更」を参照してください。
- ⑧ スペース。
- ⑨ 入力したテキストを削除します。短く押すと、一度に1文字ずつ削除されます。次の文字を削除するときには、少し時間をあけてからもう1回押してください。
- ⑩ キーボードモードを変更して、文字を手書き入力できるようにします。詳しくは、「画面に文字を手書き入力する」をお読みください。

キーボード上の確定ボタン(画像では非表示)を押して、入力したテキストを確定します。ボタンの外観は状況に応じて異なります。

キーボード言語の変更

キーボードの言語を切り替えることができるようにするには、最初に**設定**で言語を追加する必要があります。

設定の言語を追加/削除する

キーボードは自動的にシステム言語と同じ言語に設定されます。キーボード言語は、システム

言語に影響を及ぼすことなく手動で変更することができます。

1. トップビューで**設定**を押します。
2. **システム**→**キーボードレイアウト**を押します。
3. リストから言語を1つ以上選択します。
 - ＞ これで、キーボードから複数の言語を直接切り替えられるようになります。

設定で自発的に言語を選択していない場合、キーボードは車両のシステム言語と同じ言語を使用します。「設定ビューでシステム設定を変更する」を参照してください。

キーボードの言語の切り替え

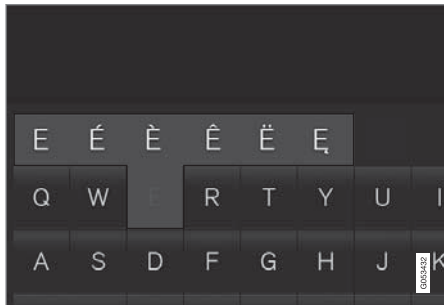
設定で多数の言語を選択した場合、キーボードのボタン(キーボード図の7)を使用すると、言語を切り替えることができます。

キーボード言語を変更するには：

1. ボタンを長押しします(上の画像を参照)。
 - ＞ リストが開きます。
2. 必要な言語を選択します。**設定**で4つを超える言語を選択した場合、キーボードからリストをスクロールすることができます。
 - ＞ キーボードは選択された言語に変更され、その他の候補単語が表示されます。



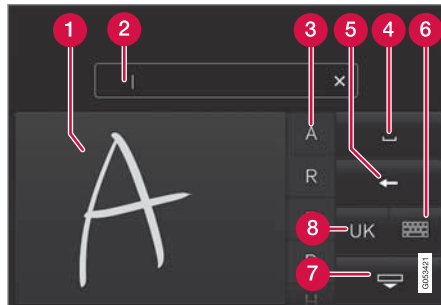
特殊文字



特殊文字(6 または 6 など)を入力するには：

1. 入力したい文字を長押しします。
 - ＞ ボックスが開き、選択可能な特殊文字が表示されます。
2. 必要な特殊文字を押します。特殊文字を選択しないと、本来の文字が入力されます。

画面に文字を手書き入力する

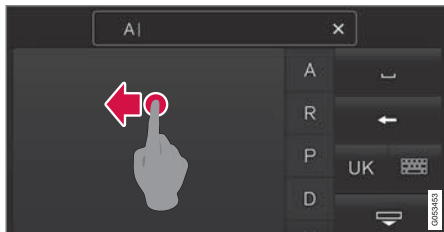


- 1 文字の手書き入力エリア。
- 2 画面に手書きした文字が入力されるテキストフィールド。
- 3 候補文字。リストはスクロール可能です。
- 4 スペース。
- 5 入力したテキストを削除します。短く押すと、一度に1文字ずつ削除されます。次の文字を削除するときには、少し時間をあけてからもう1回押してください。
- 6 通常の文字入力用キーボードに戻ります。
- 7 キーボードを非表示にします。非表示にできない場合、ボタンは表示されません。
- 8 テキスト入力言語を変更します。

文字を手書き入力する

1. 手書き入力エリア(1)に文字を書きます。
 - ＞ 多数の候補文字が表示されます(3)。もっとも可能性の高い文字がリストの最上位に表示されます。
2. しばらく待って文字を入力します。
 - ＞ リストの最上位にある文字が入力されます。リストの文字を押すことにより、別の文字を選択することもできます。

44 手書き文字を削除/変更する



手書き入力エリア(1)を横方向にスワイプすると、テキストフィールド(2)の文字がすべて削除されます。

- 文字を削除/変更するには、いくつかの方法があります。
 - リスト(3)の中から必要な文字を選んで押します。
 - 文字を削除してもう一度始めるには、テキスト削除ボタン(5)を押します。
 - 手書き入力エリア(1)を横方向(右から左¹²⁾)にスワイプします。手書き入力エリアを数回スワイプすると、複数の文字を削除できます。
 - テキストフィールド(2)のXを押すと、入力したテキストがすべて削除されます。

手書きでテキストフィールドに改行を入力する



手で改行を入力するには、手書き入力エリアで上記の記号を入力します¹³

関連情報

- 設定ビュー (p. 212)
- センターディスプレイの操作 (p. 37)
- テキストメッセージの操作 (p. 492)
- 設定ビューでシステム設定を変更する (p. 214)

¹² アラビア語のキーボードの場合、反対方向にスワイプします。右から左にスワイプすると、空白ができます。

¹³ アラビア語のキーボードの場合、同じ記号を逆向きに入力します。

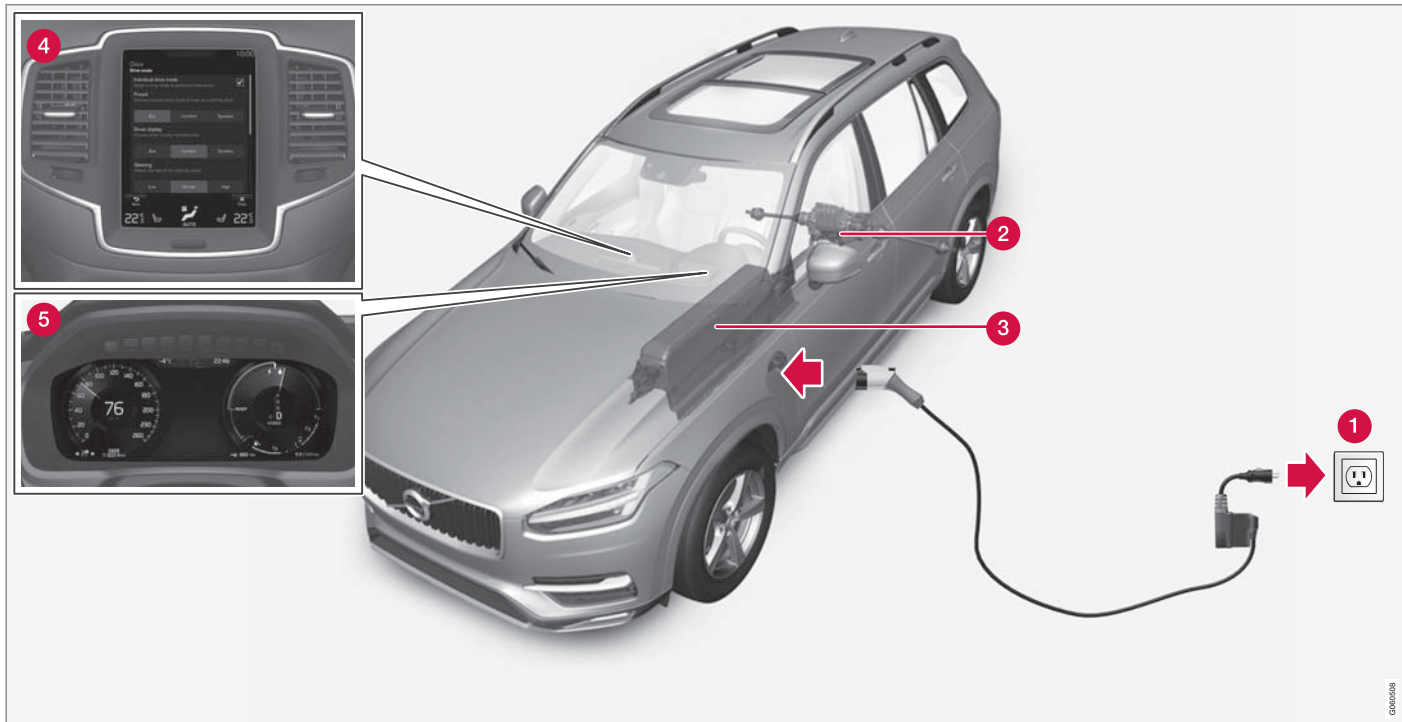
XC90 Twin Engine の概要

XC90 Twin Engine は通常の車両と同様に作動しますが、一部の機能がガソリンまたはディー

ゼルで走行する車両とは異なります。低速走行時は主に電動モーターが作動し、高速走行や

アクティブな運転をする場合にはガソリンエンジンが作動します。

概要



- ① ハイブリッドバッテリーの充電方法については、「ハイブリッドバッテリーの充電準備」の項を参照してください。
- ② 後輪駆動用電気モーター、「エンジンの始動」の項を参照してください。
- ③ ハイブリッドバッテリー、「ハイブリッドバッテリー」の項を参照してください。
- ④ ドライブモード、センターディスプレイおよびトンネルコンソールにあるドライブモードコントロールで切り替えます。「ドライブモード」の項を参照してください。
- ⑤ Twin Engine に固有の情報を表示するドライブオーバーディスプレイ、「ハイブリッドに関するシンボルおよびメッセージ」と「ドライブオーバーディスプレイに表示されるハイブリッドに関する情報」の項を参照してください。

重要事項

電力がない車両

車両に電力がない場合、ブレーキやパワーステアリングなどの重要な機能は使用できませんので、ご注意ください。

⚠ 警告

電気モーターとガソリンエンジンがオフになっており動力源が断たれた車両では、ブレーキを 작동することができません。

けん引は禁止されています

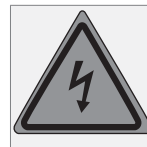
XC90 Twin Engine のけん引は電気モーターを損傷するため、禁止されています。車両を移動させるときには、車両のホイールを4輪とも平台上に載せた状態で運搬する必要があります。

エクステリアエンジンノイズ

電気モーターによってのみ駆動しているときはエンジン音がまったく発生しないため、人工的なエクステリアノイズ(車外に流れる音)が流れるようになっています。この音は、車外にいる子供や歩行者、動物などの道路利用者が車両の存在に気づきやすくし、車にひかれる危険を回避することを目的としています。

エクステリアノイズは標準設定として、走行速度が0~30 km/h (約 19 mph) のとき、後退時、そして **Pure** ドライブモードになっているときにオンになります。このノイズは、センターディスプレイの機能ビューからオフにすることができます。詳しくは「ドライブモード」の項をお読みください。

高圧電流



車両のコンポーネントの中には高圧電流を使用しているものがあり、取り扱いを誤ると非常に危険です。オーナーズマニュアルに明記されていないものには、触れないでください。エンジンルームのコンポーネントに関する概要については、「エンジンルームの概要」の項を参照してください。

⚠ 警告

オレング色のケーブルの取り扱いには、必ず有資格者が行う必要があります。

特有の機能

ドライブモード

走行中は、さまざまなドライブモードを適用することができます(例: 電動モーターのみによる走行、あるいはパワーが必要な際の電動モーターとガソリンエンジンの双方による走行など)。車両は選択されたドライブモードに応じ、運転のしやすさ、ドライビングエクスペリエンス、環境への影響、燃料経済性などが最適な組み合わせとなるように制御されます。詳しくは「ドライブモード」の項をお読みください。

◀ ドライバーディスプレイ

ドライバーディスプレイは、充電情報、選択中のドライブモード、バッテリーで走行可能な距離、ハイブリッドバッテリーの充電レベルなど、Twin Engine に固有の情報を表示します。詳しくは「ドライバーディスプレイに表示されるハイブリッドに関する情報」および「ドライブモード」の項をご覧ください。

プリコンディショニング

車両が本来の機能を発揮するには、ハイブリッドバッテリーとそれに関連する電気駆動システム、ならびにガソリンエンジンとその駆動システムが正しい作動温度にあることが重要です。バッテリーの容量は、バッテリーの温度が高過ぎても低過ぎても著しく減少します。プリコンディショニングにより出発前に車両の駆動システムと車内の準備を整えます。このため、走行中の摩耗やエネルギー需要が削減できます。ハイブリッドバッテリーによる走行可能な距離が向上します。詳しくは「プリコンディショニングのオン/オフ」の項をお読みください。

ハイブリッドバッテリーの充電

⚠ 重要

落雷の危険がある場合、絶対に充電ケーブルを接続しないでください。

ハイブリッドバッテリーはリチウムイオンタイプの電池で、複数の方法で充電が行えます。充

電ケーブルは車両と AC200V コンセントにつながることができます。充電時間は充電電流によって異なります。詳しくは「ハイブリッドバッテリーの充電」の項をお読みください。

ハイブリッドバッテリーは車両のエンジンでも充電できます。ハイブリッドバッテリーは、ブレーキペダルで軽くブレーキをかけているときに再充電されます。また、ハイブリッドバッテリーは下り坂走行時など、ギヤ位置 **B** でエンジンブレーキが作動しているときにも再充電されます。詳しくは「オートマチックトランスミッション用ギヤ位置」および「ドライバーディスプレイに表示されるハイブリッドに関する情報」をご覧ください。

関連情報

- ハイブリッドバッテリーの充電準備 (p. 459)
- エンジンを始動する (p. 411)
- ハイブリッドバッテリー (p. 572)
- ドライブモード (p. 422)
- ハイブリッドに関するシンボルおよびメッセージ (p. 466)
- ドライバーディスプレイに表示されるハイブリッドに関する情報 (p. 133)
- エンジンルームの概要 (p. 554)
- プリコンディショニングの開始/停止 (p. 243)
- ハイブリッドバッテリーの充電 (p. 455)

- オートマチックトランスミッションのギヤポジション (p. 416)

重要です。必ずお読みください。

重要です。必ずお読みください。

ご使用に際して！

このオーナーズマニュアルは、標準で取り付けられていない装備品、機能および日本仕様以外の装備品、機能についても記載されています。

このオーナーズマニュアルで説明されていても、車にその装備などが装着されていない/装着できない場合がありますのでご了承ください。

スウェーデン・ボルボ社の原稿を元に、日本語版を作成していますが、**現車と記述内容などが異なる場合は現車が優先されます。**

後付けのオプションパーツおよびアクセサリパーツなどの使用方法、あるいは取付方法については、各製品毎に添付されている取扱説明書（または取付説明書）の指示に従ってください。

ご不明な点がございましたら、ボルボ指定のディーラーにお尋ねください。

このオーナーズマニュアルに記載されている取扱説明は、一般的な使用状況を想定したものです。したがって、車の使用場所、使用環境、取扱方法により異なる場合がありますので、十分ご注意ください。

このオーナーズマニュアルに記載してあるすべての情報、イラスト、および仕様は、最新の製品情報に基づいています。製造者（メーカー）が予告なく変更する場合があります。

オーナーズマニュアル内のイラストは、大まかなものであり正確な描写を目的とするものでは

ありませんので、実際の車両と一致しない場合があります。

また、安全・快適なドライブのために知っていただきたい項目が、次ページから説明されていますので、必ずお読みください。

このオーナーズマニュアルは、車両の一部とみなされます。

車を売却される場合は、次のオーナーの方のためにこのオーナーズマニュアルとメンテナンスノート（整備手帳）および点検整備記録簿を車内に保管しておいてください。

道路運送車両法により、点検整備と日常点検が義務付けられています。

車を適切な状態に維持し、安心してご使用いただくために点検整備を必ず実施してください。

また、お客様ご自身で日常点検も必ず実施してください。

このオーナーズマニュアルに記載されている取扱方法と異なる使用や、点検整備を実施していないなどの場合は、ボルボ社の保証が適用されないことがありますので十分ご注意ください。

また、このオーナーズマニュアルの記載事項を守らなかったために生じた損傷、事故などに関しては、弊社は責任を負うことができませんのでご了承ください。

（オーナーズマニュアル掲載の写真、イラスト、文章の無断転載、複写を禁じます。）

© ボルボ・カー・コーポレーション

警告

このオーナーズマニュアルは、ボルボ・カー・ジャパンによる正規の販売ルートで輸入および販売された車両にのみ適用されます。

追加装備品の取り付けについて：

追加装備品を装着する場合は、製品に付属の取付要領書および注意事項に従って装着を行ってください。

ご不明な点がございましたら、ボルボ指定のディーラーにお尋ねください。

警告

ボルボ純正以外の追加装備品の装着や、装置の不適切な取り付けは、運転に悪影響を及ぼし故障や火災の原因となります。

無線機などについて：

無線機など、アンテナを介して通信する通信機器を車内で使用すると、車両の電子機器（エンジンマネジメントシステム、ABS、エアバッグなど）に影響を及ぼすおそれがあります。

詳しくは、ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。

関連情報

- 重要な安全上のご注意！ (p. 61)

重要な安全上のご注意！

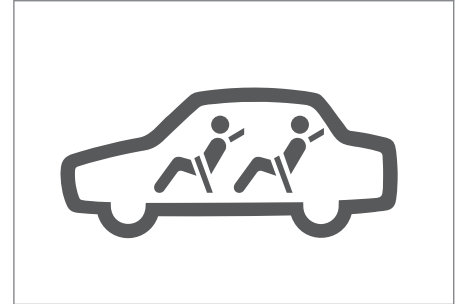
ドアを開ける際は、必ず周囲の安全を確認してください。



特に路上では、後続車や他の交通に十分注意してください。

- ドアを確実に閉めてください。ドアが確実に閉められていないと、走行中にドアが突然開いて思わぬ事故につながるおそれがあります。

シートベルトは正しい姿勢で、必ず正しく着用してください。



シートベルトを正しく着用できない場所に、同乗者を乗車させないでください。

- シートベルトのロックタブを、バックルに確実にロックしてください。同乗者のシートベルトも正しく着用しているか、必ず確認してください。

重要です。必ずお読みください。

- ◀ エアバッグは、シートベルトの補助装置です。



エアバッグが取り付けられていても、シートベルトは必ず着用してください。

- シートベルトを着用していないと、エアバッグが作動した際の衝撃で大ケガをするおそれがあります。
- 同乗者にもエアバッグシステムについての注意事項を、十分に説明してください。
- エアバッグは膨張速度が極めて速く、また、布でできているため、エアバッグ作動時に摩擦熱で皮膚にヤケドや擦過傷を負うおそれがあります。

お子様は、後席に乗車させてください。走行中は絶対に、ひざの上に幼児を抱えないでください。



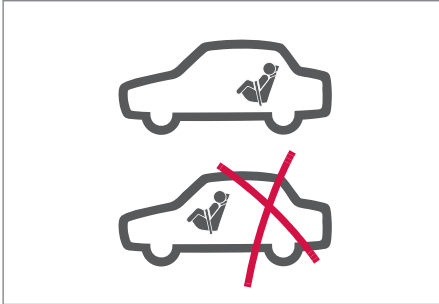
- お子様は助手席に乗車中にエアバッグが作動すると、エアバッグが作動した際に衝撃を受け、大ケガをするおそれがあり大変危険です。
- お子様を助手席に乗車させると、不意の動作が気になって運転の妨げになるばかりか、ドアインナーハンドルやスイッチ類に触れて思いがけない事故につながるおそれがあります。また、お子様の手の届くところに、マッチやライターなどを置かないでください。

後席であってもシートベルトは必ず正しく着用し、お子様にもシートベルトを着用させてください。



- シートベルトが首やあごに当たるような小さなお子様や幼児を乗車させる際は、チャイルドシートを必ずご使用ください。
- シートベルトが合わないまま使用すると、衝突の際に頭部や腹部などに強い衝撃を受けて大ケガをするおそれがあります。

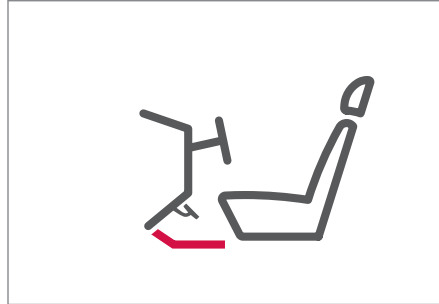
チャイルドシートは、必ず後席に取り付けてください。



助手席に取り付けると、エアバッグが作動したときの衝撃で、幼児が大ケガをするおそれがあります。

- チャイルドシート、または小児用の安全装置を取り付ける際は、使用する製品の取扱説明書の指示と警告に従って、確実に取り付けてください。
- 指示に従わないと、大ケガをする危険性が高くなります。

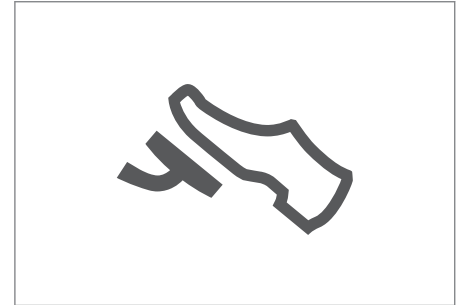
フロアマットは敷く前に運転席用、助手席用を必ず確認してください。



アクセルペダルに引っかからない位置に正しく敷いてください。

- エンジンを始動する前にフロアマットが正しく固定されているか確認してください。
- フロアマットを固定していない状態で使用したり、二重に敷いたり正しく敷かれていないと、運転中にフロアマットが移動してペダルと干渉し、暴走などのおそれがあります。
- アクセルペダルの上に、フロアマットを乗せないでください。ペダルが戻らなくなり、大変危険です。

ペダルの踏み間違いを防ぐため、エンジンを始動する前に右足で各ペダルを踏み、ペダルの位置を確認してください。



タバコやマッチは灰皿に入れる前に必ず完全に火を消してください。

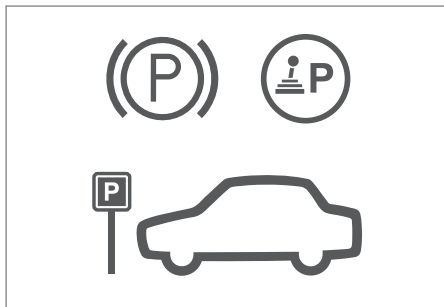


重要です。必ずお読みください。

- ◀ 使用後は必ず灰皿のふたを閉めてください。開けたままにしたり、火を消さずに入れると火災になるおそれがあり、大変危険です。

- 灰皿の中に吸いがらをため過ぎたり、紙などの可燃物はいれしないでください。
- タバコの火などによって、引火するおそれがあり大変危険です。

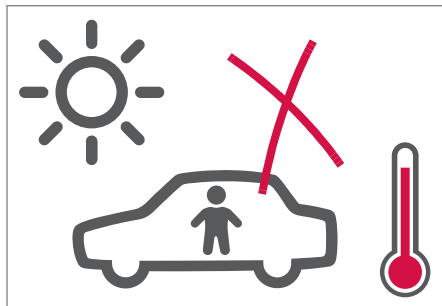
駐停車する場合は傾斜した場所を避けてください。



パーキングブレーキを確実にかけ、セレクトレバーがP(パーキング)の位置に入っていることを確認してください。

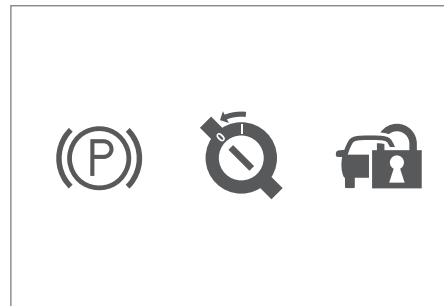
- エンジンを止めてください。

車から離れる場合は、お子様も一緒にお連れください。



- お子様だけを車内に残すことは危険です。特に炎天下に駐車した場合は、車内およびシートベルトやシートは高温になり、熱射病/熱中症やヤケドなど思わぬ事故につながるおそれがあります。
- お子様パワーウィンドやその他の装置を動かしたり、あるいは車を発進させてしまう場合があります、大ケガをしたり火災や事故につながるおそれがあります。

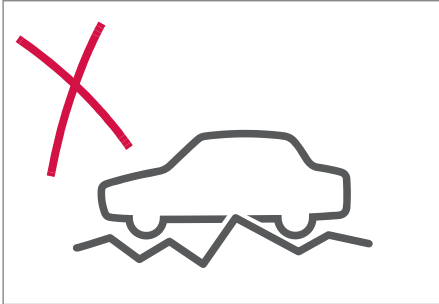
盗難やいたずらを未然に防ぐためにも、車から離れる際はパーキングブレーキをかけ、必ずエンジンを停止してキーを抜き、施錠してください。



- 車内に、貴重品を置いたままにしないでください。

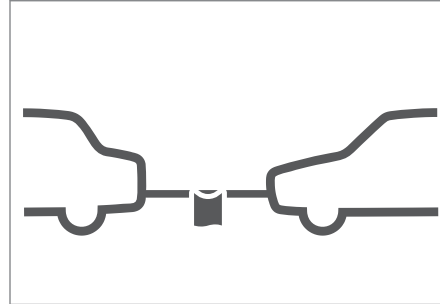
重要です。必ずお読みください。

悪路や未舗装路の走行は、十分ご注意ください。



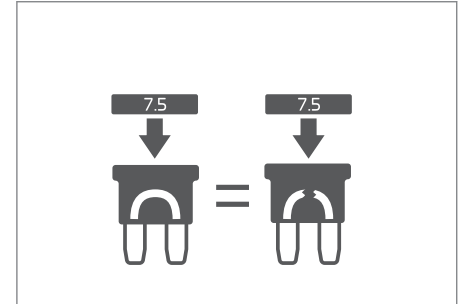
- タイヤ、床下、サスペンションなどを損傷し、さらには障害物に挟まれたり、ぬかるみにはまって脱出できなくなるおそれがあります。
- やむをえず走行する場合は、低速でゆっくり走行してください。
- 走行後、すみやかに車の点検を行ってください。
- AWD 車といっても、万能車ではありません。

けん引が必要な場合は、オーナーズマニュアルの「けん引」の項を参照して、



事故を起こさないように十分注意してください。また、周囲の交通状況にも注意してください。

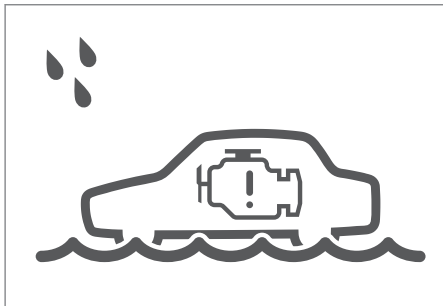
ヒューズを交換する場合は必ず同じ色、同じアンペアのヒューズと交換してください。



高アンペアのヒューズを使用すると過大な電流が流れてもヒューズが切れず、配線や電装品を損傷させて発火し火災が発生するおそれがあり大変危険です。

重要です。必ずお読みください。

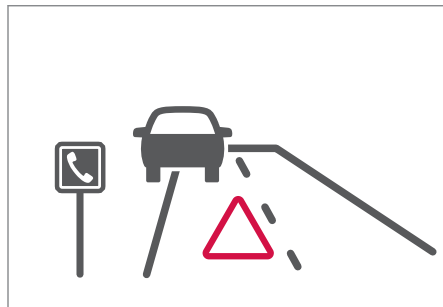
- ◀ 深い水たまりや、極端な冠水路を走行、また、突然の大雨などにより水しぶきを上げて走行した場合は、エンジンルーム内の電気配線やドライブベルト、タイミングベルトに水分が付着しているおそれがありますので、



早めに点検を受けてください。

- 水分が付着していると、エンジン不調やベルト類の損傷劣化の原因となります。

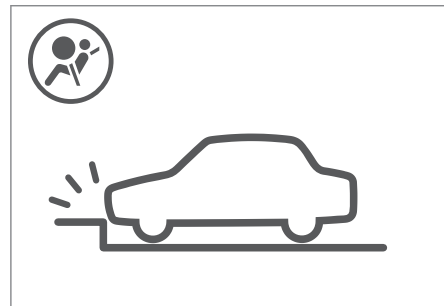
高速道路や自動車専用道路を走行中に故障したときなどは、急ブレーキをかけずに惰力で走行して路肩に車を止めてください。



- 故障やパンクで驚き、急ブレーキを踏むと、追突されたりスリップするおそれがあります。
- 車を惰性で直進させて、路肩に止めてください。
- 前輪がパンクしたときは、ハンドルが取られて大変危険です。
- 路肩に停車したときは、後続車にわかるように、停止表示器材を置いてください。なお、夜間の場合は、非常点滅灯およびテールランプを点灯してください。
- 非常電話は1kmおき(トンネル内は200mおき)に設置されています。

- 近い場所の非常電話で通報しようとして、反対車線へ横断しないでください。
- 通報後は、必ず全員安全な場所に避難してください。

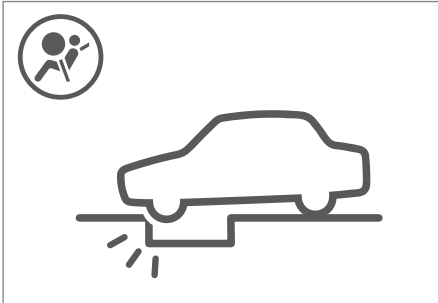
エアバッグ(運転席、助手席、サイドエアバッグ、インフレーターブルカーテン)は事故の際に必ず作動するとは限りません。



- 衝突の位置/角度、衝撃の度合いによっては、エアバッグが作動しない場合があります。
- 斜めに塀や、ガードレール、車などに衝突したとき。
- トラックなどの荷台の下に潜り込み衝突したとき。
- 追突されたり、転覆、横転したとき。
- 衝突の方向が、車の中心からずれていたとき。

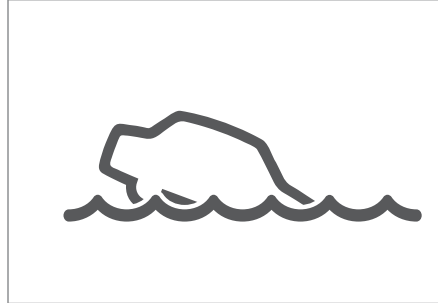
- 電柱、道路標識などのポールに衝突したとき。
- 前後フェンダー部など、車室部以外に側面から衝突されたとき。
- 電柱などに側面をぶつけたとき。
- 車室部に斜めに衝突されたとき。
- 側面にバイクなどが衝突したとき。

車の外見上の損傷が少なくても、エアバッグが作動する場合があります。



- 道路上の物や車止めなどの縁石にぶつかったとき。
- 穴や溝に落ちる、またはジャンプしたとき。
- 車両の下面に強い衝撃を受けたとき。
- その他、中央分離帯などに衝突したとき。

もしも、川や海などに転落した場合は…



水中に車が転落したときの脱出方法：

- 水中ではドアロックやパワーウィンドが使用できず、閉じ込められるおそれがあります。このような場合は、脱出用ハンマーなどを使用してください。（脱出用ハンマーは、カーショップなどで購入することができます。）
- 浮いている車のドアは、水圧で開きません。落ち着いてシートベルトを外し、窓が開けられる状態であれば、窓を開けて脱出してください。
- 窓が開けられない場合は、水面より高い位置の割りやすい側面の窓ガラスを脱出用ハンマーなどで割って脱出します。ドアをロック解除できる場合などには、車両内と車両外の水位がほぼ同じ高さになるまで待ち、ドアを開けて脱出します。

関連情報

- ご使用に際して！（p. 60）
- 火災および排気ガスに関するご注意（p. 68）

重要です。必ずお読みください。

火災および排気ガスに関するご注意

エンジンをかけたまま、車内で仮眠をとることは大変危険です。



- 仮眠中に無意識にアクセルペダルを踏んだり、セレクターレバーを動かすおそれがあり、排気システムの過熱による車両火災や車が走り出して事故が発生する場合があります。
- やむをえず仮眠するときは、必ずエンジンを止めてください。

ガレージのような換気の悪い場所や密閉された場所で、エンジンをアイドリングしないでください。



- 人体に有害な排気ガスが充満し、一酸化炭素(CO)中毒を起こすおそれがあります。
- このような場所でエンジンを始動する場合は、その前に必ずガレージのドアや窓を開放してください。

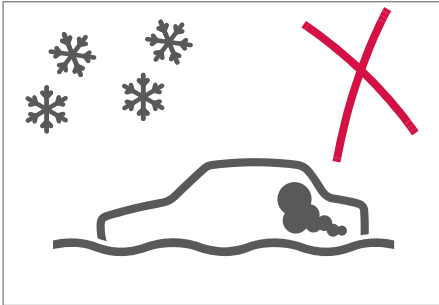
車内を閉めきった状態で、エンジンをアイドリングしないでください。



- 排気ガスが車体の水抜き穴や溶接の隙間、マフラーの腐食部から車内に侵入し、一酸化炭素(CO)中毒を起こすおそれがあります。
- 広い場所でも、しばらくアイドリングする必要があるときは、換気のため窓などを開けるか、エアコンディショナーを作動させてください。
- 熱せられた排気系統に接触するような枯れ草や枯葉、紙、木材など燃えやすい物の上に車を駐停車しないでください。風や気象条件によって、排気管や排気ガスの熱により火災になるおそれがあります。

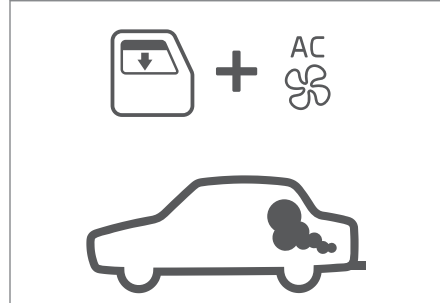
重要です。必ずお読みください。

大雪で停車してしまった場合は、車内への排気ガスの侵入に注意してください。



- 車の周囲に積もった雪や、特に排気管の出口を塞いでいる雪を取りはらってください。

排気ガスの臭いがしたり、排気ガスが車内に侵入している疑いがある場合は、すべての窓を開放してエアコンディショナーを作動させて換気してください。

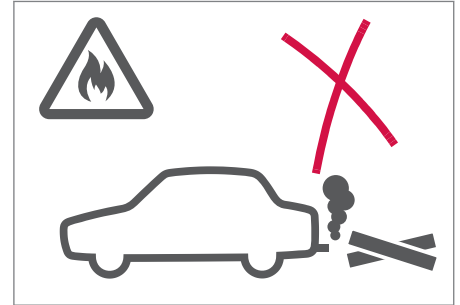


ただちに車の点検、または整備を受けてください。そのまま放置すると、一酸化炭素(CO)中毒を起こすおそれがあります。次のような場合も車内に排気ガスが侵入する原因となりますので、排気系統は点検してください。

- 排気管などの排気系統に異常音が聞こえるとき。
- 車の床下まわりに錆が発生しているとき。
- 衝突などにより車が損傷を受けたとき。
- 走行中、路上の障害物などにより損傷を受けたとき。
- 修理や整備が正しく行われていなかったとき。

- その他、車や排気系統が不適切に改造されているとき。

可燃物の近くに、駐車しないでください。



- 車両後方や排気管付近に燃えやすい物があると、火災になるおそれがあり危険です。
- 木材、ベニヤ板などが車両後方にあるときは、車両後端を 60 cm 以上離して止めてください。隙間が少ないと排気ガスによって変色や変形したり、火災になるおそれがあります。

エンジンルーム内に可燃物等がないことを確認してください。

- 走行前にエンジンルーム内に可燃物の置き忘れがないか確認してください。エンジンや排気管の熱により火災になるおそれがあります。
- 車両を長期間使用しなかった場合は、エンジンルーム内に小動物や鳥類によって持ち込



重要です。必ずお読みください。



まれた小枝等がないことを確認してください。エンジンや排気管の熱により火災になるおそれがあります。

- 走行中に焦げたような異臭等を感じたときは、ただちにエンジンを止めて車両から離れてください。

関連情報

- 重要な安全上のご注意！ (p. 61)
- エンジン始動時のご注意！ (p. 71)

エンジン始動時のご注意！



重要です。必ずお読みください。

- ◀ **エンジン始動時は、ブレーキペダルを踏み、パーキング(駐車)ブレーキをかけて、トランスミッションのセレクターレバーをP(パーキング)の位置にしてください。**

関連情報

- 火災および排気ガスに関するご注意 (p. 68)
- 発進時のご注意！ (p. 73)

発進時のご注意！

オートマチック車を発進させるときは、以下の点に注意して正しい方法で操作してください。

誤った方法で操作すると、思わぬ事故につながります。

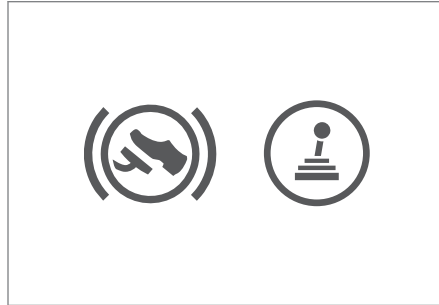
セクターレバーをP(パーキング)またはN(ニュートラル)から他へシフトするときは、アクセルペダルは踏まずに**必ずブレーキペダルを確実に踏みながら**行ってください。

- ブレーキペダルを踏まずに、セクターレバーをD(ドライブ)またはR(リバース)にシフトすると、アクセルペダルを踏まなくても車は動き出しますのでご注意ください。
- エンジン始動直後やエアコン作動時など、アイドル回転が高いときは、車が動こうとする力が強くなるので特にご注意ください。

発進時はブレーキペダルを、ゆっくりとゆるめることをつねに心がけてください。ブレーキペダルを徐々にゆるめてアクセルペダルに踏み換え、パーキングブレーキを解除します。

- 急発進を防ぐために、アクセルペダルは徐々に踏み込んでください。ルームミラーやドアミラーで、確認できない死角範囲があります。
- 発進するときは、周りの状況にも十分ご注意ください。

- 適切な始動方法と運転操作をご理解いただくために、「運転操作の要領」の説明もあわせてご覧ください。

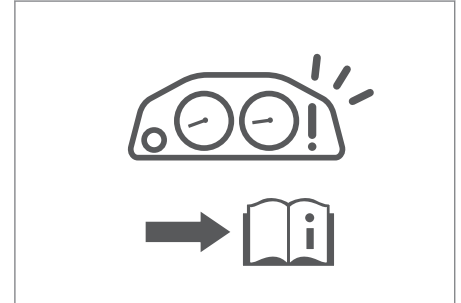


関連情報

- エンジン始動時のご注意！ (p. 71)
- 重要な操作上のご注意！ (p. 73)

重要な操作上のご注意！

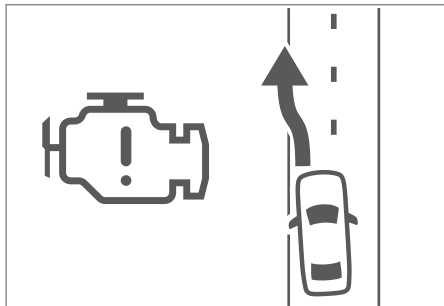
走行中にメーター・パネルにある警告灯が点灯したときは、ただちに安全な場所に停車し、オーナーズマニュアルに従って処置を講じてください。



- 走行中の車の状態にも注意し、いつもと違うエンジンや排気系統からの異音、臭い、運転感覚などの違いを感じた場合は、すみやかに点検を行ってください。そのまま走行を続けると、重大な事故につながるおそれがあります。

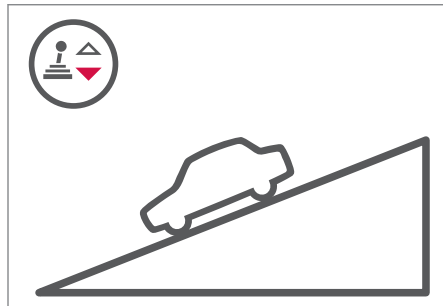
重要です。必ずお読みください。

- ◀ 走行中にエンジンが停止した場合は、安全な場所に停車してください。



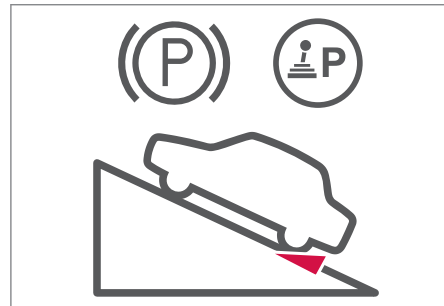
- 特に高速道路などで停車する場合は、後続車両に十分注意してください。
- 走行中にエンジンが停止すると、ブレーキの倍力装置やパワーステアリング装置の倍力補助が正常に作動しなくなるので、ブレーキペダルの踏み込みが硬くなり、ハンドルが重くなります。

長い下り坂や急な坂道を下る場合は、低いシフトレンジにシフトダウンしてエンジンブレーキを併用してください。



- ブレーキペダルを踏み続けたり急ブレーキを繰り返すと、ブレーキが過熱して効きが悪くなり、最悪の場合は停止できなくなるおそれもあります。
- エンジンブレーキを使用する際は、車のコントロールを失ってしまうような過度な効かせ方をしないでください。

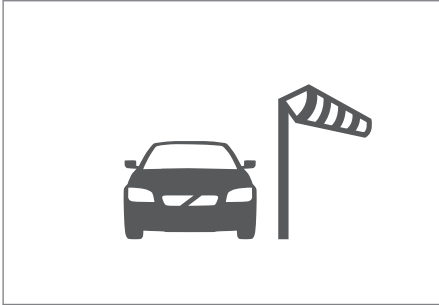
坂道で駐車する場合は、パーキングブレーキを確実にかけ、セレクトレバーをP(パーキング)に入れてください。



さらに急な坂道では、タイヤに輪止めをしてください。

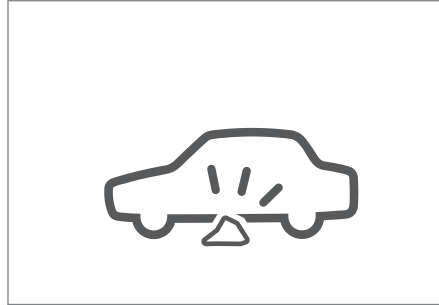
重要です。必ずお読みください。

強風で車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかりと握りスピードはひかえめに走行してください。



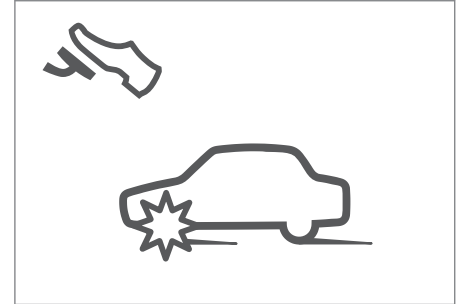
- 特にトンネルの出口や橋、土手の上、山の切り通し、大型車を追い越したり追い越されたりする場合、強い横風が発生しやすいので十分ご注意ください。

走行中に路上の障害物で、車の床下に衝撃を受けた場合は、安全な場所に停車し、車の下にブレーキオイルや燃料などの漏れがないか、また各部に損傷がないかも必ず確認してください。



- そのまま走行を続けると、大変危険です。

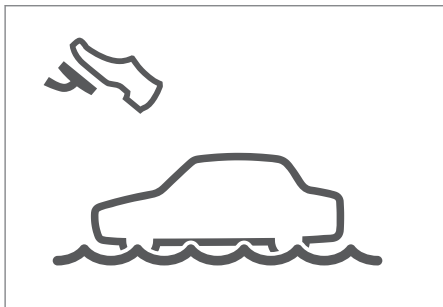
走行中にタイヤがパンクした場合は、タイヤ、ホイールを損傷させないように徐々にブレーキをかけてゆっくり減速してください。



急ブレーキをかけると、ハンドルを取られて大変危険です。

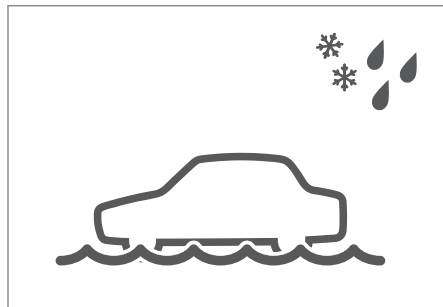
重要です。必ずお読みください。

- ◀ 水たまり走行後や洗車後は、ブレーキの効きが悪くなる場合があります。



- ブレーキペダルを軽く踏み、効き具合を確認してください。ブレーキの効が悪いときは、しばらく低速で走行しながらブレーキペダルを軽く数回踏み、ブレーキを乾かしてください。

雨天時は路面が滑りやすくなっています。



急加速、急ブレーキ、急ハンドルを避け、スピードをひかえめにして走行してください。

- 積雪路や凍結路など、普段と異なる環境で走行する場合は、特に慎重に運転してください。

走行中は、エンジンを止めないでください。



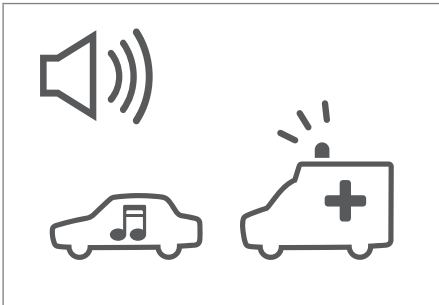
- 走行中にエンジンを止めると、ブレーキペダルの踏み込みが硬くなり、ハンドル操作も非常に重くなって事故につながるおそれがあります。
- リモートコントロールキーをロック位置にしてキーを抜くと、ハンドルがロックされてハンドル操作ができなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

走行中は、ハンドルやシートの位置を調節しないでください。



- 走行中に調節すると、正しい運転操作ができず重大な事故につながるおそれがあり大変危険です。

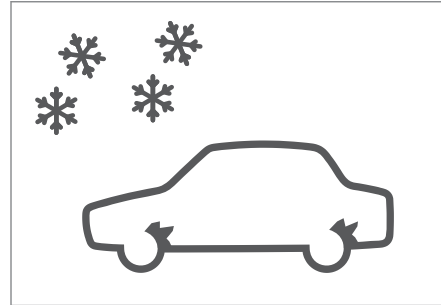
オーディオの音量はほどほどに



テレビやカーナビを見ながらの運転はおやめください。

- 過大な音量で聞いていると、緊急車両が近づいてもわからない場合があります。
- テレビやカーナビを見ながら、あるいは携帯電話を使用しながらの運転も事故につながるおそれがあり大変危険です。また、道路交通法違反にもなります。

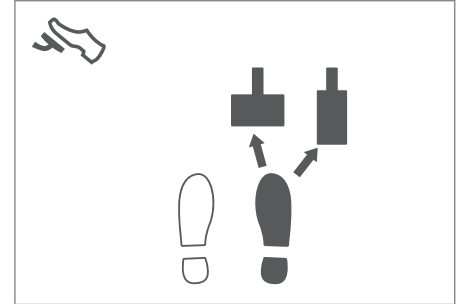
雪路を走行中は、はね上げた雪や氷が車のフェンダーの裏側に少しずつ溜まって氷結し、ハンドルの切れを悪くします。



ときどき確認し、着氷が大きくなる前に取り除いてください。

- ブレーキシステムに付着して、ブレーキの効きが悪くなる場合がありますので、ときどき軽くブレーキペダルを踏み、ブレーキの効き具合を確認してください。

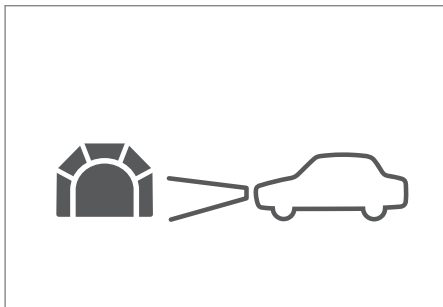
ブレーキペダルはアクセルペダルのように、右足で踏む習慣をつけてください。



- 左足でのブレーキ操作は、緊急時の反応が遅れるなど適切なブレーキ操作ができず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

重要です。必ずお読みください。

- ◀ トンネル内を走行する際は、ヘッドライトを点灯し、速度を落として進入してください。



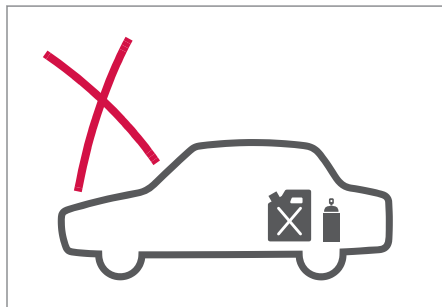
- 照明が悪いトンネルでは、進入直後に急に視界が悪くなる場合がありますので注意してください。また、トンネルを出た後は、ライトの消し忘れにもご注意ください。

関連情報

- 発進時のご注意！ (p. 73)
- してはいけないこと！ (p. 78)

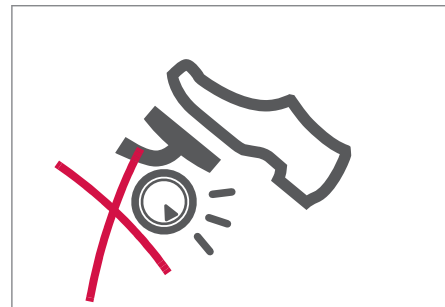
してはいけないこと！

車内やカーゴスペース内などに、燃料の入った容器やスプレー缶などの可燃物を放置しないでください。



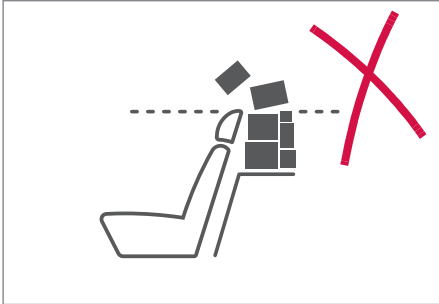
- 特に夏期には可燃物が気化しやすく、膨張して引火、爆発するおそれがあり大変危険です。

運転席の足元付近に、物を置かないでください。



- 空き缶などが足元にあると、アクセルペダルやブレーキペダルの下に挟まって操作の妨げとなり、重大な事故につながるおそれがあります。

荷物を、シートバックよりも高く積み上げないでください。



また、後席のシートバックの後方にあるハットシェルフの上に、荷物を置かないでください。

- 急ブレーキや衝突の際に物が移動したり飛び出してケガをしたり、荷物が損傷して思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 運転視界を妨げないためにも、荷物はできるだけラゲッジルームに載せ、あるいはシートバックの高さよりも低く水平に積み、走行中に荷物が動かないように確実に固定してください。

二人で、同一のシートベルトを使用しないでください。



- 衝突した際に二人が互いにぶつかり合い、大ケガをするおそれがあります。また、シートベルトが本来の機能を発揮しません。

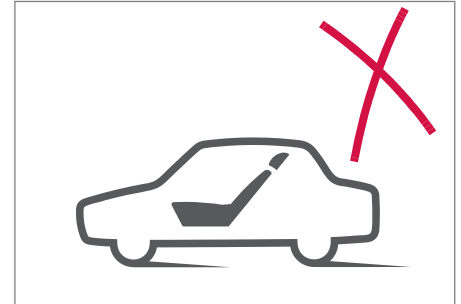
肩ベルトを、肩の後ろに通さないでください。



また、脇の下に通したり、ベルトをねじったり、たるみをつけて着用することもしないでください。

- 衝突の際に、上半身が前方へ移動してベルトの力が直接腹部にかかり、大ケガをするおそれがあります。

走行中はシートバックを、大きくリクライニングさせないでください。



- リクライニングしていると、衝突した際にシートベルトが十分に機能しないため、大ケガをするおそれがあります。

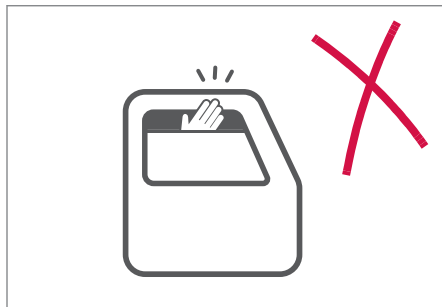
重要です。必ずお読みください。

- ◀ 走行中には、絶対にお子様をエアバッグの前に立たせたり、ひざの上に抱いたりしないでください。



エアバッグが作動した際に衝撃を受け、大ケガをするおそれがあり大変危険です。乗車させる場合は、チャイルドシートを必ず使用してください。

お子様にドアやパワーウィンド、パノラマルーフの操作をさせないでください。



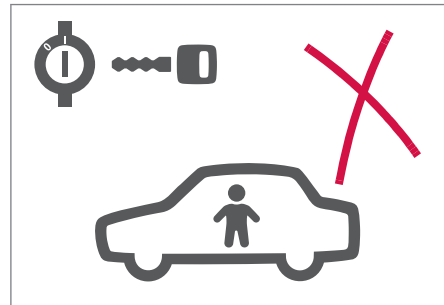
- 閉めるときに手や頭などを挟んで、思わぬケガをするおそれがあり大変危険です。
- 走行中、あるいは後方を確認しないでドアを開けると、大変危険です。

走行中にウインドやパノラマルーフから、顔や手を出さないでください。



- 車外の障害物に当たったり、急ブレーキの際に車外に投げ出されて、大ケガをするおそれがあります。

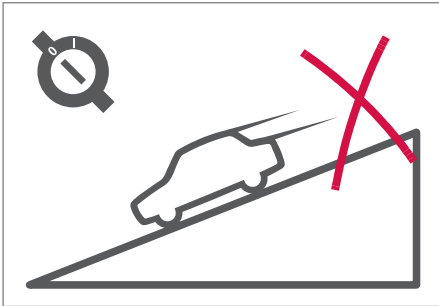
リモートコントロールキーを付けたまま、お子様を車内に残さないでください。



重要です。必ずお読みください。

- お様がパワーウィンドやその他の装置を動かしたり、あるいは車を発進させてしまう場合があります、大ケガをしたり火災や事故につながるおそれがあります。
- 車から離れる場合は、お子様も一緒にお連れください。また、リモートコントロールキーを必ず抜いてください。

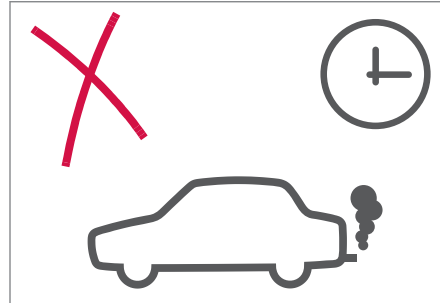
エンジンが停止しているときは、車を移動させないでください。



車を少しでも移動する場合は、必ずエンジンを始動してください。

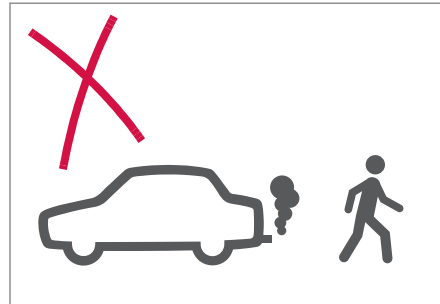
- エンジンが作動していないと、ブレーキペダルの踏み込みが硬くなり、ハンドル操作も重くなって思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 特に坂道を利用した移動は、事故を起こす可能性が高く危険です。

エンジンを始動したら、長時間アイドリングをしないでください。



エンジンに悪影響を与え、燃費も悪くなります。

エンジンが作動しているときは、車から離れないでください。

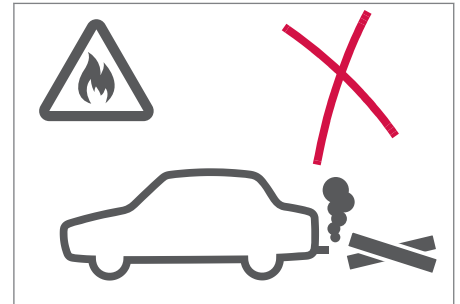


- パーキングブレーキが完全にはけられていない場合や、セレクターレバーがP(パーキ

ング)に確実に入っていない場合、車が急に動き出すおそれがあります。

- 「短い時間…」でも、車から離れたときに車内の貴重品を盗まれたり、車ごと盗難されるおそれがあります。

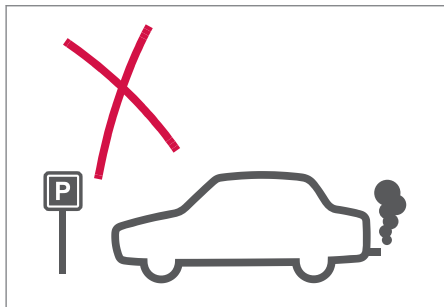
枯れ草や枯れ葉、紙、木材など、燃えやすい物があるところで駐停車したり、走行したりしないでください。



- 排気管や排気ガスの熱により着火し、火災が発生するおそれがあります。
- 木材、ベニヤ板などが車両後方にあるときは、車両後端を 60 cm 以上離して止めてください。隙間が少ないと排気ガスによって変色や変形したり、火災になるおそれがあります。

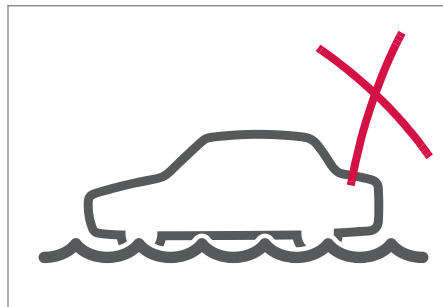
重要です。必ずお読みください。

- ◀ 停車中に、エンジンを空吹かししないでください。



- セレクターレバーが **P**(パーキング) または **N**(ニュートラル) 以外にあると、車が動き出して思いがけない事故を引き起こすおそれがあります。近隣の方の迷惑にもなります。

- 深い水たまりや冠水路は、走行しないでください。



- 水が吸気口や排気管からエンジンに侵入して、エンジンを損傷させるおそれがあります。
- 車内の床面に少しでも水が入ってしまった場合は、ただちに運転を中止してください。浸水した水が車の電子システムの作動に悪影響を与えて、誤作動するおそれがあり大変危険です。
- 冠水してエンジンが停止した場合は、絶対にエンジンを再始動させずに修理を依頼してください。エンジン内部が損傷する原因となります。

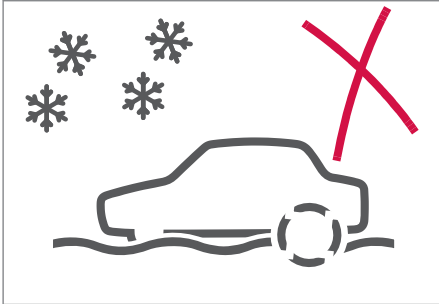
- 河原や砂地は、できる限り走行しないでください。



- タイヤ、床下、サスペンションなどを損傷し、さらには砂利石など障害物に挟まれたり、砂地にはまって脱出できなくなるおそれがあります。

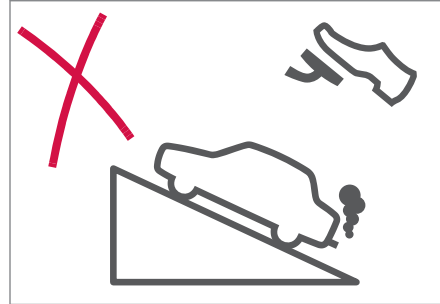
- AWD 車といっても、万能車ではありません。

車が新雪やぬかるみにはまり込んでしまった場合は、脱出するときに高速で車輪を回転をさせないでください。



- タイヤを高速で回転させると、タイヤが破裂したり、車体や駆動システム損傷して思わぬ事故につながるおそれがあります。

上り坂の途中で、ブレーキの代わりにアクセルペダルを踏んで、車を停止状態に保つことはしないでください。



- トランスミッションが損傷する原因となります。

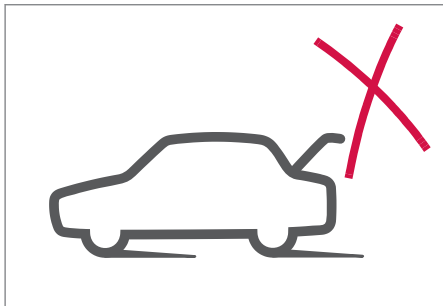
車が動いているときは、セレクターレバーをP(パーキング)に入れないください。



- 車が停止しているときにのみ、**P**(パーキング)にシフトしてください。走行中に**P**にシフトすると、トランスミッションが損傷します。
- 前進中に、**R**(リバース)にシフトしないでください。また、後退中に前進位置にシフトしないでください。トランスミッションが損傷する原因となります。

重要です。必ずお読みください。

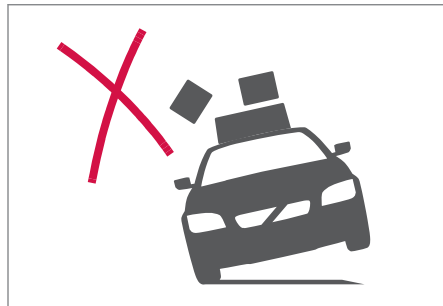
- ◀ トランクリッドまたはテールゲートを開けたまま、走行しないでください。



排気ガスが車内に侵入するおそれがあり大変危険です。

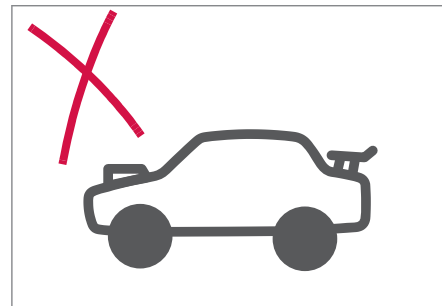
- トランクリッドまたはテールゲートを開けたまま走行すると、車外の物などに当たったり、車内の物が落ちて、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- ルーフには直接、物を載せないでください。



- 荷崩れなどを起こして、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ロードキャリアなどを付けた場合でも、重い物や大きな物は載せないでください。重心が高くなり、走行不安定になり大変危険です。

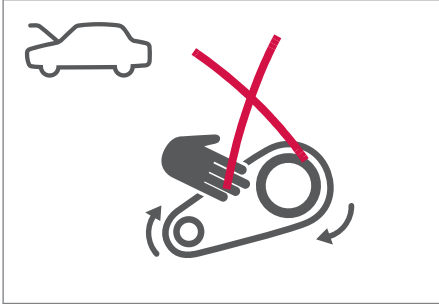
- 違法改造はしないでください。



- 車の性能や機能に適さない部品を装着すると故障の原因となったり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ボルボ純正部品を、必ずご使用ください。

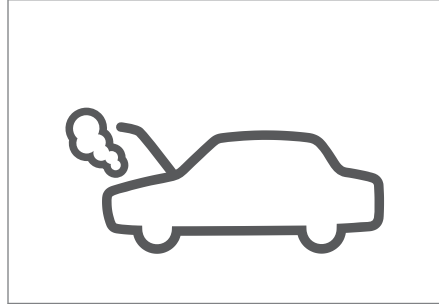
重要です。必ずお読みください。

エンジン作動中は、ドライブベルトなど回転している部分に手や衣服、髪毛などを近付けないでください。



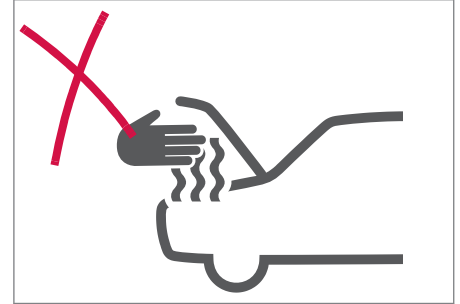
- 電動クーリングファンは、エンジン停止中でも自動的に回転する場合があります大変危険です。ご注意ください。

過熱したエンジンから噴き出す蒸気によって、ボンネットを開けただけでも大ヤケドをするおそれがあります。



蒸気が噴き出すのが見えたり、噴き出す音が聞こえた場合は、エンジンに近寄らないでください。

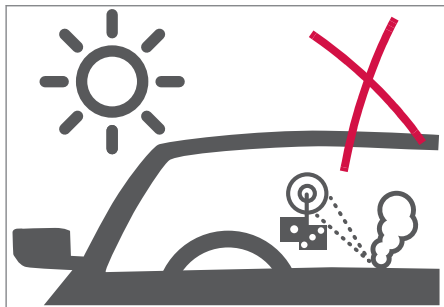
エンジンやラジエータが熱いときは、エキスパンションタンクキャップを開けないでください。



- 沸騰した液体と蒸気が噴き出して、ヤケドをするおそれがあります。冷えるまでお待ちください。

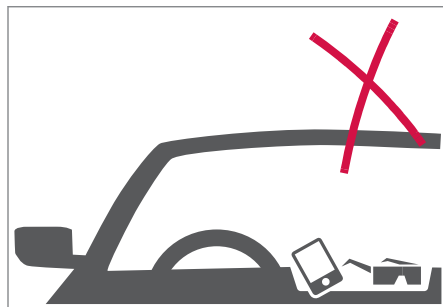
重要です。必ずお読みください。

- ◀ ウィンドスクリーンに、アクセサリーなどを取り付けないでください。



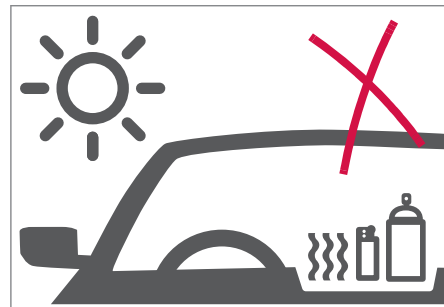
- 運転視界を妨げたり、吸盤などがレンズの役目をして火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。

メーター・パネルやダッシュボードの上に、物を置いたまま走行しないでください。



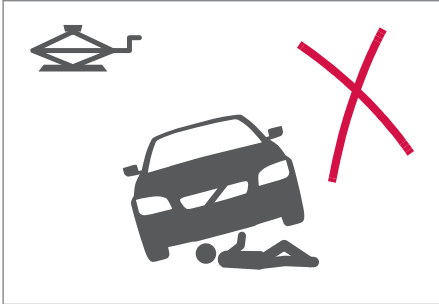
- 運転視界を妨げたり、発進時や走行中にそれらが移動して、安全運転の妨げになります。
- 衝突の際にエアバッグが正常に作動せず、大ケガをするおそれがあります。

車内にライターやスプレー缶、炭酸飲料などの缶類を放置しないでください。



- 炎天下などに駐車していると、車内が高温になり、ライターなどの可燃物が自然発火したり、缶類が破裂するおそれがあり大変危険です。

ジャッキアップした車の下には、絶対に入らないでください。



- ジャッキが突然外れて、大ケガをするおそれがあり危険です。また、ジャッキは必ず水平な場所で、正しいジャッキ取り付け位置にあてがってください。
- ジャッキをかけたまま、エンジンをかけないでください。車が突然動き出して、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 車が動き出さないようにパーキングブレーキをかけ、地面に接しているタイヤの前後に輪止めをしてください。

エアバッグ装置を、ご自分で修理・交換しないでください。



- エアバッグ装置の修理・交換は、必ずボルボ指定のサービス工場にご用命ください。ご自分で不適切な修理・交換を行うと、誤って作動して大ケガをしたり、正常に作動しないおそれがあり大変危険です。

運転中はナビゲーションシステムを眺め続けたり、携帯電話を使用したりしないでください。



- 運転中のナビゲーションシステム(RTI など)の注視/使用により前方不注意となり、事故を起こす原因となります。
- 携帯電話を探したり、電話の操作にとられる、また、会話に夢中になるなどして、大変危険で重大な事故を起こす原因となります。また、道路交通法違反にもなります。

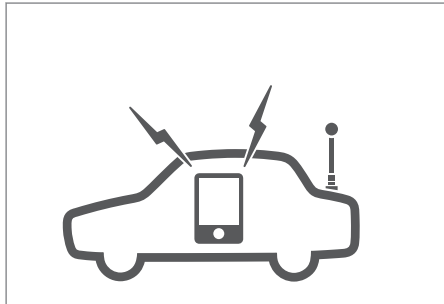
関連情報

- 重要な操作上のご注意！ (p. 73)
- その他使用上のご注意！ (p. 88)

重要です。必ずお読みください。

その他使用上のご注意！

車に無線機、自動車電話などの電子機器を取り付けると、エンジンなどを制御する電子システムの作動に障害を与える場合があります。



正常な走行ができなくなったり最悪の場合、火災など、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。

- このような装置を取り付ける際は、必ずボルボ指定のサービス工場にご相談ください。

走行中の飛び石などによるボディーの傷は、すみやかに補修をしてください。



また、酸性雨、塩害、鳥糞、薬品、鉄粉、煤煙、降灰などがボディーにかかった場合も、すみやかに洗い流すなどして取り除いてください。

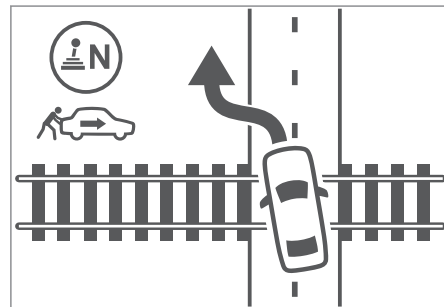
- ボディーの傷をそのままにしておくと、塗装面ばかりではなくボディーそのものを腐食させてしまいます。
- 鳥の糞などの成分で塗装を急速に変色させ、洗っただけでは取れないシミが残ります。

関連情報

- してはいけないこと！ (p. 78)
- 踏切などで動けなくなったとき！ (p. 88)

踏切などで動けなくなったとき！

安全な場所まで押し出してください。
(セレクターレバーは、N(ニュートラル)位置にしてください)



ただし、列車が近づいている場合は、ただちに全員安全な場所に避難してください。

- ただちに、車から全員降りて安全な場所に避難してください。
- 踏切から脱出できない場合は、ただちに踏切の非常ボタンを押してください。非常ボタンがない所では、非常信号用具/懐中電灯や目立ちやすい赤い布などで、安全な場所から列車に合図してください。

関連情報

- その他使用上のご注意！ (p. 88)
- 万が一、事故を起こしてしまったら… (p. 89)

万が一、事故を起こしてしまったら ...

事故現場での対処法は、次の通りです。



事故発生

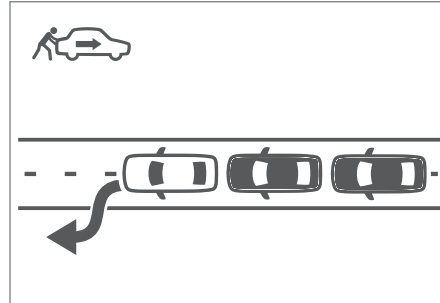
ケガ人を救助する：

- どんなに軽いケガでも病院へ。ただし、むやみにケガ人を動かさない方がよい場合があります。必要であれば救急車を呼んでください。(警察・消防に連絡するときは、場所や目印になるもの、ケガ人の状況、事故の様子などを伝える)

加害者、被害者に関わらず、相手を確認する。

- 氏名、住所、勤務先、車の登録番号(ナンバープレート)、相手の加入先の保険会社名、証券番号、契約者名などを確認する。

可能であれば、車を安全な場所に移動する：



- 渋滞や二次災害を起こさないように。

事故状況を確認してメモをとる。

- スピード、信号、停車位置などを確認します。目撃者の証言も重要です。忘れない内にメモしましょう。

必ず警察に連絡する



- 警察に事故届を、必ず出してください。

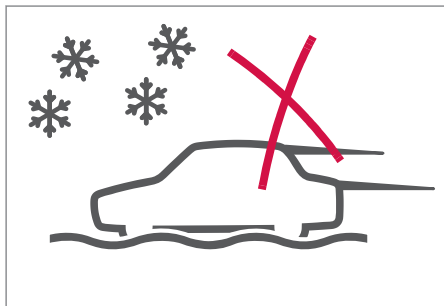
関連情報

- 踏切などで動けなくなったとき！ (p. 88)
- 冬道での安全走行のポイント！ (p. 90)

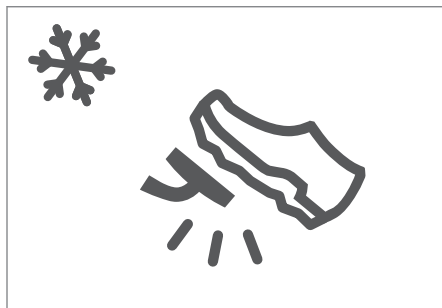
重要です。必ずお読みください。

冬道での安全走行のポイント！

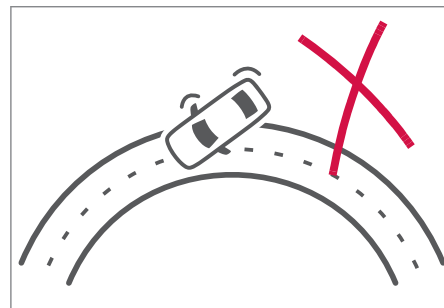
路面の積雪、雪質、凍結状況に応じた適切な運転を行ってください。



- 車に雪が積もっている場合は、雪を落としてから走行してください。
- 車に雪が積もっている場合、ドアの開閉時に車内に入らないように注意してください。
- 降雪時や前走車で巻き上げられる雪煙などで、視界が妨げられるので注意してください。また、ヘッドライトやテールランプに付着した雪は、こまめに取り除いてください。

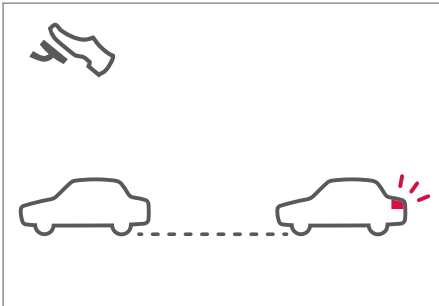
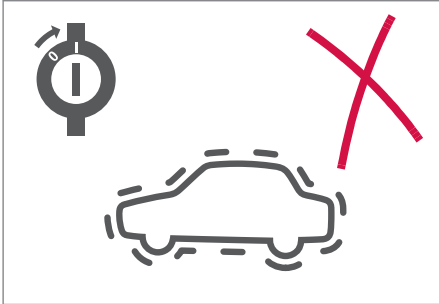


- ペダル操作を誤らないように、靴底の雪などを落としてください。
- ブレーキは一度に強く踏み込まずに、ソフトに踏んでください。
- 急ハンドルは避けて、スムーズなハンドル操作をしてください。
- 交差点付近やカーブの手前では、早めに減速してください。



- 急なアクセル操作によるスリップを避けるため、カーブは一定の速度で走行してください。
- 橋の上や山間部では、凍結やスリップに注意してください。
- 日中でも、日陰などは雪や氷が残っている場合がありますので、十分注意してください。

急発進は避けてください



ゆっくり発進してください。

- ブレーキは早めに、急ブレーキは避けて、エンジンブレーキを上手に使用してください。
- 下り坂では、エンジンブレーキを有効に使用してください。状況に応じて、シフトダウンしてください。
- 車間距離は十分にとり、車線変更は慎重に行ってください。
- つねに、2～3 台前の車の動き・状況を見て、判断するようにしてください。
- 車両前部を風下に向けて、**パーキング(駐車)ブレーキ**はかけずに、**P 位置**に入れてください。パーキング(駐車)ブレーキを使用すると、凍り付くおそれがあります。
- ワイパーブレードがウインドスクリーンに凍り付いてしまわないように、注意してください。
- ドアキーシリンダーが凍り付いてしまう場合がありますので、注意してください。

関連情報

- 万が一、事故を起こしてしまったら… (p. 89)
- タイヤ・ホイールについて！ (p. 91)

タイヤ・ホイールについて！

- タイヤローテーションをする場合、タイヤのサイドウォール部にタイヤの回転方向(→)が表示されている際には、前進方向のタイヤの回転方向に合わせて、すべてのタイヤの(→)が前進方向になるように装着してください。
- 積雪路など走行時は、ウインタータイヤの残り溝が新品時の 50%以上ある(トレッドに残り溝マークが出ていない)事を確認してください。溝の深さが 50%未満のウインタータイヤは、ウインタータイヤとしての機能を十分発揮しません。
- スチールおよびアルミホイールに、亀裂、変形などの損傷や著しい腐食があるもの、また溶接や手直した物は絶対に使用しないでください。
- タイヤヤリムの側面に縁石に接触させたり、道路上の物体や段差を乗り越えたりすることを避けてください。タイヤヤリムに傷が付くおそれがあります。
- 急発進、急加速、急停止、急旋回は、大変危険ですので絶対にしないでください。特に、積雪路など滑りやすい道路では、事故を起こすおそれがありますので、カーブでは減速するなど道路状況に応じた適切な運転をしてください。
- 走行中は、つねに走行速度に応じた車間距離を取ってください。特に、積雪路など滑り

重要です。必ずお読みください。



- やすい道路走行時は、十分な車間距離を取ってください。
- 走行中に操縦不安定、または異常な音および振動を感じたときは、すみやかに安全な場所に停車して、車両およびタイヤなどを点検してください。外観上、異常が見当たらなくても、早い時期にボルボ指定のサービス工場に点検を依頼してください。
- 瞬間パンク修理剤、またはタイヤ艶出し剤などで、タイヤに劣化など有害な影響を及ぼすおそれのあるものは、使用しないでください。
- タイヤのタイプやサイズを変更したとき(ウインタータイヤ \leftrightarrow 夏タイヤ)などの場合は、タイヤの運動特性・操縦特性が変化しますので、十分注意して運転してください。
- ウィンタータイヤで乾燥舗装路を走行する場合は、急発進、急加速、急停止、急旋回を避けて、安全運転を心がけてください。
- 車体と接触する状態で、タイヤを装着しないでください。また、フェンダーからはみ出すタイヤ・ホイールの装着は、違法改造となりますので、絶対にしないでください。なお、フェンダーからはみ出さない場合でも、ホイールハウスの内側、フェンダーの折り返しなどとの干渉にも注意してください。
- タイヤを取り外して保管する場合は、直射日光、雨および水、油類、その他熱源、火花などがかからないようにしてください。

- ホイールバランス調整時は、必ず4本調整してください。
- 定期的にホイールボルト・ナットの締め付け状態、ホイールバランスウエートの取り付け状態を確認してください。
- 自動洗車機を使用するとアルミホイールに傷が付くおそれがありますので、なるべく手作業で行ってください。

関連情報

- 冬道での安全走行のポイント！ (p. 90)
- タイヤチェーンについて！ (p. 92)

タイヤチェーンについて！

- 装着するタイヤとサイズが合ったタイヤチェーンを装着してください。
- タイヤチェーンの装着を、事前に練習してください。
- タイヤチェーンは、必ず前輪左右に同じ物を装着してください。
- タイヤチェーン装着時、車体との隙間が十分にある事を確認してください。(詳しくは、ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。)
- タイヤチェーンの脱着は、安全な場所で行ってください。
- タイヤチェーンを脱着する際に車を動かす場合は、チェーンの金具類をタイヤで踏まないでください。
- タイヤチェーン装着後、約200mほど走行して異常な音、振動などがないか確認し、安全な場所で停車して再度、タイヤチェーンの取り付け状態を確認してください。
- タイヤチェーン装着時は、時速50 km/h (30 mph) 以下で走行してください。
- タイヤチェーン装着時は、急発進、急加速、急停止、急旋回やタイヤを空転させる運転は絶対にしないでください。

重要です。必ずお読みください。

- タイヤチェーン装着走行中、異常な音や振動がしたら、安全な場所に車を止めて点検してください。
- 雪のない舗装路面を、タイヤチェーンを装着して連続走行しないでください。

関連情報

- タイヤ・ホイールについて！ (p. 91)
- 燃料補給時のご注意！ (p. 93)

燃料補給時のご注意！

燃料補給時は、次の事を必ず守ってください。

燃料補給時は、次の事を必ず守ってください。身体に静電気を帯びていると、放電による火花で燃料に引火する場合があります、ヤケドをするおそれがあります。

- エンジンは、必ず止めてください。
- 車のドア、窓を閉めてください。
- タバコなどの火気を、近付けないでください。
- 燃料の給油口にポンプのノズルを挿入する前に、車両のボディまたは給油機などの金属部分に触れて、必ず身体の静電気除去を行ってください。
- 給油口のフラップを開くなどの給油操作はすべて、必ず一人で行ってください。(複数で行うと、静電気が除去できない場合があります。)
- 給油中、再び車内のシートに戻らないでください。(座ることで再帯電する場合があります)
- 給油口に、他の人を近付けないでください。
- ガソリンスタンドの計量器が、最初に自動停止した時点で給油をやめてください。過度に給油すると、気温が高いときに燃料が外に漏れ出すおそれがあり、大変危険です。

その他、ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を必ず守ってください。



- アルコール系燃料や不適切な燃料添加剤を給油/使用すると、走行性能の悪化、およびエンジン/燃料系統に重大な障害を与え、燃料漏れなどの不具合や火災などの事故にいたる危険性があり、また車を長期間ご使用されずにいた場合、燃料が劣化するおそれがあります。

必ず、適正なガソリンをご使用ください。

- ディーゼルエンジン搭載車にディーゼル以外の燃料の補給は絶対にしないでください。
- ガソリンエンジン搭載車にガソリン以外の燃料の補給は絶対にしないでください。
- 指定グレードの燃料を使用してください。
- 誤った燃料を少量でも使用すると、燃料系統やエンジンが損傷するおそれがあります。

重要です。必ずお読みください。

◀ 関連情報

- タイヤチェーンについて！ (p. 92)
- 保証とアフターサービス (p. 94)

保証とアフターサービス

保証書(別冊)

- 保証書は、必ず「お名前、ご住所、販売店名」などの必要事項が記入され、販売店印が押印されていることをご確認の上、保証規定の内容をよくお読みください。保証書は、大切に保管してください。 **保証期間、保証内容などは、保証書(別冊)に記載しています。**

修理を依頼される時

- 修理を依頼される時はお買い上げいただいたボルボディーラー、またはボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。なお、保証期間中に修理を依頼される際は、保証書/メンテナンスノート(整備手帳)、点検整備記録簿をご提示ください。保証規定に示す条件に従って、ボルボ指定のサービス工場での修理させていただきます。

ご不明な点や修理に関するご相談

- 修理などに関するご相談、ご不明な点は、お買い上げいただいたボルボディーラー、またはボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。

なお、故障などの緊急時にボルボディーラー、またはボルボ指定のサービス工場に連絡が取れない場合(定休日など)は、ロードサイド・アシスタンスサービス、JAF などに対応を依頼してください。

関連情報

- 燃料補給時のご注意！ (p. 93)

重要な安全上のご注意！

重要な安全上のご注意！

重要な安全上のご注意！

車両には、事故の際に運転者と乗員を保護するために連携して作動する複数のセーフティシステムが装備されています。

車両には、事故の際に反応し、さまざまなセーフティシステム(さまざまなタイプのエアバッグやシートベルトテンショナーなど)を作動させるセンサーが数多く装備されています。さまざまな角度からの衝突、横転または路上からの逸脱など、特定の事故状況に応じて、システムは最善の保護を提供できるよう反応します。

Whiplash Protection System (後部衝撃吸収リクライニング機構付フロントシート)など、完全に機械式のセーフティシステムもあります。また、車両は追突による衝撃の大半をビーム、柱、フロア、ルーフ、ボディのその他の部分に拡散できるよう作られています。

追突後、車両の重要な機能が損傷した場合は、車両のセーフティモードがオンになることがあります。

ドライバーディスプレイの警告灯



車両の電気系統をイグニッション位置 II にすると、ドライバーディスプレイの警告灯が点灯します。車両のセーフティシステムに不具合がない場合、警告灯は約 6 秒後に消灯します。

警告

警告灯が点灯している場合、または走行中に警告灯が点灯し、ドライバーディスプレイに **SRSエアバッグ 緊急サービスが必要 工場まで運転して下さい** というメッセージが表示される場合は、安全システムの一部が正常に機能していないことを表しています。すみやかにボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。



特定の警告灯が損傷している場合は代わりに車両全般用の警告灯が点灯し、ドライバーディスプレイに同じメッセージが表示されます。

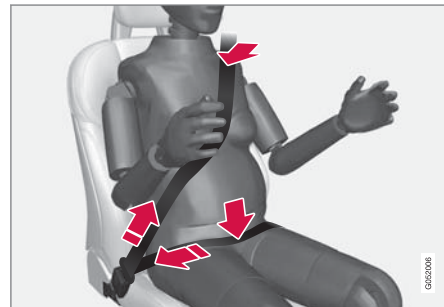
関連情報

- 妊娠中の安全確保のために (p. 96)
- シートベルト (p. 98)
- エアバッグ (p. 104)
- Whiplash Protection System (p. 97)
- セーフティモード (p. 110)
- チャイルドセーフティ (p. 111)

妊娠中の安全確保のために

妊娠中はシートベルトを正しく使用することが重要です。また、妊娠中の方が運転する場合は、正しい着座姿勢をとることも重要です。

シートベルト



肩ベルトは肩から胸の中央を通り、腹部の横にぐるぐるとかけてください。

腰ベルトは、骨盤のできる限り下の位置にかけてください。絶対に腹部を圧迫しないように注意してください。シートベルトはゆるみがない状態で、体に確実に密着させてください。さらに、シートベルトがねじれていないことを点検してください。

着座姿勢

妊娠中の運転では、妊娠月が進むにしたがって、フットブレーキやステアリングホイールの操作など車両の操作がしやすいようにシートおよびステアリングホイールを調節してください。

シートを腹部とステアリングホイールの間の距離が最大となる場所に配置してください。

関連情報

- 重要な安全上のご注意！ (p. 96)
- シートベルト (p. 98)
- フロントマニュアルシート (p. 161)
- フロントパワーシート* (p. 162)

Whiplash Protection System

後部衝撃吸収リクライニング機構付フロントシート、Whiplash Protection System (WHIPS) はむち打ち症から保護します。このシステムは、衝撃を吸収するバックレストおよびシートクッションと、特別な機構を持つフロントシートのヘッドレストで構成されています。

追突されたときに、追突の角度、速度、および追突車の状態などが作動条件に合うと、WHIPS が作動します。

WHIPS が作動すると、フロントシートバックレストが後方に傾斜し、シートクッションが下方方向に移動して、運転席および助手席の乗員の着座姿勢を変えます。この機能は、むち打ち症になる危険性を低減します。

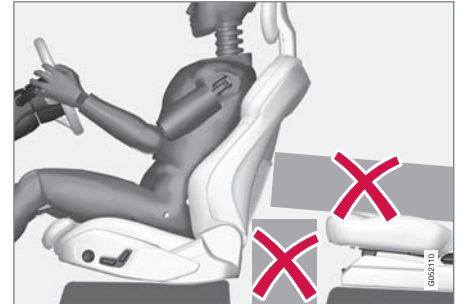
警告

WHIPS は、シートベルトの補助機能です。シートベルトを必ず着用してください。

警告

ご自身で、シートまたは WHIPS の改造や修理を絶対に行わないでください。ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。

衝突などが原因でフロントシートに大きな力が加わった場合は、必ずシートを交換してください。シートに損傷が見当たらなくても、シートの保護装置の一部が失われているおそれがあります。



WHIPS の作動が妨げられないよう、フロントシートの後ろまたは下のフロア、またはフロントシートの後方のシート列にはなにも置かないようにしてください。

重要な安全上のご注意！

警告

リアシートクッションとフロントシートバックレストの間に、硬い物を置かないでください。

警告

リアシートバックレストを倒す場合は、倒したバックレストとフロントシートバックレストが接触しないように、フロントシートを前方に移動させてください。

着座姿勢

WHIPS の保護効果を最大限に引き出すために、運転者と助手席乗員は正しい着座姿勢を保ち、システムの機能を妨げないようにすることが必要です。

走行を開始する前に、フロントシートでの正しい着座姿勢を確認してください。

運転者と助手席乗員は、頭部とヘッドレストの間の隙間ができるだけ小さくなるような姿勢で、シートの中央に座ってください。

WHIPS とチャイルドシート

WHIPS はチャイルドシート/ブースタークッションに座っているお子様の保護効果を損なうものではありません。

助手席側エアバッグが非作動状態であれば、助手席にチャイルドシートやブースタークッションを取り付けることができます。

関連情報

- 重要な安全上のご注意！ (p. 96)
- フロントマニュアルシート (p. 161)
- フロントパワーシート* (p. 162)
- Rear Collision Warning (p. 375)

シートベルト

シートベルトを着用していないと、急ブレーキの際に大ケガをしたり、生命に危険がおよぶおそれがあります。

シートベルトの保護機能が最大の効果を発揮するためには、シートベルトが体に密着していることが重要です。バックレストはできるだけ倒さずに、立てた位置で使用してください。シートベルトは、通常の着座姿勢のときに効果を発揮するようにできています。

警告

シートベルトをフックまたはその他の車内付属品に留めたり、かけたりしないでください。シートベルトが正しく締まらなくなります。

警告

シートベルトとエアバッグの作動は、連動しています。シートベルトを着用していない場合、または着用方法が正しくない場合は、衝突の際にエアバッグの保護機能が最大限に働かないおそれがあります。

⚠ 警告

ご自身で、シートベルトの改造や修理を絶対にしないでください。ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。

衝突などが原因でシートベルトに大きな力が加わった場合は、必ずシートベルト装置全体を交換してください。シートベルトに損傷が見当たらなくても、体を保持する機能が失われているおそれがありますのでご注意ください。シートベルトがすり切れていたたり損傷している場合は、新しいシートベルトと交換してください。新しいシートベルトは必ず認定されたタイプを使用し、交換前と同じ位置に取り付けてください。

関連情報

- 重要な安全上のご注意！ (p. 96)
- シートベルトテンショナー (p. 99)
- シートベルトの着脱 (p. 100)
- ドアおよびシートベルトリマインダー (p. 102)

シートベルトテンショナー

車両には危機的な状況や衝突時にシートベルトのゆるみを取り除くことのできるパイロテクニクおよび電動シートベルトテンショナーが装備されています。

衝突時のシートベルトテンショナー

すべてのシートベルトに、パイロテクニクシートベルトテンショナーが装備されています。

パイロテクニクシートベルトテンショナーは、衝突により一定以上の力が加わったとき、シートベルトのゆるみを取り除いて、乗員をさらに効果的に拘束します。

危機的な状況でのシートベルトテンショナー

運転席シートベルトと助手席シートベルトには、電動シートベルトテンショナーが装備されています。

シートベルトテンショナーは運転者サポートシステム City Safety および Rear Collision Warning と連携して、一緒に作動する場合があります。パニックブレーキ、急な回避操作、道路外への逸脱(溝での横転、地面からの浮き上がり、道路外の障害物との衝突など)、横滑り、衝突の危険性など、危機的な状況のとき、シートベルトテンショナーの電動モーターがシートベルトのゆるみを取り除きます。

電動シートベルトテンショナーは乗員の位置を修正して、身体を車内にぶつける危険性を低下させ、セーフティシステム(車両のエアバッグなど)の効果をさらに高めます。

⚠ 重要

助手席側エアバッグを無効にすると、助手席側の電動シートベルトテンショナーも無効になります。

重要な安全上のご注意！

⚡ 電動シートベルトテンショナーのリセット

危機的な状況から抜け出すと、シートベルトおよび電動シートベルトテンショナーは自動的にリセットされます。

ベルトの張力が解除されない場合：

1. 安全な場所に停車します。
2. シートベルトを一旦外して、再着用します。
 - ＞ シートベルトおよび電動シートベルトテンショナーがリセットされます。

警告

ご自身で、シートベルトの改造や修理を絶対にしないでください。ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。

衝突などが原因でシートベルトに大きな力が加わった場合は、必ずシートベルト装置全体を交換してください。シートベルトに損傷が見当たらなくても、体を保持する機能が失われているおそれがありますのでご注意ください。シートベルトがすり切れていたり損傷している場合は、新しいシートベルトと交換してください。新しいシートベルトは必ず認定されたタイプを使用し、交換前と同じ位置に取り付けてください。

関連情報

- シートベルト (p. 98)
- シートベルトの着脱 (p. 100)

- ドアおよびシートベルトリマインダー (p. 102)
- City Safety (p. 366)
- Rear Collision Warning (p. 375)
- 助手席側エアバッグ*のオン/オフ (p. 106)

シートベルトの着脱

走行を開始する前に、乗員全員がシートベルトを着用していることを確認してください。

シートベルトを着用する

1. シートベルトをゆっくり引き出して、ねじれや損傷がないことを確認します。

2 列目のセンターシートでは、シートベルトが専用のベルトガイドに正しく入っていることを確認します。

注意

以下のような場合には、シートベルトがロックして引き出せなくなります：

- シートベルトを急激に引き出したとき
- ブレーキ時や加速時
- 車体が大きく傾いたとき

2. ロックタブを専用バックルに差し込んで、シートベルトをロックします。
　　> ロックすると、カチッと音がします。
3. フロントシートおよび2列目のドア側シートでは、シートベルトの高さを調節することができます。

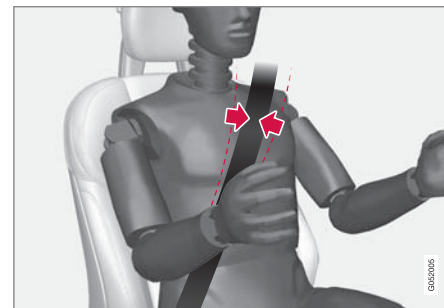
警告

シートベルトは、必ず正しい側のバックルに差し込んでください。これを怠ると、衝突時にシートベルトやバックルが正常に機能しないおそれがあります。大ケガを負うおそれがあります。



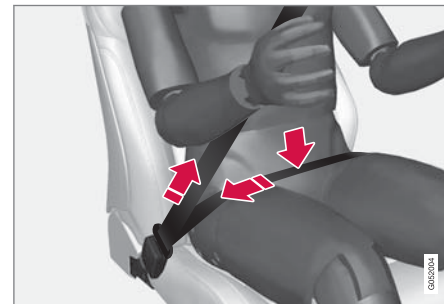
シートマウンティングを押して、シートベルトを上下に動かしてください。

ベルトがのどにかからない範囲で、ベルトをできるだけ高い位置に配置してください。



シートベルトは必ず肩にかかる必要があります(腕にかけないこと)。

4. 斜めにかかった肩ベルトを肩の方に引き上げて、腰ベルトを締めてください。



腰ベルトは、腹部を避け、必ず腰の低い位置にかけてください。

重要な安全上のご注意！

警告

各シートベルトは1人用です。

警告

シートベルトをフックまたはその他の車内付属品に留めたり、かけたりしないでください。シートベルトが正しく締まらなくなります。

警告

シートベルトに傷を付けたり、バックルの中に異物を入れたりしないでください。衝突時にシートベルトやバックルが正常に機能しないおそれがあります。大ケガを負うおそれがあります。

シートベルトを外す

1. シートベルトバックルの赤いリリースボタンを押すと、シートベルトは自動的に巻き取られます。
 2. シートベルトが完全に巻き取られない場合は、手で押し戻して、ゆるみが残らない状態まで完全に巻き取らせてください。
- 2列目のセンターシートでは、シートベルトが専用のベルトガイドに正しく入っていることを確認します。

関連情報

- シートベルト (p. 98)
- シートベルトテンショナー (p. 99)
- ドアおよびシートベルトリマインダー (p. 102)

ドアおよびシートベルトリマインダー

システムはシートベルトを着用していない乗員にシートベルトの着用を促します。また、ドア、ボンネット、テールゲートまたは燃料給油口フラップが開いている場合も警告します。

ドライバーディスプレイのグラフィック表示



ドライバーディスプレイのグラフィックとさまざまな種類の警告ドアおよびテールゲートの警告の色は、車速に応じて異なります。

ドライバーディスプレイのグラフィックは、シートベルトを着用している乗員と着用していない乗員が座っているシートを表示します。

ボンネット、テールゲート、燃料給油口フラップ、またはいずれかのドアが開いている場合も同じグラフィックが表示されます。

グラフィックは運転開始から約 30 秒後に自動的に消えます。ステアリングホイールの右側キーパッドの **0** ボタンを押して消すこともできます。

シートベルトリマインダー



ルーフコンソールの警告表示

ルーフコンソールに警告が表示され、ドライバーディスプレイにも警告灯が表示されます。

警告音は車速、走行時間および距離に応じて異なります。

運転者および乗員のベルトの状態は、ベルトを着用したとき、または外したときにドライバーディスプレイグラフィックに表示されます。

チャイルドシートは、シートベルトリマインダーの対象外となります。

フロントシート

運転者または助手席乗員がシートベルトを着用していない場合、警告音および警告灯が作動して着用を促します。

リアシート

リアシートのシートベルトリマインダーには、2つの補助機能があります：

- リアシートのシートベルト使用状況を、インフォメーション・ディスプレイに表示します。シートベルトが使用されているときには、ドライバーディスプレイのグラフィックが表示されます。
- 走行中にリアシートのシートベルトが着用されていない場合、警告灯と警告音により着用を促します。この警告は、シートベルトを再び着用すると停止します。ステアリングホイールの右側キーパッドの **0** ボタンを押して、手動で停止することもできます。

ドア、ボンネット、テールゲートおよび燃料給油口フラップのリマインダー

ボンネット、テールゲート、燃料給油口フラップまたはドアが正しく閉じていない場合、ドライバーディスプレイのグラフィックにより開いている箇所が表示されます。ただちに安全な場所に停車して、警告の対象箇所を閉めてください。



車速が約 10 km/h (6 mph) 未満のときは、ドライバーディスプレイのインフォメーションシンボルが点灯します。



車速が約 10 km/h (6 mph) を超えているときは、ドライバーディスプレイの警告灯が点灯します。

関連情報

- シートベルト (p. 98)
- シートベルトテンショナー (p. 99)
- シートベルトの着脱 (p. 100)

重要な安全上のご注意！

エアバッグ

車両には、運転者および乗員用のエアバッグとインフレーターブルカーテンが装備されています。

⚠ 警告

エアバッグコントロールモジュールは、センターコンソールの中にあります。センターコンソールに、水その他の液体が入った場合は、メインバッテリーへのケーブルの接続を外してください。エアバッグが展開するおそれがありますので、エンジンを始動しないでください。この場合、車両を回収します。積載車に載せて搬送してください。

作動後のエアバッグ

いずれかのエアバッグが作動したときは、次の指示に従ってください。

- 車両移動をします。ボルボ指定のサービス工場に搬送してください。エアバッグ作動後は、絶対に自走しないでください。
- ボルボ指定のサービス工場に、車両のセーフティシステム部品の交換を依頼してください。
- 医師の診察を必ず受けてください。

⚠ 警告

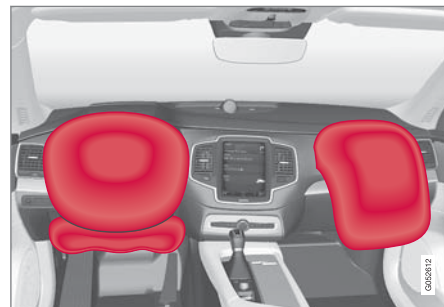
エアバッグ作動後は、絶対に自走しないでください。エアバッグによってハンドル操作が妨げられるおそれがあります。他のセーフティシステムも損傷を受けているおそれがあります。エアバッグ作動時に放出された煙や埃が原因で、目や皮膚に傷や炎症を起こす場合があります。炎症を起こした場合は、冷水でよく洗ってください。エアバッグの展開速度は極めて速く、エアバッグの布との摩擦熱で皮膚にヤケドや擦過傷を負うおそれがあります。

関連情報

- 重要な安全上のご注意！ (p. 96)
- 運転席側および助手席側エアバッグ (p. 104)
- サイドエアバッグ (p. 108)
- インフレーターブルカーテン (p. 109)

運転席側および助手席側エアバッグ

シートベルトの補助として、車両には運転席および助手席にエアバッグが装備されています。



運転席側および助手席側エアバッグ

前面衝突の際、エアバッグが運転者および助手席乗員の頭部、顔面、胸部と運転者の膝および脚を衝撃から保護します。

衝突によって一定レベル以上の衝撃を受けると、センサーが作動してエアバッグが展開します。エアバッグにより、衝突時に乗員に対する当初の衝撃が緩和されます。エアバッグは、衝突による圧力がかかると内部のガスが抜け、収縮します。このとき、車内に煙が放出されますが、これは異常ではありません。エアバッグが膨張・収縮する一連の動作は、瞬間的に行われます。

① 注意

センサーは、衝突の性質やシートベルトが着用されているかどうかを判断し、それに応じて作動条件が変化します。これは、どのベルト位置にも該当します。

そのためエアバッグ1つだけが作動する場合や、1つも作動しない場合があります。センサーは、車両が受けた衝撃の強さを感じて、必要なエアバッグだけを作動させます。

⚠ 警告

シートベルトとエアバッグの作動は、連動しています。シートベルトを着用していない場合、または着用方法が正しくない場合は、衝突の際にエアバッグの保護機能が最大限に働かないおそれがあります。

エアバッグ作動時にケガをする危険を減らすため、乗員は背中全体がバックレストに接するように背筋を伸ばしてまっすぐに座り、足はフロアに置いてください。

⚠ 警告

修理について、ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。エアバッグシステムへの作業に不具合があると、誤作動につながり、大ケガをするおそれがあります。

運転席側エアバッグ

ステアリングホイールのエアバッグ

このエアバッグは、ステアリングホイールの中央に収納されています。ステアリングホイールに **AIRBAG** の文字が表示されています。

ニーエアバッグ

このエアバッグは運転席側のメーター・パネルの下部に収納されています。パネルに、**AIRBAG** の文字が表示されています。

⚠ 警告

ニーエアバッグが格納されているパネルの前面または上部に物を置いたり、取り付けたりしないでください。

助手席側エアバッグ

このエアバッグは、グローブボックス上のパネル内に収納されています。パネルに、**AIRBAG** の文字が表示されています。

⚠ 警告

助手席側エアバッグが装着されているダッシュボードの前や上には、絶対に物を置いたりアクセサリなどを取り付けしないでください。

助手席側エアバッグラベル



助手席側サンバイザーのラベル



助手席側ドアビラーのラベル。ラベルは助手席側ドアを開くと見えます。

助手席側エアバッグの警告ラベルは、前図の位置に表示されています。

重要な安全上のご注意！

警告

車両に助手席エアバッグのオン/オフスイッチが装備されていない場合、エアバッグは常に作動可能な状態です。

警告

助手席シートの前には、絶対に誰も立たせたり座らせたりしないでください。

エアバッグが作動可能な状態のときは、絶対にお子様を助手席のブースタークッション、チャイルドシートまたは後ろ向き装着のチャイルドシートに座らせないでください。

助手席側エアバッグが作動可能状態のときは、身長が 140 cm 未満の方を助手席に絶対に座らせないでください。

この指示を守らないと、命を危険にさらす、または大ケガをするおそれがあります。

関連情報

- エアバッグ (p. 104)
- 助手席側エアバッグ*のオン/オフ (p. 106)

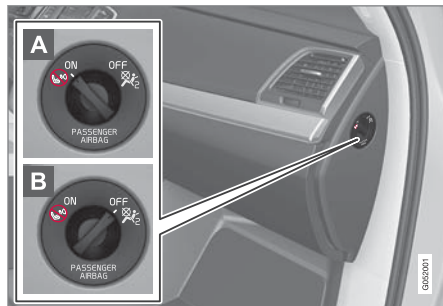
助手席側エアバッグ*のオン/オフ

車両に助手席側エアバッグ・カットオフ・スイッチ、Passenger Airbag Cut Off Switch (PACOS) スイッチが装備されている場合、助手席側エアバッグはオフにすることができます。

スイッチ

助手席側エアバッグのスイッチは、メーター・パネルの助手席側端にあります。助手席ドアを開けて操作します。

スイッチが希望の位置になっているか確認してください。



A ON - エアバッグがオン(作動可能状態)で、大人が助手席に安全に座ることができます。

B OFF - エアバッグがオフ(非作動状態)で、お子様が助手席に安全に座ることができます。

警告

車両に助手席エアバッグのオン/オフスイッチが装備されていない場合、エアバッグは常に作動可能な状態です。

助手席側エアバッグをオンにする

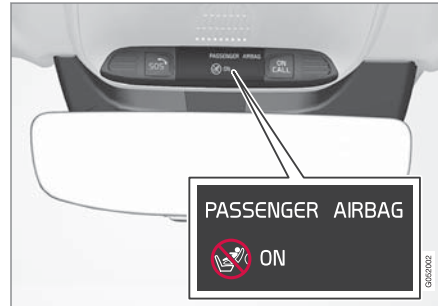


- 1 スイッチを引き出して、OFF (B) 位置から ON (A) 位置に回します。
 - ＞ ドライバーディスプレイにメッセージ **助手席エアバッグ オン** が表示されます。

i 注意

イグニッション位置が **I** 以下のときに助手席側エアバッグをオン/オフにした場合、車両の電気系統を **II** 以上のイグニッション位置にしてから約 6 秒後に、ドライバーディスプレイにメッセージが表示され、ルーフコンソールに以下のインジケーターが表示されます。

- 2 ステアリングホイールの右側キーパッドの **0** ボタンを押して、メッセージを確認します。



- ＞ ルーフコンソールにディスプレイテキストおよびシンボルが表示され、助手席側エアバッグがオン(作動可能状態)になったことが示されます。

! 警告

エアバッグが作動可能な状態のときは、絶対にお子様を助手席のブースタークッション、チャイルドシートまたは後ろ向き装着のチャイルドシートに座らせないでください。

助手席側エアバッグが作動可能状態のときは、身長が 140 cm 未満の方を助手席に絶対に座らせないでください。

この指示を守らないと、命を危険にさらす、または大ケガをするおそれがあります。

助手席側エアバッグをオフにする



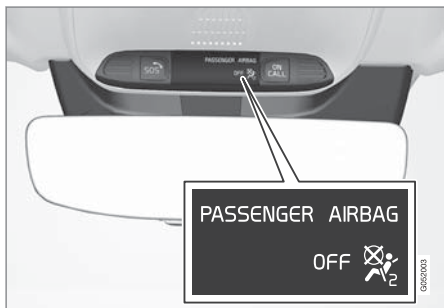
- 1 スイッチを引き出して、ON (A) 位置から OFF (B) 位置に回します。
 - ＞ ドライバーディスプレイにメッセージ **助手席エアバッグ オフ** が表示されます。

i 注意

イグニッション位置が **I** 以下のときに助手席側エアバッグをオン/オフにした場合、車両の電気系統を **II** 以上のイグニッション位置にしてから約 6 秒後に、ドライバーディスプレイにメッセージが表示され、ルーフコンソールに以下のインジケーターが表示されます。

重要な安全上のご注意！

2. ステアリングホイールの右側キーパッドの **0** ボタンを押して、メッセージを確認します。



ルーフコンソールにディスプレイテキストおよびシンボルが表示されれば、助手席側エアバッグがオフ(非作動状態)であることを示します。

警告

エアバッグが非作動状態の場合には、身長が140 cm以上の方は、助手席に絶対に座らないでください。



ルーフコンソールにエアバッグ非作動のメッセージが表示され、同時にドライバーディスプレイにこのシンボルと **SRSエアバッグ 緊急サービスが必要 工場まで運転して下さい** というメッセージが点灯しているときは、絶対に助手席に誰も座らせないでください。これは重大な不具合が発生したことを示します。すみやかに、サービス工場で点検を受けてください。ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。

この指示を守らないと、命を危険にさらす、または大ケガをするおそれがあります。

重要

助手席側エアバッグを無効にすると、助手席側の電動シートベルトテンショナーも無効になります。

関連情報

- 運転席側および助手席側エアバッグ (p. 104)
- シートベルトテンショナー (p. 99)

サイドエアバッグ

運転席シートおよび助手席シートのサイドエアバッグは、追突の際に乗員の胸部と腰回りを保護します。



サイドエアバッグはフロントシートの外側バックレストフレームに備えられており、フロントシートの運転者と乗員を保護します。

側面からの衝突によって一定レベル以上の衝撃を受けるとセンサーが反応し、サイドエアバッグが膨張します。サイドエアバッグは、乗員とドアの間で膨張して衝突の衝撃を和らげます。エアバッグは、衝突による圧力がかかると内部のガスが抜け、収縮します。作動するのは、側面から衝撃を受けた側のエアバッグのみです。

⚠ 警告

修理について、ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。サイドエアバッグシステムへの作業に不具合があると、誤作動につながり、大ケガをするおそれがあります。

⚠ 警告

シートの外側とドアパネルの間に、なにも物を置かないでください。このスペースは、サイドエアバッグの作動に必要です。

シートカバーは、ボルボ社が認可した製品以外は使用しないでください。それ以外のシートカバーは、サイドエアバッグの作動の妨げになるおそれがあります。

⚠ 警告

サイドエアバッグは、シートベルトの補助装置です。シートベルトを必ず着用してください。

サイドエアバッグとチャイルドシート

サイドエアバッグはチャイルドシート/ブースタークッションに座っているお子様の保護効果を損なうものではありません。

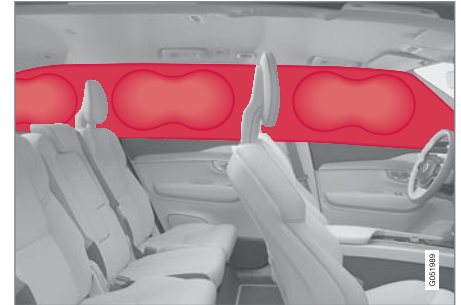
助手席側エアバッグが非作動状態であれば、助手席にチャイルドシートやブースタークッションを取り付けることができます。

関連情報

- エアバッグ (p. 104)

インフレーターブルカーテン

インフレーターブルカーテン、Inflatable Curtain (IC)は、衝突時に運転者および乗員の頭部を車内部品との衝撃から保護するのに役立ちます。



インフレーターブルカーテンはヘッドライニングの両側に沿って取り付けられており、運転者およびドア側シートの乗員の保護に役立ちます。パネルには **IC AIRBAG** と表示されています。

衝突によって一定レベル以上の衝撃を受けると、センサーが作動してインフレーターブルカーテンが展開します。

重要な安全上のご注意！



警告

ルーフのハンドルに、絶対に重い物を吊り下げたり取り付けないでください。フックは、軽量の衣服のみをかけるために設計されたものです(傘などの硬い物はかけないでください)。

ヘッドライニング、ドアピラー、およびサイドパネルに、スクリューをねじ込んだり物を取り付けしないでください。保護効果が損なわれるおそれがあります。この部分への取り付けが認められているボルボ純正品のみを使用してください。

警告

ドアウインドの上端よりも上まで荷物を積載する場合、荷物とパワーウインドの間には、10 cmの空間を確保してください。荷物を積むと、ヘッドライニングの内側に装着されているインフレーターカーテンの保護効果が損なわれるおそれがあります。

警告

インフレーターカーテンは、シートベルトの補助装置です。シートベルトを必ず着用してください。

関連情報

- エアバッグ (p. 104)

セーフティモード

セーフティモードは、燃料パイプ、セーフティシステムのセンサー、ブレーキシステムなどの重要な機能が損傷を受けた可能性があるときに作動する保護機能です。

車両が衝突に巻き込まれた場合、ドライバーディスプレイに **セーフティモード 取扱説明書を参照して下さい** と表示され、警告灯が点灯します。この表示は、車両の機能が低下していることを意味します。

車両がセーフティモードになった場合、システムのリセットを試み、車両を始動して危険な場所から動かすことができます。

警告

車両がセーフティモードになっているときは、絶対にご自身で車を修理したり、電子機器のリセットをしないでください。ケガをするおそれがあり、また不具合の原因となります。**セーフティモード取扱説明書を参照して下さい** が表示された場合には、ボルボ指定のサービス工場での点検修理を必ず行ってください。

警告

車両がセーフティモードになっているときは、絶対に車両をけん引しないでください。ボルボ指定のサービス工場に積載車に載せて搬送してください。

関連情報

- 重要な安全上のご注意！ (p. 96)
- セーフティモード起動後の車両の始動/移動 (p. 111)

セーフティモード起動後の車両の始動/移動

車両がセーフティモードになった場合、始動を試み、車両を危険な場所から動かすことができます。

セーフティモード後の車両の始動

1. 始めに、車両から燃料が漏れていないか確認してください。燃料の臭いがしていないことを、必ず確認してください。
なにも異常が見られず、燃料漏れもなければ、エンジンを始動してください。

警告

ドライバーディスプレイに **セーフティモード取扱説明書を参照して下さい** メッセージが表示されているときに燃料の臭いを感じた場合は、絶対にエンジンの始動を試みないでください。ただちに、車両から離れてください。

2. スタートノブを **STOP** まで回して、ノブから手を放します。
3. エンジンを始動します。
 - ＞ ドライバーディスプレイがメッセージ **エンジン始動 システム点検中 お待ち下さい** を表示すると同時に、車両の電子機器がシステムチェックを実行し、通常の状態への回復を試みます。これには最大で約1分かかります。

4. その後ドライバーディスプレイのメッセージ **エンジン始動 システム点検中 お待ち下さい** が消えると、車両の始動を再度試みます。

重要

ディスプレイにメッセージ **セーフティモード取扱説明書を参照して下さい** が表示され続ける場合は、絶対に走行またはけん引をしないでください。レッカーサービスを使用してください。隠れた損傷があった場合、移動中に車両を制御できなくなるおそれがあります。

セーフティモード後の車両の移動

1. 始動を試みた後、ドライバーディスプレイにメッセージ **Normal mode The vehicle is now in normal mode** が表示された場合は、車両を危険な場所から慎重に移動させることができます。
2. 必要以上に移動させないでください。

警告

車両がセーフティモードになっているときは、絶対に車両をけん引しないでください。ボルボ指定のサービス工場に積載車に載せて搬送してください。

関連情報

- セーフティモード (p. 110)

チャイルドセーフティ

ボルボでは、ボルボ車専用設計されたチャイルドセーフティ製品(チャイルドシートやブースタークッション、取付アタッチメント)を取り揃えております。

ボルボのチャイルドセーフティ製品をご利用いただくことで、お子様のためにもっとも安全な車内環境を整えることができます。また、ボルボのチャイルドセーフティ製品は車両に確実に対応し、簡単に使うことができます。

お子様は、年齢や体格に関わらず、必ず適切な固定装置を使用して正しく座らせてください。お子様を、けっして乗員のひざの上に座らせないでください。

ボルボでは、小さいお子様(少なくとも3~4歳ごろまで)に対しては、できるだけ後ろ向きに装着するチャイルドシートのご使用を推奨しています。その後10歳ごろまで、前向きのブースタークッション/チャイルドシートをご使用ください。

注意

チャイルドセーフティ製品の取り付けに関してご不明な点は、その用具の製造元(メーカー)にお問い合わせください。

重要な安全上のご注意！

◀ 関連情報

- 重要な安全上のご注意！ (p. 96)
- チャイルドシート (p. 112)
- インテグレートッドブースタークッション* (p. 123)

チャイルドシート

お様が車内で座る位置や、チャイルドシートの種類を決める際には、お子様の体重と身長が重要な要件となります。

お様が、快適で安全な姿勢になるように座らせてください。チャイルドシートの正しい使用方法を確認してください。

正しい取り付け方法に関しては、チャイルドシートの取付説明書をご覧ください。

① 注意

チャイルドセーフティ用具をご使用になる場合は、付属の取付説明書をよくお読みください。

チャイルドシートの位置



助手席側エアバッグが作動可能状態のときは、助手席にチャイルドシートを取り付けしないでください。

助手席側エアバッグが作動可能状態の場合、チャイルドシート/ブースタークッションは必ず2列目シートまたは3列目シートに取り付けてください。お様を助手席に座らせると、エアバッグ作動時に大ケガを負うおそれがあります。

助手席側エアバッグがオフ(非作動状態)の場合、チャイルドシート/ブースタークッションは助手席シートに取り付けることができます。

① 注意

お様を乗せる位置に関する規則は、国により異なります。適用される法律や規則を確認してください。

⚠ 警告

助手席シートの前には、絶対に誰も立たせたり座らせたりしないでください。

エアバッグが作動可能な状態のときは、絶対にお様を助手席のブースタークッション、チャイルドシートまたは後ろ向き装着のチャイルドシートに座らせしないでください。

助手席側エアバッグが作動可能状態のときは、身長が140 cm未満の方を助手席に絶対に座らせしないでください。

この指示を守らないと、命を危険にさらす、または大ケガをするおそれがあります。

チャイルドシートの取り付け

チャイルドシートを車内に取り付けるときには、以下の点について考慮する必要があります。

警告

シートベルトバックルのリリースボタンに当たるようなタイプのスチール製ブレース付きプースタークッション/チャイルドシートなどは、絶対に使用しないでください。シートベルトバックルが、突然外れるおそれがあります。

チャイルドシートのストラップは、シートの前後方向調節バーやシート下のスプリング、レールまたはビームに固定しないでください。これらの部分には鋭い角があるため、ストラップが損傷するおそれがあります。

チャイルドシート上部を、ウインドスクリーンに当てないでください。

フロントシートへの取り付け

- 助手席側エアバッグがオフ(非作動状態)になっていることを確認します。
- ボルボ推奨のチャイルドシート、汎用型²または準汎用型のチャイルドシートのみを使用します。車両がチャイルドシートメーカーの適合車種一覧表に掲載されている必要があります。

の適合車種一覧表に掲載されている必要があります。

- ISOFIX チャイルドシートは、車両に ISOFIX コンソール¹ アクセサリーが装備されている場合のみ使用することができます。
- シートを最後方の位置に調節します。チャイルドシートを2列目シートでも使用する場合、例外とすることができます。この場合、チャイルドシートの取り付け状態がメーカーの指示から逸脱しないことを必ず確認してください。
- チャイルドシートに下側ストラップが装備されている場合、ボルボでは下側ストラップをロアマウンティングポイントに取り付けて使用することを推奨します¹。
- チャイルドシートを取り付けやすくするために、ISOFIX ガイドを使用することができます。

2列目シートへの取り付け

- ボルボ推奨のチャイルドシート、汎用型²または準汎用型のチャイルドシートのみを使用します。車両がチャイルドシートメーカーの適合車種一覧表に掲載されている必要があります。
- サポートレッグ付きのチャイルドシートをセンターシートに取り付けられないでください。

- ドア側のシートには ISOFIX フィクスチャーシステムが装備されており、i-Size³用に承認されています。
- すべてのシートにはアッパーマウンティングポイントが装備されています。ボルボでは、上側ストラップをヘッドレストの穴に通してから、マウンティングポイントでテンションをかけることを推奨します。これができない場合、シートメーカーの指示に従ってください。
- 3列目シート装備車の場合、2列目シートを最後方の位置に調節する必要があります。チャイルドシートを3列目シートでも使用する場合、例外とすることができます。この場合、チャイルドシートの取り付け状態がメーカーの指示から逸脱しないことを必ず確認してください。
- チャイルドシートに下側ストラップが装備されている場合、ストラップをロアマウンティングポイントに取り付けた後には、絶対に前のシートの位置を調節しないでください。チャイルドシートを取り付けないときには、必ず下側ストラップを取り外してください。
- チャイルドシートを取り付けるときには、ISOFIX ガイドを使用しないでください。

¹ アクセサリーの種類は市場によって異なります。

² センターシートには適用されません。

³ 市場によって異なります。

重要な安全上のご注意！

3 列目シートへの取り付け

- ボルボ推奨のチャイルドシート、汎用型または準汎用型のチャイルドシートのみを使用します。車両がチャイルドシートメーカーの適合車種一覧表に掲載されている必要があります。
- サポートレッグ付きのチャイルドシートを3列目シートに取り付けしないでください。
- 必要に応じて、十分なスペースを確保するために、2列目シートを前方に移動させます。チャイルドシートが2列目シートにも取り付けられている場合、チャイルドシートの取り付け状態がメーカーの指示から逸脱しないことを確認します。

助手席側エアバッグラベル



助手席側サンバイザーのラベル



助手席側ドアピラーのラベル。ラベルは助手席側ドアを開くと見えます。

助手席側エアバッグの警告ラベルは、前図の位置に表示されています。

関連情報

- チャイルドセーフティ (p. 111)
- チャイルドシート用のアップアマウンティングポイント (p. 114)
- チャイルドシート用のロアマウンティングポイント (p. 115)
- i-Size/ISOFIX マウンティングポイント (p. 118)
- 助手席側エアバッグ*のオン/オフ (p. 106)

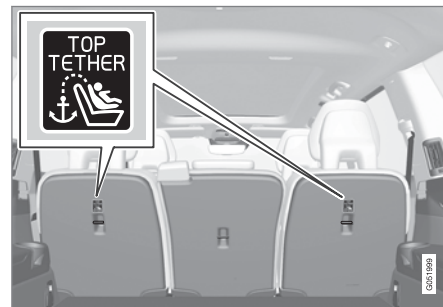
チャイルドシート用のアップアマウンティングポイント

車両には、2列目ドア側シートにチャイルドシート用のアップアマウンティングポイントが装備されています。

アップアマウンティングポイントは、前向きに装着するチャイルドシート用です。

チャイルドシートをアップアマウンティングポイントに取り付けるときは、シートの製造元（メーカー）の取扱説明書に必ず従ってください。

マウンティングポイントの位置



マウンティングポイントの位置はバックレスト後部のシンボルで示されています。

マウンティングポイントは2列目外側シートの後部にあります。

⚠ 警告

チャイルドシートのアップストラップは、必ずヘッドレスト脚部の穴に通してから、マウンティングポイントで張力を調節してください。この方法を使用できない場合、シートメーカーの推奨方法に従ってください。

ⓘ 注意

外側シートに折りたたみ式ヘッドレストが装備されている場合には、このタイプのチャイルドシートを取り付けやすくなるように、ヘッドレストを折りたたんでください。

ⓘ 注意

カーゴスペースにラゲッジカバーが付いている車両は、マウンティングポイントにチャイルドシートを取り付ける前に、ラゲッジカバーを取り外してください。

関連情報

- チャイルドシート (p. 112)
- チャイルドシート用のロアマウンティングポイント (p. 115)
- i-Size/ISOFIX マウンティングポイント (p. 118)
- 車両のシートベルトを使用するチャイルドシートの取付位置に関する表 (p. 116)

チャイルドシート用のロアマウンティングポイント

車両には、フロントシート*と2列目シートにチャイルドシート用のロアマウンティングポイントが装備されています。

ロアマウンティングポイントは、後向きに装着するチャイルドシート用です。

チャイルドシートをロアマウンティングポイントに取り付けるときは、シートの製造元(メーカー)の取扱説明書に必ず従ってください。

マウンティングポイントの位置

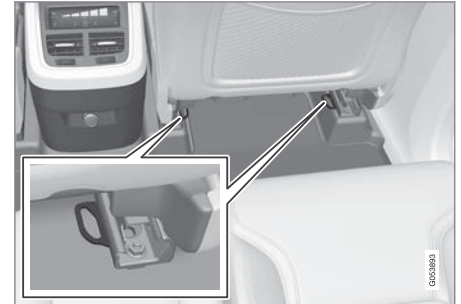


フロントシートのマウンティングポイント位置

フロントシートのマウンティングポイントは助手席のレッグルームの側面にあります。

フロントシートのマウンティングポイントは、車両に助手席側エアバッグ*のオン/オフスイッ

チ*が装備されている場合にのみ取り付けられています。



2列目シートのマウンティングポイント位置

2列目シートのマウンティングポイントは、フロントシートのフロアレールの後部にあります。

関連情報

- チャイルドシート (p. 112)
- チャイルドシート用のアップアマウンティングポイント (p. 114)
- i-Size/ISOFIX マウンティングポイント (p. 118)
- 車両のシートベルトを使用するチャイルドシートの取付位置に関する表 (p. 116)
- 助手席側エアバッグ*のオン/オフ (p. 106)

重要な安全上のご注意！

車両のシートベルトを使用するチャイルドシートの取付位置に関する表

この表には、チャイルドシートの種類、取り付け位置、対応するお子様の体格に関する推奨事項が記載されています。

① 注意
車両にチャイルドシートを取り付ける前に、必ず「チャイルドシート」の項をお読みください。

体重	フロントシート(エアバッグは非作動状態)	2列目シート、ドア側シート	2列目シート、センターシート	3列目シート
グループ 0 10 kg 以下	U ^A 、B、L	U ^B 、L	L ^B	U、L
グループ 0+ 13 kg 以下	U ^A 、B、L	U ^B 、L	L ^B	U、L
グループ 1 9~18 kg	U ^A 、L ^C	U、L ^C	L	U、L
グループ 2 15~25 kg	U ^A 、D、L ^C	U ^D 、L ^C	B [*] 、E、L ^D	U ^D 、L

体重	フロントシート(エアバッグは非作動状態)	2列目シート、ドア側シート	2列目シート、センターシート	3列目シート
グループ 3 22~36 kg	U ^A 、F、L	U ^F 、L	B*、E、L ^F	U ^F 、L

U：汎用型のチャイルドシートに適しています。

特定のチャイルドシートに適しています。これらのチャイルドシートには、特定車両モデル、限定カテゴリー、または準汎用カテゴリーが含まれる場合があります。

B：この全グループに承認された内蔵チャイルドシート。

A シートのバックレストをまっすぐにします。

B ボルボ推奨：ボルボベビーシート(型式承認 E1 04301146)。

C ボルボ推奨：ボルボ・リバーシブルシート、後ろ向き装着(型式承認 E5 04192)。

D ボルボ推奨：ボルボ・リバーシブルシート、後ろ向き装着(型式承認 E5 04192)；バックレスト付き/なしブースタークッション(型式承認 E5 04216)；ボルボバックレスト付きブースタークッション(型式承認 E1 04301169)。

E ボルボ推奨：一体型ブースタークッション(型式承認 E5 04218)。

F ボルボ推奨：バックレスト付き/なしブースタークッション(型式承認 E5 04216)；ボルボバックレスト付きブースタークッション(型式承認 E1 04301169)。

警告

助手席側エアバッグが作動可能状態のときは、お子様を助手席に絶対に座らせないでください。

関連情報

- チャイルドシート (p. 112)
- チャイルドシート用のアッパーマウンティングポイント (p. 114)
- ISOFIX チャイルドシートの取付位置に関する表 (p. 119)
- i-Size チャイルドシートの取付位置に関する表 (p. 122)

重要な安全上のご注意！

i-Size/ISOFIX マウンティングポイント

車両には、2列目シートにチャイルドシート用の i-Size/ISOFIX⁴ マウンティングポイントが装備されています。

i-Size/ISOFIX は国際標準規格に基づくチャイルドシート固定システムです。

チャイルドシートを i-Size/ISOFIX マウンティングポイントに取り付けるときは、シートの製造元(メーカー)の取扱説明書に必ず従ってください。

マウンティングポイントの位置



マウンティングポイントの位置はバックレストカバーのシンボル⁴で示されています。

i-Size/ISOFIX のマウンティングポイントは、2列目ドア側シートのバックレストの下部の後ろに隠れています。

アタッチメントに手が届くように、シートクッションを押し下げます。

関連情報

- チャイルドシート (p. 112)
- チャイルドシート用のアッパーマウンティングポイント (p. 114)
- チャイルドシート用のロアマウンティングポイント (p. 115)
- i-Size チャイルドシートの取付位置に関する表 (p. 122)
- ISOFIX チャイルドシートの取付位置に関する表 (p. 119)

⁴ 名称およびシンボルは市場により異なります。

ISOFIX チャイルドシートの取付位置に関する表

この表には、ISOFIX チャイルドシートの種類、取り付け位置、対応するお子様の体格に関する推奨事項が記載されています。

チャイルドシートは UN Reg R44 による承認を受けている必要があり、車両モデルはチャイルドシートメーカーの適合車種一覧表に記載されている必要があります。

① 注意
車両にチャイルドシートを取り付ける前に、必ず「チャイルドシート」の項をお読みください。

体重	サイズ等級 ^A	チャイルドシートのタイプ	フロントシート(エアバッグは非作動状態) ^B	2列目シート、ドア側シート	2列目シート、センターシート	3列目シート
グループ 0 10 kg 以下	E	後ろ向きに装着するベビーシート	IL ^{B, C} 、X ^D	IL ^C	X	X
グループ 0+ 13 kg 以下	E	後ろ向きに装着するベビーシート	IL ^{B, C} 、X ^D	IL ^C	X	X
	C	後ろ向き装着タイプのチャイルドシート				
	D	後ろ向き装着タイプのチャイルドシート				

重要な安全上のご注意！

◀

体重	サイズ等級 ^A	チャイルドシートのタイプ	フロントシート(エアバッグは非作動状態) ^B	2列目シート、ドア側シート	2列目シート、センターシート	3列目シート
グループ1 9～18 kg	A	前向き装着タイプのチャイルドシート	II ^{B、E} 、X ^D	II ^E 、IU ^F ^E	X	X
	B	前向き装着タイプのチャイルドシート				
	B1	前向き装着タイプのチャイルドシート				
	C	後ろ向き装着タイプのチャイルドシート	II ^B 、X ^D	II ^F	X	X
	D	後ろ向き装着タイプのチャイルドシート				

体重	サイズ等級 ^A	チャイルドシートのタイプ	フロントシート(エアバッグは非作動状態) ^B	2列目シート、ドア側シート	2列目シート、センターシート	3列目シート
IL：特定の ISOFIX チャイルドシートに適しています。この種のチャイルドシートは、特定車両モデル、限定カテゴリー、または準汎用カテゴリーを想定している場合があります。 IUF：汎用型の ISOFIX 前向きチャイルドシートシステムに適しています。 X：ISOFIX チャイルドシートには適していません。						

- A ISOFIX フィクスチャーシステム対応のチャイルドシートにはサイズ等級があります。サイズ等級は、正しいタイプのチャイルドシートを選択するときの参考になります。サイズ等級はチャイルドシートのラベルに表示されています。
- B ISOFIX コンソールアクセサリ装備車の場合に、準汎用型(IL)の ISOFIX チャイルドシートを取り付けるときに有効(アクセサリの種類は市場によって異なります)。
- C ボルボ推奨：ISOFIX 固定システムを使用して固定した、ボルボベビーシート(型式承認 E1 04301146)。
- D 車両に ISOFIX ブラケットが装備されていない場合に適用。
- E ボルボ社は、このグループに後ろ向きに装着するチャイルドシートをお薦めします。
- F ボルボ推奨：BeSafe iZi Kid X3 ISOfix(型式承認 E5 04200)。

警告

助手席側エアバッグが作動可能状態のときは、お子様を助手席に絶対に座らせないでください。

注意

ボルボが推奨する i-Size/ISOFIX チャイルドシートについては、ボルボディーラーにお問い合わせください。

注意

i-Size/ISOFIX チャイルドシートにサイズ等級がない場合は、チャイルドシートの製造元(メーカー)が提供する適合車種一覧表に該当車種が掲載されている必要があります。

関連情報

- チャイルドシート (p. 112)
- i-Size/ISOFIX マウンティングポイント (p. 118)
- i-Size チャイルドシートの取付位置に関する表 (p. 122)
- 車両のシートベルトを使用するチャイルドシートの取付位置に関する表 (p. 116)

重要な安全上のご注意！

i-Size チャイルドシートの取付位置に関する表

この表には、i-Size チャイルドシートの種類、取り付け位置、対応するお子様の体格に関する推奨事項が記載されています。

チャイルドシートは UN Reg R129 による承認を受けている必要があります。

① 注意
車両にチャイルドシートを取り付ける前に、必ず「チャイルドシート」の項をお読みください。

チャイルドシートのタイプ	フロントシート(エアバッグは非作動状態)	2列目シート、ドア側シート	2列目シート、センターシート	3列目シート
i-Size チャイルドシート	X	i-U ^A	X	X

i-U：i-Size 「汎用型」チャイルドシート(前向きおよび後ろ向き)に適しています。

X：汎用型のチャイルドシートには適していません。

A ボルボ社は、このグループに後ろ向きに装着するチャイルドシートをお薦めします。

関連情報

- チャイルドシート (p. 112)
- i-Size/ISOFIX マウンティングポイント (p. 118)
- ISOFIX チャイルドシートの取付位置に関する表 (p. 119)
- 車両のシートベルトを使用するチャイルドシートの取付位置に関する表 (p. 116)

インテグレートドブースタークッション*

2列目シートのセンターシートのインテグレートドブースターシートは、お子様の快適さと安全を実現します。

インテグレートドブースタークッションは、お子様の安全を守るために特別に設計されたものです。シートベルトと共に使用し、体重 15～36 kg、身長 97 cm 以上のお子様を対象としています。



正しい位置。シートベルトは必ず肩にかけてください。

走行前に、次のことを確認してください：

- インテグレートドブースタークッションがロックモードであること
- シートベルトにねじれやゆるみがなく、シートベルトがお子様の体に確実に密着しているようにする。

- 肩ベルトがお子様の肩の下や首にかかっていないこと
- 最大の保護効果を得るため、腰ベルトが骨盤の下の低い位置にかかっていること。
- ヘッドレストがお子様の後頭部全体に対応するように、ヘッドレストがお子様の頭部と同じ高さに調節されていること(可能な場合)。

⚠ 警告

修理や交換は、必ずボルボが指定のサービス工場にお任せください。ご自身で、絶対に改造や修理をしないでください。衝突などが原因でシートベルトに大きな力が加わった場合は、必ずシートベルト装置全体を交換してください。損傷が見当たらなくても、クッションの保護性能が低下しているおそれがあります。クッションが著しく摩耗していたり、傷が付いている場合も、新品と交換してください。

⚠ 警告

インテグレートドブースターシートの取扱説明書に従わないと、事故の際にお子様が大ケガをするおそれがあります。

関連情報

- チャイルドセーフティ (p. 111)
- インテグレートドブースタークッション* を起こす (p. 124)
- インテグレートドブースタークッション* を下げる (p. 124)

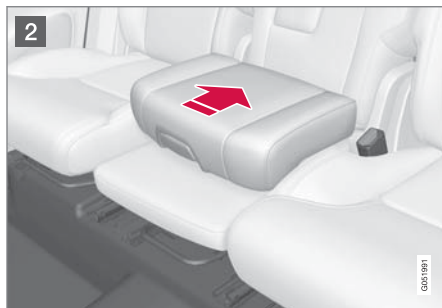
重要な安全上のご注意！

インテグレートドブースタークッション*を起こす

2列目シートのセンターシートのインテグレートドブースタークッションは起こして使用します。



1 ハンドルを前方および上側に引いて、クッションの固定を解除します。



2 クッションを後方に押して、定位置にロックします。

警告

インテグレートドブースターシートの取扱説明書に従わないと、事故の際にお子様が大ケガをするおそれがあります。

関連情報

- インテグレートドブースタークッション* (p. 123)
- インテグレートドブースタークッション* を下げる (p. 124)

インテグレートドブースタークッション*を下げる

2列目シートのセンターシートのインテグレートドブースタークッションは、使用しないときには下げることができます。



1 ハンドルを前方に引いて、クッションの固定を解除します。



- 2 クッションが定位置に収まるまで、クッションの中央を手で押し下げます。

! 重要

ブースタークッションを収納する前に、クッションの下に物(おもちゃなど)が挟まっていないか確認してください。

i 注意

リアバックレストを倒す前に、まずブースタークッションを下げる必要があります。

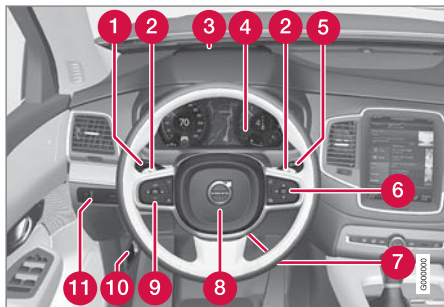
関連情報

- インテグレートッドブースタークッション* (p. 123)
- インテグレートッドブースタークッション* を起こす (p. 124)

計器およびコントロール装置

計器およびコントロール装置、左ハンドル車

ここでは、運転者の近くにあるディスプレイとコントロール装置の位置を示します。

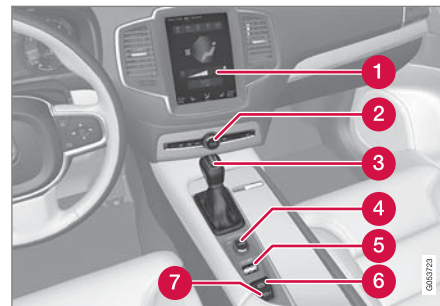


ディスプレイ/機能/コントロール	
①	ポジションランプ、ロービーム、ハイビーム、方向指示器、リアフォグランプ、トリップメーターリセット
②	オートマチックトランスミッションのマニュアルギヤチェンジ*
③	ヘッドアップディスプレイ*
④	ドライバーディスプレイ

ディスプレイ/機能/コントロール	
⑤	ワイパー/ウォッシャー、レインセンサー*
⑥	ステアリングホイールの右側キヤパッド
⑦	ステアリングホイールの調節
⑧	ホーン
⑨	ステアリングホイールの左側キヤパッド
⑩	ボンネット開操作
⑪	ディスプレイライト、テールゲートロック解除、テールゲート開/閉操作*、ハロゲンヘッドライト光軸調整

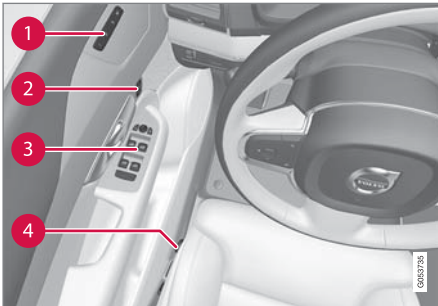


ディスプレイ/機能/コントロール	
①	フロント読書灯およびルームランプ
②	パノラマルーフ*
③	ルーフコンソールのディスプレイ
④	ルームミラーの自動防眩



ディスプレイ/機能/コントロール	
①	センターディスプレイ
②	非常点滅灯、最大デフロスター/ヒーター、テッドウインドスクリーン*、メディア、グローブボックスリッド開操作
③	ギヤセクターレバー

ディスプレイ/機能/コントロール	
④	スタートノブ
⑤	ドライブモード*
⑥	パーキングブレーキ
⑦	停車時のオートブレーキ

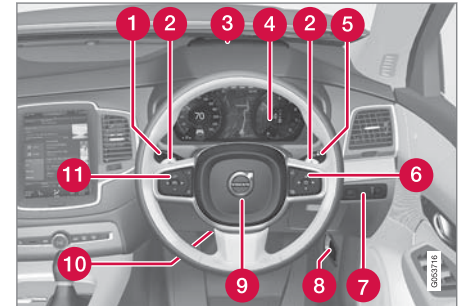


ディスプレイ/機能/コントロール	
①	以下のセットアップ用メモリー： <ul style="list-style-type: none"> ● フロントパワーシート* ● ドアミラー ● ヘッドアップディスプレイ*
②	ドア開操作、サイドドアおよびテールゲートのロック/ロック解除

ディスプレイ/機能/コントロール	
③	パワーウィンド、ドアミラー
④	フロントシートの調節

計器およびコントロール装置、右ハンドル車

ここでは、運転者の近くにあるディスプレイとコントロール装置の位置を示します。



ディスプレイ/機能/コントロール	
①	ポジションランプ、ロービーム、ハイビーム、方向指示器、リアフォグランプ、トリップメーターリセット
②	オートマチックトランスミッションのマニュアルギヤチェンジ*
③	ヘッドアップディスプレイ*
④	ドライバーディスプレイ

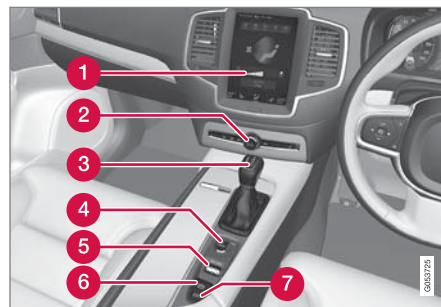




ディスプレイ/機能/コントロール
⑤ ワイパー/ウォッシャー、レインセンサー*
⑥ ステアリングホイールの右側キーパッド
⑦ ディスプレイライト、テールゲートロック解除、テールゲート開/閉操作*、ハロゲンヘッドライト光軸調整
⑧ ボンネット開操作
⑨ ホーン
⑩ ステアリングホイールの調節
⑪ ステアリングホイールの左側キーパッド

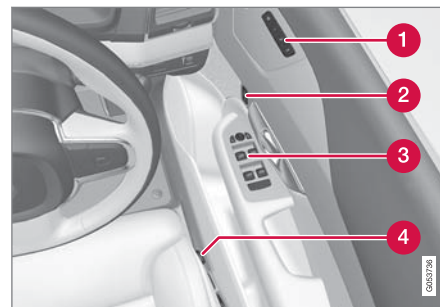


ディスプレイ/機能/コントロール
① フロント読書灯およびルームランプ
② パノラマルーフ*
③ ルーフコンソールのディスプレイ
④ ルームミラーの手动防眩



ディスプレイ/機能/コントロール
① センターディスプレイ
② 非常点滅灯、最大デフロスター/ヒーター、ウインドスクリーン*、メディア、グローブボックスリッド開操作
③ ギヤセレクターレバー

ディスプレイ/機能/コントロール
④ スタートノブ
⑤ ドライブモード*
⑥ パーキングブレーキ
⑦ 停車時のオートブレーキ



ディスプレイ/機能/コントロール
① 以下のセットアップ用メモリー： <ul style="list-style-type: none"> ● フロントパワーシート* ● ドアミラー ● ヘッドアップディスプレイ*
② ドア開操作、サイドドアおよびテールゲートのロック/ロック解除

	ディスプレイ/機能/コントロール
③	パワーウインド、ドアミラー
④	フロントシートの調節

ドライバーディスプレイ

ドライバーディスプレイには、車両と運転に関する情報が表示されます。

ドライバーディスプレイには、ゲージ、インジケーター、表示灯および警告灯が表示されます。ドライバーディスプレイの表示は、車両の装備、設定、およびその時点でオンになっている機能により異なります。

ドライバーディスプレイには12インチと8インチの2種類があります。

⚠ 警告

ドライバーディスプレイに不具合がある場合、ブレーキ、エアバッグ、その他のセーフティシステムなどに関する情報が表示されないことがあります。そのため、運転者は車両のシステムの状態を確認することや、警告および情報を受け取ることができません。

⚠ 警告

万が一、ドライバーディスプレイが消えた、作動/始動時に点灯しない、または完全に/部分的に認識できない場合、車両を使用しないでください。ただちにサービス工場にご連絡ください。ボルボ指定のサービス工場をお勧めします。

12インチドライバーディスプレイ



左側

- スピードメーター
- トリップメーター(走行距離計)
- オドメーター
- クルーズコントロールおよび速度リミッター情報
- ロード・サイン・インフォメーション

◀ 中央

- インジケーターおよび警告灯
- 外気温計
- 時計
- メッセージ(図を伴う場合あり)
- 走行可能距離
- バッテリー走行可能距離
- ドアおよびシートベルト情報
- 充電状態
- コンパス
- メディアプレーヤー
- ナビゲーション地図
- 電話
- 音声認識

右側

- タコメーター(選択されたドライブモードによる)。
- 燃料計
- バッテリーメーター
- ギヤシフトインジケーター
- 選択中のドライブモード。選択可能なドライブモードには、Hybrid、Off Road、Save、Pure、Power、および AWD があります

- ハイブリッドゲージ(選択されたドライブモードによる)
- 瞬間燃料消費量
- ハイブリッドバッテリーの充電残量
- アプリメニュー(ステアリングホイールのキーパッドで起動)

ドライバーディスプレイの起動

ドライバーディスプレイはドアを開けるとすぐに起動します(イグニッション位置 **0**)。ドライバーディスプレイはしばらく使用しないと消灯します。以下の方法のいずれかを使用することにより、再起動することができます。

- プレーキペダルを踏む
- スタートノブを、イグニッション位置 **I** に回す、または
- いずれかのドアを開ける

ドライバーディスプレイ設定

ドライバーディスプレイの表示項目を決定する設定の中には、アプリメニューで行うことができます。「ドライバーディスプレイのアプリケーションメニュー」を参照してください。

以下の設定は、センターディスプレイのトップビューの**設定 → My Car → ディスプレイメニュー**で行うことができます。

- **メーター・ディスプレイの中心エリア**。ドライバーディスプレイの背景に表示されるものを選択します(**メーターに情報を表示しません、再生中のメディア情報を表示** または **ルートを設定しなくても、地図を表示**)。12 インチドライバーディスプレイでは情報が中央に表示され、8 インチドライバーディスプレイでは情報が右上のフィールドに表示されます。
- **テーマ**。ドライバーディスプレイのテーマ(外観)を選択します(**Glass、Minimalistic、Performance** または **Chrome rings**)。

システム言語は**設定 → システム → システム言語を選択する**で変更することができます。変更はすべてのディスプレイの言語に反映されません。

関連情報

- ドライバーディスプレイの表示灯 (p. 135)
- ドライバーディスプレイの警告灯 (p. 137)
- ドライバーディスプレイのアプリケーションメニュー (p. 146)
- ドライバーディスプレイのライセンス契約 (p. 140)

¹ 8 インチディスプレイには案内のみが表示されます。地図は 12 インチドライバーディスプレイのみに表示されます。詳しくは、「地図ナビゲーションのディスプレイおよび操作コントロール」および「ドライバーディスプレイの地図ナビゲーション」の項を参照してください。

ドライバーディスプレイに表示されるハイブリッドに関する情報

ドライバーディスプレイには、選択中のドライブモードによって異なる計器と機能が表示されます。すべてのドライブモードは、最適な経済性を実現しながら走行できるように運転者を支援する独自の計器類で構成されています。

車両には、今までの走行統計も保存されています。これはブロック図で確認することができます。

ハイブリッド固有のシンボル

計器によって、電動モーターからの出力の使用量と使用可能な出力の関係の表示方法は異なります。



現在使用可能な電気モーターの出力レベルを表示します。シンボルが塗りつぶされた状態の場合は、電気モーターが使用中であることを表します。



現在使用可能な電気モーターの出力レベルを表示します。シンボルが塗りつぶされていない状態の場合は、電気モーターが使用されていないことを表します。



内燃エンジンが始動すると、出力レベルを表示します。シンボルが塗りつぶされた状態の場合は、内燃エンジンが使用中であることを表します。



出力レベルは、内燃エンジンが始動するときに表示されます。シンボルが塗りつぶされていない状態の場合は、内燃エンジンが使用されていないことを表します。



ハイブリッドバッテリーが充電中であることを表示するインジケータです。



電気モーター用バッテリーの、現在使用可能なエネルギー量を表示するインジケータです。本インジケータは右下の角にあるハイブリッドバッテリーゲージにより表示されます。



eDTE (Electrical Distance To Empty/電気走行可能距離)インジケータ。バッテリーが空になるまでの現在の距離を表示します。

ハイブリッドゲージ

使用可能な電動モーター出力

バッテリーゲージは、メーター・パネルの右下、ハイブリッドゲージと燃料計の間にあります。ゲージは、バッテリーに残っているエネルギー量を表示します。このエネルギーは電気モーターだけでなく、車内の暖房や冷房にも使用されます。

運転者が要求した出力

ポインターは運転者がアクセルペダルを操作して要求したエンジン出力量を示しています。この値が高ければ高いほど、現在のギヤで運転者

が要求した出力が大きいことを示しています。稲妻と水滴の間のマークは、電気モーターが作動を停止し、代わりに内燃エンジンが作動する変換ポイントを示しています。

例



車両は作動しているが、停止している。出力は要求されていない。

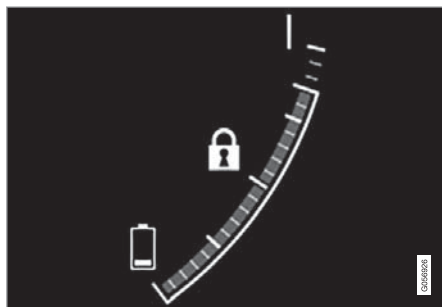


電気モーターが要求されたエンジン出力を供給することができないと、内燃エンジンが始動します。




車両はバッテリーに電流を生成し、バッテリーが充電されます(例: ブレーキペダルを軽く踏み込むとき、または下り坂でエンジンブレーキが作動しているとき)。

Save ドライブモード



Save ドライブモードが起動されました。バッテリーは、ドライブモードがオンになった時点の

レベルでロックされます。これはバッテリーインジケーターにより表示される  シンボルによって表示されます。エネルギーレベルは、Hybrid モードの時と同様に、システムが内燃エンジンを停止/始動することにより維持されず。内燃エンジンを使用します。このドライブモードが有効なときにハイブリッドバッテリーのエネルギーレベルが 33% を下回ると、燃焼機関が始動しバッテリーを 33% まで充電します。詳しくは「ドライブモード」を参照してください。




関連情報

- ドライバーディスプレイにトリップデータを表示する (p. 209)
- センターディスプレイに走行統計を表示する (p. 211)
- ドライバーディスプレイ (p. 131)
- ドライブモード (p. 422)
- ハイブリッドに関するシンボルおよびメッセージ (p. 466)

ドライバーディスプレイの表示灯

表示灯は、機能の作動、システムの作動、異常や故障の発生を運転者に知らせます。

シンボル	意味
	インフォメーション(ディスプレイテキストをお読みください) 車両のシステムの1つが正常に機能しなくなると、ドライバーディスプレイにインフォメーションシンボルが点灯し、テキストが表示されます。インフォメーションシンボルは、他の表示灯と共に点灯する場合もあります。
	ブレーキシステムの不具合 パーキングブレーキに不具合がある場合、シンボルが点灯します。
	ABS 不具合 この警告灯が点灯した場合は、システムが機能していません。この状態でもブレーキシステムは通常通り作動しますが、ABS 機能は働きません。

シンボル	意味
	オートブレーキオン 停車したとき、ブレーキが車両を静止状態に保持します。フットブレーキまたはパーキングブレーキが作動しているときにオートブレーキが作動すると、シンボルが点灯します。
	タイヤ空気圧システム このシンボルは、タイヤ空気圧が低いときに点灯します。タイヤ空気圧システムに不具合がある場合、このシンボルは最初に約1分間点滅してから点灯に変わります。システムが本来通りにタイヤの空気圧低下を検出または警告できないことが考えられます。
	エミッションシステム エンジン始動後にこの警告灯が点灯した場合、車両のエミッションシステムに不具合が発生したおそれがあります。サービス工場まで走行し、点検を受けてください。ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。



シンボル	意味
	左/右方向指示器 方向指示器を使用しているときに、シンボルが点滅します。
	
	ポジションランプ ポジションランプ/デイトタイムランニングライトが点灯すると、シンボルが点灯します。
	ABL 不具合 ABL 機能(アクティブベンディングランプ)に不具合が発生すると、このシンボルが点灯します。
	アクティブハイビームオン アクティブハイビームが点灯すると、シンボルが青色で点灯します。
	アクティブハイビームオフ アクティブハイビームが消灯すると、シンボルが白色で点灯します。



シンボル	意味
	<p>ハイビーム作動</p> <p>このシンボルは、ハイビーム使用時またはパッシングライト位置で点灯します。</p>
	<p>アクティブハイビームオン</p> <p>アクティブハイビームが点灯すると、シンボルが青色で点灯します。ポジションランプ/デイトタイムランニングライトが点灯しています。</p>
	<p>アクティブハイビームオフ</p> <p>アクティブハイビームが消灯すると、シンボルが白色で点灯します。ポジションランプ/デイトタイムランニングライトが点灯しています。</p>
	<p>ハイビーム作動</p> <p>ハイビームおよびポジションランプ/デイトタイムランニングライトが点灯すると、シンボルが点灯します。</p>
	<p>リアフォグランプオン</p> <p>リアフォグランプがオンのときに点灯します。</p>

シンボル	意味
	<p>レインセンサーオン</p> <p>レインセンサーがオンのときに点灯します。</p>
	<p>プリコンディショニングオン</p> <p>エンジンロックおよび車内ヒーター/エアコンディショナーにより車両のプリコンディショニングが行われているときに点灯します。</p>
	<p>スタビリティ・システム</p> <p>スタビリティ・システムが作動すると、点滅します。点灯し続ける場合は、システムに不具合があります。</p>

シンボル	意味
	<p>スタビリティ・システム、スポーツモード</p> <p>スポーツモードを選択すると、よりアクティブな運転が可能になります。システムがアクセルペダルやステアリングホイールの動き、さらにコーナリングをモニターし、通常よりもアクティブに運転しているとシステムが判断すると、一定範囲内で後輪の意図的なスリップを許容します。スリップが一定レベルを超えると、システムが介入し、車両を安定させます。スポーツモードがオンのときには、シンボルが点灯します。</p>

シンボル	意味
	<p>レーンアシスト</p> <p>白色のシンボル：レーンアシストがオンで、車線境界線が検知されています</p> <p>灰色のシンボル：レーンアシストはオンですが、車線境界線が検知されていません</p> <p>黄色のシンボル：レーンアシストの警告/介入</p>
	<p>レーンアシストおよびレーンセンサー</p> <p>白色のシンボル：レーンアシストがオンで、車線境界線が検知されています。レーンセンサーはオンです</p> <p>灰色のシンボル：レーンアシストはオンですが、車線境界線が検知されていません。レーンセンサーはオンです</p>

ドア、ボンネット、テールゲートおよび燃料給油口フラップのリマインダー

ボンネット、テールゲート、燃料給油口フラップまたはドアが正しく閉じていない場合、ドライバーディスプレイにインフォメーションシンボルまたは警告灯およびグラフィックが表示されます。

関連情報

- ドライバーディスプレイ (p. 131)
- ドライバーディスプレイの警告灯 (p. 137)
- ドアおよびシートベルトリマインダー (p. 102)

ドライバーディスプレイの警告灯

警告灯は、重要な機能の作動や、重大な異常や故障の発生を運転者に知らせます。

警告

ブレーキフルードレベルがリザーバータンクの **MIN** マークより低い場合は、ブレーキフルードを補充するまで絶対に運転しないでください。



サービス工場でブレーキフルードが減った原因を調べる必要があります。ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。



警告

ブレーキシステムと ABS の警告灯が両方同時に点灯しているときは、急ブレーキをかけた際に車体後部が横滑りするおそれがありますので、ご注意ください。



シンボル	意味
	<p>警告</p> <p>車両の安全性または操縦安定性に関わるような不具合が発生すると、赤色の警告灯が点灯します。同時に、ドライバーディスプレイにテキストが表示されます。警告灯は、他の表示灯と共に点灯する場合があります。</p>
	<p>シートベルトリマインダー</p> <p>この警告灯は、運転席/助手席の乗員がシートベルトを着用していないとき、またはリアシートの乗員がシートベルトを外したときに点滅します。</p>
	<p>エアバッグ</p> <p>警告灯が点灯し続ける場合、または走行中に点灯した場合は、車両のセーフティシステムのいずれかに不具合が検出されたことを表しています。ドライバーディスプレイのディスプレイテキストをお読みください。ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。</p>

シンボル	意味
	<p>ブレーキシステムの不具合</p> <p>この警告灯が点灯したときは、ブレーキフルード量が規定量以下に減っているおそれがあります。お近くの正規サービス工場でのブレーキフルード量の点検を受け、問題を解決してください。</p>
	<p>パーキングブレーキ作動</p> <p>パーキングブレーキがかかっているときに、警告灯が点灯します。</p> <p>表示灯が点滅する場合は、システムに不具合が発生していることを意味します。ドライバーディスプレイのディスプレイテキストをお読みください。</p>

シンボル	意味
	<p>油圧低下</p> <p>この警告灯が走行中に点灯した場合は、エンジンオイルの油圧が低下しています。ただちにエンジンを停止して、エンジンオイルのレベルを点検し、必要に応じて補充してください。オイルレベルが正常であるにもかかわらず警告灯が点灯する場合は、サービス工場にご連絡ください。ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。</p>
	<p>メインバッテリーが充電されていません</p> <p>走行中に電気系統に不具合が発生すると点灯します。サービス工場にご連絡ください。ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。</p>

ドア、ボンネット、テールゲートおよび燃料給油口フラップのリマインダー

ボンネット、テールゲート、燃料給油口フラップまたはドアが正しく閉じていない場合、ドライバーディスプレイにインフォメーションシンボルまたは警告灯およびグラフィックが表示されます。

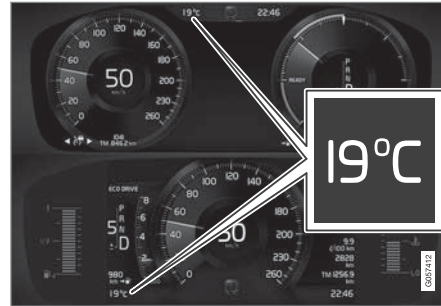
関連情報

- ドライバーディスプレイ (p. 131)
- ドライバーディスプレイの表示灯 (p. 135)
- ドアおよびシートベルトリマインダー (p. 102)
- 重要な安全上のご注意! (p. 96)

外気温計

外気温計はドライバーディスプレイに表示されます。

車外の温度がセンサーによって検知されます。



ドライバーディスプレイの外気温計の位置

停車している場合、外気温計は高すぎる値を示すことがあります。

外気温が+2℃～-5℃の場合、路面凍結によるスリップの危険があることを警告するために、ドライバーディスプレイに雪の結晶マークが表示されます。雪の結晶マークは、ヘッドアップディスプレイにも一時的に表示されます(ヘッドアップディスプレイ装備車の場合)。

外気温計の設定

外気温計の単位は、センターディスプレイのトップビューで変更します。

- **設定** → **システム** → **単位**の順に選択し、**Metric**、**Imperial**、**US**の中から必要な単位の種類を選択します。

関連情報

- ドライバーディスプレイ (p. 131)
- エアコンディショナー - センサー (p. 218)

時計

時計はドライバーディスプレイとセンターディスプレイの両方に表示されます。

位置



12 インチドライバーディスプレイと 8 インチドライバーディスプレイの時計の位置

センターディスプレイの時計は、ステータスフィールドの右上にあります。

状況により、ドライバーディスプレイではメッセージおよび情報で時計が隠れることがあります。

時刻および日付の設定

センターディスプレイのトップビューで**設定**

→ **システム** → **日付&日時**の順に押して、時刻および日付の形式を変更します。

タッチスクリーンの上または下矢印を押して、時刻および日付を調整します。

GPS 装備車の自動時刻合わせ

ナビゲーションシステム装備車の場合、**自動時間設定** を選択することができます。タイムゾーンは、車両の位置に基づいて自動的に調整されます。ナビゲーションシステムのタイプによっては、適切なタイムゾーンを取得するために、現在地(国)も設定する必要があります。**自動時間設定** を選択していない場合、時刻および日付はタッチスクリーンの上または下矢印を使用して調整します。

サマータイム

一部の国では、**自動** でサマータイムの自動設定を選択することができます。その他の国では、**オン** または **オフ** でサマータイムを設定することができます。

関連情報

- ドライバーディスプレイ (p. 131)
- 設定ビュー (p. 212)

ドライバーディスプレイのライセンス契約

ライセンスとは、特定のアクティビティを操作する権利、または他人の権利を契約条件に基づいて使用する権利の許諾契約です。以下はボルボ社と製造元/開発元との使用許諾契約で、英語で記載されています。

BSD 4-clause "Original" or "Old" License

Copyright (c) 1982, 1986, 1990, 1991, 1993
The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

BSD 3-clause "New" or "Revised" License

Copyright (c) 2011-2014, Yann Collet.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the organisation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derive from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT,

INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

BSD 2-clause "Simplified" license

Copyright (c) <YEAR>, <OWNER> All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

◀◀ THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The views and conclusions contained in the software and documentation are those of the authors and should not be interpreted as representing official policies, either expressed or implied, of the FreeBSD Project.

FreeType Project License

- 1 Copyright 1996-1999 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg
Introduction The FreeType Project is distributed in several archive packages; some of them may contain, in

addition to the FreeType font engine, various tools and contributions which rely on, or relate to, the FreeType Project. This license applies to all files found in such packages, and which do not fall under their own explicit license. The license affects thus the FreeType font engine, the test programs, documentation and makefiles, at the very least. This license was inspired by the BSD, Artistic, and IJG (Independent JPEG Group) licenses, which all encourage inclusion and use of free software in commercial and freeware products alike. As a consequence, its main points are that:

- We don't promise that this software works. However, we are interested in any kind of bug reports. ('as is' distribution)
- You can use this software for whatever you want, in parts or full form, without having to pay us. ('royalty-free' usage)
- You may not pretend that you wrote this software. If you use it, or only parts of it, in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you've used the FreeType code. ('credits')

We specifically permit and encourage the inclusion of this software, with or without modifications, in commercial

products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor. Legal Terms 0. Definitions Throughout this license, the terms 'package', 'FreeType Project', and 'FreeType archive' refer to the set of files originally distributed by the authors (David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg) as the 'FreeType project', be they named as alpha, beta or final release. 'You' refers to the licensee, or person using the project, where 'using' is a generic term including compiling the project's source code as well as linking it to form a 'program' or 'executable'. This program is referred to as 'a program using the FreeType engine'. This license applies to all files distributed in the original FreeType archive, including all source code, binaries and documentation, unless otherwise stated in the file in its original, unmodified form as distributed in the original archive. If you are unsure whether or not a particular file is covered by this license, you must contact us to verify this. The FreeType project is copyright (C) 1996-1999 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg. All rights reserved except as

specified below. 1. No Warranty THE FREETYPE ARCHIVE IS PROVIDED 'AS IS' WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. IN NO EVENT WILL ANY OF THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY DAMAGES CAUSED BY THE USE OR THE INABILITY TO USE, OF THE FREETYPE PROJECT. As you have not signed this license, you are not required to accept it. However, as the FreeType project is copyrighted material, only this license, or another one contracted with the authors, grants you the right to use, distribute, and modify it. Therefore, by using, distributing, or modifying the FreeType project, you indicate that you understand and accept all the terms of this license.

2. Redistribution Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
 - o Redistribution of source code must retain this license file ('licence.txt') unaltered; any additions, deletions or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying

documentation. The copyright notices of the unaltered, original files must be preserved in all copies of source files.

- o Redistribution in binary form must provide a disclaimer that states that the software is based in part of the work of the FreeType Team, in the distribution documentation. We also encourage you to put an URL to the FreeType web page in your documentation, though this isn't mandatory. These conditions apply to any software derived from or based on the FreeType code, not just the unmodified files. If you use our work, you must acknowledge us. However, no fee need be paid to us.

3. Advertising The names of FreeType's authors and contributors may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission. We suggest, but do not require, that you use one or more of the following phrases to refer to this software in your documentation or advertising materials: `FreeType Project', `FreeType Engine', `FreeType library', or `FreeType Distribution'.
4. Contacts There are two mailing lists related to FreeType:
 - o

freetype@freetype.org Discusses general use and applications of FreeType, as well as future and wanted additions to the library and distribution. If you are looking for support, start in this list if you haven't found anything to help you in the documentation.

- o devel@freetype.org Discusses bugs, as well as engine internals, design issues, specific licenses, porting, etc.
 - o <http://www.freetype.org> Holds the current FreeType web page, which will allow you to download our latest development version and read online documentation. You can also contact us individually at: David Turner <david.turner@freetype.org> Robert Wilhelm <robert.wilhelm@freetype.org> Werner Lemberg <werner.lemberg@freetype.org>

Libpng License

This copy of the libpng notices is provided for your convenience. In case of any discrepancy between this copy and the notices in the file png.h that is included in the libpng distribution, the latter shall prevail.

◀◀ **COPYRIGHT NOTICE, DISCLAIMER, and LICENSE:**

If you modify libpng you may insert additional notices immediately following this sentence.

libpng versions 1.0.7, July 1, 2000, through 1.0.13, April 15, 2002, are Copyright (c) 2000-2002 Glenn Randers-Pehrson and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.0.6 with the following individuals added to the list of Contributing Authors

Simon-Pierre Cadieux

Eric S. Raymond

Gilles Vollant

and with the following additions to the disclaimer:

There is no warranty against interference with your enjoyment of the library or against infringement. There is no warranty that our efforts or the library will fulfill any of your particular purposes or needs. This library is provided with all faults, and the entire risk of satisfactory quality, performance, accuracy, and effort is with the user.

libpng versions 0.97, January 1998, through 1.0.6, March 20, 2000, are Copyright (c) 1998, 1999 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.96, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

Tom Lane

Glenn Randers-Pehrson

Willem van Schaik

libpng versions 0.89, June 1996, through 0.96, May 1997, are Copyright (c) 1996, 1997 Andreas Dilger Distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.88, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

John Bowler

Kevin Bracey

Sam Bushell

Magnus Holmgren

Greg Roelofs

Tom Tanner

libpng versions 0.5, May 1995, through 0.88, January 1996, are Copyright (c)

1995, 1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

For the purposes of this copyright and license, "Contributing Authors" is defined as the following set of individuals:

Andreas Dilger

Dave Martindale

Guy Eric Schalnat

Paul Schmidt

Tim Wegner

The PNG Reference Library is supplied "AS IS". The Contributing Authors and Group 42, Inc. disclaim all warranties, expressed or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability and of fitness for any purpose. The Contributing Authors and Group 42, Inc. assume no liability for direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, which may result from the use of the PNG Reference Library, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this source code, or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

1. The origin of this source code must not be misrepresented.
2. Altered versions must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source.
3. This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

The Contributing Authors and Group 42, Inc. specifically permit, without fee, and encourage the use of this source code as a component to supporting the PNG file format in commercial products. If you use this source code in a product, acknowledgment is not required but would be appreciated.

A "png_get_copyright" function is available, for convenient use in "about" boxes and the like:

```
printf("%s", png_get_copyright(NULL));
```

Also, the PNG logo (in PNG format, of course) is supplied in the files "pngbar.png" and "pngbar.jpg (88x31) and "pngnow.png" (98x31).

Libpng is OSI Certified Open Source Software. OSI Certified Open Source is a certification mark of the Open Source Initiative.

Glenn Randers-Pehrson randeg@alum.rpi.edu
April 15, 2002

MIT License

Copyright (c) <year> <copyright holders>

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE

SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

zlib License

The zlib/libpng License Copyright (c) <year> <copyright holders>

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

◀ SGI Free Software B License Version 2.0.

SGI FREE SOFTWARE LICENSE B (Version 2.0, Sept. 18, 2008)

Copyright (C) [dates of first publication] Silicon Graphics, Inc. All Rights Reserved. Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions: The above copyright notice including the dates of first publication and either this permission notice or a reference to <http://oss.sgi.com/projects/FreeB/> shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL SILICON GRAPHICS, INC. BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER

LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of Silicon Graphics, Inc. shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from Silicon Graphics, Inc.

関連情報

- ドライバーディスプレイ (p. 131)

ドライバーディスプレイのアプリケーションメニュー

ドライバーディスプレイのアプリケーションメニュー(アプリメニュー)からは、一部のアプリのよく使う機能に素早くアクセスすることができます。



センターディスプレイを使用する代わりに、ドライバーディスプレイのアプリメニューを使用することができます。

アプリメニューはドライバーディスプレイに表示され、ステアリングホイールの右側キヤパッドで操作されます。アプリメニューを使用すると、ステアリングホイールから手を放したり、視線を道路からそらしたりすることなく、さまざまなアプリやアプリ内の機能を簡単に切り替えることができます。

アプリメニュー機能

利用できる機能のタイプは、アプリに応じて異なります。以下のアプリとその関連機能は、アプリメニューから制御することができます。

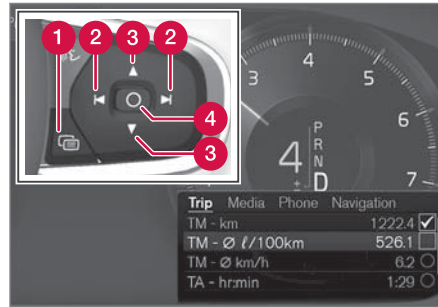
アプリ	機能
トリップコンピューター	トリップメーターの選択、ドライバーディスプレイの表示項目の選択など。
メディアプレーヤー	メディアプレーヤーのアクティブなソースの選択。
電話	コールリストの連絡先への電話。
ナビゲーション	ガイドの一時停止、最近使用した目的地へのガイドの開始など。

関連情報

- ドライバーディスプレイ (p. 131)
- センターディスプレイの概要 (p. 34)
- ドライバーディスプレイのアプリケーションメニューを使用する (p. 147)

ドライバーディスプレイのアプリケーションメニューを使用する

ドライバーディスプレイのアプリケーションメニュー(アプリメニュー)の操作には、ステアリングホイールの右側キーパッドを使用します。



アプリメニューとステアリングホイールの右側キーパッド

- 1 開く/閉じる
- 2 左/右
- 3 上/下
- 4 確定

アプリメニューを開く/閉じる

- 開く/閉じる(1)を押します。

(ドライバーディスプレイに未読のメッセージがある場合、アプリメニューを開くことはできません。アプリメニューを開くには、先に未読のメッセージを確認する必要があります。)

> アプリメニューが開きます/閉じます。

使用しない状態がしばらく続いた場合、または特定のオプションを選択した場合、アプリメニューは自動的に閉じます。

アプリメニューでの移動と選択

1. 左または右(2)をタップして、利用できるアプリを切り替えます。
 - > 前/次のアプリの機能がアプリメニューに表示されます。
2. 上または下(3)をタップして、選択したアプリの機能をブラウズします。
3. 確認(4)を押して、目的の機能のオプションを確定またはハイライト表示します。
 - > 機能がオンになり、オプション次第ではアプリメニューが閉じます。

アプリメニューを再度開いた場合、もっとも最近選択したアプリの機能が直接開きます。

関連情報

- ドライバーディスプレイのアプリケーションメニュー (p. 146)

ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイのメッセージ

ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイは、さまざまな状況でメッセージを表示して運転者に知らせ、支援します。

ドライバーディスプレイ



ドライバーディスプレイのメッセージ

ドライバーディスプレイには、運転者に対して優先順位の高いメッセージが表示されます。

ドライバーディスプレイでのメッセージの表示位置は、表示中のその他の情報に応じて異なることがあります。メッセージを確認し、必要に応じて対処すると、メッセージはドライバーディスプレイから消えます。時間の経過に伴って消えることもあります。メッセージを保存する必要がある場合、**車両の状態** アプリに配置されます。このアプリはセンターディスプレイのアプリビューから開くことができます。

メッセージ構成にはいくつかの種類があり、図、シンボル、またはメッセージ確認用/リクエスト受入用のボタンなどが一緒に表示されるものもあります。

サービスメッセージ

次表には、重要なサービスメッセージとその意味が記載されています。

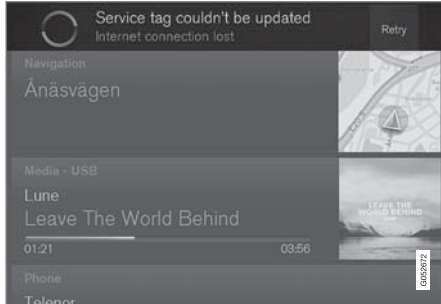
メッセージ	意味
安全の為 停車してください^A	停車してエンジンを停止してください。重大な損傷のおそれがあります。サービス工場 ^B にご相談ください。
エンジン停止^A	停車してエンジンを停止してください。重大な損傷のおそれがあります。サービス工場 ^B にご相談ください。
緊急サービスが必要で 工場まで運転して下さい^A	ただちにサービス工場 ^B に連絡し、点検を受けてください。
販売店にお問い合わせください^A	すみやかにサービス工場 ^B に連絡し、点検を受けてください。

メッセージ	意味
定期メンテナンスを予約して下さい	定期点検整備の時期です。サービス工場 ^B にご連絡ください。次回の点検整備日の前に表示されます。
定期メンテナンス時期です	定期点検整備の時期です。サービス工場 ^B にご連絡ください。点検整備日に表示されます。
定期メンテナンス時期を過ぎています	定期点検整備の時期です。サービス工場 ^B にご連絡ください。点検整備日が過ぎたときに表示されます。
一時的に OFF^A	機能が一時的に解除されていることを示します。この機能は、走行中またはエンジン再始動後に、自動的にリセットされます。

^A メッセージの一部では、問題が発生した場所に関する情報が表示されます。

^B ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

センターディスプレイ



センターディスプレイのメッセージ

センターディスプレイには、運転者に対して優先順位の低いメッセージが表示されます。

ほとんどのメッセージはセンターディスプレイのステータスバーの上に表示されます。しばらく後、またはメッセージに関して必要な対処をすると、メッセージはステータスバーから消えます。メッセージを保存する必要がある場合、センターディスプレイのトップビューに配置されます。

メッセージ構成にはいくつかの種類があり、図、シンボル、またはメッセージに関連する機能をオン/オフにするボタンが一緒に表示されるものもあります。

ポップアップメッセージ

状況により、メッセージがポップアップウィンドウの形で表示されることがあります。ポップ

アップメッセージはステータスバーに表示されるメッセージよりも優先度が高く、消すためには確認/処置が必要です。保存する必要があるメッセージは、センターディスプレイのトップビューに配置されます。

関連情報

- ドライバーディスプレイ (p. 131)
- センターディスプレイの概要 (p. 34)
- ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイのメッセージの管理 (p. 149)
- ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイから保存されたメッセージを管理する (p. 151)

ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイのメッセージの管理

ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイのメッセージの管理には、ステアリングホイールの右側キーパッドとセンターディスプレイのビューを使用します。

ドライバーディスプレイ



ドライバーディスプレイのメッセージとステアリングホイールの右側キーパッド

- 1 左/右
- 2 確定

ドライバーディスプレイのメッセージの中には、メッセージ確認用/リクエスト受入用などのボタンが含まれているものがあります。

◀ ④ 新しいメッセージへの対応

メッセージにボタンがある場合：

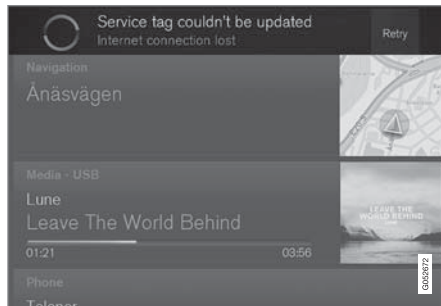
1. 左または右(1)をタップして、利用できるボタンを切り替えます。
2. 確認(2)を押して、選択を確定します。
 - ＞ メッセージがドライバーディスプレイから消えます。

メッセージにボタンがない場合：

- 確認(2)を押してメッセージを閉じるか、メッセージが自動的に閉じるまでしばらく待ちます。
 - ＞ メッセージがドライバーディスプレイから消えます。

メッセージを保存する必要がある場合、**車両の状態** アプリに配置されます。このアプリはセンターディスプレイのアプリビューから開くことができます。これと関連して、メッセージ **車両状態アプリに車両情報を保存** がセンターディスプレイに表示されます。

センターディスプレイ



センターディスプレイのメッセージ

センターディスプレイのメッセージの中には、メッセージに関連付けられている機能のオン/オフなどのボタン(またはポップアップメッセージでの複数のボタン)が含まれているものがあります。

新しいメッセージへの対応

メッセージにボタンがある場合：

- ボタンを押して操作を行うか、メッセージが自動的に閉じるまでしばらく待ちます。
 - ＞ メッセージがステータスバーから消えます。

メッセージにボタンがない場合：

- メッセージをタップしてメッセージを閉じるか、メッセージが自動的に閉じるまでしばらく待ちます。
 - ＞ メッセージがステータスバーから消えます。

メッセージを保存する必要がある場合、センターディスプレイのトップビューに配置されます。

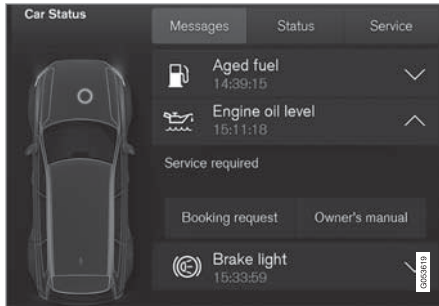
関連情報

- ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイのメッセージ (p. 148)
- ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイから保存されたメッセージを管理する (p. 151)

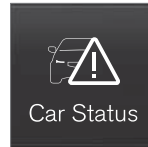
ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイから保存されたメッセージを管理する

ドライバーディスプレイまたはセンターディスプレイのどちらから保存された場合でも、メッセージはセンターディスプレイで管理されます。

ドライバーディスプレイから保存されたメッセージ



車両の状態アプリでの保存済みメッセージと利用可能なオプション



ドライバーディスプレイに表示されているメッセージで、保存する必要があるものは、センターディスプレイの **車両の状態** アプリに配置されます。これに関連して、メッセージ **車両状態アプリに車両情報を保存** がセンターディスプレイに表示されます。

保存済みメッセージを読む

保存済みメッセージをすぐに読むには：

- センターディスプレイの **車両状態アプリに車両情報を保存** メッセージの右にあるボタンを押します。
 - > 保存済みメッセージが **車両の状態** アプリに表示されます。

保存済みメッセージを後で読むには：

1. センターディスプレイのアプリビューで **車両の状態** アプリを開きます。
 - > ホームビューの下部にあるサブビューでアプリが開きます。
2. アプリで **メッセージ** タブを選択します。
 - > 保存済みメッセージのリストが表示されます。

3. 右の矢印を押して、メッセージを展開/最小化します。
 - > メッセージに関する詳しい情報がリストに表示され、アプリの左の画像がメッセージに関する情報をグラフィック形式で表示します。

44 保存済みメッセージの管理

展開モードの場合、一部のメッセージにはボタンが2つあり、サービスの予約またはオーナーズマニュアルの表示に使用することができます。

保存済みメッセージに対応してサービスを予約するには：

- メッセージの展開モードで、**予約 リクエスト** または **電話で予約**² を押して、サービス予約のサポートを受けます。
 - > **予約 リクエスト** を使用する場合：アプリで **予約** タブが開き、サービスおよび修理作業の予約リクエストを作成します。

電話で予約 を使用する場合：電話アプリが起動し、サービスセンターに電話して、サービスおよび修理作業を予約します。

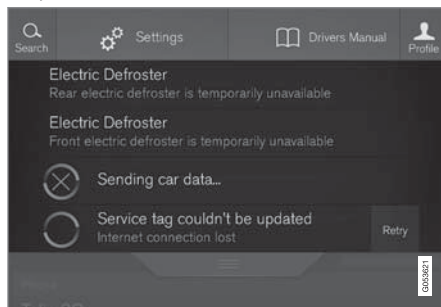
保存済みメッセージをオーナーズマニュアルで調べるには：

- メッセージの展開モードで **取扱説明書** を押して、メッセージの内容をオーナーズマニュアルで調べます。
 - > センターディスプレイでオーナーズマニュアルが開き、メッセージに関連付けられている情報を表示します。

アプリの保存済みメッセージは、エンジンを始動するたびに自動的に削除されます。

² 市場によって異なります。

センターディスプレイから保存されたメッセージ



トップビューでの保存済みメッセージと利用可能なオプション

センターディスプレイに表示されているメッセージで、保存する必要があるものは、センターディスプレイのトップビューに配置されます。

保存済みメッセージを読む

1. センターディスプレイのトップビューを開きます。
 - > 保存済みメッセージのリストが表示されます。展開できるメッセージには、右に矢印が付いています。
2. 矢印を押して、メッセージを展開/最小化します。

保存済みメッセージの管理

一部のメッセージには、メッセージに関連付けられている機能のオン/オフ用などのボタンがあります。

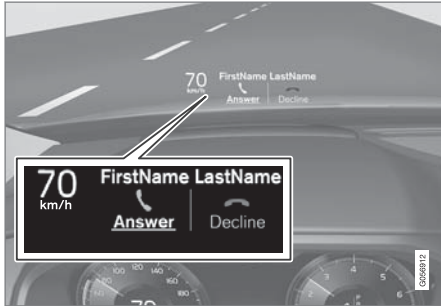
- 操作を行うには、ボタンを押してください。トップビューの保存済みメッセージは、車両をオフにするたびに自動的に削除されます。

関連情報

- ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイのメッセージ (p. 148)
- ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイのメッセージの管理 (p. 149)

ヘッドアップディスプレイ*

ヘッドアップディスプレイは、速度、クルーズコントロール機能、ナビゲーションなどに関する警告および情報を運転者の視野の中に表示します。ヘッドアップディスプレイには、ロード・サイン・インフォメーションや電話の着信も表示されます。

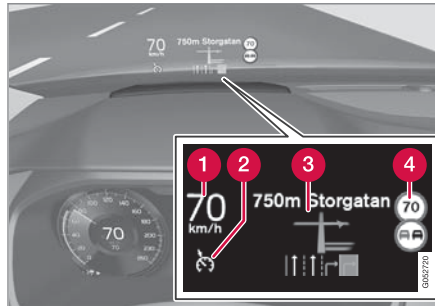


着信

ヘッドアップディスプレイは、車両のドライバーディスプレイを補完し、ウィンドスクリーンに情報を映します。映しだされたイメージは、運転席からのみ見ることができます。

! **重要**

情報を投影するディスプレイユニットはダッシュボードに配置されています。ディスプレイユニットのカバーガラスの損傷を防止するため、カバーガラスの上にはなにも置かないでください。また、カバーガラスに物を落とさないように注意してください。



ディスプレイの表示例

- 1 速度
- 2 クルーズコントロール
- 3 ナビゲーション
- 4 道路標識

ヘッドアップディスプレイには、多くのシンボル(以下参照)が一時的に表示されることがあります。



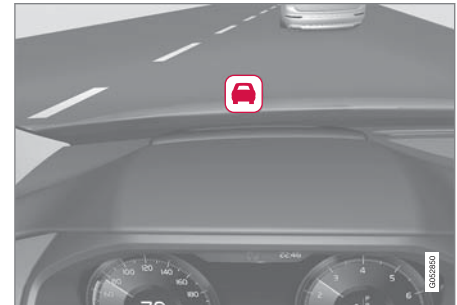
警告灯が点灯した場合、ドライバーディスプレイの警告メッセージをお読みください。



インフォメーションシンボルが点灯した場合、ドライバーディスプレイのテキストをお読みください。

i **注意**

City Safety* がオンになると、ヘッドアップディスプレイの情報が City Safety のグラフィック表示に変更されます。このグラフィックは、ヘッドアップディスプレイがオフの場合でも点灯します。



運転者の注意を喚起するために City Safety のグラフィックが点滅します。

注意

以下の場合、運転者にはヘッドアップディスプレイの情報が見えなくなります。

- 偏光サングラスを使用している
- 運転席シートの中央に正しく座っていない
- ディスプレイユニットのカバーガラスに異物がある
- 光の条件が望ましくない

注意

視覚障害をお持ちの場合、ヘッドアップディスプレイの使用中に頭痛やストレスを感じることがあります。

注意

ヘッドアップディスプレイの有効化/無効化および調整は、ヘッドアップディスプレイが画像を表示しているときにのみ行うことが可能です。車両のエンジンが作動している必要があります。

ヘッドアップディスプレイのオン/オフ

この機能はセンターディスプレイを使用して2通りの方法でオン/オフにすることができます。

機能ビューを使用する場合



ヘッドアップディスプレイ ボタンを押します。

「設定」から

1. トップビューで **設定** を押します。
2. **My Car** → **ディスプレイ** を押します。
3. **ヘッドアップディスプレイ** を選択/選択解除します。

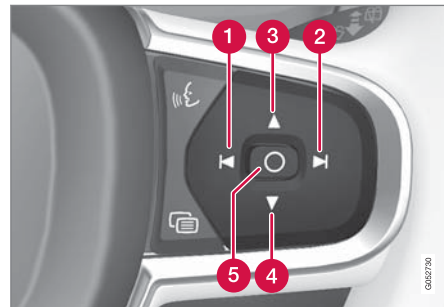
ディスプレイオプションの選択

1. トップビューで **設定** を押します。
2. **My Car** → **ディスプレイ** → **ヘッドアップディスプレイオプション** を押します。
3. **ヘッドアップディスプレイにナビゲーションを表示する**、**ヘッドアップディスプレイでの道路標識情報**、**ヘッドアップディスプレイにドライブサポートを表示** または **ヘッドアップディスプレイに電話を表示** を選択します。

明るさと縦方向の位置の調節



1. センターディスプレイの機能ビューで **ヘッドアップディスプレイの調節** ボタンを押します。
2. ステアリングホイールの右側キーパッドを使用して、運転者の視野に投影されている画像の明るさと縦方向の位置を調節します。



- 1 暗くする
- 2 明るくする
- 3 位置を上げる

④ 位置を下げる

⑤ 確定

明るさの調節

グラフィックの明るさは、背景光に合わせて自動的に調節されます。明るさは、他のディスプレイの明るさによる影響も受けます。

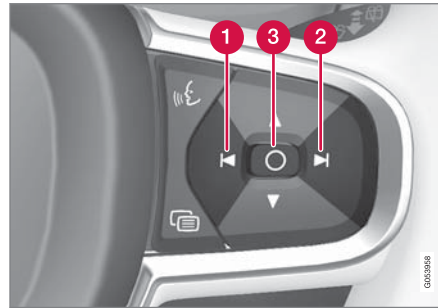
フロントパワーシート*のメモリー機能

縦方向の位置をフロントパワーシートのメモリー機能に記憶させることができます。

水平位置の調整

ウインドスクリーンまたはディスプレイユニットを交換した場合、ヘッドアップディスプレイの水平位置の調整が必要になることがあります。調整では、投影画像を時計回りまたは反時計回りに回します。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** を押します。
2. **My Car → ディスプレイ → ヘッドアップディスプレイ校正** を選択します。
3. ステアリングホイールの右側キーパッドを使用して、画像の水平位置を調整します。



① 反時計回りに回転

② 時計回りに回転

③ 確定

清掃

乾いたきれいなマイクロファイバークロスを使用して、ディスプレイのカバーガラスをやさしく拭いてください。必要に応じて、マイクロファイバークロスを軽く湿らせてください。

強いシミ抜き溶剤は、絶対に使用しないでください。取れにくい汚れには、ボルボ純正専用クリーナー(ボルボ指定のディーラーでお求めになれます)のご使用をお勧めします。

ウインドスクリーンの交換

ヘッドアップディスプレイ装備車には、投影画像の表示要件を満たす特殊なウインドスクリーンが装備されています。

ウインドスクリーンを交換するときには、ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください³。ヘッドアップディスプレイのグラフィックを正しく表示するためには、適切なタイプのウインドスクリーンを取り付ける必要があります。

関連情報

- 機能ビューと車両機能用ボタン (p. 48)
- 設定ビュー (p. 212)
- ステアリングホイール (p. 176)
- フロントパワーシート*のメモリー機能を使用する (p. 163)
- ドライバーディスプレイ (p. 131)

³ ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

音声認識

音声認識システムを使用すると、運転者はメディアプレーヤー、Bluetooth 接続電話、エアコンディショナーシステムおよびボルボナビゲーションシステム*を音声で制御することができます。

音声コマンドは非常に便利な機能で、運転者の注意が散漫になるのを防ぎ、運転に集中し、道路や交通の状況に専心できるようにします。

警告

車両を安全に操作し、適用されている交通規則を順守する全体的責任は、つねに運転者にあります。



音声認識コントロールは、ユーザーが発話するコマンドとシステムからの音声による返答との

対話形式で行われます。音声認識システムは、Bluetooth ハンズフリーシステムと同じマイクを使用します。音声認識システムの応答は車両のスピーカーから聞こえます。状況により、メッセージがドライバーディスプレイに表示されることもあります。機能はステアリングホイールの右側キーパッドから制御されます。設定にはセンターディスプレイを使用します。

システムのアップデート

音声認識システムは改良が続けられています。最適なパフォーマンスを実現するため、アップデートを入手してください。
support.volvocars.comを参照してください。


関連情報

- 音声認識を使用する (p. 156)
- 電話の音声認識コントロール (p. 158)
- ラジオおよびメディアの音声認識コントロール (p. 158)
- エアコンディショナーの音声操作 (p. 159)
- 音声認識および地図ナビゲーション (p. 160)
- 音声認識の設定 (p. 157)

音声認識を使用する

音声認識コントロールを使用するための基本手順





ステアリングホイールの音声認識用ボタン  を押してシステムを起動し、音声コマンドを使用して対話を開始してください。

通信中には、以下の点に留意してください。


- コマンドを発声するには、トーンが鳴った後通常の音声、通常で速度で発声してください。
- システム応答中は、発話しないでください (この間システムはコマンドを理解できません)。
- ドア、ウインドおよびテールゲートを閉じて、車内に騒音がないようにしてください。

音声認識は以下の方法でオフにすることができます。

- 「キャンセル」と発声する
- ステアリングホイールの音声認識ボタン  を長押しする

会話の速度を速めてシステムからのプロンプトをスキップするには、システム音声がかかっているときにステアリングホイールの音声認識ボタン  を押して、次のコマンドを発声しませぬ。

音声認識コントロールの例

 を押し、「電話 [Forename] (名前) [Surname] (名字) [number category] (番号がゴリ)」と発声すると、電話帳の中から選択した連絡先に電話できます(連絡先に自宅、携帯電話、勤務先など、複数の番号が登録されている場合)。

 を押し、「電話 Robin (ロビン) Smith (スミス) 携帯」と発声します。

コマンド/フレーズ

以下のコマンドは、いつでも使用することができます。

- 「**リピート**」 - 現在の対話の最後の音声指示を繰り返します。
- 「**キャンセル**」 - 対話を中止します。
- 「**ヘルプ**」 - ヘルプ対話を開始します。システムは現在の状況で利用可能なコマンド(リクエスト、例など)を示します。

特定の機能に関するコマンドについては、関連セクション(「電話の音声認識コントロール」など)で説明されています。

数字

数字のコマンドはコントロールする機能によって、発話の仕方が異なります。

- **電話番号および郵便番号**は、1数字ずつ個々に発話します(例: ゼロ、さん、いち、に、に、よん、よん、さん(03122443))。
- **家の番号**は個々に、またはまとめて発話することができます(例: に、に、またはにじゅうに(22))。英語またはオランダ語の場合は、複数のグループを連続して発話することができます(例: にじゅうに、にじゅうに(222))。英語では「ダブル」または「トリプル」も使用可能です(例: ダブルゼロ(00))。数字は0-2,300まで使用可能です。
- **バンド**は「きゅうじゅうはってんはち(98.8)」、「ひやくよんでんに(104.2)」といったように発話します。

関連情報

- 音声認識 (p. 156)
- 電話の音声認識コントロール (p. 158)
- ラジオおよびメディアの音声認識コントロール (p. 158)
- エアコンディショナーの音声操作 (p. 159)
- 音声認識および地図ナビゲーション (p. 160)
- 音声認識の設定 (p. 157)

音声認識の設定


音声認識システムのいくつかの設定を行うことができます。

1. トップビューで **設定** を押します。
2. **システム** → **音声認識** を押して、設定を選択します。
 - **リピートモード**
 - **性別**
 - **スピーチレート**

オーディオ設定

1. トップビューで **設定** を押します。
2. **サウンド** → **システムリウム** → **音声コントロール** を押して、設定を選択します。

言語の変更

音声認識は一部の言語でご利用いただけます。音声認識がご利用いただける言語は、言語リスト内で  アイコンを伴って表示されています。

言語を変更すると、メニュー、メッセージおよびヘルプテキストにも影響を及ぼします。

1. トップビューで **設定** を押します。
2. **システム** → **言語** を押して、言語を選択します。

◀ 関連情報

- 音声認識 (p. 156)
- 音声認識を使用する (p. 156)
- 電話の音声認識コントロール (p. 158)
- ラジオおよびメディアの音声認識コントロール (p. 158)
- エアコンディショナーの音声操作 (p. 159)
- 音声認識および地図ナビゲーション (p. 160)

電話の音声認識コントロール

Bluetooth 接続した携帯電話の音声認識コントロール用コマンド(連絡先や任意の番号への電話、音声でのメッセージの確認など)。

電話帳の連絡先を特定するには、電話帳に入力されている連絡先情報を音声認識コマンドに含める必要があります。例えば、**Robyn Smith (ロビン スミス)** という連絡先に複数の電話番号が登録されている場合、以下のようなコマンドで番号カテゴリーも指定することができます。**Home (自宅)** または **携帯: 「電話 Robin (ロビン) Smith (スミス) 携帯」**

 をタップして、以下のコマンドの1つを発声します。


- 「**電話 [contact] (連絡先)**」 - 電話帳の中から選択した連絡先に電話をかけます。
- 「**電話 [phone number] (電話番号)**」 - 電話番号に電話します。
- 「**履歴**」 - コールリストを表示します。
- 「**メッセージを読む**」 - メッセージが読み上げられます。複数のメッセージがある場合、読み上げるメッセージを選択します。

関連情報

- 音声認識 (p. 156)
- 音声認識を使用する (p. 156)
- 音声認識の設定 (p. 157)

ラジオおよびメディアの音声認識コントロール

ラジオおよびメディアプレーヤーの音声認識コントロール用コマンド。

 をタップして、以下のコマンドの1つを発声します。

- 「**メディア**」 - メディアおよびラジオの対話を開始し、コマンドの例を表示します。
- 「**再生 [artist] (アーティスト)**」 - 選択したアーティストの音楽が再生されます。
- 「**再生 [song title] (曲名)**」 - 選択した曲が再生されます。
- 「**再生 [song title] (曲名) from (から) [album] (アルバム)**」 - 選択したアルバムの選択した曲が再生されます。
- 「**再生 [TV channel name] (TVチャンネル名)**」 - 選択した TV チャンネルが表示されます。
- 「**再生 [radio station] (ラジオ放送局)**」 - 選択したラジオ放送局が受信されます。
- 「**周波数 [frequency] (周波数)**」 - 現在のバンドで選択したラジオ周波数が受信されます。ラジオソースがアクティブになっていない場合、初期設定で FM バンドが選択されます。
- 「**周波数 [frequency] (周波数) [wavelength] (バンド)**」 - 選択したバンドで選択したラジオ周波数が受信されます。
- 「**ラジオ**」 - FM ラジオが起動します。


- 「**ラジオ FM**」 - FM ラジオが起動します。
- 「**DAB**」 - DAB ラジオが起動します。
- 「**TV**」 - TV*の再生が開始されます。
- 「**CD**」 - CD*の再生が開始されます。
- 「**USB**」 - USB の再生が開始されます。
- 「**iPod**」 - iPod の再生が開始されます。
- 「**Bluetooth**」 - Bluetooth 接続されているメディアソースの再生が開始されます。
- 「**似た音楽**」 - USB デバイスから現在再生中の音楽と似た音楽が再生されます。

関連情報

- 音声認識 (p. 156)
- 音声認識を使用する (p. 156)
- 音声認識の設定 (p. 157)

エアコンディショナーの音声操作

温度変更、シートヒーターの作動、またはファンレベルの変更など、エアコンディショナーシステムの音声操作コマンドです。

 を押して、以下のコマンドの1つを発声します。

- 「**エアコン**」 - エアコンディショナーの対話を開始し、コマンドの例を表示します。
- 「**温度を X 度に設定**」 - 目標の温度を設定します。
- 「**温度を上げる**」 / 「**温度を下げる**」 - 温度設定を1目盛り上げます/下げます。
- 「**温度同期**」 - 車内のすべてのクライメートゾーンの温度を運転席の設定温度と同期します。
- 「**フロア送風オン**」 / 「**ボディ送風オン**」 - 目的の吹出口を開けます。
- 「**フロア送風オフ**」 / 「**ボディ送風オフ**」 - 目的の吹出口を閉じます。
- 「**ファンを最大**」 / 「**ファンオフ**」 - 吹出口を **Max/Off** に変更します。
- 「**ファン速度を上げる**」 / 「**ファン速度を下げる**」 - ファンレベルを1目盛り上げます/下げます。
- 「**オートエアコンオン**」 - オートエアコンディショナーをオンにします。
- 「**エアコンオン**」 / 「**エアコンオフ**」 - エアコンディショナーをオン/オフにします。
- 「**車内循環オン**」 / 「**車内循環オフ**」 - エアサーキュレーションをオン/オフにします。
- 「**デフロスターオン**」 / 「**デフロスターオフ**」 - ウインドおよびドアミラーのデフロスターをオン/オフにします。
- 「**デフロスターオン**」 / 「**デフロスターオフ**」 - 最大デフロスターをオン/オフにします。
- 「**エレクトリックデフロスターオン**」 / 「**エレクトリックデフロスターオフ**」 - ヒートッドウインドスクリーン*をオン/オフにします。
- 「**リアデフロスターオン**」 / 「**リアデフロスターオフ**」 - リアウインドおよびドアミラーデフロスターをオン/オフにします。
- 「**ステアリングヒーターオン**」 / 「**ステアリングヒーターオフ**」 - ステアリングホイールヒーター*をオン/オフにします。
- 「**ステアリングヒーターを上げる**」 / 「**ステアリングヒーターを下げる**」 - ステアリングホイールヒーター*の設定を1目盛り上げます/下げます。
- 「**シートヒーターオン**」 / 「**シートヒーターオフ**」 - シートヒーター*をオン/オフにします。
- 「**シートヒーターを上げる**」 / 「**シートヒーターを下げる**」 - シートヒーター*の設定を1目盛り上げます/下げます。



- ◀ ● 「シートベンチレーションオン」/「シートベンチレーションオフ」 - ベンチレーテッドシート*をオン/オフにします。
- 「シートベンチレーション上げる」/「シートベンチレーション下げる」 - ベンチレーテッドシート*の設定を1目盛り上げます/下げます。

関連情報

- 音声認識 (p. 156)
- 音声認識を使用する (p. 156)
- 音声認識の設定 (p. 157)
- エアコンディショナー (p. 218)


音声認識および地図ナビゲーション

音声認識コントロールを使用すると、ナビゲーションシステムの多くの機能を話し言葉でオンにすることができます。

音声認識の詳細については、「音声認識」、「音声認識を使用する」、「音声認識の設定」の項で説明されています。

音声コマンド

以下は地図ナビゲーションに特有の音声コマンドの例です。

ステアリングホイールの  ボタンを押して、以下のコマンドの1つを発声します。

- 「ナビゲーション」 - ナビゲーションの対話が始まり、コマンドの例が表示されます。
- 「自宅」 - 自宅 位置まで案内されます。
- 「目的地は [City] (市町村)」 - 町が目的地として指定されます(例: 「Drive to Coventry」(Coventry まで走行))。
- 「セグイ [intersection] (交差点)」 - 交差点が目的地として指定されます。交差点の検索は指定された検索エリア内で行われます。

検索には以下のオプションを使用することができます。

1. [prefecture] (県)、[district] (地区)、[City] (市町村)、および [quarter number]

(番地) を設定する。市と番地は省略することができます。

2. [prefecture] (県)、[City] (市町村)、[district] (地区)、[town/locality] (町/字)、および [quarter number] (番地) を設定する。地区、町/字および番地は省略することができます。
 3. [prefecture] (県)、[City] (市町村)、[town/locality] (町/字)、および [quarter number] (番地) を設定する。番地は省略することができます。
 4. [prefecture] (県)、[town/locality] (町/字)、[village] (村)、および [quarter number] (番地) を設定する。村と番地は省略することができます。
- 「目的地は [contact] (連絡先)」 - 電話帳に登録されている住所が目的地として指定されます(例: 「Drive to Robin Smith」(ロビン・スミスの住所まで走行))。
 - 「施設検索 [POI category] (POIカテゴリ)」 - POI⁴ カテゴリー(レストランなど)が検索されます。必ず「車両周辺」の条件で並べられます。リストの並べ替え条件をルート沿いに変更するには、結果リストが表示されたときに「Along the route (ルート沿い)」と発声してください。

⁴ ユーザーには POI (施設) に電話するオプションとその POI を目的地として指定するオプションがあります。

- 「施設検索 [phone number] (電話番号)」 - 住所録およびライブラリの POI から電話番号が検索されます。
- 「お気に入りを表示」 - お気に入りの場所がドライバーディスプレイに表示されます。
- 「道順を削除」 - 旅程に保存されている経路地および最終目的地がすべて消去されます。
- 「音声案内を繰り返す」 - 前回の音声案内が繰り返されます。
- 「ガイダンスを一時停止」 - 地図上の案内が一時停止されます。
- 「ガイダンスを再開」 - 地図上の案内が一時停止から再開されます。
- 「音声案内オフ」 - 音声案内がオフになります。
- 「音声案内オン」 - 音声案内がオフからオンになります。

関連情報

- 音声認識 (p. 156)
- 音声認識を使用する (p. 156)
- 音声認識の設定 (p. 157)

フロントマニュアルシート

車両のフロントシートには、最適な座り心地を提供するためにさまざまな設定オプションがあります。



- ① 上下にポンピングして、シートクッション*の前端を上昇/下降させます。
- ② ハンドルを持ち上げてシートを前後に調節し、ステアリングホイールおよびペダルまでの距離を調節します。調節後は、シートが確実に固定されていることを確認してください。
- ③ ボタンを上方/下方/前方/後方に押して、ランバーサポート*を調節します。
- ④ コントロールを上下に調節して、シートを上昇/下降させます。
- ⑤ コントロールノブを回して、バックレストの傾きを変更します。

警告

運転席シートの調節は、必ず走行前に行ってください。走行中は絶対に調節しないでください。急ブレーキや事故の際に、ケガをすることがないように、シートが確実に固定されていることを確認してください。

関連情報

- フロントパワーシート* (p. 162)
- マルチファンクションフロントシート* (p. 164)
- シートヒーター*のオン/オフ (p. 239)
- シートベルト (p. 98)

フロントパワーシート*

車両のフロントシートには、最適な座り心地を提供するためにさまざまな設定オプションがあります。パワーシートは前後上下に動かすことができます。シートクッションの前端を上下させることができます。また、バックレストの傾きを変えることができます。ランバーサポートは上/下/前/後に調節することができます。

パワーシートの動きが妨げられると、オーバーロードプロテクションが作動します。この状態になった場合、障害物を取り除き、シートを再操作してください。

シートは、ドアをロック解除した後、エンジンが作動していない状態でも、一定時間内は調節することができます。エンジンが作動しているときには、いつでもシートを調節することができます。エンジンを停止した後でも、一定時間内であれば、調節することができます。

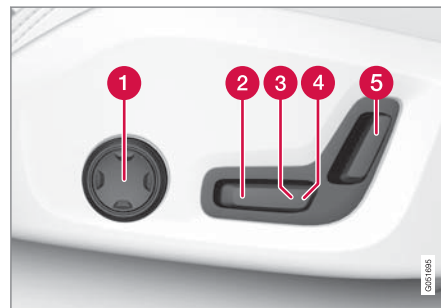
関連情報

- マルチファンクションフロントシート* (p. 164)
- フロントパワーシート*の調節 (p. 162)
- フロントパワーシート*のメモリー機能を使用する (p. 163)
- フロントマニュアルシート (p. 161)
- シートヒーター*のオン/オフ (p. 239)

- 運転席のイージーエントリー/イージーエグジット* (p. 168)

フロントパワーシート*の調節

フロントシートの座面の横にあるコントロールを使用して、お好みの着座位置になるように設定します。



- ① ボタンを上方/下方/前方/後方に押して、ランバーサポートを調節します。
- ② コントロールを上下に調節して、シートクッションの前端を上昇/下降させます。
- ③ コントロールを上下に調節して、シートを上昇/下降させます。
- ④ コントロールを前方/後方に調節して、シートを前方/後方に動かします。
- ⑤ コントロールを前方/後方に調節して、バックレストの傾きを変更します。

一度に1つのシート設定(前/後/上/下)のみ、調節することができます。

フロントシートのバックレストは、前方にいっぱいまで下げることはできません。

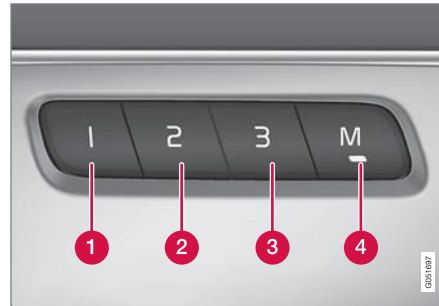
関連情報

- フロントパワーシート* (p. 162)
- フロントパワーシート*のメモリー機能を使用する (p. 163)
- マルチファンクションフロントシート* (p. 164)
- シートベルト (p. 98)

フロントパワーシート*のメモリー機能を使用する

メモリー機能には、シート、ドアミラー、ヘッドアップディスプレイ*の設定が記憶されません。

メモリー機能では、3通りの設定を記憶することができます。メモリー機能のキーパッドは、片側または両側*のフロントドアに装備されています。



- ① メモリーボタン
- ② メモリーボタン
- ③ メモリーボタン
- ④ 設定保存ボタン M

設定を保存する

1. シート、ドアミラーおよびヘッドアップディスプレイをお好みの位置に調節します。
2. **M** ボタンを押して離します。ボタンの表示灯が点灯します。
3. 3秒以内にボタン **1**、**2** または **3** を押します。
 - ＞ 選択したメモリーボタンに位置が保存されると、確認音が鳴り、**M** ボタンの表示灯が消灯します。

3秒以内にメモリーボタンを押さないと、**M** ボタンが消灯し、位置は保存されません。

新しいメモリーを設定するには、シートを再調節する必要があります。

メモリー位置に移動する

保存されている設定は、フロントシートのドアが開いているときでも、閉じているときでも使用することができます。

フロントドアが開いている場合

- メモリーボタン **1** - **3** の1つを1回短く押します。シート、ドアミラーおよびヘッドアップディスプレイが動いて、選択したメモリーボタンに保存されている位置で停止します。



◀ フロントドアが閉じている場合

- メモリーボタン 1 - 3 の1つを押したまま保持し、シート、ドアミラーおよびヘッドアップディスプレイが選択したメモリーボタンに保存されている位置で停止したら、ボタンから指を放します。

メモリーボタンから指を放したら、シート、ドアミラーおよびヘッドアップディスプレイの動きは停止します。

⚠ 警告

挟まれるおそれがあります。お子様にキーパッドで遊ばせないでください。シートの調節は、シートの前後や下になにも物がない状態で行ってください。リアシートの乗員が挟まれないように注意してください。

関連情報

- フロントパワーシート* (p. 162)
- フロントパワーシート*の調節 (p. 162)

マルチファンクションフロントシート*

マルチファンクションコントロールを使用して、座り心地を向上させます。



シート座面の横にあるマルチファンクションコントロール

一部のタイプでは、マルチファンクションコントロールを使用して、ランバーサポート*、シートバックのサイドサポート*、クッションの長さ、およびマッサージ設定*を調節することができます。マルチファンクションコントロールで行った設定はセンターディスプレイに表示されます*。一部の機能選択は、センターディスプレイで直接行うこともできます。

センターディスプレイ

マルチファンクションコントロールで行った運転席および助手席シート設定は、センターディスプレイに表示されます。片側のフロントシー

トのみの設定がセンターディスプレイに表示される場合、その設定は画面の中央に配置されます。両側のフロントシートの設定オプションを表示することができる場合、運転席の設定オプションは上半分に、助手席の設定オプションは下半分に表示されます。

センターディスプレイでシート設定ビューの表示を停止するには、センターディスプレイの下にあるホームボタンを押します。

関連情報

- フロントパワーシート* (p. 162)
- マルチファンクションフロントシート*の機能の調節 (p. 165)
- シートヒーター*のオン/オフ (p. 239)

マルチファンクションフロントシート*の機能の調節

設定の変更には、シートのマルチファンクションコントロールとセンターディスプレイの両方を使用することができます。設定の範囲はセンターディスプレイに表示されます*。

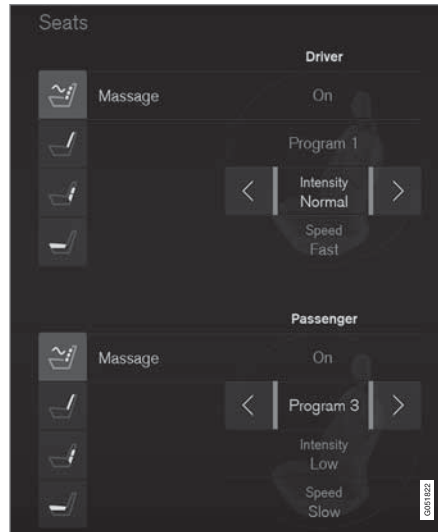


シート座面の横にあるマルチファンクションコントロール

マルチファンクションコントロールを作動させるには、コントロールを上方向/下方向に回します。

フロントシートのマッサージ設定*の調節

フロントシートには、バックレストにマッサージ機能が装備されています。マッサージにはエアアクションが使用され、数通りのマッサージ設定が用意されています。



センターディスプレイのマッサージビュー

1. コントロールを上方向/下方向に回して、マルチファンクションコントロールを作動させます。センターディスプレイにシート設定ビューが表示されます。
2. シート設定ビューで **マッサージ** を選択します。

3. マッサージの機能を切り替えるには、タッチスクリーンで直接選択するか、マルチファンクションコントロールの上/下ボタンでカーソルを上/下に動かして選択します。タッチスクリーンで直接選択する、矢印を押す、またはマルチファンクションコントロールの前/後ボタンを使用することにより、選択された機能の設定を変更します。

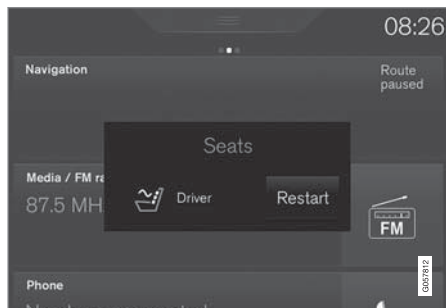
マッサージの設定

マッサージには以下の設定オプションがあります。

- **オン/オフ:** オン/オフ を選択して、マッサージ機能をオン/オフにします。
- **プログラム 1-5:** プリセットのマッサージプログラムが5つあります。 **スウェル**、**トレッド**、**アドバンス**、**ランパー** および **ショルダ** のいずれかを選択します。
- **強度:** **低**、**ノーマル** および **高** のいずれかを選択します。
- **速度:** **遅い**、**ノーマル** および **速い** のいずれかを選択します。



◀ マッサージの再開



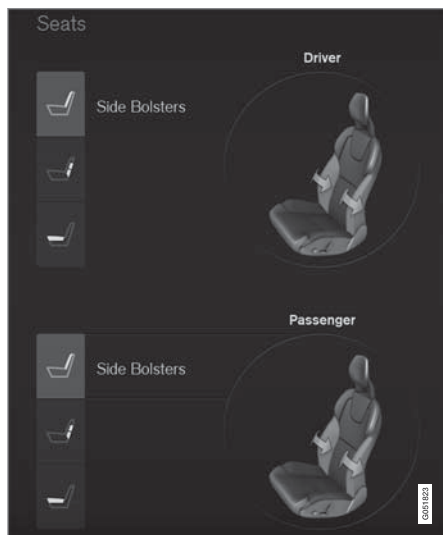
センターディスプレイのマッサージ再開ボタン
マッサージ機能は 20 分後に自動的にオフにな
ります。この機能は手動で再開できます。

- 選択したマッサージプログラムを再開する
には、センターディスプレイの **再起動** を
タップします。

エンジンが停止しているときは、マッサージ機
能を使用することができません。

フロントシートバックレストのサイドサ ポート*の調節

サイドサポートが得られるように、バックレス
トの側面を調節することができます。



センターディスプレイの調節式サイドサポート用
ビュー

サイドサポートを調節するには

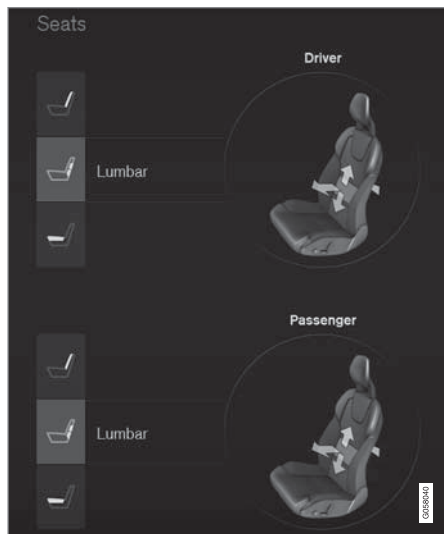
1. コントロールを上方向/下方向に回して、マ
ルチファンクションコントロールを作動さ
せませす。センターディスプレイにシート設
定ビューが表示されます。

2. シート設定ビューで **サイドボリスター** を選択し
ます。

- フロントシートボタンを押すと、サイド
サポートのサポート力が高まります。
- リアシートボタンを押すと、サイドサ
ポートのサポート力が低下します。

フロントシートのランバーサポート*の 調節

ランバーサポートは上/下/前/後に調節するこ
とができます。



センターディスプレイのランバーサポートビュー

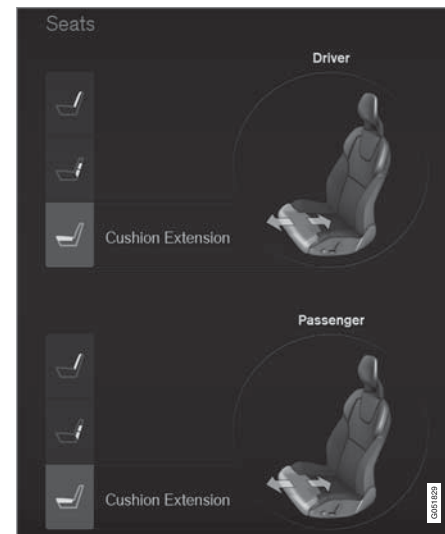
ランバーサポートを調節するには

1. コントロールを上方向/下方向に回して、マルチファンクションコントロールを作動させます。センターディスプレイにシート設定ビューが表示されます。

2. シート設定ビューで **ランバー** を選択します。
 - シートボタンを押し上げるとランバーサポートが上に、押し下げると下に動きます。
 - フロントシートボタンを押すと、ランバーサポートのサポート力が高まります。
 - リアシートボタンを押すと、ランバーサポートのサポート力が低下します。

フロントシートのシートクッションの伸長

シートクッションの長さは、シートのマルチファンクションコントロールを使用して調節することができます。



センターディスプレイのクッション伸長ビュー

1. コントロールを上方向/下方向に回して、マルチファンクションコントロールを作動させます。センターディスプレイにシート設定ビューが表示されます。

- ◀ 2. シート設定ビューで **クッションエクステンション** を選択します。
- フロントシートボタンを押すと、シートクッションが長くなります。
 - リアシートボタンを押すと、シートクッションが短くなります。

関連情報

- マルチファンクションフロントシート* (p. 164)

運転席のイージーエントリー/イージーエグジット*

イージーエントリー 機能を使用すると、**運転者は運転席への乗降を簡単に行うことができます。**

イージーエグジット

この機能を使用すると、シートの下降、サイドサポートの軽減、シートクッションの引き込みを同時に行うことができるため、運転者は運転席から降車しやすくなります。

シートをイージーエグジット位置にセットするには、この機能をセンターディスプレイでオンにする必要があります。

1. ギヤ位置 **P** を選択します。
2. エンジンを止めてください。
3. シートベルトを外します。
4. 運転席ドアを開けます。
 - ◻ シート、サイドサポートおよびシートクッションが同時にイージーエグジット位置に動きます。

イージーエントリー

シートは運転者が車両を離れたときの降車位置を維持します。運転者は車両に戻ってきたとき、簡単に無理なく乗車および着座することができます。運転者がシートに座り、シートベルトを着用して車両の電気系統を **1** 以上のイグニッション位置にすると、シートは運転者の個人用設定に合わせて調節されます。

イージーエントリーおよびイージーエグジットのオン/オフ

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** を押します。
2. **My Car** → **シート** を押します。
3. **イージーエントリー** を選択して、オン/オフにします。

関連情報

- フロントパワーシート* (p. 162)
- イグニッション位置 (p. 410)

運転席から助手席シートを調節する*

助手席シートは運転席シートから調節することができます。

機能をオンにする

この機能は、センターディスプレイを使用して2通りの方法でオンにすることができます。

機能ビューを使用する場合



助手席シートの調節 ボタンを押して、オンにします。

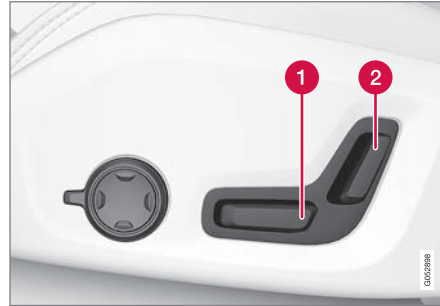
「設定」から

1. トップビューで **設定** を押します。
2. **My Car** → **シート** を押します。
3. **運転席から助手席を調節する** を選択して、オンにします。

助手席シートを調節する

この機能をオンにしてから10秒以内に、運転者は助手席シートを調節する必要があります。この時間内に調節しないと、機能は解除されます。

運転者が助手席シートを調節するときには、運転席のコントロールを次のように使用します。



- ① コントロールを前方/後方に調節して、助手席シートを前方/後方に動かします。
- ② コントロールを前方/後方に調節して、助手席シートのバックレストの傾きを変更します。

関連情報

- フロントパワーシート* (p. 162)
- フロントパワーシート*の調節 (p. 162)
- シートベルト (p. 98)

リアシート

車両には7つのシートがあり、リアシートは2列で構成されています。2列目にはシートが3つあり、3列目にはシートが2つあります。

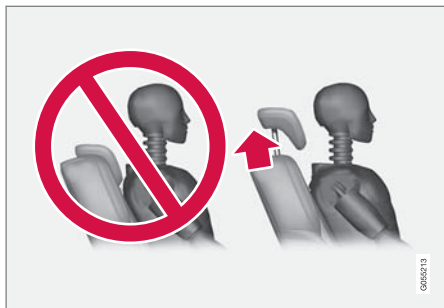
関連情報

- 2列目シートのヘッドレストの調節 (p. 170)
- 2列目シートの前後位置の調節 (p. 171)
- 2列目シートのバックレストの傾き調節 (p. 172)
- 2列目シートのバックレストを倒す (p. 173)
- 3列目シートへの乗り降り (p. 175)
- 3列目シートのバックレストを倒す (p. 175)
- シートヒーター*のオン/オフ (p. 239)

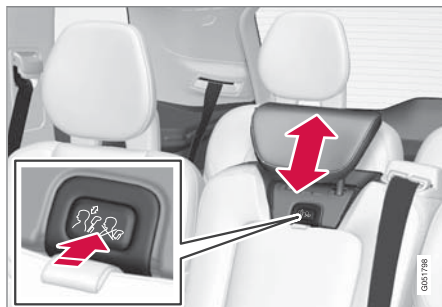
2列目シートのヘッドレストの調節

乗員の座高に合わせて、センターシートヘッドレストを調節します。後方の視界を向上させたいときは、ドア側シートのヘッドレスト*を倒してください。

センターシートヘッドレストの調節



センターシートのヘッドレストは、後頭部全体を受けられるように乗員の座高に応じて調節する必要があります。必要に応じて、手動で持ち上げます。



下げる場合は、ボタン(バックレストとヘッドレストの中間、図参照)を押しながら、ヘッドレストを慎重に押し下げます。

⚠ 警告

センターシートを使用しない場合は、センターシートのヘッドレストを必ず一番低い位置に設定してください。センターシートを使用する場合は、ヘッドレストを乗員の座高に合わせて正しく調節し、可能であれば後頭部全体をサポートするようにします。

ドア側リアシートヘッドレストを電動で下げる*



ドア側ヘッドレストは、センターディスプレイから2通りの方法で下げることができます。

機能ビューを使用する場合



ヘッドレスト格納 ボタンを押して、下降をオン/オフにします。

「設定」から

車両の電気系統をイグニッション位置 **II** にしておく必要があります。

1. トップビューで **設定** を押します。
2. **My Car → シート** を押します。
3. **2列目シートのヘッドレストを格納する** を選択して、リアのドア側ヘッドレストを倒します。

警告

ドア側のリアシートに乗員が座っているときは、ヘッドレストを倒さないでください。

カチッと音がするまで、ヘッドレストを手で元に戻してください。

警告

ヘッドレストを持ち上げた場合には、必ずロック位置に固定してください。

警告

3列目シートに乗員を乗せる場合には、必ず2列目ドア側シートのヘッドレストを起こす必要があります。

関連情報

- リアシート (p. 169)
- 2列目シートのバックレストを倒す (p. 173)

2列目シートの前後位置の調節

2列目シートおよび3列目シートの乗員が十分にレッグスペースを確保できるように、2列目シートの位置を前方または後方に個別に調節することができます。



- 1▶ シートの下にあるハンドルを持ち上げます。
- 2▶ シートを前方または後方に動かして、適切な位置にします。
3. ハンドルから手を放し、シートをスライドさせてキャッチをかみ合わせます。

調節後は、シートが確実に固定されていることを確認してください。



⚠ 警告

シートの調節およびロックは、走行前に行ってください。シートを調節する際は、注意してください。不適切な調整や不注意な調整を行った場合、手や指などが挟まりケガをすることがあります。

関連情報

- リアシート (p. 169)
- 2列目シートのバックレストの傾き調節 (p. 172)

2列目シートのバックレストの傾き調節

2列目シートのバックレストの傾きは、シートごとに調節することができます。

センターシート



1. センターシートの右側にあるストラップを引きます。
2. バックレストにかける体重を減らし/増やして、バックレストの傾きを前後に調節します。
3. ストラップから手を放してバックレストの位置を固定し、バックレストをスライドさせてキャッチをかみ合わせます。

調節後は、シートが確実に固定されていることを確認してください。

ドア側シート



1. シート側面のハンドルを引き上げます。
2. バックレストにかける体重を減らし/増やして、バックレストの傾きを前後に調節します。
3. ハンドルから手を放してバックレストの位置を固定し、バックレストをスライドさせてキャッチをかみ合わせます。

調節後は、シートが確実に固定されていることを確認してください。

⚠ 警告

シートの調節およびロックは、走行前に行ってください。シートを調節する際は、注意してください。不適切な調整や不注意な調整を行った場合、手や指などが挟まりケガをすることがあります。

関連情報

- リアシート (p. 169)
- 2列目シートの前後位置の調節 (p. 171)
- 2列目シートのバックレストを倒す (p. 173)
- シートベルト (p. 98)

2列目シートのバックレストを倒す

2列目にはシートが3つあります。バックレストは個別に前方へ倒すことができます。

警告

シートの調節およびロックは、走行前に行ってください。シートを調節する際は、注意してください。不適切な調整や不注意な調整を行った場合、手や指などが挟まりケガをすることがあります。

重要

バックレストを折り畳む場合には、リアシートになにも置かないでください。また、シートベルトも接続しないでください。リアシートの内装を傷付けるおそれがあります。

重要

センターシートのインテグレートドブラスタークッション*は、シートを下げる前に下げる必要があります。

センターシートのアームレスト*は、シートを下げる前に起こす必要があります。

注意

リアシートバックレストを前方に完全に倒す際は、フロントシートを前方に移動するかバックレストを立てる、またはその両方の作業をする必要があります。

状況により、リアシートを後方に動かす必要もあります。

センターシート



バックレストを倒すには：

1. ヘッドレストを手動で下げます。
2. センターシートの右側にあるストラップを引きます。

- ◀ 3. バックレストを前方に倒して、所定の位置にロックします。バックレストを倒すと、シートクッションが下方/前方に折りたたまれて、平坦な状態になります。

バックレストを起こして直立位置にするには：

1. ストラップを引きます。
2. バックレストを起こして、ストラップから手を放します。バックレストをスライドさせて、キャッチをかみ合わせます。
3. 必要に応じて、ヘッドレストを持ち上げます。

ドア側シート



バックレストを倒すには：

1. シートの側面にあるハンドルを引き上げて、バックレストを倒す間、ハンドルを引き上げた状態に保ちます。

2. バックレストを倒したときにバックレストおよびヘッドレストがフロントシートに接触しないことを確認します。バックレストを前方に倒して、所定の位置にロックします。

＞ バックレストを倒すと、シートクッションが下方/前方に折りたたまれて、平坦な状態になります。リアシートを倒すと、ヘッドレストは自動的に下がります。

警告

バックレストを倒した後は、バックレストが適切にロックされていることを確認してください。

バックレストを起こして直立位置にするには：

1. シートの側面にあるハンドルを引き上げて、バックレストを起こす間、ハンドルを引き上げた状態に保ちます。
2. バックレストを起こすときにバックレストおよびヘッドレストがフロントシートに接触しないことを確認します。バックレストを起こして、ハンドルから手を放します。
3. バックレストをスライドさせて、キャッチをかみ合わせます。
4. ヘッドレストは手動で持ち上げます。

警告

リアシートバックレストが倒されていた場合には、バックレストおよびヘッドレストが確実に固定されているか確認してください。

警告

3列目シートに乗員を乗せる場合には、必ず2列目ドア側シートのヘッドレストを起こす必要があります。

関連情報

- リアシート (p. 169)
- 2列目シートのバックレストの傾き調節 (p. 172)
- 3列目シートのバックレストを倒す (p. 175)
- 2列目シートのヘッドレストの調節 (p. 170)

3 列目シートへの乗り降り

3 列目シートへの乗り降りをスムーズかつ簡単に行えるようにするために、2 列目シートを調節することができます。



1. 2 列目のドア側シートの上にあるハンドルを前方に引き上げます。
2. バックレストを前方に倒して、シート全体を前方に動かします。

シートを起こして直立位置にするには：

- シートを後方に動かしてバックレストを起こし、ロックします。

警告

リアシートバックレストが倒されていた場合には、バックレストおよびヘッドレストが確実に固定されているか確認してください。

関連情報

- 2 列目シートの前後位置の調節 (p. 171)
- 2 列目シートのバックレストの傾き調節 (p. 172)
- 2 列目シートのバックレストを倒す (p. 173)

3 列目シートのバックレストを倒す

3 列目にはシートが 2 つあります。バックレストは個別に前方へ倒すことができます。

重要

3 列目シートバックレストを下げるためには、2 列目シートの位置と角度の変更が必要になることがあります。



1. バックレストの上にあるハンドルを前方に引き上げます。

2. バックレストを倒したときにバックレストおよびヘッドレストが前のシートに接触しないことを確認します。バックレストを前方に倒します。
- バックレストを倒すと、シートクッションが下方方向/前方に折りたたまれて、平坦な状態になります。リアシートを倒すと、ヘッドレストは自動的に下がります。

シートを元に戻すときは、バックレストをロック位置まで手で起こします。ヘッドレストは手で持ち上げます。

警告

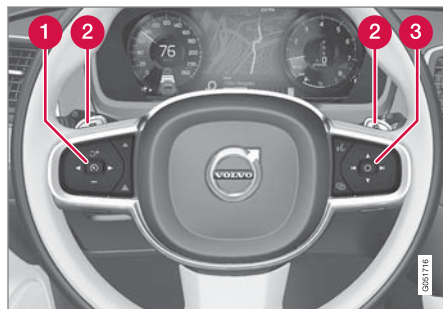
リアシートバックレストが倒されていた場合には、バックレストおよびヘッドレストが確実に固定されているか確認してください。

関連情報

- リアシート (p. 169)
- 2列目シートのバックレストを倒す (p. 173)
- 2列目シートのバックレストの傾き調節 (p. 172)
- 2列目シートの前後位置の調節 (p. 171)

ステアリングホイール

ステアリングホイールには、ホーン、運転者サポートシステムおよび音声認識などのコントロールがあります。



ステアリングホイールのキヤパッドおよびパドル*

- 1 運転者サポートシステム用コントロール⁵
- 2 オートマチックトランスミッションのマニュアルギヤチェンジ用パドル*
- 3 音声認識、ヘッドアップディスプレイ設定、メニュー、メッセージおよび電話操作コントロール

ホーン



ホーンはステアリングホイールの中央にあります。

関連情報

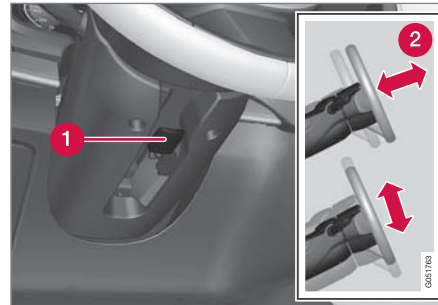
- ステアリングホイールの調節 (p. 177)
- ステアリングホイールヒーター*のオン/オフ (p. 241)
- 速度リミッター* (p. 315)
- クルーズコントロール (p. 322)
- アダプティブクルーズコントロール* (p. 326)
- 車間警告機能* (p. 363)
- Pilot Assist* (p. 339)
- ステアリングホイールパドルによるギヤチェンジ* (p. 420)

⁵ 速度リミッター*、クルーズコントロール、アダプティブクルーズコントロール*、車間警告機能*および Pilot Assist*。

- 音声認識 (p. 156)
- ヘッドアップディスプレイ* (p. 153)
- ドライバーディスプレイのアプリケーションメニューを使用する (p. 147)
- ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイのメッセージの管理 (p. 149)
- 電話 (p. 488)

ステアリングホイールの調節

ステアリングホイールは位置を調節することができます。



ステアリングホイールの調節

- 1 ステアリングホイールリリースレバー
- 2 調節可能なステアリングホイールの位置

ステアリングホイールは、高さと前後の調節が可能です：

1. レバーを下方方向に押し、ステアリングホイールのロックを解除します。
2. ステアリングホイールの位置を調節します。
3. リリースレバーを元の位置に引き戻して、ステアリングホイールをロックします。レバーを動かしにくいときは、レバーを押し戻すと同時にステアリングホイールを少し押すようにしてロックしてください。

警告

ステアリングホイールの調節およびロックは、走行前に行ってください。

速度感応式パワーステアリングでは、操舵に必要な力を調節することができます。操舵に必要な力は、運転者が路面からの反応を得やすくなるように車速に応じて制御されます。

関連情報



- ステアリングホイール (p. 176)
- 速度感応式のステアリングホイール操舵力 (p. 310)



ライトスイッチ

車外の照明を点灯させるときには、ステアリングホイールの左側レバーのライトスイッチを使用します。ヘッドライト光軸補正⁶やルームランプを調整するときには、メーター・パネルのヘッドライトスイッチを使用します。

ステアリングホイールレバーの回転リング



位置	意味
0	パッシングライトを使用することができます。
	ポジションランプ パッシングライトを使用することができます。
	ロービームおよびポジションランプ ハイビーム を作動させることができます。 パッシングライトを使用することができます。

位置	意味
	昼間、車両の電気系統がイグニッション位置 II のとき、またはエンジンが作動しているとき、ポジションランプが点灯します。 薄暗いときや暗闇、またはリアフォグランプまたはウインドスクリーンワイパー(連続作動)が作動したとき、ロービームおよびポジションランプが点灯します。 アクティブハイビーム機能を作動させることができます。 ロービームがオンのとき、ハイビームを作動させることができます。 パッシングライトを使用することができます。
	アクティブハイビームオン/オフ。

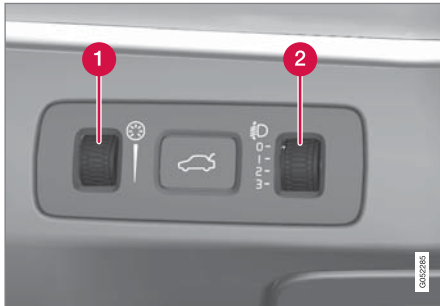
ボルボでは、車両の走行時は **AUTO** モードの使用を推奨します。

⁶ ハロゲンヘッドライト装備車に適用されます。

警告

霧、雨など日光が弱い、または十分な強さがない場合、車両のライトシステムは反応しません。

運転者には、適用される交通法規に従って交通状況に適した照射パターンを使用して走行する義務があります。

メーター・パネルのスイッチ類

- 1** インテリアの照明調節用コントロールダイヤル
- 2** ヘッドライト光軸補正用コントロールダイヤル

LED⁷ヘッドライト*装備車は、ヘッドライト光軸補正が自動的に行われるため、ヘッドライト光

軸補正用のコントロールダイヤルは装着されていません。

インテリアの照明調節

車内で点灯するライトは、使用中のイグニッション位置に応じて異なります。

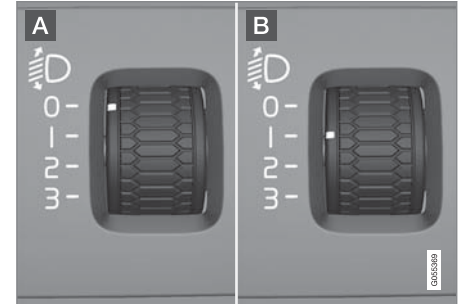
ディスプレイの照明、コントロールの照明、アンビエントライト、およびインテリアムードライトは、コントロールダイヤルで調節します。

ヘッドライト光軸補正

荷重によって車体前後の傾きが変わり、ヘッドライトの光が対向車の視界を妨げることがあります。こうした状態を防ぐため、ヘッドライトの光軸を調節してください。車両に重い荷物を積載しているときは、光軸を低くしてください。

1. エンジンを作動させたままにするか、車両の電気系統をイグニッション位置 **I** にします。
2. コントロールダイヤルを上/下に回して、ヘッドライトの光軸を調節します。

荷重条件に応じたコントロールダイヤルの位置は以下に示されています。



車内の乗員や積荷の状態に合わせたコントロールダイヤルの位置

- A** コントロールダイヤルが 0 位置
- B** コントロールダイヤルが 1 位置

荷重条件	コントロールダイヤル
運転者のみ	0 位置
運転者と助手席乗員	0 位置
運転者と助手席乗員 2 列目シートに乗員 3 人	0 位置
運転者と助手席乗員 2 列目シートに乗員 3 人	1 位置

⁷ LED(Light Emitting Diode)



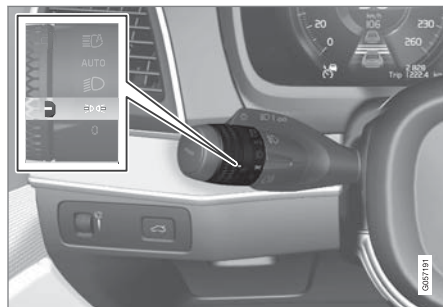
荷重条件	コントロールダイヤル
カーゴスペースに 220 kg の荷物	
カーゴスペースが満載の状態 で運転者のみ	1 位置
運転者と助手席乗員 2 列目シートに乗員 3 人 3 列目シートに乗員 2 人	1 位置
運転者と助手席乗員 3 列目シートに乗員 2 人	0 位置

関連情報

- ルームランプ (p. 187)
- ハイビームのオン/オフ (p. 181)
- イグニッション位置 (p. 410)

ポジションランプ

ポジションランプは、ステアリングホイールレバーの回転リングでオンにします。



ポジションランプ位置のレバースイッチ回転リング

回転リングを **P** 位置に回します (同時にナンバープレートランプが点灯します)。

暗いときにテールゲートを開くと、テールランプが点灯して (まだ点灯していなかった場合)、後方から接近してくる道路使用者に警告します。これは、回転リングの位置や車両の電気系統のイグニッション位置に関係なく作動します。

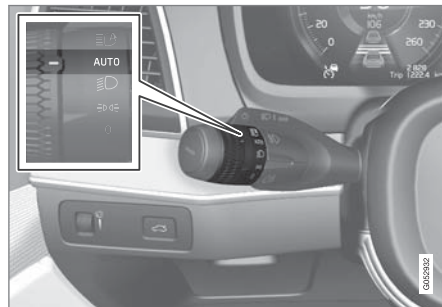
関連情報

- ライトスイッチ (p. 178)
- イグニッション位置 (p. 410)

ロービーム

ステアリングホイールレバーの回転リングが **AUTO** 位置で、車両の電気系統がイグニッション位置 **II** のとき、またはエンジンが作動しているとき、周辺の明るさが十分ではない場合には、ロービームが自動的に点灯します。

ロービーム



ステアリングホイールレバーと回転リング

ステアリングホイールレバーの回転リングが **AUTO** 位置の場合は、夕方などに明りが十分でなくなると、ロービームが自動的に点灯します。ロービームはリアフォグランプまたはウインドスクリーンワイパー (連続作動) が作動したときにも自動的に点灯します。

ステアリングホイールレバーの回転リングが **L** 位置の場合は、エンジンが作動している

とき、またはイグニッション位置が II のときに、ロービームが点灯し続けます。

トンネルの検知

車両はトンネルに入るタイミングを検知して、ロービームを点灯させます。

トンネル検知を使用するには、左側レバーの回転リングを AUTO モードにしておく必要があります。

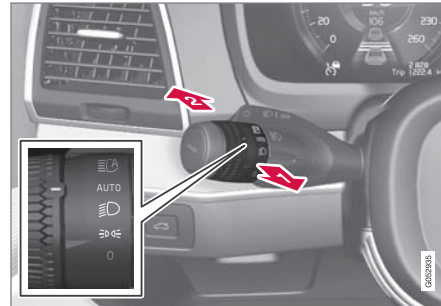
関連情報

- ライトスイッチ (p. 178)
- イグニッション位置 (p. 410)

ハイビームのオン/オフ

ハイビームはステアリングホイールレバーでオンにします。

アクティブハイビームはレバーの回転リングでオンにします。



ステアリングホイールレバーと回転リング

- 1 パッシングライト位置
- 2 ハイビーム位置

パッシングライト

ステアリングホイールレバーを手前に少し動かしてパッシングライト位置にします。レバーを放すまで、ハイビームが点灯します。

ハイビーム

ハイビームは、ステアリングホイールレバーの回転リングが AUTO⁸ または D 位置のときに作動させることができます。ステアリングホイールレバーを前方に動かすと、ハイビームが作動します。ステアリングホイールレバーを手前に引くと解除されます。

ハイビームが点灯すると、ドライバーディスプレイに H 10 シンボルが点灯します。

アクティブハイビーム

アクティブハイビームは、ウインドスクリーンの上端にあるカメラセンサーを利用して、対向車のヘッドライトや先行車のリアランプを検知し、ハイビームからロービームに切り替える機能です。この機能では街路灯も検知対象になることがあります。

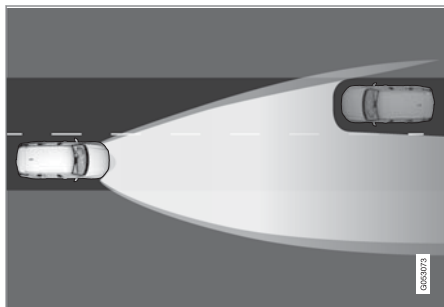
ハロゲンヘッドライト装備車

カメラセンサーが対向車のヘッドライトや先行車両のリアランプを検知しなくなってから約 1 秒経過後に、ライトはハイビームに戻ります。

⁸ ロービームが作動すると。

LED⁹ ヘッドライト* 装備車

従来の切り替え機能とは異なり、対向車または先行車の両サイドではハイビームが維持されます。その車両に直接向けられる一部のライトのみが下向きになります。




対向車へ直接向けられるライトはロービームに切り替わりますが、その車両の両サイドではハイビームが維持されます。

カメラセンサーが対向車のヘッドライトや先行車両のリアランプを検知しなくなってから約1秒経過後に、ライトはフルハイビームに戻ります。


作動/非作動状態にする

この機能は、暗闇を約 20 km/h 以上 (12 mph) の速度で走行しているときに作動させることができます。

ステアリングホイールレバーの回転リングを

 位置に回して手を放すと、アクティブハイビームが作動/解除状態になります。ハイビームが点灯しているときにアクティブハイビームをオフにすると、ライトはただちにロービームに切り替わります。



アクティブハイビーム作動中は、 シンボルがドライバーディスプレイに白く点灯します。

ハイビーム作動中は、このシンボルは青く点灯します。このことは、ハイビームがある程度減光されている場合(ライトがロービームよりも多少明るくなった直後)のLEDヘッドライトにも当てはまります。

マニュアル操作

① 注意

カメラセンサー前面のウインドスクリーン表面に付着した氷、雪、曇り、汚れなどはよく取り除き、きれいな状態を保ってください。

カメラセンサー前面のウインドスクリーンに、なにも貼り付けたり、取り付けたりしないでください。カメラの効力に支障が出て、カメラを使用している各システムが作動しなくなる原因となります。



このシンボルが、メッセージ **アクティブハイビーム 一時的に利用不可**と共にドライバーディスプレイに表示されている場合は、ハイビームとロービームの切り替えを手動で行う必要があります。ステアリングホイールレバーの回転リングは


AUTO 位置のままにしておくことができます。

 シンボルはこのメッセージが表示されると消灯します。



このシンボルが、メッセージ **ウインドスクリーンセンサーが遮られた、取扱説明書を参照して下さい**と共に表示されている場合も同様です。

⁹ LED (Light Emitting Diode)

アクティブハイビームは、濃い霧や激しい雨の中では一時的に利用できなくなる場合があります。アクティブハイビームが再度利用できるようになるか、ウインドスクリーンセンサーを遮っていたものがなくなると、メッセージが消え、 シンボルが点灯します。

警告

アクティブハイビームは、好条件の下で最適な照射パターンの使用をサポートする機能です。

運転手は、交通状況や天候により必要に応じて、ハイビームとロービームを手動で切り替える責任がありますので、ご注意ください。

重要

ハイビームとロービームの手動切り替えが必要になる場合の例：

- 激しい雨や霧の中を走行するとき
- 着氷性のある雨の中を走行するとき
- 雪嵐や溶けかかった雪の中を走行するとき
- 月明りで走行するとき
- 明りの乏しい建物密集地域を走行するとき
- 前方の車両のライトが暗いとき
- 道路上や道路脇に歩行者がいるとき
- 道路周辺に看板など反射性の高い物体があるとき
- 中央分離帯などにより、対向車のライトが遮られているとき
- 連絡道路に走行中の車両があるとき
- 稜線や谷底を走行するとき
- 急カーブを走行するとき

「City Safety の限界」の項目でカメラセンサーの機能限界について詳しい説明をお読みください。

関連情報

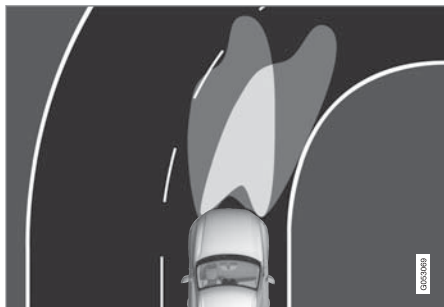
- ライトスイッチ (p. 178)
- 設定ビュー (p. 212)

- City Safety の限界 (p. 371)

アクティブベンディングランプ


アクティブベンディングランプは、カーブや交差点で十分な明るさを確保するように設計されています。

LED¹⁰ ヘッドライト*装備車には、アクティブベンディングランプが装備されています。



アクティブヘッドライトを解除したときの照射パターン(左)と作動したときの照射パターン(右)

LED ヘッドライトには、アクティブベンディングランプ機能が搭載されています。アクティブベンディングランプは、ステアリングホイールの動きに追従して、カーブや交差点で十分な明るさを確保し、安全性を高めます。

この機能は、エンジンを始動すると自動的に起動します。この機能に不具合が発生すると、ドライバーディスプレイに  の警告灯が点

灯すると共に、ドライバーディスプレイに説明のテキストが表示されます。

この機能は、夕方や夜間、および車両走行時のみ作動します。

機能のオフ/オン

この機能は工場出荷時点でオンモードになっており、センターディスプレイを使用して、2通りの方法でオフ/オンを切り替えることができます。

機能ビューを使用する場合



アクティブ・ベンディング・ライト起動ボタンを押します。

「設定」から

1. トップビューで **設定** を押します。
2. **My Car → ライト → 車外照明** を押します。
3. **アクティブ・ベンディング・ライト** を選択解除/選択します。

関連情報

- 設定ビュー (p. 212)

ヘッドライトの照射パターンの調整

車両がLED ヘッドライト装備車で、アクティブハイビーム機能が使用されている場合、右側通行から左側通行、またはその逆に変更するときには、ヘッドライト照射パターンをリセットする必要があります。

ハロゲンヘッドライト

ヘッドライト照射パターンは調整する必要がありません。ヘッドライトの照射パターンは、対向車にまぶしくないように設計されています。

LED ヘッドライト*

アクティブハイビーム機能を使用する場合、ヘッドライト照射パターンの調整が必要です。ヘッドライト照射パターンを右側通行用と左側通行用の間で変更する際には、車両はエンジンが始動した状態で静止していなければなりません。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** を押します。
2. **My Car → ライト → 車外照明** を押します。
3. **一時的右側通行/一時的左側通行** を選択します。

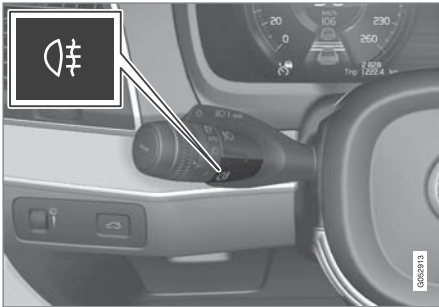
関連情報

- 設定ビュー (p. 212)
- ハイビームのオン/オフ (p. 181)

¹⁰ LED (Light Emitting Diode)

リアフォグランプ

霧で視界が悪い場合は、リアフォグランプを使用して他の道路使用者に車両の存在を早めに知らせます。



リアフォグランプボタン

リアフォグランプは、イグニッション位置 **II** のとき、またはエンジンが作動していて、ステアリングホイールレバーの回転リングが **AUTO** または **☞** 位置のときにのみ点灯させることができます。

オン/オフボタンを押します。リアフォグランプが点灯すると、ドライバーディスプレイに表示灯 **☞** が点灯します。

リアフォグランプは、スタートノブを **STOP** にするか、ステアリングホイールレバーの回転リ

ングを **0** または **☞** 位置に回すと自動的に消灯します。

① 注意

リアフォグランプの使用に関する規則は、国によって異なります。

関連情報

- ライトスイッチ (p. 178)
- イグニッション位置 (p. 410)

ブレーキランプ

ブレーキペダルを踏むと、ブレーキランプが点灯します。

ブレーキランプは、ブレーキペダルを踏み込むと点灯します。また、アダプティブクルーズコントロール、City Safety、後方衝突警告システムのいずれかがブレーキをかけた場合にも点灯します。

関連情報

- アダプティブブレーキランプ (p. 430)
- アダプティブクルーズコントロール* (p. 326)
- City Safety (p. 366)
- Rear Collision Warning (p. 375)

非常点滅灯

非常点滅灯は、車両のすべての方向指示器を同時に点滅させて他の道路利用者に注意を促します。



非常点滅灯ボタン

ボタンを押すと、非常点滅灯が点滅します。

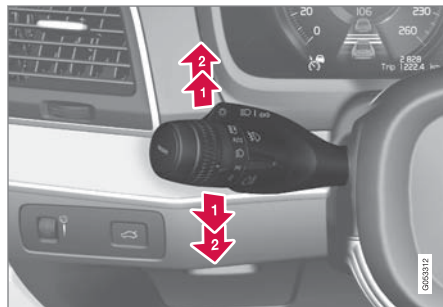
車両に強くブレーキがかかってアダプティブブレーキランプが作動し、速度が低下すると、非常点滅灯が自動的に作動します。停車した後も非常点滅灯は点滅し続け、車両の走行を開始すると自動的に点滅が解除されます。ボタンを押して点滅を解除することもできます。

関連情報

- 方向指示器を使用する (p. 186)
- アダプティブブレーキランプ (p. 430)

方向指示器を使用する

車両の方向指示器は左側レバースイッチで操作します。レバーの位置に応じて、方向指示器が3回または連続で点滅します。



方向指示器

ワンタッチ方向指示位置

➡ レバーを上または下に、1段目の位置まで動かして放します。方向指示器が3回点滅します。この機能はセンターディスプレイでオン/オフにすることができます。

方向指示位置

➡ レバーを上または下に、いっぱいまで動かします。

レバーはこの位置で止まります。手で元の中立位置に戻すか、右折または左折終了後にステアリングホイールを直進位置に戻すと、自動的に中立位置に戻ります。

関連情報

- ライトスイッチ (p. 178)
- 非常点滅灯 (p. 186)
- 設定ビュー (p. 212)

ルームランプ

ルームランプはフロントシートおよびリアシート*の上のオーバーヘッドスイッチから点灯/消灯します。

次の場合、30分以内ならルームランプを手動で点灯/消灯させることができます：

- エンジンを停止して、イグニッション位置 **0** にした場合
- ドアをロック解除して、エンジンを始動していない場合

フロントライト



ルーフコンソールの読書灯およびルームランプのスイッチ

- ① 左側読書灯
- ② ルームランプ

③ ルームランプの自動機能

④ 右側読書灯

フロント読書灯

右側および左側の読書灯は、ルーフコンソールのボタンを短く押すことにより点灯/消灯することができます。ボタンを長押しすると明るさを調整できます。

ルームランプ

フロアライトおよびインテリールーフランプは、ルーフコンソールのボタンを短く押して点灯/消灯します。

ルームランプの自動機能

ルーフコンソールの **AUTO** ボタンを短く押すと、自動機能がオンになります。自動機能がオンになると、ボタンの表示灯が点灯します。

AUTO ボタンを押すと、ルームランプは以下の条件に基づいて点灯および消灯します。

ルームランプは：

- 車両のロックを解除したとき、およびエンジンを停止したときに点灯します。
- エンジンを始動したとき、および車両をロックしたときに消灯します。
- ドアを開けると点灯し、閉じると消灯しません。
- いずれかのドアが開いていると、ライトは2分間点灯したままになります。

リアランプ

車両後部エリアには、車内照明としても使用される読書灯があります。

読書灯はインテリールーフに取り付けられています。



2列目¹¹および3列目シート*の上の読書灯

¹¹ パノラマルーフ*装備車の場合、ランプユニットが2個(ルーフの各側に1個ずつ)あります。



パノラマルーフ*装備車の2列目シートの上にある読書灯

読書灯は、ランプのボタンを短く押して点灯/消灯します。ボタンを長押しすると明るさを調整できます。

グローブボックスランプ

グローブボックスランプは、グローブボックスリッドの開閉と連動して点灯/消灯します。

メイクアップミラーランプ

サンバイザーのメイクアップミラーランプは、カバーの開閉と連動して点灯/消灯します。

グランドライト

グランドライトは、ドアの開閉と連動して点灯/消灯します。

シルライト

シルライトは、ドアの開閉と連動して点灯/消灯します。

カーゴスペースランプ

カーゴスペースランプは、テールゲートの開閉と連動して点灯/消灯します。

アンビエントライト

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** を押します。
2. **My Car → ライト → 車内照明 → 環境照明** を押します。
3. 以下の設定の中から選択します。

- **アンビエントライト照度** で、**オフ**、**低** および **高** から選択します。
- **アンビエントライトレベル** で、**低減** および **フル** から選択します。



ステアリングホイールの横にあるコントロール

アンビエントライトの明るさは、メーター・パネルのコントロールを使用して調節することができます。

- コントロールダイヤルを回して、明るさを調節します。

インテリアムードライト*

車両には、ライトの色を変化させるためにLEDが多数装備されています。これらのライトはエンジン作動中に点灯します。

インテリアムードライト*はセンターディスプレイで変更することができます。

ライトの明るさの変更

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** を押します。
2. **My Car → ライト → 車内照明 → インテリアムードライト** を押します。
3. **インテリアムードライト照度** で、**オフ**、**低** および **高** から選択します。

ライトの色の変更

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** を押します。
2. **My Car → ライト → 車内照明 → インテリアムードライト** を押します。
3. **温度、テーマ** および **テーマカラー** の中から選択して、ライトの色を変更します。

カラーオプション **温度** を使用すると、ライトの色は設定した車内温度に応じて変化します。



ステアリングホイールの横にあるコントロール

アンビエントライトの明るさは、メーター・パネルのコントロールを使用して調節することができます。

- コントロールダイヤルを回して、明るさを調節します。

関連情報

- ライトスイッチ (p. 178)
- イグニッション位置 (p. 410)
- 設定ビュー (p. 212)

ホームセーフライト点灯

ホームセーフライトは、ロービーム、ポジションランプ、アウターハンドルランプ*、ナンバープレートランプ、インテリアルーフランプ、フロアライトから構成されています。

夜間に車両をロックした後、エクステリアランプの一部をホームセーフライトとして点灯させておくことができます。

1. 車両をオフにします。
2. 左側レバーを前方のメーター・パネルの方向に動かしてから放します。
3. 車外に出てドアをロックします。

この機能が作動すると、ロービーム、ポジションランプ、アウターハンドルランプ*、ナンバープレートランプ、インテリアルーフランプ、フロアライトが点灯します。

ホームセーフライト点灯時間は、センターディスプレイで設定することができます。

1. トップビューで **設定** を押します。
2. **My Car → ライト → 車外照明 → ホームセーフティライト** を押します。
3. **オフ、30 秒、60 秒** および **90 秒** から選択します。

関連情報

- アプローチライト点灯 (p. 190)
- 設定ビュー (p. 212)

アプローチライト点灯

アプローチライトは、ポジションランプ、アウターハンドルランプ*、ナンバープレートランプ、インテリアルーフランプ、フロアライトから構成されています。

アプローチライトは車両をロック解除したときに点灯します。少し離れた場所から車両のライトを点灯させるときに使用されます。

この機能をリモートコントロールキーで作動させると、ポジションランプ、アウターハンドルランプ*、ナンバープレートランプ、インテリアルーフランプ、フロアライトが点灯します。

この機能はセンターディスプレイでオフ/オンにすることができます。

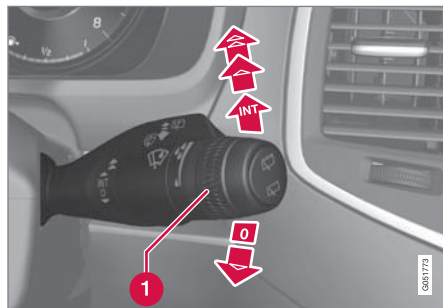
1. トップビューで **設定** を押します。
2. **My Car** → **ライト** → **車外照明** を押します。
3. **アプローチライト** を選択解除/選択します。

関連情報

- ホームセーフライト点灯 (p. 189)
- リモートコントロールキー (p. 274)
- 設定ビュー (p. 212)

ウインドスクリーンワイパーを使用する

ウインドスクリーンワイパーはウインドスクリーンを清掃します。ウインドスクリーンワイパーの設定には、右ステアリングホイールレバーを使用します。



右ステアリングホイールレバー

1. コントロールダイヤルによる感度/作動回数
の調節

シングルストローク

▼ ワイパーレバーを下げて放すと、ワイパーが1回だけ作動します。

ウインドスクリーンワイパー オフ

0 ワイパーレバーを 0 位置に戻すと、ワイパーが停止します。

間欠ワイパー

INT 間欠ワイパー位置のときには、コントロールダイヤルを使用してワイパーの作動間隔を調節することができます。

ワイパー連続作動

- ▲ ワイパーレバーを押し上げると、ワイパーは通常の速さで作動します。
- ▲▲ ワイパーレバーをさらに押し上げると、ワイパーは高速で作動します。

重要

ワイパーを作動させる前に、ウインドスクリーン(およびリアウインド)とワイパーブレードが凍結していないか確認してください。積もった雪を取り除く、または凍結を取り除いてからワイパーを作動させてください。

重要

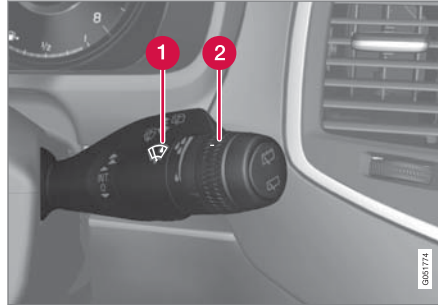
ワイパーを作動させるときは、ウォッシュャー液を十分に使用してください。ウインドスクリーンが濡れている状態であることが必要です。

関連情報

- レインセンサー のオン/オフ (p. 191)
- ウインドスクリーンおよびヘッドライトウォッシャー (p. 192)
- サービスポジションのワイパーブレード (p. 565)


レインセンサー のオン/オフ

レインセンサーはウインドスクリーンに付着した水滴の量を検知して、フロントワイパーを自動的に作動・停止させます。レインセンサーの感度は、右ステアリングホイールレバーのコントロールダイヤルで調節することができます。



右ステアリングホイールレバー

- ① レインセンサーボタン
- ② コントロールダイヤルによる感度/作動回数の調節

レインセンサーがオン場合、レインセンサーのシンボル  がドライバーディスプレイに表示されています。

レインセンサーをオンにする

レインセンサーをオンにする場合は、車両走行中または電気系統がイグニッション位置 **I** ま


たは **II** のときに、ウインドスクリーンワイパーレバーを **0** 位置またはシングルストローク作動位置にする必要があります。

レインセンサーボタン  を押して、レインセンサーを作動させます。

ワイパーレバーを下方方向に押し、ワイパーがもう 1 回作動します。

コントロールダイヤルを上に戻すと感度が増し、下に回すと感度が低下します。コントロールダイヤルを上に戻すと、ワイパーが 1 回多く作動します。

レインセンサーをオフにする

レインセンサーボタン  を押すか、レバーを上げてワイパーの作動プログラムを変更すると、レインセンサーはオフになります。

イグニッション位置 **0** にする、またはエンジンを停止すると、レインセンサーは自動的にオフになります。

ワイパーブレードをサービスポジションにすると、レインセンサーは自動的にオフになります。サービスポジションから動かすと、レインセンサーは自動的に ON に戻ります。

重要

自動洗車機で洗車する際、洗車中にレインセンサーが作動してワイパーが動き出し、ワイパー機構が損傷するおそれがあります。車両が走行しているとき、または車両の電気系統がイグニッション位置 **I** または **II** のときに、レインセンサーをオフにしてください。ドライバーディスプレイのシンボルが消灯します。

メモリー機能のオン/オフ

レインセンサーのメモリー機能をオンにすると、車両の始動時に毎回レインセンサーボタンを押す必要がなくなります。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** を押します。
2. **My Car** → **ウインドスクリーンワイパー** を押します。
3. **レインセンサーメモリ** を選択して、メモリー機能をオン/オフにします。

関連情報

- ウインドスクリーンワイパーを使用する (p. 190)
- サービスポジションのワイパーブレード (p. 565)
- リアウインドワイパーおよびウォッシャー (p. 193)

ウインドスクリーンおよびヘッドライトウォッシャー

ウインドスクリーンおよびヘッドライトウォッシャーはウインドスクリーンとヘッドライトを清掃します。ウォッシャー/ワイパーの作動には、右側レバーを使用します。

ウインドスクリーンおよびヘッドライトウォッシャーの始動



ウォッシャー機能、右側レバー

- 右側レバーを手前に引くと、ウインドスクリーンおよびヘッドライトのウォッシャーが作動します。
 - > レバーを放すと、ワイパーが数回動いた後に停止します。

重要

凍結しているときや、リザーバータンクが空のときには、ウォッシャーシステムを作動させないでください。ポンプが損傷するおそれがあります。

ヒートドウォッシャーノズル*


冷寒時は、ウォッシャー液の凍結を防止するため、ウォッシャーノズルが自動的に加熱されません。

ヘッドライトウォッシャー*

ウォッシャー液を節約するため、ウインドスクリーンウォッシャーが5回作動する毎に、ヘッドライトウォッシャーが自動的に1回作動します。

節約洗浄

リザーバータンク内のウォッシャー液の残量が約1リットルになると、メッセージ **ウォッシャー液レベルが低すぎます。補充して下さい** が

 シンボルとともにドライバーディスプレイに表示され、ヘッドライトへのウォッシャー液の供給が停止します。これは、ウインドスクリーンを洗浄し、視界を確保することを優先するためです。

関連情報

- ウィンドスクリーンワイパーを使用する
(p. 190)
- リアウィンドワイパーおよびウォッシャー
(p. 193)
- ウォッシャー液リザーバータンク
(p. 568)

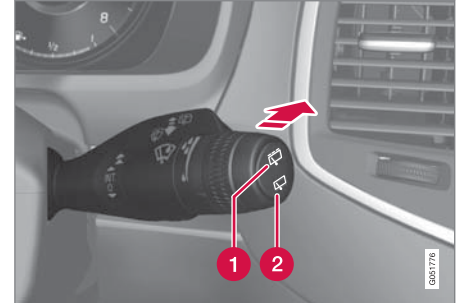
リアウィンドワイパーおよびウォッシャー



リアウィンドワイパーおよびウォッシャーはリアウィンドを清掃します。ウォッシャー/ワイパーの作動および設定の変更には、右ステアリングホイールレバーを使用します。

注意

リアウィンドワイパーには過熱保護が装備されているため、過熱した場合にはモーターが停止します。リアウィンドワイパーは、しばらくすると(モーター内の熱と外気温により 30 秒以上)再び作動し始めます。

リアウィンドワイパーおよびウォッシャーの使用



- 1 リアウィンドワイパーの間欠ワイパー動作には、 を選択します。
 - 2 リアウィンドワイパーの連続動作には、 を選択します。
- 右ステアリングホイールレバーを前方に動かすと、リアウィンドウォッシャーおよびワイパーの作動が始まります。

後退時のワイパー作動のオン/オフ

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** を押します。
2. **My Car** → **ウィンドスクリーンワイパー** を押します。
3. **自動リアワイパー** を選択して、後退時のワイパー作動をオン/オフにします。

- ウインドスクリーンワイパーを作動させているときにリバースギヤにシフトすると、リアウインドワイパーが作動します。この機能は、リバースギヤを解除すると停止します。

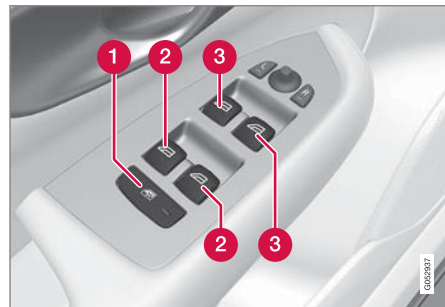
リアウインドワイパーが既に通常速度で作動している場合、作動モードは変更されません。

関連情報

- ウインドスクリーンワイパーを使用する (p. 190)
- ウインドスクリーンおよびヘッドライトウォッシャー (p. 192)
- レインセンサー のオン/オフ (p. 191)

パワーウインド

運転席ドアのコントロールパネルからはすべてのパワーウインドを操作することができます。他のドアのコントロールパネルからはそのドアのパワーウインドのみが操作できます。



運転席側ドアのコントロールパネル

- 1 ドア*およびパワーウインド開操作のパワー・チャイルドロック
- 2 リアパワーウインドスイッチ
- 3 フロントウインドスイッチ

関連情報

- パワーウインドの操作 (p. 194)
- チャイルドロック (p. 298)

パワーウインドの操作

運転席ドアのコントロールパネルからはすべてのパワーウインドを操作することができます。他のドアのコントロールパネルからはそのドアのパワーウインドのみが操作できます。

警告

運転席のドアから窓を閉めるときは、お子様や乗員が挟まれることのないよう、確認してください。

警告

リモートコントロールキーを使用して窓を閉めるときは、お子様や乗員が挟まれることのないよう、確認してください。

警告

車内にお子様を残して車から離れる場合は、忘れずに車両の電気系統のイグニッション位置を0にしてパワーウインドの電源を切り、リモートコントロールキーを必ず抜いて、キーを携帯してください。

操作



パワーウィンドの操作

1 マニュアル作動

2 オート作動

運転席ドアのコントロールパネルからはすべてのパワーウィンドが操作できます。他のドアのコントロールパネルからはそのドアのパワーウィンドのみが操作できます。同時に複数のコントロールパネルを操作することはできません。

パワーウィンドを使用するには、イグニッション位置が **I** 以上の位置にある必要があります。エンジンを停止し、イグニッションをオフにした後も数分間はパワーウィンドを操作できますが、いったんドアを開けると操作できなくなります。

ウィンドを閉めているときにその動きが妨げられると、ウィンドが停止して自動的に開きます。

氷などにより、ウィンドが閉まらなくなった場合には、ピンチプロテクションを強制解除することができます。2回続けて閉じる動作が中断された場合には、ピンチプロテクションがオーバーライドされ、自動保護機能が短時間解除されます。これにより、ボタンを持ち上げたままにすると、ウィンドを閉めることができます。

ⓘ 注意
リアパワーウィンドが開いているときに発生する風圧音は、フロントウィンドを少し開けると低減させることができます。

マニュアル作動

スイッチを上/下に軽く動かします。パワーウィンドは、スイッチを保持している間上/下に動きます。

オート作動

スイッチを上/下いっぱいまで動かして、手を放します。ウィンドは自動的にエンドポジションまで上/下します。

リモートコントロールキー、ドアハンドルまたはセントラルロックボタンによる操作

パワーウィンドを操作するときに、外側からリモートコントロールキーまたはドアハンドルを使用する方法、または内側からセントラルロックボタンを使用する方法については、「リモートコントロールキー」、「外側からのロック/ロック解除」および「内側からのロック/ロック解除」の項を参照してください。

リセット

バッテリーの接続を外した後は、パワーウィンドのオート機能が正しく作動するようにリセットする必要があります。

1. ボタンの前端を軽く引き上げて、ウィンドをいっぱいまで上げ、そこでボタンを1秒間保持します。
2. 少しの間、ボタンから手を放します。
3. ボタンの前端を再度引き上げ、1秒間保持します。

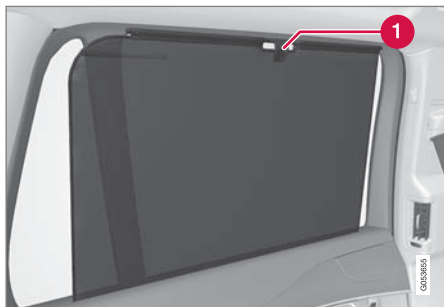
⚠ 警告
ピンチプロテクションが作動するためにはリセットする必要があります。

関連情報

- パワーウィンド (p. 194)
- イグニッション位置 (p. 410)
- リモートコントロールキー (p. 274)
- 外側からのロック/ロック解除 (p. 277)
- 内側からのロック/ロック解除 (p. 281)

サンブラインドを使用する

サンブラインドは各リアドアに取り付けられています。



1 キャッチに取り付けます

1. サンブラインドを引き上げて、上部ドアフレームのフックにかけます。
2. キャッチを引き上げて、サンブラインドを固定します。

サンブラインドが引き上げられていても、ウィンドが開閉できます。

ドアミラーの調節

ドアミラーの位置は運転席ドアのコントロールのレバーで調節します。



ドアミラースイッチ

調節

1. 左側のミラーを調節するときは **L**、右側のミラーを調節するときは **R** ボタンを押します。ボタンのLEDが点灯します。
2. 中央のノブを使用して、位置を調節します。
3. **L** または **R** ボタンを再度押します。ボタンのLEDが消灯します。

警告

両側のミラーは、最適な視野が得られるように、広角タイプになっています。後続車や物体は、実際よりも遠くに見える場合がありますのでご注意ください。

フロントパワーシート*のメモリー機能

フロントパワーシートのメモリー機能には、ドアミラー位置を記憶させることができます。

駐車時にドアミラーを傾ける¹²

駐車するときなどに路面がよく見えるように、ドアミラーを下向きに傾けることができます。

- リバースギヤに入れ、**L** または **R** ボタンを押します。

リバースギヤを解除すると、ドアミラーは約10秒後に元の位置に戻ります。あるいは、**L** または **R** ボタンを押すとただちに元の位置に戻ります。

駐車時に自動的にドアミラーを傾ける¹²

リバースギヤを選択すると、駐車するときなどに路面がよく見えるように、ドアミラーが自動的に下向きに傾きます。リバースギヤを解除すると、ドアミラーは数秒後に元の位置に戻ります。

この機能の設定はセンターディスプレイで行います。

¹² メモリー機能付きパワーシートが装備されている場合のみ。

1. トップビューで **設定** を押します。
2. **My Car → ミラー** を押します。
3. **リバース時にドアミラーを下向き** で、**オフ**、**運転者**、**乗員** または **両方** を選択して、オン/オフの切り替えと角度を変更するミラーを選択します。

ロック時の自動格納¹²

リモートコントロールキーでロック/ロック解除すると、ドアミラーは自動的に格納位置/使用位置に動きます。

この機能はセンターディスプレイでオン/オフにすることができます。

1. トップビューで **設定** を押します。
2. **My Car → ミラー** を押します。
3. **ロック時にミラー自動格納** を選択して、オン/オフにします。

中立位置へセットし直す

外部からの影響でドアミラー本体の位置が動いてしまったときは、電動格納機能を正常に機能させるため、ドアミラーを基本位置に戻してリセットする必要があります。

1. **L** と **R** ボタンを同時に押して、ドアミラーを格納します。

2. **L** と **R** ボタンを再度同時に押して、ドアミラーを使用位置に戻します。
3. 必要に応じてこの手順を繰り返します。

ドアミラー本体が中立位置にリセットされます。

自動防眩機能*

バックミラーに反射する後続車のライトを、自動的に和らげます。

この機能をドアミラーに装備する場合は、ルームミラーにも自動防眩機能が装備されていることが必要です。「ルームミラー」を参照してください。

リバース位置を選択している場合を除き、自動防眩機能は走行中つねに作動しています。防眩機能の感度は3段階に調節することができ、その設定はルームミラーおよびドアミラーに反映されます。

ⓘ 注意

感度を変更しても、防眩機能にすぐに大きな変化は見られません。変更が反映されるまでにしばらく時間がかかります。

この機能の設定はセンターディスプレイで行います。

1. トップビューで **設定** を押します。

2. **My Car → ミラー** を押します。
3. **ミラー自動防眩** で、**ノーマル**、**暗い** または **明るい** を選択します。

電動格納式ドアミラー*

狭い場所に駐車するときや狭い場所を通過するときは、ドアミラーを格納することができます。

1. **L** ボタンと **R** ボタンを同時に押してください(イグニッション位置は **I** 以上であることが必要です)。
2. 約1秒間押してから放します。ミラーは自動的に格納位置まで動いて停止します。

ドアミラーを使用位置に戻すときは、**L** と **R** ボタンを同時に押します。ミラーは自動的に、使用位置まで動いて停止します。

関連情報

- ルームミラー (p. 198)
- 設定ビュー (p. 212)
- フロントパワーシート*のメモリー機能を使用する (p. 163)

¹² メモリー機能付きパワーシートが装備されている場合のみ。

ルームミラー

ルームミラーは、ミラー下側のコントロールを使用して眩しさを調節することができます。または、自動的に眩しさが調節されます。



① 防眩切替レバー

手動防眩機能

ルームミラーに反射する後続車のヘッドライトの光を、自動的に和らげます。後続車のライトがルームミラーに反射して眩しいときは、防眩機能を使用してください：

1. 防眩機能を使用する場合は、防眩切替レバーを手前に引きます。
2. 防眩切替レバーを押して、通常位置に戻します。

自動防眩機能*

ルームミラーに反射する後続車のライトを、自動的に和らげます。自動防眩機能付ミラーには手動防眩機能のコントロールはありません。

ルームミラーにはセンサーが2つあり、1つは前方を、もう1つは後方を向いています。これらのセンサーが連動して眩しい光を判別および除去します。前向きのセンサーは周囲の光を感知します。後ろ向きのセンサーは後続車のヘッドライトの光を感知します。

① 注意

駐車証、トランスポンダー、サンバイザー、シートやカーゴスペースの荷物などで、センサーが遮られ、光がセンサーに届かない場合は、ルームミラーおよびドアミラーの防眩機能が低下します。

リバース位置を選択している場合を除き、自動防眩機能は走行中つねに作動しています。防眩機能の感度は3段階に調節ことができ、その設定はルームミラーおよびドアミラーに反映されます。

① 注意

感度を変更しても、防眩機能にすぐに大きな変化は見られません。変更が反映されるまでにしばらく時間がかかります。

この機能の設定はセンターディスプレイで行います。

1. トップビューで **設定** を押しします。
2. **My Car → ミラー** を押しします。
3. **ミラー自動防眩** で、**ノーマル**、**暗い** または **明るい** を選択します。

自動防眩機能付きルームミラーにのみコンパスを装備することができます。

関連情報

- ドアミラーの調節 (p. 196)
- 設定ビュー (p. 212)

コンパス*

ルームミラー右上の部分に、車両の進行方向を表示するディスプレイが組み込まれています。



コンパス付きルームミラー

8 方位が英語の略字で表示されます：N（北）、NE（北東）、E（東）、SE（南東）、S（南）、SW（南西）、W（西）、NW（北西）。

コンパスのオン/オフ

車両を始動したとき、または車両の電気系統が **II** 位置のとき、コンパスは自動的に起動します。

コンパスをオフ/オンするには：

- ペーパークリップなどを使用して、ルームミラーの下側にあるボタンを押します。

関連情報

- コンパス*を校正する (p. 199)
- イグニッション位置 (p. 410)
- ウインドおよびドアミラーのデフロスターのオン/オフ (p. 230)

コンパス*を校正する

地球は地表の磁場により、15 の地域に分けることができます。磁場の異なる場所に移動する場合は、コンパスを校正し直す必要があります。

以下に従って校正を実施します。

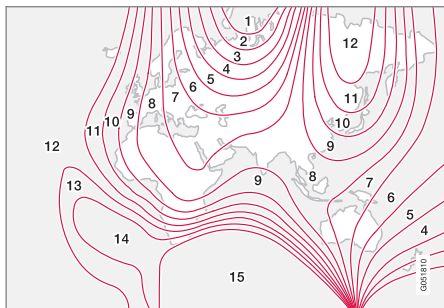
1. 鉄骨を使用した建物や高圧送電線などのない、広く安全な場所(屋外)に停車します。
2. エンジンを始動し、すべての電気機器(エアコンディショナー、ワイパーなど)をオフにし、すべてのドアが閉まっていることを確認します。

i 注意

電気機器をオフにしておかないと、校正が失敗する、またはまったく始まらないおそれがあります。

3. ルームミラー下側のボタンをペーパークリップなどの細い物で約 3 秒間押し続けます。ディスプレイに現在の地域の番号が表示されます。





磁場の分布

4. 希望する地域の番号(1-15)が表示するまで、ボタンを繰り返し押します。コンパス用の磁場分布図を参照してください。
5. ディスプレイに文字 **C** が表示されるまで待機するか、文字 **C** が表示されるまで(約6秒間)ルームミラー下側のボタンを押し続けます。
6. 10 km/h (6 mph)以下の低速で、ゆっくりと円を描くように走行します。ディスプレイにコンパスの方位が表示されれば校正終了です。校正を微調整するために、さらに2周走行してください。

7. **ヒートッドウインドスクリーン装備車両*** :
ヒートッドウインドスクリーンの作動中に文字 **C** がディスプレイに表示された場合は、上記の6に従ってヒートッドウインドスクリーンが作動した状態で校正を行ってください。

8. 必要に応じてこの手順を繰り返します。

関連情報

- コンパス* (p. 199)

パノラマルーフ*

パノラマルーフは2つのガラスセッションに分かれています。フロントセッションは水平方向に開く(開位置)ことと、後端を垂直方向に開く(ベンチレーション位置)ことができます。リアセッションは固定式のルーフガラスです。

パノラマルーフには、多孔性ファブリックを使用したサンブラインドがガラスルーフの下に取り付けられており、強い日差しなどから保護します。

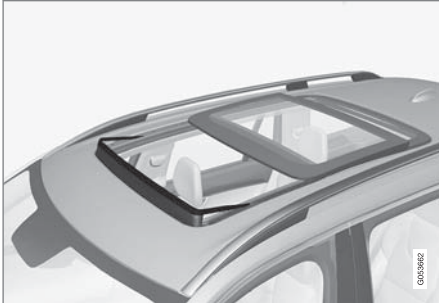


パノラマルーフおよびカーテンは、ルーフに取り付けられているボタンで操作します。このボタンは車両の電気系統がイグニッション位置 **I** または **II** のときに使用できます。

警告

パノラマルーフの可動部分に、乗員や物品が挟まれるおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

- パノラマルーフの操作は、つねに慎重に行ってください。
- お子様スイッチ類を操作させないでください。
- 車両から離れる際には、車両の電気系統をイグニッション位置 **0** にしてパノラマルーフへの電源を切り、リモートコントロールキーを携帯してください。

ウインドデフレクター

パノラマルーフには、ルーフを開けた状態で走行するときに使用できるウインドデフレクターが取り付けられています。

関連情報

- パノラマルーフ*の操作 (p. 201)
- イグニッション位置 (p. 410)

パノラマルーフ*の操作

オートおよびマニュアル操作時に、サンブラインド/ルーフは最大位置まで開きます。

ベンチレーションポジションでは、リア部でルーフの前部が持ち上がります。

警告

パノラマルーフの可動部分に、乗員や物品が挟まれるおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

- パノラマルーフの操作は、つねに慎重に行ってください。
- お子様スイッチ類を操作させないでください。
- 車両から離れる際には、車両の電気系統をイグニッション位置 **0** にしてパノラマルーフへの電源を切り、リモートコントロールキーを携帯してください。





- 1▶ 手動で開きます。
- 2▶ 自動的に開きます。
- 3▶ 手動で閉まります。
- 4▶ 自動的に閉まります。

パノラマルーフおよびブラインドを開くには、車両の電気系統が **I** 以上のイグニッション位置である必要があります。

マニュアル操作

1. カーテンを開けるには、スイッチを後方に押してマニュアル操作用の位置にします。スイッチを押し続けると、サンブラインドは完全に開きます。

2. パノラマルーフを開く - スwitchをもう一度後方に押してマニュアル操作用の位置にします。パノラマルーフは最初にコンフォート位置¹³に到達します。最大位置まで開くには、スイッチをもう一度(3回目)後方に押してください。

スイッチから手を放した場合や、パノラマルーフがコンフォート位置、全開または全閉位置に到達した場合、パノラマルーフの動きは停止します。

ルーフ/ブラインドを閉じるには、前とは逆の手順で行います。したがって、スイッチを前方/下方に押し、ルーフ/ブラインドが全閉位置に達するまで押したままにしてください。

① 注意

マニュアル操作では、パノラマルーフを開ける前に、カーテンが完全に開いていなければなりません。閉じるときは、ルーフを完全に閉じないと、カーテンを閉じることができません。

オート操作

1. サンブラインドを最大位置まで開く - スwitchを後方に押して自動開の位置にし、手を放します。

2. パノラマルーフは2つの位置で開くことができます。

- コンフォート位置まで開くには、スイッチをもう一度後方に押してオート操作用の位置にし、手を放します。
- 最大位置まで開くには、スイッチをもう一度(3回目)後方に押してオート操作用の位置にし、手を放します。

ルーフ/ブラインドを閉じるには、前とは逆の手順で行います。したがって、スイッチを前方/下方に押し、手を放してください。

ガラスがコンフォート位置、全開または全閉位置に到達すると、ルーフの動きは停止します。スイッチをもう一度操作した場合も、ルーフの動きは停止します。

全開位置から閉じている場合、ガラスがコンフォート位置に到達してもルーフの動きは停止しません。

¹³ コンフォート位置はガラスカバーの開位置の1つで、走行中の風切り音や共鳴音を十分に低く抑えられる位置です。

高速開閉

パノラマルーフとサンブラインドは同時に開閉できます。

- 開けるには、スイッチを「自動開」の方向（後方）へ2度押し放します。
- 閉じるには、スイッチをオート操作の方向（前方/下方）へ2回押し放します。

ルーフがコンフォート位置または全閉位置に到達すると、ルーフの動きは停止します。スイッチをもう一度操作した場合も、ルーフの動きは停止します。

全開位置から閉じている場合、ガラスがコンフォート位置に到達してもルーフの動きは停止しません。ルーフがコンフォート位置の場合、ブラインドの動きは停止しません。

ベンチレーション位置



ベンチレーション位置（後端を垂直方向に開けた状態）

- 1 ↑ スイッチを上を押して開けます。
- 2 ↓ スイッチを前方/下方に押し閉じます。

ベンチレーション位置を選択すると、フロントセクションの後端が上がります。サンブラインドが完全に閉じている状態でベンチレーション位置を選択した場合は、自動的に約 50 mm 開きます。

パノラマルーフは、スイッチを上方向に押すことにより、開位置からベンチレーション位置に直接操作することができます。スイッチをもう一度操作すると、動きは停止します。

サンブラインドの自動開動作

晴天のとき/気温の高いときに駐車すると、車両のロックから 15 分後にサンブラインドが自動

的に閉じます。この動作は、車内の温度を下げることと、内装の日焼けを防止することが目的です。


この機能は工場出荷時点でオフになっており、以下の方法でオン/オフを切り替えることができます。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** を押します。
2. **My Car** → **ロッキング** を押します。

自動にサンカーテンを起動 を選択して、オン/オフにします。

リモートコントロールキー、セントラルロックボタンまたはドアハンドルで閉める

リモートコントロールキー

- パノラマルーフとサンブラインドが閉位置の方向に動き始めるまでリモートコントロールキーのロックボタン  を1回長押しします。


リモートコントロールキーのロックボタンをもう一度押すか、ルーフ/ブラインドが閉位置に達すると、動きは停止します。

セントラルロックボタン



セントラルロックボタン

車両の電気系統が **I** 以上のイグニッション位置の場合、運転席ドアまたは助手席ドア*のセントラルロックボタンを使用してパノラマルーフを閉じることができます。

- パノラマルーフとサンブラインドが閉位置の方向に動き始めるまでセントラルロックボタン  を1回長押しします。

セントラルロックボタンをもう一度押すか、ルーフ/ブラインドが閉位置に達すると、動きは停止します。

ドアハンドル

キーレスロック/ロック解除機能*を搭載した車両は、外側のドアハンドルの外側部分に、感圧性のあるくぼみがあります。

- パノラマルーフおよびサンブラインドが閉位置の方向へ動き始めるまで、ドアハンドルのひとつの外側部分にある、感圧性のあるくぼみに指をあてます。

ドアハンドルのくぼみに再度指をあてる、またはルーフ/ブラインドが閉位置に達すると、動きは停止します。

警告

リモートコントロールキー、セントラルロックボタン、またはドアハンドルを使用してパノラマルーフを閉める場合は、乗員の手などが挟まらないように注意してください。

重要

パノラマルーフを閉めたときは、完全に閉まっていることを確認してください。

ピンチプロテクション

パノラマルーフには、ピンチプロテクションが装備されており、閉じる途中でガラスカバーやサンブラインドがなんらかの障害物によりブロックされると作動します。ブロックされた場合には、ガラスカバーまたはサンブラインドがブロックされた位置(またはフルベンチレーションポジション)から約 50 mm ほど自動的に開きます。ピンチプロテクションはガラスカバーやサンブラインドが開くときにも作動しています。

ガラスカバーの周辺が凍結して閉じる動作が中断された場合などには、ガラスカバーが閉じるまでコントロールを前向きに長押しするか、押し下げたままにするとピンチプロテクションを強制的に解除することができます。

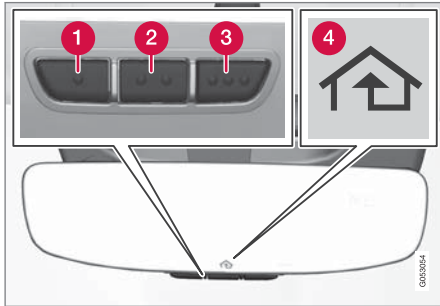
関連情報

- パノラマルーフ* (p. 200)
- イグニッション位置 (p. 410)
- リモートコントロールキー (p. 274)
- 内側からのロック/ロック解除 (p. 281)
- 外側からのロック/ロック解除 (p. 277)

HomeLink®*14

HomeLink® は、車両の電気系統に組み込まれたプログラム可能なリモートコントロールです。

概要



- ① ボタン 1
- ② ボタン 2
- ③ ボタン 3
- ④ インジケータランプ

HomeLink®¹⁵ はプログラム可能なリモートコントロールで、最大 3 個の異なる機器(ガレージドアオープナー、アラームシステム、内外の照明など)を、それぞれのリモートコントロールに代わって遠隔操作することができます。

HomeLink® はルームミラーに組み込まれていま

す。HomeLink® パネルは、ミラーガラス内のインジケータランプ 1 個とプログラム可能なボタン 3 個で構成されています。

HomeLink® に関する情報をお求めの場合、www.HomeLink.com または www.youtube.com/HomeLinkGentex をご覧いただくか、フリーダイヤル 00 8000 466 354 65 (または有料の +49 6838 907 277)にご連絡ください。

警告

- HomeLink®を使用してガレージドアやゲート进行操作する場合は、ドアやゲートの周りに人がいないことを確認してください。
- HomeLink のプログラム作業中には、プログラム対象のガレージドアやゲートが作動するおそれがあります。したがって、プログラム作業中には、対象のドアまたはゲートに誰も近づけないようにしてください。
- ガレージドアオープナーをプログラムする際には、車両をガレージの外に駐車してください。
- ガレージドアに非常停止などの安全機能が備わっていない場合は、HomeLink® を使用しないでください。

将来プログラムするとき(車の買い替え時や別の車で使用する際などに)に備えて、機器付属のリモートコントロールは保管しておいてください。車両を売却する場合には、ボタンのプログラムを消去することをお勧めします。「HomeLink® のプログラミング」の項を参照してください。

関連情報

- HomeLink®* のプログラミング (p. 206)

¹⁴ 特定市場に適用

¹⁵ HomeLink および HomeLink ハウスマークは、Gentex Corporation の登録商標です。

HomeLink®*17 のプログラミング

HomeLink® のプログラミング手順

HomeLink® のプログラミング

① 注意

一部の車両では、HomeLink® のプログラム前または使用する前に、イグニッションを ON にするか、「アクセサリ位置」にすることが必要です。HomeLink® で代替するリモートコントロールに新品の電池を入れると、プログラミングの時間が短くなり、無線信号の送信状況が向上します。プログラミングの前に HomeLink® ボタンをリセットしてください。「HomeLink® ボタンのリセット」を参照してください。リセットが完了すると、HomeLink® は「学習モード」となり、プログラミングの準備が整います。

1. プログラムする HomeLink® のボタン¹⁸を押します。HomeLink® のインジケータランプ¹⁸が1秒に1回の速さで黄色に点滅します。ボタンを長押しする必要はありません。

2. プログラムする HomeLink® ボタンにリモートコントロールを向けて、ボタンから 2~8 cm のところに構えてください。HomeLink® のインジケータランプを遮らないようご注意ください。

注記： リモートコントロールによっては、15~20 cm 離れた方が HomeLink® をプログラムしやすい場合があります。プログラミング中に問題が発生した場合に備えて、このことに留意しておいてください。

3. HomeLink® にプログラムする機器付属のリモートコントロールのボタンを長押しし、インジケータランプに注目します。インジケータランプが毎秒1回の黄色の点滅から毎秒10回の緑色の点滅または緑色の点灯に切り替わるまで、ボタンから指を離さないでください。インジケータランプが緑色で点滅または点灯したら、リモートコントロールのボタンから指を離すことができます。

注記： 一部のレシーバーでは、プログラミングのステップ3をステップ4の指示に変更することが必要になる場合があります。

4. インジケータランプが毎秒1回の黄色の点滅から毎秒10回の緑色の点滅または緑色の点灯に切り替わるまで、1秒おきに機器付属のリモートコントロールのボタンを短く押す操作を繰り返します。
5. プログラムした HomeLink® ボタンを押して、インジケータランプを確認します。

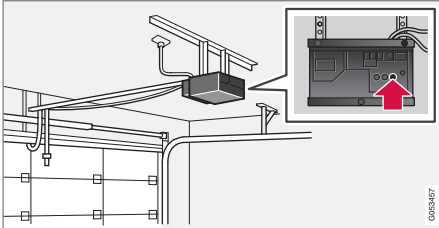
＞ **緑色の点灯：** インジケータランプが緑色で点灯している場合、**プログラミングは完了しています。** プログラムしたボタンを押すと、ガレージドアやゲートなどが作動するはずですが。

毎秒10回の緑色の点滅： プログラムするボタンを**2秒間押しただままにしてから、指を離します。** ボタンを押して離す操作をもう1回繰り返します。レシーバーのモデルによっては、さらにもう1回繰り返します。これでプログラミングは完了するため、プログラムしたボタンを押すと、ガレージドアやゲートなどが作動するはずですが。

レシーバーがまだ反応しない場合： プログラムのステップ6~8を行って、プログラミングを完了してください。

¹⁷ 特定市場に適用

¹⁸ ボタンおよびインジケータランプの位置については、「HomeLink®*」の項を参照してください。



6. ガレージドア(または該当する機器)のレシーバーに用意されている学習ボタン¹⁹を確認します。通常は、レシーバーのアンテナブラケット付近にあります。
7. レシーバーの学習ボタンを押して離します。ステップ8はボタンを押してから30秒以内に完了する必要があります。
8. プログラムするボタンを**2秒間押ししたままにしてから、指を離します**。ボタンを押して離す操作をもう1回繰り返します。レシーバーのモデルによっては、さらにもう1回繰り返します。**これでプログラミングは完了です**。プログラムしたボタンを押すと、ガレージドアやゲートなどが作動するはずですが。

操作

HomeLink[®]が完全にプログラムされると、複数のリモートコントロールの代用として使用することができます。

¹⁹ ボタンの名称や色は、メーカーにより異なります。

プログラムしたボタンを押します。ガレージドア、ゲート、アラームシステムなどが作動します(数秒かかることがあります)。ボタンを押すと、インジケータランプが点灯または点滅します。当然ですが、必要であれば、機器付属のリモートコントロールをHomeLink[®]と併用することもできます。

ⓘ 注意

イグニッションがオンではない場合は、HomeLink[®]は運転席ドアが開いた後、30分機能します。

プログラミングの問題が発生した場合、HomeLink[®]に連絡してください。インターネットの場合、www.HomeLink.comまたはwww.youtube.com/HomeLinkGentex、電話の場合、フリーダイヤルの00 8000 466 354 65 (または有料の+49 6838 907 277)をご利用ください。

HomeLink[®] ボタンのリセット

HomeLink[®]のボタンは、すべて同時にリセットされます。個々にリセットすることはできません。ただし、ボタン毎に再プログラミングが可能です。「個々のボタンのプログラミング」の項を参照してください。

1. HomeLink[®]のボタン1および3を押して、インジケータランプが緑色で点滅し始める(約10秒間)まで押し続けます。

2. ボタンから手を離します。
 - > これでHomeLink[®]は「学習モード」になり、プログラムし直すことができます。前述の「HomeLink[®]のプログラミング」の項を参照してください。

個々のボタンのプログラミング

個々のHomeLink[®]のボタンをプログラムする際は、次の手順に従ってください：

1. プログラムするボタンを押し、**手を離さないでください**。
2. 約20秒後にHomeLink[®]のインジケータランプが黄色で点滅を開始してから、前述の「HomeLink[®]のプログラミング」の項にあるステップ1を開始します。

注記： プログラムし直すボタンに新しいユニットがプログラムされていないと、以前に保存されていたプログラミングが回復します。

HomeLink[®]に関する情報をお求めの場合、もしくはコメントをお寄せいただく場合には、www.HomeLink.com または www.youtube.com/HomeLinkGentex をご覧いただくか、フリーダイヤル00 8000 466 354 65 (または有料の+49 6838 907 277)にご連絡ください。

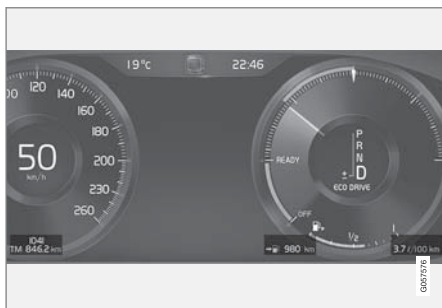
関連情報

- HomeLink[®]* (p. 205)

トリップコンピューター

車両のトリップコンピューターは、走行中の距離、燃料消費量および平均速度などの値を記録および計算します。

燃費を意識した運転がしやすくなるように、瞬間燃料消費量と平均燃料消費量に関する情報が記録されます。トリップコンピューターの情報は、センターディスプレイに表示することができます。



トリップコンピューターには以下のメーターが含まれています。

- トリップメーター(走行距離計)
- オドメーター
- 瞬間燃料消費量
- 走行可能距離
- バッテリー走行可能距離
- ツーリスト(代替スピードメーター)

トリップメーター(走行距離計)

トリップメーターにはTMとTAの2つがあります。

TMは手動でリセットすることができ、TAは車両を使用していない状態が4時間以上続くと、自動的にリセットされます。

走行中には以下の情報が記録されます。

- 走行距離
- 走行時間
- 平均速度
- 平均燃料消費量

トリップメーターを最後にリセットした時点からの数値が適用されます。

オドメーター

オドメーターは車両の総走行距離を記録します。この値はゼロにリセットできません。

瞬間燃料消費量

このゲージは現時点の燃料消費量を示します。この値は約1秒ごとに更新されます。

走行可能距離

トリップコンピューターは、タンクに残っている燃料で走行可能な距離を計算します。

30 km 前から現在までの平均燃費と、現在の燃料残量に基づいて、走行可能距離を算出します。

ゲージに「---」と表示された場合、走行可能距離は残っていないことを示しています。この場合、すみやかに燃料を補給してください。

注意

車両走行状況の変動により、若干の誤差が生じる場合があります。

一般的に、経済的な走行を心がけると、走行距離を伸ばすことができます。

バッテリー走行可能距離

このゲージは、ハイブリッドバッテリーの現在のエネルギー残量で走行可能な概算距離を示します。ゲージに「---」と表示された場合、走行可能距離は残っていないことを示しています。

この計算は、一般的な積載状態での通常走行時の平均燃費を基準にし、エアコンディショナー(AC)のオン/オフが考慮されます。

注意

車両走行状況の変動により、若干の誤差が生じる場合があります。

一般的に、経済的な走行を心がけると、走行距離を伸ばすことができます。

電動での走行距離数

電動でできるだけ長い走行距離が達成できるように、電気自動車の運転時には、省エネも念頭に置いて走行を心がけてください。作動している電力消費機器(ステレオ、ウインド/ミラー/シートの電熱暖房、エアコンからの冷氣など)が多ければ多いほど、走行可能距離は短くなります。

① 注意

車内での高い電流消費の他に、急加速や急ブレーキ、高速走行、重い荷物を積載しての走行、上り坂の走行なども、走行距離が短くなる原因になります。

ツーリスト(代替スピードメーター)

代替デジタルスピードメーターを使用すると、制限速度標識の単位が車両の計器の表示と異なる地域を走行するときに運転しやすくなります。

デジタルスピードメーターは、アナログスピードメーターの表示と反対の単位で表示されます。アナログスピードメーターの目盛りが **mph** である場合、デジタルスピードメーターは対応する速度を **km/h** で表示します(逆の組み合わせも可能)。

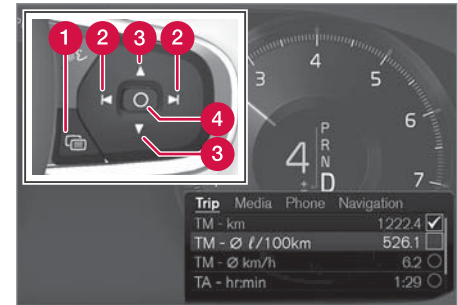
関連情報

- ドライバーディスプレイにトリップデータを表示する (p. 209)
- センターディスプレイに走行統計 を表示する (p. 211)
- 都市環境における電気による走行可能距離 (p. 445)

ドライバーディスプレイにトリップデータを表示する

トリップコンピューターの記録および計算した値は、ドライバーディスプレイに表示することができます。

値はトリップコンピューターアプリに保存されます。アプリメニューを使用すると、ドライバーディスプレイに表示する情報を選択することができます。



ステアリングホイールの右側キーパッドを使用してアプリメニュー²¹を開き、メニュー内を移動します

- ① アプリメニュー
- ② 左/右
- ③ 上/下
- ④ 確定

²¹ ディスプレイの外観はメーター・パネルのタイプに応じて異なることがあります。

- ◀ 1. (1)を押して、ドライバーディスプレイでアプリメニューを開きます。
- (ドライバーディスプレイに未読のメッセージがある場合、アプリメニューを開くことはできません。アプリメニューを開くには、先に未読のメッセージを確認する必要があります。)
2. (2)を押して左右に動かし、トリップコンピューターアプリを選択します。
- ▷ 上の4行にはトリップメーターTMの測定値が表示されます。次の4行にはトリップメーターTAの測定値が表示されます。(3)を使用して上下にスクロールしてください。
3. 下のオプションボタンにスクロールして、ドライバーディスプレイに表示する情報を選択します。
- 瞬間燃料消費量
 - 走行可能距離
 - オドメーター
 - トリップメーターTMまたはTAの走行距離、または走行距離の表示なし
 - ツーリスト(代替スピードメーター)
 - バッテリー走行可能距離
- 0 ボタン(4)でオプションを選択または選択解除します。変更はただちに反映されます。

トリップメーターのリセット



トリップメーターTMをリセットするには、左側レバーの **RESET** ボタンを長押ししてください。

トリップメーターTAには自動リセット機能のみがあります。車両を使用しない状態が4時間以上続くと、メーターはリセットされます。

単位の変更

走行距離、速度などの単位は、センターディスプレイで以下の手順に従って変更します。

1. トップビューで **設定** を押します。
2. **システム** → **単位** を押します。
3. **単位** で、次の中から単位を選択します：
Metric、**Imperial**、**US**。

① 注意

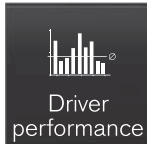
これらの単位は、トリップコンピューターだけでなくボルボのナビゲーションシステム*でも変更されます。

関連情報

- トリップコンピューター (p. 208)
- センターディスプレイに走行統計 を表示する (p. 211)
- ドライバーディスプレイのアプリケーションメニューを使用する (p. 147)

センターディスプレイに走行統計を表示する

トリップコンピューターの走行統計はセンターディスプレイにグラフィック表示されず。走行統計情報は、燃費を意識した運転をするのに役立ちます。



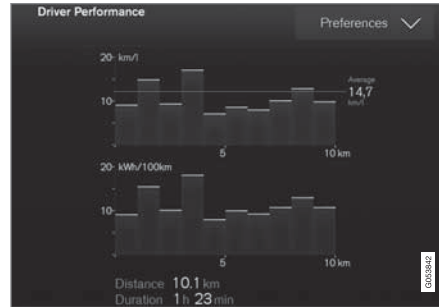
アプリビューで **運転者のパフォーマンス** アプリを開いて、走行統計を表示します。

図の各バーは、走行距離の単位として 1、10 または 100 km (またはマイル) を表します。

バーは走行が進むにつれて右から埋まっていきます。右端のバーは現在距離の値を示します。

平均燃料消費量と総走行時間は、走行統計を最後にリセットした時点からの値が計算されています。

燃料と電力の消費状況は、個々のグラフで表示されます。電力の消費量は「ネット」消費量(消費エネルギーから制動時に生成された電力を差し引いたもの)です。



旅程情報 ²²

走行統計の設定

環境設定 を押して、以下を行います。

- グラフの目盛りを変更する。バーの分解能を 1、10、100 km/mi から選択します。
- 走行ごとにデータをリセットする。車両が 4 時間以上静止しているときに行われます。
- 現在の走行のデータをリセットする

走行統計、計算された平均燃料消費量および総走行時間は必ず同時にリセットされます。

単位の変更

走行距離、燃料消費量などの単位は、以下の手順で変更します。

1. トップビューで **設定** を押します。

2. **システム** → **単位** を押します。

3. **単位** で、次の中から単位を選択します：
Metric、**Imperial**、**US**。

関連情報

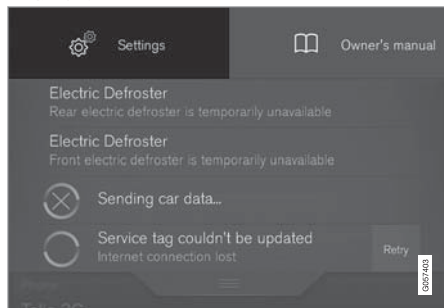
- トリップコンピューター (p. 208)
- ドライバーディスプレイにトリップデータを表示する (p. 209)

²² 図は概略図です。配置は、車両モデルまたはソフトウェアのアップデートにより異なる場合があります。

設定ビュー

車両の多くの機能に関して、設定および情報はセンターディスプレイの設定ビューで管理することができます。

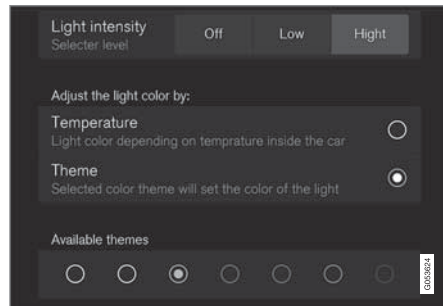
設定ビューを開く/閉じる、設定ビュー内を移動する



トップビューと設定用ボタン

1. センターディスプレイの上部にあるタブを下方方向にドラッグして、トップビューを開きます。
2. **設定** をタップして、設定ビューを開きます。
3. 表示されているカテゴリの1つを押してサブカテゴリに移動し、もう1回押して設定に移動します。
4. **戻る** を押して、設定ビューに戻ります。
閉じる を押して、設定ビューを閉じます。

設定を変更する



設定ビューのサブカテゴリに表示される、さまざまな種類の設定(ここでは、マルチオプションボタンとラジオボタン)

1. カテゴリおよびサブカテゴリを押して、必要な設定に移動します。
2. 設定(複数可)を変更します。変更する設定の種類により、変更の方法が異なります(種類ごとの説明については、次表参照)。
> 変更はただちに保存されます。

設定の種類

設定には、次のようにさまざまな種類があります。

設定の種類	説明
トリガー機能	テキストを押すことにより、アプリまたは別のビューが開き、さらに高度な設定ができるようになります(Bluetooth 対応のユニットとの接続など)。
ラジオボタン	必要なラジオボタンを押すことにより、複数の選択肢から設定が選択されます(システム言語の選択など)。
マルチオプションボタン	ボタンの必要な部分を押すことにより、対象物のレベルが選択されます(City Safety の感度の選択など)。
チェックボックス	ボックスを押して選択/解除することにより、機能がオン/オフになります(シートヒーターの自動起動の選択など)。
スライダー	スライダーを押してドラッグすることにより、所定の範囲内で対象物のレベルが選択されます(音量の選択など)。
情報の表示	実際の設定はありません。情報(車台番号など)を表示します。

関連情報

- センターディスプレイの概要 (p. 34)
- 設定ビューのカテゴリ (p. 213)

設定ビューのカテゴリ

設定ビューには多くのメインカテゴリとサブカテゴリがあり、車両の多くの機能に関する設定および情報がまとめられています。

設定ビューには、**My Car**、**サウンド**、**ナビゲーション**、**メディア**、**通信**、**温度調整**、および **システム** の7つのメインカテゴリがあります。

そして、各カテゴリには多くのサブカテゴリと設定オプションがあります。次表には、最上位のレベルのサブカテゴリが示されています。領域または機能の設定オプションの詳細については、オーナーズマニュアルの関連セクションで説明されています。関連セクションで説明されていないシステム設定については、「設定ビューでシステム設定を変更する」の項を参照してください。

My Car

サブカテゴリ
ディスプレイ
IntelliSafe
パークアシスト
ドライブモード/カスタマイズのドライブモード*
ライト
ミラー

サブカテゴリ
ロック&アンロックのフィードバック
電動パーキングブレーキ
シート
ウインドスクリーンワイパー
サスペンション
外部サウンド
オーディオ
サブカテゴリ
サウンド体験*
トーン
バランス
システム リューム
ナビゲーション
サブカテゴリ
地図
ルート
交通
VICS





サブカテゴリ
ガイダンス
システム
メディア
サブカテゴリ
AM/FM ラジオ
DAB
Gracenote®
ビデオ
通信
サブカテゴリ
電話
テキストメッセージ
Bluetooth
Wi-Fi
車両 Wi-Fi ホットスポット
カーモデムインターネット
Volvo On Call
Volvo サービスネットワーク

エアコンディショナー

メインカテゴリ **温度調整** にサブカテゴリはありません。

システム

サブカテゴリ

日付&日時

言語

キーボードレイアウト

音声認識

単位

ETC

ストレージ

ソフトウェア更新

工場出荷時設定ヘリセット

サービス

関連情報

- 設定ビュー (p. 212)
- 設定ビューでシステム設定を変更する (p. 214)

設定ビューでシステム設定を変更する

設定ビューの **システム** カテゴリには、車両システム(言語および単位など)の一般的な設定や情報がまとめられています。

日付&日時、キーボードレイアウト、音声認識、ソフトウェア更新、工場出荷時設定ヘリセット、および **サービス** のシステム設定については、オーナーズマニュアルの関連セクションで説明されています。

システム言語の変更

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** を押します。
2. **システム** → **言語** を押します。
3. システム言語を選択します。音声操作に対応している言語には、音声操作シンボルが表示されています。
 - ▷ ドライバーディスプレイ、センターディスプレイおよびヘッドアップディスプレイの言語が変更されます。

システム単位の変更

長さおよび量の単位の変更

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** を押します。
2. **システム** → **単位** → **単位** を押します。
3. 以下の単位規格の中から1つ選択します。
 - **Metric** – キロメートル、リットルおよびセ氏。
 - **Imperial** – マイル、ガロンおよびセ氏。
 - **US** – マイル、ガロンおよびカ氏。
 > ドライバーディスプレイ、センターディスプレイおよびヘッドアップディスプレイの単位が変更されます。

タイヤ空気圧単位の変更

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** を押します。
2. **システム** → **単位** → **タイヤ空気圧** を押します。
3. タイヤ空気圧を選択します。
 - > センターディスプレイの **車両の状態** アプリでタイヤ空気圧を表示する単位が変更されます。

ストレージ情報を参照する

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** を押します。

2. **システム** → **ストレージ** を押します。

> 車両のハードディスクのストレージ情報が表示され、総容量、空き容量、インストール済みのアプリケーションが使用している容量が表示されます。

車台番号の表示

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** を押します。
2. **システム** → **車台番号** を押します。
 - > 車台番号 (VIN²³) が表示されます。

関連情報

- 設定ビューのカテゴリ (p. 213)
- 時計 (p. 140)
- センターディスプレイのキーボードの使用 (p. 50)
- 音声認識の設定 (p. 157)
- システムアップデート (p. 548)
- 設定ビューの設定のリセット (p. 215)
- コネクテッド・サービス予約 (p. 545)

設定ビューの設定のリセット

設定ビューで変更したすべての設定を一括して初期値にリセットすることができます。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** を押します。
2. **システム** → **工場出荷時設定へリセット** を押します。
3. **OK** を押して、リセットを確定します。

関連情報

- 設定ビューでシステム設定を変更する (p. 214)
- 名義変更に伴うユーザーデータのリセット (p. 216)

²³ Vehicle Identification Number.

アプリの設定を変更する

アプリビューには、車両のすべてのアプリが表示されます。車両の内蔵機能に関連するアプリ設定は、センターディスプレイのトップビューから変更することができます。

内蔵機能用アプリ - 基本アプリ

最初から車両にインストールされているアプリ(例: **FM ラジオ** および **USB**)は **Sensus** の一部であり、車両の内蔵機能の一部です。これらのアプリの設定は、センターディスプレイのトップビューで直接変更することができます。

基本アプリの設定を変更する

1. アプリ (**FM ラジオ** など)をタップします。
2. トップビューを下方向にドラッグします。
3. **FM ラジオ 設定** を押します。
4. 必要に応じて設定を変更し、選択を確定します。
5. ホームボタン、またはトップビュー外側の任意の場所を押して、設定ビューを終了します。トップビューを上方向にドラッグするか、トップビューの下部にあるタブをタップすることもできます。

一部を除き、車両のほとんどの基本アプリには、この文脈設定オプションがあります。設定の変更方法についての詳細は、「設定ビューのカテゴリ」の項を参照してください。

サードパーティー製アプリ

サードパーティー製アプリは、車両購入後にユーザーがダウンロードするもので、当初は車両のシステムにインストールされていません (**Volvo ID** など)。このようなアプリの設定はトップビューからではなく、必ずアプリ内で行います。

関連情報

- センターディスプレイのビュー内での移動 (p. 41)
- 設定ビュー (p. 212)
- アプリのダウンロード、アップデートおよびアンインストール (p. 500)
- 設定ビューのカテゴリ (p. 213)

名義変更に伴うユーザーデータのリセット

名義変更時には、ユーザーデータおよびシステム設定を工場出荷時設定に戻す必要があります。

車両の設定は、複数の異なるレベルでリセットすることができます。名義変更時には、すべてのユーザーデータおよびシステム設定を元の工場出荷時設定に戻してください。名義変更の場合、**Volvo On Call*** サービス の契約者名を変更することも重要です。

関連情報

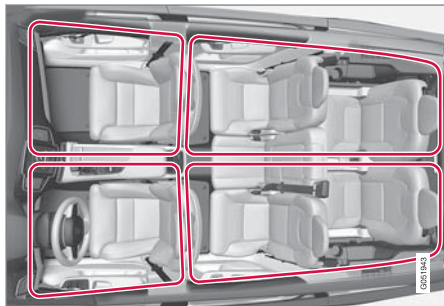
- 設定ビューの設定のリセット (p. 215)
- Volvo ID (p. 24)

エアコンディショナー

エアコンディショナー

車両には、オートマチック・エアコンディショナーが装備されています。車内の冷暖房と除湿をコントロールします。

4ゾーンエアコンディショナー



4ゾーンエアコンディショナーの空調ゾーン

4ゾーンエアコンディショナーでは、車内の温度を前後左右、個別に設定することができます。

エアコンディショナーシステムのすべての機能は、センターディスプレイとセンターコンソールのボタンで操作します。リアシートの機能は、トンネルコンソール後部のクライメートパネルからも操作することができます。

関連情報

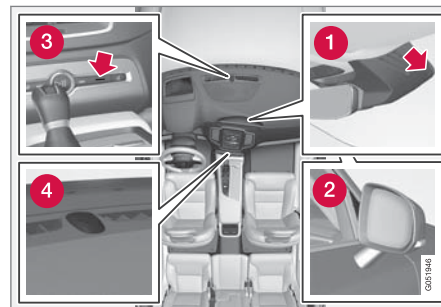
- エアコンディショナー - センサー (p. 218)
- 体感温度 (p. 219)

- 空気の質 (p. 219)
- エアコンディショナー (p. 221)
- エアディストリビューション (p. 233)
- パーキングエアコンディショナー (p. 242)
- エアコンディショナーの音声操作 (p. 159)

エアコンディショナー - センサー

エアコンディショナーシステムは、複数のセンサーを使用して空調を調節します。

センサーの位置



- ① 湿度センサー - ルームミラー側のケース内
- ② 外気温センサー - 右側ドアミラー内
- ③ 車内温度センサー - センターコンソールのボタンの側
- ④ センサー - ダッシュボードの上部

① 注意

センサーが衣服などで覆われることがないように注意してください。

Interior Air Quality System*装備車には、エアコンディショナーシステム空気取入口にエア・クオリティ・センサーも装備されています。

関連情報

- エアコンディショナー (p. 218)
- 体感温度 (p. 219)
- Interior Air Quality System* (p. 221)

体感温度

エアコンディショナーシステムは、実際の温度ではなく、体感温度に基づいて空調を調節します。

車内で選択する温度は、その時点での車内および車両付近の周辺温度、気流速度、湿度、日射量などによる体感温度に対応します。

システムにはセンサーがあり、日光が車内のどちら側に差し込んでいるか検出します。したがって、左右両側を同じ温度に設定しても、左右の空気吹出口から流れる空気の温度が異なる場合があります。

関連情報

- エアコンディショナー (p. 218)
- エアコンディショナー - センサー (p. 218)
- 温度の調節 (p. 226)

空気の質

車内に採用されている素材と空気清浄システムにより、車内の空気は良好な状態に維持されます。

車内の素材

車内の内装は接触アレルギーや喘息を持つ方にも快適な設計です。

これらの素材は、車内に埃を発生させにくく、清掃しやすいように開発されたものです。

車内およびカーゴスペースのカーペットは、簡単に取り外して清掃することができます。

ボルボ推奨のクリーナーとカーケア用品を使用して、車内を清掃してください。

空気清浄システム

クリーンエアフィルターの他に、Clean Zone Interior Package*および空気清浄システム Interior Air Quality System*への変更も、車内の空気を良好な状態に保つのに役立ちます。

関連情報

- エアコンディショナー (p. 218)
- クリーンエアフィルター (p. 220)
- Clean Zone Interior Package* (p. 220)
- Interior Air Quality System* (p. 221)
- 内装の清掃 (p. 590)

クリーンエアフィルター

車内に入る空気は、クリーンエアフィルターを通過して浄化されます。

クリーンエアフィルターの交換

このフィルターは、定期的に交換することが必要です。推奨交換間隔は、ボルボメンテナンスサービスプログラムに従ってください。埃や塵などの多い場所を走行する場合は、さらに頻繁な交換が必要です。

i 注意

クリーンエアフィルターには、数種類のタイプがあります。適切なクリーンエアフィルターを装着してください。

関連情報

- 空気の質 (p. 219)
- Clean Zone Interior Package* (p. 220)
- Interior Air Quality System* (p. 221)
- ボルボメンテナンスサービスプログラム (p. 544)

Clean Zone Interior Package*

Clean Zone Interior Package (CZIP)は、アレルギー源や喘息を引き起こす物質を車内から除去する一連の機能で構成されています。

次の事項が含まれています。

- 拡張ファン機能は、リモートコントロールキーで車両をロック解除したときにファンを作動させます。ファンにより、車内に新鮮な空気を導入します。この機能は必要に応じて作動し、一定時間が経過した後か、いずれかのドアを開けたときに解除されます。ファンの作動時間は、必要性の減少に応じ、車両製造後4年間を経過するまでの間に徐々に短くなります。
- 全自動の空気清浄システム Interior Air Quality System (IAQS)。

i 注意

CZIP 装着車の CZIP 標準を保持するには、IAQS フィルターを 15,000 km 毎、または1年に1回(どちらか早い方)交換する必要があります。これは、最大 75,000 km、5年間に限ります。

CZIP を装着していない車両、あるいは CZIP 標準を保持する希望がない場合は、IAQS フィルターを通常の点検整備時に交換してください。

関連情報

- 空気の質 (p. 219)
- クリーンエアフィルター (p. 220)
- Interior Air Quality System* (p. 221)

Interior Air Quality System*

Interior Air Quality System (IAQS)は、車内の空気から粒子状物質やガスを分離して、臭いや空気の汚れを低減する、全自動の空気清浄システムです。

IAQS は Clean Zone Interior Package (CZIP)に含まれており、車内の空気から、微粒子、炭化水素、窒素酸化物、地表オゾンなどの有害物質を除去します。

エア・クオリティ・センサーが外気の汚れを検知すると、空気取入口が閉じられ、エアリサーキュレーションがオンになります。

注意

車内の空気を清浄に保つため、エア・クオリティ・センサーは常時作動させてください。

寒気気候では、曇りを防止するために内気循環(リサーキュレーション機能)は制限されています。

曇りが発生した場合、デフロスター機能を使用して、ウインドスクリーン、パワーウインドおよびリアウインドの曇りを取り除いてください。

注意

CZIP 装着車の CZIP 標準を保持するには、IAQS フィルターを 15,000 km 毎、または 1 年に 1 回(どちらか早い方)交換する必要があります。これは、最大 75,000 km、5 年間に限ります。

CZIP を装着していない車両、あるいは CZIP 標準を保持する希望がない場合は、IAQS フィルターを通常の点検整備時に交換してください。

エア・クオリティ・センサーのオン/オフ
エア・クオリティ・センサーをオン/オフを設定することができます。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** を押します。
2. **温度調整** を押します。
3. **空気清浄度センサー** を選択して、エア・クオリティ・センサーをオン/オフにします。

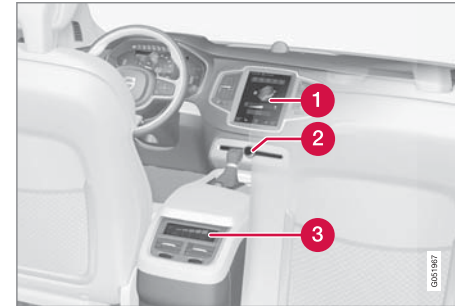
関連情報

- 空気の質 (p. 219)
- クリーンエアフィルター (p. 220)
- Clean Zone Interior Package* (p. 220)
- エアリサーキュレーションのオン/オフ (p. 232)

エアコンディショナー

エアコンディショナーシステムの機能は、センターディスプレイ、センターコンソールのボタン、トンネルコンソール後部のクライメートパネルで操作します。

エアコンディショナーの概要



- 1 センターディスプレイのエアコンディショナー
- 2 センターコンソールのデフロストボタン
- 3 トンネルコンソール後部のエアコンディショナー

関連情報

- エアコンディショナー (p. 218)
- センターディスプレイのエアコンディショナー (p. 222)

エアコンディショナー

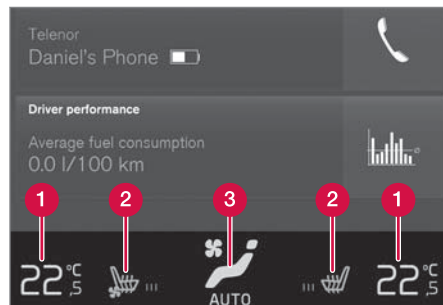
- トンネルコンソール後部のエアコンディショナー (p. 224)
- ウインドおよびドアミラーのデフロスターのオン/オフ (p. 230)

センターディスプレイのエアコンディショナー

すべてのエアコンディショナー機能は、センターディスプレイのクライメートビューおよびクライメート列で操作することができます。

クライメート列

よく使うエアコンディショナー機能はクライメート列で操作することができます。



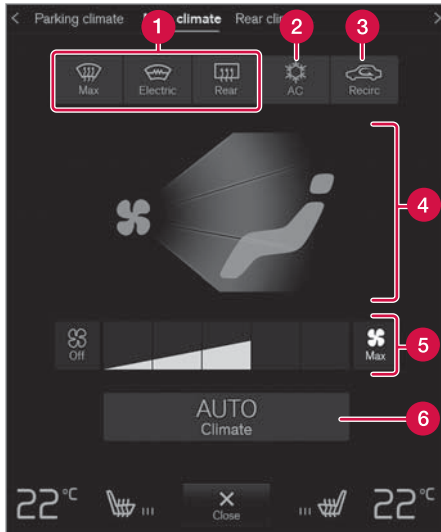
- 1 運転席および助手席用温度コントロール
- 2 運転席および助手席シートヒーター*およびベンチレーテッドシート*とステアリングホイールヒーター*用コントロール
- 3 クライメートビューへのアクセス用ボタン。ボタンのグラフィックは、起動中のエアコンディショナーの設定を示します。

クライメートビュー

クライメート列のセンターボタンを1回タップすると、クライメートビューが表示されます。クライメートビューはタブ(メイン・エアコン、リア・エアコンおよび 駐車温度調整)に分かれています。左/右にスワイプする、または個々の見出しを押すと、タブが切り替わります。

メインクライメート

クライメート列の機能以外に、その他の主なエアコンディショナー機能も **メイン・エアコン** タブで操作することができます。

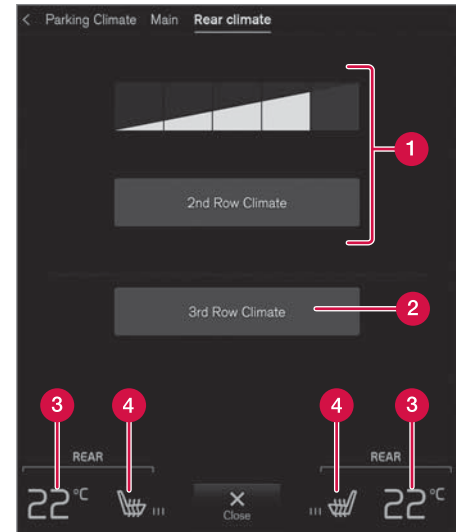


- 1 **Max、電気、リア** - ウインドおよびドアマミラーデフロスター用コントロール
- 2 **エアコン** - エアコンディショナー用コントロール
- 3 **車内循環** - エアリサーキュレーション用コントロール

- 4 エアディストリビューション用コントロール
- 5 フロントシート用ファンコントロール
- 6 **AUTO** - クライメートの自動調節

リアエアコンディショナー

リアシートのすべてのエアコンディショナー機能は、**リア・エアコン** タブで操作することができます。



- 1 リアシート(2列目)用ファンコントロール
- 2 リアシート(3列目)用ファンおよびエアコンディショナーコントロール
- 3 リアシート用温度コントロール
- 4 リアシートヒーター用コントロール*

パーキングエアコンディショナー

車両のパーキングエアコンディショナーは、**駐車温度調整** タブで操作することができます。

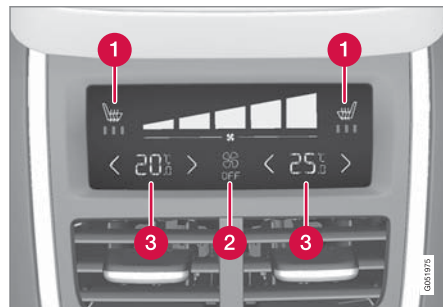


◀ 関連情報

- エアコンディショナー (p. 221)
- ウインドおよびドアミラーのデフロスターのオン/オフ (p. 230)
- エアコンディショナーのオン/オフ (p. 225)
- エアリサーキュレーションのオン/オフ (p. 232)
- エアディストリビューションの変更 (p. 234)
- ファンレベルの調節 (p. 228)
- エアコンディショナーの自動調節 (p. 224)
- 温度の調節 (p. 226)
- シートヒーター*のオン/オフ (p. 239)
- シートベンチレーション*のオン/オフ (p. 240)
- ステアリングホイールヒーター*のオン/オフ (p. 241)
- パーキングエアコンディショナー (p. 242)

トンネルコンソール後部のエアコンディショナー

リアシートのエアコンディショナー機能は、トンネルコンソール後部のクライメートパネルで操作します。



- ① リアシートヒーター用コントロール*
- ② リアシート用ファンコントロール
- ③ リアシート用温度コントロール

関連情報

- エアコンディショナー (p. 221)
- シートヒーター*のオン/オフ (p. 239)
- ファンレベルの調節 (p. 228)
- 温度の調節 (p. 226)

エアコンディショナーの自動調節

エアコンディショナーの自動調節では、エアコンディショナーシステムによりいくつかのエアコンディショナー機能が自動的に制御されます。



クライメートビューの自動調節ボタン

1. センターディスプレイのクライメートビューを開きます。

2. **AUTO** 短くまたは長く押しします。

- ＞ エアコンディショナーの自動調節がオン/オフになり、ボタンが点灯/消灯します。

自動調節では、エアリサーキュレーション、エアコンディショナーおよびエアディストリビューションが自動的に制御されます。

ファンレベルおよび温度は、押す長さに応じて以下のように変更されます。

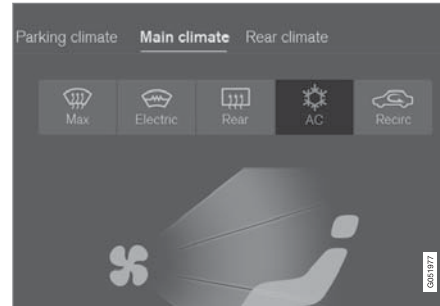
- 短く押す - 前の設定にリセットされます。
- 長く押す - 初期設定(レベル **3** および 22 °C/72 °F)に変更されます。

関連情報

- センターディスプレイのエアコンディショナー (p. 222)

エアコンディショナーのオン/オフ
 エアコンディショナーは、必要に応じて冷房や除湿を行います。

メインエアコンディショナーのオン/オフ



クライメートビューのエアコンディショナーボタン

1. センターディスプレイのクライメートビューを開きます。
2. **エアコン**を押します。
 - ＞ エアコンディショナーがオン/オフになり、ボタンが点灯/消灯します。

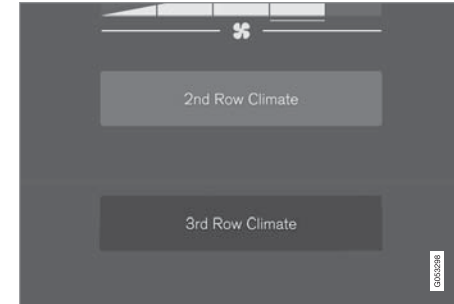
① 注意

エアコンディショナーが最適な状態で動作するように、パワーウインドとパノラマルーフ*を閉じます。

① 注意

ファンコントロールが **Off** 位置のときには、エアコンディショナーを起動させることはできません。

3 列目エアコンディショナーのオン/オフ



クライメートビューのリア・エアコンタブのエアコンディショナーボタン

1. センターディスプレイのクライメートビューを開きます。
2. **リア・エアコン** タブを選択します。
3. **3 列目の温度調整**を押します。
 - ＞ エアコンディショナーがオン/オフになり、ボタンが点灯/消灯します。



① 注意

メインエアコンディショナーがオフの場合、または2列目シートのエアコンディショナーがオフの場合、3列目シートのエアコンディショナーを作動させることはできません。

関連情報

- センターディスプレイのエアコンディショナー (p. 222)

温度の調節

温度は前後左右、個別に設定が可能です。

フロントシートの温度調節



クライメート列の温度ボタン

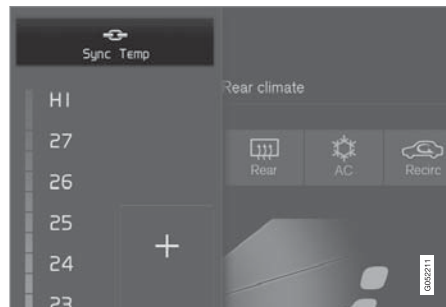
1. センターディスプレイのクライメート列で左または右側温度ボタンを押して、コントロールを開きます。



温度コントロール

2. 以下のいずれかの方法で温度を調節します。
 - コントロールを目標の温度までドラッグする。
 - +/- を押して、温度を徐々に上昇/低下させる。
- > 温度が変化して、ボタンに設定温度が表示されます。

温度の同調



運転席側温度コントロールの同調ボタン

1. センターディスプレイのクライメート列で運転席側温度ボタンを押して、コントロールを開きます。
2. **温度同期**を押します。
 - ＞ 車内のすべてのゾーンの温度が、運転席側の設定温度と同調し、温度ボタンの横に同調シンボルが表示されます。

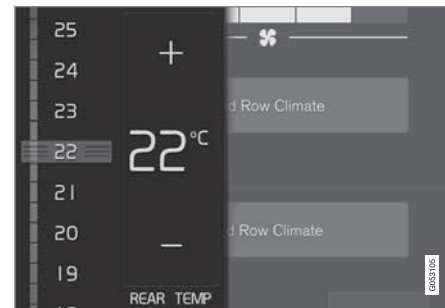
温度同期 をもう一度押すか、助手席側またはリアシート温度設定を変更すると、同期は解除されます。

リアシートの温度調節 フロントシートからの操作



クライメートビューの**リア・エアコン**タブの温度ボタン

1. センターディスプレイのクライメートビューを開きます。
2. **リア・エアコン** タブを選択します。
3. 左または右側温度ボタンを押して、コントロールを開きます。



温度コントロール

4. 以下の方法で温度を調節します。

- コントロールを目標の温度までドラッグする
- +/- を押して、温度を徐々に上昇/低下させる。
- ＞ 温度が変化して、ボタンに設定温度が表示されます。

4 リアシートからの操作



トンネルコンソール後部にあるクライメートパネルの温度コントロール

- トンネルコンソールのクライメートパネルの左または右側</> ボタンを押して、温度を徐々に低下/上昇させます。
 - > 温度が変化し、クライメートパネルの画面に設定温度が示されます。

① 注意

希望する温度より高い温度または低い温度にセットしても、希望した温度に達するまでの時間が早まることはありません。

関連情報

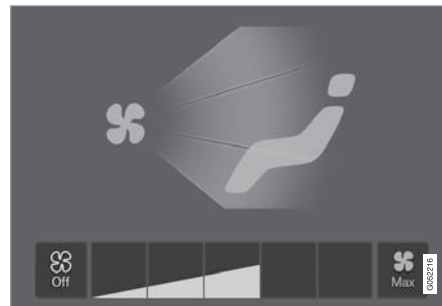
- エアコンディショナー (p. 221)
- センターディスプレイのエアコンディショナー (p. 222)

- トンネルコンソール後部のエアコンディショナー (p. 224)
- 体感温度 (p. 219)

ファンレベルの調節

ファンは5段階の自動ファンレベルと Off および Max に設定することができます。ファンレベルは、前後個別に設定が可能です。

フロントシートのファンレベルの調節



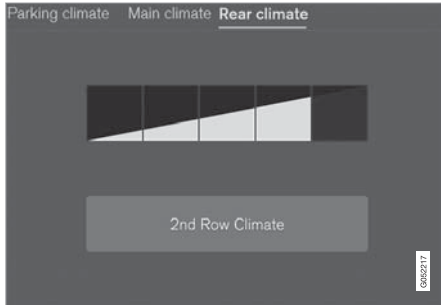
クライメートビューのファンコントロールボタン

1. センターディスプレイのクライメートビューを開きます。
2. **Off**、**1-5**、**Max** の中から目的のファンレベルをタップします。
 - > ファンレベルが変更され、選択したレベルのボタンが点灯します。

① 重要

ファンを完全に停止させると、エアコンディショナーが作動せず、ウインドの内側が曇るおそれがあります。

リアシートのファンレベルの調節 フロントシートからの操作



クライメートビューの**リア・エアコン**タブのファンコントロールボタン

1. センターディスプレイのクライメートビューを開きます。
2. **リア・エアコン** タブを選択します。
3. **1-5** から設定したいファンレベルをタップします。

2列目シートおよび3列目シートのファンレベルは、**2列目の温度調整** をタップしてオフにすることができます。

3列目シートのファンレベルは2列目シートのレベルに従いますが、**3列目の温度調整** をタップすると、単独でオフにすることができます。

＞ ファンレベルが変更され、選択したレベルのボタンが点灯します。

リアシートからの操作



トンネルコンソール後部にあるクライメートパネルのファンコントロール

- トンネルコンソールのクライメートパネルで設定したいファンレベル(**Off** または **1-5**)を押します。
 - ＞ ファンレベルが変更され、選択したレベルのボタンが点灯します。

① 注意

フロントシートのファンレベルが **Off** 位置の場合、リアシートのファンレベルは設定することができません。

① 注意

エアコンディショナーシステムは、要求に応じて、選択されたファンレベルの範囲内で空気の流れを自動的に調整します。したがって、ファンレベルが同じでも、ファン速度が変化することがあります。

関連情報

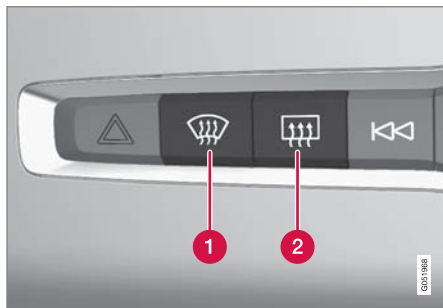
- センターディスプレイのエアコンディショナー (p. 222)
- トンネルコンソール後部のエアコンディショナー (p. 224)

ウインドおよびドアミラーのデフロスターのオン/オフ

ウインドおよびドアミラーの霜や曇りを素早く取り除くときには、最大デフロスター、ヒートッドウインドスクリーン*、リアウインドおよびドアミラーデフロスターの3つの機能を使用します。

センターコンソールのボタンによる操作
センターコンソールには、デフロスト機能に素早くアクセスするためのボタンがあります。

ヒートッドウインドスクリーン*装備車の場合、最大デフロスターは、センターディスプレイのクライメートビューから単独のみ作動させることができます。



センターコンソールのボタン

- 1 ヒートッドウインドスクリーン*および最大デフロスターボタン
- 2 リアウインドおよびドアミラーデフロスターボタン

ヒートッドウインドスクリーン非装備車：

- ボタン(1)を押します。
 - > 最大デフロスターがオン/オフになり、ボタンが点灯/消灯します。

ヒートッドウインドスクリーン装備車：

- ボタン(1)を繰り返し押して、3段階のレベルを切り替えます。
 - ヒートッドウインドスクリーンオン
 - ヒートッドウインドスクリーンおよび最大デフロスターオン
 - オフ
- > ヒートッドウインドスクリーンおよび最大デフロスターがオン/オフになり、ボタンが点灯/消灯します。

i 注意

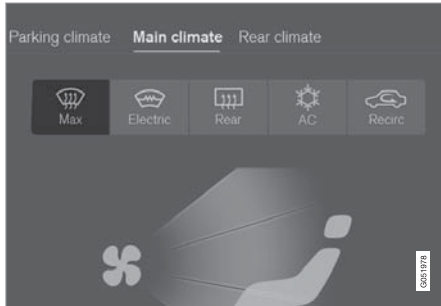
ボタンを素早く2回押してヒートッドウインドスクリーンをオフにすると、短時間でのファンレベルの上昇を抑制するために、最大デフロスターの起動までに若干の時間差が生じることがあります。

リアウインド/ドアミラーデフロスター：

- ボタン(2)を押します。
 - > リアウインドおよびドアミラーデフロスターがオン/オフになり、ボタンが点灯/消灯します。

センターディスプレイのクライメートビューからの操作

最大デフロスターのオン/オフ



クライメートビューの最大デフロスターボタン

1. センターディスプレイのクライメートビューを開きます。
2. **Max**を押します。
 - › 最大デフロスターがオン/オフになり、ボタンが点灯/消灯します。

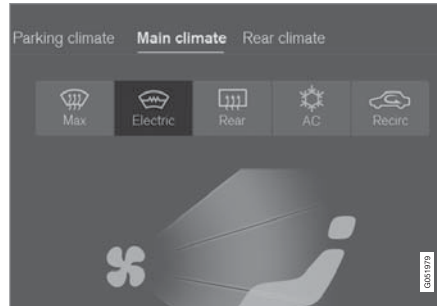
最大デフロスターはクライメートおよびエアリサーキュレーションの自動制御をオフにし、エアコンディショナーをオンにして、ファンレベルを **5** に、温度を **HI** にします。

最大デフロスターをオフにすると、エアコンディショナーシステムは前の設定に戻ります。

① 注意

ファンレベルを **5** に変更すると、騒音レベルが上昇します。

ヒートッドウインドスクリーン*のオン/オフ



クライメートビューのヒートッドウインドスクリーンボタン

1. センターディスプレイのクライメートビューを開きます。
2. **電気**を押します。
 - › ヒートッドウインドスクリーンがオン/オフになり、ボタンが点灯/消灯します。

① 注意

ウインドスクリーンの各側の端にある三角部分には電熱機能がないため、他の部分よりも除氷に時間がかかることがあります。

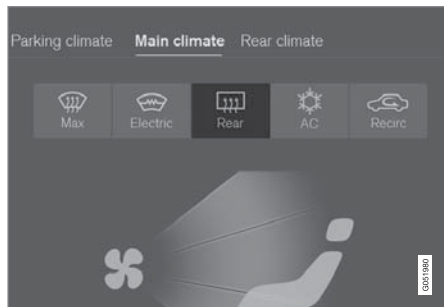
① 注意

ヒートッドウインドスクリーンは、トランスポンダーやその他の通信機器の性能に影響を及ぼすことがあります。

① 注意

Start/Stop 機能でエンジンが自動停止しているときにヒートッドウインドスクリーンを作動させると、エンジンは再始動します。

44 リアウインドおよびドアミラーデフロスターのオン/オフ



クライメートビューのリアウインドおよびドアミラーデフロスターボタン

1. センターディスプレイのクライメートビューを開きます。
2. **リア**を押します。
 - ＞ リアウインドおよびドアミラーデフロスターがオン/オフになり、ボタンが点灯/消灯します。

ウインドデフロスターの自動起動のオン/オフ

エンジン始動時のヒートドウインドスクリーン*とリアウインドおよびドアミラーデフロスターの自動起動をオンまたはオフに設定することができます。自動起動をオンにすると、ウインドスクリーン/ウインドが凍結しているおそれがあるときにヒーターが起動します。ウイン

ドスクリーン/ウインドが十分に温かくなり、氷がとけると、ヒーターは自動的にオフになります。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** を押します。
2. **温度調整** を押します。
3. **オート電熱フロントデフロスター** を選択して、ヒートドウインドスクリーンの自動起動をオン/オフにします。

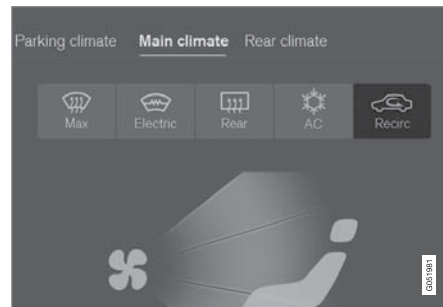
オート電熱リアデフロスター を選択して、ウインドおよびドアミラーデフロスターの自動起動をオン/オフにします。

関連情報

- エアコンディショナー (p. 221)
- センターディスプレイのエアコンディショナー (p. 222)

エアリサーキュレーションのオン/オフ

エアリサーキュレーションは、車内に外気を取り入れないようにして、汚れた空気や排気ガスなどの車内への進入を防止します。



クライメートビューのエアリサーキュレーションボタン

1. センターディスプレイのクライメートビューを開きます。
2. **車内循環**を押します。
 - ＞ エアリサーキュレーションがオン/オフになり、ボタンが点灯/消灯します。

❗ 重要

リサーキュレーションを長時間続けると、特に冷寒時は霜や水滴が付着してウインドの内側が曇るおそれがあります。

① 注意

デフロスターの作動を最大にしているときには、エアリサーキュレーションをオンにすることができません。

エアリサーキュレーションタイマーのオン/オフ

エアリサーキュレーションタイマーをオンまたはオフに設定することができます。タイマーをオンにすると、エアリサーキュレーションは20分後に自動的にオフになります。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** を押します。
2. **温度調整** を押します。
3. **リサーキュレーションタイマー** を選択して、エアリサーキュレーションタイマーをオン/オフにします。

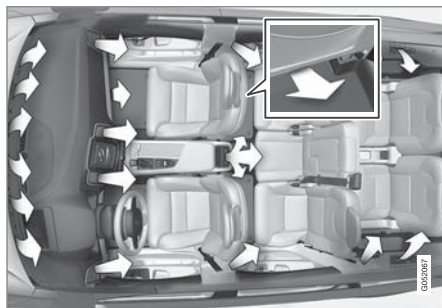
関連情報

- センターディスプレイのエアコンディショナー (p. 222)

エアディストリビューション

エアコンディショナーシステムは取り入れた空気を車内数箇所の空気吹出口に分配します。

エアディストリビューションの概要



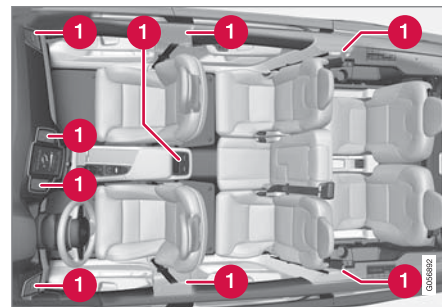
車内のエアディストリビューション(4ゾーンエアコンディショナー)

オートおよびマニュアルエアディストリビューション

オートエアコンディショナーを使用しているとき、エアディストリビューションが自動的に行われます。必要に応じて、エアディストリビューションを手動で操作することもできます。

調節式空気吹出口

車内には10ヶ所の空気吹出口があります。



車内での調節式空気吹出口の位置

- ①** ダッシュボードに4つ、トンネルコンソールのリアに2つ、フロントドアとリアドアの間にある左右のドアピラーに1つずつ、リアドア後方にある左右のドアピラーに1つずつ。

① 注意

小さなお子様は、風に敏感ですご注意ください。体調を崩すおそれがあります。

関連情報

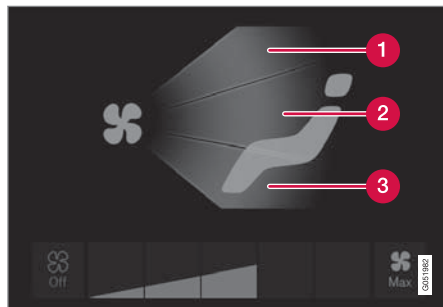
- エアコンディショナー (p. 218)
- エアディストリビューションの変更 (p. 234)
- 空気吹出口の開閉および向き変更 (p. 235)

エアコンディショナー

- エアディストリビューションオプション一覧表 (p. 236)
- エアコンディショナーの自動調節 (p. 224)

エアディストリビューションの変更

エアディストリビューションは必要に応じて手動で変更することができます。



クライメートビューのエアディストリビューションボタン

- 1 エアディストリビューション - ウインドスクリーンデフロスターベント
 - 2 エアディストリビューション - ダッシュボードおよびセンターコンソールの空気吹出口
 - 3 エアディストリビューション - フロアの空気吹出口
1. センターディスプレイのクライメートビューを開きます。

2. エアディストリビューションボタンを1つまたは複数押し、対応する空気吹出口を開閉します。
> エアディストリビューションが変更され、ボタンが点灯/消灯します。

関連情報

- エアディストリビューション (p. 233)
- 空気吹出口の開閉および向き変更 (p. 235)
- エアディストリビューションオプション一覧表 (p. 236)
- センターディスプレイのエアコンディショナー (p. 222)

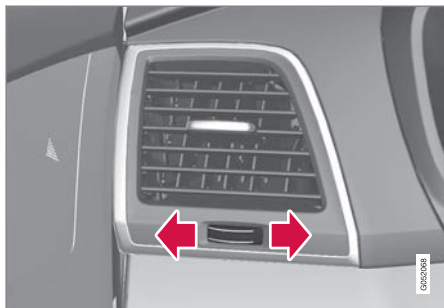
空気吹出口の開閉および向き変更

車内の空気吹出口の一部は、個別に開閉および向き変更を行うことができます。

ドアピラー空気吹出口およびダッシュボードアウター空気吹出口をパワーウィンドに向けると、曇りを取り除くことができます。

気温の高いときにドアピラー空気吹出口を内側に向けると、車内環境を快適にすることができます。

空気吹出口の開閉

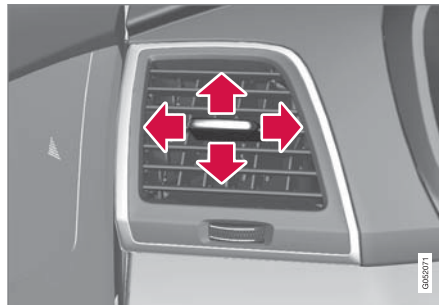


空気吹出口のコントロールダイヤル¹

- コントロールダイヤルを回して、空気吹出口からの送風を導入/遮断します。

目に見えるコントロールダイヤルの白線の数が増えるほど、送風が強くなります。

空気吹出口の向き変更



空気吹出口のレバー¹

- レバーを横方向/縦方向に動かして、空気吹出口からの送風の向きを変更します。




関連情報




- エアディストリビューション (p. 233)
- エアディストリビューションの変更 (p. 234)
- エアディストリビューションオプション一覧表 (p. 236)

¹ 図は概略図です。空気吹出口のデザインは場所により異なる場合があります。



エアディストリビューションオプション一覧表

エアディストリビューションは必要に応じて手動で変更することができます。設定では以下のオプションを使用できます。

	エアディストリビューション	目的
	<p>マニュアルモードですべてのエアディストリビューションボタンの選択を解除すると、エアコンディショナーシステムは自動調節に戻ります。</p>	
	<p>デフロスターベントから主な送風。その他の空気吹出口から一部送風。</p>	<p>気温が低く湿度が高いときに霜や曇りを防止します(この場合、ファンレベルは低よりも上にする必要があります)。</p>
	<p>ダッシュボードの空気吹出口から主な送風。その他の空気吹出口から一部送風。</p>	<p>気温の高い状況で効率的に冷房します。</p>

	エアディストリビューション	目的
	<p>フロアの空気吹出口から主な送風。その他の空気吹出口から一部送風。</p>	<p>フロアに温風または冷風を送り出します。</p>
	<p>ダッシュボードのデフロスターベントおよび空気吹出口からの主な送風。その他の空気吹出口から一部送風。</p>	<p>気温が高く乾燥した状況で、快適な環境を提供します。</p>
	<p>デフロスターベントおよびフロアの空気吹出口から主な送風。その他の空気吹出口から一部送風。</p>	<p>気温が低い状況または湿度の高い状況で、快適な環境を提供し、曇りを除去します。</p>



	エアディストリビューション	目的
	<p>ダッシュボードの空気吹出口とフロアの空気吹出口から主な送風。その他の空気吹出口から一部送風。</p>	<p>晴天で涼しい気温のときに、快適な環境を提供します。</p>
	<p>デフロスターベント、ダッシュボードの空気吹出口、およびフロアの空気吹出口から主な送風。</p>	<p>高温の乾燥した状況ではフロア付近を冷房し、気温の低いときには車内の上部を暖房します。</p>

関連情報

- エアディストリビューション (p. 233)
- エアディストリビューションの変更 (p. 234)
- 空気吹出口の開閉および向き変更 (p. 235)
- センターディスプレイのエアコンディショナー (p. 222)

シートヒーター*のオン/オフ

寒いとき、快適性を向上させるために、運転席および他の座席のシートを温めることができます。

フロントシートヒーター*のオン/オフ



クライメート列のステアリングホイールおよびシートボタン

1. センターディスプレイのクライメート列で左または右側のステアリングホイールおよびシートボタンを押して、シートおよびステアリングホイールのコントロールを開きます。

ベンチレーテッドシートまたはステアリングホイールヒーターが装備されていない場合、シートヒーターボタンはクライメート列で直接使用することができます。

2. シートヒーターボタンを繰り返し押して、4段階のレベル(オフ、高、中、低)を切り替えます。
 - › レベルが変更され、ボタンにレベルが表示されます。

リアシートヒーター*のオン/オフ

フロントシートからの操作



クライメートビューのリア・エアコングループのシートヒーターボタン

1. センターディスプレイのクライメートビューを開きます。
2. **リア・エアコン** タブを選択します。
3. シートヒーターボタンを繰り返し押して、4段階のレベル(オフ、高、中、低)を切り替えます。
 - › レベルが変更され、ボタンにレベルが表示されます。

リアシートからの操作



トンネルコンソール後部にあるクライメートパネルのシートヒーター表示およびコントロール

- トンネルコンソールのクライメートパネルにあるシートヒーターの左または右側ボタンを繰り返し押して、4段階のレベル(オフ、高、中、低)を切り替えます。
 - › レベルが変化し、クライメートパネルの画面に設定レベルが表示されます。

❗ 注意

リアシートヒーターの作動は 15 分後に自動的に解除されます。



警告

ヒートドシート機能の温度変化や温度上昇の感知が困難な方や、ヒートドシートの操作ができない方は、ヒートドシートに着座しないでください。火傷を負うおそれがあります。

シートヒーターの自動起動のオン/オフ
エンジン始動時のシートヒーターの自動起動をオンまたはオフに設定することができます。自動起動をオンにすると、外気温が低いときにヒーターが起動します。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** を押します。
2. **温度調整** を押します。
3. **オート運転席シートヒーター** および **オート助手席シートヒーター** で、**オフ**、**低**、**中**、または **高** を選択して、運転席シートおよび助手席シートヒーターの自動動作をオン/オフにし、レベルを選択します。

関連情報

- エアコンディショナー (p. 221)
- センターディスプレイのエアコンディショナー (p. 222)
- トンネルコンソール後部のエアコンディショナー (p. 224)

シートベンチレーション*のオン/オフ

布地の湿り気を取り除く場合など、シートに通風することができます。

ベンチレーションシステムは、シートカバーを通して空気を吸い出すシートファンおよびバックレストファンで構成されています。車内の温度が下がるほど、冷房効果が高くなります。このシステムはエンジン作動中にオンにすることができ、シート温度、日射量および外気温が考慮されます。

フロントシートベンチレーションオン/オフ



クライメート列のステアリングホイールおよびシートボタン

1. センターディスプレイのクライメート列で左または右側のステアリングホイールおよびシートボタンを押して、シートおよびステアリングホイールのコントロールを開きます。

シートヒーターまたはステアリングホイールヒーターが装備されていない場合、ベンチレーションシートボタンはクライメート列で直接使用することができます。
2. ベンチレーションシートボタンを繰り返し押し、4段階のレベル(**オフ**、**高**、**中**、**低**)を切り替えます。
 - ＞ レベルが変更され、ボタンにレベルが表示されます。

① 注意

乾燥に敏感な方は、シートベンチレーション使用時、十分注意をはらってください。長期使用にはレベル **低** をお勧めします。

① 重要

車内温度が低すぎる場合、シートベンチレーションを起動させることはできません。シートに座っている乗員が冷えないようにするためです。

関連情報

- エアコンディショナー (p. 221)
- センターディスプレイのエアコンディショナー (p. 222)

ステアリングホイールヒーター*のオン/オフ

寒いとき、運転者が快適に運転できるように、ステアリングホイールを温めることができます。

ステアリングホイールヒーターのオン/オフ



クライメート列のステアリングホイールおよびシートボタン

1. センターディスプレイのクライメート列で運転席側のステアリングホイールおよびシートボタンを押して、シートおよびステアリングホイールのコントロールを開きます。

シートヒーターまたはベンチレーテッドシートが装備されていない場合、ステアリングホイールヒーターボタンはクライメート列で直接使用することができます。

2. ステアリングホイールヒーターのボタンを繰り返し押して、4段階のレベル(**オフ**、**高**、**中**、**低**)を切り替えます。
 - ＞ レベルが変更され、ボタンにレベルが表示されます。

ステアリングホイールヒーターの自動起動のオン/オフ

エンジン始動時のステアリングホイールヒーターの自動起動をオンまたはオフに設定することができます。自動起動をオンにすると、外気温が低いときにヒーターが起動します。

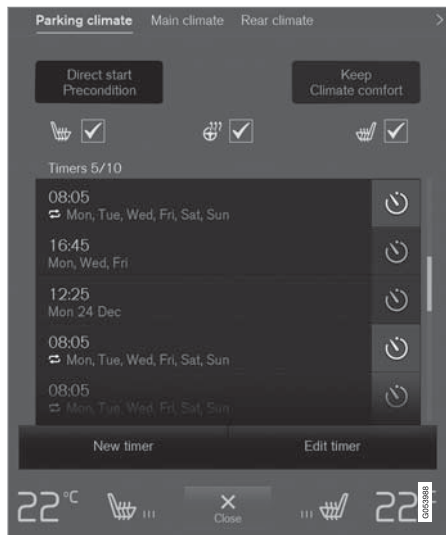
1. センターディスプレイのトップビューで **設定** を押します。
2. **温度調整** を押します。
3. **オートステアリングホイールヒーター** で、**オフ**、**低**、**中** または **高** を選択して、ステアリングホイールヒーターの自動起動をオン/オフにし、レベルを選択します。

関連情報

- エアコンディショナー (p. 221)
- センターディスプレイのエアコンディショナー (p. 222)
- ステアリングホイール (p. 176)

パーキングエアコンディショナー

駐車中に、車内の空調環境をプリコンディショニングまたは維持することができます。



プリコンディショニングおよび快適環境維持機能は、センターディスプレイのクライメートビューの**駐車温度調整**タブから制御されます。

プリコンディショニング

走行前の車両のプリコンディショニングにより、走行中に必要なエネルギーと摩擦が低減します。

プリコンディショニングはダイレクトスタートを使用する方法とタイマー設定で作動させる方法があります。

この機能は状況に応じていくつかのシステムを使用します。

- 寒冷時には、パーキングヒーターが車内を快適な温度に暖めます。
- 気温が高いときには、ベンチレーションにより車内の温度が現在の外気温まで下がります。
- 気温が高いときには、エアコンディショナーにより車内の温度が快適な温度まで下がります。
- ステアリングホイールヒーターと運転席および助手席シートヒーターをオンにすることができます。
- ウィンドスクリーン、リアウインド、およびドアミラーのヒーターをオンにすることができます。

気温が高いときのプリコンディショニングでは、空気中の水分がエアコンディショナーの内部で凝結して、凝結水が車両の下へ流れ出る場合があります。これは異常ではありません。

① 注意

プリコンディショニングは、車両が電源ソケット²に接続されている場合にのみ使用可能です。つねにオンになっていない充電スタンド(例: タイマー設定)は、プリコンディショニングに不具合を引き起こす可能性があります。

車両が電源ソケットに接続されていない場合でも、プリコンディショニングを直接作動させることにより、暖かい気候条件下で短時間の車内の冷房ができます。

① 注意

車内のプリコンディショニング時には、エアコンディショナーの設定温度ではなく、快適温度になるように車内温度が調節されます。

快適環境維持機能

駐車中に車内の空調環境を維持することができます。駐車中にエンジンを停止する必要があるものの、運転者または乗員が車内にとどまるため、車内を快適な状態に維持したい場合などに有効です。

快適環境維持機能はダイレクトスタートでのみ作動させることができます。

² 電気ヒーターに適用。

この機能は状況に応じていくつかのシステムを使用します。

- 気温が低いときには、エンジンの余熱により車内が快適な温度まで暖められます。
- 気温が高いときには、ベンチレーションにより車内の温度が現在の外気温まで下がります。

i 注意

車両を外側からロックすると、余熱の不必要な使用を避けるため、快適環境維持機能はオフになります。この機能は、運転者または乗員が車内に残っているときに、車内の環境を快適な状態に維持するために使用されます。

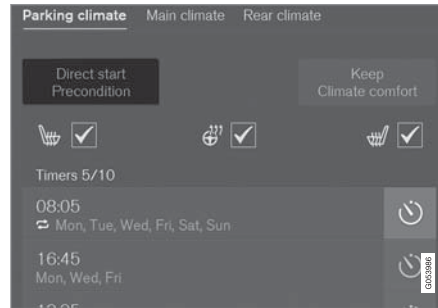
関連情報

- エアコンディショナー (p. 218)
- プリコンディショニングの開始/停止 (p. 243)
- プリコンディショニングタイマー (p. 245)
- 快適環境維持機能のオン/オフ (p. 248)
- パーキングエアコンディショナーのシンボルおよびメッセージ (p. 249)
- ヒーター (p. 250)
- パーキングヒーター (p. 251)

プリコンディショニングの開始/停止

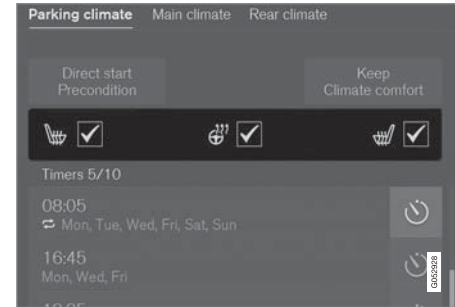
プリコンディショニングを行うと、走行前に車内の暖房/冷房ができます。この機能は携帯電話またはセンターディスプレイからダイレクトスタートを使用することができます。

センターディスプレイからの開始/停止



クライメートビューの**駐車温度調整**タブのプリコンディショニングボタン

1. センターディスプレイのクライメートビューを開きます。
2. **駐車温度調整** タブを選択します。



クライメートビューの**駐車温度調整**タブのシートヒーターおよびステアリングホイールヒーターのボックス

3. ボックスのチェックを付けて/外して、プリコンディショニング中にシートヒーターおよびステアリングホイールヒーターを動作させるかどうかを選択します。
4. **プリセット**を押します。
 - × プリコンディショニングがオン/オフになり、ボタンが点灯/消灯します。



注意

プリコンディショニングは、車両が電源ソケット³に接続されている場合のみ使用可能です。つねにオンになっていない充電スタンド(例: タイマー設定)は、プリコンディショニングに不具合を引き起こす可能性があります。

車両が電源ソケットに接続されていない場合でも、プリコンディショニングを直接作動させることにより、暖かい気候条件下で短時間の車内の冷房ができます。

注意

車内のプリコンディショニング中はドアや窓を閉めてください。

警告

プリコンディショニングを使用してはいけない場所⁴:

- 通気性のよくない屋内の空間。ヒーターを作動させると、排気ガスが排出されます。
- 可燃性または引火性の物が近くにある場所。燃料、ガス、長草、おがくずなどは発火するおそれがあります。
- ヒーターの排気管が遮られるおそれのある場所。右フロントホイールハウジングの内側に大量の雪が入ると、ヒーターの換気が妨げられる可能性があります。

プリコンディショニングは、かなり前に設定したタイマーで開始される可能性があるため注意が必要です。

携帯電話からの作動*

プリコンディショニングの作動開始と選択した設定に関する情報は、携帯電話(Volvo On Call* モバイルアプリがインストールされているもの)から管理することができます。プリコンディショニングを行うと、(車両のエアコンディショナーを使用して)車内を快適な温度に調節できます。

Volvo On Call*モバイルアプリを使用して、エンジンリモートスタート機能(Engine Remote Start - ERS)⁵で車内のプリコンディショニングを行うこともできます。

関連情報

- パーキングエアコンディショナー (p. 242)
- プリコンディショニングタイマー (p. 245)
- 快適環境維持機能のオン/オフ (p. 248)
- パーキングエアコンディショナーのシンボルおよびメッセージ (p. 249)
- ヒーター (p. 250)

³ 電気ヒーターに適用。

⁴ フェアエルドリップヒーターに適用。

⁵ 一部の車両モデルおよび市場。

プリコンディショニングタイマー

プリコンディショニングが指定時刻に終了するように、タイマーを設定することができます。

タイマーは以下を対象に最大 8 通りの設定に対応することができます。

- 特定の日付の時刻
- 特定の曜日 (1 日または複数)、繰り返し起動あり/なし

① 注意

プリコンディショニングは、車両が電源ソケット⁶に接続されている場合のみ使用可能です。つねにオンになっていない充電スタンド(例: タイマー設定)は、プリコンディショニングに不具合を引き起こす可能性があります。

車両が電源ソケットに接続されていない場合でも、プリコンディショニングを直接作動させることにより、暖かい気候条件下で短時間の車内の冷房ができます。

関連情報

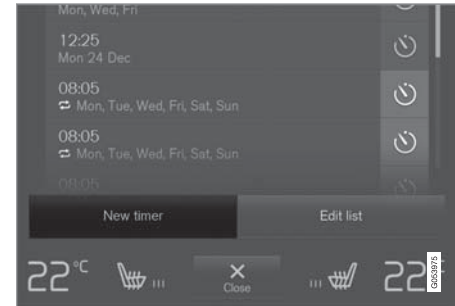
- パーキングエアコンディショナー (p. 242)
- プリコンディショニングタイマーの設定 (p. 245)

- プリコンディショニングタイマーのオン/オフ (p. 247)
- プリコンディショニングの開始/停止 (p. 243)
- パーキングエアコンディショナーのシンボルおよびメッセージ (p. 249)

プリコンディショニングタイマーの設定

プリコンディショニングタイマーは最大で 8 通りの設定時刻に対応することができます。

タイマー設定の追加



クライメートビューの**駐車温度調整**の設定時刻追加ボタン

1. センターディスプレイのクライメートビューを開きます。
2. **駐車温度調整** タブを選択します。

⁶ 電気ヒーターに適用。

3. **タイマーを追加**を押します。
 > ポップアップウィンドウが表示されます。

注意

すでにタイマーに8個の設定が入力されている場合、タイマー設定時刻を追加することはできません。タイマー設定時刻を新たに1つ追加するには、既存の設定時刻を1つ削除してください。

4. 特定日の時刻を設定するには、**日付** をタップします。

特定曜日(1日または複数)の時刻を設定するには、**曜日** をタップします。

曜日 を使用する場合：**毎週 繰り返し** ボックスのチェックを付けて/外して、毎週をオン/オフにします。

5. **日付** を使用する場合：矢印で日付リストをスクロールして、プリコンディショニングの日付を選択します。

曜日 を使用する場合：曜日のボタンをタップして、プリコンディショニングの曜日を選択します。

6. 矢印でスクロールして、プリコンディショニングを終了する時刻を設定します。

7. **確認** をタップして、設定時刻を追加します。
 > 設定時刻がリストに追加され、有効になります。

警告

プリコンディショニングを使用してはいけない場所⁷：

- 通気性のよくない屋内の空間。ヒーターを作動させると、排気ガスが排出されます。
- 可燃性または引火性の物が近くにある場所。燃料、ガス、長草、おがくずなどは発火するおそれがあります。
- ヒーターの排気管が遮られるおそれのある場所。右フロントホイールハウジングの内側に大量の雪が入ると、ヒーターの換気が妨げられる可能性があります。

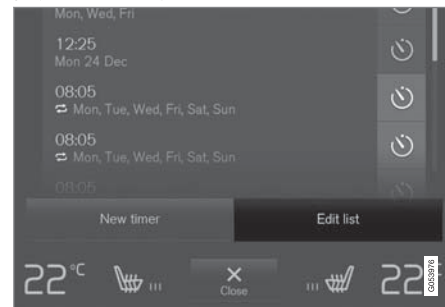
プリコンディショニングは、かなり前に設定したタイマーで開始される可能性があるため注意が必要です。

設定時刻の編集

1. センターディスプレイのクライメートビューを開きます。
2. **駐車温度調整** タブを選択します。

3. 変更する設定時刻を押します。
 > ポップアップウィンドウが表示されます。
4. 「タイマー設定の追加」と同じ方法で設定時刻を変更します。

設定時刻の削除



クライメートビューの**駐車温度調整**タブのリスト編集/設定時刻削除用ボタン

1. センターディスプレイのクライメートビューを開きます。
2. **駐車温度調整** タブを選択します。
3. **リストを編集**を押します。
4. リストの右にある削除アイコンを押します。
 > アイコンが **削除** に変わります。

⁷ フューエルドリブンヒーターに適用。

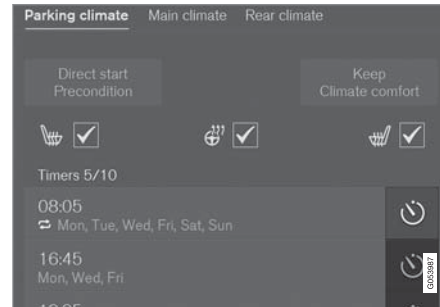
5. **削除** を押して確定します。
 > 設定時刻がリストから削除されます。

関連情報

- プリコンディショニングタイマー (p. 245)
- プリコンディショニングタイマーのオン/オフ (p. 247)
- ヒーター (p. 250)

プリコンディショニングタイマーのオン/オフ

プリコンディショニングタイマーの設定時刻は、必要に応じてオンまたはオフにすることができます。



クライメートビューの**駐車温度調整**タブのタイマーボタン

1. センターディスプレイのクライメートビューを開きます。
2. **駐車温度調整** タブを選択します。
3. 設定の右にあるタイマーボタンをタップして、設定時刻をオン/オフにします。
 > 設定時刻がオン/オフになり、ボタンが点灯/消灯します。

⚠ 警告

プリコンディショニングを使用してはいけない場所⁸：

- 通気性のよくない屋内の空間。ヒーターを作動させると、排気ガスが排出されます。
- 可燃性または引火性の物が近くにある場所。燃料、ガス、長草、おがくずなどは発火するおそれがあります。
- ヒーターの排気管が遮られるおそれのある場所。右フロントホイールハウジングの内側に大量の雪が入ると、ヒーターの換気が妨げられる可能性があります。

プリコンディショニングは、かなり前に設定したタイマーで開始される可能性があるため注意が必要です。

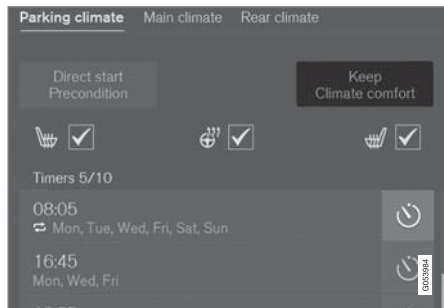
関連情報

- プリコンディショニングタイマー (p. 245)
- プリコンディショニングタイマーの設定 (p. 245)
- ヒーター (p. 250)

⁸ フューエルドリブンヒーターに適用。

快適環境維持機能のオン/オフ

快適環境維持機能は、走行後に車内の空調環境を維持します。この機能はセンターディスプレイからダイレクトスタートを使用することができます。



クライメートビューの**駐車温度調整**タブの快適環境維持機能ボタン

1. センターディスプレイのクライメートビューを開きます。
2. **駐車温度調整** タブを選択します。
3. **車内温度を 快適に保つ**を押します。
 - ＞ 快適環境維持機能がオン/オフになり、ボタンが点灯/消灯します。

① 注意

車内の環境を維持するために必要な余熱がエンジンに残っていない場合、快適環境維持機能を起動することはできません。

① 注意

車両を外側からロックすると、余熱の不必要な使用を避けるため、快適環境維持機能はオフになります。この機能は、運転者または乗員が車内に残っているときに、車内の環境を快適な状態に維持するために使用されます。





関連情報

- パーキングエアコンディショナー (p. 242)
- プリコンディショニングの開始/停止 (p. 243)

パーキングエアコンディショナーの シンボルおよびメッセージ

ドライバーディスプレイには、パーキングエア
コンディショナーに関する多くのシンボルお

よびメッセージが表示される可能性があります。

シンボル	メッセージ	意味
	駐車温度調整 利用不可。燃料レベルが低 ぎます^A	燃料残量が少なすぎてパーキングヒーターを作動させることができない場合、パーキングエアコンディショナーを作動させることはできません。パーキングエアコンディショナーを作動できる場合もありますが、機能は限られています。車両の通常の燃料タンクに給油してください。
	駐車温度調整 利用不可、バッテリー レベル が低すぎます	パーキングヒーターを作動するにはハイブリッドバッテリーの充電レベルが低すぎる場合、パーキングエアコンディショナーを作動させることはできません。パーキングエアコンディショナーを作動できる場合もありますが、機能は限られています。バッテリーを充電してください。
	駐車温度調整 利用不可、燃料とバッテリー のレ ベルが低すぎます^B	パーキングヒーターを作動するには、ハイブリッドバッテリーの充電レベルおよび燃料残量が低すぎる場合、パーキングエアコンディショナーを作動させることはできません。パーキングエアコンディショナーを作動できる場合もありますが、機能は限られています。バッテリーを充電し、通常の燃料タンクに給油してください。
	駐車温度調整 販売店に お問い合わせくだ さい	パーキングエアコンディショナーの作動が解除されています。すみやかにサービス工場 ^C に連絡し、機能の点検を受けてください。

- A フューエルドリブヒーターに適用。
B フューエルドリブヒーターに適用。
C ボルボ指定のサービス工場にお任せください。

関連情報

- パーキングエアコンディショナー (p. 242)
- プリコンディショニングの開始/停止 (p. 243)
- 快適環境維持機能のオン/オフ (p. 248)
- プリコンディショニングタイマー (p. 245)
- ヒーター (p. 250)
- ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイのメッセージの管理 (p. 149)

ヒーター

ヒーターは、走行前および走行中にエンジンおよび車内を適切な温度にするために役立ちます。

ヒーターには補助機能が2つあります。

- パーキングヒーター - パーキングエアコンディショナーのプリコンディショニングが作動したときに、必要に応じて、車内を暖めます。
- エクストラヒーター - 走行中、必要に応じて車内およびエンジンを暖めます。

市場⁹に応じて、フューエルドリブンヒーターまたは電気ヒーターのいずれかを使用します。

ヒーターは右フロントホイールハウジングに取り付けられています。

① 注意

ヒーターが作動しているとき、右フロントホイールハウジングから煙りが発生し、低いブーンという音が聞こえることがあります。これは異常ではありません¹⁰。

バッテリーおよび充電

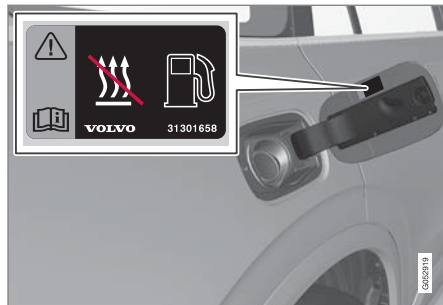
ヒーターは車両のハイブリッドバッテリーによって作動します。ハイブリッドバッテリーの

充電レベルが低すぎる場合、ヒーターのスイッチは自動でオフになり、ドライバーディスプレイにメッセージが表示されます。

① 注意

ヒーターを使用する必要がある場合、バッテリーが十分に充電されていることを確認してください。

燃料および給油¹¹



燃料給油口フラップの警告表示

ヒーターは通常の燃料タンクから送られる燃料を使用します。

急勾配の坂道に駐車するときは、ヒーターに燃料が供給されるように、車両前部が坂の下側を向くようにしてください。

燃料タンクの残量が低すぎる場合、ヒーターのスイッチは自動でオフになり、ドライバーディスプレイにメッセージが表示されます。

① 注意

ヒーターを使用する必要がある場合、車両の通常の燃料タンクに燃料が十分に入っていることを確認してください。

⚠ 警告

燃料がこぼれると、引火するおそれがあります。燃料を補給する前に、フューエルドリブンヒーターのスイッチを必ずオフにしてください。

ドライバーディスプレイでヒーターがオフになっていることを確認してください。ヒーターが作動している場合には、ヒーターのシンボルが表示されます。

関連情報

- パーキングヒーター (p. 251)
- エクストラヒーター (p. 252)
- パーキングエアコンディショナー (p. 242)

⁹ どの市場がどのタイプのヒーターを使用するかについては、正規ボルボディーラーにお問い合わせください。

¹⁰ フューエルドリブンヒーターに適用。

¹¹ フューエルドリブンヒーターに適用。

パーキングヒーター

パーキングヒーターは、走行前に車内を適正な温度にするために役立ちます。

パーキングヒーターは、ヒーターの2つの補助機能のうちの1つです。ヒーターは右フロントホイールハウジングに取り付けられています。

ⓘ 注意

ヒーターが作動しているとき、右フロントホイールハウジングから煙りが発生し、低いブーンという音が聞こえることがあります。これは異常ではありません¹²。

パーキングヒーターは、パーキングエアコンディショナーのプリコンディショニングが作動した場合に、追加の暖房が必要になると自動的に作動します。

その後適正な温度、タイマー設定時間、またはヒーターの最大作動時間に達すると、自動でオフになります。

ヒーターの最長作動時間は40分です。

ⓘ 注意

ヒーターを使用する必要がある場合、車両の通常の燃料タンクに燃料が十分に入っていることを確認してください¹³。

ヒーターを使用する必要がある場合、ハイブリッドバッテリーが十分に充電されていることを確認してください。

⚠ 警告

プリコンディショニングを使用してはいけない場所¹⁴：

- 通気性のよくない屋内の空間。ヒーターを作動させると、排気ガスが排出されます。
- 可燃性または引火性の物が近くにある場所。燃料、ガス、長草、おがくずなどは発火するおそれがあります。
- ヒーターの排気管が遮られるおそれのある場所。右フロントホイールハウジングの内側に大量の雪が入ると、ヒーターの換気が妨げられる可能性があります。

プリコンディショニングは、かなり前に設定したタイマーで開始される可能性があるため注意が必要です。

⚠ 警告

パーキングヒーター¹⁵から燃料の臭い、異常な量の煙、黒煙、異常な燃焼音が発生している場合、ヒーターをオフにし、可能な場合にはそのヒューズを引き抜いてください。修理について、ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。

¹² フェアエルドリブンヒーターに適用。

¹³ フェアエルドリブンヒーターに適用。

¹⁴ フェアエルドリブンヒーターに適用。

¹⁵ フェアエルドリブンヒーターに適用。

◀ 関連情報

- ヒーター (p. 250)
- エクストラヒーター (p. 252)
- パーキングエアコンディショナー (p. 242)
- エンジンルーム内のヒューズ (p. 575)

エクストラヒーター

エクストラヒーターは、走行中に車内およびエンジンを適切な温度にするために役立ちます。

エクストラヒーターは、ヒーターの2つの補助機能のうちの1つです。ヒーターは右フロントホイールハウジングに取り付けられています。

i 注意

ヒーターが作動しているとき、右フロントホイールハウジングから煙りが発生し、低いブーンという音が聞こえることがあります。これは異常ではありません¹⁶。

エクストラヒーターは、走行中にヒーターが必要になると自動で作動し、制御されます。

車両がオフになると自動でオフになります。

i 注意

ヒーターを使用する必要がある場合、車両の通常の燃料タンクに燃料が十分に入っていることを確認してください¹⁷。

ヒーターを使用する必要がある場合、ハイブリッドバッテリーが十分に充電されていることを確認してください。

エクストラヒーターの自動起動のオン/オフ

エクストラヒーターの自動起動はオンまたはオフに設定することができます。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** を押します。
2. **温度調整** を押します。
3. **追加ヒーター** を選択して、エクストラヒーターの自動起動をオン/オフにします。

i 注意

短距離の走行では、アディショナルヒーターの自動起動をオフにすることをおすすめします¹⁸。

i 注意

補助ヒーターの自動起動がオフになっている場合、電気走行中はエアコンディショナーの熱源がなくなるため、車内の快適性を損なうことがあります。

関連情報

- ヒーター (p. 250)
- パーキングヒーター (p. 251)

¹⁶ フェアエルドリブンヒーターに適用。

¹⁷ フェアエルドリブンヒーターに適用。

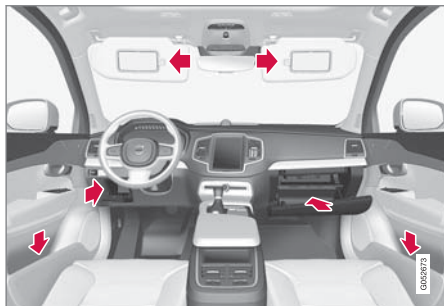
¹⁸ フェアエルドリブンヒーターに適用。

荷物の積み込みおよび収納

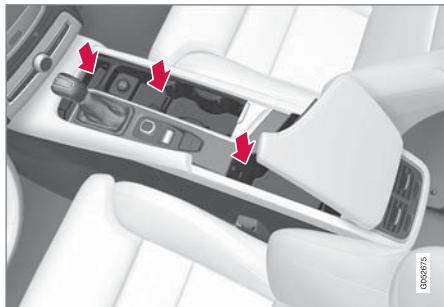
車内インテリア

車内インテリアおよび収納場所

フロントシート

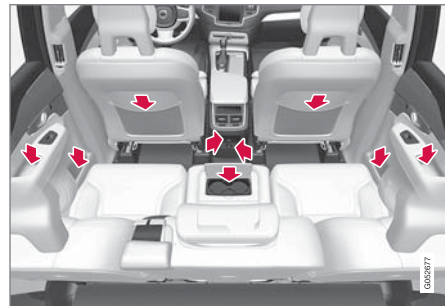


ドアパネルとステアリングホイール、グローブボックスおよびサンバイザーの小物入れ



トンネルコンソールの AUX/USB 端子とカップホルダー、灰皿*、電源ソケットおよびシガレットライター*付き収納スペース

2 列目シート



ドアパネルの小物入れおよび灰皿*、センターシートバックレストのカップホルダー*、フロントシートバックレストの小物入れポケット*、トンネルコンソールの電源ソケットおよびシガレットライター*

3 列目シート



サイドパネルの小物入れおよびカップホルダーとシート間の収納スペース

⚠ 警告

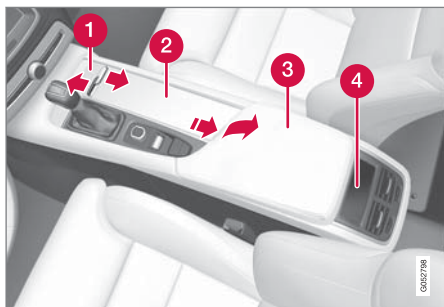
携帯電話やカメラ、アクセサリ用リモートコントロールなど固定されていない物体は、グローブボックスや収納ポケットに収納しておいてください。急ブレーキをかけたときや衝突事故の際に、乗員がケガをするおそれがあります。

関連情報

- トンネルコンソール (p. 255)
- グローブボックスの使用 (p. 261)
- サンバイザー (p. 262)
- 電源ソケット (p. 256)
- 灰皿*を空にする (p. 261)

トンネルコンソール

トンネルコンソールはフロントシートの間にあります。



- 1 小物入れ
- 2 12V 電源ソケットと運転席および助手席用カップホルダーのある収納ボックス。灰皿およびシガレットライター装着車の場合、12V 電源ソケットにシガレットライター、カップホルダーの中に取り外し可能な灰皿が、それぞれ装備されます。
- 3 アームレスト下の小物入れおよび AUX/USB 端子
- 4 リアシートのエアコンディショナー機能用コントロール

関連情報

- 車内インテリア (p. 254)
- 電源ソケット (p. 256)
- シガレットライター*の使用 (p. 260)
- 灰皿*を空にする (p. 261)
- AUX-/USB 端子経由でメディアを接続する (p. 481)
- トンネルコンソール後部のエアコンディショナー (p. 224)

電源ソケット

トンネルコンソールに 12V 電源ソケット 2つと 230V 電源ソケット*1 つがあり、カーゴスペースに 12V 電源ソケット*が 1 つあります。

電源ソケットを使用する際は、車両を **I** のイグニッション位置にしてください。電源ソケットはメインバッテリーの充電残量が低下しすぎない限り使用可能です。

エンジンを停止して車両をロックすると、電源ソケットは使用できなくなります。エンジンを停止した後、車両をロックしていない場合、またはロックによる電源遮断を一時的に無効にした状態でロックした場合、電源ソケットはエンジン停止からさらに 10 分間使用し続けることができます。

i 注意

エンジンをオフにした状態で電気ソケットを使用すると、メインバッテリーが放電するリスクがあり、これにより機能が制限される場合があることに注意してください。

230V 電源ソケット*



トンネルコンソールの 230V 電源ソケット (2 列目シート)

電源ソケットは、充電器やポータブルコンピューターなど、230V の電源を必要とするさまざまなアクセサリーに使用することができます。

! 重要

ソケットの最大出力は、150W です。

電源ソケットの使用

1. 電源ソケットカバーを引き下げて、アクセサリーのプラグを差し込みます。
 - 電源ソケットのダイオードが状態を表示します。

2. ダイオードが緑色で点灯していることを確認します。電源ソケットはこの状態のときにのみ使用できます。
3. アクセサリーを取り外すときには、プラグを引き抜きます。ケーブルを引っ張らないでください。

電源ソケットを使用しないとき、または電源ソケットの近くにだれもいないときには、カバーを引き上げてください。

! 重要

- アクセサリーを接続する際は、大きな、または重いコネクターは使用しないでください。ソケットを損傷したり、走行中に緩んだりするおそれがあります。
- 車両の電波受信機、または電気系統などに干渉するアクセサリーは使用しないでください。
- アクセサリーを配置する際は、急ブレーキや追突に備え、運転者や乗員がケガをしないよう配慮してください。
- 接続したアクセサリーは熱を発生し、乗員が火傷をしたりインテリアを焦がしたりするおそれがあるため、十分に注意してください。

! 警告

- 損傷や不具合のないアクセサリーのみ、使用してください。アクセサリーはソ

ケット用に設計されたコネクターを備え、230V、50Hzに対応している必要があります。アクセサリはCEマーク、ULマークまたは同等の安全マークを取得している必要があります。

- ソケット、コネクター、またはアクセサリが、水やその他の液体に接触しないよう、十分に注意してください。ソケットが損傷している、または水やその他の液体に接触しているおそれがあるときは、触れたり、使用したりしないでください。
- 分岐ソケット、アダプター、または延長コードをソケットに接続しないでください。ソケットの安全機能を損なうおそれがあります。
- ソケットには保護カバーが備えられています。カバーの役割を妨げるなにかがソケットから突き出ている、ソケットを損傷したりしていないか、確認します。ソケットを使用しているときは、保護者の同伴なくお子様を車内に残して離れないようにしてください。

上記の注意点を守らなかった場合、深刻な、または死亡にいたる感電を引き起こす場合があります。

状態表示

電源ソケットの状態はそのダイオードによって表示されます。



状態表示	原因	対処
緑色の点灯	電源ソケットから接続機器に電流が供給されています。	なし
オレンジ色の点滅	電源ソケットの電圧変換器の温度が高すぎます(アクセサリーの消費電流が大きすぎる、車内の温度が高すぎるなどの理由により)。	プラグを抜き、電圧変換器の温度が下がってからプラグを再度差し込んでください。
	接続されているアクセサリーの消費電流が大きすぎます(断続的または常時)、またはアクセサリーに不具合があります。	なしそのアクセサリーは電源ソケットに接続できません。
ダイオードが点灯しない	電源ソケットはプラグが差し込まれていることを認識していません。	プラグが電源ソケットに正しく差し込まれていることを確認してください。
	電源ソケットに電力が供給されていません。	イグニッション位置 I にしてください。
	電源ソケットに供給されていた電力が遮断されました。	エンジンを始動するか、バッテリーを充電してください。

問題が解決しない場合、ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

警告

ご自身で、230V 電気ソケットの改造や修理を絶対に行わないでください。ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。

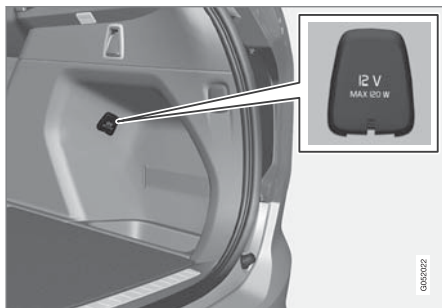
12V 電源ソケット



トンネルコンソールの 12V 電源ソケット(フロントシート)



トンネルコンソールの 12V 電源ソケット(2 列目シート)



カーゴスペースの12V電源ソケット*

この電源ソケットは、ミュージックプレーヤー、保冷ボックス、携帯電話など、12V電源用に設計されているさまざまなアクセサリーに使用することができます。

トンネルコンソールの電源ソケットには、シガレットライター*を装備することができます。

! **重要**

各ソケットの最大出力は、120Wです。

電源ソケットの使用

1. ブランキングプラグ(トンネルコンソール)を取り外すか、カバー(カーゴスペース)を開けて、アクセサリーのプラグを差し込みます。

2. 電源ソケットを使用しないとき、または電源ソケットの近くにだれもいないときには、アクセサリーのプラグを抜き、ブランキングプラグ(トンネルコンソール)を元通りに取り付けるか、カバー(カーゴスペース)を元に戻してください。

関連情報

- 車内インテリア (p. 254)

シガレットライター*の使用

シガレットライターはトンネルコンソールの前部および後部の12V電源ソケットの位置に取り付けることができます。



トンネルコンソールのシガレットライター(フロントシート)



トンネルコンソールのシガレットライター(2列目シート)

1. ライターのボタンを押し込みます。
> ライターが十分に発熱すると、ボタンが飛び出します。
2. ライターノブをソケットから引き抜き、発熱しているコイルでタバコに火をつけます。
3. ライターをソケットに戻します。

⚠ 重要

ライターを使用する際は、火の点いた部分がインテリアなどを損傷しないよう、注意してください。

関連情報

- トンネルコンソール (p. 255)
- 電源ソケット (p. 256)

- 灰皿*を空にする (p. 261)

灰皿*を空にする

車内には、シガレットライターと共に取り外し可能な灰皿が、トンネルコンソールのカップホルダーと2列目シートのドアパネルにあります。

トンネルコンソールの灰皿を空にする

1. カップホルダーからまっすぐカップホルダーを引いて取り外し、中身を捨てます。
2. 灰皿をカップホルダーに戻します。

2列目シートのドアパネルにある灰皿を空にする

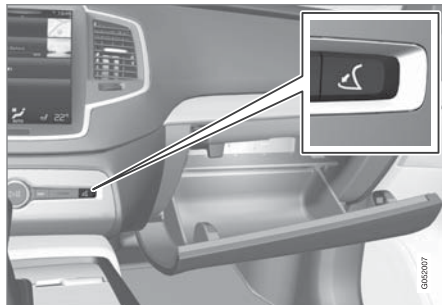
1. 灰皿のカバーを開けて、完全に垂直位置になるまで押します。
 - ＞ 灰皿を固定しているキャッチが外れます。
2. 灰皿を持ち上げて中身を捨てます。
3. 灰皿を戻し、左右の溝に合わせて下へ滑らせます。
4. 灰皿のドアパネルから一番遠い2つの角を、ゆっくりと押します。
 - ＞ 灰皿を固定しているキャッチが、元の位置にはまります。

関連情報

- 車内インテリア (p. 254)
- トンネルコンソール (p. 255)
- シガレットライター*の使用 (p. 260)

グローブボックスの使用

グローブボックスは助手席側にあります。



グローブボックスとセンターコンソールの開ボタン

グローブボックスには、オーナーズマニュアル(印刷版)や地図などを収納することができます。リッドの内側にペンホルダーもあります。

グローブボックスを開ける

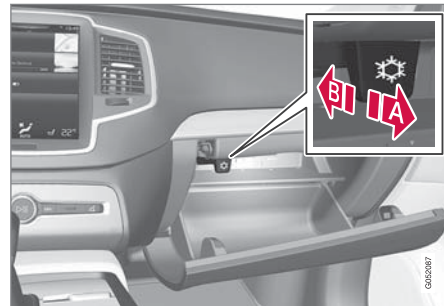
- センターコンソールの開ボタンを押します。
 - ＞ グローブボックスが開きます。

グローブボックスのロック/ロック解除

グローブボックスはロック(いわゆるプライベートロック)することができるため、車両を点検整備に出すときやホテルで駐車サービスに預けるときなどに役立ちます。プライベートロックではテールゲートもロックされます。

グローブボックスの保冷機能の使用

グローブボックスは、飲料や食品の保冷に使用することができます。保冷機能は、エアコンディショナーシステムが作動しているとき(車両がイグニッション位置 **II** またはエンジンが作動しているとき)に動作します。



A 保冷オン

B 保冷オフ

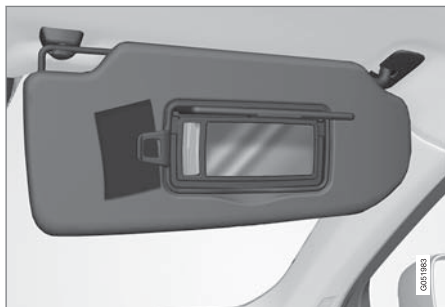
- レバーを車内方向/グローブボックス方向に動かすと、保冷機能がオン/オフになります。

関連情報

- 車内インテリア (p. 254)
- プライベートロックのオン/オフ (p. 285)

サンバイザー

各サンバイザーの裏には、カードホルダー付きメイクアップミラーがあります。



ランプおよびカードホルダー付きのメイクアップミラー

メイクアップミラーランプ*は、カバーを持ち上げると自動的に点灯します。

メイクアップミラーのフレームには、カードやチケットなどを留めておくためのホルダーが付いています。

関連情報

- 車内インテリア (p. 254)

カーゴスペース

車両には、大きい荷物を運搬および固定できる、柔軟性の高いカーゴスペースが備えられています。

2列目シートおよび3列目シートのバックレストを倒すと、カーゴスペースが広がります。荷物の積み卸しをしやすいときは、オートレベライザー機能*を使用して、車両の後部を下げるすることができます。荷物固定用アイレットまたはバッグホルダーを使用すると、荷物を固定することができ、引き出し式のラゲッジカバーを使用すると、荷物を隠すことができます。

カーゴスペースは三角警告板(停止表示板)と救急用品キットの収納にも使用されます。けん引フックおよび緊急パンクリペアキットは、カーゴスペースフロアの下に収納されています。

関連情報

- 2列目シートのバックレストを倒す (p. 173)
- 3列目シートのバックレストを倒す (p. 175)
- オートレベライザー* (p. 426)
- 荷物の積み込み (p. 262)
- カーゴスペース内のツール (p. 539)

荷物の積み込み

車両に荷物を積み込むときには、さまざまな点について留意する必要があります。

最大許容重量は、車両重量により異なります。乗員および車両に装着されているアクセサリーの総重量の分だけ、最大許容重量は小さくなります。



テールゲートはライティングパネル上のボタンまたはリモートコントロールキーにより開くことができます(㊦)。

警告

車両の走行性能は、積載物の重量や積載位置の影響を受けます。

荷物の積み込みに関する推奨事項

- 荷物は、リアシートのバックレストにもたれかかるように置いてください。

リアシートのバックレストのいずれかを折り畳む際には、荷物によってフロントシートの WHIPS システムの機能に支障が出ないように十分ご注意ください。

- 荷物を中央に置いてください。
- 重い荷物は、できるだけ低い位置に載せてください。倒したバックレストに重い荷物を置くことは避けてください。
- 鋭利な荷物は、内張りを傷付けないように柔らかい物で覆ってください。
- 荷物はストラップなどを使用して、荷物固定用アイレットに確実に固定してください。

警告

固定されていない 20 kg の荷物は、50 km/h (30 mph) の速度で前面衝突したときには、1,000 kg の衝撃に相当します。

警告

荷物を高く積み上げると、インフレーターカーテンの保護効果が損なわれるおそれがあります。

- バックレストよりも高い位置に、荷物を積み上げないでください。

警告

荷物は、必ず確実に固定してください。急ブレーキをかけたときに荷物が投げ出されて、乗員が大ケガをするおそれがあります。

鋭利な荷物は、柔らかい物で覆ってください。

長尺物の積み降ろしは、必ずエンジンを停止してパーキングブレーキをかけてから行ってください。荷物がギヤレバーやギヤセレクターに当たってギヤが入ると、車両が動き出すおそれがあります。

車両後部のオートレバライザー*

車両のカーゴスペースを作業しやすい高さにしたり、トレーラーとトウバーを連結する/切り離す*ときの作業性を向上させたりするために、車両の後部を上昇/下降させることができます。

オートレバライザーは、カーゴスペースの右後部のサイドパネルにあるコントロールで実行します。



車両後部の上昇/下降用コントロール

このコントロールはボタン 2 つで構成されています。1 つは車両後部を下降させ、もう 1 つは上昇させます。上昇または下降させる場合、車両後部が目標の高さに達するまで各ボタンを長押しする必要があります。

車両後部を通常の高さよりも高い位置まで上昇させることはできません。

走行中に後部は通常の高さに戻ります。

注意

ボンネットまたはドアが 1 つでも開いている場合、後部の高さを調節することはできません。これはテールゲートには適用されません。

警告

車高を下げる際には、車両の下に人や動物がいないこと、物がないことを十分に確認してください。生命を危険にさらすおそれや、車両または物を損傷するおそれがあります。

リアシートバックレストを倒す

スペースを広げてカーゴスペースに荷物を積み込みやすくするため、リアシートバックレストを倒すことができます。詳しくは、「リアシート」の項を参照してください。

ルーフへの積載

車両のルーフに荷物を積む場合には、ボルボ純正のロードキャリア¹の使用をお勧めします。車両への損傷を防ぎ、走行中の安全を最大限に確保するためです。

ロードキャリアを取り付けるときは、付属の取付説明書に従ってください。

- ロードキャリアおよび荷物の固定状態をときどき点検してください。荷物はリテーニングストラップなどを使用して、確実に固定してください。
- ロードキャリア全体に重量が均等に配分されるように、荷物を載せてください。重い荷物は、下になるように載せてください。
- 荷物のサイズが大きいほど空気抵抗が増えて、燃費が悪くなります。

¹ ボルボのロードキャリアは、ボルボ指定のディーラーで購入することができます。

- 安全運転を心がけてください。急発進、急ブレーキ、急ハンドルは避けてください。

警告

ルーフ上に荷物を積載して走行するときは、車両の重心が変わり走行安定性が悪くなりますのでご注意ください。

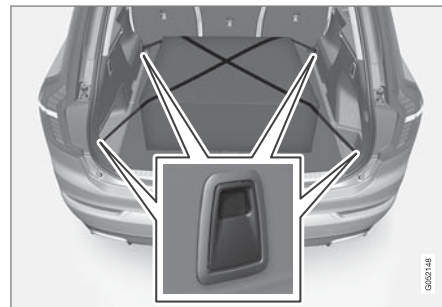
「重量」のセクションで最大ルーフ荷重を確認してください。

関連情報

- 荷物固定用アイレット (p. 264)
- スチールガードネット* (p. 270)
- セーフティネット* (p. 268)
- ラゲッジカバー (p. 266)
- 重量 (p. 601)
- リアシート (p. 169)

荷物固定用アイレット

折りたたみ式の荷物固定アイレットは、カーゴスペース内の荷物固定地点として、ストラップを固定するために使用されます。



警告

硬い物や尖った物、重い物が確実に固定されていない場合には、急ブレーキの際に飛び出してケガの原因となるおそれがあります。

大きい物や重い物は、シートベルトまたはストラップベルトで必ず確実に固定してください。

関連情報

- 荷物の積み込み (p. 262)
- スチールガードネット* (p. 270)

- セーフティネット* (p. 268)
- バッグフック (p. 265)
- ラゲッジカバー (p. 266)

バッグフック

バッグフックと伸縮ストラップはバックを所定の位置に保つことができるため、バッグが倒れて中身がカーゴスペースに散乱するのを防止することができます。

フロアハッチの下

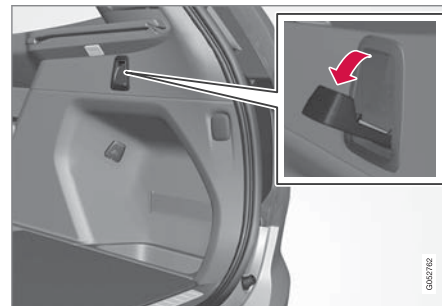


カーゴスペースのフロアハッチの一部であるカバーには、バッグフック 2 個と伸縮ストラップ 1 個²が用意されています。ストラップは 4 つの異なる位置に取り付けることができます。

バッグフックを使用するときには、カバーを持ち上げてください。伸縮ストラップでバッグを適切な位置に固定してください。バッグに取っ手があり、高さが適切である場合、フックに吊してください。

² 伸縮ストラップはボルボディーラーで追加注文することができます。

側面



サイドパネルにも収納式のバッグフックが 2 個 (カーゴスペースの各側 1 個) 用意されています。

重要

バッグフックの耐荷重は最大 5 kg です。

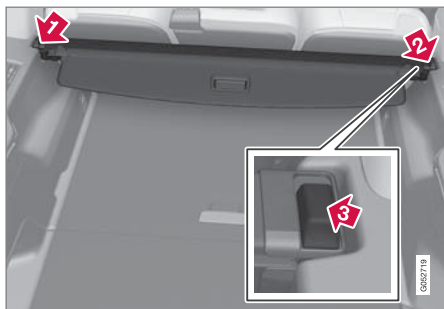
関連情報

- 荷物の積み込み (p. 262)
- スチールガードネット* (p. 270)
- セーフティネット* (p. 268)
- ラゲッジカバー (p. 266)

ラゲッジカバー

ラゲッジカバーを広げると、カーゴスペースへの視線を遮ることができます。

取り付け³



格納位置:

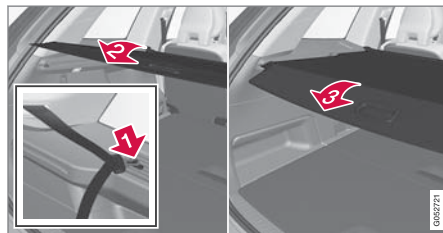
- 1 ラゲッジカバーのエンドピースの1つをカーゴスペースのサイドパネルの窪みに挿入します。
- 2 もう一方のエンドピースを反対側のサイドパネルの窪みに挿入します。

- 3 両側のエンドピースを1つずつ押し付けます。
> 「カチッ」という音が聞こえて、各エンドピースの赤いマークが消えたら、ラゲッジカバーが取り付けられたことを意味します。確実に取り付けられていることを確認してください。

使用法

ラゲッジカバーには2つの展開位置(フルカバー位置とワーク位置)があります。完全に格納した位置と比較して、ワーク位置ではラゲッジカバーが部分的に引き出しているため、カーゴスペースの中に手が届きやすくなります。

フルカバー位置



- 1 7人乗り車両の場合、3列目シートのシートベルトのロックタブをサイドパネルの指定のフックにかけます。5人乗り車両の場合、次のステップを参照してください。

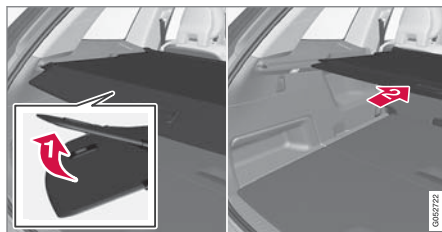
- 2 格納位置からハンドルを握ってカバーを引き出し、カーゴスペースのサイドパネルに沿ってスライドさせ、後端位置まで引っ張ります。
- 3 カーゴスペースを覆う位置までラゲッジカバーを引き出したら、カバーのアタッチメントピンをサイドパネルの溝に入れて、ハンドルを下方方向に軽く押しつけて傾けながら手を放します。
> ラゲッジカバーがフルカバー位置にロックされます。

³ XC90 Excellence の場合、ラゲッジカバーは固定されています。カバーの脱着はできません。

ワーク位置

- 1 格納位置からの場合、ハンドルを握ってカバーを引き出し、カーゴスペースのサイドパネルに沿ってスライドさせ、後端位置まで引っ張り、カバーのアタッチメントピンをサイドパネルの溝に入れます(カバーが既にフルカバー位置にある場合、次のステップを参照してください)。
- 2 フルカバー位置からハンドルを握ってラゲッジカバーのアタッチメントピンをサイドパネルの溝に入れ、手を放します。
 - ＞ ワーク位置で止まるまで、カバーを巻き取らせます。

手がふさがっている場合：



- 1 フルカバー位置の場合、ひじなどでラゲッジカバーのハンドル部分を軽く押し上げます。
 - ＞ 2 カバーはワーク位置で停止するまで巻き取られます。
- ワーク位置からフルカバー位置に戻すには：
1. ハンドルを握って、ラゲッジカバーを後端位置まで引き出します。
 2. 軽く放しながら、ハンドルを下方方向に軽く押して傾けます。
 - ＞ カバーが後端位置にロックされます。

重要

展開位置のとき、ラゲッジカバーの上に物を載せないでください。

警告

7人乗りの車両の場合、絶対にラゲッジカバーを取り付けたままでリアシートに乗員を乗せないでください。衝突の際に、重傷を負うおそれがあります。

格納方法

フルカバー位置からの場合：

- ハンドルを持ち上げて後方に引っ張り、ラゲッジカバーのアタッチメントピンを溝から外し、手を放します。

ワーク位置からの場合：

- ハンドルを握ってラゲッジカバーを溝から引き出し、フルカバー位置まで引っ張ります。ハンドルを持ち上げて後方に引っ張り、アタッチメントピンを溝から外し、手を放します。
 - ＞ カバーのアタッチメントピンをサイドパネルの外に出した状態で、カバーを格納位置まで巻き取らせませす。

◀ 取り外し³

格納位置:

1. 巻き取られたラゲッジカバーの一方のエンドピースにあるボタンを押して、そのエンドを持ち上げます。

7人乗り車両の場合、3列目シートのシートベルトロックタブをサイドパネルの上にあるフックから外します。
2. カバーを慎重に上/外方向に傾けます。
 - ◁ 反対側のエンドピースが自動的にゆるみ、カバーをカーゴスペースから取り出すことができます。

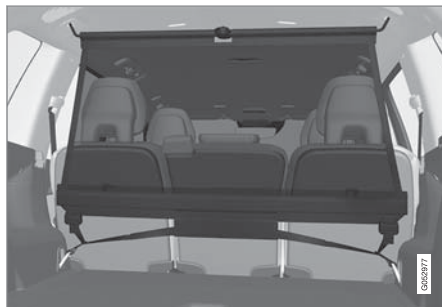
関連情報

- 荷物の積み込み (p. 262)
- スチールガードネット* (p. 270)
- セーフティネット* (p. 268)
- 荷物固定用アイレット (p. 264)

セーフティネット*

セーフティネットは、急ブレーキの際などに荷物が座席に投げ出されることを防ぎます。

セーフティネットは、4つの固定ポイントに取り付けます。



セーフティネット

安全のため、セーフティネットは必ず下記の要領で取り付けて、固定してください。

ネットは強靱なナイロン繊維製で、取り付け位置は、車内の2箇所から選択できます。

- リア装着 - 2列目シートの後ろ
- フロント装着 - フロントシートバックレストの後ろ

⚠ 警告

カーゴスペース内の積荷は確実に固定してください。また、正しく装着されたセーフティネットを使用してください。

取り付け

⚠ 警告

セーフティネットの上部固定ポイントが正しく装着され、ブラストラップが確実に留められていることを確認してください。

損傷のあるセーフティネットは使用しないでください。

① 注意

セーフティネットは、リアドアのいずれかから装着すると、容易に装着できます。

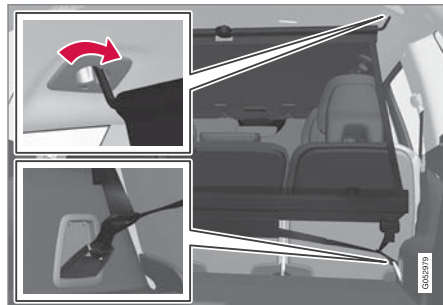
1. セーフティネットを広げ、ネットの分割された上部ロッドが広げた位置でロックされていることを確認してください。
2. ネットの一方の固定フックをフロントまたはリアのルーフマウンティングに引っかけます。このとき、アンカストラップのロックが手前を向くようにしてください。

³ XC90 Excellence の場合、ラゲッジカバーは固定されています。カバーの脱着はできません。

3. ネットのもう一方の固定フックを、反対側のルーフマウンティングに引っかけます。バネの付いた伸縮式固定フックにより、容易に固定できます。

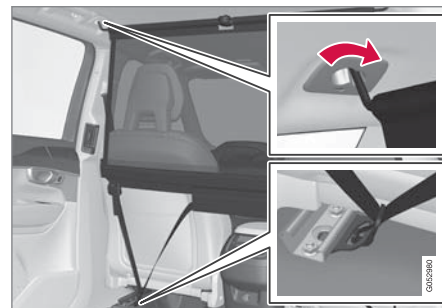
ネットの固定フックを注意しながら前方に押し、各ルーフマウンティングの前端位置に合わせてください。

4. リア装着：ネットを後ろ側ルーフマウンティングに取り付けた状態で、セーフティネットのアンカストラップをカーゴスペースの前側フロアフックに引っかけます。



リア装着

フロント装着：ネットを前側ルーフマウンティングに取り付けた状態で、アンカストラップをシートのスライドレール後部にある外側フックに引っかけます。バックレストを起し、シートを若干前方に動かすと取り付けやすくなります。



フロント装着

シート/バックレストを元の位置に戻す際、シート/バックレストをネットに強く押し付けないように注意してください。シート/バックレストがネットに軽く触れる程度に調整してください。

5. アンカストラップを使用して、セーフティネットを張ります。

❗ 重要

シートやバックレストがセーフティネットに強く当たっていると、ネットやルーフマウンティングが損傷を受ける場合があります。

取り外しおよび保管

セーフティネットは容易に取り外して、折り畳むことができます。





1. アンカーストラップロックのボタンを押し、各側のアンカーストラップを少し出して、セーフティネットのテンションをゆるめます。
2. キャッチを押し込んで、アンカーストラップの両方のフックを外します。
3. 上側の留め具を外して、ネットをルーフマウンティングから外します。
4. ロッドの赤いボタンを押し、ネットを畳んで巻けるようにします。

関連情報

- 荷物の積み込み (p. 262)
- スチールガードネット* (p. 270)
- ラゲッジカバー (p. 266)
- 荷物固定用アイレット (p. 264)

スチールガードネット*

スチールガードネットは、急ブレーキの際などにカーゴスペース内の荷物やペットが座席に投げ出されることを防ぎます。安全のため、スチールガードネットは必ず正しく取り付け、適切に固定する必要があります。

スチールガードネットはガードネットと未固定のファスナー2個で構成されています。各ファスナーにはキャップが付属し、スチールガードネット用のプラスチックスリーブが2個あります。

警告

絶対にカーゴスペースに人を乗せて走行しないでください。急ブレーキや事故の際にケガをするおそれがあり危険です。

警告

スチールガードネットは、必ずここに記載されているリア位置のみで使用してください。フロントシート後方のルーフマウンティングはスチールガードネット用ではありません。

警告

スチールガードネットを車内に取り付けるときには、安全のため、3列目シート⁴を下げる必要があります。

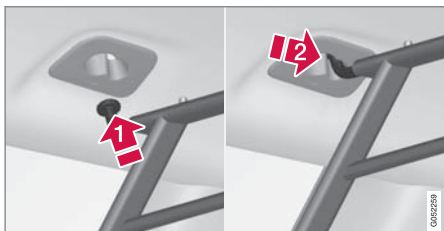
重要

保護グリルはラゲッジカバーと同時に取り付けることができません。

取り付け

1. リアシートを下げて、スチールガードネットを一方のリアドアまたはテールゲートから車内に載せます。スチールガードネットのアーチ/凸側をカーゴスペースに向け、各側のフックが上を指すようにしてください。この段階では、ファスナーおよびプラスチックスリーブは使用しません。

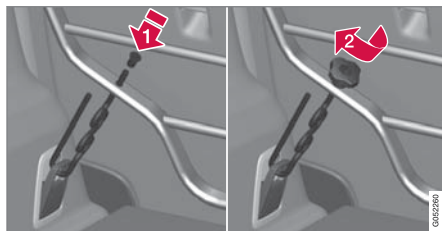
⁴ 7人乗り車両に適用。



2. スチールガードネットのフックの1つをルーフマウンティングの大きい方の開口部に入れます(1)。
フックの近くでスチールガードネットをつかみ、小さい方の開口部の方向へ引っ張ります/ずらします(2)。
 > これでフックがルーフマウンティングの固定位置に固定されました。
3. 上記のステップ2の作業を繰り返して、反対側のフックを取り付け位置に固定します。

警告

スチールガードネットが外れることのないように、スチールガードネットのフックがルーフマウンティングにしっかり取り付けられていることを確認してください。



4. ファスナーフックをカーゴフロアの荷物固定穴に下から引っかけ、ネジ部をスチールガードネットの下側取り付け穴に下から通します(1)。
ファスナーのネジ部のプラスチックスリーブを、スリーブフランジを上に向けた状態でスライドさせ、穴に通します。キャップの下端がスチールガードネットから約5 mmの位置に達するまで、キャップをねじ込みます(2)。
5. 反対側でステップ4の作業を繰り返します。
6. スチールガードネットが中心に来るように調整して、ファスナー2個を交互に締め付け、グリルを適切に固定します。

取り外し

スチールガードネットを取り外すには、取り付けと逆の順序で行ってください。ファスナーは、プラスチックスリーブをスチールガードネットの穴から取り外す前に取り外すことができます。

関連情報

- 荷物の積み込み (p. 262)
- 荷物固定用アイレット (p. 264)
- セーフティネット* (p. 268)
- ラゲッジカバー (p. 266)

ロックおよびアラーム

リモートコントロールキー

リモートコントロールキーは、ドアおよびテールゲートをロック/ロック解除します。車両を始動するときには、車内に置いておく必要があります。



リモートコントロールキー(左)とボタンレスキー(Key Tag)(右)

車両にはキーレススタート(Passive Start)が標準装備されているため、エンジンの始動時にリモートコントロールキーを物理的に使用することはありません。エンジンを始動するには、キーを車内の前部(運転者のポケットの中やトネルコンソールのカップホルダーの中など)に置いておく必要があります。「エンジンの始動」の項を参照してください。

ドアおよびテールゲートのキーレスロック/ロック解除(Passive Entry*)もオプションで用

意されています。この場合、キーの作動範囲は運転席ドアから半径約1.5 mの半円内、テールゲートから約1 mの半円内です。「リモートコントロールキーの作動範囲」の項を参照してください。

キーレススタートおよびキーレスロック/ロック解除機能装備車の場合、リモートコントロールキーを車内またはカーゴスペースのどこに置いていても、エンジンを始動することができます。

ボタンレスキー(Key Tag)

キーレスロック/ロック解除機能*装備車の場合、通常のキーよりも少し小さくて軽いボタンレスキー(Key Tag)が付属します。キーレススタートおよびキーレスロック/ロック解除に限り、このキーは通常のリモートコントロールキーと同様に機能します。このキーは脱着式キーブレードがなく、電池を交換できません。新しいKey Tagは、ボルボ指定のサービス工場での注文することができます。

キーの追加注文


車両にはリモートコントロールキーが2個付属しています。キーレスロック/ロック解除機能*装備車の場合、Key Tagが1個付属します。キーは追加注文できます。車両1台に対してプログラムおよび使用可能なキーは12個までです。

キーを紛失した場合、「リモートコントロールキーを紛失した場合」の項を参照してください。

リモートコントロールキーボタン



リモートコントロールキーにはボタンが4つ(左側に1つ、右側に3つ)あります。

-  **ロック** - ボタンを押すと、ドアおよびテールゲートがロックされ、アラーム¹もセットされます。ボタンを長押しすると、すべてのウインドとパノラマルーフ*が同時に閉まります。「外側からのロック/ロック解除」と「内側からのロック/ロック解除」の項を参照してください。

¹一部の市場でのオプション。

🔑 ロック解除 - ボタンを押すと、ドアおよびテールゲートが同時にロック解除され、アラームも解除されます。長押しすると、すべてのパワーウィンドが同時に開きます(グローバルオープニング機能とも呼ばれる)²。「外側からのロック/ロック解除」の項を参照してください。

🔑 テールゲート - テールゲートのみロック解除されて、テールゲートのアラームが解除されます。パワーテールゲート*装備車の場合、ボタンを長押しするとテールゲートが自動的に開きます。テールゲートを閉じるときにも長押しします。この場合、警告音が鳴ります。「パワーテールゲート」の項を参照してください。

⚠️ パニックアラーム機能 - 緊急時に注意を促すための機能です。赤いボタンを3秒以上押し続けるか、3秒以内に続けて2回押すと、方向指示器およびホーンが作動します。アラームが作動してから5秒以上経過後、再び同じボタンを押すと停止させることができます。もしくは、3分後に、自動的に停止します。

⚠️ 警告

乗員を車内に残す場合、車両を離れるときに必ずリモートコントロールキーを携帯して、パワーウィンドおよびサンルーフの電源を確実に切ってください。

² 気温の高いときに素早く車内を換気する場合などに使用します。

干渉

キーレススタートおよびキーレスロック/ロック解除*のリモートコントロールキー機能は、電磁場および電磁遮蔽により妨げられることがあります。

❗ 注意

リモートコントロールキーを金属物や電子機器(携帯電話機、タブレット、ノートパソコン、充電器など)の近くに保管することは避けてください。必ず10~15 cm以上離れた場所に保管してください。

干渉が解消されない場合、リモートコントロールキーブレードを使用し、キーをバックアップリーダーに載せて車両のアラームを解除してください。「脱着式キーブレードによるロック/ロック解除」の項を参照してください。

❗ 注意

リモートコントロールキーをカップホルダーの中に入れる場合、他の車両キー、金属物、電子機器(携帯電話機、タブレット、ノートパソコン、充電器など)がカップホルダーの中に入らないことを確認してください。カップホルダーに複数の車両キーを近い距離で置いた場合、互いに干渉するおそれがあります。

リモートコントロールキーを紛失した場合

リモートコントロールキーを紛失した場合は、サービス工場で新しいキーを注文できます。ボルボ指定のサービス工場を推奨します。残りのリモートコントロールキーをボルボのサービス工場へお持ちになってください。不正に使用されることを防ぐため、紛失したキーのコード番号を車両のシステムから消去する必要があります。

現在車両に登録されているキーの数は、センターディスプレイのトップビューで確認することができます。



関連情報

- リモートコントロールキーの作動範囲 (p. 276)
- 脱着式キーブレード (p. 287)
- リモートコントロールキーの電池交換 (p. 294)
- 内側からのロック/ロック解除 (p. 281)
- 外側からのロック/ロック解除 (p. 277)
- パワーテールゲート* (p. 289)
- エンジンを始動する (p. 411)

リモートコントロールキーの作動範囲

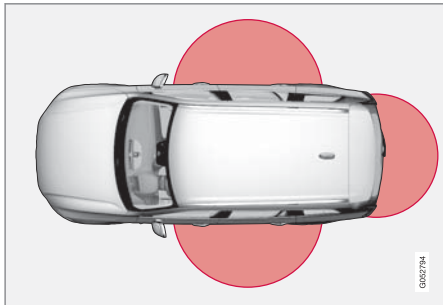
リモートコントロールキーが正しく作動するためには、キーが車両から一定距離の範囲内にある必要があります。

手動操作

リモートコントロールキーの機能( または  を押すことで作動するロック/ロック解除など)には、車両から約 20 m 以内という作動範囲があります。

ボタンが押されたことを車両が認識しない場合には、車両に近寄ってからもう一度試行してください。

キーレス操作³



図の陰影部分はシステムのアンテナでカバーされている範囲を示しています。

ボタンを押さずにドアまたはテールゲートをキーレスでロック/ロック解除する場合や、ボタンレスキー Key Tag を使用する場合は、リモートコントロールキーが車両の左または右側半径約 1.5 m の半円内、またはテールゲートから半径約 1 m 以内にある必要があります(前図参照)。

① 注意

周囲の電波、建物、地形などによって、リモートコントロールキーの機能が妨げられる場合があります。車両は、つねにキーブレードでロック/ロック解除できます。

リモートコントロールキーを車外へ持ち出した場合

エンジンの作動中にリモートコントロールキーを車外へ持ち出すと、最後のドアが閉まったときにドライバーディスプレイに **車の鍵が見付られない 車から取り外し済** という警告メッセージが表示され、警告音が鳴ります。

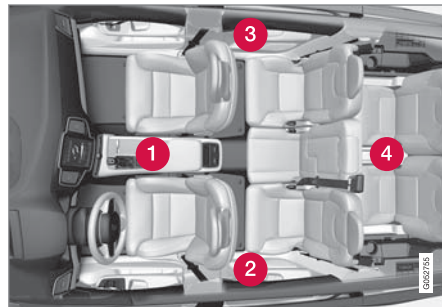
キーを車内に戻してから右側のキーパッドの **0** ボタンを押すか、または最後のドアを開めると、メッセージが消えます。

関連情報

- リモートコントロールキー (p. 274)
- スタートおよびロックシステム のアンテナ位置 (p. 276)

スタートおよびロックシステム のアンテナ位置

車両にはキーレススタートおよびロックシステム⁴が装備されているため、車両のさまざまな場所に多くのアンテナが組み込まれています。



アンテナの場所

- ① トンネルコンソール前部のカップホルダーの下
- ② 左側リアドアの上側前部⁵
- ③ 右側リアドアの上側前部⁵
- ④ リアシートバックレストの中央⁵

³ キーレスロック/ロック解除オプション(Passive Entry*)装備車のみ適用されます。

⚠ 警告

心臓ペースメーカーをご使用のお客様は、ペースメーカーからキーレスシステムのアンテナまでの距離が 22 cm 以内にならないようにしてください。ペースメーカーとキーレスシステムが、相互に干渉するおそれがあります。

関連情報

- リモートコントロールキー (p. 274)
- リモートコントロールキーの作動範囲 (p. 276)

外側からのロック/ロック解除

車両はリモートコントロールキーのボタンを使用して、外側からロック/ロック解除することができます。キーレスロック/ロック解除 (Passive Entry)* 装備車の場合、ドアまたはテールゲートハンドルを使用してこの操作を行うことができます。テールゲートは電動*と足の動き*の両方、またはどちらか一方で操作することができます。

ロック/ロック解除

リモートコントロールキーのボタンを使用すると、すべてのドアとテールゲートを同時にロック/ロック解除することができます。

ロック解除順序は複数の中から選択することができます。この設定はセンターディスプレイのトップビューで行うことができます。設定 →

My Car → ロッキング → リモートアンロックの順に移動します。

そこで、**全てのドアをアンロック** または **運転席ドアのみ** を選択します。

ロック作動順序を有効にするには、運転席ドアが閉じている必要があります。それ以外のドアのいずれかやテールゲートが開いている場合、それらはロックされます。アラーム⁶ 動体検知は、ドアが閉じた時点でセットされます。

リモートコントロールキーでロック/ロック解除できない場合は、電池が消耗している可能性があります。この場合、脱着式キーブレードで運転席側ドアをロック/ロック解除してください。詳しくは、「脱着式キーブレード」の項を参照してください。

ⓘ 注意

必ず車両に近づいて、もう一度ロック解除操作を試してください。

ⓘ 注意

リモートコントロールキーを車内に残したままロックしないよう、ご注意ください。

⚠ 警告

車内に人が閉じ込められる危険を防止するため、デッドロック機能を解除しない限り、車内に人を残して車両から離れないでください。

キーレスロック/ロック解除*

キーレスロック/ロック解除* 装備車の場合、リモートコントロールキーは、近く (ポケットやハンドバッグの中など) にあるだけで機能するた

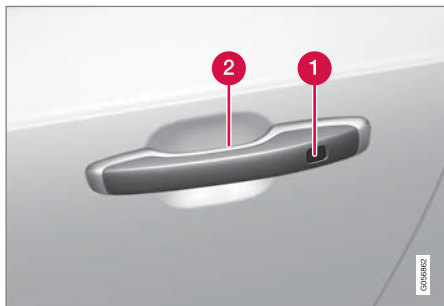
⁴ キーレスロックシステムは、キーレスロック/ロック解除機能 (Passive Entry)* 装備車のみ適用されます。

⁵ キーレスロック/ロック解除機能 (Passive Entry)* 装備車のみ。

⁶ 一部の市場でのオプション。

- ◀◀ め、両手がふさがっている状態でロック解除したいときには便利です。システムの作動範囲については、「リモートコントロールキーの作動範囲」の項を参照してください。

ドアハンドルの外側にはロック用の窪みがあり、内側にはロック解除用の感圧面があります。テールゲートハンドルには、ロック解除のみに使用される、ラバー加工されたプレッシャープレートがあります。



ドアハンドルの外側の窪み(ロック用)内側の感圧面(ロック解除用)

- ① ロック用の感圧性のあるくぼみ
- ② ロック解除用の感圧性のあるくぼみ

注意

感圧面は必ず一度にひとつのみ使用してください。ロック面に触れながらハンドルを握ると2つのコマンドを同時に発する危険性があります。この場合、要求されたアクティビティ(ロック/ロック解除)は実行されないか、または遅れて実行されます。

すべての窓とパノラマルーフ*を同時に閉めるには - すべての窓とパノラマルーフ*が閉じるまで、ドアハンドルの外側にある感圧性のあるくぼみに指をあてます。



テールゲートのラバー加工されたプレッシャープレート(ロック解除のみに使用)

ドアおよびテールゲートをロックする

車両をロックするには、すべてのドアを閉じておく必要があります。一方、サイドドアハンド

ルでロックするときには、テールゲートは開いておくことができます。

- ドアを閉じた後にドアハンドルの外側のマーク面を後方に向かってタッチする、またはテールゲートの下端にあるボタンを押して、テールゲートをロックします。
 - > ウィンドスクリーンのロックインジケータが点滅を開始して、車両がロックされたことを示します。

注意

感圧面は必ず一度にひとつのみ使用してください。ロック面に触れながらハンドルを握ると2つのコマンドを同時に発する危険性があります。この場合、要求されたアクティビティ(ロック/ロック解除)は実行されないか、または遅れて実行されます。

ドアおよびテールゲートをロック解除する

- ドアハンドルをつかむか、テールゲートハンドルの下側のラバー加工されたプレッシャープレートを押して、車両をロック解除します。
- ▷ ウィンドスクリーンのロックインジケーターが消灯して、車両がロック解除されたことを示します。ドアまたはテールゲートを通常の方法で開いてください。

i 注意

感圧面は必ず一度にひとつのみ使用してください。ロック面に触れながらハンドルを握ると2つのコマンドを同時に発する危険性があります。この場合、要求されたアクティビティ(ロック/ロック解除)は実行されないか、または遅れて実行されます。

ロック解除順序

センターディスプレイのトップビューでは、異なるロック解除手順を選択することができます。

設定 → My Car → ロッキング → キーレスアンロック に移動して、**すべてのドア** または **シングルドア** を選択します。

オートリロック機能

ドアまたはテールゲートは、ロック解除後2分以内に開けないと自動的に再ロックされます。

これはロックのかけ忘れを防ぐための機能です。

リモートドアロック解除(RDU)

Volvo On Call*アプリを使用して、車両を離れた場所からロック解除することができます。

関連情報

- リモートコントロールキー (p. 274)
- パワーテールゲート* (p. 289)
- テールゲートのロック/ロック解除 (p. 283)
- 足の動きによるテールゲートの開閉* (p. 292)
- リモートコントロールキーの作動範囲 (p. 276)
- 脱着式キーブレード (p. 287)
- アラーム (p. 299)

車両のロック/ロック解除の表示

リモートコントロールキーを使用して車両をロック/ロック解除すると、方向指示器が点滅して正常に作動したことがわかります。ロック/ロック解除の表示を適用することができます。表示を適用するには、センターディスプレイから **設定 → My Car → ロッキング → ロック&アンロックのフィードバック** をタップします。

車外での表示

- ロックの表示として、車両の非常点滅灯が点滅し、ドアミラーが格納されます⁸。
- ロック解除の表示として、車両の非常点滅灯が2回点滅し、ドアミラーが展開します⁸。

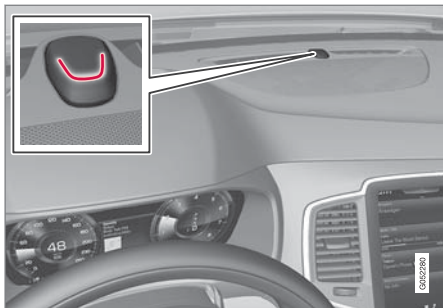
車両がロックされていることを表示するためには、すべてのドア、テールゲートおよびボンネットが閉じている必要があります。

⁸ 格納式パワードアミラー装備の車両のみ。

ロックおよびアラーム

- ◀ 運転席ドアのみが閉じた状態でロックを行うと、車両はロックされますが、表示されるのは、すべてのドア、テールゲートおよびボンネットが閉じた後になります。

ダッシュボードの表示



ダッシュボードのロック&アラームインジケータがアラームシステムの状態を表示します。

1回の長い点滅は、車両がロックされたことを示します。車両がロックされている場合、短いパルス状の点滅で表示されます。

ロックボタンのインジケータ フロントドアのみにあるロックボタン



フロントドアのインジケータランプ付きロックボタン

いずれかのフロントドアのロックボタンのインジケータランプが点灯している場合、すべてのドアがロックされています。いずれかのドアを開けると、両側のドアのランプが消灯します。

すべてのドア*



リアドアのインジケータランプ付きロックボタン

いずれかのドアのロックボタンのインジケータランプが点灯している場合、そのドアはロックされています。いずれかのドアをロック解除すると、そのドアのランプは消灯しますが、他のランプは点灯し続けます。

機能の選択

ロック作動/解除の表示に関しては、センターディスプレイで別の方法に変更することができます。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** を押します。
2. **My Car** → **ロッキング**を押します。

⁹ キーレスロック/ロック解除(Passive Entry*)装備車には適用されません。

3. **ロック&アンロックのフィードバック** で設定を調節します。

「アプローチライト」および「ドアミラーの調節」の項でロック/ロック解除の表示について詳しい説明をお読みください。

関連情報

- 外側からのロック/ロック解除 (p. 277)
- アプローチライト点灯 (p. 190)
- ドアミラーの調節 (p. 196)

内側からのロック/ロック解除

ドアおよびテールゲートは、車内からフロントドアのセントラルロックコントロールを使用してロックおよびロック解除することができます。リアドアのロックコントロール*では、それぞれのリアドアがロックされます。


セントラルロック



フロントドアのインジケーターランプ付きロック/ロック解除ボタン


- ロックするには  ボタンを、ロック解除するには  ボタンを押します。

ドアロック解除


1.  ボタンを押して、すべてのドアとテールゲートをロック解除します。


2. いずれかのドアのハンドルを引いて離します。

＞ ドアがロック解除されて開きます。

 ボタンを長押しすると、すべてのパワーウィンドが同時に開きます(グローバルオープニング機能¹⁰とも呼ばれる)。

ロック

-  ボタンを押します。両側のフロントドアを閉じておく必要があります。
- ＞ すべてのドアとテールゲートがロックされます。

 ボタンを長押しすると、すべてのパワーウィンドとパノラマルーフ*が同時に閉じます。

ロックボタン*リアドア



リアドアのインジケーターランプ付きロックボタン

¹⁰ 気温の高いときに素早く車内を換気する場合などに使用します。

- ◀ リアドアのロックボタンはそのドアのみをロックします。

ドアをロック解除するには：

- ドアハンドルを引きます。ドアはロック解除され、開きます。

オートロック

ドアおよびテールゲートは、車両が動き出すと自動的にロックすることができます。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** を押します。
2. **My Car → ロッキング** を押します。
3. **自動ドアロック** を選択します
 - ◻ ヘルプテキスト **走行開始時にドアとテールゲートを自動ロックする** が表示され、ドアとテールゲートが自動的にロックされます。

関連情報

- 外側からのロック/ロック解除 (p. 277)
- 車両のロック/ロック解除の表示 (p. 279)

デッドロック

デッドロックを使用すると、すべてのドアハンドルが機械的に解除されるため、内側からドアを開けることができなくなります。

デッドロック機能は、リモートコントロールキーおよびキーレスロック (Passive Entry)* で作動します。デッドロック機能は、ドアがロックされてから約 10 秒後に作動します。

ⓘ 注意

遅延時間内にドアが開けられた場合には、手順が中断され、アラームは解除されます。

デッドロック機能が作動している場合、車両をロック解除するには、必ずリモートコントロールキー、キーレスロック解除または Volvo On Call (VOC)* モバイルアプリ を使用する必要があります。脱着式キーブレードを使用して、左側フロントドアをロック解除することもできます。

⚠ 警告

車内に人が閉じ込められる危険を防止するため、デッドロック機能を解除しない限り、車内に人を残して車両から離れないでください。

一時的に解除する

車内に人を残したまま車外からドアをロックする場合、一時的にデッドロック機能を解除することができます。従来のロックでは、電源ソケットへの電源供給がただちに遮断されますが、デッドロック機能を一時的に解除した場合は、ロックしてから最長 10 分間、電源ソケットへの電源供給が継続されます。

一時的な解除は、センターディスプレイのトップビューから行うことができます。以下の順序で選択してください。

設定 → My Car → ロッキング → ガード解除。

センターディスプレイの機能ビューから **ガード解除** を押して行うこともできます。

センターディスプレイに **ガード解除** が表示されます。次の車両ロック時に、デッドロック機能は一時的に解除されます。車両をロック解除してからロックし直す場合、デッドロックを再度一時的に解除する必要があります。アラームシステムのムーブメントセンサーとチルトセンサー*も同時にオフになりますのでご注意ください。

次のエンジン始動時にシステムはリセットされます。

① 注意

- 車両がロックされているときは、アラームが有効になっていますのでご注意ください。
- いずれかのドアを車内から開けた場合、アラームが作動します。

関連情報


- リモートコントロールキー (p. 274)
- 外側からのロック/ロック解除 (p. 277)
- 内側からのロック/ロック解除 (p. 281)
- 脱着式キーブレードによるロック/ロック解除 (p. 288)
- アラーム (p. 299)

テールゲートのロック/ロック解除

テールゲートには、ロック/ロック解除と開き方にさまざまな方法があり、車両の装備レベルに応じて異なります。

リモートコントロールキーによるテールゲートのロック解除



リモートコントロールキーの  ボタンを使用して、テールゲートのみアラームを解除し、テールゲートのロックを解除することができます。

テールゲートのロックを解除するには、2つの方法があります

1. リモートコントロールキーの  ボタンを押します。

＞ ダッシュボードのロック&アラームインジケーターが消灯して、車両全体のアラームが解除されていることを示します。


アラームのレベルセンサー、ムーブメントセンサー、およびテールゲートオープンセンサーの機能も非作動状態になりません。

テールゲートはロック解除されますが、ドアがロックされたままでアラーム機能がセットされている間、テールゲートは閉じた状態を維持します。

テールゲートを開くには、テールゲートハンドルの下にあるゴム製のプレッシャープレートをつかんで開けます。

2分以内にテールゲートが開かれないと、ロックが再作動し、アラームも再びセットされます。

2. パワータールゲート*オプション装備車両

リモートコントロールキーの  ボタンを長押し(約 1.5 秒)します。

＞ テールゲートのロックは解除されて開きますが、ドアはロックされたままでアラーム機能は作動しています。



◀ テールゲートのキーレスロック解除*



感圧面のあるラバープレート

テールゲートは電動ロックで閉まったままとなります。リモートコントロールキーは、近く(ポ

ケットやハンドバッグの中など)にあるだけで機能します。

1. テールゲートを開く - テールゲートハンドルの下側のラバー加工されたプレッシャープレートを軽く押します。
> ロックが解除されます。

ⓘ 注意

リモートコントロールキーがテールゲート近くで検知されない場合、ロック/ロック解除は作動しません。詳しくは「リモートコントロールキー作動範囲」の項を参照してください。

2. テールゲートを完全に開くには、外側ハンドルを持ち上げます。

❗ 重要

- テールゲートのロックを解除するにはほとんど力は要りません。ラバー加工されたプレッシャーシートを軽く押してください。
- テールゲートを開ける際には、ラバー加工されたプレッシャーシートは持ち上げないでください。ハンドルを使用してください。強い力がかかると、ラバー加工されたプレッシャーシート部分の電気接点が増傷を受ける場合があります。



⚠ 警告

テールゲートを開けたまま、走行しないでください。テールゲート開口部から、有害な排気ガスを車内に引き込んでしまうおそれがあります。


内側からのロック解除



テールゲートをロック解除するには：

1. メーター・パネルの  ボタンをかるく押します。
 - ＞ テールゲートは、ラバー加工されたプレッシャープレートをつかむことにより、外側からロック解除して開けることができます。
2. パワーテールゲートオプション装備車両
メーター・パネルの  ボタンを長押しします。
 - ＞ テールゲートが開きます。

リモートコントロールキーによるロック

- リモートコントロールキーの  ボタンを押します。
 - ＞ ダッシュボードのロック&アラームインジケーターが点滅を開始し、アラームがセットされます。

関連情報

- リモートコントロールキー (p. 274)
- パワーテールゲート* (p. 289)
- 足の動きによるテールゲートの開閉* (p. 292)

プライベートロックのオン/オフ

グローブボックスおよびテールゲートはロック(いわゆるプライベートロック)することができるため、車両を点検整備に出すときやホテルの駐車サービスに預けるときなどに役立ちます。

注意

プライベートロック機能を有効にするためには、最小要件として、キーがイグニッション位置 **I** になっている必要があります。

44 プライベートロックをかける

1. この機能は機能ビューまたは設定ビューからオンにすることができます。
 - センターディスプレイの機能ビューで **プライベートロック** ボタンを押します。
 - センターディスプレイのトップビューで **設定** を押します。 **My Car → ロッキング** を押します。 **プライベートロック** を選択します。
 - ▶ ポップアップウィンドウが表示されません。

i 注意

この機能を初めて使用する際には、セキュリティコードを選択する必要があります。セキュリティコードは、以前に使用していたPINコードをすべて無効にするときに使用できます。セキュリティコードは安全な場所に保管してください。

i 注意

プライベートロックがオンになっているときに、Volvo On Call* または Volvo On Call* モバイルアプリを使用して車両のロックを解除すると、プライベートロックは自動でオフになります。

2. ロック解除に使用するコードを入力して、**確認** をタップします。
 - ▶ グローブボックスおよびテールゲートがロックされます。ロックがかかると、機能ビューの下に緑のインジケーターが表示され、設定ビューのプライベートロックボックスにチェックが入ります。

プライベートロックを解除する

1. この機能は機能ビューまたは設定ビューからオフにすることができます。
 - センターディスプレイの機能ビューで **プライベートロック** ボタンを押します。
 - センターディスプレイのトップビューで **設定** を押します。 **My Car → ロッキング** を押します。 **プライベートロック** を選択します。
 - ▶ ポップアップウィンドウが表示されません。
2. ロック時に使用したコードを入力して、**確認** をタップします。
 - ▶ グローブボックスおよびテールゲートのロックが解除されます。ロックが解除されると、機能ビューの下の緑のインジケーターと、設定ビューのプライベートロックボックスのチェックが消えます。

関連情報

- グローブボックスの使用 (p. 261)
- テールゲートのロック/ロック解除 (p. 283)

脱着式キーブレード

リモートコントロールキーには金属製の脱着式キーブレードが付属しています。このキーブレードは、多くの機能の起動や一部の操作に使用することができます。

キーブレードは特別なコード番号を使用していますので、新しいキーを注文される場合は、ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

キーブレードの適用箇所

脱着式キーブレードを使用して：

- リモートコントロールキーでセントラルロックを解除できない場合、左側¹² フロントドアを手動で開けることができます。
- すべてのドアを緊急ロックできます。「脱着式キーブレードによるロック/ロック解除」の項を参照してください。
- リアドアの手動チャイルドロックを作動/解除できます。「チャイルドロック」を参照してください。

ボタンレスキー¹³ (Key Tag) には脱着式キーブレードがありません。必要な場合、通常の脱着式キーブレードを使用してください。

キーブレードを外す



1 **1**▶ 前面を上にし、ボルボのロゴを正しい方向に向けてリモートコントロールキーを保持し、下端のキーリング近くにあるボタンを右にスライドさせます。前面のシェルを上方向に数ミリずらします。

2▶ シェルが外れて、キーから離すことができますようになります。



2 **1**▶ キーブレードを上に向けて外します。



3 **1**▶ 使用後は、キーブレードをリモートコントロールキーの元の位置に戻します。シェルを取り付けて、元の位置にスライドさせます。

> カチッという音が聞こえたら、シェルが正しく取り付けられたことを意味します。

関連情報

- 脱着式キーブレードによるロック/ロック解除 (p. 288)
- チャイルドロック (p. 298)
- リモートコントロールキー (p. 274)

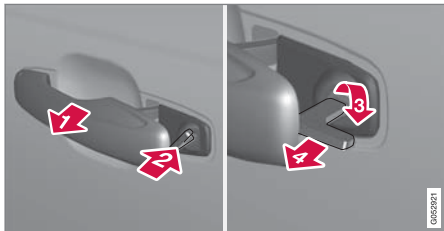
¹² 左ハンドル車、右ハンドル車を問わず適用されます。

¹³ キーレスロック/ロック解除オプション (Passive Entry*) 装備車に付属。

脱着式キーブレードによるロック/ ロック解除

リモートコントロールキーの電池が消耗した場合などは、脱着式キーブレードを使用して、外側から車両をロック解除することができます。

ドアロック解除



- 1 左側¹⁴のフロントドアハンドルをいっぱいまで引き出し、ロックシリンダーが見えるようにします。
- 2 キーをロックシリンダーに差し込みます。
- 3 時計回りに45度回して、キーブレードをまっすぐ後方に向けます。
- 4 キーを45度戻して、開始位置の状態にします。キーをロックシリンダーから抜いて、ハンドルから手を放し、ハンドルの後部を車両に元通りに接触させます。

¹⁴ 右ハンドル車、左ハンドル車を問わず適用されます。

- 5 ハンドルを引き出します。
＞ ドアが開きます。

ロックするときの操作も同様ですが、ステップ(3)の時計回りとは反対に、反時計回りに45度回してください。

① 注意

キーブレードを使用してドアをロック解除し、その後ドアを開けると、アラームが作動します。



トンネルコンソールのバックアップリーダerの場所
以下の手順に従って、アラームを解除します。

- 1 リモートコントロールキーをトンネルコンソールのカップホルダーの底部にあるバックアップリーダerに置きます。

- 2 スタートノブを **START** まで回して手を放します。
＞ ノブは自動的に開始位置に戻ります。アラームシグナルが停止して、アラームがオフになります。

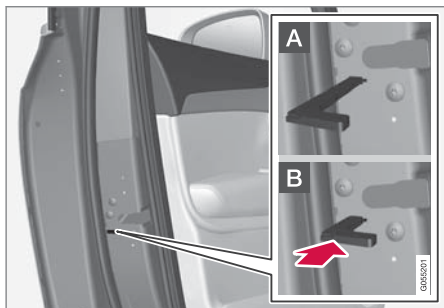
ロック

電源が失われた場合やキーの電池が消耗した場合は、脱着式キーブレードで車両をロックすることもできます。

左側フロントドアは、ロックシリンダーと脱着式キーブレードを使ってロックすることができます。

他のドアにはロックシリンダーはありませんが、代わりに各ドアの端にロックスイッチがあります。これはキーブレードを使用して押し込む必要があります。これを押し込むと機械的にロック/ブロックされ、外側からは開けることができなくなります。

この場合でもドアは内側から開けることができます。



手動ドアロック。チャイルドロックと混同しないでください。

- 脱着式キーブレードをリモートコントロールキーから外します。キーブレードをロックの穴に差し込み、キーを奥まで約 12 mm 押し込みます。

A ドアは、外側からも内側からも開けることができます。

B ドアは外側からは開かなくなります。
A 位置に戻すには、内側ドアハンドルを開くことが必要です。

各ドアは、リモートコントロールキーのロック解除ボタンか、運転席ドアのセントラルロックボタンによってもロック解除できます。

① 注意

- ドアのロックリセットは、そのドアのみに作動します。すべてのドアに同時に作動するわけではありません。
- 手動チャイルドロックを作動させ、手動でロックしたリアドアは、外側からも内側からも開くことができません。このようにロックされたリアドアは、リモートコントロールキーかセントラルロックボタンを使用して、またはインテリアドアハンドルを引くことによりのみ解除することができます。

関連情報

- 脱着式キーブレード (p. 287)

パワーテールゲート*

テールゲートは電動で開閉することができます。

拡張オプションとして、足の動きで開閉することもできます。詳しくは、「足の動きによるパワーテールゲートの開閉」の項を参照してください。



開ける

テールゲートは、ハンドル、足の動き*、メーター・パネルのボタン、またはリモートコントロールキーで開くことができます。



メーター・パネルの開閉ボタン



ロックおよびアラーム

- ◀ テールゲートを開くときは、以下の方法の中から1つ選択します。
 - テールゲートハンドルを軽く押します。
 - メーター・パネルの  ボタンを長押しします。テールゲートが開き始めるまで押したままにします。
 - リモートコントロールキーの  ボタンを長押しします。テールゲートが開き始めるまで押したままにします。

閉める


テールゲートは、メーター・パネルのボタン、足の動き*、リモートコントロールキー、またはテールゲートの下端にあるボタン¹⁵で閉じることができます。

テールゲートを閉じるときは、以下の方法のいずれかを使用します。

- メーター・パネルの  ボタンまたはリモートコントロールキーの  ボタンを長押しします。
 - ◻ テールゲートが自動的に閉じて、確認音が鳴ります。テールゲートはロック解除されたままです。




テールゲートの下側にある開操作およびロック用ボタン

- テールゲートの下端にある  ボタン¹⁵を押します。
 - ◻ テールゲートが自動的に閉じます。テールゲートはロック解除されたままです。

注意

ボタンはハッチを開けてから24時間有効です。その後は手動で閉める必要があります。

- テールゲートを閉じると同時にテールゲートとすべてのドアをロックするには、テールゲートの下端にある  ボタン¹⁵を押します(ロックするにはすべてのドアを閉じておく必要があります)。
 - ◻ テールゲートが自動的に閉じ、テールゲートとドアがロックされ、アラーム¹⁶がセットされます。

注意

リモートコントロールキーがテールゲート近くで検知されない場合、ロック/ロック解除は作動しません。詳しくは「リモートコントロールキー作動範囲」の項を参照してください。

注意

キーフリー*ブロック/クローズを使用する場合、キーがテールゲート近くで検知されないと警告音が3回鳴ります。詳しくは「リモートコントロールキー作動範囲」と「ロックおよびリモートコントロールキー」の項を参照してください。

¹⁵ キーレスロック/ロック解除機能(Passive Entry*)装備車には、閉じるためのボタンが1つと、閉じてロックするためのボタンが1つあります。

¹⁶ 一部の市場でのオプション。

重要

テールゲートを手で開閉する際は、ゆっくりと開閉してください。抵抗が感じられる場合は、無理に開閉しないでください。損傷または故障の可能性があります。


開/閉操作をキャンセルする

- 開/閉操作をキャンセルするには、5通りの方法があります。
 - メーター・パネルのボタンを押します。
 - リモートコントロールキーのボタンを押します。
 - テールゲートの下端にある閉ボタン¹⁵を押します。
 - アウターハンドルの下側のラバー加工されたプレッシャープレートを押します。
 - 足の動き*を使用します(詳しくは、「足の動きによるパワーテールゲートの開閉」の項を参照してください)。
- ▷ テールゲートの動きが中断されて停止し、手動で操作できるようになります。


開く際の最高位置はプログラム可能

テールゲートを開く際の最高位置は、天井の低いガレージなどに合うように調節することができます。

最高位置を調節するには

1. テールゲートを開けて、開いた位置で止めます。
2. テールゲートの下側にある  ボタンを3秒以上押します。
 - ▷ 設定位置が保存されたことを示す、短い確認音が2回鳴ります。

最高位置をリセットするには

- テールゲートを可能な範囲でもっとも高い位置まで手で動かし、テールゲートの  ボタンを3秒以上押します。
 - ▷ 設定位置が消去されたことを示す確認音が2回鳴ります。テールゲートを開くと、もっとも高い位置まで開くようになります。

注意

- システムが長時間継続して作動していた場合には、過重負担を避けるためオフになります。約2分経過すると、再び作動させることができます。

ピンチプロテクション

テールゲートの開閉がある程度の力により妨げられると、ピンチプロテクションが作動します。

警告

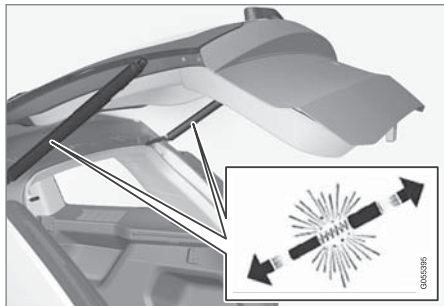
開閉時に挟まれる危険があるのでご注意ください。挟まれたことで深刻な事態をまねくおそれもあるので、開閉前にテールゲートの近くに誰もいないことを確認してください。

テールゲートの操作は、つねに慎重に行ってください。

¹⁵ キーレスロック/ロック解除機能(Passive Entry*)装備車には、閉じるためのボタンが1つと、閉じてロックするためのボタンが1つあります。



◀ プリテンションスプリング



パワーテールゲート用のプリテンションスプリング

⚠ 警告

パワーテールゲートのプリテンションスプリングを分解しないでください。高圧がかかっているため、分解するとケガをする可能性があります。

関連情報

- 足の動きによるテールゲートの開閉*
(p. 292)
- リモートコントロールキーの作動範囲
(p. 276)

足の動きによるテールゲートの開閉*

テールゲートはリアバンパーの下で前方へキックをするような動作をすることで開閉することができます。手がふさがっているときでも簡単に操作できます。



センサーはバンパー中央の左に取り付けられています¹⁷。

テールゲートを開閉するためには、車両のリモートコントロールキー(1個)が車両後方の作動範囲内¹⁸にある必要があります。この条件はすでにロック解除されている車両にも該当します。洗車時などに不意に開くことを防止するためです。

操作



検知器の作動有効領域内でキックをするような動作をします。

¹⁷ スキッドプレート/ディフューザー*が装備されている場合、センサーはバンパーの左コーナー寄りに取り付けられています。

¹⁸ 詳しくは、「リモートコントロールキーの作動範囲」の項を参照してください。

開閉

- リアバンパーの左下で前方へゆっくりとキックをするような動作を**1度**行います。次に後ろへ一歩下がります。バンパーに触れないようにします。
 - ＞ 開/閉動作がオンになると、短い確認音が鳴り、テールゲートが開きます/閉じます。
 - テールゲートが開位置にあるときは、足の動きにより閉じます。

テールゲートは、メーター・パネルのボタン、リモートコントロールキー、またはテールゲートの下にあるボタン¹⁹で閉じることもできます。詳しくは、「パワーテールゲート」の項を参照してください。

承認済みのリモートコントロールキーが車両の後方ない状態でキックをするような動作を複数回行くと、しばらく経過するまでテールゲートを開くことはできません。

キックをするような動作をしているときは、足が車両の下に入ったままにならないようにします。起動に失敗する場合があります。

開/閉操作をキャンセルする

- テールゲートの開閉中にテールゲートの動きを止めるには、前方へゆっくりとキックをするような動作を**1度**行います。

開閉をキャンセルするときに、リモートコントロールキーが車両の近くにある必要はありません。

① 注意

リアバンパーに大量の水、雪、汚れなどが付着していると、機能が低下する、またはまったく動作しなくなる可能性があります。このため、つねにきれいな状態に保つようしてください。

① 注意

リモートコントロールキーが作動範囲内にある場合、洗車機などでシステムがオンになる可能性がありますのでご注意ください。

スキッドプレート/ディフューザー*アクセサリ装備車両

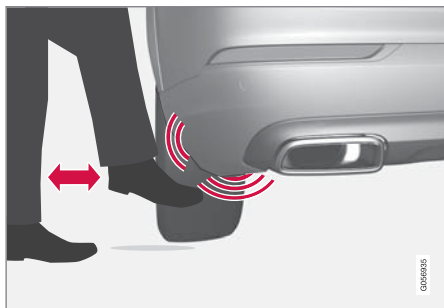
スキッドプレート/ディフューザー*アクセサリが装備されている場合、センサーはバンパーの左コーナー寄りに取り付けられています。



スキッドプレート/ディフューザー*アクセサリが装備されている場合、センサーはバンパーの左コーナー寄りに取り付けられています。

スキッドプレート/ディフューザー*アクセサリが装備されている場合、足の動きで開閉をするには、車両の横からキックをするような動作をします。

¹⁹ キーレスロック/ロック解除機能 (Passive Entry)*装備車のみ適用されます。



検知器の作動有効領域内でキックをするような動作をします。

関連情報

- テールゲートのロック/ロック解除 (p. 283)
- パワーテールゲート* (p. 289)
- リモートコントロールキーの作動範囲 (p. 276)

リモートコントロールキーの電池交換

リモートコントロールキーの電池が消耗した場合、電池を交換する必要があります。

① 注意

すべてのバッテリーの耐用年数には限りがあり、最終的には交換が必要です(Key Tagには適用されません)。バッテリーの耐用年数は、車両/キーの使用頻度により異なります。

以下の場合には、リモートコントロールキーの電池を交換する必要があります。



インフォメーションシンボルが点灯し、**車の鍵バッテリー低下 取扱説明書を参照して下さい** というメッセージがドライバーディスプレイに表示された場合

および/または

- 車両から 20 m 以内の距離でリモートコントロールキーから繰り返し信号を送っても、ロックが反応しなくなった場合

① 注意

必ず車両に近づいて、もう一度ロック解除操作を試してください。

ボタンレスキー²⁰ (Key Tag) のバッテリーは交換できません。ボルボ指定のサービス工場²⁰で新しいキーを注文することができます。

① 重要

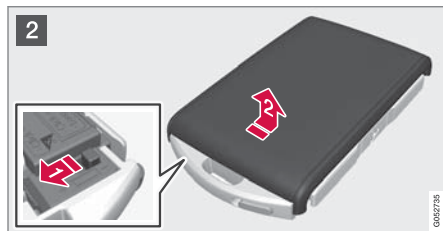
電池が消耗した Key Tag は、必ず正規ボルボサービス工場へお渡しください。電池が消耗していてもバックアップスタートにより車両を始動することが可能なため、キーを車両から削除する必要があります。

²⁰ このキーは、キーレスロック/ロック解除オプション (Passive Entry*) 装備車に付属しています。

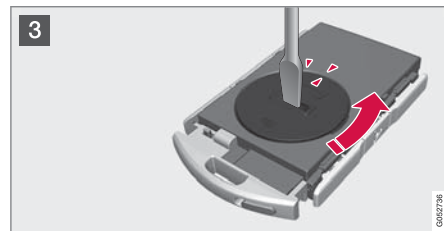
交換方法



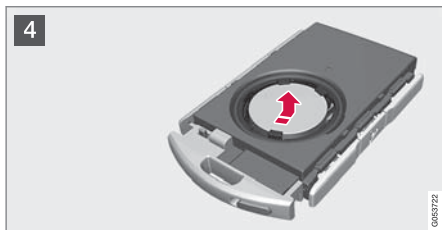
- 1 **1**▶ 前面を上にし、ボルボのロゴを正しい方向に向けてリモートコントロールキーを保持し、下端のキーリング近くにあるボタンを右にスライドさせます。前面のシェルを上方向に数ミリずらします。
- 2**▶ シェルが外れて、キーから離すことができるようになります。




- 2 **1**▶ ボタンを横に動かして、裏面のシェルを上方向に数ミリずらします。
- 2**▶ シェルが外れて、キーから離すことができるようになります。



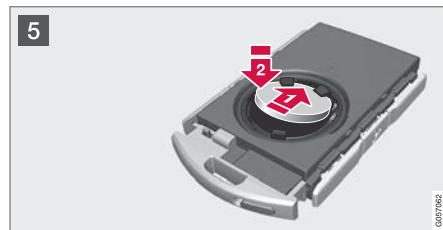
- 3 **1**▶ ドライバーなどを使用して、バッテリーカバーを反時計回りに回し、マークを **OPEN** に合わせます。
- 1**▶ 爪などを窪みに押し込み、カバーを慎重に持ち上げます。
- 2**▶ カバーを上方向にこじ開けます。




- 4  電池の(+)側が上を向いています。図のように、電池を慎重に取り出します。


 **重要**

新しいバッテリーやその端子表面を手で触れないでください。機能が低下するおそれがあります。



- 5 (+)側を上に向けて、新しい電池を取り付けます。リモートコントロールキーの電池接点を指で触らないようにしてください。

 エッジを下にしてバッテリーをホルダーに入れます。次にバッテリーを前方にスライドさせて、2つのプラスチックの留め具の下にはめ込みます。

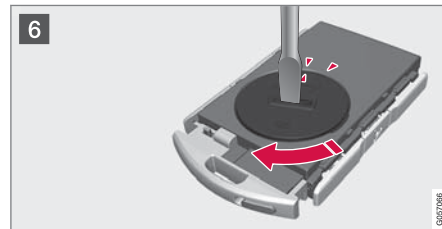
 バッテリーを押し込み、上側にある黒いプラスチックの留め具の下にはめ込みます。

 **注意**

CR2032 (3V)の電池を使用してください。

 **注意**

ボルボでは、リモートコントロールキーのバッテリーには、UN Manual of Test and Criteria, Part III, sub-section 38.3 の適合品を使用することをお勧めしています。工場出荷時のバッテリーまたはボルボ指定のサービス工場で交換されたバッテリーは、上記の基準を満たしています。



- 6 カバーを元通りに取り付けて時計回りに回し、マークを **CLOSE** に合わせます。



7 **1**▶ リアサイドのシェルを元の位置に戻し、カチッという音がするまで押し込みます。

2▶ 次にシェルをスライドさせて戻します。

> さらにカチッという音が聞こえたら、シェルが正しく取り付けられたことを意味します。



8 **1**▶ リモートコントロールキーを回してカチッという音がするまで押し込み、フロントサイドのシェルに再度取り付けます。

2▶ 次にシェルをスライドさせて戻します。
> さらにカチッという音が聞こえたら、シェルが正しく取り付けられたことを意味します。

! **重要**
使用済みのバッテリーは、環境に優しい方法で処分してください。

関連情報

- リモートコントロールキー (p. 274)

イモビライザー

電子式イモビライザーは、侵入者が車両を始動するのを防ぐ盗難防止システムです。

車両は適切なリモートコントロールキーでのみ始動することができます。

ドライバーディスプレイに表示される以下のエラーメッセージは、電子式イモビライザーと関連しています。


シンボル	メッセージ	意味
	車の鍵が見付らない 取扱説明書を参照して下さい	始動時のリモートコントロールキー読み取りエラー。キーをキーシンボル近くのカップホルダーに入れて、もう一度お試しください。

追跡システム付きリモートコントロールイモビライザー²¹

車両には、車両を追跡し、位置を割り出すことができるシステムが装備されており、イモビライザーを遠隔操作してエンジンの始動を阻むことができます。このシステムの起動に関するお問い合わせやご相談は、最寄りのボルボディーラーにご連絡ください。

²¹ 特定市場のみ。使用には Volvo On Call*が必要。

- ◀◀ ドライバーディスプレイに表示される以下のエラーメッセージは、追跡システム付きリモートコントロールイモビライザーと関連していません。

シンボル	メッセージ	意味
	リモートエンジンロック 車を始動できません	追跡システム付きリモートコントロールイモビライザーが作動しています。車両は始動できません。Volvo On Call サービスセンターに連絡します。

関連情報

- リモートコントロールキー (p. 274)
- リモートコントロールキーの作動範囲 (p. 276)

チャイルドロック

チャイルドロックは、お子様が内側からリアドアを開けるのを防ぎます。ロックには電動式*と手動式があります。

電動による作動/解除*

パワー・チャイルドロックは、0以外のすべてのイグニッション位置で作動/解除できます。作動/解除は、エンジンを停止してから2分以内に行うことができます。ただし、いずれのドアも開いていないことが前提です。詳しくは、「イグニッション位置」の項を参照してください。



電動作動/解除用ボタン

1. エンジンを始動するか、0以外のイグニッション位置を選択します。

2. 運転席ドアのコントロールパネルのボタンを押します。

◁ ドライバーディスプレイに **リアチャイルドロック作動状態** のメッセージが表示され、ボタンのランプが点灯します。ロックが作動していることを表します。



パワー・チャイルドロックが作動しているとき:

- パワーウィンドは、運転席ドアのコントロールパネルスイッチでのみ開けることができます。
- リアドアは内側から開けられません。

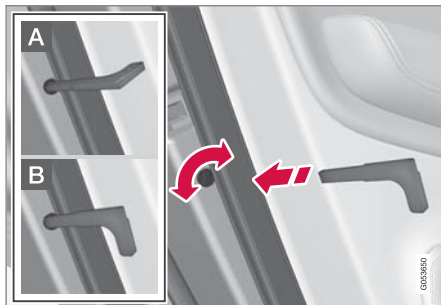
ロックを解除するには:

- 運転席ドアのコントロールパネルのボタンを押します。
 - ◁ ドライバーディスプレイに **リアチャイルドロック不動作状態** のメッセージが表示され、ボタンのランプが消灯します。ロックが解除されていることを表します。

エンジンを切ると、その時点での設定が保存されます。すなわち、エンジン停止時にチャイルドロックが作動していれば、次回エンジンを始動したときにも作動したままとなります。

シンボル	メッセージ	意味
	リチャイルド [®] ロック作 動状態	チャイルドロック が有効になっ ています
	リチャイルド [®] ロック不 作動状態	チャイルドロッ クが無効になっ ています

手動による作動/解除




手動チャイルドロックがかかった状態。手動ドアロックと混同しないでください。

- 脱着式キーブレードでノブを回してください。詳しくは、「脱着式キーブレード」の項を参照してください。

A ドアは内側から開かなくなります。

B ドアは、外側からも内側からも開けることができます。

 注意
<ul style="list-style-type: none"> ● ドアのノブコントロールは、そのドアのみに作動します。両方のリアドアに同時に作動するわけではありません。 ● 電動チャイルドロック装着車には、手動チャイルドロックは装着されていません。

関連情報

- 脱着式キーブレード (p. 287)
- イグニッション位置 (p. 410)

アラーム²²


アラームは車両への不正侵入時などに警告します。

作動可能状態のアラームは、次のようなときに作動します：

- ドア、ボンネット、またはテールゲートが開けられたとき
- 車内の動きを感知したとき (ムーブメントセンサー*装着車の場合)
- 車両が持ち上げられたり、けん引されたとき (チルトセンサー*装着車の場合)
- メインバッテリーのケーブルの接続が外されたとき
- サイレンの接続を切断しようとしたとき



アラームシステムに故障が検知されると、ドライバーディスプレイにシンボル、および**アラームシステム故障 販売店にお問い合わせください**というメッセージが表示されます。ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

 注意
アラームシステムの部品は、絶対にご自身で修理や改造をしないでください。保険が適用されなくなる場合があります。



① 注意

車内でなんらかの動きが検知されると、ムーブメントセンサーによりアラームが作動します。気流も動きとして感知されます。このため、ウインドまたはパノラマルーフが開いたままになっている場合や車内ヒーターが作動している場合には、アラームが作動するおそれがあります。

こうした状況を避けるには：車両から離れる場合には、ウインド/パノラマルーフを閉じてください。車に一体化されているパーキングヒーター(またはポータブル電気ヒーター)を使用する場合には、空気吹出口からの気流が車内上方に向かうことがないように気流を調整してください。または、アラームレベルを引き下げます。この項目の後の説明を参照してください。

アラームのセット

車両をロックしてアラームをセットする場合、以下の方法があります。

- リモートコントロールキーのロックボタンを押します
- ドアハンドルの外側のマーク部分に触れます²³

- テールゲートのラバー加工されたプレッシャープレートを押します²³。

パワーテールゲート装備車では、車両をロックしてアラームをセットする場合、テールゲートの下面にあるボタンを使用することもできます。

アラームを非作動状態にする

車両をロック解除してアラームを解除する場合、以下の方法があります。

- リモートコントロールキーのロック解除ボタンを押します
- いずれかのドアハンドルを握ります²³
- テールゲートのラバー加工されたプレッシャープレートを押します²³。

作動したアラームの停止

- リモートコントロールキーのロック解除ボタンを押すか、スタートノブを **START** まで回して手を放し、イグニッション位置 **I** にします。

① 注意

- 車両がロックされているときは、アラームが有効になっていますのでご注意ください。
- いずれかのドアを車内から開けた場合、アラームが作動します。

アラームシグナル

アラームが作動したときは：

- サイレンは、30 秒間またはアラームを解除するまで鳴ります。
- すべての方向指示器が 5 分間、またはアラームを解除するまで点滅します。

アラーム作動の原因になったドアが開いたまま放置された場合、アラームのサイクルが最大 10 回繰り返されます²⁴。

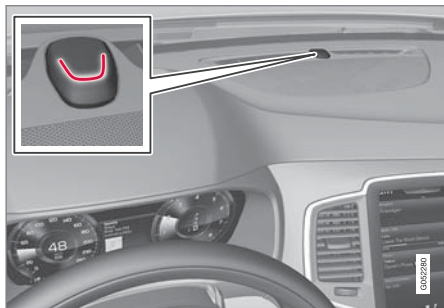
ロック & アラームインジケーター

ダッシュボードにある赤い LED が、アラームシステムの状態を表示します：

²² 一部の市場でのオプション。

²³ キーレスロック/ロック解除機能(Passive Entry*) 装備車のみ適用されます。

²⁴ 特定市場に適用



- LED 消灯 - アラームが解除されています。
- LED が 2 秒に 1 回点滅 - アラームがセットされています。
- アラームの解除後、最長で 30 秒間、またはスタートノブを **START** まで回し指を放してイグニッション位置 **I** を選択するまで LED が高速点滅 - アラームが作動したことを表しています。

アラームの機能解除

ムーブメントセンサーおよびチルトセンサーを一時的に解除して盗難防止を解除します。

車内に犬を残すときや、列車やフェリーで車両を輸送する場合などは、アラームが誤作動しないように、ムーブメントセンサーおよびチルトセンサーを一時的に解除してください。この手順は、デッドロック機能の一時解除と同じです。この操作は、センターディスプレイの機能

ビューから **ガード解除** を押して行うこともできます。

詳しくは、「デッドロック」の項を参照してください。

関連情報

- アラームの自動セット/再セット (p. 301)
- リモートコントロールキーを使用しないアラームの解除 (p. 302)
- デッドロック (p. 282)

アラームの自動セット/再セット²⁷

アラームの自動再セットは、アラームをセットし忘れた状態で、車両が放置されるのを防ぐ機能です。

リモートコントロールキーで車両をロック解除(およびアラーム解除)してから 2 分以内にドアまたはテールゲートを開けないと、アラームは自動的に再びセットされます。同時に車両もロックされます。

一部の市場では、運転席ドアを開閉した後にロックしないでおくと、しばらく経過後に自動的にアラームが再セットされます。

関連情報

- アラーム (p. 299)
- リモートコントロールキーを使用しないアラームの解除 (p. 302)

リモートコントロールキーを使用しないアラームの解除³⁰

リモートコントロールキーが電池切れなどにより機能しない場合でも、車両のロック解除およびアラームの解除を行うことができます。

1. 脱着式キーブレードを使用して、運転席ドアをロック解除します。
 - ＞ アラームは、次のようなときに作動します：



カップホルダー内のバックアップリーダーの場所

2. リモートコントロールキーを、トンネルコンソールのカップホルダー内にあるバックアップリーダーの中に置きます。
3. スタートノブを **START** まで回して、ノブから手を放します。
 - ＞ アラームが解除されます。

関連情報

- アラーム (p. 299)
- アラームの自動セット/再セット (p. 301)
- 脱着式キーブレード (p. 287)
- エンジンを始動する (p. 411)

²⁷ 一部の市場でのオプション。

³⁰ 一部の市場でのオプション。

リモートコントロールキーシステムの型式認定

リモートコントロールキーシステムの型式認定が表内に記載されています。

ロックシステム - キーレススタート (Passive Start) およびキーレスロック/ロック解除 (Passive Entry*)



リモートコントロールキーシステムの CEM マーク追加の型式認定番号については、下の表を参照してください

国/地域	型式認定	
ヨルダン	TRC/LPD/2014/250	
セルビア	P1614120100	
アルゼンチン	CNC ID: C-14771	

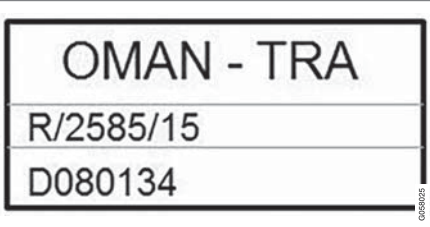





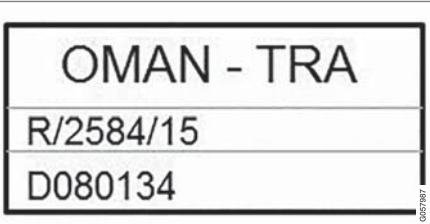
国/地域	型式認定	
ブラジル	MT-3245/2015	
インドネシア	Nomor: 38301/SDPPI/2015	
マレーシア	RAAT/37A/0315/S (15-0663)	
メキシコ	IFETEL: RLVDEV015-0396	
ロシア		
アラブ首長国連邦	ER37847/15 DA0062437/11	

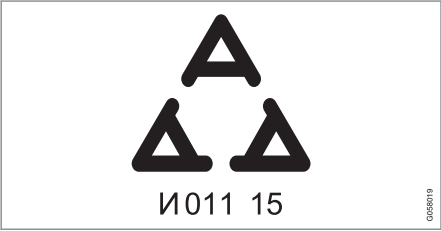

リモートコントロールキーシステムの型式認定の詳細については、support.volvocars.com を参照してください。

リモートコントロールキー

国/地域	型式認定	
ヨルダン	TRC/LPD/2015/104	
オマーン		 <p>OMAN - TRA R/2585/15 D080134</p>
アラブ首長国連邦		 <p>TRA REGISTERED No: ER38970/15 DEALER No: DA36976/14</p>

◀ キータグ

国/地域	型式認定	
ヨルダン	TRC/LPD/2015/107	
オマーン		

国/地域	型式認定	
セルビア		
アラブ首長国連邦		

関連情報

- リモートコントロールキー (p. 274)

運転者サポート

速度感应式のステアリングホイール操舵力

速度感应式パワーステアリングは、車速が上がるとステアリングを重くしてハンドル操作をしやすくします。

高速道路では、ステアリングはさらに重く感じられます。駐車時や低速走行時はステアリングホイールが軽くなり、わずかな力で操舵できます。

i 注意

状況により、パワーステアリングの温度が上がりすぎて、一時的に冷却が必要になることがあります。この間、パワーステアリングのアシスト力が低下するため、ステアリングホイールを回すときに、通常よりも少し重く感じられることがあります。

ステアリングのアシスト力が一時的に低下すると、ドライバーディスプレイにメッセージが表示されます。

ステアリングホイール操舵力を変更する*

操舵力のレベルを選択するには、「ドライブモード」の項の「選択可能なドライブモード」のオプション、INDIVIDUAL に関する説明を参照してください。

走行中はこの設定にアクセスすることができません。

関連情報

- ドライブモード (p. 422)

エレクトロニック・スタビリティ・コントロール

エレクトロニック・スタビリティ・コントロール (Electronic Stability Control - ESC) は、横滑りの回避を支援し、車両のトラクションを向上させます。



制動中に ESC が作動すると、振動音が聞こえることがあります。アクセルペダルを踏み込むと、通常よりゆっくり加速します。

! 警告

スタビリティ・システム ESC は補助機能であり、あらゆる状況のすべての道路条件に対応できるわけではありません。

安全運転を行い、適用されている交通法規や規則に従う責任は、つねに運転者にあります。

ESC システムは以下の機能で構成されています。

- アクティブ・ヨー・コントロール
- スピンコントロール
- トラクション・コントロール・システム
- エンジン・ドラッグ・コントロール
- トレーラー・スタビリティ・アシスト

アクティブ・ヨー・コントロール

この機能は、個々の車輪の回転と制動力をコントロールして、車両を安定させます。

スピンコントロール

この機能は、加速中に駆動輪が空転することを防ぎます。

トラクション・コントロール・システム

この機能は、低速走行時に作動し、アクセルを踏んだときに駆動輪の片側が空転すると、その車輪の駆動力を空転していない側の車輪に伝えます。

エンジン・ドラッグ・コントロール

エンジン・ドラッグ・コントロール(Engine Drag Control - EDC)は、滑りやすい路面を低めのギヤで走行中にエンジンブレーキをかけた場合や、シフトダウンした場合などに、不意なホイールロックを防止します。

走行中の不意なホイールロックは、運転者が車両の制御を失う原因の一つとなります。

トレーラー・スタビリティ・アシスト*1

トレーラー・スタビリティ・アシスト(Trailer Stability Assist - TSA)は、蛇行が発生した場合に車両とトレーラーを安定させる機能です。詳しくは、「トレーラーなどのけん引」の項を参照してください。

① 注意

スポーツモードをオンにすると、TSA機能がオフになります。

関連情報

- エレクトロニック・スタビリティ・コントロールのスポーツモード (p. 311)
- エレクトロニック・スタビリティ・コントロールのシンボルおよびメッセージ (p. 313)
- Roll Stability Control (p. 315)
- トレーラーなどのけん引 (p. 450)

エレクトロニック・スタビリティ・コントロールのスポーツモード

エレクトロニック・スタビリティ・コントロール(Electronic Stability Control - ESC)は、横滑りの回避を支援し、車両のトラクションを向上させます。

ESC システムはつねにオンの状態です。オフにすることはできません。しかし、運転者がスポーツモードを選択すると、よりアクティブな運転が可能になります。

スポーツモードでは、ESC システムがアクセルペダルやステアリングホイールの動き、さらにコーナリングをモニターし、通常よりもアクティブに運転しているとシステムが判断すると、一定範囲内で後輪の意図的なスリップを許容します。スリップが一定レベルを超えると、システムが介入し、車両を安定させます。

例えば、運転者がアクセルペダルから足を放して、意図的なスリップを止めると、ESC システムが介入して、車両を安定させます。

スポーツモードでは、車両が動けなくなった場合や、砂や深い雪など緩い路面を走行している際にも、最大のトラクションが得られるようになります。

*1 トレーラー・スタビリティ・アシストはボルボ純正トウバーの取り付けに含まれます。

◀ スポーツモードを選択/解除する



スポーツモードはセンターディスプレイの機能ビューで起動/解除します。

- 機能ビューで **ESC スポーツモード** をタップします。
 - > スポーツモードが起動/解除され、緑色/灰色のインジケーターがボタンに表示されます。



ドライバーディスプレイは、機能が解除されるか、エンジンを停止するまで、このシンボルを点灯させることにより、スポーツモードを示します。次のエンジンの始動後には、ESC システムは通常モードに戻ります。

スポーツモードの限界

速度リミッター、クルーズコントロールまたはアダプティブクルーズコントロール機能のひとつがオンになっているときは、**ESC スポーツモード** 機能は選択できません。

関連情報

- エレクトロニック・スタビリティ・コントロール (p. 310)
- 速度リミッター* (p. 315)
- クルーズコントロール (p. 322)






- アダプティブクルーズコントロール* (p. 326)

エレクトロニック・スタビリティ・コントロールのシンボルおよびメッセージ

ドライバーディスプレイには、エレクトロニック・スタビリティ・コントロール(Electronic

Stability Control - ESC)に関する多くのシンボルおよびメッセージが表示される可能性があります。

いくつかの例が以下の表に示されています。

シンボル	メッセージ	意味
	約 2 秒間点灯します。	エンジン始動時のシステムチェック
	点滅灯	ESC システムが起動中です。
	点灯状態	スポーツモードが選択されています。 注意: このモードの場合、ESC システムは解除されていません。一部制限されているだけです。
	ESC(横滑り防止装置) 一時的に OFF	ブレーキが高温になり過ぎて、ESC システムが一時的に制限されたことを示します。ブレーキ温度が正常に戻ると、機能は自動的に作動状態に戻ります。
	ESC(横滑り防止装置) 販売店に お問い合わせください	ESC システムが解除されています。 <ul style="list-style-type: none"> 安全な場所に停車して、エンジンを一度停止し、その後再始動してください。 メッセージが残る場合は、ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

◀◀ 関連情報

- エレクトロニック・スタビリティ・コントロール (p. 310)
- エレクトロニック・スタビリティ・コントロールのスポーツモード (p. 311)
- ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイのメッセージの管理 (p. 149)

Roll Stability Control

Roll Stability Control (RSC)はスタビライザーシステムで、急ハンドル時またはスリップ時などに車両が横転する危険性を最小限に抑えます。

RSC システムは、車両の側方傾斜の変化や、その度合いを検知します。このセンサーからの情報を基に、システムは横転の危険性を予測します。車両が危険な状態になると、エレクトロニック・スタビリティ・コントロールが起動し、エンジントルクを小さくして車両が安定性を回復するまで1本または複数のホイールにブレーキをかけます。

警告

RSC システムは、通常の走行条件下で走行時の安全性を高める機能です。ただし、このシステムが働いているからといって、むやみに走行速度を上げないでください。必ず、安全運転のための一般的な注意事項に従ってください。

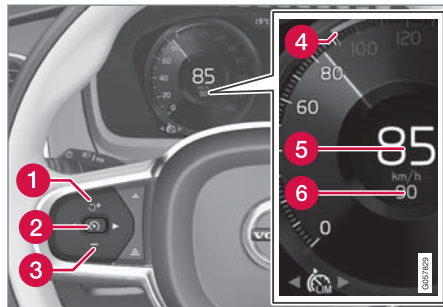
関連情報

- エレクトロニック・スタビリティ・コントロール (p. 310)
- 重要な安全上のご注意！ (p. 96)

速度リミッター*

速度リミッター(Speed Limiter - SL)は、クルーズコントロールが逆になったものとみなすことができます。運転者がアクセルペダルで速度を調節しますが、事前に選択/設定した上限速度を不用意に上回ることを速度リミッターが防止します。

概要



機能のボタンとシンボル

- 1 設定上限速度を上げます。または、速度リミッターを再度オンにして、設定上限速度を有効にします
- 2 速度リミッターをオンにして、現在の速度を記憶します。または、速度リミッターをオフにします
- 3 設定上限速度を下げます
- 4 設定上限速度用マーカー

- 5 車両の現在速度
- 6 設定上限速度

警告

速度リミッターは支援機能に過ぎません。すべての交通状況、天候および路面の状態に対応できるものではありません。

運転者はつねに交通状況に注意し、速度リミッターが適切な速度を維持していないときには適宜対応する必要があります。

速度リミッター機能を使用しているときでも、交通規則および規制に従って車両を安全に運転する最終的な責任はつねに運転者にあります。

作動限界

急な下り坂では、速度リミッターのエンジンブレーキだけでは不十分となり、設定上限速度を超過する場合があります。この場合、運転者への警告として、ドライバーディスプレイにメッセージ **制限速度を超過しました** が表示されます。

注意

上限速度を 3 km/h (ca 2 mph) 以上超えると、上限速度を超えたことを知らせるメッセージが表示されます。

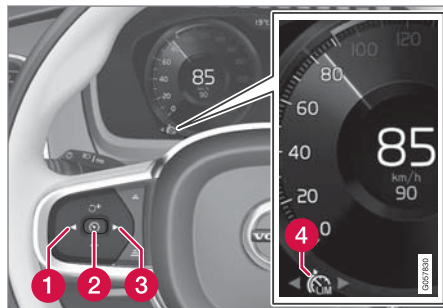


◀◀ 関連情報

- 速度リミッターの作動と起動 (p. 316)
- 速度リミッターの速度を管理する (p. 317)
- 速度リミッターの解除/再作動 (p. 317)
- 速度リミッター をオフにする (p. 318)
- 自動速度リミッター* (p. 319)


速度リミッターの作動と起動

速度を制限させるには、最初に速度リミッター機能 (Speed Limiter - SL) を選択して作動させておく必要があります。





機能のボタンとシンボル

速度リミッターを作動させる

- ◀ (1) または ▶ (3) を押して、シンボル/機能  (4) に移動します。
 - > シンボルが表示され、速度リミッターが作動可能な状態になります。

速度リミッターを起動します。

設定可能な上限速度の下限は 30 km/h (20 mph) です。

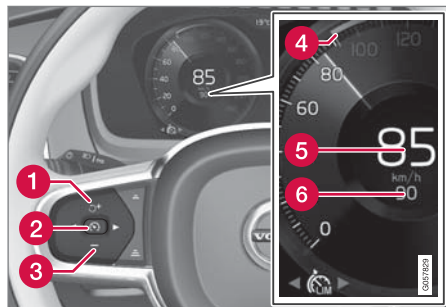
- シンボル/機能  が表示されているときに、ステアリングホイールのボタン  (2) を押します。
 - > 速度リミッターが起動して、現在の速度が上限速度として記憶されます。

関連情報

- 速度リミッター* (p. 315)
- 速度リミッターの速度を管理する (p. 317)
- 速度リミッターの解除/再作動 (p. 317)
- 速度リミッター をオフにする (p. 318)

速度リミッターの速度を管理する

速度リミッター (Speed Limiter - SL) はさまざまな速度に設定することができます。



機能のボタンとシンボル

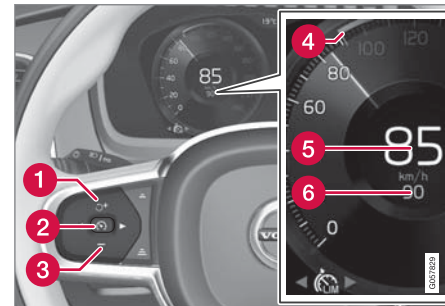
- 設定上限速度を変更するには、ステアリングホイールのボタン **+** (1) または **-** (3) を短くまたは長く押しします。
 - +/- 5 km/h (+/- 5 mph) 調節するには、短く押しします。押すたびに +/- 5 km/h (+/- 5 mph) ずつ変化します。
 - +/- 1 km/h (+/- 1 mph) 単位で変更するには、ボタンを長押しし、ドライバーディスプレイのインジケーター(4)が目標上限速度を表示した時点で指を離してください。
- > 最後に押したときの速度がメモリーに記憶されます。

関連情報

- 速度リミッター* (p. 315)
- 速度リミッターの作動と起動 (p. 316)
- 速度リミッターの解除/再作動 (p. 317)
- 速度リミッター をオフにする (p. 318)


速度リミッターの解除/再作動

速度リミッター (Speed Limiter - SL) は一時的に解除してスタンバイモードにすることができます。この場合、後で再作動させることができます。




機能のボタンとシンボル

速度リミッターを解除してスタンバイモードにする


- ステアリングホイールのボタン  (2) を押しします。
 - > ドライバーディスプレイの上限速度マークとシンボルの色が白から灰色に変わります。これは速度リミッターが一時的に解除されたことを示します。運転者は設定された上限速度よりも速い速度で運転することができます。



◀ スタンバイモードからの速度リミッターの再作動

- ステアリングホイールのボタン  (1) を押します。
 - > ドライバーディスプレイの上限速度マークの色が灰色から白に変わり、車速は最後に記憶された上限速度に制限されます。

または

- ステアリングホイールのボタン  (2) を押します。
 - > ドライバーディスプレイの速度リミッターインジケーターおよびシンボルの色が灰色から白に変わり、車両は現在の速度を上限速度として適用します。

アクセルペダルによる一時的な加速

速度リミッターは、速度リミッターをスタンバイモードに設定しなくてもアクセルペダルの操作で一時的に無効にすることができるため、危険な状況から脱出する場合などに急加速することができます。必要な状況では、以下のように操作してください。

1. アクセルペダルをいっぱいまで踏み込み、目標の速度に到達した時点で踏み込みをゆるめて加速を中断します。
 - > この場合、速度リミッターは作動状態を維持するため、ドライバーディスプレイのシンボルは白色です。

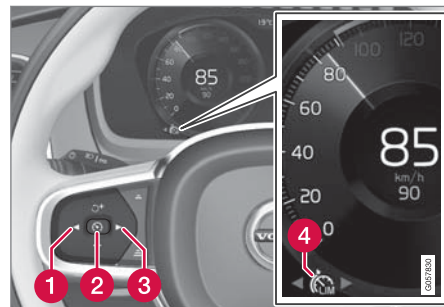
2. 一時的な加速が完了したら、アクセルペダルから足を完全に放します。
 - > 最後に設定された上限速度を下回るまで車両に自動的にブレーキがかかります。

関連情報




- 速度リミッター* (p. 315)
- 速度リミッターの作動と起動 (p. 316)
- 速度リミッターの速度を管理する (p. 317)
- 速度リミッター をオフにする (p. 318)


速度リミッター をオフにする

速度リミッター (Speed Limiter - SL) は解除することができます。



機能のボタンとシンボル

1. ステアリングホイールのボタン  (2) を押します。
 - > 速度リミッターがスタンバイモードになります。
2. ステアリングホイールのボタン  (1) または  (3) を押して、別の機能に切り替えます。
 - > ドライバーディスプレイで点灯中の速度リミッターのシンボルおよび表示灯 (4) が消灯し、設定上限速度が削除されます。

3. ステアリングホイールのボタン  (2)を再度押します。
 > 別の機能がオンになります。

関連情報

- 速度リミッター* (p. 315)
- 速度リミッターの作動と起動 (p. 316)
- 速度リミッターの速度を管理する (p. 317)
- 速度リミッターの解除/再作動 (p. 317)

自動速度リミッター*

自動速度リミッター機能(Automatic Speed Limiter - ASL)は、道路標識で表示されている速度を守るように車両の上限速度を設定します。

速度リミッター機能(Speed Limiter - SL)は、自動速度リミッターに切り替えることができます。

自動速度リミッターは道路沿いの速度標識をスキャンし、標識で表示されている速度を守るように車両の上限速度を調整します。この機能は、ロード・サイン・インフォメーション機能(Road Sign Information - RSI)とよく似ています。

警告

運転者が速度に関する交通標識を明確に見ることができる場合でも、標識の角度や配置が不適切であったり、汚れていたり、または位置が高すぎたりすることにより、カメラが正しく読み取ることができないことがあります。こういった場合は、運転者が加速またはブレーキをかけることにより、正しい速度を保つ必要があります。

SL または ASL のどちらが作動しているか。


ドライバーディスプレイのシンボルは、どちらの速度リミッターが作動しているかを示します。

シンボル	SL	ASL
 A	✓	✓
 「70」よりも後の標識シンボル ^B = ASL が作動中		✓

A VIT シンボル：機能作動中、灰色のシンボル：スタンバイモード

B シンボルの色が表す意味については、次の「ASL シンボル」の項を参照してください。

ASL シンボル

 標識シンボル(スピードメーターの中央に設定速度「70」と一緒に表示される)は、3色で表示され、それぞれの意味は以下の通りです。

標識シンボルの色	意味
黄緑色	ASL が作動中
灰色	ASL がスタンバイモード
オレンジ色	ASL が一時的にスタンバイモード ^A

^A 例えば、標識のスキャンに失敗した場合など。

作動限界

自動速度リミッターの調整は、まず車両が制限速度の道路標識を通過した後に行われます。標識の角度が悪い、標識が汚れている、視界が良好ではないなどの理由で道路標識を認識できない場合、ASL はスタンバイモードになり、SL が起動します。

そのような場合、運転者は適切な速度まで減速する責任があります。車両が認識可能な道路標識を通過すると、ASL は再起動します。

関連情報

- 速度リミッター* (p. 315)
- 自動速度リミッターの作動/解除 (p. 320)

- 自動速度リミッターの許容範囲の変更 (p. 321)
- ロード・サイン・インフォメーション* (p. 359)


自動速度リミッターの作動/解除

自動速度リミッター機能(Automatic Speed Limiter - ASL)は、速度リミッター(Speed Limiter - SL)の補助として作動/解除することができます。




この機能はセンターディスプレイの機能ビューで作動/解除します。

自動速度リミッターの作動

- 機能ビューで **速度標識アシスト** をタップします。
 - ASL はスタンバイモードになり、ボタンに緑色のインジケーターが点灯して、ドライバーディスプレイのスピードメーターの中央に標識シンボルが表示されます。
- ステアリングホイールの  ボタンを押します。
 - ASL が現在の車両速度で作動します。

自動速度リミッターの解除

- 機能ビューで **速度標識アシスト** をタップします。
 - ASL がオフになり、SL がスタンバイモードになります。ボタンに灰色のインジケーターが点灯します。
- ステアリングホイールの  ボタンを押します。
 - SL が現在の車両速度で作動します。

警告

ASL から SL に切り替えると、車両は表示制限速度に従わず、メモリーに記憶されている制限速度のみに従うようになります。

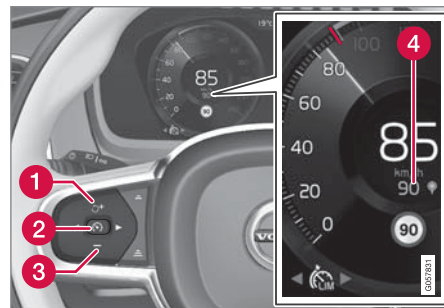
関連情報

- 自動速度リミッター* (p. 319)
- 自動速度リミッターの許容範囲の変更 (p. 321)

自動速度リミッターの許容範囲の変更

速度リミッター機能(Automatic Speed Limiter - ASL)の設定では、許容範囲を変更することができます。

表示制限速度は、5 km/h (5 mph)単位で増減させることができます。例えば、車両が 70 km/h (40 mph)の制限速度を守っているときに、運転者が 75 km/h (45 mph)で走行させたい場合などです。



機能のボタンとシンボル

- スピードメーター(4)中央の表示が 70 km/h (40 mph)から 75 km/h (45 mph)に変わるまで、ステアリングホイールのボタン **+** (1)を押します。
 - これにより、通過した標識が 70 km/h (40 mph)を示している限り、選択した許容範囲 5 km/h (5 mph)が使用されます。この許容範囲は表示速度の異なる道路標識を通過するまで適用されます。それ以降、車両は新しい制限速度に従って走行し、許容範囲はメモリーから削除されます。

ロード・サイン・インフォメーション*機能がオンの場合、表示制限速度を示す赤色のインジケーターがスピードメーターに表示されます。



- 許容範囲は、速度リミッターで速度設定を変更するときと同じ方法で調節します。

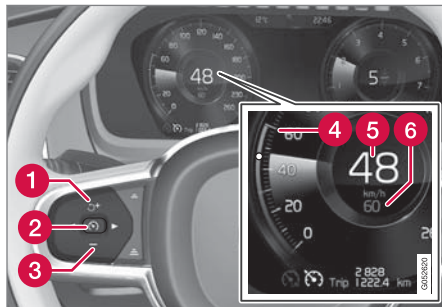
関連情報

- 自動速度リミッター* (p. 319)
- 自動速度リミッターの作動/解除 (p. 320)
- ロード・サイン・インフォメーション* (p. 359)
- 速度リミッターの速度を管理する (p. 317)

クルーズコントロール

クルーズコントロール(Cruise Control - CC)は、運転者が一定速度を維持するときに役立ちます。このため、車の流れが一樣な高速道路やまっすぐな道が長く続くときに、リラクセスして運転が楽しめます。

概要



機能のボタンとシンボル

- 設定速度を上げます。または、クルーズコントロールを再度オンにして、設定速度を有効にします
- クルーズコントロールをオンにして、現在の速度を記憶します。または、クルーズコントロールをオフにします
- 設定速度を下げます
- 設定速度用マーカー

- 車両の現在速度
- 設定速度

警告

交通状況によく注意をはらい、クルーズコントロールが車間距離や速度を正しく維持できないときは、運転者が車を制御してください。

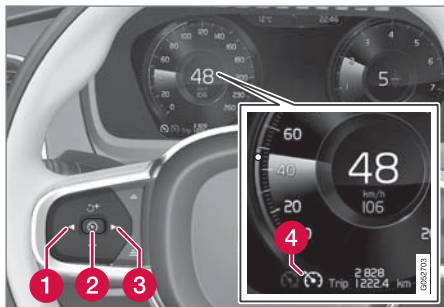
安全運転の責任は、つねに運転者にあります。

関連情報

- クルーズコントロールの作動と起動 (p. 323)
- クルーズコントロールの速度を管理する (p. 323)
- クルーズコントロールの解除/再作動 (p. 324)
- クルーズコントロールを解除する (p. 326)
- クルーズコントロール とアダプティブクルーズコントロール* を切り替える (p. 337)
- アダプティブクルーズコントロール* (p. 326)


クルーズコントロールの作動と起動

速度を制御できるようにするには、最初にクルーズコントロール機能 (Cruise Control - CC) を選択して作動させておく必要があります。



機能のボタンとシンボル



アクティブクルーズコントロール

◀ (1)または ▶ (3)を押して、シンボル/機能  (4)に移動します。

◁ シンボルが表示され、クルーズコントロールが作動可能な状態になります。

クルーズコントロールを起動する

クルーズコントロールをスタンバイモードから起動させるには、車速が 30 km/h (20 mph) 以上である必要があります。設定可能な上限速度の下限は 30 km/h (20 mph) です。

- シンボル/機能  が表示されているときに、ステアリングホイールのボタン  (2)を押します。
 - ◁ クルーズコントロールが起動して、現在の速度が設定速度になります。

注意

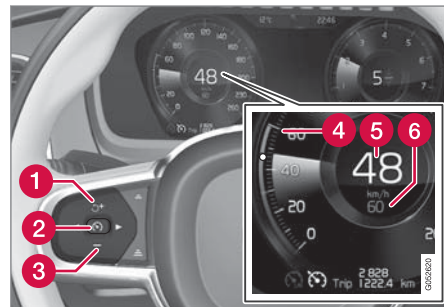
クルーズコントロールは、車速が 30 km/h (20 mph) 未満のときは使用できません。

関連情報

- クルーズコントロール (p. 322)
- クルーズコントロールの速度を管理する (p. 323)
- クルーズコントロールの解除/再作動 (p. 324)
- クルーズコントロールを解除する (p. 326)

クルーズコントロールの速度を管理する

クルーズコントロール (Cruise Control - CC) はさまざまな速度に設定することができます。



機能のボタンとシンボル

- 設定速度を変更するには、ステアリングホイールのボタン **+** (1)または **-** (3)を短くまたは長く押します。
 - 5 km/h (5 mph) 調節するには、短く押します。押すたびに 5 km/h (5 mph) ずつ変化します。
 - 1 km/h (1 mph) 単位で変更するには、ボタンを長押しし、ドライバーディスプレイのインジケーター(4)が目標速度を表示した時点で指を離してください。
- ◁ 最後に押したときの速度がメモリーに記憶されます。

- ◀ 運転者がステアリングホイールのボタン **+** を押す前にアクセルペダルで車両の速度を上げた場合、ボタンを押したときに運転者の足がアクセルペダルに載っていれば、ボタンを押した時点の速度が記憶されます。

追い越しのときなど、アクセルペダルを踏んで一時的に加速しても、設定には影響しません。アクセルペダルを離すと、車速はクルーズコントロールで設定した速度に戻ります。

フットブレーキの代わりにエンジンブレーキを使用する

クルーズコントロールを使用している場合、フットブレーキで速度を調節する頻度は少なくなります。下り坂では、速度を少し速めて、エンジンブレーキで加速を制限することが望ましい場合があります。この場合、運転者はクルーズコントロールによるフットブレーキの使用を一時的に無効にすることができます。

- アクセルペダルを半分程度まで踏み込んで放します。
 - ◻ クルーズコントロールは自動フットブレーキを解除して、エンジンブレーキのみを使用します。

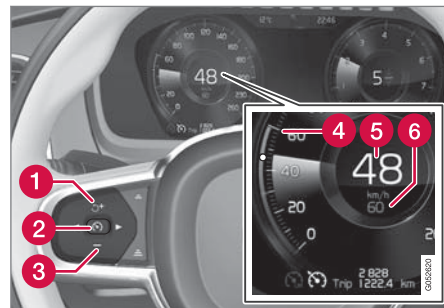
関連情報

- クルーズコントロール (p. 322)
- クルーズコントロールの作動と起動 (p. 323)

- クルーズコントロールの解除/再作動 (p. 324)
- クルーズコントロールを解除する (p. 326)


クルーズコントロールの解除/再作動

クルーズコントロール(Cruise Control - CC)は一時的に解除してスタンバイモードにすることができます。この場合、後で再作動させることができます。



機能のボタンとシンボル

クルーズコントロールを解除してスタンバイモードにする

- ステアリングホイールのボタン  (2) を押します。
 - ◻ ドライバーディスプレイの上限速度マークとシンボルの色が白から灰色に変わります。これはクルーズコントロールが一時的に解除されたことを示します。運転者は設定された上限速度よりも速い速度で一時的に運転することができます。

運転者の操作に伴うスタンバイモードへの移行

以下の場合、クルーズコントロールは一時的に解除されて、スタンバイモードになります。

- フットブレーキが使用された
- ギヤセレクターレバーを **N** 位置にした
- 運転者が、設定されている速度よりも速い速度を 1 分間以上維持した

このような場合、運転者は車速をご自分で制御しなければなりません。

追い越しのときなど、アクセルペダルを踏んで一時的に加速しても、設定には影響しません。アクセルペダルを離すと、車速はクルーズコントロールで設定した速度に戻ります。


自動スタンバイモード

次のような場合には、クルーズコントロールが一時的に解除され、スタンバイモードになります。


- タイヤのグリップ力が失われたとき
- エンジン回転数が低い、または高過ぎるとき
- ブレーキ温度が高くなりすぎたとき
- 速度が 30 km/h (20 mph) 未満に低下したとき

このような場合、運転者は車速をご自分で制御しなければなりません。


スタンバイモードからのクルーズコントロールの再作動

- ステアリングホイールのボタン  (1) を押します。
 - > ドライバーディスプレイのクルーズコントロールマークとシンボルの色が灰色から白に変わり、車両はもっとも最近記憶された速度になります。

または

- ステアリングホイールのボタン  (2) を押します。
 - > ドライバーディスプレイのクルーズコントロールマークとシンボルの色が灰色から白に変わり、車両は現在の速度で走行します。

注意

ステアリングホイールのボタン  を押して再開すると、急加速する場合があります。

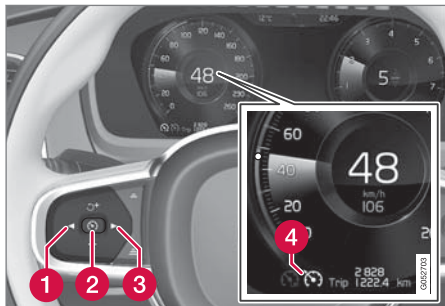
関連情報

- クルーズコントロール (p. 322)
- クルーズコントロールの作動と起動 (p. 323)
- クルーズコントロールの速度を管理する (p. 323)




- クルーズコントロールを解除する (p. 326)


クルーズコントロールを解除する

クルーズコントロール Cruise Control - CC は解除することができます。



機能のボタンとシンボル

1. ステアリングホイールのボタン  (2) を押します。
> クルーズコントロールがスタンバイモードになります。
2. ステアリングホイールのボタン  (1) または  (3) を押して、別の機能に切り替えます。
> ドライバーディスプレイで点灯中のクルーズコントロールのシンボルおよび表示灯(4)が消灯し、設定速度が削除されます。

3. ステアリングホイールのボタン  (2) を再度押します。
> 別の機能がオンになります。

関連情報

- クルーズコントロール (p. 322)
- クルーズコントロールの作動と起動 (p. 323)
- クルーズコントロールの速度を管理する (p. 323)
- クルーズコントロールの解除/再作動 (p. 324)

アダプティブクルーズコントロール*

アダプティブクルーズコントロール (Adaptive Cruise Control - ACC) は、運転者が一定の速度を維持し、前方を走行している車両との車間時間をあらかじめ選択した時間に維持するのに役立ちます。

アダプティブクルーズコントロールは、交通の流れがスムーズな高速道路や長い直線の幹線道路を長時間走行する際に、よりリラックスした走行を可能にします。

運転者が望ましい速度と前方の車両との車間時間を設定します。カメラおよびレーダーユニットが、前方に自車よりも低速で走行する車両を検知すると、自車の車速はその車両に合わせて自動的に調整されます。前方の車両がいなくなると、車両は選択されていた速度に戻ります。

⚠ 警告

周囲の交通状況によく注意をはらい、アダプティブクルーズコントロールが車間距離や速度を正しく維持できないときは、運転者が車両を制御してください。

アダプティブクルーズコントロールは、運転状況、交通、天候、路面の状態などにより使用できない場合があります。

オーナーズマニュアル内のアダプティブクルーズコントロールに関するセクションすべてに目を通してください。この機能を使用するにあたって注意すべき機能の限界事項が記載されています。

アダプティブクルーズコントロールを使用しているときでも、車間距離や速度を正しく維持する責任は運転者にあります。

❗ 重要

アダプティブクルーズコントロール・コンポーネントのメンテナンスは、必ずボルボ指定のサービス工場でのみ行ってください。

前方を走行している車両との距離は、レーダーにより測定されます。クルーズコントロール機能は、アクセルおよびブレーキにより速度を制御します。アダプティブクルーズコントロールがブレーキを作動させるとき、低い音が出る場合がありますが、異常ではありません。

アダプティブクルーズコントロールの目的は、同じ車線上で前方を走行している車両との車間時間を一定に保ちながら走行することです。レーダーユニットが前方の車両を検知できない場合、車両は運転者の設定した速度を維持します。前方を走行している車両が設定速度を超えた場合にも、運転者の設定した速度を維持して走行します。

アダプティブクルーズコントロールは、速度をスムーズに制御します。急ブレーキが必要な状況では、必ずご自分でブレーキをかけてください。速度差が大きく異なる場合や、前方の車両が急ブレーキをかけた場合などです。レーダーユニットには限界があるため、不意にブレーキがかかることや、あるいはまったくブレーキがかからないことがあります。

アダプティブクルーズコントロールは、静止状態から 200 km/h (125 mph) までの速度範囲で別の車両に追従することができます。

⚠ 警告

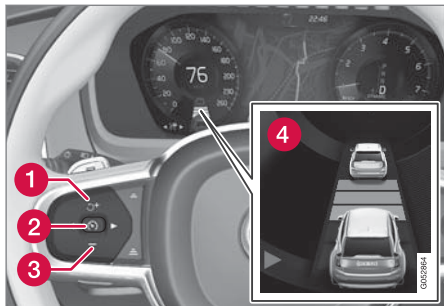
アダプティブクルーズコントロールは、衝突を回避するシステムではありません。システムが前方を走行する車両を検知しない場合は、運転者が車両を操作しなければなりません。

アダプティブクルーズコントロールは、人や動物には反応しません。また、自転車やオートバイなどの小型車両にも対応していません。さらに、車高の低いトレーラー、対向車、低速で走行している車両、または静止している車両および物体に対して、ブレーキを作動させることもありません。

アダプティブクルーズコントロールは、市街地走行中、ジャンクション走行時、滑りやすい路面走行時、水溜りが多い路面や雪や泥に覆われている路面走行時、激しい雨や雪の中の走行時、視界が悪いとき、曲がりくねった道路走行中などは使用しないでください。

概要

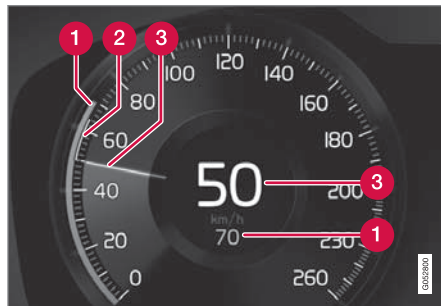
コントロール



機能のボタンとシンボル

- 1 設定速度を上げます。または、アダプティブクルーズコントロールを再度オンにして、設定速度を有効にします
- 2 アダプティブクルーズコントロールをオンにして、現在の速度を記憶します。または、アダプティブクルーズコントロールをオフにします。
- 3 設定速度を下げます
- 4 対象車両インジケーター：ACC が対象車両を検知し、プリセットの車間時間で対象車両に追従しています。

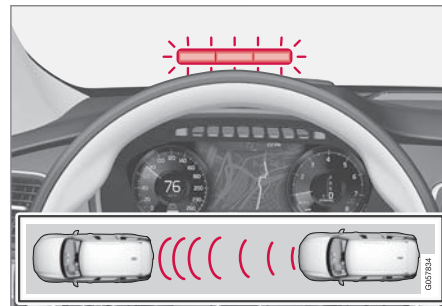
ドライバーディスプレイ



速度の表示

- 1 設定速度
- 2 前方の車両の速度
- 3 自車の現在速度

衝突の危険警告



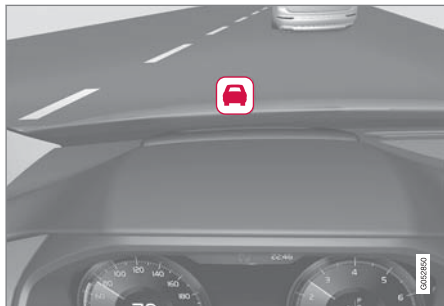
警告灯

アダプティブクルーズコントロールは、フットブレーキの約 40% の能力を使用します。アダプティブクルーズコントロールのブレーキ能力以上のブレーキを必要とするときに、運転者がブレーキをかけない場合は、City Safety の警告灯と警告音が作動して、ただちに運転者の介入が必要なことを警告します。

i 注意

陽射しが強いときや、運転者がサングラスを着用しているときは、警告灯が見えにくい場合があります。ご注意ください。

ヘッドアップディスプレイ*



シンボルが点滅して運転者の注意を促します。

ヘッドアップディスプレイ*装備車の場合、ウィンドスクリーンに点滅したシンボルで警告が出ます。

警告

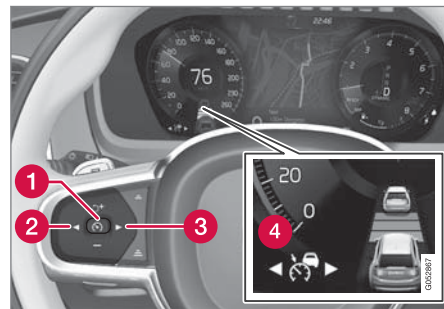
アダプティブクルーズコントロールは、レーダーユニットが検知した車両に対してのみ警告を発します。そのため、警告を発しない場合や、警告に遅延が生じる場合があります。警告が出なくても、必要に応じてブレーキをかけてください。

関連情報

- アダプティブクルーズコントロール*の速度を管理する (p. 330)
- アダプティブクルーズコントロール*の車間時間の設定 (p. 331)
- アダプティブクルーズコントロールによる追従対象車両変更およびオートブレーキ (p. 335)
- Pilot Assist*の作動と起動 (p. 342)
- クルーズコントロール とアダプティブクルーズコントロール* を切り替える (p. 337)
- アダプティブクルーズコントロールによる追い越しアシスト* (p. 334)
- アダプティブクルーズコントロール*の解除/作動 (p. 332)
- Pilot Assist*の限界 (p. 346)
- アダプティブクルーズコントロール*のシンボルおよびメッセージ (p. 338)
- レーダーユニット (p. 348)

アダプティブクルーズコントロール*の作動と起動


アダプティブクルーズコントロール (Adaptive Cruise Control - ACC) は最初に作動状態にしておき、速度を制御する必要があるときに起動させる必要があります。



機能のボタンとシンボル



アダプティブクルーズコントロールを作動させる

エンジンの始動直後、アダプティブクルーズコントロールはスタンバイモードになります。

- ◀ (2)または ▶ (3)を押して、シンボル/機能  (4)に移動します。
- > シンボルが表示されて、アダプティブクルーズコントロールがスタンバイモードになります。

◀◀ アダプティブクルーズコントロールを起動する

ACC を起動するには、以下の条件を満たしている必要があります。

- 運転席シートベルトが着用され、運転席ドアが閉まっている。
- 自車の前方を車両(「対象車両」)が走行している、または現在の速度が 15 km/h (9 mph) 以上である。
- シンボル/機能  が表示されているときに、ステアリングホイールのボタン  (1)を押します。
 - ◁ アダプティブクルーズコントロールが起動し、現在の速度が目標速度としてメモリーに記憶され、スピードメーターの中央に数値で表示されます。



車間時間は、距離シンボルが車両 2 台を表示しているときにのみ、前方の車両を対象にして ACC により調節されます。



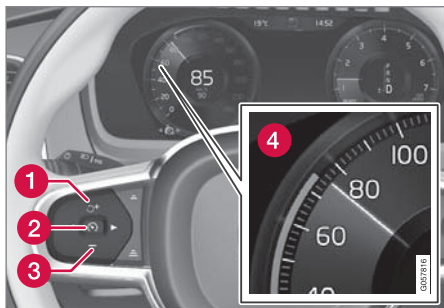
同時に速度範囲がマークされます。
高い方の速度が設定速度で、低い方の速度が先行車(対象車)の速度です。

関連情報

- アダプティブクルーズコントロール* (p. 326)

アダプティブクルーズコントロール*の速度を管理する

アダプティブクルーズコントロール(Adaptive Cruise Control - ACC)はさまざまな速度に設定することができます。



機能のボタンとシンボル

- 設定速度を変更するには、ステアリングホイールのボタン **+** (1)または**-** (3)を短くまたは長く押します。
 - +/- 5 km/h (+/- 5 mph)調節するには、短く押します。押すたびに +/- 5 km/h (+/- 5 mph)ずつ変化します。
 - +/- 1 km/h (+/- 1 mph)単位で変更するには、ボタンを長押しし、ドライバーディスプレイのインジケーター(4)が目標速度を表示した時点で指を離してください。
- > 最後に押したときの速度がメモリーに記憶されます。

運転者がステアリングホイールのボタン **+** を押す前にアクセルペダルで車両の速度を上げた場合、ボタンを押したときに運転者の足がア

クセルペダルに載っていれば、ボタンを押した時点の速度が記憶されます。

追いつきのときなど、アクセルペダルを踏んで一時的に加速しても、設定には影響しません。アクセルペダルを離すと、車速はクルーズコントロールで設定した速度に戻ります。

アダプティブクルーズコントロールで設定できる最低速度は 30 km/h (20 mph)です。静止するまで先行車の追従は可能ですが、30 km/h (20 mph)未満の速度を選択することはできません。

後付け ACC

最初から標準のクルーズコントロールが装備されている車両には、後からアダプティブクルーズコントロール機能を搭載することができます。後付けの ACC は、メーカーオプションで取り付けられている製品と以下の点が異なります。

- 先行車の速度が 30 km/h (20 mph)未満になると、ACC はスタンバイモードに変わります。この状態では、運転者が自ら操作して、前方の車両との距離を適切に維持する必要があります。
- ACC が作動可能な下限速度は 30 km/h (20 mph)です。

関連情報

- アダプティブクルーズコントロール* (p. 326)

アダプティブクルーズコントロール*の車間時間の設定

アダプティブクルーズコントロール (Adaptive Cruise Control - ACC) では、車間時間の設定を変更することができます。



先行車両との車間時間は増減させることができ、1~5本の横線によってドライバーディスプレイに表示することができます。線の数が多いほど、車間時間が長くなります。横線

が1本であれば、前方の車両まで約1秒であることを示し、横線が5本あれば、約3秒であることを示します。

車間警告機能の作動中も同じシンボルが表示されます。



① 注意

ドライバーディスプレイのシンボルが2台の車両を表示している場合、ACC はプリセットの車間時間で前方の車両に追従しています。

車両が1台だけ表示されている場合、前方の適度な範囲内に車両がないことを表しています。

アダプティブクルーズコントロールを解除してスタンバイモードにする

一時的にアダプティブクルーズコントロールをオフにし、スタンバイモードにするには：

- ステアリングホイールのボタン  (2) を押します。
 - ▷ ドライバーディスプレイの  シンボルの色が白から灰色に変わり、スピードメーターの中央に表示されている設定速度の色がベージュ色から灰色に変わりま

運転者の操作に伴うスタンバイモードへの移行

以下の場合、アダプティブクルーズコントロールは一時的に解除されて、スタンバイモードになります。

- フットブレーキが使用された
- ギヤセレクターレバーを **N** 位置にした
- 運転者が、設定されている速度よりも速い速度を1分以上維持した

このような場合、運転者は車速をご自分で制御しなければなりません。

追い越しのときなど、アクセルペダルを踏んで一時的に加速しても、設定には影響しません。アクセルペダルを離すと、車速はクルーズコントロールで設定した速度に戻ります。

自動スタンバイモード


アダプティブクルーズコントロールは、エレクトロニック・スタビリティ・コントロールなど、他のシステムに依存しています。これらのシステムのいずれかが機能を停止した場合、アダプティブクルーズコントロールは自動的に解除されます。

クルーズコントロールが自動的に解除されると、警告音が鳴り、ドライバーディスプレイにメッセージが表示されます。運転者はただちに必要な運転操作を行い、前方を走行する車両との車間距離を維持してください。


次のようなときに、自動的に解除されます：

- 速度が 10 km/h 未満で、追従の対象となる物体が静止している車両か、別の物体(減速帯)か ACC によって判断できないとき
- 速度が 10 km/h 未満で、前方の車両が曲がり、ACC が追従する車両がなくなったとき
- 運転者がドアを開けたとき
- 運転者がシートベルトを外したとき
- エンジン回転数が低い、または高過ぎるとき
- タイヤのグリップ力が失われたとき
- ブレーキ温度が高温になったとき
- パーキングブレーキをかけたとき
- レーダーユニットが水気のある雪や大雨で覆われているとき(カメラレンズ/電波が遮られているとき)

スタンバイモードからのクルーズコントロールの再作動

- ステアリングホイールのボタン  (1) を押します。
 - ▷ 速度はもっとも最近記憶された速度に設定されます。

注意

ステアリングホイールのボタン  を押して再開すると、急加速する場合があります。

関連情報

- アダプティブクルーズコントロール* (p. 326)
- アダプティブクルーズコントロール*の作動と起動 (p. 329)
- アダプティブクルーズコントロール*の速度を管理する (p. 330)
- アダプティブクルーズコントロール*の車間時間の設定 (p. 331)
- アダプティブクルーズコントロールによる追い越しアシスト* (p. 334)
- アダプティブクルーズコントロール*のシンボルおよびメッセージ (p. 338)

アダプティブクルーズコントロールによる追い越しアシスト*

アダプティブクルーズコントロール (Adaptive Cruise Control - ACC) は、他の車両を追い越すときに運転者を支援することができます。

ACC が別の車両に追従しているとき、運転者が方向指示器² を操作して追い越す意思を示した場合、アダプティブクルーズコントロールは、自車が追い越し車線に達する前に、前方の車両の方向へ自車を加速させて追い越しをやすくします。

速度の遅い車両に接近しているときにブレーキを早くかけすぎることのないように、この機能は減速を遅らせます。

この機能は、自車が追い越した車両から十分に離れるまで作動し続けます。

警告

状況により、警告距離を設定していても、警告が出るタイミングが遅いと感ずる場合があります。(例えば、前方を走行している車両と自車の速度差が大きいときや、前方の車両が急ブレーキをかけたときなど。)

追い越しアシストの起動

追い越しアシストが作動するためには、以下の条件を満たしている必要があります。

- 前方に車両(「対象車両」)が存在していること
- 速度が 70 km/h 以上 (43 mph 以上) であること
- ACC の設定速度が追い越しを安全に行うことができるほどの速度であること
- 方向指示器を作動させます。

左ハンドル車では左側の方向指示器を使用し、右ハンドル車では右側の方向指示器を使用します。

› 追い越しアシストが起動します。

作動限界

追い越しアシストを使用している場合、運転者は状態の急な変化に備えておく必要があります。状況により、追い越しアシストは不要な加速を行う可能性があります。

このため、一部の状況では使用を控える必要があります。以下のような状況が該当します。

- 車両が進む予定の進出路が通常追い越し時に使用する側と同じ側にあり、車両がその進出路に接近している
- 自車が追い越し車線に入り終わる前に前方の車両が減速する

- 追い越し車線の交通の流れが遅くなっている
- 左ハンドル車で左側通行の国を走行している(逆も同様)

この種の状況は、ACC を一時的にスタンバイモードにすることにより回避することができます。

関連情報

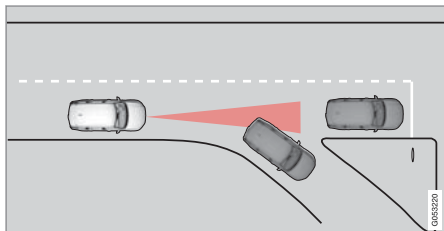
- アダプティブクルーズコントロール* (p. 326)

² 左ハンドル車では左側の、右ハンドル車では右側の方向指示器のみです。

アダプティブクルーズコントロールによる追従対象車両変更およびオートブレーキ

アダプティブクルーズコントロール(Adaptive Cruise Control - ACC)は、特定の速度のときに追従対象車両を変更し、ブレーキ機能を発揮します。

追従対象車両の変更



追従対象となっている先行車両が突然曲った場合、前方の車両が停止していることに突然気づく場合があります。

アダプティブクルーズコントロールが 30 km/h (20 mph) **未満**の速度で先行車に追従しているときに、追従対象車両が走行車両から静止車両に変わった場合、アダプティブクルーズコントロールが静止車両に合わせて減速します。

警告

アダプティブクルーズコントロールにより、ca 30 km/h (20 mph)を**超える**速度で別の車両に追従している際に、目標車両が移動中の車両から静止車両に変わった場合には、アダプティブクルーズコントロールは静止している車両を無視して、セットされている速度を維持します。

- 運転者は注意を怠らず、必要に応じてブレーキをかけてください。

追従対象車両の変更による自動スタンバイモード

以下の場合、アダプティブクルーズコントロールが解除され、スタンバイモードになります。

- 速度が 5 km/h (3 mph) 未満で、アダプティブクルーズコントロールが、追従対象が静止車両なのか別の障害物(減速帯など)なのかを判断できない場合。
- 速度が 5 km/h (3 mph) 未満で、先行車が曲がったためアダプティブクルーズコントロールが追従する車両がなくなった場合。

オートブレーキ

渋滞時や赤信号など、停止する時間が約 3 秒以内であれば、自動的に走行が始まります。先行車両が動き出すまでにそれ以上の時間がかかる場合には、アダプティブクルーズコントロール

はオートブレーキによりスタンバイモードになります。

- アダプティブクルーズコントロールを再作動させるには、以下のいずれかの方法を行います。
 - ステアリングホイールの ボタンを押します。
 - アクセルペダルを踏み込みます。
- > 前方の車両が 6 秒以内に前進し始めた場合、アダプティブクルーズコントロールは、前方の車両への追従を再開します。

注意

ACC は最長 5 分間車両を静止させておくことができます。それ以上経過すると、パーキングブレーキが作動し、アダプティブクルーズコントロールが解除されます。

アダプティブクルーズコントロールを再起動できるようにするには、パーキングブレーキを解除する必要があります。

◀ オートブレーキの停止

状況により、静止すると同時にオートブレーキが停止して、アダプティブクルーズコントロールがスタンバイモードになることがあります。このため、ブレーキが解除され、車両が動き出す場合があります。運転者はご自分でブレーキをかけ、適切な位置を保ってください。

これは以下の状況で発生することがあります。

- 運転者がブレーキペダルに足を載せたとき
- パーキングブレーキをかけたとき
- ギヤセレクターレバーを **P**、**N** または **R** 位置にしたとき
- 運転者がアダプティブクルーズコントロールをスタンバイモードにしたとき

パーキングブレーキの自動作動

一部の状況では、パーキングブレーキが作動して、車両を静止状態に保ちます。

これはアダプティブクルーズコントロールが車両を静止状態に保持しているときに、以下の状況が発生した場合です。

- 運転者がドアを開けるか、シートベルトを外したとき
- ACC が車両を約 5 分以上静止状態に保ったとき
- ブレーキがオーバーヒートしたとき
- エンジンが停止したとき

関連情報

- アダプティブクルーズコントロール* (p. 326)

アダプティブクルーズコントロール*の限界

アダプティブクルーズコントロール (Adaptive Cruise Control - ACC) は、一部の状況で動作が制限されることがあります。

アダプティブクルーズコントロールは主に、平坦な路面走行時用に設計されています。重い荷物を積載したり、トレーラーをけん引しながら急な下り坂を走行する場合、この機能が前方の車両と適切な距離を保つことがむずかしい場合があります。このような場合には、特に注意をはらい、いつでもブレーキをかけられるようにしてください。

- アダプティブクルーズコントロールがオンになっているときは、**Off Road** ドライブモードは選択できません。

① 注意

本機能は一部機能に限界のある車両のレーダーユニットを使用しています。「レーダーユニットの機能の限界」を参照してください。

関連情報



- アダプティブクルーズコントロール* (p. 326)
- レーダーユニットの限界 (p. 349)

クルーズコントロール とアダプティブクルーズコントロール* を切り替える

アダプティブクルーズコントロール* (ACC) 装備車では、運転者がクルーズコントロール (CC) と ACC を切り替えることができます。


ACC から CC への切り替え

ドライバーディスプレイのシンボルは、どちらのクルーズコントロールが作動しているかを示します。

CC Cruise Control	ACC Adaptive Cruise Control
	
クルーズコントロール	アダプティブクルーズコントロール

^A VIT シンボル：機能作動中、灰色のシンボル：スタンバイモード

アダプティブクルーズコントロール (ACC) からクルーズコントロール (CC) への切り替え方法：

- 機能ビューで **クルーズコントロール** をタップします。
 - ドライバーディスプレイのシンボルが ACC から CC に切り替わります。アダプティブクルーズコントロール (ACC) はオフになり、クルーズコントロール (CC) がスタンバイモードになります。
- ステアリングホイールの  ボタンを押します。
 - クルーズコントロールが起動して、現在の速度を記憶します。

警告

ACC から CC に切り替えると、車両は自動的にブレーキを作動させません。設定した速度を保つだけです。

CC がオンの状態でエンジンを停止すると、次回エンジンを始動したときに ACC がオンになります。

CC から ACC に戻す

- 機能ビューで **全車速追従** をタップします。
 - ドライバーディスプレイのシンボルが CC から ACC に切り替わります。アダプティブクルーズコントロールがスタンバイモードになります。

関連情報





- クルーズコントロール (p. 322)
- アダプティブクルーズコントロール* (p. 326)

アダプティブクルーズコントロール* のシンボルおよびメッセージ

ドライバーディスプレイには、アダプティブクルーズコントロール(Adaptive Cruise

Control - ACC)に関する多くのシンボルおよびメッセージが表示される可能性があります。

いくつかの例が以下の表に示されています。

シンボル	メッセージ	意味
	シンボルが白色	車両はセットされている速度を維持します。
	利用不可 およびシンボルが灰色	アダプティブクルーズコントロールはスタンバイモードになっています。
	ウインドスクリーンセンサーが遮られた、取扱説明書を参照して下さい	カメラおよびレーダーユニットのセンサーの前方のウインドスクリーンを清掃してください。
	全車速追従 販売店に お問い合わせください	システムが正常に機能していません。ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

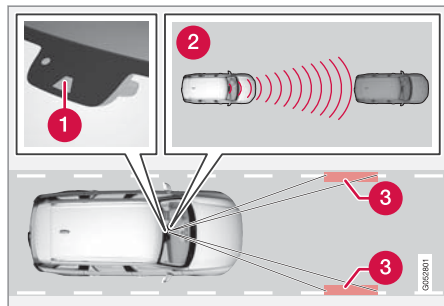
関連情報

- アダプティブクルーズコントロール*
(p. 326)

Pilot Assist*

Pilot Assist は、運転者が車両を車線内に維持しながら、先行車との車間時間をあらかじめ選択した時間に保って運転するときに役立ちます。

Pilot Assist は、高速道路および主要道路を低速 (50 km/h (30 mph) 以下) で走行するときに快適性を高めます。



機能の概要

- ① カメラおよびレーダーユニット
- ② 距離レーダー
- ③ レーダー、車線マーク

運転者は先行車との車間時間として任意の時間を設定します。Pilot Assist はカメラおよびレーダーユニットを使用して、先行車と車線境界線をスキャンします。ステアリングアシスト

により車両が車線内に保たれる一方で、自動速度調節により設定車間時間が維持されます。

Pilot Assist ステアリングアシストは先行車の速度と車線境界線を考慮に入れます。必要に応じて、運転者は Pilot Assist の薦めるステアリング操作を無視して、別の方向に操舵することができます。例えば、車線変更時や道路上の障害物を避ける場合などです。

カメラおよびレーダーユニットが車線境界線または先行車を感知しない場合、Pilot Assist はスタンバイモードになります。

Pilot Assist がスタンバイモードのときに、先行車に接近しすぎると、代わりに車間警告機能が車間距離が短いことを警告します(本項の終わりにある車間警告機能の説明を参照してください)。

⚠ 警告

Pilot Assist は支援機能に過ぎません。すべての交通状況、天候および路面の状態に対応できるものではありません。

周囲の交通状況によく注意を払い、Pilot Assist が車間距離や速度を正しく維持できないときは、運転者が車両を制御してください。

オーナーズマニュアル内の本機能に関するセクションすべてに目を通してください。この機能を使用するにあたって注意すべき機能の限界事項が記載されています。

Pilot Assist は、車線の各側を示す車線境界線が路面にはっきり塗装されている場合にのみ使用してください。それ以外の状況で使用すると、周辺の検知されていない障害物と接触する危険性が高くなります。

Pilot Assist を使用しているときでも、車両を制御し、車間距離や速度を正しく維持する責任は運転者にあります。

Pilot Assist は速度をスムーズに制御しようとし、急ブレーキが必要な状況では、必ずご自分でブレーキをかけてください。速度差が大きく異なる場合や、前方の車両が急ブレーキをかけた場合などです。カメラおよびレーダーユニットには限界があるため、不意にブレーキがかかることや、あるいはまったくブレーキがかからないことがあります。



- ◀◀ Pilot Assist 機能の設定速度は 50 km/h (30 mph) に設定されており、調整することができません。先行車の速度が上昇して 50 km/h (30 mph) を超え、車間距離が妥当な距離を超えると、Pilot Assist はスタンバイモードになります。

! 重要

Pilot Assist コンポーネントのメンテナンスは、サービス工場で行う必要があります。ボルボ指定のサービス工場をご利用ください。

Pilot Assist は、アクセルおよびブレーキにより速度を制御します。Pilot Assist がブレーキを作動させるとき、低い音が出る場合がありますが、異常ではありません。

! 警告

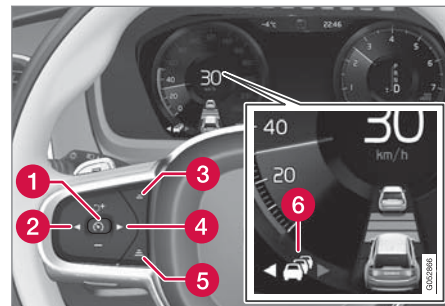
Pilot Assist は、衝突回避システムではありません。システムが前方を走行する車両を感知しない場合は、運転者が車両を操作しなければなりません。

Pilot Assist は、人や動物、または自転車やオートバイなどの小型車両に対しては、ブレーキを作動しません。さらに、車高の低いトレーラー、対向車、低速で走行している車両、または静止している車両および物体に対して、ブレーキを作動させることもありません。

Pilot Assist は、市街地走行中、混雑した交通状況、ジャンクション走行時、滑りやすい路面走行時、水溜りが多い路面や雪や泥に覆われている路面走行時、激しい雨や雪の中の走行時、視界が悪いとき、曲がりくねった道路走行中などは使用しないでください。

概要

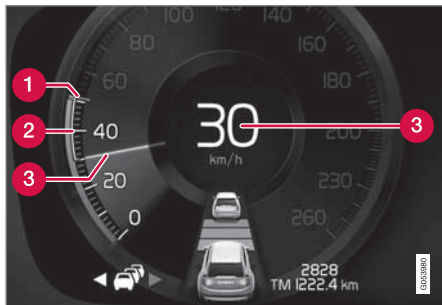
コントロール



機能のボタンとシンボル

- 1 Pilot Assist をオン/オフにします
- 2 Pilot Assist からアダプティブクルーズコントロールに切り替えます
- 3 前方の車両までの距離が短くなります
- 4 アダプティブクルーズコントロールから Pilot Assist に切り替えます
- 5 前方の車両までの距離が長くなります
- 6 シンボルと機能

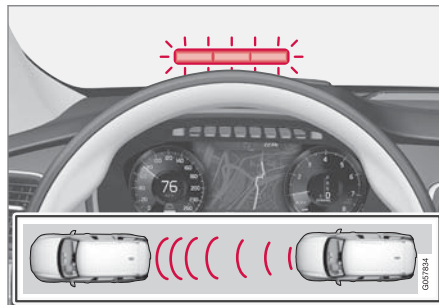
ドライバーディスプレイ



速度の表示

- ① 設定速度
- ② 前方の車両の速度
- ③ 自車の現在速度

衝突の危険警告



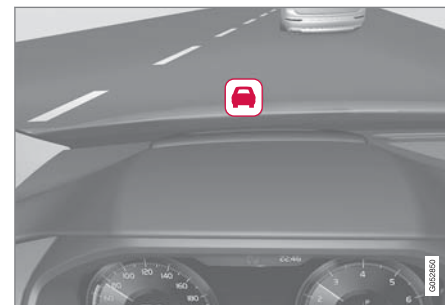
警告灯

Pilot Assist はフットブレーキの能力の約 40% を使用します。車両が Pilot Assist のブレーキ能力以上のブレーキを必要とするときに、運転者がブレーキをかけない場合は、City Safety の警告灯と警告音が作動して、ただちに運転者の介入が必要なことを警告します。

ⓘ 注意

陽射しが強いときや、運転者がサングラスを着用しているときは、警告灯が見えにくい場合があります。ご注意ください。

ヘッドアップディスプレイ*



シンボルが点滅して運転者の注意を促します。

ヘッドアップディスプレイ*装備車の場合、ウィンドスクリーンに点滅したシンボルで警告が出ます。

⚠ 警告

Pilot Assist は、カメラおよびレーダーユニットが検知した車両に対してのみ警告を発します。そのため警告が作動しない、または遅れる場合があります。警告が出なくても、必要に応じてブレーキをかけてください。

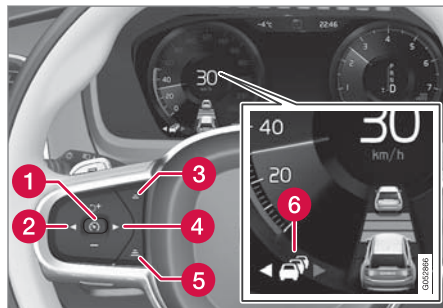
関連情報

- Pilot Assist*の作動と起動 (p. 342)
- Pilot Assist*のオフ/オン (p. 344)
- Pilot Assist*の車間時間の設定 (p. 343)



- Pilot Assist*によるオートブレーキ (p. 345)
- Pilot Assist*の限界 (p. 346)
- アダプティブクルーズコントロール* (p. 326)
- 車間警告機能* (p. 363)
- ヘッドアップディスプレイ* (p. 153)

Pilot Assist*の作動と起動



機能のボタンとシンボル

Pilot Assist を起動するには、以下の条件を満たしている必要があります。

- 前方の適度な範囲内に車両がいる。
- カメラが車線境界線を感知できる。
- 自車の速度が 50 km/h (30 mph) 未満である。



Pilot Assist を選択すると、シンボルの色で利用の可否が表示されます(白 = 利用可能)。

それ以外では、シンボルの隣にある右矢印の色で表示されず(白 = 利用可能)。

シンボルが黄色で、白い矢印が点滅している場合、スタンバイモードに変わる直前であることを示します。

アダプティブクルーズコントロールがスタンバイモードの場合：

1. ▶ (4)を押します。
 - ▶ シンボルが表示されて、Pilot Assist がスタンバイモードになります。
2. ステアリングホイールのボタン (1)を押します。
 - ▶ Pilot Assist が起動します。


アダプティブクルーズコントロールが起動している場合：

- ▶ (4)を押します。
 - ▶ Pilot Assist が起動します。

運転者の手はステアリングホイールに

Pilot Assist が機能するためには、運転者が両手をステアリングホイールに置いている必要があります。システムは手がステアリングホイールに接触しているかをモニターし続けます。手の接触が検知されないと、運転者にステアリング操作を自発的に行うように促すメッセージが表示されます。これが行われな場合、警告音が鳴ります。

それでも運転者が両手をステアリングホイールに置かない場合、Pilot Assist は解除されま

す。ステアリングホイールのボタン  を押すと、Pilot Assist は再起動します。

① 注意

Pilot Assist は、運転者の両手がステアリングホイールに置かれている場合にのみ作動します。

関連情報

- Pilot Assist* (p. 339)
- Pilot Assist*のオフ/オン (p. 344)
- Pilot Assist*の車間時間の設定 (p. 343)
- Pilot Assist*によるオートブレーキ (p. 345)
- Pilot Assist*の限界 (p. 346)

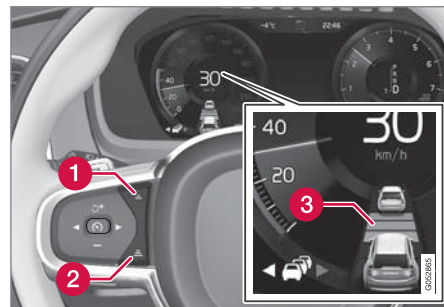
Pilot Assist*の車間時間の設定

Pilot Assist では、車間時間の設定を変更することができます。



先行車両との車間時間は増減させることができ、1~5本の横線によってドライバーディスプレイに表示することができます。線の数が多いほど、車間時間が長くなります。横線が1本であれば、前方の車両まで約1秒であることを示し、横線が5本あれば、約3秒であることを示します。

車間警告機能の作動中も同じシンボルが表示されます。



車間時間用コントロール

- ① 車間時間を短くする
 - ② 車間時間を長くする
 - ③ 車間警告機能
- ステアリングホイールのボタン(1)または(2)を押して、車間時間を長くまたは短くします。
 - > 現在の車間時間が距離インジケーター(3)に表示されます。

前方を走行している車両の後ろをスムーズかつ快適に走行できるように、状況によりPilot Assist が、車間時間を大幅に変更する場合があります。低速走行時、車間距離が短いときは、Pilot Assist が車間時間を若干増やします。



- ◀◀ 車間時間が短いと、走行中に万が一不測の事態が発生した場合、運転者が回避操作を行う反応時間が短くなることに注意してください。

i 注意

各地の交通法規で許可されている車間時間のみを使用してください。

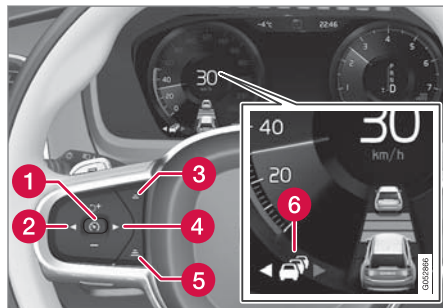
Pilot Assist を作動させても、反応しないように感じられる場合は、前方の車両との車間時間によって、車両の加速が妨げられていることが原因である可能性があります。

車速が速くなるほど、一定車間時間に相当する計算上の距離(単位:メートル)が長くなります。

関連情報

- Pilot Assist* (p. 339)
- Pilot Assist*の作動と起動 (p. 342)
- Pilot Assist*のオフ/オン (p. 344)
- Pilot Assist*によるオートブレーキ (p. 345)
- Pilot Assist*の限界 (p. 346)

Pilot Assist*のオフ/オン



機能のボタンとシンボル

Pilot Assist をオフにしてスタンバイモードにする

1. ステアリングホイールのボタン (1) を押します。
 - > Pilot Assist がスタンバイモードになります。
2. ◀ (2)を押します。
 - > Pilot Assist がオフになり、アダプティブクルーズコントロールがスタンバイモードになります。

または

- ◀ (2)を押します。
 - > Pilot Assist がオフになり、アダプティブクルーズコントロールがアクティブモードになります。

運転者の操作に伴うスタンバイモードへの移行

方向指示器またはアクセルペダルを使用しているとき、Pilot Assist は一時的に無効になり、スタンバイモードになります。これらの条件が当てはまらなくなると、Pilot Assist は自動的に再起動します。

スタンバイモードからの自動再起動は1分以内に行われる必要があります。その時間が経過すると、ステアリングホイールのボタン (3) を押して、Pilot Assist を手動で起動する必要があります。

以下の場合、Pilot Assist は一時的に解除されて、スタンバイモードになります。

- フットブレーキが使用された
- ギヤセレクターレバーをN位置にした

この状態になると、推奨される操作方法を受け取れないため、運転者は速度と距離を制御することが必要になります。この代わりに、運転者はステアリングホイールのボタン (3) を使用して、Pilot Assist を手動で再作動させることもできます。

自動スタンバイモード


Pilot Assist は、エレクトロニック・スタビリティ・コントロール・システムなど、他のシステムに依存しています。これらのシステムのいずれかが機能を停止した場合、Pilot Assist は自動的に解除されます。

クルーズコントロールが自動的に解除されると、警告音が鳴り、ドライバーディスプレイにメッセージが表示されます。運転者はただちに必要な運転操作を行い、前方の車両および周辺の交通に合わせて速度と距離を調節してください。

次のようなときに、自動的に解除されます：

- カメラが車線境界線を感知できない
- 前方の適度な範囲内に車両がない
- 運転者が両手をステアリングホイールに置いていない
- 運転者がシートベルトを外したとき
- エンジン回転数が低い、または高過ぎるとき
- タイヤのグリップ力が失われたとき
- ブレーキ温度が高温になったとき
- パーキングブレーキをかけたとき
- カメラおよびレーダーユニットが水気のある雪や大雨で覆われているとき(カメラレンズ/電波が遮られているとき)

スタンバイモードからの Pilot Assist の再作動

- ステアリングホイールのボタン  (1) を押します。
 - › 速度はもっとも最近記憶された速度に設定されます。


関連情報

- Pilot Assist* (p. 339)
- Pilot Assist*の作動と起動 (p. 342)
- Pilot Assist*によるオートブレーキ (p. 345)
- Pilot Assist*の車間時間の設定 (p. 343)
- Pilot Assist*の限界 (p. 346)

Pilot Assist*によるオートブレーキ

Pilot Assist によるオートブレーキは以下のように作動します。

渋滞時や赤信号など、停止する時間が約 3 秒以内であれば、自動的に走行が始まります。先行車両が動き出すまでにそれ以上の時間がかかる場合には、Pilot Assist はオートブレーキによりスタンバイモードになります。

- Pilot Assist を再作動させるには、以下の方法を行います。
 - ステアリングホイールの  ボタンを押します。
 - アクセルペダルを踏み込みます。
 - › 前方の車両が 6 秒以内に前進し始めた場合、Pilot Assist は前方の車両への追従を再開します。

注意

Pilot Assist は最大 5 分間車両を静止させておくことができます。それ以上経過すると、パーキングブレーキが作動し、機能は解除されます。

Pilot Assist を再度作動させるには、パーキングブレーキを解除する必要があります。

オートブレーキの停止

状況により、静止すると同時にオートブレーキが停止して、Pilot Assist がスタンバイモード



- ◀◀ になることがあります。このため、ブレーキが解除され、車両が動き出す場合があります。運転者をご自分でブレーキをかけ、適切な位置を保ってください。

これは以下の状況で発生することがあります。

- 運転者がブレーキペダルに足を載せたとき
- パーキングブレーキをかけたとき
- ギヤセレクターレバーを **P**、**N** または **R** 位置にしたとき
- 運転者が Pilot Assist をスタンバイモードにしたとき

パーキングブレーキの自動作動

一部の状況では、パーキングブレーキが作動して、車両を静止状態に保ちます。

そうした状況が発生するのは：

- 運転者がドアを開けるか、シートベルトを外したとき
- Pilot Assist が車両を約5分間以上静止状態に保ったとき
- ブレーキがオーバーヒートしたとき
- エンジンが停止したとき

関連情報

- Pilot Assist* (p. 339)
- Pilot Assist*の作動と起動 (p. 342)
- Pilot Assist*のオフ/オン (p. 344)
- Pilot Assist*の車間時間の設定 (p. 343)

- Pilot Assist*の限界 (p. 346)

Pilot Assist*の限界

Pilot Assist 機能は、一部の状況で動作が制限されることがあります。

Pilot Assist 機能は、さまざまな状況で運転者の役に立つ支援機能です。しかし、周辺との間に安全な距離を確保し、車線内で適切な位置を維持することは、つねに運転者の責任です。

重要

Pilot Assist は以下の場合スイッチをオフにする、またはパフォーマンスを低下させる場合があります。

- 車線区分線が摩耗している、欠如している、または重なり合っているとき。
- 車線の境界が明確でないとき。例：車線が分岐しているまたは合流している場合、出口付近、複数の表示が存在する場合など。
- 道路上、または道路付近にある境界線やその他の線が車線よりも目立つとき。例：カーブ、合流地点、道路工事、防壁や路肩の境界線、濃い影など。
- 車線が狭い、または曲がりくねっているとき。
- 悪天候のとき。例：雨、雪、霧、ぬかるみ、低照度条件による視界の低下、逆光、濡れた路面など。

運転者は、Pilot Assist には以下のような機能の限界があることにも注意してください。

- 高い縁石、路側防護策、一時的な障害物（トラフィックコーン、防護策など）は検知されません。または、車線境界線として正しく検知されずに、車両が接触する危険性があります。運転者は自分自身

でそのような障害物と車両の間に適切な距離を確保する必要があります。

- センサーおよびレーダーセンサーには、道路交通環境で接近する物体や障害物すべてを検知する性能はありません。例：ルートを完全に、または部分的に妨げる道路の深くぼみ、停止車両、物体など。
- パイロットアシストは、歩行者や動物などを「感知」することはできません。
- 推奨のステアリング装置の性能には限界があります。運転者のハンドル操作をつねに支援し、車両を車線内に維持できるわけではありません。

運転者はいつでも Pilot Assist によるステアリング操作を修正または調整することができ、ステアリングホイールを任意の方向に回すことができます。

急な坂道や重い荷物を積載しての走行

Pilot Assist は主に、平坦な路面走行時に設計されています。重い荷物を積載したり、トレーラーをけん引しながら急な下り坂を走行する場合、この機能が前方の車両と適切な距離を保つことがむずかしい場合があります。このような場合には、特に注意を払い、いつでもブレーキをかけられるようにしてください。

その他

① 注意

本機能は一部限界のある車両のカメラユニットを使用しています。「カメラユニットの機能の限界」を参照してください。

① 注意

本機能は一部機能に限界のある車両のレーダーユニットを使用しています。「レーダーユニットの機能の限界」を参照してください。

関連情報

- Pilot Assist* (p. 339)
- Pilot Assist*の作動と起動 (p. 342)
- Pilot Assist*のオフ/オン (p. 344)
- Pilot Assist*の車間時間の設定 (p. 343)
- Pilot Assist*によるオートブレーキ (p. 345)
- レーダーユニットの限界 (p. 349)
- カメラユニットの限界 (p. 356)

レーダーユニット

レーダーユニットには他の車両を検知する役割があり、複数の運転者サポートシステムによって使用されます。



レーダーユニットは以下の機能に使用されま
す。

- 車間警告機能*
- アダプティブクルーズコントロール*
- Pilot Assist*
- City Safety

レーダーユニットは、絶対に改造しないでく
ださい。改造して使用することは、違法行為です。

関連情報

- レーダーユニットの限界 (p. 349)
- レーダーユニットの型式認定 (p. 352)

- 車間警告機能* (p. 363)
- アダプティブクルーズコントロール*
(p. 326)
- Pilot Assist* (p. 339)
- City Safety (p. 366)

レーダーユニットの限界

レーダーユニットには限界があるため、レーダーユニットを使用する機能にも限界があります。

カメラユニットの視野妨害



印の付いた範囲には、ステッカーなどを貼らないでください。

レーダーユニットはウインドスクリーン上部の内側にカメラユニットと一緒に取り付けられています。

! 重要

カメラおよびレーダーユニットの正面や周辺のウインドスクリーンの外側または内側には、物を置いたり、貼り付けたり、または取り付けたりしないでください。カメラおよびレーダー依存の機能の妨げになる可能性があります。



ドライバーディスプレイにこのシンボルと **ウインドスクリーンセンサーが遮られた、取扱説明書を参照して下さい** というメッセージと一緒に表示され

た場合、カメラユニットとレーダーユニットが前方の他の車両を検知できないことを意味しています。

以下の表には、表示メッセージの考えられる原因と、その対処法の例が記載されています。

原因	対処
カメラおよびレーダーユニット前方のウインドスクリーン表面が汚れているか、氷または雪が付着している。	カメラおよびレーダーユニット前方のウインドスクリーン表面の泥や氷、雪などをきれいに取り除いてください。
濃霧や激しい雨、雪などが原因で、レーダー信号またはカメラ視野が遮られている。	対処なし。激しい雨や雪のときは、ユニットが機能しない場合があります。



原因	対処
路面から跳ね上がる水や雪により、レーダー信号またはカメラ視野が遮られている。	対処なし。水たまりの多い道や雪道では、ユニットが機能しない場合があります。
ウインドスクリーンの内側とカメラおよびレーダーユニットの間に汚れが付着した。	ボルボ指定のサービス工場で、ウインドスクリーン内側のユニットカバーを清掃してください。

注意

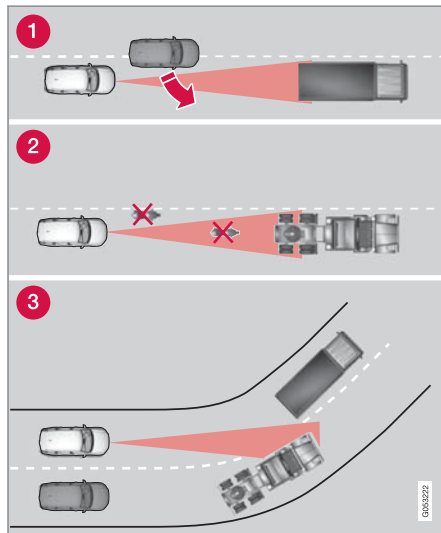
カメラおよびレーダーユニット正面のウインドスクリーンは、つねにきれいな状態に保ってください。

次のような場合は、レーダーユニットが前方を走行している車両を検知する能力が著しく低下します。

- 前方の車両の速度が自車の速度と大きく異なる。

視野の限界

レーダーユニットの視野には限界があります。状況によっては別の車両を検知したり、検知が遅れたりする場合があります。



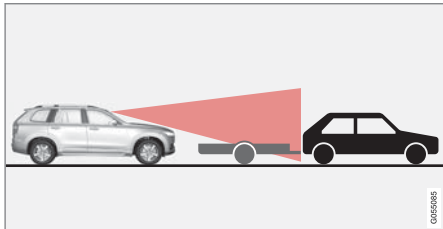
レーダーユニットの視野

- レーダーユニットは、自車と前方を走行している車両との間に割り込んで来る車両など、

至近距離の車両を検知するのに時間がかかることがあります。

- オートバイなどの小型車や、車線の中央を走行していない車両を検知しない場合があります。
- カーブでは、感知していた車両とは異なる車両を検知したり、感知中の車両を見失う場合があります。

車高の低いトレーラー



車高の低いトレーラーがレーダーの視野から外れている状態

車高の低いトレーラーもまた、レーダーユニットにとって感知が困難であったり、またはまったく感知できない場合があります。そのため、アダプティブクルーズコントロールや Pilot Assist が有効になっているときに車高の低いトレーラーの後ろを走行する際は、特に注意する必要があります。

高温

温度が非常に高いときは、カメラおよびレーダーユニットの電子装置を保護するために、エンジン始動後から約 15 分間、ユニットが一時的にオフになることがあります。温度が十分に下がると、カメラおよびレーダーユニットは自動的に再起動します。

ウインドスクリーンの損傷

❗ 重要

カメラやレーダーユニット「ウインド」カバーのいずれかにひび割れ、擦り傷、石はね傷があり、その面積が約 0.5 x 3.0 mm 以上の場合は、ウインドスクリーンの交換をサービス工場に依頼してください。ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

修理しないと、カメラおよびレーダーユニットを使用する運転者サポートシステムの性能低下につながる可能性があります。

レーダーユニットを使用するドライバーサポートシステム™の故障や不具合、または機能低下を防ぐために、以下の項目についても注意が必要です。

- ボルボでは、カメラおよびレーダーユニットの正面部分にあるひび割れ、擦り傷、石はね傷は**修理せず**に、ウインドスクリーン全体を交換することをお勧めします。
- ウインドスクリーンを交換する前にボルボ指定のサービス工場に連絡して、適切なウインドスクリーンが注文され、取り付けられるようにしてください。
- ウインドスクリーンワイパーを交換する際は、ボルボ社が承認している(または同等の)製品を使用してください。

❗ 重要

ウインドスクリーンを交換した場合、サービス工場でカメラおよびレーダーユニットを再校正して、車両のすべてのカメラおよびレーダーベースシステムが正しく機能することを確認してください。ボルボ指定のサービス工場にお任せください。

メンテナンス

カメラおよびレーダーユニットが正しく機能するように、ユニットの正面のウインドスクリーンから泥や氷、雪などをきれいに取り除き、洗車用洗剤と水で定期的に洗浄してください。

❗ 注意



カメラおよびレーダーユニットが泥、氷、雪などに覆われているときは、センサーの機能が低下し、誤作動する場合があります。



関連情報

- レーダーユニット (p. 348)
- カメラユニットの限界 (p. 356)
- 車間警告機能*の限界 (p. 365)
- アダプティブクルーズコントロール*の限界 (p. 336)
- Pilot Assist*の限界 (p. 346)
- City Safety の限界 (p. 371)



レーダーユニットの型式認定

レーダーユニットの型式認定が次の表に記載されています。

市場	ACCA ^A	BLIS(ブラインド・スポット・インフォメーション・システム) ^B	シンボル	型式認定
ブラジル		✓		Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito à proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário. Modelo: L2C0055TR 1500-15-8065 EAN: 07897843840978
ヨーロッパ	✓	✓		Hereby, Delphi Electronics & Safety declares that L2C0054TR / L2C0055TR are in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC. The Declaration of Conformity may be consulted at Delphi Electronics & Safety / 2151 E. Lincoln Road / Kokomo, Indiana 46902 USA
アラブ首長国連邦	✓			TRA REGISTERED No: ER37536/15 DEALER No: DA37380/15
		✓		TRA REGISTERED No: ER37357/15 DEALER No: DA37380/15

市場	AGCA ^A	BLIS(ブラインド・スポット・インフォーメーション・システム) ^B	シンボル	型式認定
インドネシア	✓			37295/POSTEL/2014 4927
		✓		38806/SDPPI/2015 4927
ヨルダン	✓			Type Approval No. : TRC/LPD/2014/255 Equipment Type: Low Power Device (LPD)
		✓		Type Approval No. : TRC/LPD/2015/3 Equipment Type: Low Power Device (LPD)
モロッコ	✓	✓		AGREE PAR L' ANRT MAROC NUMÉRO D' AGRÈMENT: MR 9929 ANRT 2014 DATE D' AGRÈMENT: 26/12/2014
モルドバ	✓			1024
シンガポール	✓	✓		Complies with IDA Standards DA105753



市場	ACC ^A	BLIS(ブラインド・スポット・インフォメーション・システム) ^B	シンボル	型式認定
南アフリカ	✓			TA-2014/1824 APPROVED
		✓		TA-2014/2390 APPROVED
台湾	✓			CCAB15LP0560T3
		✓		CCAB15LP0680T0

^A ACC = Adaptive Cruise Control

^B BLIS = Blind Spot Information

関連情報

- レーダーユニット (p. 348)
- レーダーユニットの限界 (p. 349)
- アダプティブクルーズコントロール* (p. 326)
- Blind Spot Information* (p. 402)

カメラユニット

カメラユニットには車線境界線や道路標識を検知する役割があり、複数の運転者サポートシステムによって使用されます。



カメラユニットは以下の機能に使用されます。

- アダプティブクルーズコントロール
- レーン・キープ・エイド
- Driver Alert Control
- Pilot Assist*
- City Safety
- ロード・サイン・インフォメーション
- アクティブハイビーム

関連情報

- カメラユニットの限界 (p. 356)
- レーンアシスト* (p. 377)

- City Safety (p. 366)
- Driver Alert Control (p. 375)
- Pilot Assist* (p. 339)
- ロード・サイン・インフォメーション* (p. 359)
- ハイビームのオン/オフ (p. 181)

カメラユニットの限界

カメラユニットには限界があるため、カメラユニットを使用する機能にも限界があります。

視界不良

カメラは人間の目と同様に限界があり、大雪や大雨、濃霧、風塵、吹雪などではカメラの「視界」が悪化します。このような状況の下では、カメラに依存するシステムの機能が大幅に低下するか、一時的に解除される場合があります。

前方から強い光が射し込んでいるとき、車道からの反射光があるとき、路面に雪や氷があるとき、路面が汚れているとき、車線マークが見えにくいときなども、カメラの機能(車線のスクリーンや歩行者、サイクリストおよび他車を感知する機能など)が著しく低下するおそれがあります。

カメラユニットの視野妨害



印の付いた範囲には、ステッカーなどを貼らないでください。

カメラユニットはウィンドスクリーン上部の内側にレーダーユニットと一緒に取り付けられています。

重要

カメラおよびレーダーユニットの正面や周辺のウィンドスクリーンの外側または内側には、物を置いたり、貼り付けたり、または取り付けたりしないでください。カメラおよびレーダー依存の機能の妨げになる可能性があります。



ドライバーディスプレイにこのシンボルと **ウィンドスクリーンセンサーセンサーが遮られた**、**取扱説明書を参照して下さい** というメッセージが一緒に表示された場合、カメラユニットとレーダーユニットが

前方の他の車両を検知できないことを意味しています。

以下の表には、表示メッセージの考えられる原因と、その対処法の例が記載されています。

原因	対処
カメラおよびレーダーユニット前方のウィンドスクリーン表面が汚れているか、氷または雪が付着している。	カメラおよびレーダーユニット前方のウィンドスクリーン表面の泥や氷、雪などをきれいに取除いてください。
濃霧や激しい雨、雪などが原因で、レーダー信号またはカメラ視野が遮られている。	対処なし。激しい雨や雪のときは、ユニットが機能しない場合があります。
路面から跳ね上がる水や雪により、レーダー信号またはカメラ視野が遮られている。	対処なし。水たまりの多い道や雪道では、ユニットが機能しない場合があります。

原因	対処
ウインドスクリーンの内側とカメラおよびレーダーユニットの間に汚れが付着した。	ボルボ指定のサービス工場で、ウインドスクリーン内側のユニットカバーを清掃してください。
前方からの強い光	対処なし。明るさが良好になるようにカメラユニットが自動的にリセットされます。

注意

カメラおよびレーダーユニット正面のウインドスクリーンは、つねにきれいな状態に保ってください。

高温

温度が非常に高いときは、カメラおよびレーダーユニットの電子装置を保護するために、エンジン始動後から約 15 分間、ユニットが一時的にオフになることがあります。温度が十分に下がると、カメラおよびレーダーユニットは自動的に再起動します。

ウインドスクリーンの損傷

重要

カメラやレーダーユニット「ウインド」カバーのいずれかにひび割れ、擦り傷、石はね傷があり、その面積が約 0.5 x 3.0 mm 以上の場合、ウインドスクリーンの交換をサービス工場に依頼してください。ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

修理しないと、カメラおよびレーダーユニットを使用する運転者サポートシステムの性能低下につながる可能性があります。

レーダーユニットを使用するドライバーサポートシステム™の故障或不具合、または機能低下を防ぐために、以下の項目についても注意が必要です。

- ボルボでは、カメラおよびレーダーユニットの正面部分にあるひび割れ、擦り傷、石はね傷は**修理せず**に、ウインドス

クリーン全体を交換することをお勧めします。

- ウインドスクリーンを交換する前にボルボ指定のサービス工場に連絡して、適切なウインドスクリーンが注文され、取り付けられるようにしてください。
- ウインドスクリーンワイパーを交換する際は、ボルボ社が承認している(または同等の)製品を使用してください。

重要

ウインドスクリーンを交換した場合、サービス工場ではカメラおよびレーダーユニットを再校正して、車両のすべてのカメラおよびレーダーベースシステムが正しく機能することを確認してください。ボルボ指定のサービス工場にお任せください。

メンテナンス

カメラおよびレーダーユニットが正しく機能するように、ユニットの正面のウインドスクリー



- ◀◀ ンから泥や氷、雪などをきれいに取り除き、洗車用洗剤と水で定期的に洗浄してください。

i 注意

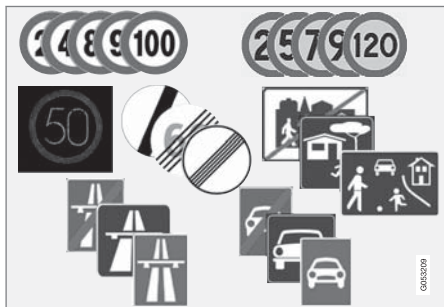
カメラおよびレーダーユニットが泥、氷、雪などに覆われているときは、センサーの機能が低下し、誤作動する場合があります。

関連情報

- カメラユニット (p. 355)
- レーダーユニットの限界 (p. 349)
- レーンアシスト* (p. 377)
- Driver Alert Control の限界 (p. 377)
- Pilot Assist*の限界 (p. 346)
- City Safety の限界 (p. 371)
- ロード・サイン・インフォメーション*の限界 (p. 363)

ロード・サイン・インフォメーション*

ロード・サイン・インフォメーション(Road Sign Information - RSI)は、通過した速度標識および特定の禁止標識を運転者に知らせる補助機能です。



読み取り可能な標識の例³

RSI は、高速道路や幹線道路の起点/終点時の速度や、追い越し禁止、一方通行などの情報を運転者に知らせます。

高速道路や自動車道に関する標識と制限速度の標識の両方を通過した場合は、RSI は制限速度の標識シンボルを選択して表示します。

警告

RSI はあらゆる状況で作動するわけではなく、補助機能に過ぎません。

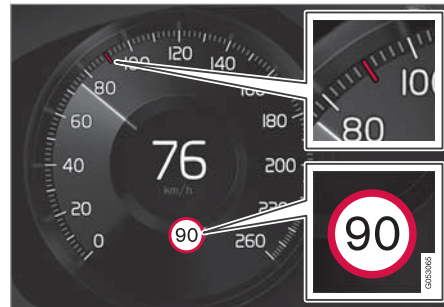
安全運転を行い、適用されている交通法規や規則に従う責任は、つねに運転者にあります。

関連情報

- ロード・サイン・インフォメーションの標識表示 (p. 359)
- スピード違反取り締まりカメラに関する情報 (p. 361)
- ロード・サイン・インフォメーションのオン/オフ (p. 362)
- ロード・サイン・インフォメーション*の限界 (p. 363)

ロード・サイン・インフォメーションの標識表示

ロード・サイン・インフォメーション機能(Road Sign Information - RSI)は、標識および状況に応じて、さまざまな方法で道路標識を登録および表示します。



記録された速度情報の例⁴

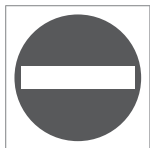
RSI が制限速度の道路標識を検知すると、ドライブディスプレイにその標識がシンボルとして表示されるとともに、スピードメーターに赤色の表示が追加されます。

³ 道路標識は市場によって異なります。本マニュアル内の図は例に過ぎません。

⁴ 道路標識は市場によって異なります。本マニュアル内の図は例に過ぎません。



制限速度のシンボルの他に、「追い越し禁止」や「進入禁止」などの標識も追加表示されることがあります。



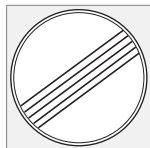
運転者が進入禁止の標識のある道路に進入すると、この標識のシンボルがドライバーディスプレイに点滅して警告します。

警告音 機能がオンの場合、進入禁止の入口方向に走行しているときにも警告音が鳴ることがあります。「ロード・サイン・インフォメーションのオン/オフ」の項の「警告音のオン/オフ」を参照してください。

制限区間または高速道路の終点

RSI が制限速度の終了(高速道路の終点など)を表す標識を検知すると、ドライバーディスプレイは対応する道路標識を 10~30 秒間表示します。

そのような標識の例は:



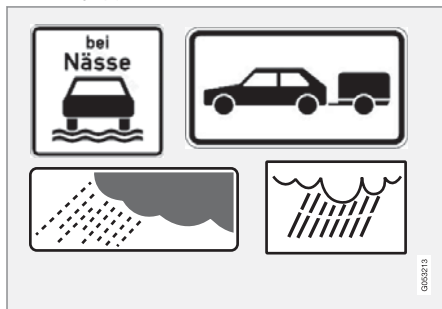
全制限の終点



高速道路の終点

その後、次の速度関連の標識を検知するまでロード・サイン・インフォメーションは非表示になります。

付加的標識

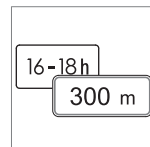


付加的標識の例⁴

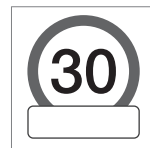
場合によっては、同一道路上であっても、異なる制限速度標識が掲示されている場合があります。このような場合には、付加的標識が表示されることで、複数の制限速度が適用されていることがわかります。また、現在通行中の箇所は、雨や霧発生時には特に事故が発生しやすい場所であることもあります。

雨に関連した付加的標識はウインドスクリーンワイパーが作動しているときのみ、表示されます。

車両にトレーラーが接続されているとき、「トレーラー」の付加的標識の付いた速度標識を通過すると、その速度がドライバーディスプレイに表示されます。



制限速度の中には、特定の距離の走行後、または特定の時間帯のみ適用されるものがあります。このような状況では、制限速度を示すシンボルの下の付加的標識で運転者の注意を促します。ドライバーディスプレイの付加的標識には、「DIST」または「TIME」が表示されます。



ドライバーディスプレイの速度シンボルの下にある空フレームの付加的標識のシンボルは、RSI が現在の制限速度の補足となる付加的標識を検知したことを示しています。

⁴ 道路標識は市場によって異なります。本マニュアル内の図は例に過ぎません。

関連情報

- ロード・サイン・インフォメーション*
(p. 359)
- ロード・サイン・インフォメーションのオン/オフ (p. 362)

スピード違反取り締まりカメラに関する情報

Sensus Navigation 搭載車両では、接近するスピード違反取り締まりカメラに関する情報をドライバーディスプレイに表示することができます。



ドライバーディスプレイのスピード違反取り締まりカメラ警告



車両が検知した制限速度を超過している場合、車両がスピード違反取り締まりカメラに近づくと運転者に警告を發します。ただし、ご利用の地域用ナビゲーションマップに、スピード違反取り締まりカメラに関する情報が含まれている必要があります。

スピード違反取り締まりカメラに関連した速度警告に関する詳細情報については、「ロード・サイン・インフォメーションのオン/オフ」および「ロード・サイン・インフォメーションの作動限界」の項の「速度警告のオン/オフ」を参照してください。

i 注意

ナビゲーションマップ上のスピード違反取り締まりカメラに関する情報は、一部の市場ではご利用いただけません。

関連情報

- ロード・サイン・インフォメーション*
(p. 359)
- ロード・サイン・インフォメーションのオン/オフ (p. 362)
- ロード・サイン・インフォメーション*の限界 (p. 363)

ロード・サイン・インフォメーションのオン/オフ

ロード・サイン・インフォメーション(Road Sign Information - RSI)機能はオン/オフにすることができます。

ロード・サイン・インフォメーションのオン/オフ



この機能はセンターディスプレイの機能ビューで作動/解除します。

- 機能ビューで **ロード・サイン・インフォメーション** をタップします。
 - > RSI がオンになり、ボタンに緑のインジケーターが表示されます。グレーのインジケーターは、RSI がオフになっていることを表します。

速度警告のオン/オフ

速度警告機能は、規定の制限速度を超過した際に運転者に警告を発します。速度違反取締りカメラ情報に該当する場所で制限速度を超えると、必ず速度警告が出されます。機能をオンにするかオフにするかは、運転者が選択することができます。



速度警告は、規定の速度を上回ったときに、ドライバーディスプレイ上の制限時速を示すシンボルが一時的に点滅することで発せられます。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** を押します。
2. **My Car → IntelliSafe → ロード・サイン・インフォメーション** を押します。
3. **制限速度警告** を選択して、速度警告をオン/オフにします。
 - > この機能がオンの場合、スピードセレクトターが表示されます。
4. 上/下矢印を押して、速度警告を出すときの基準となる制限速度を上下に調整します。
ドライバーディスプレイの速度違反取締りカメラのシンボルは、制限速度に関わらず表示されます。

警告音のオン/オフ

速度警告と関連付けて警告音を鳴らすように設定することもできます。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** を押します。
2. **My Car → IntelliSafe → ロード・サイン・インフォメーション** を押します。

3. **警告音** を選択して、作動音をオン/オフにします。

警告音 機能がオンになっている場合、進入禁止の入口方向へ走行しているときにも警告されません。

関連情報

- **ロード・サイン・インフォメーション*** (p. 359)
- **スピード違反取締り締まりカメラに関する情報** (p. 361)
- **ロード・サイン・インフォメーションの標識表示** (p. 359)

ロード・サイン・インフォメーション*の限界

ロード・サイン・インフォメーション Road Sign Information - RSI 機能は、一部の状況で動作が制限されることがあります。

以下のようなものが、RSI 機能を低下させる可能性があります。

- 色があせた標識
- カーブに設置された標識
- 向きが変えられた標識や損傷のある標識
- 道路よりも非常に高い位置に設置された標識
- 全体または一部が隠れている標識や設置位置が不適切な標識
- 霜や雪、泥で完全にまたは部分的に覆われている標識
- デジタルロードマップ⁵ が古い、または間違っている。

① 注意

RSI 機能は、特定のタイプのサイクルキャリア (トレーラーの電気ソケットへ接続されたもの) を、接続されたトレーラーとみなす場合があります。そのような場合、運転者には誤った速度情報が表示されることがあります。

① 注意

本機能は一部限界のある車両のカメラユニットを使用しています。「カメラユニットの機能の限界」を参照してください。

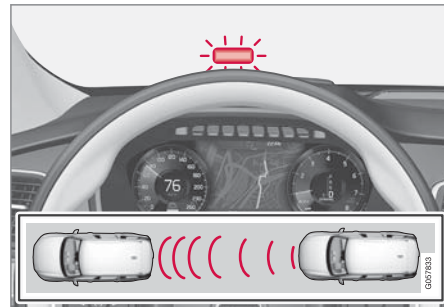
関連情報

- ロード・サイン・インフォメーション* (p. 359)
- ロード・サイン・インフォメーションのオン/オフ (p. 362)
- ロード・サイン・インフォメーションの標識表示 (p. 359)
- カメラユニットの限界 (p. 356)

車間警告機能*

車間警告機能 (Distance Alert) は、先行車との車間時間が短くなりすぎた場合に運転者に警告するシステムです。

車間警告機能は、速度が 30 km/h (20 mph) を超えているときに作動し、同じ方向に走行している先行車に対してのみ反応します。対向車、低速で走行している車両、または停止している車両に対して、車間情報は表示しません。



警告灯

前方の車両との車間時間がプリセット値よりも短くなると、ウインドスクリーンの視認できる位置に警告灯が点灯します。

ヘッドアップディスプレイ*装備車の場合、ウインドスクリーンにシンボルで警告が出ます。

⁵ Sensus Navigation 装備車のみ。

① 注意

アダプティブクルーズコントロール作動中は、車間警告機能は解除されます。

⚠ 警告

車間警告機能は、前方の車両との距離が、プリセットされた値より短くなったときにのみ反応します。自車の車速とは関係しません。

関連情報

- 車間警告機能*の作動と車間時間の設定 (p. 364)
- 車間警告機能*の限界 (p. 365)
- ヘッドアップディスプレイ* (p. 153)
- アダプティブクルーズコントロール* (p. 326)

車間警告機能*の作動と車間時間の設定

車間警告 (Distance Alert) 機能はオン/オフにすることができます。車間時間は設定することができます。

車間警告機能のオン/オフ



この機能はセンターディスプレイの機能ビューで作動/解除します。

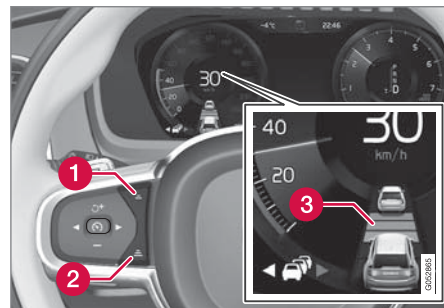
- 機能ビューで **車間警告** をタップします。
 - › 車間警告機能がオン/オフになり、緑色/灰色のインジケーターがボタンに表示されます。

車間警告機能の車間時間の設定



先行車両との車間時間は増減させることができ、1~5本の横線によってドライバーディスプレイに表示することができます。線の数が多いほど、車間時間が長くなります。横線が1本であれば、前方の車両まで約1秒であることを示し、横線が5本あれば、約3秒であることを示します。

アダプティブクルーズコントロール機能の作動中も、同じシンボルが表示されます。



車間時間用コントロール

- 1 車間時間を短くする
 - 2 車間時間を長くする
 - 3 車間警告機能
- ステアリングホイールのボタン(1)または(2)を押して、車間時間を長くまたは短くします。
 - › 現在の車間時間が距離インジケーター(3)に表示されます。

① 注意

車速が速くなるほど、一定車間時間に相当する計算上の距離(単位:メートル)が長くなります。

設定された車間時間は、アダプティブクルーズコントロール機能にも使用されます。

各地の交通法規で許可されている車間時間のみを使用してください。

関連情報

- 車間警告機能* (p. 363)
- 車間警告機能*の限界 (p. 365)
- アダプティブクルーズコントロール* (p. 326)

車間警告機能*の限界

車間警告(Distance Alert)機能は、一部の状況でその限界により動作が低下する場合があります。

① 注意

陽射しが強いときや光の反射があるとき、光の明暗が著しく変わるとき、あるいは運転者がサングラスを着用しているときは、ウインドスクリーンの警告灯が見えにくい場合がありますのでご注意ください。

悪天候下での走行時や曲がりくねった道路では、前方を走行している車両を検知するレーダーユニットの性能が低下します。

また、レーダーセンサーの感知能力は、車両の大きさ(オートバイなど)にも左右されません。場合によっては設定よりも短い車間距離で警告灯が点灯したり、警告灯がまったく点灯しなかったりすることがあります。

極めて高速で走行すると、センサー視野の限界により、設定より短い距離で警告灯が点灯する場合があります。

① 注意

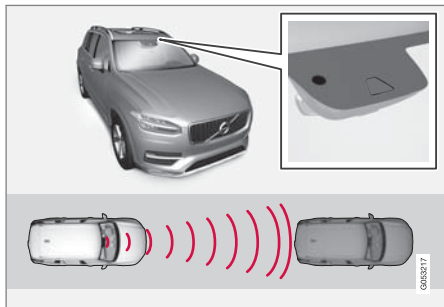
本機能は一部機能に限界のある車両のレーダーユニットを使用しています。「レーダーユニットの機能の限界」を参照してください。

関連情報

- 車間警告機能* (p. 363)
- 車間警告機能*の作動と車間時間の設定 (p. 364)
- レーダーユニットの限界 (p. 349)

City Safety

City Safety は歩行者、サイクリスト、車両が出現すると警告表示と警告音でドライバーに知らせます。ドライバーが妥当な時間内に行動を起こさない場合、自動的にブレーキを作動します。



レーダーユニットの位置

City Safety は衝突を防止すること、または衝突速度を低減することができます。

City Safety は、歩行者、サイクリストまたは車両と衝突する危険があるときに運転者を支援する機能です。

City Safety 機能は、渋滞時の走行などで、前方の交通状況の変化や注意不足などにより事故が発生する可能性があるときに、運転者が衝突を回避できるように支援します。

この機能は、運転者が適切な時間内にブレーキ操作やステアリング操作を行わず、衝突の危険が迫っているときに、車両に自動的にブレーキをかけることにより運転者を支援します。

City Safety により、短時間で鋭くブレーキがかけられ、通常の状況であれば、前方の車両のすぐ手前で車を停止させることができます。多くのドライバーにとっては、これは通常の運転スタイルの範囲内ではないため、不快に感じられる場合があります。

City Safety は、運転者がブレーキをかけ遅れたときに作動します。そのため、あらゆる状況で運転者の補助となるわけではありません。

不必要な介入を避けるため、City Safety は直前まで作動しないように設計されています。

運転者または乗員は通常 City Safety に気づくことはありません。作動に気づくのは、衝突寸前になったときのみです。

City Safety は車速を最大で 50 km/h (30 mph) 減速させることにより前方の車両または自転車との衝突を回避することができます。歩行者が対象の場合、City Safety は車速を最大で 45 km/h (28 mph) 減速させることができます。

速度差がそれぞれ 50 km/h (30 mph) または 45 km/h (28 mph) を超えている場合、City Safety のオートブレーキでは衝突を回避でき

ませんが、衝突の被害を軽減することが可能です。

警告

City Safety は支援機能に過ぎません。走行状況や交通、天候、路面の状態などにより作動しない場合があります。

衝突の危険が高くなったときのみ、警告が出ます。本セクションおよびセクション「City Safety の機能の限界」には、City Safety の使用前に運転者が注意すべき制限事項に関する情報が記載されています。

歩行者およびサイクリストに対する警告およびブレーキ介入は、車速が 80 km/h (50 mph) を超えると解除されます。

City Safety のオートブレーキ機能により、衝突事故を回避、または衝突速度を低下させることができます。ブレーキの全性能を十分に発揮できるように、たとえ車両にオートブレーキがかかっている場合でも、運転者はブレーキペダルを踏み込むようにしてください。

加速速度が速い場合、City Safety はオートブレーキを一切作動しません。

運転者には適切な車間距離と速度を維持する責任がつねにあります。絶対に、衝突警告や City Safety の作動を待たないでください。

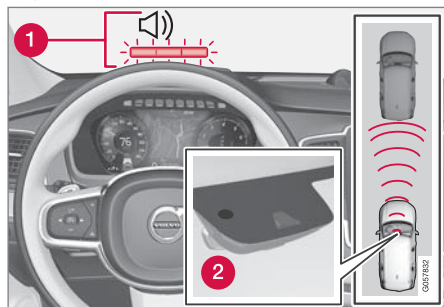
市場による制限事項

City Safety は一部の国では利用できません。City Safety がセンターディスプレイの **設定** メニューに表示されない場合、車両にこの機能は装備されていません。

トップメニューの検索パス：**設定** → **My Car** →

IntelliSafe

概要



機能の概要

- ① 衝突の危険を知らせる警告音および警告灯
- ② カメラおよびレーダーユニットによる距離測定

City Safety は3つのステップを以下の順序で実行します。

1. 衝突警告システム
2. ブレーキサポート
3. オートブレーキ

衝突警告システム

まず運転者に衝突事故が切迫していることを警告します。

City Safety は、歩行者、サイクリスト、自車の前方で停止している車両、または同じ方向に走行している車両を検知できます。

歩行者、サイクリスト、または車両(「City Safety の横方向の交通への対応」の項に記載されている車両を含む)と衝突する危険がある場合、赤い警告灯(1)の点滅、警告音およびブレーキパルスによる触覚警告で運転者に注意を促します。低速走行時や急ブレーキまたは急加速時には、触覚警告はありません。ブレーキパルス周波数は車速に応じて変化します。

ブレーキサポート

警告の後にもさらに衝突の危険が増した場合は、衝突警告システムによりブレーキサポートが作動します。

システムがブレーキだけでは衝突を回避するのに不十分だと判断すると、ブレーキサポートが運転者の制動を補助します。

オートブレーキ

オートブレーキ機能は最後に作動します。

この時点でも運転者が事故を回避するための行動を開始せず、衝突の危険が切迫した場合には、運転者がブレーキをかけるかどうかに関係なく、オートブレーキ機能が作動します。この場合、衝突時の速度を減少させるためにフルブ

レーキがかかります。もしくは、衝突を避けるのに十分であれば、制動力が制限されます。

オートブレーキと連動して、シートベルトテンショナーも作動することがあります。詳しくは、「シートベルトテンショナー」の項を参照してください。

状況により、オートブレーキの動作は軽い制動で始まり、徐々にフルブレーキに達することもあります。

City Safety により静止物体との衝突が防止されると、車両は停止状態を維持し、運転者からの積極的な操作を待ちます。前方の車両が自車よりも遅い速度で走行しているために自車にブレーキがかかった場合、前方の車両が維持している車速と同じ速度に減速します。

運転者はアクセルペダルを踏み込むことで、いつでもブレーキの介入を中断させることができます。

① 注意
City Safety™ によりブレーキが作動する際には、ブレーキランプが点灯します。

City Safety が作動してブレーキがかかると、ドライバーディスプレイにディスプレイテキストが表示され、この機能が作動していることを示します。



警告

City Safety が装備されているからといって、運転スタイルを変更しないでください。ブレーキの作動を City Safety のみに頼っていると、いずれ衝突事故が発生します。

関連情報

- City Safety の警告距離の設定 (p. 368)
- City Safety による障害物の検知 (p. 369)
- City Safety の横方向の交通への対応 (p. 370)
- City Safety の限界 (p. 371)
- City Safety に関するメッセージ (p. 374)
- シートベルトテンショナー (p. 99)

City Safety の警告距離の設定

City Safety つねにオンになっていますが、その警告距離は設定することができます。

注意

City Safety 機能を無効にすることはできません。この機能はエンジン/電気モーター始動時に自動的に起動し、エンジン/電気モーターが停止するまでオンの状態を維持します。

警告距離はシステムの感度を特定して、警告灯、警告音および触覚警告が作動するときの距離を制御します。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car → IntelliSafe** を押します。
3. **City Safety** で **後**、**ノーマル**、**前** のいずれかを選択して、警告距離を設定します。

最初に **前** に設定してみてください。この設定で警告が出る回数が多すぎて、不愉快に感じることがある場合は、警告距離を **ノーマル** に変更してください。

警告が出る回数が多過ぎる、または警告が多く感じる場合は、警告距離を短くします。この場合、システムが警告を出すタイミングが遅くなり、警告の回数が減ります。

後 警告距離は、例外的な場合(ダイナミック走行など)にのみ使用してください。

注意

City Safety は運転者に衝突の危険を警告しますが、運転者の反応時間を短くすることはできません。

City Safety が効果を発揮できるように、必ず警告距離を **前** に設定して走行することをお勧めします。

注意

状況により、警告距離「**前**」を設定していても、警告が出るタイミングが遅いと感じる場合があります。(例えば、前方を走行している車両と自車の速度差が大きいつきや、前方の車両が急ブレーキをかけたときなど。)

注意

衝突警告の警告距離が最短レベル「**後**」に設定されている場合、Rear Collision Warning用の方向指示器による警告は、オフになります(「City Safety の警告距離の設定」を参照)。

ただし、シートベルトのプリテンショナー装置(自動巻き上げ装置)、およびブレーキ機能はオンになったままです。

警告

どのような自動システムであっても、あらゆる状況で100%適切に機能するという保証はありません。このため、絶対に人や車両を対象に City Safety をテストしないでください。重大な物損事故や人身事故、場合によっては死亡事故につながるおそれがあります。

関連情報

- City Safety (p. 366)

City Safety による障害物の検知

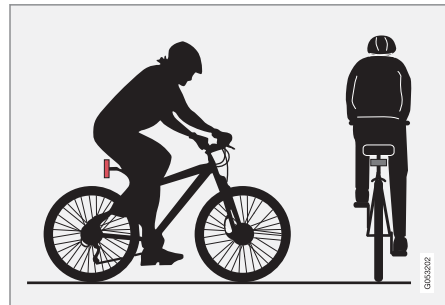
City Safety が検知できる障害物は、車両、サイクリストおよび歩行者です。

車両

City Safety™ は、停車している車両または自動車と同じ方向に走行している車両のほとんど、「City Safety の横方向の交通への対応」で説明されている車両を検知します。

City Safety™ が暗闇で車両を検知できるためには、対象車両のフロントライトおよびリアランプが明るく点灯している必要があります。

サイクリスト



City Safety がサイクリストとして認識できる最適な例(サイクリストの輪郭と自転車の外形がはっきりしている)。

システムが最大限の性能を発揮するためには、サイクリスト検知機能が自転車と乗る人の体の輪郭に関するできるだけ明瞭な情報を得ること

が必要です。すなわち、自転車、頭部、両腕、両肩、両脚、胴体に加え、人間のような動きのパターンが検知できることを意味します。

自転車と乗る人の体の大部分がカメラの視界に入っていない場合には、システムは歩行者を検知することができません。

システムは、大人用の自転車に大人が乗っている場合にサイクリストを検知することができません。

警告

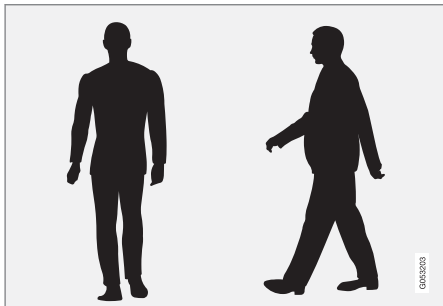
City Safety は支援機能に過ぎません。

この機能には次のような場合に検知できません：

- あらゆる状況ですべてのサイクリストを検知できるわけではありません。例えば、一部が隠れているサイクリストなどは検知できません。
- 体の輪郭を隠す衣服を身に着けているサイクリスト。
- 大きい荷物などを積んでいる自転車は検知できません。

車両を適切に運転し、速度に応じて安全な距離を保つことは、つねに運転者の責任です。

歩行者



体型が明確で、システムが歩行者であると認識できる最適な例

システムが最大限の性能を発揮するためには、歩行者を検知するシステム機能が、体型に関与できるだけ明瞭な情報を得ることが必要です。すなわち、頭部、両腕、両肩、両脚、胴体に加え、人間のような動きのパターンが検知できることを意味します。

歩行者を検知できるようにするためには、背景との対比が必要です。これには服装、背景および天気などの要素が影響します。対比がはっきりしない場合、歩行者は検知が遅れたり、まったく検知できないことがあり、警告やブレーキが遅れる、または作動しないことがあります。

City Safety は、車両のヘッドライトを使用して、暗闇でも歩行者を検知することができます。

警告

City Safety は支援機能に過ぎません。状況により歩行者を検知できない場合があります。例えば、以下のような歩行者は検知できません。

- 体の一部が隠れている歩行者、体の輪郭がわかりにくい衣服を着用している歩行者、または身長が 80 cm 未満の歩行者。
- 歩行者の背景コントラストが良好でない場合。警告およびブレーキの介入が遅れたり、作動しなかったりする場合があります。
- 大きな荷物などを運んでいる歩行者。

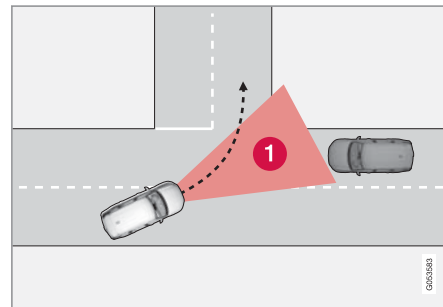
車両を適切に運転し、速度に応じて安全な距離を保つことは、つねに運転者の責任です。

関連情報

- City Safety (p. 366)

City Safety の横方向の交通への対応

City Safety は、交差点で対向車の進路を横切るときに役立ちます。



City Safety が対向車を検知できる範囲

City Safety が衝突進路の接近車両を検知するためには、City Safety が状況を分析できる範囲(1)に対向車が入る必要があります。

さらに以下の条件も満たす必要があります。

- 運転者の車両が 4 km/h (3 mph) 以上の速度で走行している
- 接近車両のヘッドライトが点灯している

警告

City Safety は支援機能に過ぎません。走行状況や交通、天候、路面の状態などにより作動しない場合があります。

対向車と衝突する危険を原因とする警告およびブレーキの介入は、非常に遅い段階で行われることがよくあります。

運転者には適切な車間距離と速度を維持する責任がつけねにあります。絶対に、衝突警告や City Safety の作動を待たないでください。

作動限界

状況により、City Safety は横方向からの接近車両と衝突する危険に対処することがむずかしい場合があります。例えば、以下のような状況です。

- 滑りやすい状況でエレクトロニック・スタビリティ・コントロールの作動を伴う場合
- 接近車両の検知が遅すぎた場合
- 接近車両が別の車両で見えない場合
- 接近車両の走行が予測不能できない場合(遅い段階での急な車線変更など)

関連情報

- City Safety (p. 366)

City Safety の限界

City Safety 機能は、一部の状況で動作が制限されることがあります。

周囲の状況

低い物体

積荷が突き出ていることを示す布/テープなどの垂れ下がる物体や、補助ライトやブルバーなどボンネットより高い位置にあるアクセサリーによって機能が制限されます。

横滑り

路面が滑りやすいときには、制動距離が長くなるため、City Safety が衝突を回避する能力が低下する場合があります。そのような状況では、アンチロックブレーキおよびエレクトロニック・スタビリティ・コントロールが可能な範囲で最良の制動力を発揮して安定性を維持します。

前方からの光

陽射しが強いとき、光の反射があるとき、運転者がサングラスを着用しているとき、運転者が前方をまっすぐ見ていないときなどは、ウィンドスクリーンの警告灯が見えにくいことがあります。

熱

注意

陽射しの強いときなどに車内の温度が上昇すると、衝突警告灯が一時的に非作動となる場合があります。

- 前方を走行する車両との距離が近いときや、ステアリングホイールやペダルの動きが大きいとき(スポーティなドライビングスタイルのとき)は、警告が出ない場合があります。

◀ カメラおよびレーダーユニットの視野

カメラの視野には限界があります。このため、状況によっては歩行者、サイクリスト、車両が検知されないか、検知が遅れる場合があります。

汚れている車両は他の車両よりも検知に時間がかかることがあります。暗い場合、オートバイは検知が遅れること、またはまったく検知されないことがあります。

カメラおよびレーダーユニットが遮られているという内容のメッセージがドライバーディスプレイに表示された場合、City Safety は前方の歩行者、サイクリスト、車両または車線境界線を検知できないことがあります。したがって、City Safety の機能が低下する可能性があります。

ただし、ウインドスクリーンのセンサーが遮られている場合でも、エラーメッセージが表示されないことがあるため、運転者はカメラおよびレーダーユニットの正面付近のウインドスクリーンをつねにきれいな状態に保つ必要があります。

❗ 重要

City Safety コンポーネントのメンテナンスおよび交換は、ボルボ指定のサービス工場にお任せください。

運転者の操作

後退

車両後退中は、City Safety は一時的に解除されます。

低速

City Safety は 4 km/h 未満 (3 mph 未満) の低速では作動しません。駐車時など、非常に低速で前方の車両に接近している状況でこのシステムが作動しないのはそのためです。

運転者による積極的な操作

運転者の操作がつねに優先されます。そのため、衝突が回避できない状態でも、運転者が明確にステアリングを操作したり、アクセルペダルを操作したりしているときには、City Safety は介入しません、または警告/介入を見合わせません。

積極的で意識的な運転操作は、衝突警告や介入を遅らせることになり、不必要な警告を最小限にとどめることができます。

その他

⚠ 警告

カメラおよびレーダーユニットが歩行者、サイクリスト、または前方の車両を正確に感知できないような交通状況では、警告が出るタイミングまたはブレーキがかかるタイミングが遅れる場合や、まったく警告が出ない、あるいはブレーキがかからない場合があります。

夜間に車両を検知するためには、検知対象の車両のヘッドライトとテールランプが明るく点灯している必要があります。

カメラおよびレーダーユニットが歩行者とサイクリストを検知できる範囲には制限があります。このシステムは相対速度が 50 km/h (30 mph) 未満のときに効果的な警告およびブレーキ介入を行うことができます。停止車両や低速の車両に対する警告およびブレーキ介入は、速度が 70 km/h (43 mph) 以下のときに効果を発揮します。

夜間や視界が悪いときには、停止している車両、あるいは低速で走行している車両に対する警告が出ない場合があります。

歩行者およびサイクリストに対する警告およびブレーキ介入は、車速が 80 km/h (50 mph) を超えると解除されます。

カメラおよびレーダーユニットの正面や周辺のウインドスクリーンの外側または内側には、物を置いたり、貼り付けたり、または取り付けたりしないでください。カメラ依存の機能の妨げになる可能性があります。

① 注意

本機能は一部限界のある車両のカメラユニットを使用しています。「カメラユニットの機能の限界」を参照してください。

① 注意

本機能は一部機能に限界のある車両のレーダーユニットを使用しています。「レーダーユニットの機能の限界」を参照してください。

関連情報

- City Safety (p. 366)
- カメラユニットの限界 (p. 356)
- レーダーユニットの限界 (p. 349)

City Safety に関するメッセージ

ドライバーディスプレイには、City Safety に関する多くのメッセージが表示されます。

いくつかの例が以下の表に示されています。

メッセージ	意味
City Safety City Safety が作動する	City Safety がブレーキをかけたとき、またはオートブレーキをかけたとき、メッセージ表示と連動しているいくつかのドライバーディスプレイシンボルが点灯することがあります。
City Safety 機能が低下。販売店に お問い合わせください	システムが正常に機能していません。ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

関連情報

- City Safety (p. 366)

Rear Collision Warning

Rear Collision Warning (RCW) 機能は、後続車からの衝突を避けるのに役立ちます。

RCW は、エンジンを始動したときに自動的にオンになります。オフすることはできません。

RCW は方向指示器を急速に点滅させて、後続車の運転者に衝突の可能性があることを警告します。

車速が 30 km/h 未満 (20 mph 未満) のときに、後方から衝突される危険があることを RCW が検知すると、シートベルトテンショナーがフロントシートベルトに張力をかけ、Whiplash Protection System セーフティシステムが起動します。

また、衝突時に自車が前方に加速するのを抑えるために、衝突の直前に RCW がフットブレーキを作動させることもあります。ただし、これは自車が静止している場合に限定されます。アクセルペダルを踏むと、フットブレーキはただちに解除されます。

作動限界

状況により、RCW は衝突の危険があるときに運転者を支援することがむずかしい場合があります。例えば、以下のような状況です。

- 滑りやすい状況でエレクトロニック・スタビリティ・コントロールの作動を伴う場合
- 後方から接近してくる車両の検知が遅すぎた場合

- 後方から接近してくる車両が直前に車線を変更した場合
- 後方から接近してくる車両の速度が 80 km/h (50 mph) を超えている場合

ⓘ 注意

一部の市場では、地域の交通規制に従い、RCW が方向指示器による警告を**行いません**。こういった場合は、本機能のこの機能は無効にされています。

ⓘ 注意

衝突警告の警告距離が最短レベル「後」に設定されている場合、Rear Collision Warning 用の方向指示器による警告は、オフになります（「City Safety の警告距離の設定」を参照）。

ただし、シートベルトのプリテンショナー装置（自動巻き上げ装置）、およびブレーキ機能はオンになったままです。

関連情報

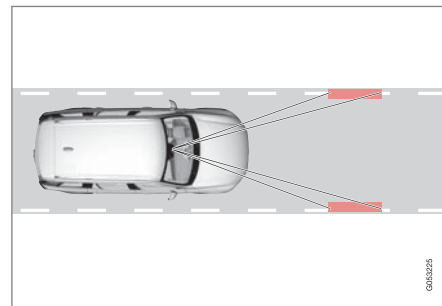
- City Safety (p. 366)
- City Safety の警告距離の設定 (p. 368)
- シートベルトテンショナー (p. 99)
- Whiplash Protection System (p. 97)

Driver Alert Control

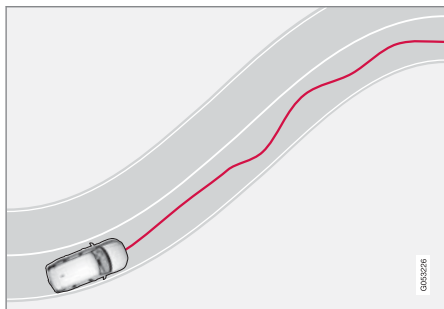
Driver Alert Control 機能は、集中力の低下や居眠りが現れるなど、運転者の運転が不安定になり始めたときに運転者の注意を喚起する機能です。

DAC の目的は幹線道路で徐々に運転能力が低下するのを感知することです。この機能は、市街地走行を意図したものではありません。

この機能は車速が 65 km/h (40 mph) を超えると作動し、60 km/h (37 mph) を超過している間作動し続けます。



走行している車線の両側の車線マークをカメラが感知し、運転者がステアリングホイールを操作する動きと道路の位置を比較します。



運転が著しく不安定になると、警告音が鳴り、ドライバーディスプレイにシンボルと **ちょっと休憩しますか？** メッセージが表示されます。

それでも運転能力が向上しない場合、しばらくすると再警告されます。

① 注意

この機能があっても、長時間続けて運転することは避けてください。運転者は定期的に休憩し、十分休んでから運転してください。

⚠ 警告

警告は必ず真剣に受け止め、対処してください。眠気に襲われている運転者は、自分のコンディションを自覚していない場合が多く見受けられます。

警告が出た、または運転者が疲労を感じた場合は、すみやかに安全な方法で停車し、休憩してください。

研究調査により、疲労時の運転は飲酒運転と同様の危険があることがわかっています。

⚠ 警告

Driver Alert Control はあらゆる状況で作動するわけではなく、補助機能に過ぎません。

安全運転の責任は、つねに運転者にあります。

関連情報

- Driver Alert Control を起動/解除する (p. 376)
- Driver Alert Control の限界 (p. 377)

Driver Alert Control を起動/解除する

Driver Alert Control (DAC) 機能はオン/オフにすることができます。

Driver Alert Control を起動/解除する

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car** → **IntelliSafe** → **ドライバー・アерт・コントロール** を押します。
3. **注意力警告** を選択して、DAC をオン/オフにします。

⚠ 警告

Driver Alert Control はあらゆる状況で作動するわけではなく、補助機能に過ぎません。

安全運転の責任は、つねに運転者にあります。

警告時の休憩所ガイドのオン/オフ

休憩所ガイドをオンまたはオフにするかどうかを選択することができます。休憩所ガイドをオンにすると、DAC が警告を出したとき、同時に、適切な休憩所の候補が提案されます。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。

2. **My Car → IntelliSafe → ドライバー・アерт・コントロール**を押します。
3. **休憩ストップ案内** を選択して、休憩所ガイドをオン/オフにします。

関連情報

- Driver Alert Control (p. 375)
- Driver Alert Control の限界 (p. 377)

Driver Alert Control の限界

Driver Alert Control (DAC)機能は、一部の状況で動作が制限されることがあります。

状況によっては、運転挙動に影響がないため、運転者が DAC から警告を一切受けない可能性があります。そのため、疲労の兆候が現れたら、DAC の警告の有無に関わらず、必ず停車して休憩をとるようにしてください。

状況により、運転能力が低下していなくてもシステムが警告を発する場合があります。例えば：

- 強い横風が吹いているとき
- わだちが多い路面を走行しているとき

注意

本機能は一部限界のある車両のカメラユニットを使用しています。「カメラユニットの機能の限界」を参照してください。

関連情報

- Driver Alert Control (p. 375)
- Driver Alert Control を起動/解除する (p. 376)
- カメラユニットの限界 (p. 356)

レーンアシスト*

レーンアシストの目的は、高速道路と同様の主要道路を走行中に、車両が現在の車線から不意に逸脱する危険を低下させるのに役立つことです。

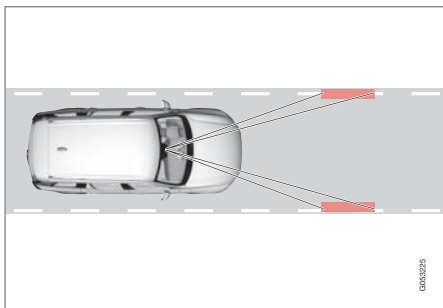
レーンアシストには、以下の2種類のバージョンがあります。

- Lane Departure Warning (LDW) - 警告音またはステアリングホイールの振動で運転者に警告します。
- Lane Keeping Aid (LKA) - ステアリング操作を行って車両を車線内に戻し、必要に応じて、警告音またはステアリングホイールの振動で運転者に警告します。

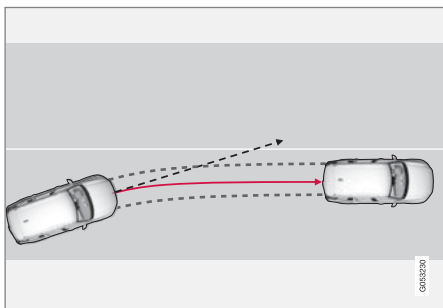
レーン・キープ・エイドは、車線境界線がはっきりと視認できる道路で速度が65-200 km/h (40-125 mph)のときに作動します。

狭い道路では、この機能は利用できないことがあります。この場合は、スタンバイモードになります。道幅が十分な広さになると、機能は利用できる状態に戻ります。

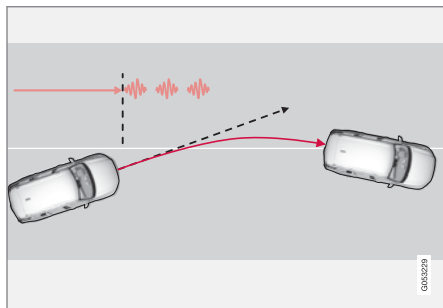




カメラが道路/車線の境界線を検知します。



レーンアシストはステアリング操作を行って車両を車線内に戻します(LKA のみ)。



レーンアシストはステアリングホイールを振動させて警告します⁶。

レーンアシストの反応は、バージョンおよび設定に応じて異なります。

1. ステアリングアシストが作動(LKA のみ): 車両が車線境界線に接近すると、LKA が軽度のステアリングホイール操舵力を駆使して、自発的にステアリング操作を行い、車両を車線内に戻します。
2. 警告が作動(LDW または LKA): 車両が車線境界線を越えそうになると、警告音またはステアリングホイールの振動により運転者に警告します。

⁶ 車両が車線から逸脱している時間が長くなるほど、ステアリングホイールの振動も長くなります。

① 注意

方向指示器を使用している場合、レーンアシストによるステアリング補正または警告はありません。

⚠ 警告

レーンアシストは、運転者を補助する機能に過ぎません。走行状況や交通、天候、路面の状態などにより作動しない場合があります。

安全運転を行い、適用されている法律や交通規則に従う責任は、つねに運転者にあります。

ステアリングアシスト

LKA ステアリングアシストが機能するためには、運転者が両手でステアリングホイールを握っている必要があります。システムはこの状態をモニターし続けます。

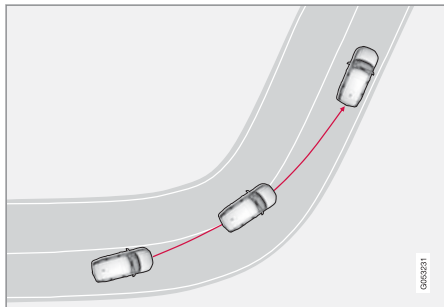


両手でステアリングホイールを握っていないと、シンボルと**車線維持支援 ステアリング操作して下さい**メッセージがドライバードisplayに表示され、運転者にステアリング操作を自発的に行うように促します。

運転者がステアリング操作を促すメッセージに反応しないと、警告音が鳴り、LKA がスタンバ

イモードになります。この状態になると、運転者が車両を操舵し始めるまで、機能は利用できません。

レーンアシストが介入しない



急な内向きカーブでは、レーンアシストは作動しません。

状況により、レーンアシストは、ステアリングアシストや警告を行うことなく、境界線からはみ出しを容認することがあります。方向指示器を使用している場合や急カーブを直線に近いライン取りで走行する場合などです。

作動限界

困難な走行条件では、レーンアシストが運転者を適切に支援できなくなる可能性があります。そのような場合、この機能をオフにしてください。

該当する条件の例：

- 道路工事
- 路面不良
- 車線境界線以外の線または崖
- スポーツ走行重視の運転スタイル
- 冬季の路面状態
- 視認性の低下を伴う天候不良

① 注意

本機能は一部限界のある車両のカメラユニットを使用しています。「カメラユニットの機能の限界」を参照してください。

関連情報

- Lane Departure Warning*を起動/解除する (p. 379)
- Lane Keeping Aid*を起動/解除する (p. 380)
- レーンアシスト*のシンボルおよびメッセージ (p. 381)
- カメラユニットの限界 (p. 356)

Lane Departure Warning*を起動/解除する

レーンアシストの Lane Departure Warning (LDW) バージョンはオン/オフにすることができます。

Lane Departure Warning を起動/解除する



この機能はセンターディスプレイの機能ビューで作動/解除します。

- 機能ビューで **レーン・デパチャー・ウォーニング*** をタップします。
 - > LDW がオン(緑色のボタン表示)またはオフ(灰色のボタン表示)になります。

Lane Departure Warning の警告のタイプを選択する

車両が車線から逸脱した場合の LDW の警告方法を選択することができます。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** を押します。
2. **My Car** → **IntelliSafe** → **レーン・デパチャー・ウォーニング*** を押します。

- ◀ 3. レーン・デパーチャー・ウォニングフィードバックで警告のタイプを選択します。

- **音声** - 警告音で運転者に警告します。
- **振動** - ステアリングホイールの振動で運転者に警告します。

関連情報

- レーンアシスト* (p. 377)
- Lane Keeping Aid*を起動/解除する (p. 380)
- レーンアシスト*のシンボルおよびメッセージ (p. 381)

Lane Keeping Aid*を起動/解除する

レーンアシストの Lane Keeping Aid (LKA) バージョンはオン/オフにすることができます。

Lane Keeping Aid を起動/解除する



この機能はセンターディスプレイの機能ビューで作動/解除します。

- 機能ビューで **レーン・キピング・エイド*** をタップします。
 - > LKA がオン(緑色のボタン表示)またはオフ(灰色のボタン表示)になります。

Lane Keeping Aid の警告のタイプを選択する

車両が車線から逸脱した場合の LKA の警告方法を選択することができます。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** を押します。
2. **My Car → IntelliSafe → レーン・キピング・エイド*** を押します。

3. **レーン・キピング・エイド***の警告フィードバックで警告のタイプを選択します。

- **音声** - 警告音で運転者に警告します。
- **振動** - ステアリングホイールの振動で運転者に警告します。

Lane Keeping Aid のステアリングアシストと警告

車両が車線から逸脱した場合の LKA の反応方法を選択することができます。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** を押します。
2. **My Car → IntelliSafe → レーン・キピング・エイド*** を押します。
3. **レーン・キピング・エイドアシストモード** で LKA の反応方法を選択します。
 - **アシスト** - 警告なしにステアリングアシストが行われます。
 - **両方** - 警告とともにステアリングアシストが行われます。
 - **警告** - 運転者への警告のみ

関連情報

- レーンアシスト* (p. 377)
- Lane Departure Warning*を起動/解除する (p. 379)
- レーンアシスト*のシンボルおよびメッセージ (p. 381)

レーンアシスト*のシンボルおよびメッセージ

ドライバーディスプレイには、レーンアシストのバージョン Lane Keeping Aid (LKA) および Lane Departure Warning (LDW) に関する多くのシンボルおよびメッセージが表示される可能性があります。

ドライバーディスプレイのシンボル



レーンアシストは、状況に応じて、ドライバーディスプレイのシンボルにより視覚化されます。

以下は、シンボルおよびシンボルが表示される状況の例です。

利用可能



利用可能 - シンボルの車線境界線が白色

レーンアシストは片側または両側の車線境界線をスキャンしています。

利用不可



利用不可 - シンボルの車線境界線が灰色

レーンアシストが車線境界線を検知できない、速度が遅すぎる、または道路が狭すぎる状態です。

ステアリングアシスト/警告の表示



ステアリングアシスト/警告 - シンボルの車線境界線がカラー表示

レーンアシストは車両が車線から逸脱しそうになっていることを示します。LKA 装備車の場合、システムは LKA が車両を車線内に戻そうとしていることも示します。

シンボルおよびメッセージ

いくつかの例が以下の表に示されています。



シンボル	メッセージ	意味
	運転支援システム 機能が低下、販売店に お問い合わせください	システムが正常に機能していません。ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。
	ウィンドウスクリーンセンサー センサーが遮られた、取扱 説明書を参照して下さい	カメラの前方車線をスキャンする能力が低下しています。
	車線維持支援 ステアリング 操作して下さい	運転者がステアリングホイールを握っていないと、LKA ステアリングアシストは機能しません。指示に従って、ステアリングホイールを操作してください。

関連情報

- レーンアシスト* (p. 377)
- Lane Keeping Aid*を起動/解除する (p. 380)
- Lane Departure Warning*を起動/解除する (p. 379)

パークアシスト*

パークアシストは、狭い場所で駐車操作を行うときに障害物までの距離を確認音とセンターディスプレイのグラフィック表示で示し、運転者の操作をサポートします。



障害物ゾーンおよびセンサーセクターを示す画面表示

センターディスプレイに車両と障害物の位置関係が表示されます。

マークされた部分は、障害物の位置を示しています。領域の表示が車両シンボルに近いほど、車両と検知された障害物の距離が短いことを示します。

障害物までの距離が短くなるほど、確認音が速くなります。オーディオユニットからのサウンドなどは、自動的にミュート(消音)になります。

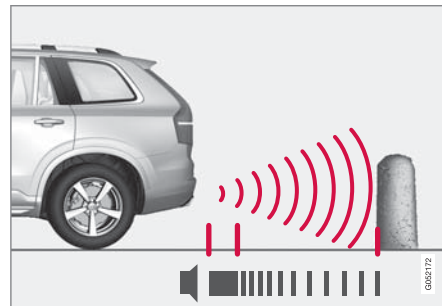
センサーと障害物の距離が 30 cm 未満(前方/後方)になると、確認音が連続した音に変わり、アクティブなセンサーの車両にもっとも近いフィールドが着色表示されます。車両の前後両方で、連続音が鳴る距離内に障害物が検知された場合には、ラウドスピーカーから交互に音が聞こえます。

パークアシストの確認音の音量は、確認音が鳴っているときにセンターコンソールの [>II] ダイアルを使用することにより調整することができます。また、トップビューの **設定** メニューオプションでも調整することができます。

⚠ 警告

- パークアシストは駐車時の補助システムに過ぎず、車両の操作の責任はつねに運転者にあります。
- このセンサーには死角があり、すべての物体を感知することはできません。
- 車両のそばに人間やペットなどがいる場合がありますので、十分にご注意ください。

後方



後方用センサーは、ギヤの入っていない状態で車両が後方に動き出した場合やギヤセレクターレバーをリバース位置にしたときに作動します。

測定範囲は車両後方約 1.5 m です。

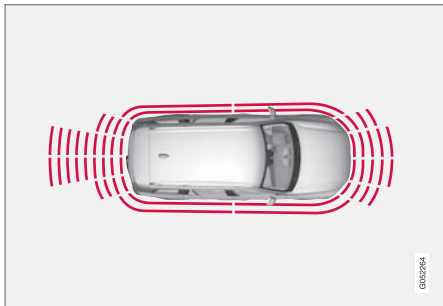
トレーラーを連結した状態で後退する場合、後方用パークアシストは自動的に解除されます。

ⓘ 注意

ボルボ純正トレーラーケーブルを使用せずに、トウバーにトレーラーまたはバイクキャリアを取り付けて後退する際には、センサーがトレーラーやバイクキャリアに反応しないように、パークアシストを手動で解除することが必要になる場合があります。



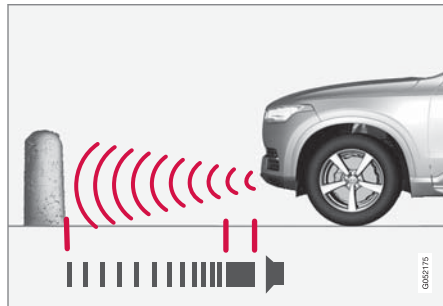
◀ 側方



パークアシストサイドセンサーは、エンジン始動時に自動的に起動します。センサーは速度が 10 km/h 未満 (6 mph 未満) のときに作動します。

側方の測定範囲は障害物から約 0.3 m です。障害物を知らせる警告音は、サイドスピーカーから聞こえます。

前方



フロントパークアシストセンサーは、エンジン始動時に自動的に起動します。フロントセンサーは速度が 10 km/h 未満 (6 mph 未満) のときに作動します。

測定範囲は車両前方約 0.8 m です。障害物の確認音は、障害物の位置が車両に非常に近い場合 (30 cm 以内は連続音) を除き、車両が動いているときのみ作動します。

❗ 重要

補助ライトなど装着時：センサーの邪魔にならないように注意してください。補助ライトを障害物として検知して、誤作動する場合があります。

関連情報

- パークアシスト*の作動/解除 (p. 385)
- パークアシスト*の限界 (p. 385)
- パークアシスト*に関するメッセージ (p. 387)
- パークアシスト・カメラ* (p. 388)
- パークアシスト・パイロット* (p. 394)

❗ 注意

パーキングブレーキを作動した場合、またはオートマチックトランスミッション車両で **P** モードを選択した場合は、パークアシストが非作動状態になります。

パークアシスト*の作動/解除

パークアシスト機能はオン/オフにすることができます。

前方および側方用パークアシストセンサーは、エンジン始動時に自動的に起動します。車両が後退する場合、またはリバースギヤに入れた場合、リアセンサーが起動します。



この機能はセンターディスプレイの機能ビューで作動/解除します。

パークアシストはカメラビュー、またはトップビューの**設定** オプションから起動/解除することも可能です。

- 機能ビューで **パークアシスト** をタップします。
 - > パークアシストがオン/オフになり、緑色/灰色のインジケーターがボタンに表示されます。

関連情報

- パークアシスト* (p. 383)
- Cross Traffic Alert* (p. 404)

パークアシスト*の限界

パークアシスト機能は、一部の状況でその限界により動作が低下する場合があります。

注意

トウバーが車両の電気系統に組み込まれている場合には、トウバーの突き出し部分も駐車スペースの計算時に考慮されるようになります。

重要

チェーンや光沢のある細いポール、低い柵などの物体が「信号遮蔽」領域に入ってきたために、センサーがこれらの物体を一時的に検出せず、本来なら途切れのないトーンに変わるはずのパルス音が、不意に停止する場合があります。

センサーはプラットフォームなどの高い物体を検出することはできません。

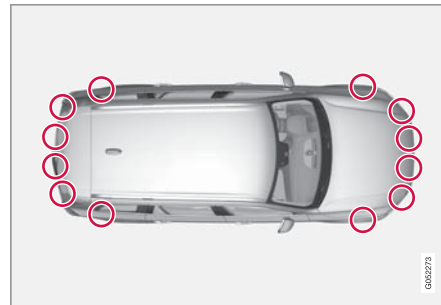
- このような場合には、十分注意をはらいながら車両を非常にゆっくりと操作、移動するか、駐車操作を中止してください。一時的にセンサーが最適に機能していないため、車両やその他を損傷させるおそれが高くなります。

重要

状況によっては、システムと同じ超音波周波数を発する外部の音源などにより、パークアシストが誤った警告信号を出す場合があります。

例えば、車のホーン、アスファルト路面の濡れたタイヤの音、エアブレーキ、およびオートバイの排気音などです。

メンテナンス



パーキングセンサーの位置

パークアシストが最適に作動するように、パークアシストセンサーを水と洗車用洗剤で定期的に清掃してください。



① 注意

センサーが泥、氷、雪などに覆われているときは、センサーが誤作動する場合があります。

関連情報

- パークアシスト* (p. 383)
- パークアシスト*の作動/解除 (p. 385)
- パークアシスト* に関するメッセージ (p. 387)

パークアシスト* に関するメッセージ

いくつかの例が以下の表に示されています。

ドライバーディスプレイには、パークアシストに関する多くのメッセージが表示されます。

メッセージ	意味
パークアシストシステム 利用不可、販売店に お問い合わせください	システムが正常に機能していません。ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。
パークアシストシステム センサーが遮られてしまう 清掃が必要です	システムの1つ以上のセンサーの視野が遮られています。すみやかに点検して、修正してください。

関連情報

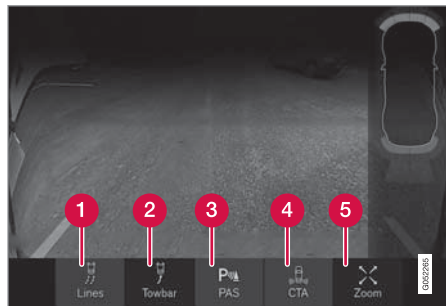
- パークアシスト* (p. 383)
- パークアシスト*の作動/解除 (p. 385)
- パークアシスト*の限界 (p. 385)

パークアシスト・カメラ*

パークアシスト・カメラは、狭い場所で駐車操作を行うときにセンターディスプレイのカメラ画像とグラフィック表示で障害物を示し、運転者の操作をサポートします。

パークアシスト・カメラは選択した設定に応じて、リバースギヤを選択したときに自動で起動するか、またはセンターディスプレイから手動で起動します。

概要



- 1 ガイド線** - ガイドラインをオン/オフにします
- 2 トワバー*** - トウバー用ガイドライン⁷をオン/オフにします

⁷一部の市場では利用できません。

⁸拡大すると、ガイドラインはオフになります。

- 3 PAS*** - パークアシストをオン/オフにします
- 4 CTA*** - Cross Traffic Alert をオン/オフにします
- 5 ズーム⁸** - 拡大/縮小します

警告

- パーキングカメラは補助装置であり、後退中の運転者の責任にとって代わるものではありません。
- カメラには死角があり、すべての物体を感知することはできません。
- 車両のそばに人間やペットなどがいる場合がありますので、十分にご注意ください。

カメラ画像

この機能では、360°の合成画像と4つの各カメラ画像(リア、フロント、左、右)を表示することができます。選択した画像の最上部に、どのカメラが作動しているかが表示されます。

360° ビューカメラ*



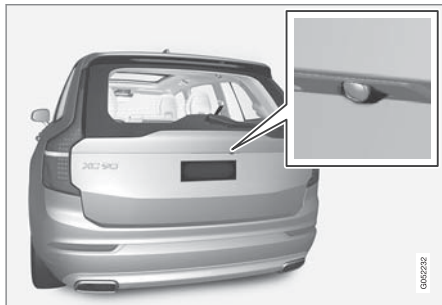
パークアシスト・カメラの位置および動作範囲

車両の4つの面がセンターディスプレイに同時に表示されます。これにより、運転者は低速で操作しているときに車両の周囲を確認しやすくなります。

すべてのカメラ画像は、目的のカメラの視野(フロントカメラの正面または上など)を画面上でタップすることにより個別に表示することができます。

車両にパークアシスト*も搭載されている場合は、検知された障害物までの距離が色分けされて表示されます。

後方



後方用カメラはテールゲートハンドルの横にあります。

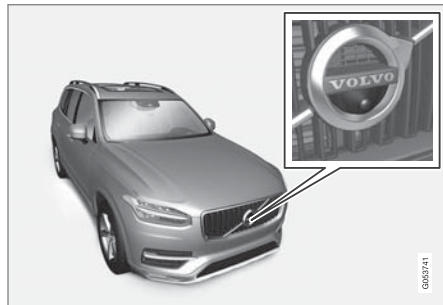
後方用カメラは、車両後方の広いエリアや、バンパーおよびトウバーの一部も表示します。

センターディスプレイに表示されている物体はわずかに傾いているように見えることがありますが、これは異常ではありません。

❗ 注意

センターディスプレイ上の物体は、画面上の見かけより、車両に接近している可能性があります。

前方



前方用パーキングカメラはグリルにあります。

フロントカメラは、横方向の視界が制限されている進出路(高い生け垣がある場所など)で役立ちます。フロントカメラは速度が 25 km/h (16 mph)に達するまで作動し続け、その速度を超えた時点でオフになります。

フロントカメラがオフになった後、速度が 50 km/h (30 mph)に到達せず、60 秒以内に 22 km/h (14 mph)を下回った場合、カメラは再度オンになります。

❗ 注意

減速したときにフロントカメラを自動的に作動させるには、**設定 → My Car → パークアシスト**で**自動リパースカメラ起動**を選択しておく必要があります。

側方



サイドカメラは各ドアミラーに取り付けられています。

サイドカメラにより車両の各側の様子が表示されます。

関連情報

- パークアシスト・カメラ*の起動 (p. 392)
- ガイドラインとパークアシスト・カメラ*の視野 (p. 390)
- パークアシスト・カメラ*の限界 (p. 393)
- パークアシスト* (p. 383)
- Cross Traffic Alert* (p. 404)
- パークアシスト・パイロット* (p. 394)

ガイドラインとパークアシスト・カメラ*の視野

パークアシスト・カメラは、カメラ画像に線を表示することで、車両とその周辺との位置関係を示します。

ガイドライン



ガイドラインが、運転者に表示される際の例

ガイドラインは、その時点でのステアリングホイールの角度に基づいて車両の輪郭の予想進路を示します。これにより、縦列駐車や狭い場所への後退、トレーラーの接続が容易になります。

画面上のガイドラインは、車体後方の地面に引かれたように画面に表示され、ステアリング角に応じて変化します。運転者は、車両が旋回しているときでも、車両の進行方向を確認することができます。

このようなガイドラインには、車両のもっとも突き出た部分(トゥバーやドアミラー、車両の角など)が含まれます。

注意

- 車両に電氣的に接続されていないトレーラーをけん引中に後退する際には、ディスプレイに表示される線は**車**の経路で、トレーラーの経路ではありません。
- トレーラーが車両の電気システムに電氣的に接続されている場合には、画面には線は表示されません。

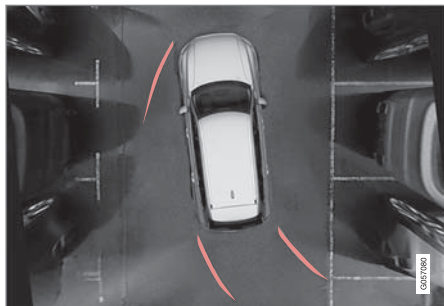
重要

リアカメラ画像を選択した場合、センターディスプレイには車両後方の様子のみが表示されます。後退中にステアリングホイールを操作するときには、車両の横および正面を実際に確認してください。

フロントカメラ画像を選択した場合も同じです。ディスプレイには車両前方の様子のみが表示されるため、後方を実際に確認してください。

ガイドラインは**最短**のルートを表示します。そのため車両の横に十分注意し、前進中にステアリングホイールを操作する際に横をなにかにぶついたり、後退中にステアリングホイールを操作する際にフロント部分をなにかにぶついたりしないようにしてください。

360° ビューのガイドライン*

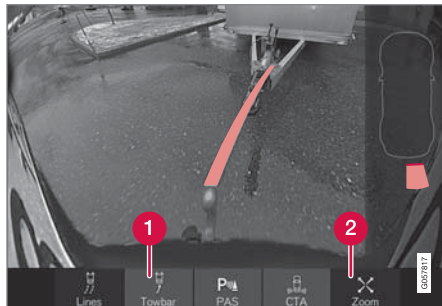


360° ビューとガイドライン

360° ビューでは、車両の後方、前方、および左右にガイドラインが表示されます(進行方向による)。

- 前進する場合：フロントライン
- 後退時：サイドラインおよびリバースライン
フロントカメラ、リバースカメラまたはサイドカメラを選択した場合、車両の進行方向に関係なく、ガイドラインが表示されます。

トウバー用ガイドライン



トウバーにガイドラインを適用する

- ① **トウバー** - トウバー用ガイドライン*をオンにします。
- ② **ズーム** - 拡大/縮小します。

カメラはガイドラインでトレーラーまでのトウバーの予想軌道を表示することにより、トレーラーを接続しやすくします。

1. **トウバー** (1)を押します。
 - > トウバーの予想軌道のガイドラインが表示されます。同時に、車両のガイドラインは表示が消えます。
2. さらに精度の高い操作が必要とされる場合、**ズーム** (2)を押します。
 - > カメラ画像が拡大されます。

車両とトウバーの両方のガイドラインを同時に表示することはできません。

パークアシストのセンサー視野*

車両にパークアシスト* が装備されている場合、360° ビューに障害物を検知するセンサーごとに距離が色分けされて表示されます。

後方および前方のセンサー視野



画面は車両シンボルの右側に色分けされたセンサー視野を表示します。

フロントおよびリバースセンサーの領域は、障害物までの距離が短くなるにつれて色が黄色からオレンジ色を経て赤色に変わります。

フロントおよびリバースセンサー領域の色	距離(m)
黄色	0, 6-1, 5
オレンジ	0, 4-0, 6
赤色	0-0, 4



◀ 側方のセンサー視野

サイドセンサー領域はオレンジ色のみで表示されます。

サイドセンサー領域の色	距離 (m)
オレンジ	0-0.3

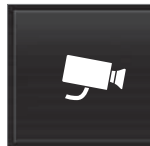
関連情報

- パークアシスト・カメラ* (p. 388)
- パークアシスト・カメラ*の起動 (p. 392)
- パークアシスト・カメラ*の限界 (p. 393)

パークアシスト・カメラ*の起動

パークアシスト・カメラは、リバースギヤを選択した場合に自動で起動します。また、センターディスプレイから手動で起動することも可能です。

パークアシスト・カメラの起動



リバースギヤが選択されているとき、または別の状況で、必要に応じてパークアシスト・カメラをオフにした場合、手動で起動させることができます。

- センターディスプレイの機能ビューで **カメラ** ボタンを押します。
 - ▶ パークアシスト・カメラが起動します。

さまざまな状況でのカメラの起動

カメラの起動時の画像には上からの画像と前方の画像があり、ボタンを押したときの車両の速度と進行方向に応じて使い分けられます。

- 上からの画像：静止時および前進時 - 0-15 km/h (0-9 mph)。
- 上からの画像：静止時および後退時 - 速度と無関係
- 前方の画像：15-22 km/h (9-14 mph)で前進時。

パークアシスト・カメラの自動起動のオン/オフ

リバースギヤを選択したときのパークアシスト・カメラの自動起動をオン/オフにすることができます。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** を押します。
2. **My Car** → **パークアシスト** を押します。
3. **自動リバースカメラ起動** を選択して、自動起動をオン/オフにします。

カメラの自動停止

運転の妨げにならないように、前方の画像は車速が 25 km/h (16 mph) に達するとオフになります。**自動リバースカメラ起動** 設定が選択されている場合、車速が 60 秒以内に 22 km/h (14 mph) に戻ると、カメラは自動的に再起動します。車速が 50 km/h (31 mph) を超えると、前方の画像が再表示されることはありません。

その他のカメラ画像は車速が 15 km/h (9 mph) に達した時点でオフになり、再起動することはありません。

後方用パークアシスト・カメラの基本ビューを選択する

自動リバースカメラ起動 機能が選択されている場合、運転者は後退時に、後方用カメラあるいは 360° ビュー*のどちらかのカメラ機能を選択することもできます。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** を押します。
2. **My Car** → **パークアシスト** を押します。
3. **360° ビューの代わりにリアビューを表示** を選択して、リアカメラの画像を基本ビューとして表示する設定をオン/オフにします。

関連情報

- ガイドラインとパークアシスト・カメラ*の視野 (p. 390)
- パークアシスト・カメラ*の限界 (p. 393)
- イグニッション位置 (p. 410)

パークアシスト・カメラ*の限界

パークアシスト・カメラ機能は、一部の状況で動作が制限されることがあります。

パークアシスト・カメラは、状況により障害物を検知できない場合があります。運転者は以下の機能限界について認識しておく必要があります。

① 注意

サイクルキャリアなどアクセサリを車両の後ろに取り付けるとカメラの視界を遮るおそれがあります。

死角

画面上では隠れている部分が比較的小さく見えていても、実際に視界から隠れているのは、相当大きな領域である場合がありますのでご注意ください。障害物の実際の大きさは、車両がかなり接近するまでわからない場合があります。



カメラどうしの視野の間には死角があります。

360° ビューでは、カメラどうしの間で障害物が「消える」ことがあります。

カメラアイコンに十字マークが表示されている場合、そのカメラは故障しています。

周囲の明るさ

カメラの画像は、周囲の明るさに応じて自動的に調整されます。このため、画質と輝度は若干変化します。明るさが十分ではない場合、画質が低下することがあります。

メンテナンス

カメラレンズは、ぬるま湯と洗車用洗剤で定期的に洗浄してください。レンズを傷つけないように注意してください。



① 注意

もっとも効率的に作動するように、カメラのレンズに泥や雪、氷が付着していないように気をつけてください。これは暗いときには特に重要です。

関連情報

- パークアシスト・カメラ* (p. 388)
- パークアシスト・カメラ*の起動 (p. 392)
- ガイドラインとパークアシスト・カメラ*の視野 (p. 390)

パークアシスト・パイロット*

アクティブパークアシスト (Park Assist Pilot - PAP) は、運転者が駐車スペースから出入りし入れるときに役立ちます。

PAP は最初にスペースの広さが十分であるかを確認してから、運転者の車庫入れ操作を支援します。

センターディスプレイには、シンボル、グラフィックおよびメッセージでさまざまな操作指示とそのタイミングが表示されます。

① 注意

PAP 機能はスペースの寸法を測り、ステアリングホイールを操作します。ドライバーの役割は以下の通りです。

- 車両周辺に目を配ります
- センターディスプレイのインストラクションに従います
- ギヤシフトを行います(後退/前進)
- 安全速度の制御、維持を行います
- ブレーキを作動し、停止します

⚠ 警告

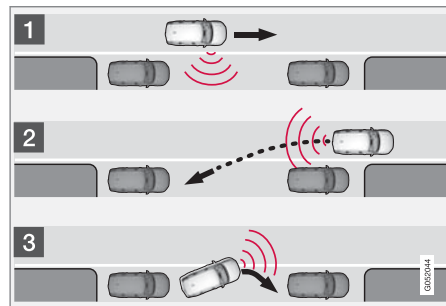
PAP はあらゆる状況で作動するわけではなく、補助機能に過ぎません。

車両を安全に運転し、駐車中、周囲の状況や接近または通過する他の道路使用者に注意をばらう最終責任はつねに運転者にあります。

駐車状況の種類

PAP は以下のようなさまざまな駐車状況で使用することができます。

縦列駐車



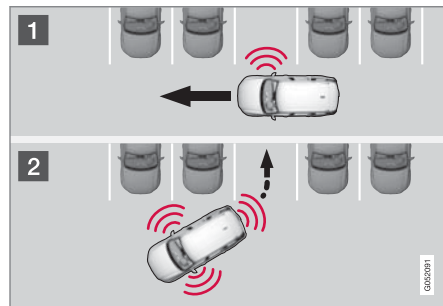
縦列駐車方式

PAP 機能は以下の手順で駐車を行います。

1. 駐車スペースが特定されて測定されます。
2. 後退中に、車両は駐車スペースに入るように操舵されます。
3. 車両は前後への動きで、駐車スペースの中に配置されます。

パークアウト 機能を使用することにより、並列駐車された車両は PAP による支援を利用して駐車スペースから出ることもできます。「アクティブパークアシストによる駐車」の「駐車スペースから出る」を参照してください。

並列駐車



並列駐車方式

PAP 機能は以下の手順で駐車を行います。

1. 駐車スペースが特定されて測定されます。
2. 後退中に、車両は駐車スペースに入るように操舵されます。
3. 車両は前後への動きで、駐車スペースの中に配置されます。

i 注意

並列駐車された車両に PAP **パークアウト** 機能を使用することは**できません**。本機能は縦列駐車された車両にのみ使用可能です。

関連情報

- アクティブパークアシスト*による駐車 (p. 396)
- パークアシスト・パイロット*の限界 (p. 399)
- パークアシスト・パイロット* に関するメッセージ (p. 401)

アクティブパークアシスト*による駐車

アクティブパークアシスト(Park Assist Pilot - PAP)は、運転者の駐車操作を3段階で支援します。この機能は駐車スペースから車両を出すときにも役立ちます。

① 注意

PAP機能はスペースの寸法を測り、ステアリングホイールを操作します。ドライバーの役割は以下の通りです。

- 車両周辺に目を配ります
- センターディスプレイのインストラクションに従います
- ギヤシフトを行います(後退/前進)
- 安全速度の制御、維持を行います
- ブレーキを作動し、停止します

エンジンが始動し、以下の条件が満たされると、PAPが起動します。

- 車両にトレーラーが連結されていない。
- 車速が 30 km/h (20 mph)未満である。

パーキング

PAP機能は以下の手順で駐車を行います。

1. 駐車スペースが特定されて測定されます。
2. 後退中に、車両は駐車スペースに入るように操舵されます。

3. 車両がスペースに入ります。その後システムが運転者にギヤの変更を要求する場合があります。

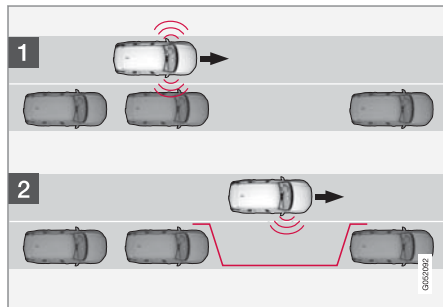
駐車スペースの探索と測定



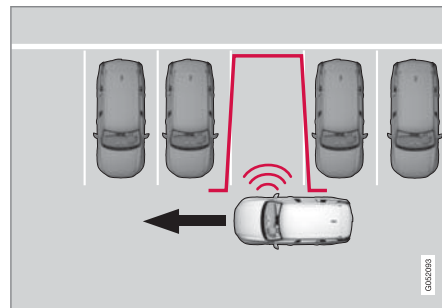
この機能はセンターディスプレイの機能ビューで作動することができます。

また、カメラビューまたはトップビューの**設定**オプションからアクセスすることも可能です。

です。



縦列駐車方式



並列駐車方式

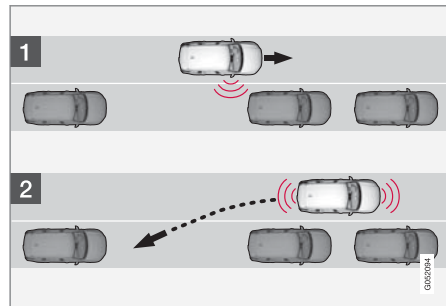
1. 縦列駐車の場合は 30 km/h (20 mph) 以下で、並列駐車の場合は 20 km/h (12 mph) 以下で走行させます。
2. 機能ビューで **パークイン** をタップします。
 > PAP が駐車スペースを探し、十分なスペースがあるか確認します。
3. センターディスプレイを注視し、適切な駐車スペースが見つかったことを示す画像およびメッセージが表示されたときにすぐに停車できるように備えておきます。
 > ポップアップウィンドウが表示されず。
4. **縦列駐車** または **並列駐車** を選択し、リバースギヤを選択します。

① 注意

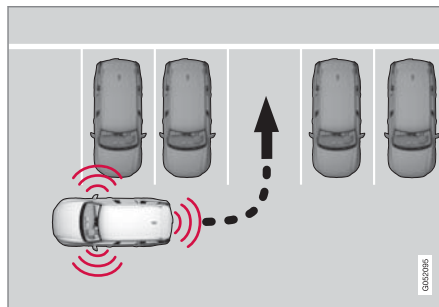
PAP は車両の助手席側にある駐車スペースを探し、指示を表示して、車両を案内します。しかし、必要であれば、運転席側の路上に駐車させることもできます。

- 運転席側の方向指示器を作動させてください。システムは運転席側の駐車スペースを探します。

駐車スペースへ後退して入れる



縦列駐車



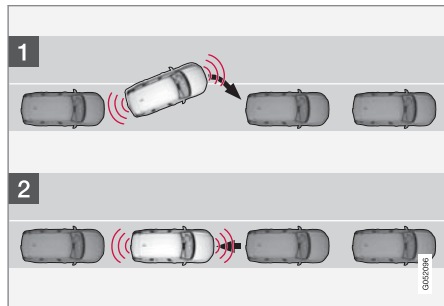
並列駐車

1. 後方に障害物がないことを確認します。
2. ステアリングホイールを握らずゆっくり、慎重に後退します。車速は 7 km/h (4 mph) 以内に保ってください。
 > PAP が車両を操舵して駐車スペースに誘導します。
3. センターディスプレイを注視し、画像およびメッセージで停車を指示されたときにすぐに停車できるようにしておきます。

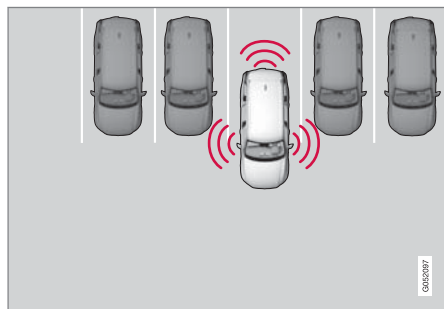
① 注意

- PAP 機能が作動している間は、ステアリングホイールに手を触れないようにしてください。
- ステアリングホイールの動きが一切妨げられず、自由に回転できるようにしてください。
- 最適な結果を得るためには、ステアリングホイールが回転し終わるのを待ってから、前進/後進を始めてください。

◀ 車両を駐車スペースに入れる



縦列駐車



並列駐車

1. ギヤセレクターレバーを **D** 位置に入れ、ステアリングホイールが回り終わるまで待って、ゆっくりと前進させます。

2. センターディスプレイを注視し、画像およびメッセージで停車を指示されたときにすぐに停車できるようにしておきます。
3. リバースギヤを選択して、ゆっくりと後退させます。
4. センターディスプレイを注視し、画像およびメッセージで停車を指示されたときにすぐに停車できるようにしておきます。

機能が自動的にオフになり、画像とメッセージにより、駐車が完了したことが表示されます。運転者が車両の位置を修正することが必要な場合があります。車両が正しく駐車されているか判断できるのは、運転者のみです。

⚠ 重要

パークアシストがセンサーを使用するときと比べ、PAP がセンサーを使用するときには、警告距離が短くなります。

駐車スペースから出る

ⓘ 注意

駐車スペースから出る際は、**パークアウト**機能は縦列駐車にのみ使用可能です。並列駐車された車両には使用できません。



パークアウト 機能はセンターディスプレイの機能ビューで動作させます。

1. 機能ビューで **パークアウト** をタップします。
 > PAP が駐車スペースから出るための最善の方法を特定します。
2. センターディスプレイを注視し、駐車時と同様に指示に従います。

機能の動作が完了すると、ステアリングホイールが一気に戻ることがあります。この場合、運転者は駐車スペースから出られるようにステアリングホイールを最大舵取り角度まで回すことが必要になる可能性があります。

運転者がまだ車両が駐車スペースにあると考える場合でも、PAP がさらなるステアリング操作なしで運転者が車両を駐車スペースから出せると判定した時点で、この機能は停止します。

関連情報

- パークアシスト・パイロット* (p. 394)
- パークアシスト・パイロット*の限界 (p. 399)
- パークアシスト・パイロット* に関するメッセージ (p. 401)

パークアシスト・パイロット*の限界

アクティブパークアシスト (Park Assist Pilot - PAP) 機能は、一部の状況で動作が制限されることがあります。

駐車動作の中止

以下の場合、駐車の一連動作が中止されます。

- 運転者がステアリングホイールに触れたとき
- 車速が高過ぎるとき (7 km/h (4 mph) 超過)
- 運転者がセンターディスプレイの **キャンセル** を押したとき
- アンチロックブレーキまたはエレクトロニック・スタビリティ・コントロールが作動したとき (滑りやすい路面でホイールのグリップ力が失われた場合など)

必要に応じて、駐車動作の中止理由を説明するメッセージがセンターディスプレイに表示されます。

❶ 注意

センサーが泥、氷、雪などに覆われているときは、センサーの機能が低下し、誤作動する場合があります。

❶ 重要

状況によっては、PAP が駐車スペースを見つけない場合があります。システムが使用するのと同じ超音波周波数を発信している外部サウンドソースによって、センサーが干渉を受けることがその理由の一つとして考えられます。

例えば、車のホーン、濡れたアスファルトの路面でのタイヤの音、エアブレーキ、およびオートバイの排気音などです。

運転者の責任

PAP は、補助機能に過ぎず、失敗のない全自動の機能ではないことを忘れないでください。したがって、運転者はいつでも駐車操作を停止できるように準備しておかなければなりません。

他にも、駐車するときに留意しておかなければならないことがいくつかあります。

- PAP は既に駐車されている車両を基準に機能します。それらの車両が適切に駐車されていない場合、タイヤやホイールリムが縁石に当たって損傷する場合があります。
- PAP は、カーブなどのない、まっすぐな道路上に駐車することを想定して設計されています。このため、PAP が駐車スペースの広さを測定するときには、車両が駐車スペースと平行になっていることを確認してください。

- 道幅の狭い道路では、操舵のための十分なスペースがないため、駐車スペースを見つけないことがあります。このような場合は、道路の駐車したい側に車両をできるだけ近づけて運転すると、システムはスペースを見つけやすくなります。
- 車庫入れ操作中には、車両の前部が対向車の方向に動く可能性があることに注意してください。
- センサーの検知エリアより高い場所にある物体は、車庫入れ操作に必要な計算を行うときに考慮されません。このため、PAP が駐車スペースに対してステアリングを切るタイミングが早くなりすぎることがあります。したがって、このような駐車スペースへの駐車は避けてください。
- PAP が選択したスペースが駐車に適しているかを判断する責任は運転者にあります。
- PAP の機能に影響するおそれがあるため、必ずタイヤ空気圧が適切で、承認されているタイヤ⁹を使用してください。
- 大雨または雪のときには、システムが駐車スペースを正しく測定できないことがあります。
- スノーチェーンやスペアタイヤ装着時には、PAP を使用しないでください。

⁹「承認されているタイヤ」とは、納車時に装着されていたのと同じメーカーの、同じタイプのタイヤを指します。

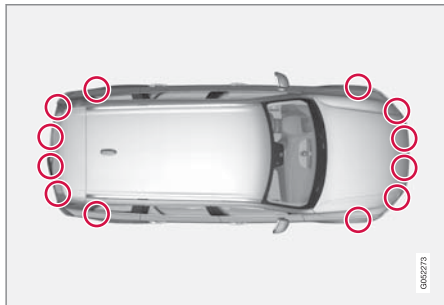
運転者サポート

- 積荷が車両から突き出ている場合には、PAPを使用しないでください。
- 駐車された車両の1台が他の車両よりも突き出ている場合、並列駐車スペースを検知できなかったり、不要な提案を行ったりする場合があります。

⚠ 重要

タイヤの全周が異なる、他の承認されたホイールリムと交換する場合は、PAPシステムのパラメータを変更する必要があることがあります。ボルボ指定のサービス工場にご相談ください。

メンテナンス



PAP センサーの位置

PAP 機能が正しく動作するように、センサーのある表面を水と洗車用洗剤で定期的に清掃して

ください。それらは、パークアシストで使用されるバンパーのセンサーと同じです。

関連情報

- パークアシスト・パイロット* (p. 394)
- アクティブパークアシスト*による駐車 (p. 396)

パークアシスト・パイロット* に関するメッセージ

ドライバーディスプレイには、Park Assist Pilot - PAP に関する多くのメッセージが表示されます。

いくつかの例が以下の表に示されています。

メッセージ	意味
パークアシストシステム センサーが遮られてしまう 清掃が必要です	システムの1つ以上のセンサーの視野が遮られています。すみやかに点検して、修正してください。
パークアシストシステム 利用不可、販売店に お問い合わせください	システムが正常に機能していません。ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

関連情報

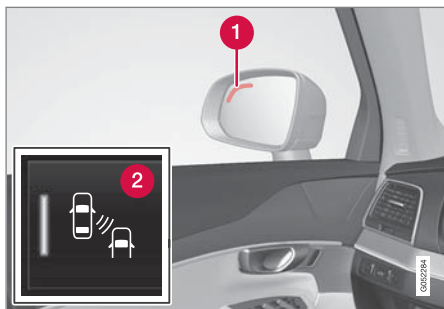
- パークアシスト・パイロット* (p. 394)
- アクティブパークアシスト*による駐車 (p. 396)
- パークアシスト・パイロット*の限界 (p. 399)

Blind Spot Information*

Blind Spot Information (BLIS)機能は、混雑中の片側数車線の道路を走行しているときに、自車の斜め後ろや横の車両について警告し、運転者をサポートするように設計されています。

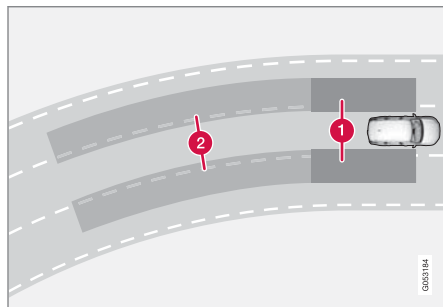
BLIS は次のような車両の存在を警告して運転者をサポートします。

- 死角に入っている車両
- 右側および左側の車線を走行しながら急接近する車両



BLIS ランプの位置

- 1 インジケータランプ
- 2 BLIS シンボル



Blind Spot Information の原理

- 1 死角内のゾーン
- 2 急速に接近する車両用のゾーン

BLIS 機能は、車速が 10 km/h (6 mph) を超えているときに作動します。

このシステムは、次の場合に反応するように設計されています：

- 自車が他車によって追い越される
- 他車が自車に急速に接近している

BLIS がゾーン 1 内で車両を検知する、またはゾーン 2 内で急接近する車両を検知すると、該当する側のドアミラーのインジケータランプが点灯します。この状況で運転者が警告が発せられている側の方向指示器を出すと、インジケータランプが点灯から強い点滅に変わります。

① 注意

他の車両を検知した側のインジケータランプが点灯します。車両が両側から追い越されている場合は、左右のインジケータランプが点灯します。

⚠ 警告

Blind Spot Information は、急カーブでは作動しません。

Blind Spot Information は、後退時には作動しません。

⚠ 警告

Blind Spot Information は補助機能です。あらゆる状況で機能するとは限りません。

Blind Spot Information は、安全運転やルームミラーやドアミラーの使用に代わるものではありません。

Blind Spot Information は運転者の責任および注意に代わるものではなくてでありません。安全を確認して車線変更を行うのはつねに運転者の責任です。

警告

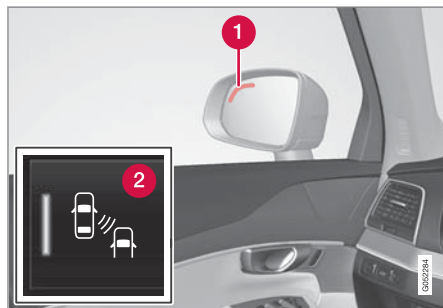
このシステムは、安全運転を補助するための機能で、ドアミラーに代わるものではありません。また、運転者の判断や責任に代わるものではありません。車線変更などの際は、運転者の責任で安全を確認してください。

関連情報

- Blind Spot Information*を起動/解除する (p. 403)
- Blind Spot Information*の限界 (p. 404)
- Blind Spot Information* および Cross Traffic Alert* に関するメッセージ (p. 408)
- Cross Traffic Alert* (p. 404)

Blind Spot Information*を起動/解除する

Blind Spot Information (BLIS) 機能はオン/オフにすることができます。



Blind Spot Information ランプの位置

- 1 インジケータランプ
- 2 機能の起動/停止の切り替えに使用される、センターディスプレイの機能ビューの BLIS ボタン
 - 機能ビューで **BLIS** をタップします。
 - > BLIS が起動/解除され、緑色/灰色のインジケータがボタンに表示されます。

エンジンを始動して BLIS がオンになると、ドアミラーインジケータランプが 1 回点滅して、機能がオンになったことを確認します。

警告

Blind Spot Information は補助機能です。あらゆる状況で機能するとは限りません。

Blind Spot Information は、安全運転やルームミラーやドアミラーの使用に代わるものではありません。

Blind Spot Information は運転者の責任および注意に代わるものではありません。安全を確認して車線変更を行うのはつねに運転者の責任です。

関連情報

- Blind Spot Information* (p. 402)
- Blind Spot Information*の限界 (p. 404)
- Blind Spot Information* および Cross Traffic Alert* に関するメッセージ (p. 408)

Blind Spot Information*の限界

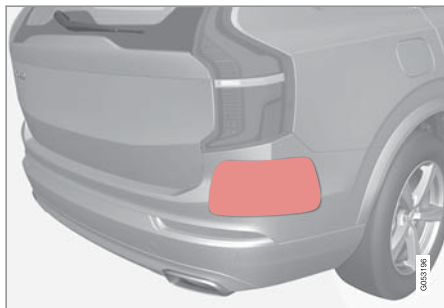
Blind Spot Information (BLIS)機能は、一部の状況で動作が制限されることがあります。

機能限界の例：

- センサーが汚れ、氷または雪で覆われると、機能が低下し、警告が解除されることがあります。
- 車両の電気系統にトレーラーが接続されると、BLIS が解除されます。

センサー

BLIS 機能のセンサーはリアフェンダー/バンパーの各隅の内側にあります。これらのセンサーは Cross Traffic Alert (CTA)機能にも使用されます。



この面をきれいな状態に保ってください(両側)。

もっとも効率的に作動するように、センサー前面の領域はつねにきれいにしておいてください。

センサーがある領域に物体やテープ、ラベルなどを貼り付けしないでください。

システムが一方または両方のセンサーが遮られていると判断した場合、ドライバーディスプレイに **BLIS センサー リセンサーが遮られてしまう、清掃が必要です** というメッセージが表示されることがあります。状態を点検し、すみやかに修正してください。

❗ 重要

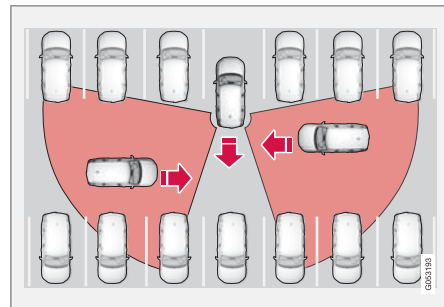
BLIS および CTA 機能コンポーネントの修理またはバンパーの塗装修理はサービス工場で行う必要があります。ボルボ指定のサービス工場にお任せください。

関連情報

- Blind Spot Information* (p. 402)
- Blind Spot Information*を起動/解除する (p. 403)
- Blind Spot Information* および Cross Traffic Alert* に関するメッセージ (p. 408)
- Cross Traffic Alert の限界 (p. 406)

Cross Traffic Alert*

Cross Traffic Alert (CTA)は、後退中に横方向の交通を警告して運転者をサポートします。CTA は Blind Spot Information (BLIS)の補助機能です。



CTA の原理

駐車スペースから後退して出るときなどに、CTA は横方向の交通を監視することで、BLIS の機能を補完します。

CTA はもともと車両を検知するように設計されていますが、条件が整っている場合には、サイクリストや歩行者など、小さな対象物も検知できる場合があります。

CTA は、車両が後退しているときまたはリバースギヤが選択されているときのみ作動します。

CTA が横方向から接近してくるものを感知すると、以下の動作によって示されます。

- 警告音 - 接近してくる側のスピーカー(左または右)から音が聞こえます。
- 画面の PAS グラフィックのアイコン点灯。
- パークアシスト・カメラトップビューのアイコン。

警告

CTA は補助機能です。あらゆる状況で機能するとは限りません。

CTA は、安全運転やルームミラーやドアミラーの使用に代わるものではありません。

CTA は運転者の責任および注意に代わるものではけっしてありません。安全を確認して後退を行うのはつねに運転者の責任です。

関連情報

- Cross Traffic Alert*を起動/解除する (p. 405)
- Blind Spot Information* および Cross Traffic Alert* に関するメッセージ (p. 408)
- Cross Traffic Alert の限界 (p. 406)
- Blind Spot Information* (p. 402)

Cross Traffic Alert*を起動/解除する

Cross Traffic Alert (CTA) 機能はオン/オフにすることができます。



この機能はセンターディスプレイの機能ビューで作動/解除します。

- 機能ビューで **クロス・トラフィック・アラート** をタップします。
 - > ● ボタンが緑のとき - CTA がオンになっています。
 - ボタンがグレーのとき - CTA はオフになっています。

CTA は、エンジンの始動直後につねにオンになります。

警告

CTA は補助機能です。あらゆる状況で機能するとは限りません。

CTA は、安全運転やルームミラーやドアミラーの使用に代わるものではありません。

CTA は運転者の責任および注意に代わるものではけっしてありません。安全を確認して後退を行うのはつねに運転者の責任です。

関連情報

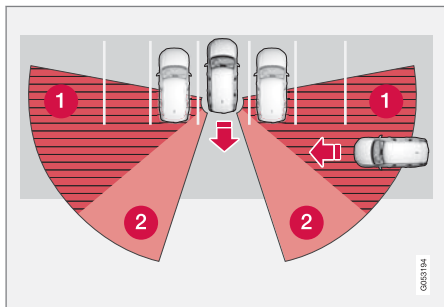
- Cross Traffic Alert* (p. 404)
- Cross Traffic Alert の限界 (p. 406)
- Blind Spot Information* および Cross Traffic Alert* に関するメッセージ (p. 408)

Cross Traffic Alert の限界

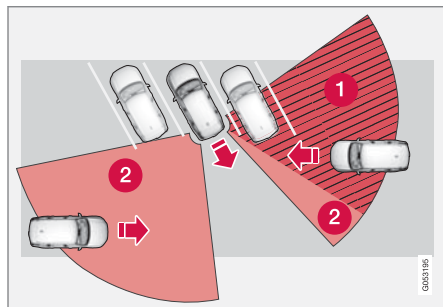
Cross Traffic Alert (CTA) 機能は、一部の状況で動作が制限されることがあります。

CTA の機能にはある程度の限界があり、すべての状況で正しく動作するとは限りません。例えば、障害物(他の駐車車両など)がある場合、CTA センサーが障害物を透視することは不可能です。

最初から CTA の「視野」が制限されて接近中の車両を直前まで検知できない状況としては、以下のような例が考えられます。



車両が駐車スペースの奥に駐車されている



角度のある駐車スペースでは、CTA の一方側は完全に死角になる可能性があります。

- 1 CTA の死角
- 2 CTA の検知/「視認」可能範囲。

ただし、運転者が車両をゆっくり後退させると、車両と障害物との角度が変化して死角が急速に小さくなります。

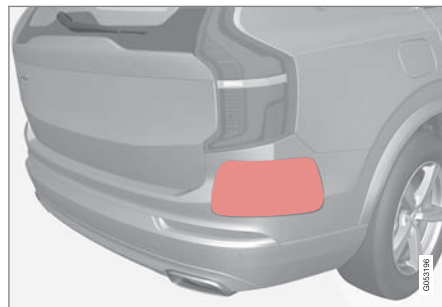
その他の限界事項の例：

- センサーが汚れ、氷または雪で覆われると、機能が低下し、警告が解除されることがあります。
- 車両の電気系統にトレーラーが接続されると、CTA が解除されます。

センサー

CTA 機能のセンサーはリアフェンダー/バンパーの各隅の内側にあります。これらのセン

サーは Blind Spot Information (BLIS)機能にも使用されます。



この表面はきれいな状態に保ってください。左側も同様です。

もっとも効率的に作動するように、センサー前面の領域はつねにきれいにしておいてください。

センサーがある領域に物体やテープ、ラベルなどを貼り付けないでください。

重要

BLIS および CTA 機能コンポーネントの修理またはバンパーの塗装修理はサービス工場で行う必要があります。ボルボ指定のサービス工場にお任せください。

関連情報

- Cross Traffic Alert* (p. 404)
- Cross Traffic Alert*を起動/解除する (p. 405)
- Blind Spot Information* および Cross Traffic Alert* に関するメッセージ (p. 408)
- Blind Spot Information*の限界 (p. 404)

Blind Spot Information* および Cross Traffic Alert* に関するメッセージ

ドライバーディスプレイには、Blind Spot Information (BLIS) および Cross Traffic

Alert (CTA)に関する多くのメッセージが表示されます。

いくつかの例が以下の表に示されています。

メッセージ	意味
BLIS センサー 販売店に お問い合わせください	システムが正常に機能していません。ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。
BLIS オフ トレーラーが 接続されています	車両の電気系統にトレーラーが接続されたため、BLIS および CTA が解除されました。

関連情報

- Blind Spot Information* (p. 402)
- Blind Spot Information*を起動/解除する (p. 403)
- Blind Spot Information*の限界 (p. 404)
- Cross Traffic Alert* (p. 404)
- Cross Traffic Alert*を起動/解除する (p. 405)
- ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイのメッセージの管理 (p. 149)

運転操作の要領

イグニッション位置

車両の電気系統はイグニッション位置/レベルに応じて、さまざまな車両の機能を利用可能にすることができます。

エンジンが停止している状態でも一部の機能を使用できるようにするために、車両の電気系統には3つのレベル(0、I、II)が用意されています。これらのレベルは、オーナーズマニュアル全体で「イグニッション位置」として言及されています。

次の表は、各イグニッション位置/レベルで利用できる機能を示しています。

レベル	機能
0	<ul style="list-style-type: none"> オドメーター(積算距離計)、時計、水温計が表示されます。 パワーシートが調節できます。 パワーウインドを使用できます。 センターディスプレイを起動して使用することができます。 オーディオを起動することができます。 <p>このイグニッション位置の場合、上記の機能はタイマー制御され、一定時間が経過した後に自動的にオフになります。</p>

レベル	機能
I	<ul style="list-style-type: none"> パノラマルーフ、パワーウインド、車内の12V電源ソケット、ナビゲーション、電話、ベンチレーションファンおよびウインドスクリーンワイパーが使用できます。 パワーシートが調節できます。 カーゴスペース内の12V電源ソケットが使用できます。 車両から離れたときに作動していた場合、オーディオが自動的に起動します。 <p>このイグニッション位置では、メインバッテリーに電流消費の負荷がかかります。</p>
II	<ul style="list-style-type: none"> ヘッドライトを点灯させることができます。 表示灯/警告灯が5秒間点灯します。 他にもいくつかのシステムが作動可能状態です。しかし、シートヒーターおよびリアウインドの熱線はエンジン始動後にしか起動できません。 <p>このイグニッション位置では、メインバッテリーから大量の電流を消費するため、使用をひかえてください。</p>

イグニッション位置の選択



トンネルコンソールのスタートノブ

- **イグニッション位置 0** - 車両をロック解除し、リモートコントロールキーを車内にある状態にします。

① 注意

エンジンを始動**せずに** **I** または **II** にアクセスするには、これらのイグニッション位置を選択する際にブレーキペダルを**踏み込まない**てください。

- **イグニッション位置 I** - スタートノブを **START** まで回して、ノブから手を放します。ノブは自動的に開始位置に戻ります。
- **イグニッション位置 II** - スタートノブを **START** まで回して、ノブを **START** 位置に

約4秒間保持します。ノブから手を放します。ノブは自動的に開始位置に戻ります。

- **イグニッション位置 0** に戻す - イグニッション位置 **I** および **II** から **0** に戻すには - スタートノブを **STOP** に回して、ノブから手を放します。ノブは自動的に開始位置に戻ります。

関連情報

- エンジンを始動する (p. 411)
- エンジンの停止 (p. 413)
- ドライバーディスプレイ (p. 131)

エンジンを始動する

エンジンの始動には、リモートコントロールキーとトンネルコンソールのスタートノブを使用します。



トンネルコンソールのスタートノブ

車両はキーレススタート(Passive Start)に対応しているため、エンジンの始動時にリモートコントロールキーを物理的に使用することはありません。

エンジンを始動します。

1. リモートコントロールキーを車内に置いておく必要があります。Passive Start 装備車の場合、キーを車内の前部に置いておく必要があります。キーレスロック/ロック解除オプション(Passive Entry*)装備車の場合、キーは車内の任意の場所に置いておくことができます。



運転操作の要領

2. ギヤ位置は、**P** または **N** が選択されていることを確認してください。
3. ブレーキペダル¹を一番奥まで踏み込みます。
4. スタートノブを **START** まで回して、ノブから手を放します。ノブは自動的に開始位置に戻ります。

エンジンを始動すると、エンジンが始動するかオーバーヒート保護機能が作動するまでスターターモーターが作動し続けます。

通常の条件でエンジンを始動する際には、車両の電動モーターが優先されます。ガソリンエンジンはオフのままになります。すなわち、スタートノブを **START** 方向に回すと、電動モーターが「始動」し、車両が走行を始められる状態になることを意味します。モーターが始動すると、ドライバーディスプレイの表示灯が消灯し、プリセットされたテーマが点灯します。

しかし、気温が極端に低い場合や、ハイブリッドバッテリーが充電を必要としている場合などには、代わりにガソリンエンジンが始動する場合があります。



トンネルコンソール内のバックアップリーダーの場所

始動する際に **車の鍵が見付らない** というメッセージがドライバーディスプレイに表示された場合は、リモートコントロールキーをカップホルダー内のバックアップリーダーの上に置いてください。その後、再度始動を試みてください。

① 注意

リモートコントロールキーをカップホルダーの中に入れる場合、他の車両キー、金属物、電子機器(携帯電話機、タブレット、ノートパソコン、充電器など)がカップホルダーの中に入らないことを確認してください。カップホルダーに複数の車両キーを近い距離で置いた場合、互いに干渉するおそれがあります。

車両を始動する際に **エンジン始動 システム点検中 お待ち下さい** というメッセージがドライ

バーディスプレイに表示された場合は、メッセージが消えるまで待ってから再度車両の始動を試みてください。

❗ 重要

3回始動を試みてもエンジンが始動しない場合には、3分待ってからもう一度試行してください。バッテリーが回復すると、始動できる可能性が高くなります。

① 注意

ハイブリッドバッテリーが放電している場合、車両は始動できません。

⚠ 警告

走行中は **絶対に** リモートコントロールキーを車両から取り外さないでください。

⚠ 警告

車両から離れるときには、必ずリモートコントロールキーを車外へ持ち出し、車両の電気系統がイグニッション位置 **0** になっていることを確認してください。お様が車内にいるときには特に注意が必要です。

¹ 車両が動いているときは、スタートノブを **START** の方向に回すだけでエンジンが始動します。

① 注意

冷寒時、エンジン始動後のエンジン回転数が、通常よりも若干高くなる場合があります。これは、エミッションシステムをできるだけすみやかに正常な作動温度にして有害な排気ガスを抑え、環境を保護するためです。

関連情報

- イグニッション位置 (p. 410)
- エンジンの停止 (p. 413)
- リモートコントロールキー (p. 274)
- リモートコントロールキーの電池交換 (p. 294)
- ドライバーディスプレイに表示されるハイブリッドに関する情報 (p. 133)
- ハイブリッドバッテリーの充電 (p. 455)

エンジンの停止

エンジンを停止するときには、トンネルコンソールにあるスタートノブを使用します。



トンネルコンソールのスタートノブ

エンジンを停止するには：

- － スタートノブを **STOP** まで回してノブから手を放します。エンジンが停止します。ノブは自動的に開始位置に戻ります。

ギヤセレクターレバーが **P** 位置でない場合や、車両が静止していない場合には：

- － エンジンが停止するまで、ノブを **STOP** 位置に保持してください。

関連情報

- エンジンを始動する (p. 411)

ステアリングホイールロック

ステアリングホイールロックは、盗難時などに車両の操舵を困難にします。ステアリングホイールロックが作動または解除されるときには、機械音が聞こえることがあります。

ステアリングロックの起動

車両を外側からロックし、エンジンを停止すると、ステアリングロックが起動します。車両のロックを解除し一定時間が経過すると、ステアリングロックが自動でかかります。

ステアリングロックの解除

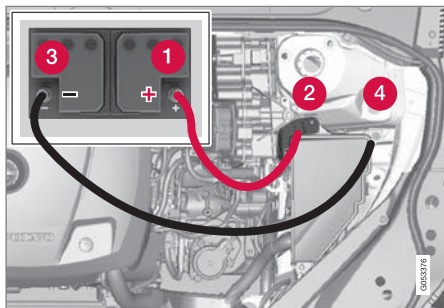
車両のロックを外側から解除すると、ステアリングロックは解除されます。車両がロックされていない場合、リモートコントロールキーが車内にある状態で、スタートノブを **START** 方向に回してエンジンを始動すれば、ステアリングロックは解除されます。

関連情報

- エンジンを始動する (p. 411)
- エンジンの停止 (p. 413)
- ステアリングホイール (p. 176)

別のバッテリーによるジャンプスタート

なんらかの理由で車のバッテリーが放電した場合は、他のバッテリーにジャンパーケーブルを接続して、エンジンを始動することができます。



自車をジャンプスタートするためのチャージングポイント

❗ 重要

車両のチャージングポイントは、自車のジャンプスタート専用です。チャージングポイントは、他の車両のジャンプスタート用ではありません。他の車両のジャンプスタートにチャージングポイントを使用すると、ヒューズが飛んで、チャージングポイントの機能が停止します。

ヒューズが飛ぶと、ドライバーディスプレイに**バッテリー故障 バッテリーヒューズ、販売店に お問い合わせください**というメッセージが表示されます。ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

車両をジャンプスタートする際には、短絡などの損傷を防ぐため、次の手順を厳守してください：

1. 車両の電気系統をイグニッション位置 **0** にします。
2. 電気を供給する側のバッテリーが 12V であることを確認してください。
3. 電気を供給する側のバッテリーが他車に取り付けられている場合には、その車両のエンジンを切り、2 台の車が接触していないことを確認してください。
4. 赤いリード線の一方のクランプを他車のバッテリーのプラス端子 (1) に接続します。
6. 赤いリード線のもう一方のクランプを車両のプラス側ジャンプスタートポイント (2) に接続します。
7. 黒いリード線の一方のクランプを他車のバッテリーのマイナス端子 (3) に接続します。
8. 黒いリード線の他方のクランプを車両のマイナス側のジャンプスタートポイント (4) に接続します。
9. 始動を試みたときに火花が発生することを防ぐため、ジャンパーケーブルのクランプは確実に接続してください。
10. 「電気を供給する側の車両」のエンジンを始動し、アイドリングよりも若干高い回転数 (約 1,500 rpm) で数分間回転させます。

❗ 重要

エンジンルーム内の部品と短絡しないように、ジャンパーケーブルは慎重に接続してください。

5. プラス側のジャンプスタートポイントのカバー (2) を開けます。

11. 自車のエンジンを始動します。始動に失敗した場合は、充電時間を 10 分延長してから再度始動を試みます。

注意

通常の条件でエンジンを始動する際には、車両の電動モーターが優先されます。ガソリンエンジンはオフのままになります。これは、スタートコントロールを **START** にした後、電動モーターが「始動」して、車両が走行できる状態になったことを意味します。モーターが始動したことは、ドライバーディスプレイの表示灯が消灯し、プリセットされたテーマがパネルに点灯することで示されます。

重要

エンジン始動中は、ケーブルのクランプに絶対に触れないでください。火花が発生するおそれがあります。

12. リード線を逆の順序で外します。すなわち、先に黒いジャンパーケーブルを外し、次に赤いジャンパーケーブルを外してください。

黒いリード線のクランプが車両のプラス側ジャンプスタートポイント/他車バッテリーのプラス端子や、赤いリード線のクランプに接触しないよう注意してください。

警告

- バッテリーからは、非常に引火性の高い、酸素と水素の混合ガスが発生します。ジャンパーケーブルを正しく接続しないと、火花が発生し、バッテリーが爆発するおそれがあります。
- バッテリー液には、腐食性の強い希硫酸が使用されており、触れると重度のヤケドを負うおそれがあります。
- 電解液が目、皮膚または衣服に付着した場合は、ただちに大量の水で洗い流してください。目に入った場合は、すぐに医師の診察を受けてください。

注意

ハイブリッドバッテリーが放電している場合、車両は始動できません。

関連情報

- バッテリー (p. 569)
- イグニッション位置 (p. 410)
- エンジンを始動する (p. 411)
- ボンネットの開閉 (p. 553)
- ハイブリッドバッテリーの充電 (p. 455)

トランスミッション

トランスミッションはエンジンと駆動輪をつなぐ駆動系(パワートランスミッション)の一部です。トランスミッションの機能は、速度と必要な出力に応じてギヤ比を変更することです。

車両には 8 速オートマチックトランスミッションと、後輪駆動用の電気モーターが搭載されています。ステアリングホイールパドル*を使用し、ギヤを手動でシフトすることができます。ドライバーディスプレイに、現在使用しているギヤポジションが表示されます。

重要

駆動システムのコンポーネントへの損傷を防止するために、トランスミッションの作動温度が点検されます。オーバーヒートのおそれがある場合には、ドライバーディスプレイの警告灯が点灯し、ディスプレイテキストが表示されます。この場合は、指示に従ってください。

ドライバーディスプレイのシンボル

トランスミッションに不具合が発生すると、ドライバーディスプレイにシンボルとメッセージが表示されます。





シンボル	意味
	トランスミッションに関する情報またはエラーメッセージ。推奨される指示に従ってください。
	トランスミッションが高温になっているか、オーバーヒートしています。推奨される指示に従ってください。

関連情報

- オートマチックトランスミッションのギヤポジション (p. 416)
- ギヤシフトインジケータ (p. 419)
- ステアリングホイールパドルによるギヤチェンジ* (p. 420)

オートマチックトランスミッションのギヤポジション

オートマチックトランスミッションは運転者の負担を減らし、運転者が交通状況や道路に集中できるようにします。

車両には8速オートマチックトランスミッションが搭載されています。このシステムは最適な走行を実現できるようにギヤを選択します。

ドライバーディスプレイ上のギヤポジション



ギヤセレクターレバーの位置はドライバーディスプレイに以下のように表示されます。

P、**R**、**N**、**D**または**B**。

マニュアルギヤシフト中は、使用中のギヤも表示されます(1~8)。

ギヤシフト

ギヤセレクターレバーはシフトバイワイヤータイプで、ギヤチェンジは機械的ではなく電子的に行われます。そのため、より容易なギヤシフトとより明確なギヤポジションを実現しています。

バネ式ギヤセレクターレバーを前後に動かして、ギヤポジションを変更します。



ギヤポジション

パーキング位置 - P



パーキング位置にするときは、ギヤセレクターレバーの横にある **P** ボタンを使用します。

駐車したとき、またはエンジンを始動するときには、**P** 位置を選択します。必ず車両が停止してから、パーキング位置を選択してください。

パーキング位置から他のギヤポジションを選択するときには、イグニッション位置を **II** にして、ブレーキペダルを踏み込む必要があります。

P 位置では、トランスミッションが機械的にロック状態になります。駐車するときには、最初にパーキングブレーキをかけてください。

警告

坂道に駐車する際には、必ずパーキングブレーキをかけてください。状況によっては、オートマチックトランスミッション車の **P** 位置に入れておくだけでは、不十分な場合があります。

ヘルプ機能：

以下のような場合は、システムが自動で **P** 位置にシフトします。

- ギヤポジションが **D** または **R** にあるときに車両をオフにしたとき。
- ギヤセレクターレバーが **P** 以外の位置にあり、エンジンが作動しているときに、運転者がシートベルトを外して運転席を開けたとき。

リバース位置 - R

後退するときは、**R** を選択してください。必ず車両が停止してから、リバース位置に入れてください。

ニュートラル位置 - N

トランスミッションが、どのギヤにも入っていない状態です。エンジンを始動することができます。ギヤセレクターレバーが **N** 位置にあり、車両が停止しているときは、パーキングブレーキをかけてください。

ギヤセレクターレバーをニュートラル位置から他の位置にシフトするときには、イグニッショ

ン位置を **II** にして、ブレーキペダルを踏み込む必要があります。

ドライブ位置 - D

D 位置は、通常走行時に使用する位置です。加速に応じて、すべての前進ギヤ間で自動的にシフトアップ、シフトダウンが行われます。ギヤを **R** から **D** へシフトするときは、車両が停止している必要があります。

◀ ブレーキ位置 - B

B は、走行中いつでも選択することができます。**B** 位置では、アクセルペダルをゆるめるとエンジンブレーキがかかり、同時にハイブリッドバッテリーが充電されます。運転者がブレーキペダルを使用しないときにも充電が行われるため、ハイブリッドバッテリーを充電する機会をより多く提供します。



B位置にあるときのドライバーディスプレイ

B からより低いギヤへ、手でシフトすることができます。ドライバーディスプレイに、現在使用中のギヤ(1~8)が表示されます。

- ギヤセレクターレバーを1度後方へ押しすと、一段低いギヤへシフトします。
- ギヤセレクターレバーをもう1度後方へ押しすと、さらに一段低いギヤへシフトします。

手でシフトアップするには、車両にステアリングホイールパドルが搭載されている必要があります。

- ギヤセレクターレバーを前方へ押しすと、**D** 位置に戻ります。

このトランスミッションは、選択しているギヤの速度設定範囲を車速が下回ると、自動的にシフトダウンしてノッキングやストールを防ぎます。

キックダウン

アクセルペダルをフロアの奥まで(通常、フルアクセルと思う位置よりもさらに深く)踏み込むと、ただちに低いギヤにシフトダウンします。これをキックダウンと呼びます。

アクセルペダルをキックダウン位置から戻すと、トランスミッションは再び自動的にシフトアップします。

キックダウンは追い越しなど、最大加速が必要なときに使用してください。

安全機能

エンジンのオーバーレブを防止するために、トランスミッションコントロールプログラムには、ダウンシフトインヒビターが装備されており、キックダウン機能を制限しています。

トランスミッションは、エンジン回転速度が高いためにエンジンに損傷を与えるおそれがあるようなダウンシフト/キックダウンは許可しません。エンジン回転速度が高い状態では、この

方法でシフトダウンしても、なにも起こりません。もともとのギヤがかみ合ったままとなります。

キックダウンすると、エンジン回転速度に応じて、ギヤ位置が1つ以上シフトダウンします。車速がそのギヤでの最高速度に達すると、エンジンを損傷させないように自動的にシフトアップします。

関連情報

- トランスミッション (p. 415)
- ステアリングホイールパドルによるギヤチェンジ* (p. 420)
- ギヤシフトインジケータ (p. 419)
- ギヤセレクターインヒビター (p. 419)
- イグニッション位置 (p. 410)

ギヤシフトインジケーター

ドライバーディスプレイのギヤシフトインジケーターは、マニュアルギヤシフト時の現在のギヤを表示します。また、最適な燃料経済性を実現するギヤシフトのタイミングも表示します。

マニュアルギヤシフト時にエコドライブを実践するには、適切なギヤで走行することが重要です。ギヤシフトインジケーターは、ドライバーディスプレイに現在のギヤを表示し、シフトアップが推奨されるときに上向きの矢印を表示します。ギヤシフトインジケーターは、ギヤポジション **B** のとき、またはギヤポジション **D** でステアリングホイールパドル²を使用してギヤチェンジをするときに表示されます。



ドライバーディスプレイのギヤシフトインジケーター²

関連情報

- トランスミッション (p. 415)
- オートマチックトランスミッションのギヤポジション (p. 416)

ギヤセクターインヒビター

ギヤセクターインヒビターは、オートマチックトランスミッションでのギヤポジションの偶発的な変更を防止します。

オートマチックギヤセクターインヒビター

オートマチックギヤセクターインヒビターには、特別なセーフティシステムがあります。

パーキング位置 - P からの移動

ギヤセクターレバーを **P** 位置から動かすときには、イグニッション位置を **II** にして、ブレーキペダルを踏み込む必要があります。

ニュートラル位置 - N からの移動

ギヤセクターレバーが **N** 位置で、車両が約3秒以上停止(エンジン回転とは関係なく)している場合、レバーは固定されます。

ギヤセクターレバーを **N** 位置から他の位置に動かすときには、イグニッション位置を **II** にして、ブレーキペダルを踏み込む必要があります。

ドライバーディスプレイのメッセージ

ギヤセクターが制御されると、ドライバーディスプレイにメッセージが表示されます(例: **ギアパー ブレーキペダルを踏んでギアパーを作用して下さい**)。

ギヤセクターは、機械的には制御されません。

² 図は概略図です。配置は、車両モデルまたはソフトウェアのアップデートにより異なる場合があります。

◀ 関連情報

- オートマチックトランスミッションのギヤポジション (p. 416)
- イグニッション位置 (p. 410)

ステアリングホイールパドルによるギヤチェンジ*

ステアリングホイールパドルはギヤセレクターレバーを補完し、ステアリングホイールから手を放さずに手でギヤを変えることができます。

ステアリングホイールパドルの起動

ステアリングホイールのパドルを使用してギヤチェンジを行うには、まずパドルを起動する必要があります。

- パドルのひとつをステアリングホイールに向かって引きます。
 - > ドライバーディスプレイの数字は、現在のギヤを示しています。



ステアリングホイールパドルでギヤをシフトしているときの、ドライバーディスプレイ

ギヤチェンジ

ギヤを一段変更するには：

- パドルのひとつを後方(ステアリングホイール側)に引いて放します。



- ① 「-」：ひとつ下のギヤを選択します。
- ② 「+」：ひとつ上のギヤを選択します。

エンジン回転速度が許容範囲内の場合は、パドルを引くとギヤチェンジが実行されます。

ギヤチェンジの度に、ドライバーディスプレイの数字が変わり、現在のギヤを表示します。

機能の解除

手動解除

- ステアリングホイールパドルを解除するには、両方のパドルをステアリングホイールの方向に引き、ドライバーディスプレイの現在のギヤを示す数字が消えるまでそのまま保持します。

自動解除

ギヤポジション **D** では、ステアリングホイールパドルを使用しないと、間もなくオフになります。現在のギヤを示す数字が消えて、オフになったことを示します。

ギヤポジション **B** では、自動解除の機能はありません。

関連情報

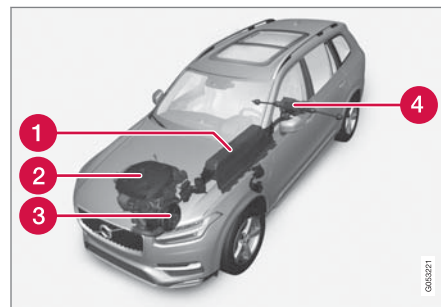
- オートマチックトランスミッションのギヤポジション (p. 416)
- ギヤシフトインジケータ (p. 419)

駆動システム

XC90 Twin Engine はパラレルハイブリッドで、2つの独立した駆動システム、電動モーターと内燃エンジンが装備されています。運転者が選択したドライブモードおよび利用可能な電気エネルギーによって、2つの駆動システムが個別に、または並行して使用されます。

2種の駆動システム

進化したコントロールシステムによって最適な走行経済性が得られるように、両方の駆動システムの特性が組合わされます。



- 1 ハイブリッドバッテリー
- 2 内燃エンジン
- 3 高電圧発生器³
- 4 電動モーター

内燃エンジンと電動モーターの両方とも、ホイールに直接駆動力を提供することができます。内燃エンジンは、特殊な高電圧発生器により電動モーターのハイブリッドバッテリーを充電することもできます。

関連情報

- ドライブモード (p. 422)
- XC90 Twin Engine の概要 (p. 55)

³ 高電圧発生器内蔵スターターモーター - CISG (Crank Integrated Starter Generator)

HYBRID

これは車両の通常モードです。

始動したとき、車両は **Hybrid** モードです。コントロールシステムは電動モーターとエンジンを個別または同時に使用して、パフォーマンス、燃費および快適性の点で最適な使用条件を計算します。高速になればなるほど地上高を自動で低く調節し、風の抵抗を減少させます。

Hybrid ドライブモードで純粋に電動モーターのみで走行できる能力は、ハイブリッドバッテリーのエネルギー残量と車内の冷暖房の必要性などに左右されます。

バッテリーの出力が大きい場合は、電力のみで走行することができます。アクセルペダルを踏み込むと、ある一定の位置に達するまでは電気モーターのみが作動します。この位置を超えると、内燃エンジンが始動します。



電気モーターおよび内燃エンジン両用のドライバーディスプレイ

ドライバーディスプレイのポインターは、走行中に車両が使用するエネルギー量を表示します。稲妻と水滴の間の小さいポインターは、使用可能なエネルギー量を表示します。詳しくは「ドライバーディスプレイに表示されるハイブリッドに関する情報」の項をお読みください。

内燃エンジンは、運転者がアクセルペダルによって要求するエンジンの出力に対し、バッテリーのエネルギー残量が不足しているときに始動します。

軽くブレーキをかけているときに、エネルギーがバッテリーに戻る(再生される)際もドライバーディスプレイに表示されます。再生に関する詳細情報は、「フットブレーキ」の項を参照してください。

エネルギー残量が少ないと(ハイブリッドバッテリーが空に近い状態)、バッテリーのエネル

ギーの残量レベルを維持する必要があるため、内燃エンジンの始動する機会が多くなります。AC230V 電源コンセントと充電ケーブルを使用してハイブリッドバッテリーを充電するか、**Save** ドライブモードに切り替えて、電気のみで走行できるだけ容量を確保してください。

PURE

燃料消費量と二酸化炭素の排出を最小限に抑えて、電気モーターで走行します。

このドライブモードでは、ハイブリッドバッテリーで最大限に走行します。例えば、地上高を低くして風の抵抗を減らし、一部のエアコンディショナー設定の出力を低減します。

Pure モードは、ハイブリッドバッテリーのエネルギー残量が十分なときに使用できます。バッテリーのエネルギー残量が低下しすぎると、エンジンが始動します。エンジンは以下の場合にも始動します。

- 車速が 125 km/h (78 mph)を超えた場合
- 電動モーターが供給できる以上の駆動力を運転者が要求した場合
- 例えば外気温が低いなどの理由で、システムや部品の機能が制限された場合。

外気温が低いことで悪影響を感じた場合、必要に応じて、**AUTO**、または デフロスターボタンを押してください。

SAVE

電動走行の方が適している状況(市街地走行など)に備えて、エネルギーを残しておいてください。

電動のみの走行では、高速よりも低速の方が多くの燃料を節約します。そのため、ハイブリッドバッテリーのエネルギー残量が多く、旅程の前半を高速で長距離移動(高速道路など)し最後に低速走行(電気走行が必要な状況)する場合は、主にこのモードを選択してください。

このドライブモードを選択したときにハイブリッドバッテリーのエネルギーレベルが低い場合、内燃エンジンが始動しバッテリーを33%まで充電します。ハイブリッドバッテリーのエネルギーレベルが既に33%を超えている場合は、

Hybrid モードのときと同様にコントロールシステムが内燃エンジンを停止/始動させ、エネルギーレベルを維持します。

このドライブモードでは、後の電気走行に備えて高いエネルギーを保存できるよう内燃エンジンを始動/停止するため、燃料消費量が増加します。

OFF ROAD

過酷な地形や悪条件の路面を走行するときに車両のトラクションが最大限に引き出されます。

このドライブモードでは、最低地上高が高くなり、ステアリングが軽く、全輪駆動、ヒルディセントコントロール(Hill Descent Control)連動低速コントロール機能が起動しています。

このドライブモードは、低速時のみオンにすることができ、スピードメーターには速度リミッターの範囲が表示されます。この速度を超えると、**Off Road** モードは取り消され、代わりに **AWD** ドライブモードがオンになります。

ドライバーディスプレイに、コンパスと高度計が追加されます。

全輪駆動で走行できるようにするために、内燃エンジンと電動モーターがつねに作動し、結果的に燃料消費量が増加します。

注意

このドライビングモードは一般道で使用するためには設計されていません。

注意

OFF ROAD モードの状態ではイグニッションをオフにしたため最低地上高が高くなっている場合、次のエンジン始動時に車高が下がります。

重要

トレーラーコネクターのないトレーラーを接続して走行しているときには、OFF ROAD ドライブモードを使用しないでください。この指示に従わないと、エアベローズを損傷する可能性があります。

AWD

全輪駆動により、車両のロードホールディングとトラクションを向上させます。

このドライブモードは滑りやすい路面での低速走行を想定していますが、高速時に安定性を向上させる働きもあります。

全輪駆動で走行できるようにするために、内燃エンジンと電動モーターがつねに作動し、結果的に燃料消費量が増加します。

POWER

Power モードでは、スポーツ性能が強調され、さらにアクティブな走行が可能になります。

このドライブモードはフロントとリア両方のタイヤにより車両を駆動することにより、内燃エンジンと電気モーターの複合出力を最大限に発揮します。車両はよりスポーティな特性を持ち、加速に対し迅速に反応します。通常よりも低いギヤを使用し、シフトアップタイミングを遅らせた走行が優先されます。ステアリング応答が速くなり、衝撃吸収が硬めになって、最低地上高が低くなるため、ボディが道路に追従し、コーナリング時のロールが低減します。

内燃エンジンと電動モーターがつねに作動しているため、結果的に燃料消費量が増加します。

INDIVIDUAL

個人のお好みに応じてドライブモードが調整されます。

最初に基本のドライブモードを選択してから、好みの走行特性に応じて設定を調節してください。

独自のドライブモードは、最初にセンターディスプレイで有効にした場合にのみ利用できます。

1. トップビューで **設定** を押します。
2. **My Car → 個別運転モード**の順に押して、**ユーザーカスタマイズドライブモード** を選択します。
3. **Pure, Hybrid, Power** の中から、最初のドライブモードを選択します。
選択に応じて、以下の設定を調節します。
 - **メーター**
 - **ステアリングレベル**
 - **パワートレイン特性**
 - **ブレーキ特性**
 - **サスペンション制御**

電気走行用の警告音

車両には、電気のみで走行している(走行速度 0-30 km/h (0-19 mph)ではほとんど音がしない)ときに、歩行者に注意を促すための警告音が

装備されています。エンジンルームの前面にスピーカーが取り付けられています。

この警告音はオフにすることもできます。オフにすると、再度オンにするまで、または次にエンジンを始動するまでオフの状態を維持します。



外部サウンド 用の機能ボタンは、センターディスプレイの機能ビューにあります。この機能がオンになると、ボタンに緑色のインジケーターが表示されます。

内燃エンジンの始動と停止

アドバンストコントロールシステムは、内燃エンジンによる走行、電気モーターによる走行、または2つを並行使用した走行の距離を決定します。

主要な機能は、さまざまなドライブモードの特性に加え、アクセルペダルを介した運転者の電力要求に関して、エンジンまたはモーター、およびハイブリッドバッテリー内の利用可能なエネルギーを可能な限り効率的に使用することです。

また、車両の総合的な排出量を低水準に維持することを目的とした法的要件により規制される、システムまたは機能の一時的な制限によって内燃エンジンをより多く使用する場合があります。

関連情報

- 速度感応式のステアリングホイール操舵力 (p. 310)
- オートレベライザー* (p. 426)
- ドライバーディスプレイに表示されるハイブリッドに関する情報 (p. 133)
- フットブレーキ (p. 428)
- AWD(全輪駆動車) (p. 427)
- ヒルディセントコントロール (p. 436)

オートレベライザー*

オートレベライザーは走行中に車両のサスペンションと衝撃吸収特性を自動的に制御して、快適性と機能性を最適な状態に保ちます。荷積みや乗り降りをしやすくするために、手動で車高を調節することもできます。

エアサスペンションおよび衝撃吸収

システムは選択したドライブモードと車速に応じて調整されます。エアサスペンションを使用すると、高速時に車両の最低地上高が低めに調節されて、風の抵抗が軽減し、安定性が向上します。通常、衝撃吸収は快適性重視で設定され、路面状態、加速、ブレーキおよびコーナリングに応じて連続的に制御されます。

オートレベライザーの作動中は、ドライバーディスプレイに表示されます。

ボンネットまたはドアが1つでも開いている場合、レベルを制御することはできません。

オートレベライザーの設定

乗車アシスト

乗り降りしやすくなるように、車高を下げるすることができます。

センターディスプレイを使用して乗車アシストをオンにする

1. トップビューで **設定** を押します。
2. **My Car → サスペンション** を押します。

3. **Easy Entry/Exit Control** を選択します。

› 駐車してエンジンをオフにすると、車高が下がります(ドアを開けると、オートレベライザーは停止します)。エンジンが始動し、車両が動き始めると、選択されているドライブモードに対応する車高まで上昇します。

エアサスペンションおよびオートレベライザーの解除

状況により、機能の解除が必要になることがあります。車両をジャッキで持ち上げる場合などが該当します。解除しておかないと、ジャッキの使用により車両が水平でなくなったとき、エアサスペンションに問題が発生する可能性があります。

センターディスプレイを使用して機能をオフにする

1. トップビューで **設定** を押します。
2. **My Car → サスペンション** を押します。
3. **サスペンションとエアリフト制御の解除** を選択します。

荷積みモード



カーゴスペースのボタンを使用して車両後部の高さを調節すると、荷物の積み卸しがしやすくなります。トレーラーの接続/切り離しもしやすくなります。「荷物の積み込み」の項を参照してください。

駐車時

駐車時は、車両の上と下に十分なスペースがあることを確認してください。車両の最低地上高は、外気温、積載状態、荷積みモードの使用、始動後に選択したドライブモードなどに応じて異なる場合があります。

駐車からしばらく経過した後でも、車高を調節できることがあります。これは、車両温度の低下に伴ってエアスプリングの温度が変化したときに発生する車高の変化を補正するためです。

輸送時

車両をフェリー、列車またはトラックで輸送する場合、車両はタイヤの周りにロープをかけて固定する必要があります。シャシの他の部分にはロープをかけないでください。輸送中にエアサスペンションが変化して、固定状態に悪影響を及ぼす可能性があります。

関連情報

- ドライブモード (p. 422)
- 荷物の積み込み (p. 262)

AWD(全輪駆動車)

全輪駆動車 AWD(All Wheel Drive)では、車両の4輪すべてに同時に駆動力がかかります。

トラクション性能を最大に引き出してタイヤのスピンを防止するため、駆動力を自動的に分配して最適なグリップ力が得られるようにします。全輪駆動には高速走行での安定効果もあります。通常の走行状況では、駆動力の大半が前輪に分配されます。

全輪駆動の特性は、選択したドライブモードによって異なります。

関連情報

- ドライブモード (p. 422)
- 低速コントロール (p. 435)

ブレーキ機能

車両のブレーキは、減速するとき、または車両の動き出しを防止するときに使用します。

フットブレーキとパーキングブレーキの他に、車両にはいくつかのオートブレーキアシスト機能が搭載されています。オートブレーキアシスト機能を使用すると、赤信号で停車しているとき、上り坂で発進するとき、または下り坂を走行しているときに運転者がブレーキペダルに足を載せておく必要がなくなります。

オートブレーキ機能には以下の種類があり、実際に搭載されるものは車両の装備に応じて異なります。

- 停車時のオートブレーキ
- ヒル・スタート・アシスト(Hill Start Assist)
- 衝突後のオートブレーキ
- ヒルディセントコントロール(Hill Descent Control)*

関連情報

- フットブレーキ (p. 428)
- パーキングブレーキ (p. 431)
- ヒルディセントコントロール (p. 436)
- ヒル・スタート・アシスト (p. 434)
- 停車時のオートブレーキ (p. 434)
- 衝突後のオートブレーキ (p. 431)

フットブレーキ

フットブレーキは、走行速度を減速するために使用します。

フットブレーキシステム

車両には、2つのブレーキ回路があります。一方のブレーキ回路が損傷すると、ブレーキペダルの踏み込み量が大きくなります。したがって、通常の制動効果を得るには、通常よりもペダルを強く踏み込む必要があります。

警告

電気モーターとガソリンエンジンがオフになっており動力源が断たれた車両では、ブレーキを作動することができません。

起伏の激しい地域や、重い荷物を積載して走行するときは、マニュアルギヤ位置 B でエンジンブレーキを使用することにより、ブレーキへの負担を軽減することができます。急勾配の下り坂を低速で走行しているときは、**Off Road** ドライブモードを使用してエンジンブレーキを強めてください。

アンチロックブレーキシステム

車両にはアンチロックブレーキ Anti-lock Braking System (ABS) が装備されています。アンチロックブレーキは、制動中にホイールのロックを防止して、ステアリングの制御を維持できるようにします。ABS が作動すると、ブレーキ

キペダルに脈動が感じられる場合がありますが、これは異常ではありません。

エンジン始動後、ブレーキペダルから足を放したときに、ABS システムの自己診断機能が短時間作動します。低速走行時に、さらにシステムの自動テストが行われることがあります。テストが行われているときは、ブレーキペダルで脈動が感じられることがあります。

軽い制動操作によるハイブリッドバッテリーの充電

軽い制動操作では電動モーターのエンジンブレーキが使用されます。車両の運動エネルギーが電気エネルギーに変換されて、ハイブリッドバッテリーの充電に使用されます。エンジンブレーキによるバッテリーの充電は、ドライバーディスプレイに表示されます。「ドライバーディスプレイに表示されるハイブリッドに関する情報」の項を参照してください。

この機能は速度範囲が 150-5 km/h (93-3 mph) のときに作動します。強めにブレーキをかけたときや対象の速度範囲から外れているときには、油圧式ブレーキシステムによって制動力が補われます。



エンジンブレーキ作動中は、ドライバーディスプレイに充電が表示されます。

濡れた路面でのブレーキ操作

大雨の中、ブレーキをかけずに長時間走行していると、最初にブレーキをかけたときに、ブレーキの効きが少し遅れる可能性があります。この症状は、洗車機で洗車した後も発生することがあります。この場合、ブレーキペダルを通常よりも強めに踏む必要があります。したがって、前方の車両との車間距離を長めに維持する必要があります。

濡れた路面を走行した後、または洗車機を使用した後には、車両にしっかりブレーキをかけてください。これによりブレーキディスクの温度が上がるため、ブレーキディスクの乾燥時間が短くなり、腐食から保護できます。ブレーキをかけるときには、周辺の交通状況に注意してください。

凍結防止剤が散布された路面でのブレーキ操作


凍結防止剤が散布された路面を走行しているときには、ブレーキディスクおよびブレーキパッドに塩の層が形成されることがあります。この層が形成されると、制動距離が延びる可能性があります。したがって、前方の車両との間に十分な安全距離を確保する必要があります。また、以下の点にも注意が必要です。

- ときどきブレーキをかけて、塩の層を取り除いてください。ブレーキをかけるときには、他の道路使用者を危険にさらすことのないように注意してください。
- 走行を終えた後、および次回の走行を開始する前に、ブレーキペダルを慎重に踏んでください。



メンテナンス

車両の信頼性と安全性を可能な限り確保するため、メンテナンスノート(整備手帳)に記載されているボルボのメンテナンスサービス間隔に従って点検整備を実施してください。

交換したばかりの新品のブレーキライニングおよびブレーキディスクは、数百キロメートル走行して部品が馴染むまでは本来の制動効果を発揮しません。制動効果の不足分を補うために、ブレーキペダルを通常よりも強めに踏み込んでください。ボルボ承認のブレーキパッドのみを使用することをお勧めします。

 重要
<p>ブレーキシステム構成部品の摩耗状況を定期的に点検してください。</p> <p>手順に関する情報をサービス工場にお問い合わせいただくか、サービス工場に点検を依頼してください。ボルボ指定のサービス工場をお勧めします。</p>

ドライバーディスプレイのシンボル

シンボル	意味
	ブレーキフルードレベルを点検してください。ブレーキフルードレベルが低いときは補充し、ブレーキフルードが減った原因を点検してください。
	ペダルセンサーに不具合があります。

シンボル	意味
	<p>エンジン始動時に2秒間点灯：自動機能点検です。</p> <p>2秒を超える点灯：ABS システムに不具合があります。通常のブレーキシステムは正常に機能していますが、ABS 機能は使用できません。</p>
	<p>ブレーキペダル特性が変化した、販売店にお問い合わせください というメッセージが表示された場合、Brake-by-Wire のシステムが正常に作動しません。ブレーキペダルの踏みしろが深くなるため、制動効果を得るには、通常よりも強い力で踏み込む必要があります。</p>



警告

ブレーキ不具合と ABS 不具合の警告灯が両方同時に点灯した場合、ブレーキシステムに不具合が発生したことを表しています。

- リザーバタンクのブレーキフルードレベルがこの時点で正常であれば、最寄りのボルボ指定のサービス工場まで慎重に走行し、ブレーキ系統の点検を受けてください。
- ブレーキフルードレベルがリザーバタンクの **MIN** マークより低い場合は、ブレーキフルードを補充するまで絶対に運転しないでください。ブレーキフルードが減った原因を点検してください。

関連情報

- ブレーキ機能 (p. 427)
- 制動力増幅 (p. 430)
- ブレーキランプ (p. 185)
- アダプティブブレーキランプ (p. 430)
- ドライバーディスプレイに表示されるハイブリッドに関する情報 (p. 133)

アダプティブブレーキランプ

アダプティブブレーキランプは、急ブレーキをかけた際、後続車にそれを知らせて注意を促すためのものです。このライトは通常のブレーキランプ(点灯)と異なり、点滅を繰り返しません。

アダプティブブレーキランプは、急ブレーキをかけたとき、または高速走行時に ABS システムが作動したときに点灯します。エマージェンシーブレーキで速度が低下すると、ブレーキランプは点滅から通常の点灯に切り替わります。同時に、車両の非常点滅灯が作動します。これらの点滅は、運転者が車両を再度高速まで加速させるか、非常点滅灯をオフにするまで続きます。

関連情報

- フットブレーキ (p. 428)
- 非常点滅灯 (p. 186)
- ブレーキランプ (p. 185)

制動力増幅

制動力増幅システム、BAS (Brake Assist System) は、制動中に制動力を高めて、制動距離を短くするのに役立ちます。

このシステムは、運転者のブレーキ操作の傾向を感じて必要に応じて制動力を高めます。制動力は ABS システムが作動するレベルまで増幅することができます。この機能は、ブレーキペダルにかかる圧力が弱まると一時中断します。

関連情報

- フットブレーキ (p. 428)

衝突後のオートブレーキ

衝突でパイロテックシートベルトテンショナーまたはエアバッグが作動した場合、または大型動物との衝突が検知された場合でも、車両のブレーキが自動的に作動します。この機能により、二次的な衝突の発生を防止または抑制します。

重大な衝突の後は、車両を制御および操舵できなくなる危険性があります。車両の進路にある他の車両や物への二次的な衝突を回避または軽減するため、オートブレーキシステムが自動的に作動して、車両を安全に停止させます。

制動中はブレーキランプおよび非常点滅灯が作動します。車両が停車すると、パーキングブレーキがかかり、非常点滅灯は点滅を続けます。

後続車の衝突する危険などがあり、ブレーキをかけることが適切ではない場合、運転者がアクセルペダルを踏み込むことによりシステムを無効にすることができます。

この機能は、衝突後にブレーキシステムが正常に動作するものと想定しています。

関連情報

- ブレーキ機能 (p. 427)
- シートベルトテンショナー (p. 99)
- エアバッグ (p. 104)
- Rear Collision Warning (p. 375)

パーキングブレーキ

パーキングブレーキは、ホイール 2 輪を機械的にロック/ブロックして、静止状態の車両が動き出すことを防止します。



パーキングブレーキのコントロールは、フロントシート間のトンネルコンソールにあります。

エレクトリックパーキングブレーキが作動すると、電動モーターの音がかすかに聞こえる場合があります。この音は、パーキングブレーキの自動機能点検のときにも聞こえる場合があります。

パーキングブレーキは、車両が停止しているときは後輪のみに作動します。パーキングブレーキを車両が動いているときに作動させると、通常のフットブレーキと同様に 4 輪に作動します。車両がほぼ停止した時点で後輪のみの作動に変わります。

関連情報

- ブレーキ機能 (p. 427)
- パーキングブレーキを使用する (p. 432)
- パーキングブレーキに不具合がある場合 (p. 433)

パーキングブレーキを使用する


パーキングブレーキは、静止状態の車両が動き出すのを防ぐのに使用します。

パーキングブレーキをかける



1. コントロールを引き上げます。
 - ＞ パーキングブレーキがかかると、ドライバーディスプレイのシンボルが点灯します。
2. 車両が停止していることを確認してください。

ドライバーディスプレイのシンボル

シンボル	意味
	パーキングブレーキがかかると、シンボルが点灯します。 シンボルが点滅する場合、不具合が発生したことを表します。ドライバーディスプレイのメッセージをお読みください。

自動作動

以下の場合、パーキングブレーキは自動的に作動します。

- Auto Hold 機能(停車時のオートブレーキ)がオンで、約5分間停車している場合。
- 急勾配の坂道で、ギヤポジション **P** を選択しているとき。
- エンジン进行を停止したとき。(この機能はオプションです。「パーキングブレーキの設定」を参照してください)。

エマージェンシーブレーキ

緊急時には、コントロールを引き上げたまま保持すると、車両が動いている状態でパーキングブレーキをかけることができます。コントロールから手を離すと、ブレーキ動作は停止します。

注意

高速時にはエマージェンシーブレーキが作動している間、確認音が鳴ります。

パーキングブレーキを解除する



手動解除

1. ブレーキペダルをいっばいに踏み込みます。
2. コントロールを押し下げます。
 - ＞ パーキングブレーキが解除され、ドライバーディスプレイのシンボルが消灯します。

自動解除

1. シートベルトを着用します。
2. エンジンを始動します。
3. ギヤポジション **D** または **R** を選択して、アクセルペダルを踏み込みます。
 - ＞ パーキングブレーキが解除され、ドライバーディスプレイのシンボルが消灯します。

坂道での駐車

警告

坂道に駐車する際には、必ずパーキングブレーキを使用してください。状況によっては、ギヤ(オートマチックトランスミッション車の場合はP)に入れておくだけでは、不十分な場合があります。

上り坂で駐車する場合：

- ステアリングホイールを**車道側**に若干回します。

下り坂で駐車する場合：

- ステアリングホイールを**歩道側**に若干回します。

重い荷物を積載した上り坂

車に大きな負荷がかかっているとき(重い荷物を積載しているときや、トレーラーけん引時など)に、傾斜の急な上り坂でパーキングブレーキを自動解除すると、車が後方に下がるおそれがあります。これを防ぐため、発進時にパーキングブレーキコントロールを引き上げたまま保持してください。エンジンが十分な駆動力を得たら、コントロールを放してください。

パーキングブレーキの設定

パーキングブレーキの自動作動機能は、センターディスプレイでオフ/オンにすることができます。

1. トップビューで **設定** を押します。
2. **My Car** → **電動パーキングブレーキ**の順に押し、**パーキングブレーキを自動起動する機能**を解除/選択します。

関連情報

- パーキングブレーキ (p. 431)
- パーキングブレーキに不具合がある場合 (p. 433)
- 停車時のオートブレーキ (p. 434)

パーキングブレーキに不具合がある場合

数回試してもパーキングブレーキを解除できない、またはかけることができない場合、ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

パーキングブレーキをかけた状態で走行すると、警告音が鳴ります。

不具合が解消される前に駐車しなければならない場合は、坂道での駐車と同様にステアリングホイールを回して、セレクターレバーを **P** 位置に入れてください。




バッテリー電圧低下

バッテリー電圧が低下すると、パーキングブレーキの作動や解除ができなくなります。バッテリーの電圧が異常に低い場合には、他車などのバッテリーを接続してください

ブレーキパッドの交換

エレクトリックパーキングブレーキが採用されているため、リアブレーキパッドは必ずボルボ指定のサービス工場でご交換してください。

◀ ドライバーディスプレイのシンボル

シンボル	意味
	シンボルが点滅する場合、不具合が発生したことを表します。ドライバーディスプレイのメッセージを参照してください。
	ブレーキシステムの不具合。ドライバーディスプレイのメッセージを参照してください。
	ドライバーディスプレイの情報メッセージ

メッセージの例：

- **パーキングブレーキ 販売店に お問い合わせください**
- **パーキングブレーキ システムの過熱**
- **パーキングブレーキ 一時的に利用不可です**

関連情報

- ブレーキ機能 (p. 427)
- パーキングブレーキを使用する (p. 432)
- パーキングブレーキ (p. 431)
- 別のバッテリーによるジャンプスタート (p. 414)

ヒル・スタート・アシスト

ヒル・スタート・アシスト、Hill Start Assist (HSA) は、上り坂で発進するときに車両の後退を防止します。坂道を後退で上る場合は、前進を防止します。

この機能では、足をブレーキペダルからアクセルペダルへ動かす間の数秒間、ブレーキシステム内の圧力が保持されます。

一時的に保持されるブレーキ効果は、数秒経過するか、運転者が加速すると、解除します。

ヒル・スタート・アシストは、停車時のオートブレーキ機能 (Auto hold) が解除されている場合でも使用できます。

関連情報

- ブレーキ機能 (p. 427)
- 停車時のオートブレーキ (p. 434)

停車時のオートブレーキ

停車時のオートブレーキ (Auto Hold) を使用すると、赤信号や交通渋滞で停車したとき、運転者は制動力を維持した状態でブレーキペダルから足を放すことができます。

停車すると、ブレーキが自動的に作動します。この機能はフットブレーキまたはパーキングブレーキを使用して停車状態を維持し、どのような勾配でも動作します。アクセルペダルを再度踏み込むと、ブレーキは解除されます。

下り坂または上り坂でブレーキをかけて停車した場合、踏み込む力をゆるめる前にブレーキペダルを少し強めに踏んで、車両がまったく動かないことを確認してください。

停車中に運転者がエンジンを停止すると、パーキングブレーキがかかります。

オートブレーキ用スイッチ





機能がオンのときには、このスイッチが点灯します。

Auto Hold のオンまたはオフには、トンネルコンソールのスイッチを使用します。再度オンにするまで、機能はオフのままになります。

この機能が解除されている場合、ヒル・スタート・アシスト(HSA)がアクティブな状態を維持して、上り坂での発進時に車両が後退するのを防止します。

ドライバーディスプレイのシンボル

シンボル	意味
	オートブレーキ機能がフットブレーキを使用して停車状態を維持しているときに、シンボルが点灯します。
	オートブレーキ機能がパーキングブレーキを使用して停車状態を維持しているときに、シンボルが点灯します。

関連情報

- ブレーキ機能 (p. 427)
- ヒル・スタート・アシスト (p. 434)

低速コントロール

低速コントロール機能 Low Speed Control (LSC) は、滑りやすい路面での走行やオフロード走行に役立ちます。例えば、キャラバンをけん引して草地を走行する場合やポートトレーラーをけん引して進水用スロープを走行する場合などが該当します。

この機能は Off Road ドライブモードに含まれています。

この機能は、低速でのトレーラーけん引やオフロード走行向けに調整されています。

低速コントロールは、ローギヤおよび全輪駆動を優先して、ホイールスピンの回避とすべての車輪でのトラクション向上に役立ちます。低速で速度を制御しやすくするために、アクセルペダルの動きが大きくなります。

この機能は、エンジンブレーキを強める Hill Descent Control (HDC) とともに作動して、急勾配の下り坂を走行するときに一定の低速を維持できるようにします。どのシステムを使用するかは、路面、道路の勾配および走行速度により異なります。

◀◀ 低速コントロール LSC をオンにする



- **Off Road** ドライブモードを選択すると、機能が作動します。
- 別のドライブモードを選択すると、解除されます。

① 注意

OFF ROAD モードで LSC および HDC を作動すると、アクセルペダルの感覚とエンジンレスポンスが変化します。

① 注意

このドライビングモードは一般道で使用するためには設計されていません。

① 注意

この機能は走行速度が上昇すると解除されるため、速度が下がったら、必要に応じて再度オンにしてください。

関連情報

- ブレーキ機能 (p. 427)
- ヒルディセントコントロール (p. 436)
- ドライブモード (p. 422)

ヒルディセントコントロール

ヒルディセントコントロール、Hill Descent Control (HDC) は、より強力なエンジンブレーキを使用した低速機能です。この機能を使用することにより、急勾配の坂道を下る際にフットブレーキを使用せず、アクセルペダルだけで速度を増減することが可能になります。

この機能は **Off Road** ドライブモードに含まれています。

ヒルディセントコントロールは、低速でのオフロード走行に対応するように調整されているため、路面が滑らかではない下り坂の走行で役立ちます。運転者はブレーキペダルを使用する必要がなく、その分、ステアリング操作に集中することができます。

⚠ 警告

HDC はあらゆる状況で作動するわけではなく、補助機能に過ぎません。

安全運転の責任は、つねに運転者にあります。

機能

ヒルディセントコントロールを使用すると、高性能エンジンブレーキにより非常に低速で前進および後退することができます。アクセルペダルを使用すると、速度を上昇させることができます。アクセルペダルから足を離すと、坂道の傾斜に関係なく、車両は徐行に戻ります。フット

トブレーキを使用する必要はありません。HDC機能が作動すると、ブレーキランプが点灯します。

運転者は、フットブレーキを踏めばいつでも、ブレーキをかけて徐行速度を落とすことや停車することができます。

この機能は Low Speed Control (LSC) で作動させます。この機能を使用すると、滑りやすい路面を走行しやすくなるとともに、一定の低速を維持できるようになります。どのシステムを使用するかは、路面、道路の勾配および走行速度により異なります。

ヒルディセントコントロール HDC をオンにする

ヒルディセントコントロールは低速時にのみ作動します。



- **Off Road** ドライブモードを選択すると、機能が作動します。
- 別のドライブモードを選択すると、解除されます。急勾配の下り坂を走行中にドライブモードを変更すると、制動効果が徐々に低下します。

ⓘ 注意

OFF ROAD モードで LSC および HDC を作動すると、アクセルペダルの感覚とエンジンレスポンスが変化します。

ⓘ 注意

このドライビングモードは一般道で使用するためには設計されていません。

ⓘ 注意

この機能は走行速度が上昇すると解除されるため、速度が下がったら、必要に応じて再度オンにしてください。

関連情報

- ブレーキ機能 (p. 427)
- 低速コントロール (p. 435)
- ドライブモード (p. 422)

水たまりでの運転

水たまりでの運転とは、冠水した道路上の深い水たまりを通る走行を意味します。その際は、十分な注意が必要です。

水たまり (冠水した道路など) を走行する際は、車両への損傷を防ぐため下記のことに注意してください。

- 水深が車両のフロアより浅いことを確認します。可能であれば水たまりを走行する前に、もっとも深いポイントの水深を確認してください。水が流れている場所を通過するときは、特に慎重に運転してください。
- エンジンが確実に作動するよう、水たまりを走行する前に必ず **Off Road** ドライブモードに変更します。
- 歩くペースより速い速度で走行しないでください。
- 水たまりの中で停止しないでください。慎重に前進または後退して水たまりを通過してください。
- 対向車の走行により発生した波が車両のフロアよりも高い位置になることがありますので、注意してください。
- 塩水の中の走行は避けてください (腐食の危険性があります)。

重要

車両のフロアよりも水位が高い水たまりを走行した場合、車両の部品(エンジン、トランスミッション、駆動装置、電気部品など)が損傷する可能性があります。冠水、静水ロックまたはオイル不足により損傷したコンポーネントに対する損害は保証の対象にはなりません。

深い水溜りの中でエンジンが停止したときは、エンジンを再始動しないでください。代わりに、車両をけん引して水溜りから出し、低床トレーラーでサービス工場まで運んでください。正規ボルボサービス工場をお薦めします。

水たまり通過後、ブレーキペダルを軽く踏み、ブレーキの効き具合を確認してください。ブレーキシステムが濡れたり泥が付着すると、ブレーキが効くまでの時間が長くなるおそれがあります。

水たまりなどを走行した後は、必要に応じてトレーラーカップリングのコネクターを清掃してください。

関連情報

- けん引 (p. 454)
- 車両移動 (p. 455)

エンジンおよび駆動システムのオーバーヒート

起伏の激しい地域や気温が高いときなど特殊な条件では、エンジンや駆動システムがオーバーヒートする場合があります。特に重い荷物を積載しているときは、ご注意ください。

- オーバーヒートすると、エンジンの出力が一時的に制限されることがあります。
- 気温の高い状況下で走行するときは、グリルの前に補助ライトなどを取り付けないでください。
- エンジンのクーリングシステムの温度が異常に高くなると、警告灯が点灯して、ドライバーディスプレイに **エンジン温度 水温が熱すぎ、安全の為 停車してください** というメッセージが表示されます。安全な場所に停車して、エンジンを数分間アイドリングさせて温度を下げてください。
- **エンジン温度 水温が熱すぎ エンジンを停止して下さい** または **エンジン冷却液 レベル低下 エンジンを停止して下さい** というメッセージが表示された場合は、車両を停止してエンジンを切ってください。
- トランスミッションがオーバーヒートした場合、代わりにギヤシフトプログラムが選択されます。また、組み込まれている保護機能が作動して、警告灯を点灯したり、ドライバーディスプレイに **トランスミッションが熱い 温度を下げるため 減速して下さい** または **トランスミッションが過熱安全の為、エンジン冷却 まで待つ**




停車して下さい というメッセージを表示したりします。推奨されている指示に従い、減速、または安全な場所に停車し、エンジンを数分間アイドリングさせてトランスミッションの温度を下げてください。

- 車両がオーバーヒートすると、冷暖房が一時的に停止する場合があります。
- 長時間過酷な条件下で走行した後は、停車直後にエンジンを停止しないでください。

注意

エンジン停止後も、エンジンクーリングファンがしばらく回転を続ける場合がありますが、これは異常ではありません。

ドライバーディスプレイのシンボル

シンボル	意味
	エンジン高温。推奨される指示に従ってください。
	低レベル、クーラント。推奨される指示に従ってください。
	トランスミッション高温/オーバーヒート/冷却済み。推奨される指示に従ってください。

関連情報

- 特殊な条件でのトレーラーなどのけん引 (p. 452)
- 長距離走行の準備 (p. 440)

メインバッテリーへの過剰な負荷

車内のさまざまな電気機器により、バッテリーにさまざまな負荷が加わります。エンジンが停止状態のときは、イグニッション位置 **II** は使用しないようにしてください。代わりに、イグニッション位置 **I** を使用すると、電力の消費を抑えることができます。

電気系統に負担をかけるような、各種アクセサリにも注意してください。エンジンを停止しているときに、電力を大量に消費するような機能を使用しないでください。そのような機能の例は：

- ベンチレーションファン
- ヘッドライト
- ウインドスクリーンワイパー
- オーディオシステム(ハイボリューム)

メインバッテリーの電圧が低下している場合、ドライバーディスプレイに **バッテリー低下 すぐに省電力モードになります** というメッセージが表示されます。バッテリーの負担を軽減するために節電機能が働いて、ベンチレーションファンやオーディオシステムなど、一部の機能を解除または制限します。

- この場合には、エンジンを始動し、走行するなど、エンジンを最低 15 分回転させたままにして、バッテリーを充電してください。メインバッテリーは、車両が静止したままエンジンをアイドリングさせるよりも、走行時の方が効率よく充電できます。

関連情報

- イグニッション位置 (p. 410)
- バッテリー (p. 569)

長距離走行の準備

長距離走行の前には、車両の機能や機器を特に注意深く点検することをお勧めします。

以下の点を確認してください。

- エンジンが正常に作動し、燃料消費量が通常通りであること
- 燃料、オイル、その他のフルードなどが漏れていないこと
- すべてのランプのバルブが正常であること
- タイヤの溝の深さと空気圧が十分であること
- 三角警告板と反射ベストを車内に携行していること – 一部の国では法律で義務づけられています
- ワイパーブレードが使用可能な状態であること

関連情報

- 燃料消費量およびCO₂排出量 (p. 608)
- タイヤ空気圧の点検 (p. 518)
- 三角警告板(停止表示板) (p. 540)

冬季の路面状況への対応

冬季の運転では、安全な走行を実現するために、いくつかの車両点検を行うことが重要です。

冷寒時は、特に次の点に注意してください：

- 50%のグリコールを含んだクーラントを使用してください。このクーラントは約 -35 °C までエンジンを凍結から保護します。健康を害する危険を避けるため、異なる種類のクーラントを混合しないでください。
- 凝結水が発生しないように、燃料タンクを満タンにしてください。
- エンジンオイルの粘度は非常に重要です。粘度の低いオイル(やわらかいオイル)を使用すると冷寒時にエンジンが始動しやすくなり、またエンジンが暖機されるまでの燃料消費量が低減されます。適切なオイルについては、「エンジンオイルに対する過酷な走行条件」の項で詳しい説明をお読みください。

❗ 重要

過酷な条件下で走行するときや、気温が高いときは、粘度の低いオイルは絶対に使用しないでください。

- メインバッテリーの状態および充電レベルを必ず点検してください。冷寒時はメイン

バッテリーに大きな負担がかかり、容量が低下します。

- ウォッシャー液リザーバタンクの凍結を防ぐため、不凍液入りのウォッシャー液を使用してください。

降雪や路面凍結のおそれがあるときは、ロードホールディングを最適化するため、ボルボ社では全輪へのウインタータイヤの装着をお勧めします。

❗ 注意

一部の国では、ウインタータイヤの使用が法律によって義務付けられています。一部の国では、スタッドタイヤの使用が禁止されています。

スリップしやすい路面での運転

スリップしやすい路面での運転を体験してください。安全で、なおかつスリップしやすい場所を選んで運転し、車両がどのような動きをするか体験してください。

関連情報

- ウィンタータイヤ (p. 538)
- ウォッシャー液リザーバタンク (p. 568)
- エンジンオイルに対する過酷な走行条件 (p. 605)

燃料給油口フラップの開閉と給油

燃料タンクには、給油キャップのない燃料給油口システムが取り付けられています。

燃料給油口フラップの開閉



ドライバーディスプレイでは、タンクシンボルの横にある矢印が車両のどちら側に燃料給油口フラップがあるかを示しています。



1. メーター・パネルのボタンを押してください。
 - 燃料タンクの均圧により、フラップを開く際に一定の遅延が発生します。ドライバーディスプレイに **燃料タンク 燃料給油口蓋が開いたまま**、続いて **燃料タンク 燃料補給準備完了** というメッセージが表示されます。

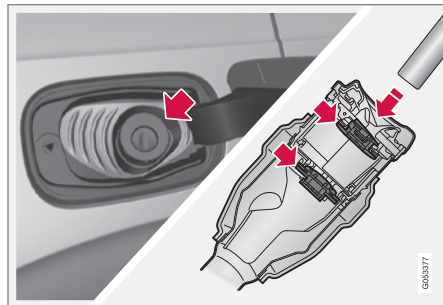
2. 給油が完了したら、フラップを軽く押して閉めます。

フューエルポンプによる給油

❗ 重要

- ディーゼルエンジン搭載車にディーゼル以外の燃料を補給しては絶対にいけません。
- ガソリンエンジン搭載車にガソリン以外の燃料を補給しては絶対にいけません。
- 指定グレードの燃料を使用してください。

誤った燃料を少量でも使用すると、燃料系統やエンジンが損傷するおそれがあります。



給油は以下の手順で行ってください。

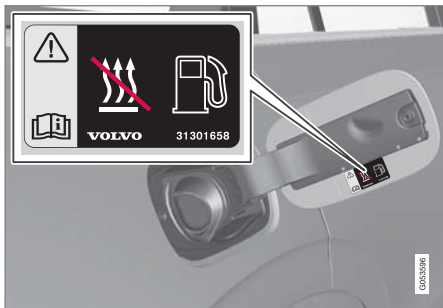
1. 燃料給油口フラップを開けます。
2. ポンプのノズルを燃料給油口に差し込みます。注意をはらってノズルを確実にフィルターパイプに挿入してください。フィルターパイプは、開く2つのフラップで構成されています。必ず両方のフラップの奥までノズルを押し入れてから、給油を開始してください。
3. 燃料タンクに燃料を入れ過ぎないようにご注意ください。給油機が最初に自動停止した時点で、給油をやめてください。
 - 燃料は満タンです。

❗ 注意

過度に給油すると、気温の高いときはタンク内の燃料が膨張して漏れ出すおそれがあります。

ラベル

ガソリンスタンド付近では、絶対にフューエルドリブンを加熱器を使用しないでください。



燃料給油口フラップの内側のラベル

関連情報

- 燃料の取り扱い (p. 442)

燃料の取り扱い

エンジン出力の低下や燃費の悪化を招くため、ボルボ社が指定するグレードに満たない燃料は使用しないでください。

⚠ 警告

燃料の微粒子を吸い込んだり、燃料の飛沫が目に入らないように、注意してください。

万が一、燃料の飛沫が目に入った場合、コンタクトレンズを使用している際はコンタクトレンズを取り出して、十分な流水で最低 15 分間目を濯いだ後、医師による診察を受けてください。

燃料は絶対に誤飲しないでください。ガソリン、バイオエタノール、これらの混合物およびディーゼル燃料は毒性が非常に強く、飲み込んだ場合、永久的な障害、あるいは死にいたるおそれがあります。万が一、燃料を飲み込んだ場合は、ただちに医師の診察を受けてください。

⚠ 警告

地面にこぼれた燃料が、引火するおそれがあります。

燃料を補給する前に、フューエルドリブンヒーターのスイッチを必ずオフにしてください。(該当車両)

絶対に電源の入った携帯電話を携帯して燃料を補給しないでください。受発信の際の微弱な電流から出る火花により燃料蒸気に引火して、火災やヤケドを負うおそれがあります。

❗ 重要

異なるタイプの燃料を混合した場合や、推奨されていない燃料を使用した場合には、ボルボの保証およびその他のサービス契約はすべて無効になります。これは、どのエンジンにも当てはまります。

ⓘ 注意

悪天候、トレーラーをけん引しながらあるいは標高の高い地域での走行、不適切な燃料の使用などが組み合わせると、車両が本来の性能を発揮できない場合があります。

関連情報

- ガソリン (p. 443)
- 燃料給油口フラップの開閉と給油 (p. 441)
- 経済的な走行 (p. 444)

ガソリン

ガソリンは自動車燃料の1つです。

大手メーカーのガソリンのみを使用してください。品質が疑われるような燃料は、絶対に使用しないでください。ガソリンは、EN 228 規格を使用する必要があります。

- 通常の走行条件では、95 RONを使用することができます。
- 性能を最適化し、燃料消費量を最小限に抑えるため、98 RONの使用をお勧めします。

外気温が+38 °C以上の天候下で走行する場合は、性能を最適化して燃費をよくするため、できるだけ高いオクタン価のガソリンを使用してください。

重要

- 触媒コンバーターが損なわれないよう、必ず無鉛ガソリンを使用してください。
- 金属添加物の含まれている燃料は使用しないでください。
- ボルボ社が推奨していない燃料添加剤は一切使用しないでください。

アルコール-エタノール

重要

- エタノール含有量が体積パーセントで10 %以下の燃料が使用できます。
- EN 228 E10 ガソリン(体積パーセントで10 %以下のエタノール混合)は使用が許可されています。
- E10(体積に対し10 %以下のエタノール混合)を超えるエタノールは使用できません。例えば、E85 は使用できません。

関連情報

- 燃料の取り扱い (p. 442)
- 燃料給油口フラップの開閉と給油 (p. 441)

経済的な走行

先を予測して、運転スタイルと速度をその時々
の交通状況に合わせながらスムーズに運転す
ることで、環境に優しい、経済的な電気走行を
することができます。

XC90 Twin Engine による経済的な走行

最大限の走行可能距離を得ることができるよ
う、電気走行に関する計画をしっかりと立てま
す。

省エネ型の走行スタイルは、消費電力を削減し、
走行可能な距離を伸ばすことを可能にします。

充電

- 主電源回路から定期的に充電を行います。
つねにハイブリッドバッテリーが完全に充
電されている状態で、走行を始める習慣をつ
けます。
- 充電スタンドがどこにあるか調べておきま
す。
- 可能であれば、充電スタンドがある駐車ス
ペースを選択します。

プリコンディショニング

- 可能であれば、主電源回路に接続された充電
ケーブルを使用して車両のプリコンディ
ショニングを行います。
- 駐車中に車内の温度が低下したり暑くなり
すぎたりするような場所への駐車は避けて
ください。例えば気温に順応する車庫など
に駐車します。

- 車内のプリコンディショニングを実行した
後に短時間走行する場合は、可能であれば走
行中にベンチレーションファンをオフにし
ます。
- 外気温が低くプリコンディショニングを実
行できない場合は、最初にシートヒーターと
ステアリングホイールヒーターを使用しま
す。ハイブリッドバッテリーのエネルギー
が消費されるため、車内全体を暖めることは
避けてください。

走行

- 燃料消費量を最小限に抑えるには、**Pure** ド
ライブモードをオンにしてください。
- 一定の速度で走行し、他の車両や物体との間
に十分な距離を確保して、ブレーキ操作を最
小限に抑えてください。
- アクセルペダルで所要電力を調整し、内燃エ
ンジン unnecessary に始動することを避けるた
め、利用可能な電気モーターの電力をドライ
バーディスプレイのインジケーターで確認
します。低速では特に、内燃エンジンよりも
電気モーターの方がより効率的です。「ドライ
バーディスプレイに表示されるハイブ
リッドに関する情報」の項を参照してくださ
い。
- ブレーキをかけるときは、緩やかにブレーキ
ペダルを踏みます。これによりハイブリッド
バッテリーが再充電されます。ブレーキ
ペダルには、再生ブレーキ機能が内蔵されて
います。
- 起伏の激しい地域を走行するときは、ギヤ位
置 **B** でエンジンプレーキ機能を利用しま
す。アクセルペダルをゆるめると車両のエ
ンジンがブレーキを作動し、ハイブリッド
バッテリーが再充電されます。
- 高速走行では、エネルギー消費量が増加しま
す。速度が速くなると、空気抵抗が大きくな
ります。
- 電気による走行距離よりも長い距離を高速
で走行するときは、**Save** ドライブモードを
選択します。
- 正しいタイヤ空気圧で走行し、空気圧は定期
的に点検してください。最適な結果を得る
ために、ECO タイヤプレッシャーを選択して
ください。
- 使用するタイヤにより、燃費が変わります。
適切なタイヤに関する情報は、ディーラーに
お問い合わせください。
- 不必要な荷物は車両から取り出してください。
荷物が重いほど、燃料消費も多くなります。
- ルーフ上にスキーボックスや荷物などを載
せて走行すると、燃料消費量が増加します。
使用していないロードキャリアは取り外し
てください。
- 不必要に、パワーウィンドを開けて走行しな
いください。
- 上り坂でアクセルペダルを踏み込んで車両
を静止した状態に保つようにしないでくだ

さい。代わりにフットブレーキを使用します。

関連情報

- 都市環境における電気による走行可能距離 (p. 445)
- 承認タイヤ空気圧 (p. 610)
- 燃料消費量およびCO2排出量 (p. 608)
- Drive-E - さらにクリーンに走る喜びを (p. 26)
- ドライバーディスプレイに表示されるハイブリッドに関する情報 (p. 133)
- オートマチックトランスミッションのギヤポジション (p. 416)

都市環境における電気による走行可能距離

電気による走行可能距離はいくつかの要因により異なります。走行可能距離は、車両が走行する状況および条件により異なります。

運転者が影響を与えるのは一部の要因だけです。

最長の走行可能距離は、すべての要因がプラスの効果を及ぼす非常に有利な条件下で達成されます。

走行可能な距離に影響を及ぼす要因

運転者が影響を与えることのできない要因

さまざまな度合いで走行可能な距離に影響を及ぼす、外部要因がいくつかあります。

- 交通状況
- 短い走行距離
- 地形
- 外気温および向かい風
- 道路および路面状況

表は、外気温とエアコンディショナー機能が制限された車両の走行可能距離間におけるおよその比率を示しています。外気温が高いほど、走行可能距離が長くなります。

10°C	90%
5°C	85%
0°C	80%
-5°C	75%
-10°C	70%

25°C	105%
20°C	100%

◀ 運転者が影響を与えることのできる要因

運転者はエネルギー効率のよい走行を実現できるように、以下の要因が走行可能距離に影響することを考慮してください。

- 定期的な充電
- プリコンディショニング
- **Pure** ドライブモード
- エアコンディショナー機能
- 速度および加速
- **Save** ドライブモード
- タイヤおよびタイヤ空気圧

表は一定速度と走行可能な距離間におけるおよその比率を表しています。一定速度が低いほど走行可能な距離にプラスの効果を与えます。

100 km/h (62 mph)	70%
90 km/h (56 mph)	80%
80 km/h (50 mph)	90%
70 km/h (43 mph)	100%
60 km/h (37 mph)	110%
50 km/h (31 mph)	120%

① 注意

- 表に示された値は、新車の場合です。
- 絶対値ではなく、走行パターン、環境、およびその他の状況により異なります。

電気走行

もっともエネルギー効率の高い走行を実現するには、**Pure** ドライブモードを選択して、できる限り電力のみで走行します。

電気による走行距離よりも長い距離を高速で走行するときは、**Save** ドライブモードを選択します。

関連情報

- 経済的な走行 (p. 444)
- ドライブモード (p. 422)

トローイングブラケット*

車両にはトローイングブラケットを装着することができます。トローイングブラケットを装着すると、トレーラーなどをけん引できるようになります。

けん引設備には2つのタイプ、固定式トウバーと伸縮式/格納式トウバーがあります。

けん引能力およびトウボール荷重については、「けん引能力およびトウボール荷重」の項を参照してください。

① 重要

エンジンが停止したとき、メインバッテリーが放電しないように、トレーラーコネクターへの常時バッテリー電圧供給を自動的に停止することができます。

① 重要

トウボールは定期的な清掃とグリース塗布が必要です。

① 注意

振動ダンパー付きのヒッチを使用する際には、トウボールは絶対にグリースを塗らないでください。

① 注意

トイイングブラケット装備車の場合、けん引フック用のマウンティングはありません。

けん引重量の増加*

けん引重量が増加した場合、通常よりも大きい荷重に対応できる特殊なトイイングブラケットが必要になります。最寄りのボルボディーラーに問い合わせて、車両のトウバーがけん引重量の増加に伴う要件を満たすかどうかを確認してください。要件を満たさない場合、車両のトイイングブラケットを現在よりも大きい荷重に対応できるように変更する必要があります。

関連情報

- トレーラーなどのけん引 (p. 450)
- けん引重量およびトウボール荷重 (p. 602)
- トレーラー・スタビリティ・アシスト* (p. 452)
- トイイングブラケット*の仕様 (p. 449)
- 格納式トウバー* (p. 447)

格納式トウバー*

格納式トウバーはいつでも簡単にアクセスすることができ、必要に応じて、簡単に引き出す/格納することができます。格納位置にすると、トウバーは完全に隠れます。

⚠ 警告

トイイングブラケットの伸縮方法の指示に慎重に従ってください。

トウバーの引き出し

⚠ 警告

トウバー伸長時は、車両後方のバンパー中央付近に立たないようにしてください。



1. テールゲートを開きます。トウバーの引き出し/格納用ボタンはカーゴスペース後部の右側にあります。引き出し機能を作動させるには、ボタンのインジケーターがオレンジ色で点灯している必要があります。





- ボタンを押して離します。ボタンを長く押しすぎると、引き出し動作が始まらないことがあります。
 - トウバーが引き出され、ロック解除位置まで下がります。インジケータランプがオレンジ色で点滅します。

警告

トレーラーがトローイングブラケットに接続されている場合には、引き出し/格納用ボタンを押さないでください。



- トウバーを最終位置まで動かします。トウバーは所定の位置で固定およびロックされます。インジケータランプがオレンジ色で点灯します。
 - トウバーは使用できる状態になりました。

警告

トレーラーのセーフティケーブルは必ず適切なブラケットに接続してください。

注意

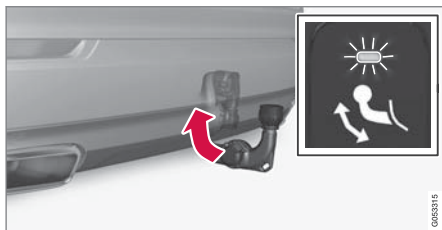
しばらくすると、省エネモードが起動し、インジケータランプが消灯します。テールゲートを閉じて開くと、システムはオンに戻ります。トローイングブラケットの格納または引き出し時に適用されます。

トウバーの格納

重要

トローイングブラケットを格納する場合、電源ソケットにプラグまたはアダプターがないことを確認してください。

- テールゲートを開きます。カーゴスペースの右後部にあるボタンを押して離します。ボタンを長く押しすぎると、格納動作が始まらないことがあります。
 - トウバーがロック解除位置まで自動的に下がります。ボタンのインジケータランプがオレンジ色で点滅します。



2. トーイングブラケットを格納位置まで動かしてロックします。
 - ＞ トーイングブラケットが正しく格納されたら、インジケータランプが点灯に変わります。

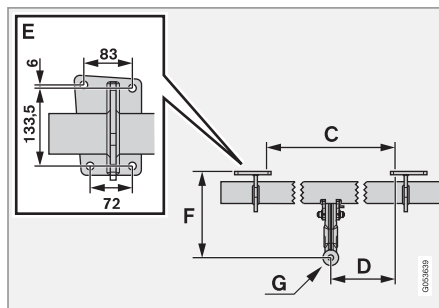
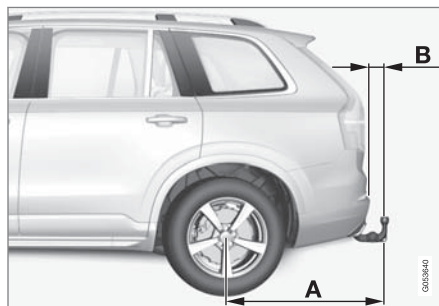


関連情報

- トーイングブラケット* (p. 446)
- トーイングブラケット*の仕様 (p. 449)

トーイングブラケット*の仕様

トーイングブラケットの寸法およびマウンティングポイント



マウンティングポイントの寸法 (mm)	
A	1,476
B	86
C	875
D	437.5
E	前図参照
F	273
G	ボールセンター

関連情報

- トーイングブラケット* (p. 446)

トレーラーなどのけん引

トレーラーを使用した走行では、トーイングブラケットやトレーラー、トレーラー内の荷物の配置について、考慮すべき重要なポイントがいくつかあります。

最大許容重量は、車両重量により異なります。乗員およびトウバーなど車両に装着されているアクセサリーの総重量の分だけ、最大許容重量が小さくなります。

車両には、トレーラーのけん引に必要な装置が付属しています。

- 認定されたタイプのトーイングブラケットをご使用ください。
- トウボールにかかる荷重が最大荷重を超えないように、トレーラー内の重量を配分してください。トウボール荷重は車両の最大許容重量の一部として計算されます。
- タイヤの空気圧は、定員乗車時の推奨空気圧に調節してください。タイヤ空気圧については、「承認タイヤ空気圧」の項を参照してください。
- トレーラーなどのけん引時は、エンジンに通常の場合よりも大きい負担がかかります。
- 新車時は、重いトレーラーなどのけん引をひかえてください。少なくとも 1,000 km 走行するまで、お待ちください。

- 長い急な下り坂では、ブレーキに通常よりも大きな負担がかかります。シフトダウンして、速度を調節してください。
- 速度と重量に関する規則を厳守してください。
- トレーラーをけん引して勾配の急な長い坂道を上るときは、低速で走行してください。
- 規定の最大トレーラー重量は、海拔 1,000 m 以下の高度でのみ適用されます。これよりも高い場所では、空気密度が低いためにエンジン出力および登坂能力が低下します。したがって、最大トレーラー重量を減らす必要があります。高さが 1,000 m (またそれ未満) 高くなるごとに、車両およびトレーラーの重量を 10% ずつ減らす必要があります。
- 道路の勾配が 12% を超える場合は、トレーラーなどのけん引を行わないでください。

ⓘ 注意

悪天候、トレーラーをけん引しながらの走行、あるいは標高の高い地域での走行と不適切な燃料の使用などが組み合わさると、車両の燃費に影響を及ぼす場合があります。

トレーラーコネクタ

車両のトーイングブラケットのコネクタが 13 ピンコネクタで、トレーラーのコネクタが 7 ピンコネクタの場合は、アダプターが必要です。ボルボ社が認可したアダプターを使用

してください。ケーブルが地面に触れていないことを確認してください。

❗ 重要

エンジンを停止したとき、メインバッテリーが放電しないように、トレーラーコネクタへの常時バッテリー電圧供給を自動的に停止することができます。

トレーラーの重量

ボルボの最大許容トレーラー重量については、「けん引能力およびトウボール荷重」の項をお読みください。

⚠ 警告



けん引に関する重量の注意事項を厳守してください。緊急回避操作や急ブレーキ時に、車両が操縦不能となるおそれがあります。

ⓘ 注意

このマニュアルに記載されたトレーラーの最大許容重量は、ボルボ社が指定した重量です。各国の法律によって、トレーラーの最大許容重量やトレーラーけん引時の最高速度が厳しく制限されている場合があります。トウバーによっては、車両が実際にけん引できる重量よりも大きいまたは小さい最大許容荷重が認定されているものもあります。

トレーラーの方向指示器とブレーキランプ

1つまたは複数のトレーラーランプが故障している場合、ドライバーディスプレイにシンボルとメッセージが表示されます。

シンボル	メッセージ
	<ul style="list-style-type: none"> ● トレー方向指示灯 右側ウインカー 不具合がある ● トレー方向指示灯 左側ウインカー 不具合がある
	<ul style="list-style-type: none"> ● トレーブレーキライト 不具合

トレーラーの方向指示器のランプに不具合が発生すると、ドライバーディスプレイの方向指示器シンボルも通常より速く点滅します。

トレーラーランプの点検*

自動点検

トレーラーを電氣的に接続した後に、オートランプ作動を使用してトレーラーランプが作動しているかを点検することができます。この機能は、出発前にトレーラーランプの作動を確認するのに役立ちます。

この点検は、エンジンを停止にした状態で行う必要があります。

1. トレーラーをトローイングブラケットに接続すると、ドライバーディスプレイに **自動トレーラーランプ検査** メッセージが表示されます。
2. ステアリングホイールの右側キーパッドの **0** ボタンを押して、メッセージを確認します。
 > ランプチェックが始まります。
3. 車外へ出て、ランプの機能を点検します。
 > すべてのトレーラーランプが点滅を開始します。その後ランプは一度に1つずつ点灯します。
4. トレーラーのすべてのランプが正常に機能することを目視で確認します。
5. しばらくすると、トレーラーのすべてのランプが再点滅します。
 > これで点検は完了です。

自動点検をオフにする

自動点検機能は、センターディスプレイでオフにすることができます。

1. トップビューで **設定** を押します。
2. **My Car → ライト** を押します。
3. **自動トレーラーランプ検査** の選択を解除します。

手動点検

自動点検がオフになっている場合、手動で点検をすることができます。

1. トップビューで **設定** を押します。
2. **My Car → ライト** を押します。
3. **手動トレーラーランプ検査** を選択します。
 > ランプチェックが始まります。車外へ出て、ランプの機能を点検します。

関連情報

- 特殊な条件でのトレーラーなどのけん引 (p. 452)
- けん引重量およびトウボール荷重 (p. 602)
- トレーラー・スタビリティ・アシスト* (p. 452)
- 承認タイヤ空気圧 (p. 610)
- トローイングブラケット* (p. 446)

特殊な条件でのトレーラーなどのけん引

起伏の激しい地域や気温が高いときにトレーラーをけん引して走行すると、車両がオーバーヒートするおそれがあります。

オートマチックトランスミッションは、負荷とエンジン回転速度に合った適切なギヤを選択します。

オーバーヒートを起こすと、ドライバーディスプレイにメッセージが表示されると共に警告灯が点灯します。「エンジンおよび駆動システムのオーバーヒート」の項を参照してください。

急勾配の坂

オートマチックトランスミッションをエンジンに無理な負担がかかるような高いギヤで固定しないでください。つねに高いギヤでエンジン回転速度を低めに保つことがよいとは限りません。

坂道での駐車

1. ブレーキペダルを一番奥まで踏み込みます。
2. パーキングブレーキをかけます。
3. ギヤポジション **P** を選択します。
4. ブレーキペダルから足を放します。

トレーラーを接続した状態でやむをえず坂道に駐車する場合は、必ず輪止めを使用してください。

坂道発進

1. ブレーキペダルを一番奥まで踏み込みます。
2. ギヤポジション **D** を選択します。
3. パーキングブレーキを解除します。
4. ブレーキペダルから足を放し、発進します。

関連情報

- トレーラーなどのけん引 (p. 450)
- エンジンおよび駆動システムのオーバーヒート (p. 438)
- 低速コントロール (p. 435)
- パーキングブレーキを使用する (p. 432)

トレーラー・スタビリティ・アシスト*

トレーラー・スタビリティ・アシスト Trailer Stability Assist (TSA) は、蛇行し始めた場合に車両とトレーラーを安定させる機能です。この機能はスタビリティ・システム ESC⁴ に含まれています。

蛇行の原因

蛇行は、どのような車両とトレーラーの組み合わせでも発生します。通常、蛇行は高速走行時に発生します。しかし、トレーラーに過剰な負荷がかかっている場合や、積荷の配分が不適切(後に偏っている)な場合、低めの走行速度でも発生するおそれがあります。

蛇行が発生する要因として、次のようなものがあります。

- トレーラーをけん引している車両が、強い突風を横から受けた場合。
- 起伏のある道や、穴の上を走行した場合。
- 急なハンドル操作。

いったん蛇行が発生してしまうと抑制するのは非常にむずかしく、抑制できない場合もあります。こうなると車両およびトレーラーの運転操作が困難になり、別車線にはみ出したり、車道を逸脱するおそれがあります。

⁴ Electronic Stability Control (エレクトロニック・スタビリティ・コントロール)

トレーラー・スタビリティ・アシスト機能

トレーラー・スタビリティ・アシスト機能は、車両の動き(特に横方向の動き)を連続的に監視します。蛇行を感知すると前輪の左右個別にブレーキをかけ、車両およびトレーラーの安定化を図ります。多くの場合、この段階で車両の制御が回復します。

トレーラー・スタビリティ・アシストの最初の動作で蛇行が解消されない場合は、車両およびトレーラーのすべての車輪にブレーキがかかり、エンジン出力が低減されます。蛇行が徐々に解除され、車両およびトレーラーが安定すると、システムは停止します。これで、運転者は車両を再び完全に制御できるようになります。

① 注意

運転者がセンターディスプレイのメニューシステムで **ESC(横滑り防止装置)** を解除してスポーツモードを選択すると、スタビリティ機能は解除されます。

運転者が蛇行を修正しようとして、ハンドルを激しく操作すると、トレーラー・スタビリティ・アシストが作動しない場合があります。トレーラーと運転者のどちらが蛇行の原因であるのかをシステムが判断できないためです。



トレーラー・スタビリティ・アシストの作動中は、ドライバーディスプレイに **ESC** シンボルが点滅します。

関連情報

- トレーラーなどのけん引 (p. 450)
- 特殊な条件でのトレーラーなどのけん引 (p. 452)
- エレクトロニック・スタビリティ・コントロール (p. 310)

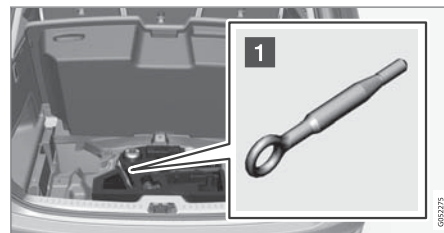
けん引フック

別の車両をけん引するときは、けん引フックを使用します。けん引フックは、リアバンパーの右側にある、カバーがついたネジ式のソケットに取り付けます。

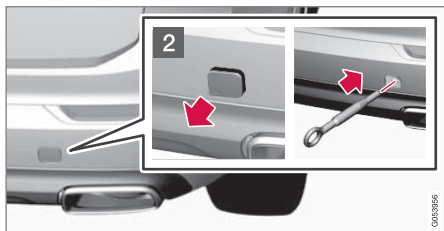
① 注意

トローイングブラケット装備車の場合、けん引フック用のマウンティングはありません。

けん引フックの取付け



- 1 けん引フックをカーゴスペースのフロアハッチの下にあるフォームブロックから取り出します。



- 2 カバーを取り外すには、指でマークを押しながら、同時にコインなどを使用して反対側/隅部を引き出します。
- ＞ カバーは中心線を軸に回転させて取り外すことができます。
3. けん引フックが止まるまでねじ込みます。ホイールレンチを使用するなどして、けん引フックを確実に取り付けてください。

けん引フックは、使用後に必ず取り外して、元の位置に戻してください。

最後にカバーを忘れずにバンパーに付け直してください。

❗ 重要

けん引フックを所定の位置にしっかり止まるまでねじ込むことが重要です。

関連情報

- けん引 (p. 454)
- 車両移動 (p. 455)

けん引

けん引では、けん引ロープを使用して1台の車両をもう1台の車両がけん引します。

XC90 Twin Engine のけん引は電気モーターを損傷するため、禁止されています。車両を移動させるときには、車両のホイールを4輪とも平台上に載せた状態で運搬する必要があります。

別の車両をけん引する場合

別の車両をけん引するときには、多くのエネルギーを必要とします。AWDドライブモードを使用してください。これによりハイブリッドバッテリーが充電されると同時に、車両の走行特性や接地性が向上します。

けん引を行う前に、必ず法律で定められている制限速度などを確認してください。

ジャンプスタート

けん引によって、エンジンを始動させないでください。バッテリーが放電し、エンジンが始動しない場合は、他車のバッテリーを使用してください。

❗ 重要

車両をけん引しようとする、電動モーターと触媒コンバーターに損傷が発生するおそれがあります。

関連情報

- 三角警告板(停止表示板) (p. 540)
- けん引フック (p. 453)
- 車両移動 (p. 455)
- 別のバッテリーによるジャンプスタート (p. 414)
- イグニッション位置 (p. 410)

車両移動

車両移動が必要な場合、別の車両の助けを借りて車両を移動します。

レッカー移動が必要な場合は、レッカーサービスに連絡して救援を求めてください。

レッカー車の平台へ車両を引き上げるときには、けん引フックを使用することができます。

❗ 重要

XC90 Twin Engine は、いかなる状況でも全ホイールをリカバリー車両のプラットフォームに載せて搬送することが必要ですので、ご注意ください。

オートレベライザー* 装備車に適用されます。エアサスペンション装備車の場合、ジャッキで車両を持ち上げる前にエアサスペンション機能を解除する必要があります。この機能はセンターディスプレイを使用してオフにしてください。

1. トップビューで **設定** を押します。
2. **My Car → サスペンション** を押します。
3. **サスペンションとレベリング制御の解除** を選択します。

車両の位置と最低地上高により、平台への引き上げの可否が決まります。レッカー車のスロープの傾斜が急すぎる場合、または車両下の最低地上高が十分でない場合、車両の引き上げを試

みると、車両が損傷するおそれがあります。この場合、レッカー車のリフト装置を使用して車両を持ち上げる必要があります。

⚠ 警告

車両をレッカー車の平台へ引き上げる際は、レッカー車の後ろに人が立っていたり、物が置かれていないか必ず確認してください。

❗ 重要

必ず車両の前進方向にのみ、けん引してください。

- フロントサスペンションが高い全輪駆動車(AWD)は、70 km/h (40 mph) を超える速度でけん引しないでください。けん引距離は 50 km 以内にとどめてください。

❗ 注意

トローイングブラケット装備車の場合、けん引フック用のリアマウンティングはありません。

関連情報

- けん引 (p. 454)
- けん引フック (p. 453)

ハイブリッドバッテリーの充電

この車両には、従来の車両と同様の燃料タンクに加え、リチウムイオン電池の充電電池(ハイブリッドバッテリー)が装備されています。

ハイブリッドバッテリーの充電には、充電ケーブルが使用されます。このケーブルはカーゴスペースフロア下の収納スペースに収納されています。「充電ケーブル」の項を参照してください。

❗ 注意

ボルボでは、温度モニタリングに対応する SAE J1772 に準拠した充電ケーブルの使用を推奨しています。

ハイブリッドバッテリーの充電にかかる時間は、使用する充電電流によって異なります。

車両のハイブリッドバッテリーを充電している間、充電モジュールの 2 つのインジケーターが現在の状態と充電の完了を示します。

ハイブリッドバッテリーの充電中には、車両のメインバッテリーの充電も行われます。

ハイブリッドバッテリーの温度が -10 °C 未満に低下した場合、または 40 °C を超えた場合、車両の一部の機能が変更されたり、使用できなくなることがあります。規定の温度範囲から外れると、ハイブリッドバッテリーの容量が低下するためです。



- ◀ バッテリーの温度が低すぎる、または高すぎる場合、電気走行を行うことはできません。その場合 PURE ドライブモードを選択すると、内燃エンジンが始動します。詳しくは「ドライブモード」の項をお読みください。

ガソリンエンジンによる充電



車両がバッテリーに電流を生成し、バッテリーが充電されます(例: ブレーキペダルを軽く踏み込むとき、または下り坂でエンジンブレーキが作動しているとき)。

ハイブリッドバッテリーは車両のエンジンでも充電できます。ハイブリッドバッテリーは、ブレーキペダルで軽くブレーキをかけているときに再充電されます。

また、ハイブリッドバッテリーは下り坂走行時など、ギヤ位置 **B** でエンジンブレーキが作動しているときにも再充電されます。

詳しくは「オートマチックトランスミッション用ギヤ位置」および「ドライバーディスプレイ

に表示されるハイブリッドに関する情報」をご覧ください。

関連情報

- 充電電流 (p. 456)
- 充電ケーブル (p. 457)
- オートマチックトランスミッションのギヤポジション (p. 416)
- ハイブリッドバッテリーの充電準備 (p. 459)
- ハイブリッドバッテリー搭載車の長期保管 (p. 464)
- ドライブモード (p. 422)

充電電流

充電電流は、ハイブリッドバッテリーの充電と車両のプリコンディショニングに使用されます。充電は、車両の充電ポートと AC200V 電源コンセントに接続された充電ケーブルで行われます。

充電ケーブルが作動しているときは、ドライバーディスプレイにメッセージが表示され、車両の充電ポートのランプが点灯します(「充電状態」の項を参照してください)。充電電流は主にバッテリーの充電に使用されますが、車両のプリコンディショニングにも使用されます。

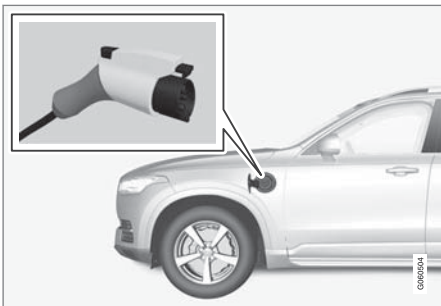
重要

絶対に、充電中に充電ケーブルを AC 200V 電源コンセントから抜かないでください。AC 200V 電源コンセントを損傷する危険があります。

必ず充電を止めてから充電ケーブルを抜いてください。まず車両の充電ポートから抜き、次に AC200V 電源コンセントから抜きます。

① 注意

- 気温が極端に高い場合や低い場合には、充電電流の一部はハイブリッドバッテリーや車内の暖房/冷房に使用されるため、充電にかかる時間が長くなります。
- プリコンディショニングを選択した場合、充電時間が長くなります。所要時間は、主に外気温に応じて異なります。



充電ケーブルプラグおよび充電ポート

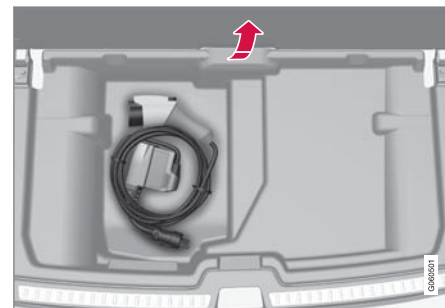
通常、1つのヒューズ回路には複数のAC200V電源コンセントがあるため、同じヒューズで他の電化製品(照明、掃除機、電動ドリルなど)を使用することがあります。

関連情報

- プリコンディショニングの開始/停止 (p. 243)
- ハイブリッドバッテリーの充電準備 (p. 459)
- 充電状態 (p. 461)

充電ケーブル

充電ケーブルは、車両のハイブリッドバッテリーを充電する際に使用します。ボルボ推奨の充電ケーブルを使用してください。



充電ケーブルはカーゴスペースのフロアカバー下の収納スペースに入っています。

充電ケーブルの仕様

絶縁クラス	Type 6P 防水
外気温	-40 °C~+50 °C



警告

充電ケーブルに少しでも損傷がある場合、そのケーブルは使用しないでください。感電や大ケガをする危険があります。

損傷や不具合のある充電ケーブルの修理は、必ずサービス工場にご依頼ください。ボルボ指定のサービス工場をお薦めします。

重要

絶対に、充電中に充電ケーブルを AC 200V 電源コンセントから抜かないでください。AC 200V 電源コンセントを損傷する危険があります。

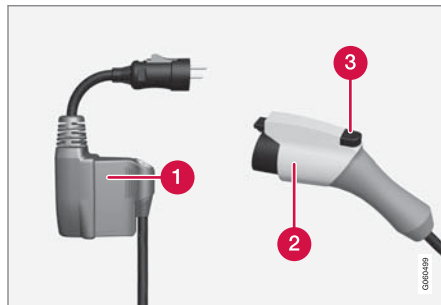
必ず充電を止めてから充電ケーブルを抜いてください。まず車両の充電ポートから抜き、次に AC200V 電源コンセントから抜きます。

重要

火災や感電などの危険があるため、複数のプラグ、過電圧保護装置や同様の装置を充電ケーブルと一緒に使用しないでください。

AC200V 電源コンセントと充電ケーブルの間にアダプターを使用しないでください。

充電ケーブルコンポーネント



- 1 充電モジュール
- 2 充電ハンドル
- 3 ロックコントロール

関連情報

- 充電ケーブルの漏電遮断器 (p. 458)
- 充電ケーブルの温度モニタリング (p. 459)
- ハイブリッドバッテリーの充電 (p. 455)

充電ケーブルの漏電遮断器

充電ケーブルには、漏電遮断器が内蔵されており、システムの不具合により漏電が発生した場合に車両とユーザーを感電から保護します。

充電ケーブルの漏電遮断器が作動した場合、充電ケーブルを電源コンセントに接続したときに充電モジュールのステータスランプ(緑)が点灯しません。または、警告ランプ(赤)が点灯します。電気主任技術者に電源コンセントの点検を依頼するか、または別の電源コンセントを使用してください。

重要

漏電遮断器は、AC200V 電源コンセント/電気設備を保護しません。

関連情報

- 充電ケーブル (p. 457)

充電ケーブルの温度モニタリング

車両のハイブリッドバッテリーをつねに安全に充電するため、充電ケーブルのプラグには温度のモニタリング装置が内蔵されています。

① 注意

ボルボでは、温度モニタリングに対応する SAE J1772 に準拠した充電ケーブルの使用を推奨しています。

コンセントでのモニタリング

充電ケーブルが接続されている電源の温度が高すぎると、充電電流が低下します。温度が臨界値を超えると、充電を完全に停止します。

① 重要

温度モニタリングにより充電電流が何度も自動的に引き下げられ、充電が中断した場合には、オーバーヒートの原因を調査して修正することが必要です。

関連情報

- 充電ケーブル (p. 457)

ハイブリッドバッテリーの充電準備

車両のハイブリッドバッテリーの充電を始めるためには、事前にさまざまな準備が必要です。

⚠ 警告

- ハイブリッドバッテリーは必ず AC200V 電源コンセント/プラグからのハイブリッド充電に関する適用法令、および国の推奨に従って、最大許容充電電流以下で充電を行う必要があります。
- ハイブリッドバッテリーの充電は、接地された認可済み AC200V 電源コンセント⁵、またはボルボにより提供される充電ケーブル(モード 3)付き充電スタンドからのみ行ってください。
- 漏電遮断器は車両を保護しますが、AC200V 主電源回路が過負荷状態になる可能性があります。
- 電源コンセントに目視で確認できる摩耗または損傷がある場合、使用を避けてください。方が一使用した場合、火災やケガにつながるおそれがあります。
- 延長コードは絶対に使用しないでください。

⚠ 警告

ハイブリッドバッテリーの交換は、必ずサービス工場で行ってもらう必要があります。ボルボ指定のサービス工場にお任せください。

充電前

① 重要

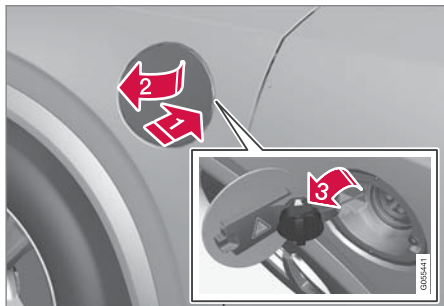
- 充電ケーブルおよび充電ケーブル関連パーツを水に浸さないでください。
- 充電モジュールおよびそのプラグは、直射日光の当たるところに置かないでください。そのような場合、プラグの過熱保護機能がハイブリッドバッテリーの充電を抑制または中断するおそれがあります。

① 重要

AC200V 電源コンセントに電気自動車の充電に必要な電源が供給されていることを確認してください。不確かな場合、専門の業者に電源コンセントの確認を依頼してください。

⁵ または市場により、これに相当する異なる電圧の電源コンセントを使用してください。

充電ポート用ハッチの開閉



- 1 カバー後部を押し込んでから放します。
- 2 カバーを開きます。
- 3 充電ポートのカバーを引き外し、カバーの内側のホルダーに固定します。カバーがホルダーから外れないように、カバーのラバーストラップが下方向に曲がっていることを確認してください。

逆の手順で充電ポートのカバーを元通りに取り付けて閉めます。

関連情報

- ハイブリッドバッテリーの充電を開始する (p. 460)
- ハイブリッドバッテリーの充電 (p. 455)

ハイブリッドバッテリーの充電を開始する

車両のハイブリッドバッテリーは、車両と AC200V 電源コンセントを充電ケーブルで接続して充電します。

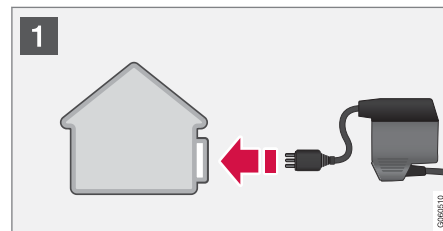
❗ 重要

落雷の危険がある場合、絶対に充電ケーブルを接続しないでください。

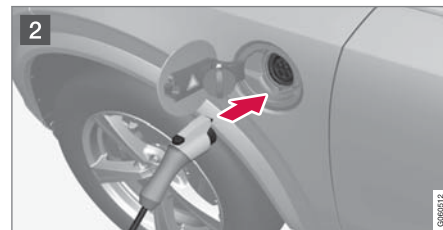
ⓘ 注意

ボルボでは、温度モニタリングに対応する SAE J1772 に準拠した充電ケーブルの使用を推奨しています。

カーゴスペースのフロア下にある収納スペースから充電ケーブルを取り出します。



- 1 充電ケーブルを AC 200V のコンセントに接続します。延長コードは絶対に使用しないでください。



- 2 充電ハンドルのカバーを取り外して、ハンドルを車両に接続します。

3. 充電ケーブルの充電ハンドルが固定/ロックされ、5秒以内に充電が開始されます。ドライバーディスプレイに、充電完了までの予測時間または充電が正常に行われているかどうかが表示されます。詳しくは「充電状態」の項をご覧ください。

車両のロックを解除し、以下の操作を行うと、バッテリーの充電がしばらく中断することがあります。

- ドアを開ける - 2分以内に充電は再開されます。
- ドアを閉じたままにしておく - 車両は自動的に再度ロックされます。約1分後に充電は再開されます。

注意

充電状況はドライバーディスプレイなどに表示されます。しばらく使用していないと、ランプが暗くなります。再度有効にするには、以下の方法のいずれかを使用します。

- ブレーキペダルを踏む
- いずれかのドアを開ける
- スタートノブを I 位置にしてください。

重要

絶対に、充電中に充電ケーブルを AC 200V 電源コンセントから抜かないでください。AC 200V 電源コンセントを損傷する危険があります。

必ず充電を止めてから充電ケーブルを抜いてください。まず車両の充電ポートから抜き、次に AC200V 電源コンセントから抜きます。

充電中、空気中の水分がエアコンディショナーの内部で凝結して、凝結水が車両の下へ流れ出る場合があります。これは異常ではなく、ハイブリッドバッテリーの冷却により発生します。

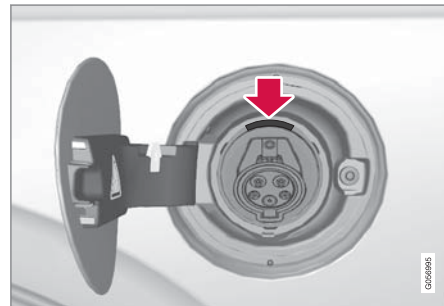
関連情報

- ハイブリッドバッテリーの充電を停止する (p. 463)
- ハイブリッドバッテリーの充電 (p. 455)

充電状態

充電状態は、車両の充電ポートの LED ランプやドライバーディスプレイなどに表示されます。

充電ポートの LED ランプによる表示



LED ランプは車両の充電ポートにあります。

充電中は LED ランプにより現在の状況が表示されます。車内照明をオンにすると、白、赤、および黄色のランプが点灯します。車内照明を消した後も、これらのランプはしばらく点灯の状態を保ちます。

LED ランプのライト	意味
白色	LED ランプ。
黄色	スタンバイモード ^A - 充電の開始を待機しています。



LED ランプのライト	意味
緑色に点滅	充電中 ^B 。
緑色	充電完了 ^C 。
赤	不具合が発生しています。

A ドアを開けた後や、充電ケーブルのプラグがロックされていない場合などに点灯します。

B 点滅速度が遅くなるほど、充電の完了に近づいています。

C しばらくすると消灯します。

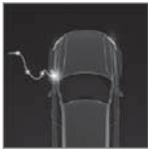

ドライバーディスプレイの充電状態


充電状態は、ドライバーディスプレイにイメージとメッセージによって表示されます。この情報はドライバーディスプレイが作動している際に表示されます。

i 注意

充電状況はドライバーディスプレイなどに表示されます。しばらく使用していないと、ランプが暗くなります。再度有効にするには、以下の方法のいずれかを使用します。

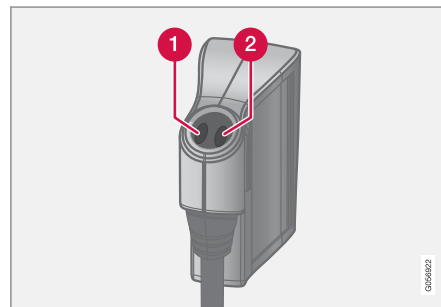
- ブレーキペダルを踏む
- いずれかのドアを開ける
- スタートノブを **I** 位置にしてください。

イメージ	メッセージ	意味
	充電完了時間：[時間] が充電ケーブルを通る青いパルス状のライトによるアニメーションと共に表示されます。	充電が行われ、バッテリーが完全に充電されるおよその予想時間が表示されます。
	充電完了 というメッセージが表示されます。車両のイメージが、緑色に点灯した充電ポートのLED インジケーターと共に表示されます。	バッテリーが完全に充電されました。

イメージ	メッセージ	意味
	充電エラー というメッセージが表示されず。充電ポートのLED インジケーターが赤色に点灯します。	不具合が発生しました。車両の充電ポートおよびAC200V電源コンセントへの充電ケーブルの接続状況を点検してください。

充電モジュールによる表示

充電モジュールの赤色および緑色のランプが充電状態を示します。



充電モジュール：1. 警告ランプ(赤)、2. ステータスランプ(緑)

警告ランプ(赤)

- 充電モジュールを壁のコンセントに接続すると、警告ランプ(赤)が1度点滅してスタートセーフティチェックが実行されたことを示します。セーフティチェックが完了すると緑色のランプが点灯し、警告ランプ(赤)が消灯します。
- 警告ランプ(赤)が点滅し続ける、または点灯する場合は、不具合があることを示しており、充電器は車両に電気を供給することができません。ボルボ・ディーラーまたはボルボ認定サービスマカニックまでご連絡ください。

ステータスランプ(緑)

- 充電モジュールを壁のコンセントに接続すると、ステータスランプ(緑)が点灯して、充電器が使用可能であることを示します。
- 充電コネクタ(充電ケーブルのもう一方の端にあるコネクタ)を車両の充電ポートに接続すると、ステータスランプ(緑)が1度点滅します。
- その後ステータスランプ(緑)は約1秒おきに点滅して、充電中であることを示します。
- 車両が完全に充電されると、ステータスランプが点灯します。これはドライバーディスプレイにも表示されます。

関連情報

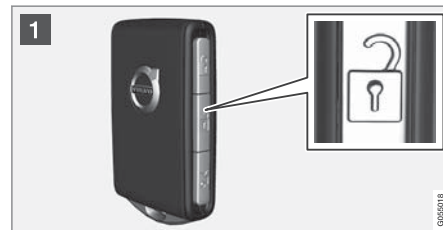
- ハイブリッドに関するシンボルおよびメッセージ (p. 466)
- ハイブリッドバッテリーの充電 (p. 455)
- ハイブリッドバッテリーの充電を停止する (p. 463)

ハイブリッドバッテリーの充電を停止する

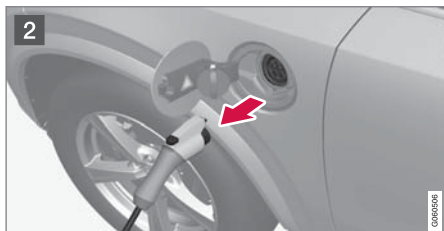
車両のロックを解除し、充電ケーブルを車両の充電ポートから抜きます。次に充電ケーブルを AC200V 電源コンセントから抜いて充電を終了します。

i 注意

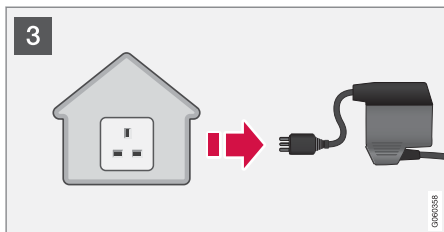
AC200V 電源コンセントへ接続されたケーブルを抜く前に、必ず車両のロックを解除して充電を停止してください。充電ケーブルは AC200V 電源コンセントから抜く前に、必ず車両の充電ポートから抜いてください。これによりシステムを損傷したり、誤って充電を停止したりすることを防ぎます。



- 1 リモートコントロールキーで車両のロックを解除すると、充電が停止します。



- 2 充電ケーブルプラグのロックコントロールを押すと、充電ケーブルプラグのロックが解除されます。次にケーブルを車両の充電ポートから外し、充電ポートのカバーを元通りに取り付けて、ハッチを閉じます。



- 3 AC 200V 電源コンセントからケーブルを抜きます。

カーゴスペースのフロア下にある収納スペースに、充電ケーブルを戻します。

関連情報

- ドライバーディスプレイに表示されるハイブリッドに関する情報 (p. 133)
- 充電ケーブル (p. 457)

ハイブリッドバッテリー搭載車の長期保管

長期間に渡る車両の保管中(1ヶ月以上)に、ハイブリッドバッテリーが劣化するのを最小限に抑えるためには、ドライバーディスプレイに表示される充電レベルを約25%にしておくことが推奨されます。

次の手順に従ってください：



1. 充電残量が指定量よりも多い場合、車両を走行させて、残量が約25%になるようにしてください。充電残量が指定量よりも低い場合は、充電レベルが約25%になるまで、バッテリーを充電してください。

2. 6 カ月以上に渡り保管する場合、またはハイブリッドバッテリーの充電残量が 25% よりも大幅に低い場合は、約 25% になるまで再度バッテリーを充電し、長期間に渡る保管中に自然に起こる自己放電分を補ってください。ドライバーディスプレイで充電レベルを継続的に確認します。

長期間に渡り保管していたメインバッテリーの取り扱いについては、「別のバッテリーによるジャンプスタート」を参照してください。

i 注意

長期間使用しない場合、バッテリーの経年劣化を最小限に抑えるため、保管にはできるだけ涼しい場所を選んでください。夏場は、車両を屋内または屋外の日陰(温度がもっとも低くなる場所)に置いておくことが推奨されます。







関連情報






- ドライブモード (p. 422)
- ハイブリッドバッテリーの充電を開始する (p. 460)
- 別のバッテリーによるジャンプスタート (p. 414)
- 駆動システム (p. 421)

ハイブリッドに関するシンボルおよびメッセージ

ドライバーディスプレイには、XC90 Twin Engine に関する多くのシンボルおよびメッ

セージが表示される可能性があります。また、通常のインジケータや警告灯と共に表示される場合もあります。これらの表示は、問題が解決されると消えます。

シンボル	メッセージ	意味
	バッテリー充電故障 緊急サービスが必要 工場まで運転します	ハイブリッドバッテリーの不具合。すみやかにサービス工場 ^A に連絡し、バッテリーの点検を受けてください。
	バッテリー充電故障 安全の為 停車してください	ハイブリッドバッテリーの不具合。車両を安全に停止し、サービス工場 ^A に連絡してできる限りすみやかにバッテリーの点検を受けてください。
	バッテリー低下 一時的に 機能が低下しています	ハイブリッドバッテリーの充電が不十分なため、最適な走行ができません。すみやかにバッテリーを充電してください。
	バッテリー充電故障 バッテリー低下、安全の為 停車してください	ハイブリッドバッテリーが十分に充電されていません。できる限りすみやかに車両を停止して、バッテリーを充電してください。
	バッテリー故障 バッテリーヒューズ、販売店に お問い合わせください	ハイブリッドバッテリーの不具合。すみやかにサービス工場 ^A に連絡し、機能の点検を受けてください。
	バッテリー過熱 安全の為 停車してください	ハイブリッドバッテリーの温度が異常に上昇しているようです。車両を停止させて、エンジンを切ってください。走行を継続するには、最低でも5分が経過するまで待ちます。走行を継続する前に、サービス工場 ^A へ電話をかけるか、または外側からなにか異常がないかを確認します。

シンボル	メッセージ	意味
	性能低下 最大速度が 制限されています	ハイブリッドバッテリーの充電が不十分なため、高速走行ができません。すみやかにバッテリーを充電してください。
	Hybrid システム 低速で荒い挙動 車は使用可能です	ハイブリッドシステムが正常に機能していません。すみやかにサービス工場 ^A に連絡し、機能の点検を受けてください。
	Hybrid システム故障 販売店に お問い合わせください	ハイブリッドシステムの作動が解除されています。すみやかにサービス工場 ^A に連絡し、機能の点検を受けてください。
	充電ケーブル 始動前に 除去して下さい	運転者が車両を始動しようとしたときに、充電ケーブルが車両に接続されている場合に表示されます。充電ケーブルを外して、充電ハッチを閉めます。
	充電ケーブル 除去後、スタートボタンを始動 に 7 秒間保持して下さい	確認後、充電ケーブルが車両に接続された状態で、運転者が車両を始動しようとしたときに表示されます。充電ケーブルを外すか、または充電ケーブルが適切に外され、充電ハッチが閉じていることを確認してください。

^A ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

関連情報

- ハイブリッドバッテリーの充電を開始する (p. 460)
 - ハイブリッドバッテリーの充電を停止する (p. 463)
 - 充電ケーブル (p. 457)
 - ドライバーディスプレイの警告灯 (p. 137)
 - ドライバーディスプレイの表示灯 (p. 135)
- ドライバーディスプレイに表示されるハイブリッドに関する情報 (p. 133)

オーディオ・メディア

オーディオ・メディア

オーディオ・メディアシステムは、メディアプレーヤー、ラジオ、および Bluetooth 電話接続で構成されます。オンライン車両では、アプリ経由でサービスを利用することもできます。

機能の操作には、音声コマンドまたはセントラルディスプレイおよびステアリングホイールのキーパッドを使用することができます。



オーディオ・メディアの概観図

システムのアップデート

オーディオ・メディアシステムはつねに改良が進められています。最適なパフォーマンスを実現するため、アップデートを入手してください。「システムアップデート」の項と support.volvocars.com を参照してください。

関連情報

- メディアプレーヤー (p. 475)
- ラジオ (p. 471)
- 電話 (p. 488)
- オンライン車両 (p. 494)
- アプリ (p. 500)
- イグニッション位置 (p. 410)
- センターディスプレイのステータスバーで使用されるシンボル (p. 46)
- 音声認識 (p. 156)
- システムアップデート (p. 548)
- オーディオ・メディアのライセンス契約 (p. 502)

オーディオ設定

オーディオシステムは、最適な音の再生ができるようにプリセットされていますが、必要に応じて調節することができます。

通常、音量の調節には、センターディスプレイの下にあるボリュームコントロールまたはステアリングホイールの右側キーパッドを使用します。

最適な音の再生の設定

オーディオシステムは、デジタル信号処理技術を利用し、再生音質を最適化するように事前に校正されています。車両のモデルとオーディオシステムのコンビネーションから生まれるサウンド特性に合わせ、スピーカー、アンプ、車内音響、乗員の着座位置などを考慮した校正が施されています。車速とボリュームコントロールの設定を考慮する、ダイナミック校正もあります。

オーディオ設定については、オーナーズマニュアルの関連セクションで説明されています。設定にアクセスするには、トップビューを開き、**設定 → サウンド** の順にタップします。

アクティブノイズリダクション¹

車両には、オーディオシステムを使用して車内のエンジンノイズを低減する、アクティブノイズリダクション機能が搭載されています。ルーフに搭載されているマイクが不快なノイズを検

¹一部の車両モデルに適用されます。

知し、オーディオシステムがノイズを打ち消す信号を出力して、ノイズを低減します。



車両ルーフのマイク

i 注意

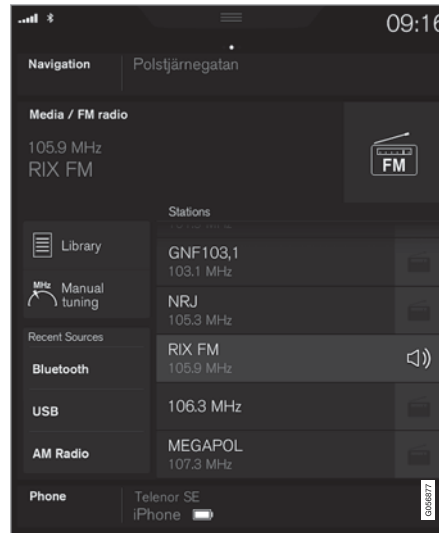
車両のマイクに物を被せないでください。オーディオシステムからゴロゴロという音が聞こえることがあります。

関連情報

- メディアのオーディオ設定 (p. 482)
- 音声認識の設定 (p. 157)
- 電話の設定 (p. 494)
- オーディオ・メディア (p. 470)
- オンライン車両 (p. 494)

ラジオ

FM ラジオを受信することができます。オンライン車両の場合、インターネットラジオを受信することもできます。



ラジオは音声認識、ステアリングホイールキーパッド、またはセンターディスプレイで操作することができます。

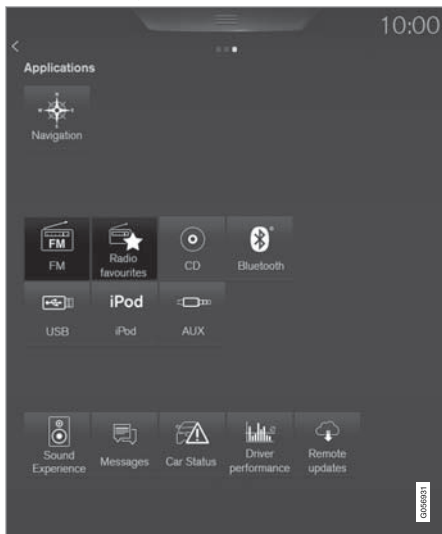
関連情報

- ラジオ放送局の変更および検索 (p. 472)
- オンライン車両 (p. 494)
- ラジオおよびメディアの音声認識コントロール (p. 158)
- メディアプレーヤー (p. 475)

ラジオ放送局の変更および検索

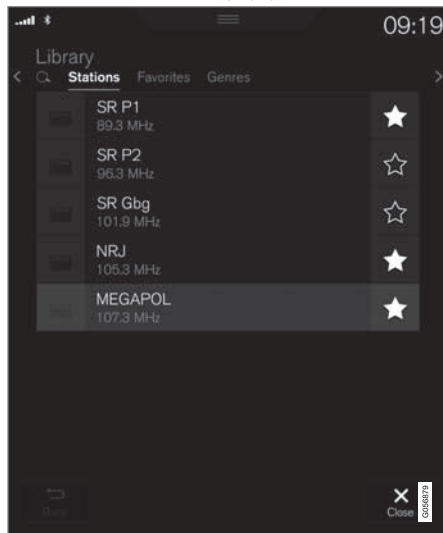
ラジオは、地域内でもっとも強い信号を送信しているラジオ放送局のリストを自動的に作成します。

ラジオの起動



1. アプリビューからアプリ (FM、ラジオのお気に入り など)を開きます。
2. 放送局を選択します。

バンド内でリストを変更する



1. **ライブ** を押します。
2. **放送局、お気に入り** または **ジャンル** から再生を選択します。
3. リストから目的の放送局をタップします。

お気に入り - 選択したお気に入りのチャンネルのみを再生します。「お気に入り」を参照してください。

ジャンル - 選択したジャンル/内容(ポップス、クラシックなど)を放送しているチャンネルのみを再生します。

選択したリスト内で放送局を変更する

- センターディスプレイの下またはステアリングホイールの右側キーパッドにある <> を押します。
 - > 選択したプレイリスト内でハイライトが上または下に1つ移動します。

センターディスプレイから放送局を変更することもできます。

お気に入り

お気に入りがリストから保存された場合、ラジオは自動的にもっとも良好な周波数を探します。ただし、お気に入りが手動放送局検索から保存された場合、ラジオが自動的にもっとも良好な周波数に変更されることはありません。

同じバンド内のお気に入りから選択する方法については、「バンド内でリストを変更する」を参照してください。すべてのお気に入りの中から選択する方法については、「ラジオのお気に入り」を参照してください。

- ☆ をタップすると、バンドのお気に入りおよびラジオのお気に入りのチャンネルを追加または削除することができます。

ラジオのお気に入り

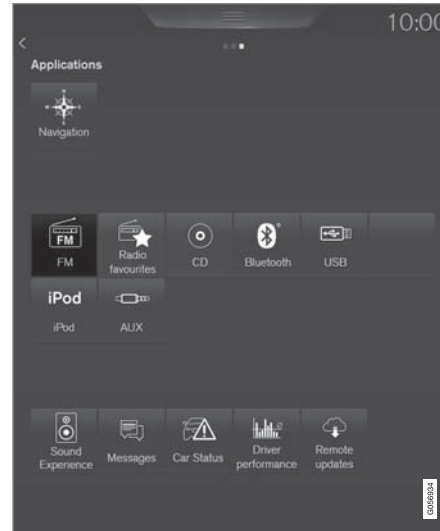


ラジオのお気に入りは、保存されたすべての周波数帯からのお気に入りを表示します。

1. アプリビューからアプリ **ラジオのお気に入り** を開きます。
2. リストで目的の放送局をタップして、放送を聞き始めます。

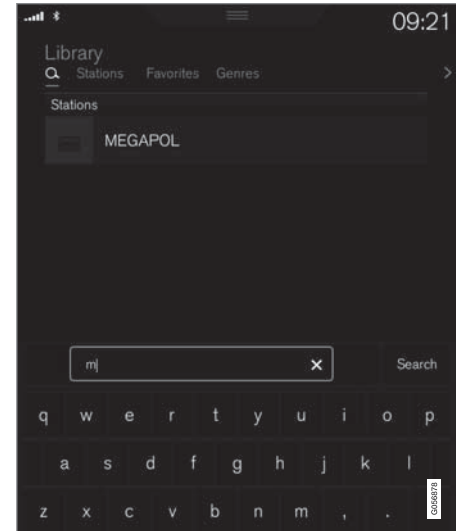
お気に入りを削除すると、バンドのお気に入りからも削除されます。

バンドを変更する



- アプリビューからアプリ (**FM** など) をタップするか、ステアリングホイールの右側キーパッドを使用してアプリメニューを開き、そこから選択します。

ラジオ放送局を探す



検索可能なパラメーターは、選択されたバンドによって異なります。

- FM - 放送局、ジャンルおよび周波数。

1. **マイク** を押します。
2. **Q** を押します。
 - > キーボード付き検索ビューが開きます。

- ◀ 3. 検索語を入力します。
- ◻ 文字を入力するたびに検索が行われ、検索結果がカテゴリー別に表示されます。

手動選局



手動選局に変更すると、受信状態が良好ではない場合でもラジオ周波数は自動的に周波数を変更することがなくなります。

- **手動選局** をタップする、コントロールを引く、または **<>** をタップする方法で目的の周波数を選択します。

関連情報

- ラジオ (p. 471)
- ラジオおよびメディアの音声認識コントロール (p. 158)

ラジオの設定

さまざまなバンドの設定

ステアリングホイールの右側キーパッドの **○** をタップする、またはセンターディスプレイの **キャンセル** をタップすると、交通メッセージなどの放送を一時的に中断することができます。

トップビューを下方向にドラッグして、**設定 → メディア**の順に選択し、目的のバンドを選択します。機能を起動/停止する。

FM

- **ラジオテキストを表示** - 番組内容、アーティストなどの情報を表示します。
- **プログラムサービス名をフリーズ** - 番組サービス名の連続スクロールを停止するときに選択します。代わりに、20秒後に動きが止まります。
- **ニュース** - 現在のメディア再生を中断して、ニュースを放送します。ニュース放送が終了すると、前のメディアソースの再生が再開されます。
- **交通情報** - 現在のメディア再生を中断して、交通渋滞に関する情報を放送します。メッセージが終了すると、前のメディアソースの再生が再開されます。
- **地域的受信障害** - 現在のメディア再生を中断して、付近の交通渋滞に関する情報を放送します。メッセージが終了すると、前のメディアソースの再生が再開されます。 **地域**

的受信障害 機能は **交通情報** 機能を地理的に限定したバージョンです。同時に **交通情報** 機能をオンにする必要があります。

- **アラーム** - 現在のメディア再生を中断して、大事故や災害に関する警報を送信します。メッセージが終了すると、前のメディアソースの再生が再開されます。
- **交通情報（日本）** - 現在のメディア再生を中断して、交通情報を放送します。オフにすると、前のメディアソースの再生が再開します。

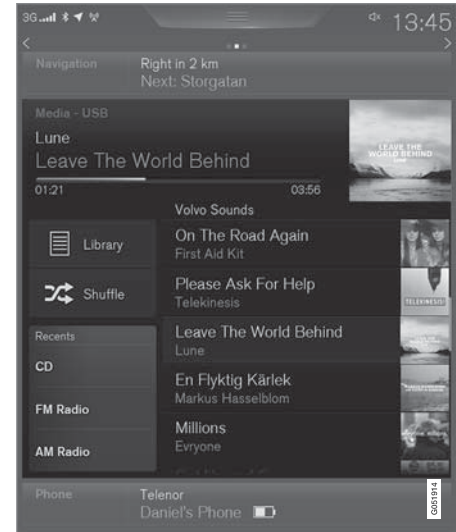
関連情報

- ラジオ (p. 471)
- センターディスプレイのステータスバーで使用されるシンボル (p. 46)

メディアプレーヤー

メディアプレーヤーは CD*および AUX/USB 端子に接続された外部オーディオソースのオーディオが再生できるほか、Bluetooth を使用して接続された外部デバイスのオーディオファイルをワイヤレスにストリーム再生することができます。ビデオは USB 接続の機器から視聴することができます。オンライン車両では、アプリ経由でインターネットラジオやオーディobookを聞いたり、ミュージックサービスを利用したりすることができます。

メディアプレーヤーではラジオも操作できません。ラジオについては、別のセクションを参照してください。



ます。

メディアプレーヤーはセンターディスプレイから操作しますが、いくつかの機能はステアリングホイールの右側キypadまたは音声認識コントロールで操作することができます。



Bluetooth 接続機器

1. メディアソースの Bluetooth をオンにします。
2. メディアソースを接続します。
3. 接続したメディアソースで再生を開始します。
4. アプリビューからアプリ **Bluetooth** を開きます。
 - ＞ 再生が始まります。

インターネットメディア

1. 車両を接続します。
2. アプリビューからアプリを開きます。
 - ＞ 再生が始まります。

ビデオ

1. メディアソースを接続します。
2. アプリビューからアプリ **USB** を開きます。
3. 再生したいアイテムのタイトルをタップします。
 - ＞ 再生が始まります。

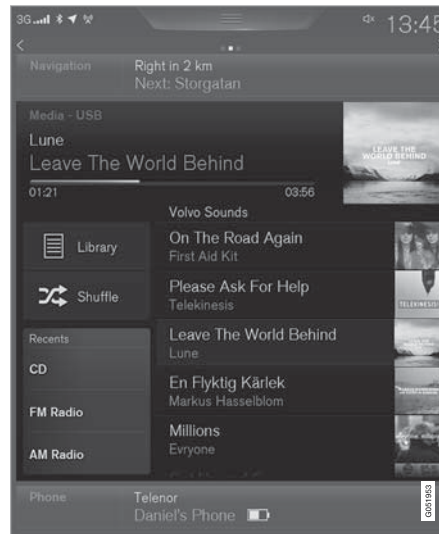
Apple CarPlay

Apple CarPlay は別の項に記載されています。


メディアの操作および変更





メディアプレーヤーは音声認識、ステアリングホイールキープッド、またはセンターディスプレイで操作することができます。



音量 - センターディスプレイ下のコントロールノブを回すか、ステアリングホイールの右側キープッドを使用して、音量を増減させます。

再生/一時停止 - 再生中の曲の画像、センターディスプレイの下にあるボタン、またはステアリングホイールの右側キープッドの  をタップします。

曲の変更 - センターディスプレイで目的の曲をタップするか、センターディスプレイの下またはステアリングホイールの右側キープッドにある  を押します。

早送り/移動 - センターディスプレイの時間軸をタップし、横方向にドラッグするか、センターディスプレイの下またはステアリングホイールの右側キープッドにある  を長押しします。

メディアの変更 - アプリの **最新** の下から選択する、アプリビューで目的のアプリをタップする、またはステアリングホイールの右側キープッドで選択する方法のいずれかを使用します。

ライブラリ - ライブラリから再生するときに、このボタンをタップします。

シャッフル - 再生順序をシャッフルするときに、このボタンをタップします。

類似ジャンル - Gracenote を使用して USB デバイスにある類似の音楽を検索し、そこからプレイリストを作成するときに、このボタンをタップします。プレイリストには、50 曲まで入れることができます。

- ◀ **デバイスを変更** - 複数の USB デバイスが接続されているときに、USB デバイスの切り替えにこのボタンを使用します。

ビデオの設定

ビデオプレーヤーがフルスクリーンモードになっているとき、またはトップビューを開いて**設定**→**ビデオ**の順に押すと、**初期設定の音声言語、字幕、および 初期設定の字幕言語** を変更することができます。

DivX® の再生

購入した DivX ビデオオンデマンド (VOD) 映画を再生するには、この DivX Certified® 認証機器を登録する必要があります。

1. トップビューで **設定** を押します。
2. **ビデオ**→**DivX® VOD** の順にタップして、登録コードを読み出します。
3. vod.divx.com を参照し、登録を完了します。

関連情報

- ドライバーディスプレイのアプリケーションメニューを使用する (p. 147)
- ラジオおよびメディアの音声認識コントロール (p. 158)
- 車両に接続する (p. 495)
- アプリ (p. 500)
- メディアの検索 (p. 479)
- Bluetooth 経由でメディアを接続する (p. 480)

- AUX-/USB 端子経由でメディアを接続する (p. 481)
- CD プレーヤー* (p. 480)
- ラジオ (p. 471)
- Gracenote® (p. 478)
- ビデオ (p. 482)
- メディアのオーディオ設定 (p. 482)
- テレビ* (p. 483)
- Apple CarPlay* (p. 484)
- メディアの技術仕様 (p. 487)

Gracenote®

Gracenote は、再生中に表示される情報(アーティスト、アルバム、曲名および関連画像)を識別します。

Gracenote MusicID® は、音楽認識の業界標準です。

Gracenote を起動/解除する

起動時に、Gracenote データは元のデータを置換します。

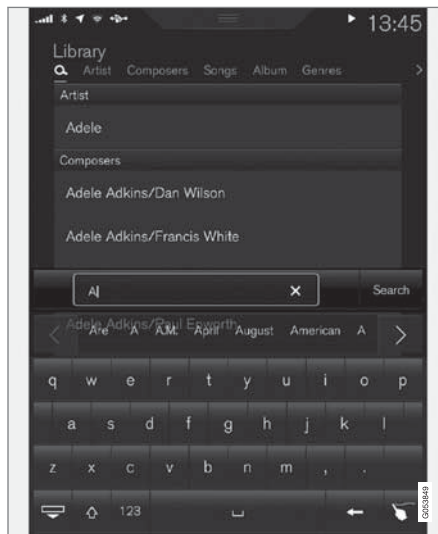
1. トップビューで **設定** を押します。
 2. **メディア**→**Gracenote®**を押します。
 3. **Gracenote®** ボックスのチェックを付けて/外して、Gracenote をオン/オフにします。
 4. オンにした Gracenote データの設定を選択します。
- **Gracenote®オンライン検索** - Gracenote のオンラインデータベースで再生メディアを検索します。
 - **Gracenote®複数結果** - 検索結果が複数だった場合の Gracenote データの表示方法を選択します。
 - 1 - ファイルの元データが使用される。
 - 2 - Gracenote データが使用される。
 - 3 - Gracenote または元データを選択することができる。
 - **なし** - 結果を表示しない。

関連情報

- メディア再生 (p. 476)
- オーディオ・メディアのライセンス契約 (p. 502)

メディアの検索

アーティスト、作曲者、曲(タイトル)、アルバム、ビデオ、オーディobook、プレイリストおよびポッドキャスト(インターネット経由のデジタルメディア)を検索条件として使用することができます。



1. **Q** を押します。
 > キーボード付き検索ビューが開きます。
2. 検索語を入力します。

3. **検索**を押します。

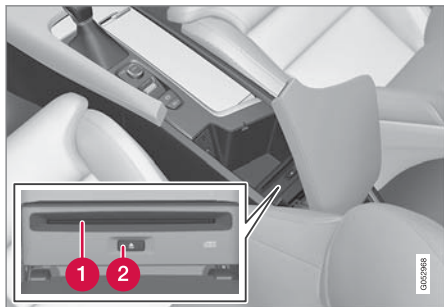
> 接続されている機器が検索され、検索結果がカテゴリー別に表示されます。

関連情報

- メディアプレーヤー (p. 475)
- メディア再生 (p. 476)
- センターディスプレイのキーボードの使用 (p. 50)

CD プレーヤー*

メディアプレーヤーはオーディオファイルの記録されている CD を再生することができます。サポートされている形式については、技術仕様を参照してください。



① ディスク挿入/取り出しスロット

② ディスク取り出しボタン

関連情報

- メディア再生 (p. 476)
- ラジオおよびメディアの音声認識コントロール (p. 158)
- メディアプレーヤー (p. 475)
- メディアの技術仕様 (p. 487)

Bluetooth 経由のメディア

車両のメディアプレーヤーには、Bluetooth が装備されており、携帯電話や PDA など Bluetooth 対応の外部機器から、ストリーミングオーディオファイルを無線で再生することができます。

関連情報

- Bluetooth 経由でメディアを接続する (p. 480)
- メディア再生 (p. 476)
- ラジオおよびメディアの音声認識コントロール (p. 158)
- メディアプレーヤー (p. 475)
- イグニッション位置 (p. 410)
- メディアの技術仕様 (p. 487)

Bluetooth 経由でメディアを接続する

メディアのストリーミング再生やインターネット接続 (利用可能な場合) のために Bluetooth 機器を車両に接続します。

市販されている多くの電話機にワイヤレス Bluetooth テクノロジーが搭載されていますが、車両に完全には対応していない機種もあります。対応機種については、support.volvocars.com をご覧ください。

メディアデバイスの接続手順は、電話機の接続の場合と同じです。

関連情報

- 電話機の接続 (p. 489)
- Bluetooth 経由のメディア (p. 480)
- メディア再生 (p. 476)
- メディアプレーヤー (p. 475)

AUX-/USB 端子経由のメディア

iPod や MP3 プレーヤーなどの外部メディアソースをオーディオシステムに接続できます。

充電式バッテリー付きのメディアソースは、USB 経由で接続されている場合、イグニッションが **I** または **II** 位置のとき、あるいはエンジンが作動しているときに充電されます。

USB メモリーには、互換性のある形式のファイルのみを保存することをお勧めします。互換性のある形式のファイル以外のファイルが保存されている場合、システムの読み取り時間が大幅に長くなります。機器が USB 経由で接続されている場合、メディアプレーヤーはオーディオの他にビデオ再生もサポートします。

MP3 プレーヤーによっては、本オーディオシステムがサポートしない、独自のファイルシステムを持っている場合があります。

関連情報

- AUX-/USB 端子経由でメディアを接続する (p. 481)
- メディア再生 (p. 476)
- ラジオおよびメディアの音声認識コントロール (p. 158)
- メディアプレーヤー (p. 475)
- イグニッション位置 (p. 410)
- ビデオ (p. 482)
- Apple CarPlay* (p. 484)

- メディアの技術仕様 (p. 487)

AUX-/USB 端子経由でメディアを接続する

iPod や MP3 プレーヤーなどの外部オーディオソースは、トンネルコンソールのソケットのいずれかを通してオーディオシステムに接続できます。



関連情報

- メディア再生 (p. 476)
- AUX-/USB 端子経由のメディア (p. 481)
- メディアプレーヤー (p. 475)
- メディアの技術仕様 (p. 487)

ビデオ

ビデオは USB 接続の機器から、メディアプレーヤーで再生することもできます。

走行中には映像は表示されませんが、音声の再生は継続されます。停車すると、映像が再度表示されます。

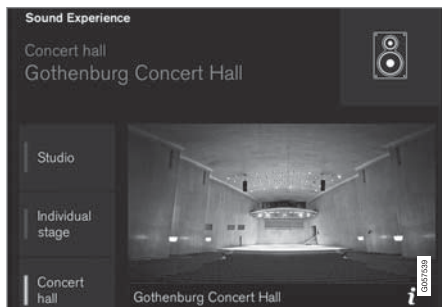
サポートされている動画形式については、「メディアの技術仕様」の項を参照してください。

関連情報

- メディア再生 (p. 476)
- メディアプレーヤー (p. 475)
- メディアの技術仕様 (p. 487)

メディアのオーディオ設定

メディア再生の個人用オーディオ設定。



ヨーテボリコンサートホールの音響を再現するオーディオモード

1. トップビューで **設定** を押します。
2. **サウンド** をタップして、設定を選択します。
 - **サウンド体験*** - オーディオ再生の詳細なオプション(コンサートホールの雰囲気味わえる再生など)。以下のオーディオ設定のステップに従って行った選択は、ここでの設定に変更されます。
 - **トーン** - 低音、高音、イコライザーなどの個人的設定。
 - **バランス** - 右/左スピーカーのバランスとフロント/リアスピーカーのバランス。

メディアのシステム音量

1. トップビューで **設定** を押します。

2. **サウンド** → **システム音量** を押します。

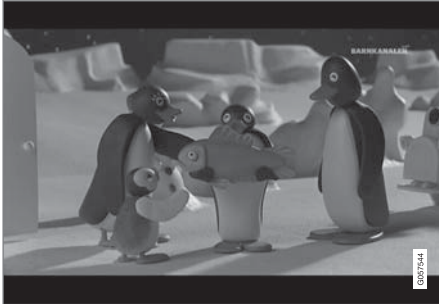
- **AUX** - 外部オーディオソース (MP3 プレーヤーや iPod など) を AUX 端子に接続すると、それらのオーディオソースの音量レベルは、内部のオーディオソース (ラジオなど) の音量レベルと異なっている場合があります。このような場合は、AUX 入力の音量を調節してください。外部オーディオソースの音量が大きすぎる場合や小さすぎる場合には、音質が低下することがあります。
- **速度に合わせて音量調整** - オーディオシステムは、走行中のノイズに対応できるように、走行速度に応じて自動的に音量を調節します。補正レベルは設定することがあります。

関連情報

- オーディオ設定 (p. 470)
- メディアプレーヤー (p. 475)

テレビ*

テレビ映像は、車両が停止しているときだけ表示されます。走行中には映像は表示されませんが、音声の再生は継続されます。車両が停止すると、再び映像が表示されます。



TV はセンターディスプレイから操作します。機能の中には、ステアリングホイールの右側キーボードまたは音声認識で操作できるものもあります。

TV をつける

1. アプリビューからアプリ **TV** を開きます。
2. チャンネルを選択します。

TV チャンネルの変更または検索

TV は受信状態のもっとも良好なチャンネルを自動的に検索します。

視聴可能なチャンネルのリストを変更する

1. **リスト** を押します。

2. **TV チャンネル、お気に入り** または **ジャンル** から再生を選択します。

3. 目的のチャンネルを選択します。

選択したリストからチャンネルを変更する

- センターディスプレイの下またはステアリングホイールキーボードにある<>を押します。
 - > 選択したプレイリスト内でハイライトが上または下に1つ移動します。

センターディスプレイから放送局を変更することもできます。

お気に入り

TV チャンネルは **リスト** として保存することができます。

- **☆** をタップすると、お気に入りリストのチャンネルを追加/削除できます。

TV ガイド

番組ガイドを使用すると、今後 48 時間以内に放送される TV 番組の情報を表示することができます。

- **ガイド** をタップすると、TV 番組に関する情報が表示されます。

i 注意

車両を国内で移動した場合(ある市から別の市への移動など)、周波数が異なることがあるため、**お気に入り** が利用できなくなる可能性があります。

TV 画像の形式を変更する

画像形式 をタップすると、TV 画像の表示形式を選択することができます。

1. **オート** - TV 画像は伝送中の画像形式で表示されます。
2. **オートフィル** - TV 画像はトリミングされることなく最大化されます。

緊急警報

システムは現在のメディア再生を中断して、大事故や災害に関する警報を送信します。メッセージが終了すると、前のメディアソースの再生が再開されます。センターディスプレイの下またはステアリングホイールキーボードにある<>を押すと、メッセージを中断することができます。

関連情報

- TV*の設定 (p. 484)
- ラジオおよびメディアの音声認識コントロール (p. 158)
- メディア再生 (p. 476)
- センターディスプレイのビュー内での移動 (p. 41)

TV*の設定

一部の設定オプションは、トップビューでも、TV表示がフルスクリーンモードのときでも使用することができます。

TVの設定

ビデオプレーヤーがフルスクリーンモードになっているとき、またはトップビューを開いて**設定**→**メディア**→**TV**の順に押すと、以下を変更することができます。

- **初期設定の字幕言語**
- **初期設定の音声言語**
- **自動セグメント切り替え** を選択すると、TVは自動的にHDTV²を選択します(利用不可の場合はSDTV³)。HDTV 12-セグメント(フルセグ)またはSDTV 1セグメント(ワンセグ)のみを選択するオプションもあります。

B-CAS

- TV受信機にはICカードが内蔵されています。
- ICカードの所有権はB-CAS社に帰属します。
- ICカードにはB-CAS社の規定した契約約款が適用されます。
- B-CASカードのシリアル番号は、車両のセンターディスプレイで**設定**→**メディア**→**TV**

の順にタップすると表示させることができます。カードのラベルにも記載されています。

- 契約約款については、「オーディオ・メディアのライセンス契約」(KB0007D)の「B-CASカード使用許諾契約約款」の項を参照してください。

注意

このシステムが対応するテレビ放送は、圧縮方式にMPEG-2形式またはMPEG-4形式を使用し、I-SDBT規格に準拠している国の放送に限定されます。このシステムはアナログ放送に対応していません。

関連情報

- テレビ* (p. 483)
- オーディオ・メディアのライセンス契約 (p. 502)

Apple CarPlay*

Apple CarPlay を使用すると、運転に集中したままで、音楽を聴く、電話をかける、行き方を調べる、メッセージを送受信する、Siri を使用する、などの操作ができます。Apple CarPlay は選択した Apple デバイスと連動します。



車両に Apple CarPlay が装備されていない場合、後から搭載することができます。ボルボディーラーにお問い合わせください。


サポートされているアプリや対応している電話機の情報については、Apple のウェブサイト：www.apple.com/ios/carplay/ をご覧ください。
注記：Volvo は Apple CarPlay アプリのコンテンツについて関知しません。

² 高画質 TV
³ 標準画質 TV

① 注意

電話機またはメディアプレーヤーが Bluetooth 経由で車両に接続されている場合、Apple CarPlay の使用中には Bluetooth の接続が解除されるため、電話機またはメディアプレーヤーを利用できなくなります。車両を接続するには、Wi-Fi または車載モデム*を使用してください。

Apple CarPlay 経由で地図ナビゲーションを使用している場合、センターディスプレイのみに案内が表示されます。ドライバーディスプレイまたはヘッドアップディスプレイには表示されません。

Apple CarPlay のアプリは、Siri を使用して音声で操作する方法と電話機またはセンターディスプレイを使用して操作する方法があります。一部の機能はステアリングホイールの右側キypadで操作することもできます。ステアリングホイールの  ボタンを長押しすると、Siri を使用した音声操作が開始されます。短く押すと解除されます。

Apple CarPlay を使用すると次に承諾したことになります: Apple CarPlay は、Apple Inc. の使用条件に基づいて提供されるサービスです。したがって、**Apple CarPlay** では Apple CarPlay やその機能/用途について責任を負いません。Apple CarPlay を使用する場合、あなたの車両から特定の情報（その位置を含む）が iPhone に送信されます。**Apple CarPlay** に関して、本人またはその他

の人による Apple CarPlay の使用に対して、あなたが全面的に責任を負います。

始動 Apple CarPlay

Siri による音声操作は、Apple CarPlay を使用する前に電話機でオンしておく必要があります。

初めて iPhone を接続する場合

1. iPhone を USB ポートに接続します。
2. ポップアップメッセージの内容を確認し、**OK** をタップします。
3. アプリビューで **Apple CarPlay** をタップします。
4. 利用条件を読み、**承認** をタップして接続します。
 - Apple CarPlay のサブビューが開き、対応しているアプリが表示されます。
5. 目的のアプリをタップします。
 - アプリが起動します。

以前に接続したことのある iPhone を使用する場合

1. iPhone を USB ポートに接続します。
 - **自動起動の設定が選択されている場合** - Apple CarPlay のサブビューが開き、対応しているアプリが表示されます。

2. **自動起動の設定が選択されていない場合** - アプリビューから **Apple CarPlay** アプリを開きます。

➢ Apple CarPlay のサブビューが開き、対応しているアプリが表示されます。

3. 目的のアプリをタップします。

➢ アプリが起動します。

別のアプリを同じサブビューで起動すると、Apple CarPlay はバックグラウンドで動作します。Apple CarPlay をサブビューで再表示するには、アプリビューで Apple CarPlay アイコンをタップします。

Apple CarPlay と iPod の接続を切り替える**Apple CarPlay から iPod へ**

1. トップビューで **設定** を押します。
2. **通信** ➔ **Apple CarPlay** を押します。
3. 接続したときに Apple CarPlay の起動を伴わないようにする Apple デバイスのボックスのチェックを外します。
4. Apple デバイスを切り離して USB ポートに接続します。
5. アプリビューからアプリ **iPod** を開きます。



◀ iPod から Apple CarPlay へ

1. アプリビューで **Apple CarPlay** をタップします。
2. ポップアップメッセージの内容を確認し、**OK** をタップします。
3. Apple デバイスを切り離して USB ポートに接続します。
> Apple CarPlay のサブビューが開きます。

関連情報

- メディアプレーヤー (p. 475)
- メディア再生 (p. 476)
- AUX-/USB 端子経由でメディアを接続する (p. 481)
- Apple CarPlay*の設定 (p. 486)
- 車両に接続する (p. 495)

Apple CarPlay*の設定

Apple CarPlay として接続された電話機の設定。

自動起動

1. トップビューで **設定** を押します。
2. **通信 → Apple CarPlay** を押して、設定を選択します。
 - ボックスにチェックを付ける - USB ケーブルを接続したときに Apple CarPlay が自動的に起動する。
 - ボックスのチェックを外す - USB ケーブルを接続したときに Apple CarPlay が自動的に起動しない。

リストには Apple デバイスを 20 台まで登録することができます。リストがいっぱいのときに新規デバイスを接続すると、もっとも古いデバイスが削除されます。

リストを削除するには、工場出荷時設定にリセットする必要があります。「設定ビューの設定のリセット」の項を参照してください。

システム音量

1. トップビューで **設定** を押します。

2. **サウンド → システムリウム** をタップし、以下の設定を行います。

- **音声コントロール**
- **ナビゲーション**
- **着信音**

関連情報

- Apple CarPlay* (p. 484)
- 設定ビューの設定のリセット (p. 215)

メディアの技術仕様

互換ファイル形式およびオーディオ仕様。

オーディオファイル

形式	ファイル拡張子	コーデック
MP3	.mp3	MPEG1 Layer III、MPEG2 Layer III、MP3 Pro (mp3 互換)、MP3 HD (mp3 互換)
AAC	.m4a、.m4b、.aac	AAC LC (MPEG-4 part III Audio)、HE-AAC (aacPlus v1/v2)
WMA	.wma	WMA8/9、WMA9/10 Pro
WAV	.wav	LPCM
FLAC	.flac	FLAC

動画ファイル

形式	ファイル拡張子
MP4	.mp4、m4v
MPEG-PS	.mpg、.mp2、.mpeg、.m1v
AVI	.avi

形式	ファイル拡張子
AVI (DivX)	.avi、divx
ASF	.asf、.wmv
MKV	.mkv

字幕

形式	ファイル拡張子
SubViewer	.sub
SubRip	.srt
SSA	.ssa

DivX®

DivX Certified (DivX 認証) デバイスは、高品質の DivX (.divx、.avi) ビデオ再生に対応していることが実証されています。DivX ロゴの表示がある場合、DivX ムービーをご自由に再生できます。

プロファイル	DivX Home Theater
動画コーデック	DivX、MPEG-4
解像度	720x576
ビットレート	4.8Mbps

フレームレート	30 fps
ファイル拡張子	.divx、.avi
最大ファイルサイズ	4 GB
音声コーデック	MP3、AC3
字幕	XSUB
特殊機能	多言語字幕、多重音声、レジューム再生
参考	DivX Home Theater プロファイルのすべての要件を満たします。お持ちのファイルを DivX Home Theater の動画に変換するためのソフトウェアツールおよび詳細情報については、divx.com をご覧ください。

USB デバイスへの保存

システムが USB デバイスを正しく読み取るためには、以下の仕様に準拠する必要があります。再生中は、センターディスプレイにフォルダ構造は表示されません。



	最大数
ファイル	15,000
フォルダー	1,000
フォルダー階層	8
プレイリスト	100
1プレイリスト内のアイテム	1,000
サブフォルダー	無制限

関連情報

- メディアプレーヤー (p. 475)
- メディア再生 (p. 476)

電話

Bluetooth 対応の携帯電話は、車両の内蔵ハンズフリーシステムに無線で接続することができます。

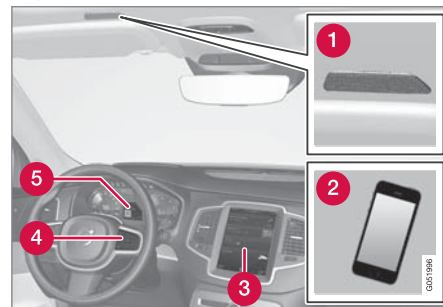
携帯電話のさまざまな機能の遠隔操作が可能な設備により、オーディオ、およびメディアシステムをハンズフリーで使用。携帯電話は、車両に接続している場合でも、電話機本体のキーで操作することができます。

携帯電話機を車両に接続すると、携帯電話機を使用して、電話、メッセージの送受信、メディアのストリーミング、およびインターネット接続を行うことができます。



電話機はセンターディスプレイから操作しますが、一部の操作は、ステアリングホイールの右側キヤパッドを使用して、音声認識およびアプリメニューで利用することもできます。

概要



- 1 マイク
- 2 携帯電話
- 3 センターディスプレイの電話操作
- 4 音声認識およびドライバーディスプレイに表示される電話機能の操作用キヤパッド
- 5 ドライバーディスプレイ

関連情報

- 電話機の接続 (p. 489)
- 電話機の接続/切断 (p. 490)
- 通話の操作 (p. 491)
- テキストメッセージの操作 (p. 492)
- 電話の設定 (p. 494)
- テキストメッセージの設定 (p. 494)

- Bluetooth 設定 (p. 497)
- 音声認識 (p. 156)
- ドライバーディスプレイのアプリケーションメニューを使用する (p. 147)
- メディアプレーヤー (p. 475)

電話機の接続

Bluetooth をオンにした電話機を車両に接続すると、電話、メッセージの送受信、メディアのストリーミング、車両とインターネットの接続を行うことができます。


Bluetooth 機器は一度に 2 台接続することができます。その場合、1 台はメディアのストリーミングのみが可能です。電話/メッセージの発信、メディアのストリーミングおよびインターネット接続を利用するときには、もっとも最近接続した電話機が自動的に接続されます。電話機の使用を変更するには、「Bluetooth 設定」を参照してください。

接続は機器ごとに 1 回行います。接続の後、Bluetooth 機器は検知可能/探索可能な状態である必要はなく、Bluetooth をオンにしておくだけで機能します。電話機を介して車両をインターネットに接続するには、電話機のペアリングをオンにする必要があります。車両には、接続済みの Bluetooth 機器を 20 台まで保存することができます。

接続には 2 通りの方法があります。車両から電話機を探索する方法と電話機から車両を探索する方法です。

方法 1 - 車両から電話機を探索する


1. 電話機を Bluetooth 経由で探索可能/検知可能な状態にします。

2. 電話機の Bluetooth 経由で車両をインターネットに接続するには、電話機で Bluetooth 経由のペアリング(ポータブル/インターネット共有)をオンにします。
3. 電話のサブビューを開きます。
 - 車両に接続されている電話機がない場合、**電話を追加** をタップします。
 - 車両に接続されている電話機がある場合、**変更**  をタップします。ポップアップウィンドウで **電話を追加** をタップします。
- > 利用可能な Bluetooth 機器が一覧表示されません。
4. 接続する電話機の名前をタップします。
5. 車両の指定数字コードが電話機のものと同じであることを確認します。この場合、双方で許可を選択します。
6. 電話連絡先およびメッセージのオプションの許可または拒否を電話で選択します。

注意

- 一部の電話では、メッセージ機能を有効にする必要があります。
- 一部の電話は互換性がなく、車内で連絡先やメッセージを表示することができません。

◀ 方法 2 - 電話機から車両を探索する

1. 電話のサブビューを開きます。
 - 車両に接続されている電話機がない場合、**電話を追加 → 車両を検出可能にする**をタップします。
 - 車両に接続されている電話機がある場合、**変更**  をタップします。ポップアップウィンドウで**電話を追加 → 車両を検出可能にする**をタップします。
2. 電話機の Bluetooth をオンにします。
3. 電話機の Bluetooth 経由で車両をインターネットに接続するには、電話機で Bluetooth 経由のテザリング(ポータブル/インターネット共有)をオンにします。
4. 電話機で Bluetooth 機器を探索します。
 - > 利用可能な Bluetooth 機器が一覧表示されます。
5. 車両の名前を電話機で選択します。
6. 車両の指定数字コードが外部機器のものと一致していることを確認します。この場合、双方で許可を選択します。
7. 電話連絡先およびメッセージのオプションの許可または拒否を電話で選択します。

ⓘ 注意

- 一部の電話では、メッセージ機能を有効にする必要があります。
- 一部の電話は互換性がなく、車内で連絡先やメッセージを表示することができません。

ⓘ 注意

電話のオペレーティングシステムがアップデートされると、接続が中断される場合があります。この場合、いったん車両から電話を削除し、再度接続してください。

対応電話機

市販されている多くの電話機にワイヤレス Bluetooth テクノロジーが搭載されていますが、車両に完全には対応していない機種もあります。対応機種については、support.volvocars.com をご覧ください。

関連情報

- 電話 (p. 488)
- 電話機の接続/切断 (p. 490)
- Bluetooth 設定 (p. 497)
- 通話の操作 (p. 491)
- テキストメッセージの操作 (p. 492)

電話機の接続/切断

電話機の接続、変更、または接続済みの電話機を接続解除します。

電話機の自動接続

1. 車両をイグニッション位置 **I** にする前に、電話機の Bluetooth およびテザリング(ポータブル/パーソナルホットスポット)をオンにします。
2. **I** 以上のイグニッション位置にします。
 - > 電話機が接続されます。

電話機の手動接続


1. 電話機の Bluetooth およびテザリング(ポータブル/パーソナルホットスポット)をオンにします。
2. 電話のサブビューを開いて、**電話を変更** をタップします。
 - > 利用可能な Bluetooth 機器が一覧表示されます。
3. 接続する電話機の名前をタップします。
 - > 電話機が接続されます。

電話機の切断

- 電話機の Bluetooth をオフにします。

電話機が作動範囲外にある場合、その接続は自動的に切断されます。通話中に電話機を切断した場合、その通話は電話機で継続することができます。

電話を変更する

1. 電話のサブビューを開きます。
2. **変更**  を押します。
 - ＞ 利用可能な Bluetooth 機器が一覧表示されます。
3. 接続する電話機をタップします。

電話を削除する

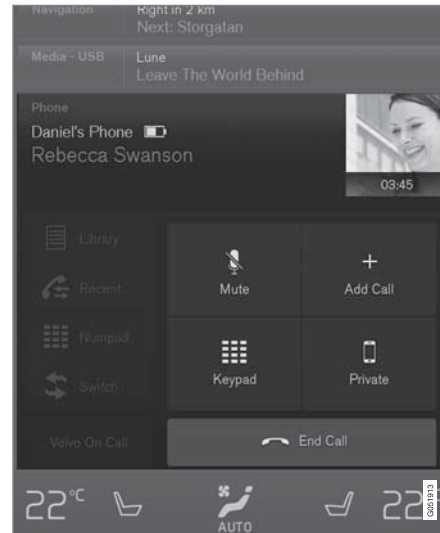
1. 電話のサブビューを開きます。
2. **設定** → **通信** → **Bluetooth** を押します。
 - ＞ 接続されている Bluetooth 機器が一覧表示されます。
3. 削除する電話機をタップします。
4. **デバイスを削除** をタップして、選択を確定します。
 - ＞ 電話機は車両から接続解除されます。

関連情報

- 電話 (p. 488)
- 電話機の接続 (p. 489)
- 電話の設定 (p. 494)
- Bluetooth 設定 (p. 497)
- イグニッション位置 (p. 410)



通話の操作


車内で Bluetooth 接続電話の通話に対応します。



電話をかける


1. 電話のサブビューを開きます。

2. 通話履歴からの選択、キーボードによる番号入力、または連絡先リストからの選択により、通話先を選択します。連絡先リストでは、検索またはブラウズすることができます。連絡先リストで  をタップすると、連絡先が **お気に入り** に追加されます。
3. **発信** または  をタップします。
4. **通話を終了** をタップして通話を終了します。

アプリメニューを使用して、通話履歴から電話をすることもできます。使用するには、ステアリングホイールの右側キーパッド  からアクセスしてください。

グループ通話をする

通話中に以下の操作を行います。

1. **通話を追加** を押します。
2. 通話履歴または連絡先リストから電話することを選択します。
3. 通話履歴の項目/列をタップするか、連絡先リストの連絡先の横にある  をタップします。
4. **通話を切替** をタップして、通話相手を切り替えます。
5. **通話を終了** をタップして、現在の相手との通話を終了します。

44 会議通話

グループ通話中に以下の操作を行います。

1. **グループ通話** をタップして、接続中のグループ通話を統合します。
2. **通話を終了** をタップして通話を終了します。

着信

着信があると、ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイに表示されます。ステアリングホイールの右側キヤードまたはセンターディスプレイを使用して、着信に対応します。

1. **応答/拒否** をタップします。
2. **通話を終了** をタップして通話を終了します。

通話中の着信

1. **応答/拒否** をタップします。
2. **通話を終了** をタップして通話を終了します。

個人的な電話

- 通話中に **プライバシー** を押して、設定を選択します。
 - **携帯電話に切替** - ハンズフリー機能がオフになり、通話は携帯電話で継続されます。
 - **運転者向けに最適化する** - 助手席側のルーフのマイクがオフになり、通話は車両のハンズフリー機能で継続されます。

関連情報

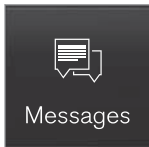
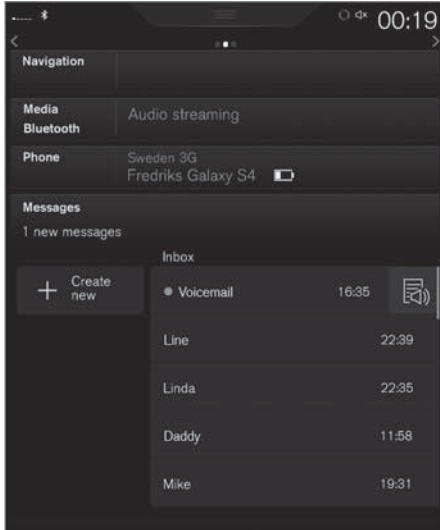
- 電話 (p. 488)
- 電話の音声認識コントロール (p. 158)
- ドライバーディスプレイのアプリケーションメニューを使用する (p. 147)
- センターディスプレイのキーボードの使用 (p. 50)
- 電話の設定 (p. 494)

テキストメッセージの操作

車内で Bluetooth 接続電話のメッセージに対応します。

一部の電話機ではメッセージ機能をオンにする必要があります。一部の携帯電話機は完全には対応していないため、車内での連絡先およびメッセージの表示ができないことがあります。対応機種については、support.volvocars.com をご覧ください。

センターディスプレイでテキストメッセージを読む



1. アプリビューで、**メッセージ** をタップして開きます。

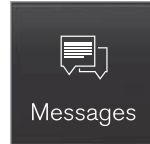
2. **読み上げ** を押してメッセージを読み上げさせるか、ご自分で読みたいメッセージを押します。

ドライバーディスプレイで新着のテキストメッセージを読む

テキストメッセージはドライバーディスプレイに表示するように設定されている場合にのみ、ドライバーディスプレイに表示されます。「テキストメッセージの設定」の項を参照してください。

- ステアリングホイールキーパッドの下矢印を押して、メッセージを読みます。
メッセージを読み上げさせるには、ステアリングホイールキーパッドを使用して **読み上げ** を選択します。

テキストメッセージを送信する



1. アプリビューで、**メッセージ** をタップして開きます。

2.
 - メッセージに返信 - 返信したいメッセージの発信元をタップし、**返信** をタップします。
 - 新規メッセージを作成する - **新規作成** → **+** をタップします。連絡先を選択するか、数字を入力します。
3. メッセージを作成します。
4. **送信** を押します。

メッセージ通知

通知設定については、「テキストメッセージの設定」の項を参照してください。

関連情報

- 電話 (p. 488)
- テキストメッセージの設定 (p. 494)
- 電話の設定 (p. 494)
- 電話の音声認識コントロール (p. 158)
- センターディスプレイのキーボードの使用 (p. 50)

電話の設定

接続されている電話の設定。

電話

1. トップビューで **設定** を押します。
2. **通信** → **電話** を押して、設定を選択します。
 - **着信音** - 着信音の選択。電話機または車両の着信音を使用することができます。一部の電話機は完全には対応していないため、電話機の着信音を車内で使用できないことがあります。対応機種については、support.volvocars.com をご覧ください。
 - **連絡先のソート順** - 連絡先リストの並び替え順序の選択。

ヘッドアップディスプレイ*の着信通知については、「ヘッドアップディスプレイ」の項を参照してください。

関連情報

- テキストメッセージの設定 (p. 494)
- Bluetooth 設定 (p. 497)
- 電話 (p. 488)
- 電話機の接続 (p. 489)
- ヘッドアップディスプレイ* (p. 153)

テキストメッセージの設定

接続されている電話でのテキストメッセージの設定。

メッセージ

1. トップビューで **設定** を押します。
2. **通信** → **テキストメッセージ** を押して、設定を選択します。
 - **センターディスプレイの通知** - センターディスプレイのステータスバーにメッセージ通知を表示します。
 - **メーターからの通知** - ドライバーディスプレイに通知を表示します。ドライバーディスプレイでの通知がオンになっている場合、ステアリングホイールの右側キypadで受信メッセージを扱うことができます。
 - **SMS 着信音** - 受信メッセージの着信音の選択。

関連情報

- 電話 (p. 488)
- 電話機の接続 (p. 489)
- テキストメッセージの操作 (p. 492)
- 電話の設定 (p. 494)

オンライン車両

オンライン車両では、アプリによるインターネットラジオおよびミュージックサービスを利用したり、車内からディーラーへの連絡やソフトウェアのダウンロードなどを行うことができます。

車両は、Bluetooth、Wi-Fi または USB 端子に接続したケーブル経由で電話に接続するか、または車両の内蔵モデム*を使用して接続します。

車両がインターネットに接続されている場合、そのインターネット接続(Wi-Fi ホットスポット)を共有して、他の機器がインターネット接続を利用できるようにすることができます⁴。

接続状態はセンターディスプレイのステータスバーにシンボルで表示されます。



⁴ Wi-Fi との接続の場合には適用されません。

関連情報

- 車両に接続する (p. 495)
- アプリ (p. 500)
- コネクテッド・サービス予約 (p. 545)
- システムアップデート (p. 548)
- Volvo ID (p. 24)
- センターディスプレイのステータスバーで
使用されるシンボル (p. 46)
- Wi-Fi ホットスポットによるインターネット
の共有 (p. 497)

車両に接続する

車両は、Bluetooth、Wi-Fi または USB ポートに接続したケーブル経由で電話に接続するか、または車両の内蔵モデム*を使用して接続します。

携帯電話およびネットワークプロバイダからインターネット接続(インターネット接続共有)サービスが提供されている必要があります。契約内容にデータ通信が含まれている必要があります。

ⓘ 注意

データはインターネット使用時に転送され(データ通信)、費用が発生する場合があります。

データローミングの有効化には、追加費用が発生する場合があります。

データ通信費用については、ご利用の通信事業者にお問い合わせください。

ⓘ 注意

Apple CarPlay を使用している場合、車両は Wi-Fi またはカーモデム*でのみインターネットに接続することができます。

接続する前に、support.volvocars.com で**サービスの利用規約**と**お客様の個人情報保護方針**をお読みください。

Bluetooth で接続する

「電話機の接続」を参照してください。

Wi-Fi で接続する



1. 携帯電話機のテザリング(ポータブル/インターネット共有)をオンにします。
2. トップビューで **設定** を押します。
3. **通信 → Wi-Fi** を押します。
4. Wi-Fi ボックスのチェックを付けて/外して、オン/オフにします。
5. 接続するネットワークのネットワーク名をタップします。
6. ネットワークパスワードを入力します。
7. 以前に別の接続元を使用したことがある場合、接続変更のオプションを確認します。
 > 車両がネットワークに接続します。

車両との接続が切断される(車両を離れて次回使用するまでの間など)と、一部の電話機はテザリングがオフになります。したがって、次の使用時には電話機のテザリングを再度有効にする必要があります。



Bluetooth 設定

Bluetooth 接続されている電話の設定。

Bluetooth

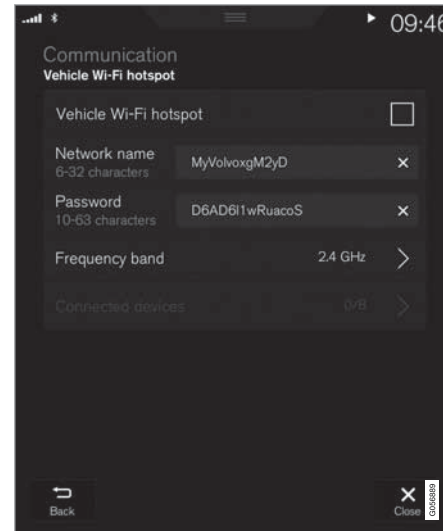
1. トップビューで **設定** を押します。
 2. **通信** → **Bluetooth** を押して、設定を選択します。
- **ペアリング済みデバイス** - 接続されている機器のリストを表示します。
 - **デバイスを削除** - 接続されている機器を削除します。
 - **このデバイスで利用可能なサービス** - 画像を表示するかどうかを選択します。
 - **インターネット接続** - 機器の Bluetooth 接続を使用してインターネットに接続することを選択します。
 - **デバイスを追加** - 新しい機器のペアリングを開始します。

関連情報

- オンライン車両 (p. 494)
- 電話 (p. 488)
- 電話機の接続 (p. 489)
- メディアプレーヤー (p. 475)

Wi-Fi ホットスポットによるインターネットの共有

車両がインターネットに接続されている場合、そのインターネット接続を共有して、他の機器がインターネット接続を利用できるようにすることができます。⁸



ネットワークプロバイダ(SIM カード)がテザリング (インターネット接続の共有)に対応している必要があります。

1. トップビューで **設定** を押します。
 2. **通信** → **車両 Wi-Fi ホットスポット** を押します。
 3. **ネットワーク名** をタップし、テザリングを指定します。
 4. **パスワード** をタップし、接続する機器に入力する必要があるパスワードを選択します。
 5. **周波数帯** をタップし、テザリングのデータ送信に使用する周波数帯を選択します。一部の市場では周波数帯の選択ができません。
 6. **車両 Wi-Fi ホットスポット** のボックスのチェックを付けて/外してオン/オフにします。
 7. 以前に Wi-Fi を接続元として使用したことがある場合、接続変更のオプションを確認します。
- ＞ これで外部機器を車両のテザリング (Wi-Fi ホットスポット) に接続できます。

⁸ Wi-Fi との接続の場合には適用されません。

① 注意

Wi-Fi ホットスポットを有効にした場合、ご利用のネットワークプロバイダから追加料金が加算される場合があります。

データ通信費用については、ご利用の通信事業者にお問い合わせください。

接続状態はセンターディスプレイのステータスバーにシンボルで表示されます。

接続しているデバイス を押して、現在接続中のデバイスの一覧を表示します。

関連情報

- オンライン車両 (p. 494)
- Wi-Fi の技術とセキュリティ (p. 499)
- センターディスプレイのステータスバーで使用されるシンボル (p. 46)
- インターネット接続なし/接続不良 (p. 498)

インターネット接続なし/接続不良 ネットワークに影響を及ぼす要因。

データ転送量は車内で使用するサービスまたはアプリによって異なります。例えば、オーディオストリーミングはデータ転送量が大きく、良好な接続状態と信号強度が必要です。

携帯電話から車両

接続の速度は、車内の携帯電話の位置によって異なることがあります。信号強度を強めるために、携帯電話ハンドセットをセンターディスプレイに近づけてください。間に混信がないことを確認してください。

携帯電話からネットワーク

モバイルネットワークの速度は現在地の受信状態によって異なります。トンネル、山間、峡谷、屋内などでは、受信状態が悪くなる場合があります。通信速度はご利用のネットワーク契約によっても異なります。

① 注意

データ転送の問題については、ご利用のネットワークプロバイダにお問い合わせください。

関連情報

- オンライン車両 (p. 494)
- 車両に接続する (p. 495)

Wi-Fi ネットワークを削除する 使用しないネットワークの削除。

1. トップビューで **設定** を押します。
2. **Wi-Fi → 保存されたネットワーク** を押しします。
3. 削除するネットワークの横にある **削除** をタップします。
4. 選択を確定します。
 - ＞ 今後、車両がそのネットワークに接続されることはなくなります。

すべてのネットワークを削除する

工場出荷時設定に戻すと、すべてのネットワークを同時に削除することができます。ユーザーデータおよびシステム設定がすべて工場出荷時の設定にリセットされます。ご注意ください。

関連情報

- オンライン車両 (p. 494)
- 車両に接続する (p. 495)
- 設定ビューの設定のリセット (p. 215)

Wi-Fi の技術とセキュリティ

接続可能なネットワークタイプ

以下のタイプのネットワークのみに接続することができます。

- 周波数帯 - 2.4または5 GHz⁹
- 規格 - 802.11 a/b/g/n
- セキュリティタイプ - WPA2-AES-CCMP

車両の Wi-Fi システムは、車内の Wi-Fi 機器に対応するように設計されています。

同じ周波数帯域で同時に複数の機器が動作している場合、性能が低下するおそれがあります。

関連情報

- オンライン車両 (p. 494)
- 車両に接続する (p. 495)
- Wi-Fi ホットスポットによるインターネットの共有 (p. 497)
- インターネット接続なし/接続不良 (p. 498)

カーモデム^{*10} の設定

車両には、インターネット接続に使用できるモデムが装備されています。Wi-Fi 経由でインターネットに接続することもできます。

1. トップビューで **設定** を押します。
 2. **通信** → **カーモデムインターネット** を押し、設定を選択します。
- **カーモデムインターネット** - カーモデムをインターネット接続に使用するかどうかを選択します。
 - **データ使用量** - **リセット** をタップすると、送受信されたデータ量のカウンターがリセットされます。
 - **ネットワーク**
通信事業者を選択 - ネットワークプロバイダの自動または手動選択。
データローミング - このボックスにチェックを付けると、車両が外国にあり、ホームネットワークの外側にあるとき、カーモデムはインターネットへの接続を試みます。この結果、高額な費用を請求されることがあります。ご注意ください。自国でお使いのネットワークプロバイダーに問い合わせ、外国でのデータトラフィックに関するローミング契約を確認してください。

- **SIM カード PIN コード**
PIN を変更 - 4桁以下の数字を入力できます。
PIN コードを無効にする - SIM カードへのアクセスに PIN コードを必要とするかどうかを選択します。
- **リクエストコードを送信** - プリペイドカードのチャージまたは残高確認などに使用されます。機能はプロバイダーにより異なります。

関連情報

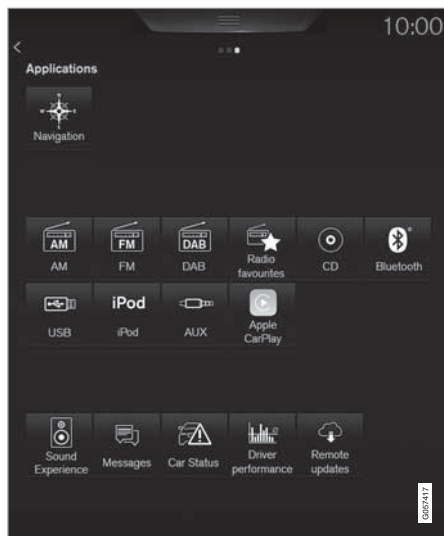
- オンライン車両 (p. 494)
- Wi-Fi ホットスポットによるインターネットの共有 (p. 497)

⁹ 周波数帯の選択はすべての市場で利用できません。

¹⁰ Volvo On Call 装備車のみ

アプリ

アプリケーション(アプリ)とは、一部の車両機能の操作に使用されるプログラムです。



アプリケーションビュー

一部の基本的なアプリは常時利用できます。アプリはダウンロードで追加することができます。ダウンロード可能なアプリには、インターネットラジオやミュージックサービスなど、さまざまな種類があります。

一部のアプリは、車両がインターネットに接続されている場合にのみ使用できます。

- アプリビューでアプリをタップして起動します。

関連情報

- オンライン車両 (p. 494)
- アプリのダウンロード、アップデートおよびアンインストール (p. 500)
- アプリの設定を変更する (p. 216)

アプリのダウンロード、アップデートおよびアンインストール

新しいアプリのダウンロード、インストール済みのアプリのアップデート、またはアプリのアンインストールを行います。

① 注意

データダウンロードは、データを送信するその他のサービス(インターネットラジオなど)に影響を及ぼすおそれがあります。その他のサービスに悪影響を及ぼす場合、ダウンロードは中断することができます。その他のサービスをオフにする、または中断する方が適切な場合もあります。



Remote updates

アプリの管理は、アプリケーションビューの **リモート更新サービス** を使用して行います。

アプリのダウンロード、アップデートまたはアンインストールは、車両がオンラインの状態である必要があります。

アプリのダウンロード

1. アプリ **リモート更新サービス** を開きます。
2. **閲覧** を選択して、利用可能なアプリで車両にインストールされていないアプリのリストを開きます。

3. アプリの列をタップしてリストを展開し、アプリの詳しい情報を表示します。
 4. **インストール** を選択して、目的のアプリのダウンロードを開始します。
 - ＞ ダウンロード中はインストールの状況が表示されます。
2. **アプリケーション更新** を選択して、すべての利用可能なアップデートのリストを開きます。
 3. 目的のアプリを特定して、**インストール** を選択します。
 - ＞ アップデートが開始されます。

アプリのアンインストール

アンインストールを完了するには、使用中のアプリを閉じる必要があります。

1. アプリ **リモート更新サービス** を開きます。
2. **アプリケーション更新** を選択して、すべてのインストール済みアプリのリストを開きます。
3. 目的のアプリを特定して **アンインストール** を選択し、アプリのアンインストールを開始します。
 - ＞ アンインストールが完了すると、そのアプリはリストから消えます。

ダウンロードのキャンセル

– **キャンセル** をタップすると、進行中のダウンロードがキャンセルされます。

キャンセルできるのはダウンロードのみです。インストールが始まった場合、キャンセルできません。

アプリのアップデート

アップデート中にアプリを使用している場合、インストールを完了するためにアプリが再起動されます。

すべてをアップデート

1. アプリ **リモート更新サービス** を開きます。
2. **すべてインストール** を選択します。
 - ＞ アップデートが開始されます。

一部をアップデート

1. アプリ **リモート更新サービス** を開きます。

関連情報

- オンライン車両 (p. 494)
- ラジオ (p. 471)
- メディアプレーヤー (p. 475)
- システムアップデート (p. 548)

オーディオ・メディアのライセンス契約

ライセンスとは、特定のアクティビティを操作する権利、または他人の権利を契約条件に基づいて使用する権利の許諾契約です。以下はボルボ社と製造元/開発元との使用許諾契約で、本文の大部分は英語で記載されています。

Bowers & Wilkins



Bowers & Wilkins および B&W は B&W Group Ltd の商標です。Nautilus は B&W Group Ltd の商標です。Kevlar は DuPont の登録商標です。

Dirac Unison®



Dirac Unison は、低音の一体感および明瞭度を最高の状態に高めるために、周波数、時間および空間を考慮してスピーカーを最適化します。この技術により、特定の演奏会場の音響特性を忠実に再現することができます。Dirac Unison は、先進のアルゴリズムを使用し、高精度音響測定に基づいて、Dirac Unison のすべてのスピーカーをデジタル制御します。オーケストラの指揮者のように、すべてのスピーカーを完璧に調和させます。

DivX®



DivX®, DivX Certified® およびこれらの関連ロゴは Rovi Corporation またはその子会社の商標であり、ライセンス許諾に基づき使用しています。

DIVX VIDEO: DivX® は Rovi Corporation の子会社である DivX, LLC が開発したデジタルビデオフォーマットです。本製品は、DivX video の再生に対応した正規の DivX® Certified (DivX 認証) デバイスです。詳細情報およびビデオファイルを DivX video 形式に変換するためのソフトウェアツールについては、divx.com をご覧ください。

DIVUX VIDEO-ON-DEMAND について：購入した DivX ビデオオンデマンド (VOD) 映画を再生するには、この DivX Certified® 認証機器を登録する必要があります。機器の設定メニューで DivX VOD を確認して、登録コードを入手してください。登録の完了方法については、vod.divx.com を参照してください。

特許番号

以下の米国特許により保護されています：
7, 295, 673； 7, 460, 668； 7, 515, 710；
8, 656, 183； 8, 731, 369； RE45, 052

Gracenote®



コンテンツの一部は Gracenote またはそのサ
ブライヤーの著作物©です。

Gracenote、Gracenote ロゴとロゴタイプ、
「Powered by Gracenote」および Gracenote
MusicID は、米国およびその他の国における
Gracenote, Inc. の商標または登録商標です。

Gracenote® エンドユーザー使用許諾契約

本アプリケーション製品または本デバイス製品
には、カリフォルニア州エメリービル市の
Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」)のソフト
ウェアが含まれています。本アプリケーション
製品または本デバイス製品は、Gracenote 社のソ
フトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」)を
使用することにより、ディスクやファイルを識
別し、さらに名前、アーティスト、トラック、
タイトル情報 (以下「Gracenote データ」)などの
音楽関連情報をオンラインサーバーから、ある
いは製品に実装されたデータベース (以下、総称
して「Gracenote サーバー」)から取得し、さらに
その他の機能を実行しています。お客様は、本

アプリケーション製品または本デバイス製品の
本来、意図されたエンドユーザー向けの機能
を使用することによってのみ、Gracenote データを
使用することができます。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフト
ウェア、および Gracenote サーバーをお客様個
人の非営利的目的のみに使用することに同意
するものとします。お客様は、いかなる第3者
に対しても、Gracenote ソフトウェアや
Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、また
は送信しないことに同意するものとします。お
客様は、ここで明示的に許可されていること以
外に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウ
ェア、または Gracenote サーバーを使用または活
用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場
合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウ
ェア、および Gracenote サーバーを使用するた
めの非独占的な使用許諾契約が解除されること
に同意するものとします。また、お客様の使用許
諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote
データ、Gracenote ソフトウェア、および
Gracenote サーバーのあらゆるすべての使用
を中止することに同意するものとします。

Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソ
フトウェア、および Gracenote サーバーのすべ
ての所有権を含む、すべての権利を保有します。
いかなる場合においても、Gracenote は、お客
様に対して、お客様が提供する任意の情報に関
して、いかなる支払い義務も負うことはないの
とします。お客様は、Gracenote, Inc. が直接的

にお客様に対して、本契約上の権利を Gracenote
として行使できることに同意するものとしま

す。Gracenote のサービスは、統計処理を行う目的
で、クエリを調査するために固有の識別子を使
用しています。無作為に割り当てられた数字に
よる識別子を使用することにより、Gracenote
サービスを利用しているお客様を認識、特定し
ないで、クエリを数えられるようにしています。
詳細については、Web ページ上の、Gracenote
サービスに関する Gracenote のプライバシーポ
リシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと、Gracenote データの
すべての情報は、お客様に対して「現状有姿」
のままで提供され、使用許諾が行われるもの
とします。Gracenote は、Gracenote サーバーにお
けるすべての Gracenote データの正確性に関し
て、明示的または黙示的にかかわらず、一切の
表明や保証をいたしません。Gracenote は、妥当
な理由があると判断した場合、Gracenote サー
バーからデータを削除したり、データのカテゴ
リを変更したりする権利を保有するものとしま
す。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote
サーバーがエラーのない状態であることや、あ
るいは Gracenote ソフトウェアまたは
Gracenote サーバーの機能が中断されないこと
の保証はいたしません。Gracenote は、
Gracenote が将来提供する可能性のある、新しく
拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリ
を、お客様に提供する義務を負わないものと
します。また、Gracenote は、任意の時点でその
サービスを中止できるものとします。



- ◀ Gracenote は、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および知的所有権の非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的でない保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの使用により得られる結果について保証をしないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、あるいは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

© Gracenote, Inc. 2009

B-CAS カード使用許諾契約約款 (KB0007D)

お客様がお買い求めの地上デジタルテレビジョン放送の受信機器には、デジタル放送を受信するための IC カード（B-CAS（ビーキャス）カード）（以下「カード」といいます）が内蔵されています。このカードは、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（以下「当社」といいます）が受信機器メーカーと契約し、受信機器メーカーにおいて、放送番組の著作権保護等に対応したデジタル放送の受信機器（一般社団法人電波産業会（ARIB）の技術的基準に適合した受信機器）に内蔵されます。当社は、このカードを、この約款の契約に基づいてお客様に貸与します。お客様は、お買い求めの受信機器を使用する前にこの約款を必ずお読みください。この約款は「特別内

蔵用 B-CAS カード」と「特別内蔵用 mini B-CAS カード」に適用されます。

第 1 条（カードの使用目的）

このカードは、放送番組の著作権保護等に対応した地上デジタルテレビジョン放送の受信機器において、各種放送サービスを受信する目的で使用されます。

第 2 条（カードの所有権と使用許諾）

1. このカードの所有権は、当社に帰属します。
2. この契約に基づき、お客様およびお客様と同一世帯の方がこのカードを使用できます。

第 3 条（カードの故障交換等）

1. カードが原因と思われる受信障害が発生した場合は、受信機器メーカーあるいは販売店（以下「メーカー等」といいます）に連絡してください。カードの故障交換等は、お買い求めの受信機器の修理・保証に準じて、メーカー等により行われます。詳しくは受信機器の取扱説明書をご覧ください。
2. 当社に故意または重大な過失があった場合を除き、カードの故障により、第 1 条の放送サービスが受信できないことによる損害が生じても、当社はその責任を負いません。

第 4 条（カードの交換依頼）

カードの不具合やシステム変更（バージョンアップ）等、当社の都合によりカード交換が必

要となった場合、カード交換をお願いすることがあります。

第 5 条（契約の終了）

当社は、受信機器の廃棄や譲渡等によりお客様がこのカードを使用しなくなった場合には、お客様との契約が終了したものとみなします。

第 6 条（禁止事項）

1. 第 1 条のカードの使用目的に反する機器（例えば著作権保護に対応していない機器）に、このカードを使用することはできません。
2. このカードを使用して、BS デジタル放送や 110 度 C S デジタル放送等の有料放送の視聴契約をすることはできません。
3. カードの複製、分解、改造、変造若しくは改ざん、またはカードの内部に記録されている情報の複製若しくは翻案等、カードの機能に影響を与え、またはカードに利用されている知的財産権の侵害に繋がる恐れのある行為を行うことはできません。
4. カードを日本国外に輸出または持ち出すことはできません。

第 7 条（損害賠償）

お客様が第 6 条に違反する行為を行い当社に損害を与えた場合、当社は、お客様に対し損害の賠償を請求することがあります。

第8条（約款の変更）

この約款は変更することがあります。この約款の変更事項または新しい約款については、当社のホームページ (<http://www.b-cas.co.jp>) に掲載します。

株式会社 ビーエス・コンディショナルアクセス
システムズ

Sensus software

This software uses parts of sources from clib2 and Prex Embedded Real-time OS – Source (Copyright (c) 1982, 1986, 1991, 1993, 1994), and Quercus Robusta (Copyright (c) 1990, 1993), The Regents of the University of California. All or some portions are derived from material licensed to the University of California by American Telephone and Telegraph Co. or Unix System Laboratories, Inc. and are reproduced herein with the permission of UNIX System Laboratories, Inc. Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met: Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following

disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution. Neither the name of the <ORGANIZATION> nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission. THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

This software uses parts of sources from "libtess". The Original Code is: OpenGL Sample Implementation, Version 1.2.1,

released January 26, 2000, developed by Silicon Graphics, Inc. The Original Code is Copyright (c) 1991-2000 Silicon Graphics, Inc. Copyright in any portions created by third parties is as indicated elsewhere herein. All Rights Reserved. Copyright (C) [1991-2000] Silicon Graphics, Inc. All Rights Reserved. Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions: The above copyright notice including the dates of first publication and either this permission notice or a reference to <http://oss.sgi.com/projects/FreeB/> shall be included in all copies or substantial portions of the Software. THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL SILICON GRAPHICS, INC. BE LIABLE FOR

◀ ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE. Except as contained in this notice, the name of Silicon Graphics, Inc. shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from Silicon Graphics, Inc.

This software is based in parts on the work of the FreeType Team.

This software uses parts of SSLeay Library: Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com). All rights reserved

Linux software

This product contains software licensed under GNU General Public License (GPL) or GNU Lesser General Public License (LGPL), etc.

You have the right of acquisition, modification, and distribution of the source code of the GPL/LGPL software.

You may download Source Code from the following website at no charge: http://www.embedded-carmultimedia.jp/linux/oss/download/TVM_8351_013

The website provides the Source Code "As Is" and without warranty of any kind.

By downloading Source Code, you expressly assume all risk and liability associated with downloading and using the Source Code and complying with the user agreements that accompany each Source Code.

Please note that we cannot respond to any inquiries regarding the source code.

camellia:1.2.0

Copyright (c) 2006, 2007

NTT (Nippon Telegraph and Telephone Corporation). All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer as the first lines of this file unmodified.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NTT ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NTT BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Unicode: 5.1.0

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright c 1991-2013 Unicode, Inc. All rights reserved. Distributed under the Terms of Use in <http://www.unicode.org/copyright.html>.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the Unicode data files and any associated documentation (the "Data Files") or Unicode software and any associated documentation (the "Software") to deal in

the Data Files or Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, and/or sell copies of the Data Files or Software, and to permit persons to whom the Data Files or Software are furnished to do so, provided that (a) the above copyright notice(s) and this permission notice appear with all copies of the Data Files or Software, (b) both the above copyright notice(s) and this permission notice appear in associated documentation, and (c) there is clear notice in each modified Data File or in the Software as well as in the documentation associated with the Data File(s) or Software that the data or software has been modified.

THE DATA FILES AND SOFTWARE ARE PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT OF THIRD PARTY

RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR HOLDERS INCLUDED IN THIS NOTICE BE LIABLE FOR ANY CLAIM, OR ANY SPECIAL INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THE DATA FILES OR SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in these Data Files or Software without prior written authorization of the copyright holder.

Bluetooth®モジュールの適合宣言

Declaration of Conformity

Mitsubishi Electric Corporation Sanda Works
2-3-33, Miwa, Sanda-city, Hyogo, 669-1513 Japan

We declare, at our sole responsibility, that the following product conforms to the Essential Requirements of the Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 1999/5/EC in accordance with the tests conducted to the appropriate requirements of the relevant standards, as listed herewith.

Product :	Audio Navigation Unit
Model/Type Number :	NR-0V
Directive and Standards used :	<u>Radio</u> : EN 300 328 V1.8.1 :2012-6 <u>EMC</u> : EN 301 488-1 V1.9.2 :2011-09 EN 301 488-17 V2.2.1 :2012-09 <u>Safety</u> : IEC 60950-1 :2005 (Second Edition) + Am 1:2009 and/or EN 60950-1 : 2006+A1:2010+A11:2009+A12:2011 <u>Health</u> : EN 62479:2011-09

The authorized signatory to this declaration :

Date: 13th May 2014

Signature: T. Kyamoto

Name: **Takashi Kyamoto**
Title: Manager,
Mitsubishi Electric Corporation Sanda Works
Address: 2-3-33, Miwa, Sanda-city, Hyogo, 669-1513, Japan


The responsible person based within the EC :

Date: 2014-05-14

Signature: Jan Billig

Name: **Jan Billig**
Title: General Manager,
Mitsubishi Electric Automotive Europe B.V.
Swedish Branch, Technical Center
Address: Osttra Ecksbergsgatan 38, SE41878 Gothenburg, Sweden






国/地域	
EU :	<div data-bbox="197 210 344 353" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> 0560</div> <p>輸出国：日本 製造元：Mitsubishi Electric Corporation 機器のタイプ：Audio Navigation Unit</p> <p>Mitsubishi Electric Corporation は本 Audio Navigation Unit が 1999/5/EG 指令の必須条件およびその他の規定に適合することを宣言します。</p>



国/地域	
中国：	<p>1.</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 使用频率：2.4 - 2.4835 GHz ■ 等效全向辐射功率(EIRP)： 天线增益 < 10dBi 时：≤100 mW 或 ≤20 dBm ① ■ 最大功率谱密度： 天线增益 < 10dBi 时：≤20 dBm / MHz (EIRP) ① ■ 载频容限：20 ppm ■ 带外发射功率(在 2.4-2.4835GHz 频段以外) ≤-80 dBm / Hz (EIRP) ■ 杂散发射(辐射)功率(对应载波±2.5 倍信道带宽以外)： <ul style="list-style-type: none"> ● ≤-36 dBm / 100 kHz (30 - 1000 MHz) ● ≤-33 dBm / 100 kHz (2.4 - 2.4835 GHz) ● ≤-40 dBm / 1 MHz (3.4 - 3.53 GHz) ● ≤-40 dBm / 1 MHz (5.725 - 5.85 GHz) ● ≤-30 dBm / 1 MHz (其它 1 - 12.75 GHz) <p>2. 不得擅自更改发射频率、加大发射功率(包括额外加装射频功率放大器)，不得擅自外接天线或改用其它发射天线；</p> <p>3. 使用时不得对各种合法的无线电通信业务产生有害干扰；一旦发现有害干扰现象时，应立即停止使用，并采取措施消除干扰后方可继续使用；</p> <p>4. 使用微功率无线电设备，必须忍受各种无线电业务的干扰或工业、科学及医疗应用设备的辐射干扰；</p> <p>5. 不得在飞机和机场附近使用。</p>



国/地域	
韓国 :	<p>B 급 기기 (가정용 방송통신기자재)</p> <p>이 기기는 가정용(B 급) 전자파적합기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며, 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.</p> <p>해당 무선설비는 전파혼신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없습니다.</p>
台湾 :	<p>低功率電波輻射性電機管理辦法</p> <p>第十二條</p> <p>經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。</p> <p>第十四條</p> <p>低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立停用，改善至無干擾時方得繼續使用。前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電通信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。</p>

国/地域	
ブラジル :	<div data-bbox="199 210 343 356"><p>Modelo: NR-0V</p><p>ANATEL</p><p>Agência Nacional de Telecomunicações</p><p>1801-14-5334</p><p>(01)07898499100959</p></div> <p>Este equipamento opera em caráter secundário isto e, não tem direito a proteção contra interferência prejudicial, mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário.</p> <p>Para consultas, visite: www.anatel.gov.br</p>
カザフスタン :	<div data-bbox="199 487 343 632"></div> <p>モデル名 : NR 0V</p> <p>製造元 : Mitsubishi Electric Corporation</p> <p>輸出国 : 日本</p>



国/地域	
メキシコ:	
アラブ首長国連邦:	

関連情報

- オーディオ・メディア (p. 470)
- メディアプレーヤー (p. 475)
- オンライン車両 (p. 494)
- Gracenote® (p. 478)
- センサス - 接続および維持 (p. 30)

サービスの利用規約とお客様の個人情報保護方針

support.volvocars.com でサービスの利用規約とお客様の個人情報保護方針をお読みください。

サービスの利用規約

ボルボは、お客様にできるだけ安全かつ快適にボルボ車を運転していただけるよう、お客様に最高のサービスを提供することに力を注いでいます。ボルボでは、緊急時の支援からさまざまなインフォテイメントサービスにいたるまで、幅広いサービスを提供します。

サービスをご利用になる前に、support.volvocars.com で利用規約(「Service Terms and Conditions」)をよくお読みください。

お客様の個人情報保護方針

個人情報保護方針はお客様のデータおよび個人情報の取り扱いに適用されます。本方針の目的は、現在、過去および未来のお客様に以下の点について全般的な説明を提供することです。

- 弊社がお客様の個人情報を収集および処理する状況。
- 弊社が収集する個人情報の種類。
- 弊社がお客様の個人情報を収集する理由。
- お客様の個人情報の取り扱い方法。

本方針は support.volvocars.com で全文を読むことができます。

関連情報

- オーディオ・メディアのライセンス契約 (p. 502)
- ドライバーディスプレイのライセンス契約 (p. 140)
- レーダーユニットの型式認定 (p. 352)

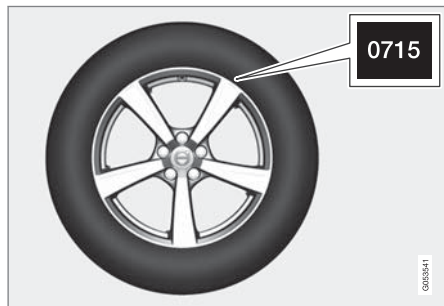
ホイールおよびタイヤ

タイヤ

特にタイヤには、荷重を支え、路面のグリップ力を提供し、振動を抑制して、ホイールを摩擦から保護する機能があります。

タイヤは、車両の走行特性に大きく影響します。タイヤの種類、寸法、タイヤ空気圧、速度記号は、車両の性能に大きな意味を持ちます。

新しいタイヤ



タイヤは消耗品です。製造後数年が経過すると、タイヤは次第に硬くなり、接地性が悪くなります(経年劣化)。タイヤを交換するときは、できるだけ製造年が新しいタイヤと交換してください。特に、ウィンタータイヤの場合は重要です。最後の4桁の数字は、そのタイヤの製造週と製造年を表しています。これはタイヤのDOTマーク(Department of Transportation)と呼ばれ、例えば0715のように表示されます。図

中のタイヤは2015年第7週に製造されたものです。

タイヤの耐用年数

製造日から6年以上経過したタイヤは、摩耗していても必ず専門家による点検が必要です。ほとんど使用されていない場合や、一切使用されていない場合でも、タイヤは経年劣化し、変質します。そのため、機能が劣化します。これは、将来使用するために保管しておくタイヤすべてに当てはまります。亀裂や変色などがあるタイヤは、絶対に使用しないでください。

摩耗とメンテナンス

タイヤ空気圧が適正であれば、タイヤは均一に磨耗します。タイヤの寿命および摩耗は、運転スタイル、タイヤ空気圧、気候および路面状況などに影響されます。

タイヤの片減りなどを防ぎ、タイヤの摩耗を均一にするため、前輪と後輪のタイヤをローテーションすることをお勧めします。初回は約5,000 km 走行後、その後は10,000 km 走行毎に実施してください。

トレッド溝の深さについてご不明な点は、ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。タイヤ間で摩耗の度合いが著しく異なる(トレッドの深さの差が > 1 mmより大きい)場合には、一番摩耗が少ないタイヤを必ず後輪に装着してください。アンダーステア時は、車両後部が片側に横滑りするよりまっすぐ前進するため、オーバーステア時より修正しやすいのが普

通です。後輪が横滑りすると、車両の制御を完全に失う可能性がありますので、後輪が前輪より早くグリップ力を失うことがないようにすることが重要です。

警告

タイヤが損傷していると、車両を制御できなくなるおそれがあります。

保管

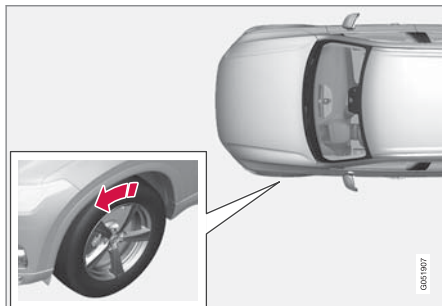
タイヤを取り付けた状態のホイールを保管するときは、横に寝かせるか吊るすかをしてください。立てかけた状態で保管しないでください。

関連情報

- タイヤ空気圧の点検 (p. 518)
- タイヤの回転方向 (p. 517)
- タイヤのトレッド摩耗インジケーター (p. 517)
- タイヤ・プレッシャー・モニタリング (p. 519)
- 緊急パンクリペアーキット (p. 529)
- タイヤのサイズ表示 (p. 542)

タイヤの回転方向

トレッドパターンが一方方向にのみ回転するようにデザインされているタイヤは、サイドウォール部にタイヤの回転方向が矢印で表示されています。



矢印は、タイヤの前進回転方向を示します。

タイヤの使用期間中、前進時の回転方向がつねに同じになるように装着してください。タイヤは前後の入れ替えはできますが、絶対に左右を入れ替えしないでください。タイヤが正しく装着されていない場合、降雨時などでブレーキ性能が低下する原因になります。摩耗が少ない(トレッド溝が深い)タイヤをリアに装着すると、スリップしにくくなります。

① 注意

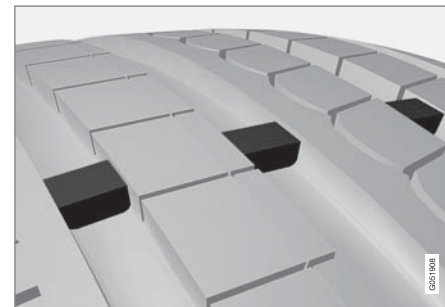
同じタイプ、同じサイズで、同じメーカーのものを装着するよう徹底してください。

関連情報

- タイヤ (p. 516)

タイヤのトレッド摩耗インジケータ

トレッド摩耗インジケータはタイヤのトレッド溝の状態を示します。



トレッド摩耗インジケータは、タイヤのトレッドパターンの縦溝を横切るように埋め込まれている細い隆起物です。タイヤの側面に TWI (Tread Wear Indicator) の文字が表示されています。トレッド溝の深さが 1.6 mm になると、トレッドはトレッド摩耗インジケータと同じ高さになります。すみやかに新しいタイヤと交換してください。摩耗したタイヤは、雨や雪で濡れた路面などでグリップ力が非常に悪くなり、スリップの原因になります。

関連情報

- タイヤ (p. 516)

タイヤ空気圧の点検

タイヤを適切な空気圧で使用すると、走行安全性の向上と燃料の節約につながるとともに、タイヤの寿命が延びます。

タイヤ空気圧は時間と共に低下しますが、これは異常ではありません。タイヤ空気圧は、外気温によっても変化します。タイヤ空気圧が不十分であれば、燃料消費が増加し、タイヤの寿命が短くなり、車両の走行特性に悪影響を及ぼします。タイヤ空気圧が低過ぎると、走行中にタイヤが過熱して損傷するおそれがあります。タイヤ空気圧は、走行快適性やロードノイズ、走行特性に影響します。

適正タイヤ空気圧



運転席側ドアピラー(フレームとリアドアの間)にタイヤ空気圧表示ラベルがあり、異なる荷重および走行速度におけるタイヤの適正空気圧が表示されています。

ECO プレッシャーによる燃費向上

160 km/h (100 mph)未満の車速で最適な燃費を確保するために、ECO プレッシャーが推奨されています(満載時および軽積載時の両方に適用)。

空気圧の点検

1. タイヤ空気圧を毎月1回点検してください。タイヤが冷えている状態(外気温と同じ状態)で、空気圧を点検してください。タイヤは数km走行しただけで温まり、内部の空気圧が上がります。
2. 必要に応じて、タイヤ空気圧表示ラベルに記載されている値と一致するように空気圧を調整してください。

i 注意

- タイヤに空気を充填した後は、砂利や土によるバルブの損傷を防ぐため、必ずダストキャップを取り付けてください。
- 必ずプラスチック製ダストキャップを使用してください。金属製のダストキャップは腐食して緩めにくくなることがあります。

関連情報

- タイヤ (p. 516)
- タイヤ・プレッシャー・モニタリング・システムを使用してタイヤ空気圧を点検する (p. 521)


- 緊急パンクリペアーキットのコンプレッサーを使用してタイヤに空気を入れる (p. 533)
- 承認タイヤ空気圧 (p. 610)

タイヤ・プレッシャー・モニタリング³

タイヤ・プレッシャー・モニタリング・システム、Tyre Pressure Monitoring System (TPMS) は、1本以上のタイヤの空気圧が低下したときにドライバーディスプレイの表示灯で警告します。

表示灯が最初に約1分間点滅した後、点灯に変わった場合、システムがタイヤ空気圧の低下を検出できない、またはタイヤ空気圧の低下を正しく警告できないことを示している可能性があります。

タイヤ・プレッシャー・モニタリング・システムは、各ホイールのエアバルブにあるセンサーを使用します。約30 km/h (20 mph)以上で走行しているときに、システムがタイヤ空気圧を検出します。空気圧が低下しすぎると、ドライバーディスプレイにタイヤ空気圧低下の表示灯が点灯し、メッセージが表示されます。

シンボル	意味
	このシンボルは、タイヤ空気圧が低いときに点灯します。 TPMS システムに不具合がある場合、このシンボルは最初に約1分間点滅してから点灯に変わります。

タイヤ・プレッシャー・モニタリング・システムの概要

各タイヤ(スペアタイヤを含む)は毎月1回点検する必要があります。タイヤを車両メーカー推奨の空気圧(タイヤ空気圧表またはタイヤ空気圧ラベルに表示されている値)にし、タイヤが冷えている状態で点検してください。タイヤのサイズがメーカー推奨のサイズと異なる場合、装着しているタイヤの適正空気圧を調べてください。

追加の安全機能として、車両にはタイヤ・プレッシャー・モニタリング・システム(TPMS)が装備されており、タイヤの空気圧が低すぎるときに、その状態が表示されます。タイヤ空気圧低下を知らせる表示灯が点灯した場合、すみやかに停車してタイヤを点検し、適切な空気圧に調整してください。

タイヤの空気圧が低下した状態で走行を続けると、タイヤが過熱してパンクする可能性があります。タイヤの空気圧が低下していると、燃費が悪化し、タイヤの寿命が短くなるとともに、車両のハンドリング性および停止性能にも悪影響を及ぼす可能性があります。TPMS が装着されていても、定期的なタイヤメンテナンスは必要です。タイヤ空気圧の低下限度に達しておらず、表示灯が点灯していない場合でも、適切なタイヤ空気圧を維持することは運転者の責任です。

車両には、TPMS システム不具合インジケータも装備されています。このインジケータはシステムが正常に機能していないことを表示します。TPMS システム不具合インジケータは、タイヤ空気圧低下の表示灯と組み合わされます。システムが不具合を検出すると、ドライバーディスプレイの表示灯が約1分間点滅してから点灯に変わります。この動作は、不具合が修正されるまで車両の始動時に繰り返されます。表示灯が点灯している場合、システムのタイヤ空気圧低下の検出あるいは警告機能が影響を受けることがあります。

TPMS システムの不具合が発生した場合、スペアタイヤへの変更、TPMS の正常な機能を妨げるタイヤまたはホイールへの交換など、いくつかの原因が考えられます。

タイヤを1個でも交換した場合、必ず TPMS の表示灯を確認して、新しいタイヤまたはホイールで TPMS が正常に機能していることを確認してください。

工場装着ホイールおよびオプションホイールのどちらも、バルブに TPMS センサーを装備することができます。スペアタイヤ、または TPMS センサー非装備のホイールを使用すると、数分間走行した後に、ドライバーディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

TPMS システムが機能している場合でも、タイヤのメンテナンスは実施してください。

³ 一部市場では標準装備。

44 ドライバーディスプレイのメッセージ

表示灯が点灯すると、以下のメッセージが表示されることがあります。

- **タイヤ監視システム 販売店に お問い合わせください**
- **タイヤ空気圧監視システム 一時的に利用不可です**
- **タイヤ空気圧低下**、該当するタイヤも表示。
- **タイヤ 1つが今すぐヒヤ**、該当するタイヤも表示。

システムが空気圧の低下しているタイヤを特定できない場合、次のような一般的なメッセージが表示されます。

- **タイヤ空気圧低下 タイヤを点検して下さい**
- **タイヤ 1つが今すぐヒヤ タイヤを点検して下さい**

推奨

- TPMS センサーは車両のすべてのホイール（ウインタータイヤも同様）に取り付ける必要があります。
- ホイール間でセンサーを入れ替えないでください。
- ホイールを交換した場合、または TPMS センサーを別のホイールに移した場合、バルブシールおよびバルブコアを交換する必要があります。

- TPMS センサーを取り付けた場合、車両を 15 分以上オフにしてください。これを怠ると、ドライバーディスプレイにエラーメッセージが表示されます。
- タイヤ交換後は、必ずシステムを点検し、交換したホイールでシステムが正しく機能しているか確認してください。システムの不具合警告を防止するために、新しいホイールに TPMS センサーが装備されていることを確認してください。

① 注意

タイヤサイズを変更した結果、推奨タイヤ空気圧が変化した場合、TPMS システムを設定し直す必要があります。詳しくは、ボルボディーラーにお問い合わせください。

機能の解除⁴

タイヤ・プレッシャー・モニタリングはセンターディスプレイでオフにすることができます。

1. 駐車してエンジンを停止します。
2. イグニッション位置 **I** にします。
3. トップビューで **設定** を押します。
4. **My Car → IntelliSafe** の順に押して、**タイヤ空気圧モニタリング** を解除します。
 - › 次回オンにするまで、機能は解除されたままになります。

関連情報

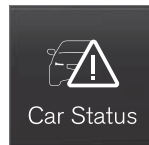
- タイヤ (p. 516)
- タイヤ・プレッシャー・モニタリング・システムを使用してタイヤ空気圧を点検する (p. 521)
- タイヤ・プレッシャー・モニタリング・システムの校正 (p. 523)
- タイヤ・プレッシャー・モニタリングによるタイヤ空気圧の修正 (p. 522)
- タイヤ・プレッシャー・モニタリング・システムの型式認定 (p. 525)

⁴ 特定市場のみに適用。

タイヤ・プレッシャー・モニタリング・システム⁹を使用してタイヤ空気圧を点検する

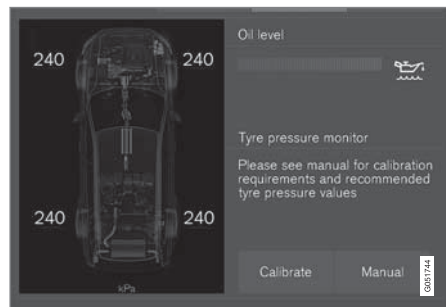
タイヤ空気圧のモニターシステムである Tyre Pressure Monitoring System (TPMS)の使用により、タイヤ空気圧をセンターディスプレイに表示することができます。

状態の点検



アプリビューで **車両の状態** アプリを開き、**ステータス** をタップしてタイヤ・プレッシャー・モニタリングの値を表示させます。

図に各タイヤの空気圧が表示されます。



ステータスビュー¹⁰

⁹ 一部市場では標準装備。

¹⁰ 図は概略図です。配置は、車両モデルまたはソフトウェアのアップデートにより異なる場合があります。

状態表示

タイヤ空気圧が正常(タイヤ空気圧低下とみなされる許容限界値を上回っている状態)である場合、タイヤ空気圧値のみが表示されます。

- タイヤ空気圧値の下に黄色のマークがある場合、タイヤ空気圧が低下していることを示しています。すみやかに停車して、タイヤ空気圧を点検/修正してください。
- タイヤ空気圧値の下に赤色のマークがある場合、タイヤ空気圧が著しく低下していることを示しています。すみやかに停車して、タイヤ空気圧を修正してください。
- タイヤ空気圧値が表示されていない場合、30 km/h (20 mph)を超える速度で数分間走行すると、値が表示されることがあります。この状態は、システムがまだ値を測定していないこと、または校正中であることを示している可能性があります。
- 表示灯の点滅が約1分後に点灯に変わり、メッセージ **販売店にお問い合わせください** が表示された場合、システムに不具合があります。

タイヤ・プレッシャー・モニタリングの設定

タイヤ空気圧の単位はセンターディスプレイを使用して変更してください。

1. トップビューで **設定** を押します。

2. **システム** → **単位** を押します。

3. **タイヤ空気圧** で、**Bar**、**kPa**、**Psi** の中からタイヤ空気圧の単位を選択します。

関連情報

- タイヤ・プレッシャー・モニタリング (p. 519)
- タイヤ・プレッシャー・モニタリング・システムの校正 (p. 523)
- タイヤ・プレッシャー・モニタリングによるタイヤ空気圧の修正 (p. 522)
- 車両状態 (p. 544)

タイヤ・プレッシャー・モニタリング¹⁴によるタイヤ空気圧の修正

タイヤ・プレッシャー・モニタリング・システム、Tyre Pressure Monitoring System (TPMS) は、1本以上のタイヤの空気圧が低下したときに運転者に警告を出します。



TPMS の表示灯が点灯し、**タイヤ空気圧低下** または **タイヤエアが今すぐヒット** というメッセージが表示されたら、タイヤ空気圧を点検および修正してください。

1. タイヤプレッシャーゲージを使用して、指示通りにタイヤ空気圧を点検します。

2. 運転席側ドアピラーのタイヤ空気圧表示ラベルに従って、タイヤを適切な空気圧に調節します。



3. TPMS シンボルとメッセージを消去するには、状況により、30 km/h (20 mph) を超える速度で車両を数分間走行させることが必要になる場合があります。

① 注意
<ul style="list-style-type: none">● TPMS システムは、タイヤ温度および外気温の両方に基づいて、補正空気圧値を使用します。このため、タイヤ空気圧は、運転席側ドアピラー(フロントドアとリアドアの間)のタイヤ空気圧表示ラベルに記載されている推奨空気圧と多少異なることがあります。そのため、タイヤの温度が高いときに、タイヤの低空気圧におけるメッセージを消去するためには、推奨空気圧よりも高い約 0.3bar、または 30kPa になるよう空気を充填する必要がある場合があります。● タイヤ空気圧を正しく調節するには、タイヤが冷えた状態で空気圧を点検する必要があります。「タイヤが冷えた状態」とは、タイヤが外気温と同じ温度である状態です(車両の停止から約 3 時間後)。数キロ走行するだけでタイヤ温度が上昇し、タイヤ空気圧も上昇します。

¹⁴ 一部市場では標準装備。

① 注意

- タイヤに空気を充填した後は、砂利や土によるバルブの損傷を防ぐため、必ずダストキャップを取り付けてください。
- 必ずプラスチック製ダストキャップを使用してください。金属製のダストキャップは腐食して緩めにくくなることがあります。

⚠ 警告

TPMS 装着のタイヤに空気を充填する際は、バルブを傷付けないように、エアポンプのノズルをバルブにまっすぐ当ててください。

⚠ 警告

- タイヤ空気圧が正しくないと、タイヤに不具合が発生し、運転者が車両を制御できなくなるおそれがあります。
- システムはタイヤの突然の損傷を事前に予測することはできません。

関連情報

- タイヤ・プレッシャー・モニタリング (p. 519)
- タイヤ・プレッシャー・モニタリング・システムを使用してタイヤ空気圧を点検する (p. 521)

- タイヤ・プレッシャー・モニタリング・システムの校正 (p. 523)
- 承認タイヤ空気圧 (p. 610)
- 緊急パンクリペアーキットのコンプレッサーを使用してタイヤに空気を入れる (p. 533)

タイヤ・プレッシャー・モニタリング・システム¹⁸の校正

必要に応じて、タイヤ・プレッシャー・モニタリング・システム、Tyre Pressure Monitoring System (TPMS)の基準値を変更します。

重い荷物を積んで走行する場合や高速で走行する場合などは、ボルボの推奨タイヤ空気圧に基づいてタイヤ空気圧を調節した後、TPMS システムを校正してください。

① 注意

校正を開始するときは、車両が静止している必要があります。

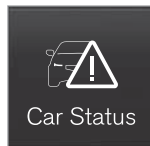
1. エンジンを止めてください。



- ◀ 2. 運転席側ドアピラーのタイヤ空気圧表示ラベルに従って、タイヤに必要な空気圧に調節します。



3. エンジンを始動します。
4. アプリビューで **車両の状態** アプリを開きます。



5. **ステータス** をタップして、タイヤ・プレッシャー・モニタリングを表示します。

6. **校正、完了** の順に押します。

校正はセンターディスプレイのトップビューからも開始できます。**設定 → My Car → IntelliSafe** を押して、**タイヤ空気圧の校正** を選択します。

7. 30 km/h (20 mph)以上の速度で10分以上走行します。
- > 初期化の後、校正が自動的に始まります。校正が完了すると、システムから確認通知があります。

新しい基準値が適用されます。新しい基準値は校正を再度行うまで使用されます。

関連情報

- **タイヤ・プレッシャー・モニタリング** (p. 519)
- **タイヤ・プレッシャー・モニタリング・システム**を使用してタイヤ空気圧を点検する (p. 521)
- **タイヤ・プレッシャー・モニタリングによるタイヤ空気圧の修正** (p. 522)

¹⁸ 一部市場では標準装備。

タイヤ・プレッシャー・モニタリング・システム²²の型式認定

タイヤ・プレッシャー・モニタリング・システム、Tyre Pressure Monitoring System (TPMS)

のセンサーの型式認定は次表に記載されています。

国/地域	
ヨーロッパ EU	Schrader Electronics Ltd. は本 TPMS が 1999/5/EC 指令の必須条件およびその他の規定に適合することをここに宣言します。適合宣言書については、emcteam@schrader.co.uk にお問い合わせください。
セルビア	
モルドバ	


²² 一部市場では標準装備。



国/地域	
ウクライナ	<div data-bbox="292 182 734 409" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="292 434 1458 613">Schrader Electronics цім стверджує, що обладнання Радіопередавач моделі VHSS4 системи контролю тиску в шині автомобіля відповідає вимогам Технічного регламенту радіообладнання і телекомунікаційного кінцевого (термінального) обладнання (Постанова КМУ № 679 від 24 червня 2009 р.) Декларація відповідності знаходиться на сайті Schrader Electronics та надається за запитом на електронну адресу електронну адресу</p> <p data-bbox="292 633 517 650">emcteam@schrader. co. uk</p>
ブラジル	<div data-bbox="292 675 734 902" data-label="Image"> </div>

国/地域	
アラブ首長国連邦	<p>TRA</p> <p>登録番号: ER36479/14</p> <p>ディーラー番号: DA0047074/10</p>
フィリピン	
ヨルダン	<p>ヨルダン王国のタイヤ・プレッシャー・センサー型式認定。</p> <p>製造元: Schrader Electronics Ltd</p> <p>モデル: VH SS4</p> <p>型式認定番号: TRC/LPD/2014/261</p>
シンガポール	<p>適合規格</p> <p>IDA 規格</p> <p>DA 105282</p>



国/地域	
南アフリカ	
モロッコ	<p>AGREE PAR L' ANRT MAROC</p> <p>Numéro d'agrément: MR10410 ANRT</p> <p>2015</p> <p>Date d'agrément: 21/05/2015</p>
アルゼンチン	<p>Schrader VHSS4 Numero de Registro CNC: AFTIC: H-14802</p>

関連情報

- タイヤ・プレッシャー・モニタリング
(p. 519)

緊急パンクリペアーキット

緊急パンクリペアーキット、Temporary Mobility Kit (TMK)は、パンクを塞ぐときや空気圧の点検および調節を行うときに使用します。

緊急パンクリペアーキットは、電動エアコンプレッサーおよびシーリングリキッドが入った容器で構成されています。このキットは応急修理用です。シーリングリキッドは、トレッド部のパンクした箇所を効果的にシールします。

緊急パンクリペアーキットは、タイヤのサイドウォール部のパンク修理には使用しないでください。裂け、亀裂などの損傷が大きいタイヤには、パンク修理キットを使用しないでください。

i 注意

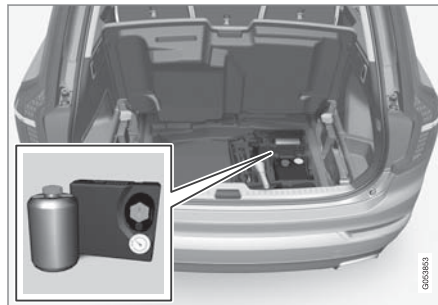
緊急パンクリペアーキットは、タイヤのトレッド部のパンクした部分をシールすることのみを目的としています。

i 注意

緊急パンクリペアーキット用コンプレッサーはボルボによりテストされ、承認されています。

位置

緊急パンクリペアーキットは、カーゴスペースのフロアマット下のフォームブロック内にあります。



カーゴスペース内の収納位置²⁴

シーリングリキッド容器

使用期限が切れてしまう前、または使用後は、シーリングリキッド容器を中身ごと交換してください。取り外した容器は、危険ゴミとして廃棄してください。

⚠ 警告

ボトルには、1.2 エタノールおよびナチュラルラバーラテックスが入っています。

誤飲すると危険です。皮膚に触れると、アレルギー反応を起こすおそれがあります。

皮膚に触れたり、目に入らないようにご注意ください。

お子様の手の届かない場所に保管してください。

⚠ 警告

シーリング剤が皮膚に付着した場合、石けんと大量の水ですぐに洗い流してください。

関連情報

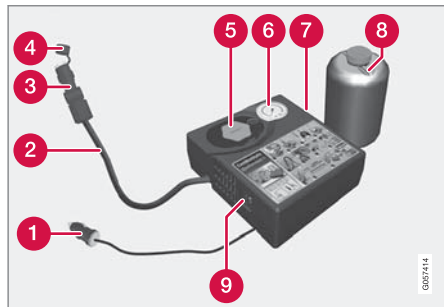
- 緊急パンクリペアーキットを使用する (p. 530)
- 緊急パンクリペアーキットのコンプレッサーを使用してタイヤに空気を入れる (p. 533)
- タイヤ (p. 516)

²⁴ 図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なる場合があります。

緊急パンクリペアーキットを使用する

緊急パンクリペアーキット、Temporary Mobility Kit (TMK)を使用してパンクを塞ぎます。

概要

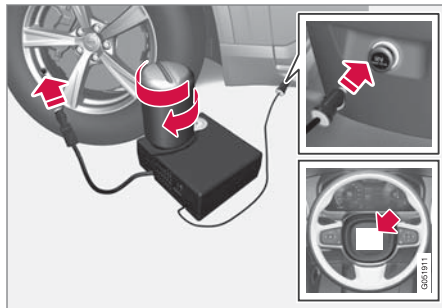


- 1 電気ケーブル
- 2 エアホース
- 3 プレッシャーリリーフバルブ
- 4 プロテクティブキャップ
- 5 ボトルホルダー(オレンジ色キャップ)
- 6 プレッシャーゲージ
- 7 制限速度の表示ラベル

8 シーリングリキッド容器

9 スイッチ

接続



1. 車が往来する場所で作業する場合は、必ず三角警告板(停止表示板)を立てて、非常点滅灯を作動させてください。

釘などが刺さってパンクした場合、刺さっているものをタイヤに残したままにしてください。穴をふさぐのに役立ちます。

2. 制限速度の表示ラベル(コンプレッサーの片側にあります)を外して、ステアリングホイール部の運転者の見やすい位置に貼ります。緊急パンクリペアーキット使用後は、絶対に 80 km/h (50 mph) を超える速度で走行しないでください。

3. スイッチが 0 位置にあることを確認し、電気ケーブルおよびエアホースを適切に配置します。
4. オレンジ色のキャップをコンプレッサーから外し、ボトルのコルクを外します。

注意

ご使用前にボトルのシールを開けないでください。ボトルを締め込むと、シールが自動的に開封されます。

5. ボトルをボトルホルダーの下までねじ込みます。

× ボトルおよびボトルホルダーにはシーラントの漏れ防止のためにリバースキャッチが装備されています。一度ねじ込むと、ボトルはボトルホルダーから外すことができません。ボトルの取り外しは、ボルボ指定のサービス工場で行う必要があります。

警告

シーリングリキッドが皮膚に触れると、炎症を起こすおそれがあります。皮膚に付いた場合は、ただちに水と石鹸で十分に洗い流してください。

警告

使用後は、ボトルをホルダーから外さないでください。ボトルには、液漏れを防ぐためのリバースキャッチが付いています。

6. タイヤのダストキャップを外します。

エアホースのプレッシャーリリーフバルブが完全にねじ込まれていることを確認し、エアホースのバルブコネクタをタイヤバルブのネジ部の下までねじ込みます。

7. 電気ケーブルをもっとも近くの 12V 電源ソケットに接続して、車両を始動します。

注意

コンプレッサーの作動中には、その他の 12V 電源ソケットを一切使用しないでください。

警告

エンジン作動中、お子様だけを車内に残したまま、車両から絶対に離れないでください。

8. スイッチを **I** 位置にして、コンプレッサーを起動させます。

警告

コンプレッサーでタイヤに空気を充填している間は、タイヤの横に立たないでください。タイヤにヒビ割れ、ふくらみなどの異常が認められた場合は、ただちにコンプレッサーを停止してください。このような場合は、走行しないでください。タイヤ販売店、またはボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

注意

コンプレッサーが作動すると圧力は 6 バール程度まで上昇しますが、約 30 秒後に圧力は低下します。

9. 7 分間タイヤに空気を充填します。

重要

オーバーヒートのおそれがあります。コンプレッサーを 10 分以上連続して使用しないでください。

- ◀ 10. コンプレッサーのスイッチを切り、プレッシャーゲージの圧力を確認します。タイヤ空気圧が 1.8 ~ 3.5 バールであれば正常です。(タイヤ空気圧が高過ぎる場合は、プレッシャーリリースバルブを使用して圧力を下げます。)

警告

タイヤ空気圧が 1.8 バール以下の場合、タイヤのパンク穴が大き過ぎることを意味します。このような場合は、走行しないでください。タイヤ販売店、またはボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

11. コンプレッサーをオフにして、電気ケーブルを外します。
12. エアホースをタイヤバルブから外して、ダストキャップをタイヤに元通りに取り付けます。
13. 残りのシーリングリキッドの漏れ防止のため、エアホースに保護キャップを取り付けます。

14. シーリングリキッドでパンク穴が確実に塞がれるように、すみやかに 80 km/h (50 mph) 以下の速度で 3 km 以上走行します。

注意

最初の数回転ではタイヤのパンク穴からシーリングリキッドが噴き出します。

警告

車両を発進させるときには、車両の近くに誰もいないこと、シーリング剤が誰にもかからないことを確認してください。少なくとも 2 m 以上離れる必要があります。

15. 事後点検

エアホースをタイヤバルブに接続し、バルブコネクタをタイヤバルブのネジ部の下までねじ込みます。コンプレッサーのスイッチをオフにします。

16. プレッシャーゲージの圧力を読み取ります。

- タイヤ空気圧が 1.3 バール以下の場合、タイヤのパンク穴が十分にシールされていません。このような場合は、走行しないでください。タイヤ販売店にご連絡ください。
- タイヤ空気圧が 1.3 バール以上ある場合は、運転席側ドアピラーのタイヤ空気圧ラベルに記載されている適正な空気圧に達するまで、空気を充填します(1 バール = 100 kPa)。タイヤ空気圧が高過ぎる場合は、リリースバルブを使用して圧力を下げます。

17. タイヤに空気を注入する必要がある場合：

1. 電気ケーブルをもっとも近くの 12V 電源ソケットに接続して、車両を始動します。
2. コンプレッサーをオンにして、タイヤ空気圧ラベルに記載されている適正な空気圧に達するまで空気を注入します。
3. コンプレッサーを止めます。

18. タイヤシーリング用品を取り外し、エアホースに保護キャップを取り付けて、ホースを箱に収納します。

TMK はカーゴスペースに入れてください。

⚠ 警告

使用後は、ボトルをホルダーから外さないでください。ボトルには、液漏れを防ぐためのリバースキャッチが付いています。

19. ダストキャップをタイヤに元通りに取り付けます。

i 注意

- タイヤに空気を充填した後は、砂利や土によるバルブの損傷を防ぐため、必ずダストキャップを取り付けてください。
- 必ずプラスチック製ダストキャップを使用してください。金属製のダストキャップは腐食して緩めにくくなることがあります。

i 注意

シーリングリキッド容器およびホースを使用した後は、必ず新品と交換してください。交換は、ボルボ指定のサービス工場に依頼してください。

⚠ 警告

タイヤ空気圧は、定期的に点検してください。

最寄りのボルボ指定のサービス工場で、パンクしたタイヤを交換または修理してください。サービス工場に、シーリングリキッドでタイヤを修理したことを伝えてください。

⚠ 警告

緊急パンクリペアーキット使用後は、絶対に 80 km/h (50 mph) を超える速度で走行しないでください。応急修理をしたタイヤは、ボルボ指定のサービス工場で点検を受けてください(最高許容走行距離: 200 km)。専門知識のあるスタッフが、そのタイヤは修理可能か、あるいは新しいタイヤと交換する必要があるか判断します。

関連情報

- 緊急パンクリペアーキット (p. 529)

緊急パンクリペアーキットのコンプレッサーを使用してタイヤに空気を入れる

車両の純正のタイヤは、緊急パンクリペアーキットに入っているコンプレッサーを使用して空気を入れることができます。

1. コンプレッサーのスイッチをオフにします。スイッチが **0** 位置にあることを確認し、ケーブルおよびエアホースを取り出します。
2. ホイールのダストキャップを外し、エアバルブのネジ山下部まで、エアホースのバルブを接続します。
3. ケーブルを車両の 12V 電源ソケットに接続して、エンジンを始動します。

⚠ 警告

車の排気ガスを吸入すると、生命に関わるおそれがあります。ガレージなどの密閉された場所や、十分な換気設備のない場所では、絶対にエンジンを始動しないでください。

⚠ 警告

エンジン作動中、お子様だけを車内に残したまま、車両から絶対に離れないでください。

4. スイッチを **I** 位置にして、コンプレッサーを起動させます。

重要

オーバーヒートのおそれがあります。コンプレッサーを10分以上連続して使用しないでください。

5. 運転席側ドアピラーのタイヤ空気圧ラベルに表示されている数値まで、タイヤに空気を充填します。(タイヤ空気圧が高過ぎる場合は、プレッシャーリリーフバルブを使用して圧力を下げます。)



6. コンプレッサーを止めます。エアホースおよびケーブルの接続を外します。
7. ダストキャップを元通りに取り付けます。

関連情報

- 緊急パンクリペアーキット (p. 529)
- 承認タイヤ空気圧 (p. 610)

ホイールを交換する場合

車両のホイールは、ウインタータイヤやスペアタイヤなどに交換することができます。

ホイールの取り外しおよび取り付け方法に従ってください。

サイズの異なるタイヤに変更する場合

タイヤサイズの変更ごとにソフトウェアのアップデートについて、ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。サイズの異なるタイヤ(大または小)に変更する場合や、サマータイヤとウインタータイヤを履きかえる場合には、ソフトウェアのダウンロードが必要になることがあります。

関連情報

- ホイールの取り外し (p. 534)
- ホイールの取り付け (p. 537)
- カーゴスペース内のツール (p. 539)
- ウィンタータイヤ (p. 538)
- スペアタイヤ* (p. 538)
- ホイールボルト (p. 538)

ホイールの取り外し

ホイール交換時のホイール取り外し方法

1. 車が往来する場所でホイールを交換する場合は、必ず三角警告板(停止表示板)を立てて、非常点滅灯を作動させてください。
2. パーキングブレーキをかけて、ギヤセレクターレバーを **P** 位置にします。

レベル制御*装備車に適用されます。エアサスペンション装備車の場合、ジャッキで車両を持ち上げる前にエアサスペンション機能を解除する必要があります。

センターディスプレイのトップビューで**設定**→**My Car**→**サスペンション**を押し、**サスペンションとハイリング制御の解除**を選択して機能を解除してください。

警告

ジャッキが損傷していないか、すべてのネジ山がよく潤滑されているか、泥などが付着していないか確認してください。

- ジャッキ*、ホイールレンチ*、ホイールボルトのプラスチックキャップ取り外しツールをフォームブロックから取り出します。



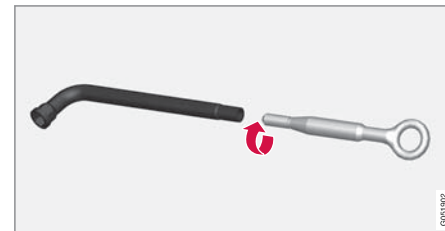
ホイールボルトのプラスチックキャップ取り外しツール

注意

通常のカージャッキは、パンクしたタイヤの交換時やウインタータイヤ/サマータイヤの取り換え時など、短時間で間使用することだけを想定したものです。車両をジャッキアップするときには、特定の車両モデル専用のジャッキを使用する必要があります。ジャッキをより頻繁に使用する場合や、単純なタイヤ交換より長い時間使用する場合には、修理工場用のジャッキの使用をおすすめします。この場合、そのジャッキに添付の取扱指示に従ってください。

- 地面に接しているタイヤの前後に輪止めをします。例えば、重い木片や、大きな石などで代用しても構いません。

- けん引フックが止まるまでねじ込んでホイールレンチ*とつなぎ合わせます。



重要

けん引フックは、必ずホイールボルトレンチの奥まで完全にねじ込んでください。

- 専用ツールを使用して、ホイールボルトからプラスチックキャップを取り外します。
- ホイールボルトを、ホイールレンチで反時計方向に $\frac{1}{2}$ ~1回転ゆるめます。



警告

地面とジャッキの間、およびジャッキポイントとジャッキの間に、なにも挟まないでください。

重要

地面が平坦かつ水平で、安定していることを確認してください。

8. 車両を持ち上げる場合は、ジャッキまたはリフティングアームを車両のアンダーボディの取り付けポイントに正しく取り付けることが重要です。プラスチックカバーの三角マークはジャッキポイントを示しています。車両の各側には、ジャッキポイントが2箇所ずつあります。各ポイントには、ジャッキ用の窪みが設けられています。



車両のジャッキポイントと接触するように、ジャッキを上げます。ジャッキのヘッドがジャッキポイントに正しくセットされ、ヘッドの中心の突起がジャッキポイント穴に入っていること、ジャッキの土台がジャッキポイントの真下にきていることを確認してください。必ず、クランクが車両の側面からできるだけ離れるようにジャッキを向けてください。このとき、ジャッキアームは車両の方向と垂直になります。

警告

ジャッキで車を持ち上げているときは、絶対に車の下に入らないでください。

車両をジャッキで持ち上げる前に、乗員は全員車の外に出てください。交通量の多い場所でタイヤを交換せざるを得ない場合、乗員は安全な場所に退避しておく必要があります。

- 9.パンクしたタイヤが地面から離れるまで、車体をジャッキアップします。ホイールボルトを取り外し、ホイールを外します。

関連情報

- ホイールを交換する場合 (p. 534)
- 車両を持ち上げる (p. 551)
- ホイールの取り付け (p. 537)
- カーゴスペース内のツール (p. 539)

ホイールの取り付け

タイヤ交換時のタイヤ取り付け方法

⚠ 警告

ジャッキで車を持ち上げているときは、絶対に車の下に入らないでください。

車両をジャッキで持ち上げる前に、乗員は全員車の外に出てください。交通量の多い場所でタイヤを交換せざるを得ない場合、乗員は安全な場所に退避しておく必要があります。

1. ホイールとハブの接合面をきれいにします。
2. タイヤを取り付けます。ホイールボルトを確実に締め付けます。
3. タイヤが回らなくなる位置まで車体を下げます。

4. ホイールボルトを対角線順に締め付けます。必ず正しいトルクで締め付けてください。140 Nmで締めてください。トルクレンチを使用して、締め付けトルクを確認してください。



5. ホイールボルトにプラスチックキャップを取り付けます。

ⓘ 注意

- タイヤに空気を充填した後は、砂利や土によるバルブの損傷を防ぐため、必ずダストキャップを取り付けてください。
- 必ずプラスチック製ダストキャップを使用してください。金属製のダストキャップは腐食して緩めにくくなることがあります。

関連情報

- ホイールの取り外し (p. 534)
- ホイールを交換する場合 (p. 534)
- スペアタイヤ* (p. 538)

ホイールボルト

ホイールボルトは、ホイールをハブに取り付けるために使用されています。

❗ 重要

ホイールボルトは 140 Nm で締めることが必要です。強く締め過ぎると、ナットおよびボルトが損傷するおそれがあります。

ボルボ社の認定を受けた、ボルボ純正品、または純正アクセサリパーツのみを使用してください。トルクレンチを使用して、ホイールボルトの締め付けトルクを確認してください。

ロックホイールボルト*

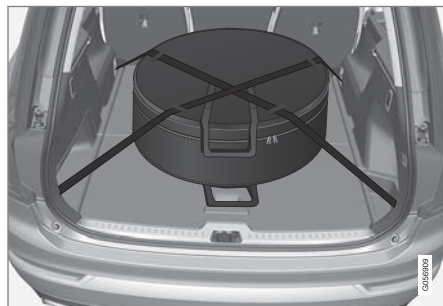
カーゴスペースフロア下のフォームブロックには、ロックホイールボルト用スリーブを収納するスペースがあります。

関連情報

- ホイールを交換する場合 (p. 534)

スペアタイヤ*

通常のタイヤがパンクした場合、代わりにスペアタイヤを使用することができます。



スペアタイヤはバッグの中に収納されており、走行中はカーゴスペースのフロアに2本のストラップで固定されている必要があります。3列目シートのヘッドレストは下げしておく必要があります。

ストラップは必ずタイヤに交差するよう引張り、車両の4つの荷物固定用アイレットに取り付けます。

スペアタイヤのタイヤ空気圧も、定期的に点検します。

関連情報

- ホイールを交換する場合 (p. 534)

ウィンタータイヤ

ウィンタータイヤは冬季の路面状況に適しています。

ウィンタータイヤは、ボルボ社が推奨するタイヤサイズを装着してください。タイヤサイズは、エンジンタイプにより異なります。ウィンタータイヤで走行する際には、必ずすべての車輪に正しいタイプのタイヤを装着してください。

❗ 注意

車両にもっとも適したタイヤのタイプおよびホイールリムについては、ボルボディーラーにお問い合わせください。

ウィンタータイヤへの交換に関するヒント

サマータイヤとウィンタータイヤを交換するときなどは、タイヤをどこから取り外したかわかるように、例えば、左前輪なら「左前」、右後輪なら「右後」のように、各タイヤに必ずマークを付けてください。

スタッド付きタイヤ

スタッド付きのウィンタータイヤ装着車は、スタッドがタイヤに適正にはまるように、500~1,000 km の距離を穏やかに慣らし走行してください。タイヤ(特にスタッド)の耐用年数を長くすることができます。

① 注意

スタッド付きタイヤの使用に関する規則は、国により異なります。

トレッド溝の深さ

冬期は、凍った路面、道路の雪、低い気温などが原因で、暖かい季節よりもタイヤに大きな負担がかかります。ボルボ社は、溝の深さが 4 mm 以下のウインタータイヤの使用を推奨しません。

タイヤチェーン

ボルボでは、ホイールサイズが 19 インチを超える場合、スノーチェーンを使用しないことを推奨します。

取付説明書はボルボ純正スノーチェーンに付属しています。

タイヤチェーンは、前輪のみに装着してください (AWD (全輪駆動) 車も同様です)。タイヤチェーン装着時は、50 km/h (30 mph) 以下で走行してください。また、タイヤチェーンおよびタイヤの両方が著しく摩耗するため、タイヤチェーンを装着したまま、雪のない道路を走行しないでください。

⚠ 警告

ボルボ純正タイヤチェーン、または車両モデル、タイヤサイズ、ホイールリムサイズに適合した同等品を使用してください。片面チェーンのみを使用することができます。

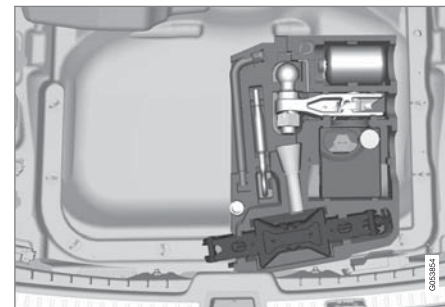
チェーンについてご不明な点がある場合、ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。不適切なチェーンを使用すると、車両への深刻な損傷や事故の原因となります。

関連情報

- ホイールを交換する場合 (p. 534)

カーゴスペース内のツール

けん引時やタイヤの交換などに役立つツールが、カーゴスペースに収納されています。



図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なる場合があります。

カーゴスペースフロア下のフォームブロックには、けん引フック、緊急パンクリペアーキット、ホイールボルトプラスチックキャップ取り外し用ツール、ジャッキ*およびホイールレンチ*が収納されています。また、ロックホイールボルト用スリーブを収納するスペースもあります。

関連情報

- ホイールを交換する場合 (p. 534)
- ジャッキ* (p. 540)
- 三角警告板 (停止表示板) (p. 540)
- 救急用品キット (p. 541)

三角警告板(停止表示板)

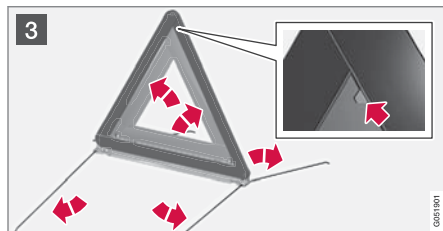
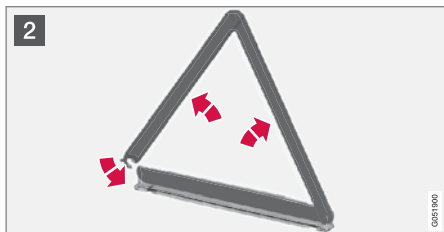
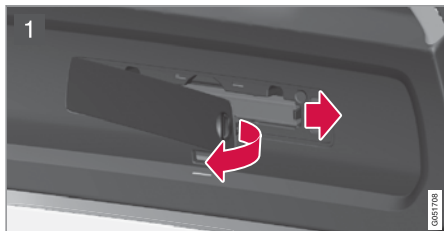
車両が道路で停止した場合、他の道路使用者に対して警告するために、三角警告板(停止表示板)を使用してください。

非常点滅灯も作動させてください。

収納スペース

三角警告板はテールゲートの内側の収納スペースにあります。

三角警告板の設置



1 最初にノブを90度回し、次にハッチを上端および下端の固定具から引き外して開きます。

三角警告板を固定しているラッチを右に少し押し、ケースを取り外します。

2 三角警告板をケースから取り出し、広げて両端を合わせます。

3 三角警告板のサポートレッグを広げます。

三角警告板の使用に関する規則を厳守してください。三角警告板は、通行の邪魔にならない所定の位置に置いてください。

使用後は、三角警告板をケースに入れて、ケースを収納スペースの元の場所に正しく固定し、ハッチを確実に閉じてください。

関連情報

- カラゴスペース内のツール (p. 539)
- 非常点滅灯 (p. 186)

ジャッキ*

ジャッキは、車両を持ち上げるとき(タイヤ交換時など)に使用します。

車両に付属のジャッキは、スペアタイヤへの交換時またはサマータイヤとウインタータイヤの交換時のみ使用してください。ジャッキのネジ部には、グリスをよく塗っておください。

重要

ツールおよびジャッキ*を使用しないときは、車両のトランクルーム/カラゴスペースの所定位置に収納してください。

ジャッキのクランクを、正しい位置にしなければなりません。

注意

通常のカージャッキは、パンクしたタイヤの交換時やウインタータイヤ/サマータイヤの取り換え時など、短時間で間使用することだけを想定したものです。車両をジャッキアップするときには、特定の車両モデル専用のジャッキを使用する必要があります。ジャッキをより頻繁に使用する場合や、単純なタイヤ交換より長い時間使用する場合には、修理工場用のジャッキの使用をおすすめします。この場合、そのジャッキに添付の取扱指示に従ってください。

オートレライザー*装備車に適用

エアサスペンション装備車の場合、ジャッキで車両を持ち上げる前にエアサスペンション機能を解除する必要があります。

この機能はセンターディスプレイを使用してオフにしてください。

1. トップビューで **設定** を押します。
2. **My Car** → **サスペンション** を押します。
3. **サスペンションとレベリング制御の解除** を選択します。

関連情報

- カーゴスペース内のツール (p. 539)
- 車両を持ち上げる (p. 551)

救急用品キット

救急箱には救急用品キットが入っています。

救急用品キットはカーゴスペースの右側にあります。



関連情報

- カーゴスペース内のツール (p. 539)

ホイールリムのサイズ表示

ホイールおよびリムの寸法は以下の表内の例のように設計されています。

すべてのホイールリムには、8Jx18x42.5 のようにサイズ表示があります。

8	ホイールリム幅(単位:インチ)
J	リムフランジプロファイル
18	ホイールリム径(単位:インチ)
42.5	オフセット(単位:mm、ホイールの中央から、ホイールのハブとの接触面までの距離)

車両は特定のホイールリムおよびタイヤの組み合わせで車両全体の認定を受けています。

関連情報

- タイヤ (p. 516)
- タイヤのサイズ表示 (p. 542)

タイヤのサイズ表示

タイヤサイズ、ロードインデックスおよび速度記号の表示。

車両は特定のホイールリムおよびタイヤの組み合わせで車両全体の認定を受けています。

タイヤの表示記号

すべてのタイヤには、235/60 R18 103 H. のようにサイズ表示があります。

235	タイヤ断面の幅(mm)
60	断面の高さと幅の比を、百分率で表した値(扁平率)
R	ラジアルタイヤ表示
18	ホイールリム径(単位：インチ)
103	最大許容タイヤロードのコード、タイヤロードインデックス(LI)
H	制限速度の速度記号(SS) (この場合 210 km/h (130 mph) まで使用可能であることを示す)。

ロードインデックス

各タイヤには最大負荷能力を示すロードインデックス(LI)が指定されています。タイヤの最大積載重量は、車両の重量により異なります。最低許容ロードインデックスはロードインデックス表に記載されています。

²⁵ 金属製スタッド付きのタイヤと金属製スタッドのないタイヤの両方。

速度記号

各タイヤには走行可能な最高速度が指定されています。タイヤの速度記号、SS (Speed Symbol) は、少なくとも車両の最高速度と対応していることが必要です。次表は各速度記号(SS)に対応する速度制限を示します。この規定の唯一の例外は、ウインタータイヤ²⁵です。ウインタータイヤの場合は、表示よりも下位の速度記号のものを使用することができます。そのようなタイヤを選択した場合、タイヤの速度記号で示されている速度よりも速く走行しないでください(例：Qの場合、走行可能な最高速度は160 km/h (100 mph)です)。ただし、車両の制限速度は交通法規で決められています。タイヤの速度記号で決められるものではありません。

 注意	制限速度が一覧表に示されています。
Q	160 km/h (100 mph) (ウインタータイヤのみ)
T	190 km/h (118 mph)
H	210 km/h (130 mph)
V	240 km/h (149 mph)

W	270 km/h (168 mph)
Y	300 km/h (186 mph)

警告

各エンジンタイプのタイヤの最低許容ロードインデックス(LI)および速度記号(SS)は、車検証に記載されています。ロードインデックスや速度記号が低すぎるタイヤを使用すると、タイヤがオーバーヒートし、損傷するおそれがあります。

関連情報

- タイヤ (p. 516)
- ホイールリムのサイズ表示 (p. 541)
- 承認タイヤ空気圧 (p. 610)

保守点検

ボルボメンテナンスサービスプログラム

信頼できる安全性能を維持するため、メンテナンスノート(整備手帳)に記載されているボルボメンテナンスサービスプログラムに従って、点検整備を実施してください。

点検整備は、ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。ボルボ指定のサービス工場にはボルボ車を熟知したメカニックがおり、専用工具やサービス資料も完備していますので、クオリティの高い点検整備をご提供することができます。

! 重要

ボルボ社の保証が適用されるためには、メンテナンスノート(整備手帳)の指示に従った点検を実施する必要があります。

サービスと修理

サービスは定期的 to 実施してください。ボルボの推奨サービス間隔を遵守してください。

点検や修理が必要であれば、必ずボルボ指定のサービス工場にて作業をご依頼ください。

⚠ 警告

車両をご自分で修理しないでください。外れた電気ケーブルやコンポーネントは、必ず指定修理工場で修理を受けることが必要です。ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

コントロールボックス付き充電ケーブル

! 重要

コントロールボックスにはいかなる変更も加えないでください。

関連情報

- エアコンディショナーシステムの点検整備 (p. 559)

車両状態

車両全般の状態をセンターディスプレイに表示することができ、必要に応じて、サービスを予約することができます。



センターディスプレイのアプリレビューから **車両の状態** アプリを起動すると、以下の3つのタブが表示されます。

- **メッセージ** - 保存されているステータスメッセージ
- **ステータス** - タイヤ空気圧およびエンジンオイルレベルの確認
- **予約** - サービスおよび修理作業の予約

関連情報

- ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイから保存されたメッセージを管理する (p. 151)
- タイヤ・プレッシャー・モニタリング・システムを使用してタイヤ空気圧を点検する (p. 521)
- エンジンオイルの点検と補充 (p. 557)
- コネクテッド・サービス予約 (p. 545)

コネクテッド・サービス予約³

オンライン車両では、サービス、修理、予約情報を直接管理できます。

この情報は **車両の状態** アプリで管理します。このアプリはセンターディスプレイのアプリビューから開くことができます。

この方法を利用すると（一部市場のみ対応）、車内からサービスおよびサービス工場への入庫を直接予約できるため便利です。ご利用のディーラーに車両データが送信され、ディーラーはサービス工場への入庫準備を行うことができます。ディーラーはお客様に連絡して、予約日時をご提案します。一部の市場では、予約日時が近づくと、システムからお客様に予約情報が通知され、入庫予定日になると、ナビゲーションシステム⁴がサービス工場までお客様を案内することもできます。ディーラーに関する情報も車内で表示できるため、いつでもサービス工場に連絡することができます。

サービスを使用する前に

Volvo ID

- Volvo ID を作成します。「Volvo ID」の項を参照してください。
- 車両の Volvo ID を登録します。「Volvo ID」の項を参照してください。Volvo ID がすでにある場合、Volvo ID の作成時に使用

したものと同一メールアドレスを使用してください。

連絡先のアドレスの変更

別のメールアドレスに変更したい場合、ボルボディーラーに連絡してください。

ボルボディーラーの選択

サービスおよび修理の件で連絡するボルボディーラーを選択するには、www.volvocars.com で My Volvo に移動してください。

車両から予約する場合の必須条件

車両が予約情報を送受信するには、車両がインターネットに接続されている必要があります。「オンライン車両」の項を参照してください。

サービスの使用

サービスの予定が近づいた場合、また、車両の修理が必要になった場合（一部の状況のみ）、ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイの上部にメッセージが表示されます。サービスの日付は、前回のサービス以降の走行距離、エンジンの作動時間、経過時間によって決定されます。

サービス工場への入庫は、後から My Volvo ウェブサイト経由でも予約することができます。ディーラーが車両の最新情報を確実に入手できるようにするために、お客様が車両データを送

信することができます。「車両データの送信」の項を参照してください。

サービスまたは修理の予約

サービスまたは修理の必要性を伝えるメッセージがドライバーディスプレイまたはセンターディスプレイの上部に表示されたとき、または入庫をご希望のとき、予約申し込みに必要な事項を入力してください。

³ 特定市場に適用

⁴ Sensus Navigation*に適用されます。



車両データの送信

車両データを送信するためには、車両のエンジンが作動している必要があります。

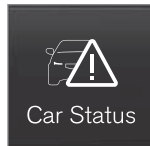
車両データは車両からいつでも送信することができます。サービス工場への入庫を My Volvo ウェブサイト経由で直接予約した場合など、都合のよいときに送信しておく、基本情報の充実によりサービス工場では作業性が向上します。



1. センターディスプレイのアプリビューで **車両の状態** アプリを開きます。
2. **予約** ボタンを押します。
3. **車両データを送信** ボタンを押します。
 - ＞ 車両データが送信中であることを示すメッセージがセンターディスプレイの上部に表示されます。アクティビティインジケーターの X をタップすると、データ送信をキャンセルすることができます。

車両データはインターネット経由で送信されます。

サービス工場情報を参照する



1. センターディスプレイのアプリビューで **車両の状態** アプリを開きます。
2. **予約** ボタンを押します。
3. **ワークショップ 情報** ボタンを押します。
 - ＞ ポップアップウィンドウが開き、ディーラー情報が表示されます。
4. ディーラーに電話するか、住所または GPS 座標をタップしてサービス工場へのナビゲーションを開始します⁴。

予約情報と車両データ

車内からサービスの予約またはデータ送信を行うときには、予約情報と車両データがインターネット経由で送信されます。車両データを受け取ると、サービス工場では次回の入庫の計画が立てやすくなります。

車両データには、以下の領域の情報が含まれません。

- サービス要件
- 前回のサービスからの経過時間

- 機能の状態
- フルードレベル
- メーター値
- 車台番号 (VIN⁷)
- 車両のソフトウェアバージョン
- 車両の診断データ

関連情報

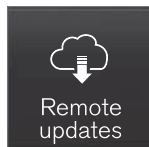
- Volvo ID (p. 24)
- オンライン車両 (p. 494)
- 車両状態 (p. 544)

⁴ Sensus Navigation*に適用されます。

⁷ 車台番号

リモートアップデート

オンライン車両では、車両の一部のシステムをセンターディスプレイからアップデートすることができます。



センターディスプレイのアプリビューから **リモート更新サービス** アプリを起動すると、以下のことができます。

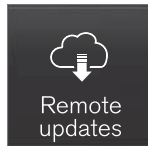
- システムソフトウェアの検索およびアップデート
- Sensus Navigation の地図データのアップデート
- アプリのダウンロード、アップデートおよびアンインストール

関連情報

- システムアップデート (p. 548)
- アプリのダウンロード、アップデートおよびアンインストール (p. 500)

システムアップデート

システムアップデートは、オンライン車両およびインフォテインメントシステムコンポーネント向けです。システムソフトウェアアップデートが利用可能な場合、アップデートは一度に全部または1つずつ実行することができます。



システムアップデートは、センターディスプレイのアプリビューで **リモート更新サービス** アプリを使用して行います。ボタンをタップすると、ホームビューの下部にあるサブ

ビューでダウンロードアプリケーションが起動します。前回のインフォテインメントシステムの起動以降に、利用可能なアップデートの検索を行っていない場合、検索が行われます。ソフトウェアのインストール中には検索は行われません。ダウンロードアプリケーションのボタン **システム更新** に、利用可能なアップデートの個数を示すアイコンが表示されます。ボタンをタップすると、車両にインストール可能なアップデートのリストが表示されます。機能に関する一般的な質問の回答や特定のシステムアップデートのダウンロードについては、support.volvocars.com をご覧ください。

システムアップデートは、車両がオンラインのときに行う必要があります。

工場出荷時設定では、ソフトウェアアップデートのバックグラウンド検索がオンになっています。

① 注意

データダウンロードは、データを送信するその他のサービス(インターネットラジオなど)に影響を及ぼすおそれがあります。その他のサービスに悪影響を及ぼす場合、ダウンロードは中断することができます。その他のサービスをオフにする、または中断する方法が適切な場合もあります。

① 注意

イグニッション位置をオフにして車両を離れると、アップデートは中断されます。

ただし、車両を離れる前にアップデートを完了する必要はありません。次に車両を使用する際にアップデートが再開されます。

すべてのシステムソフトウェアをアップデートする

- リストの下部にある **すべてインストール** を選択します。

希望するリストがない場合、代わりに、**システム更新** ボタンで **すべてインストール** を選択することができます。

システムソフトウェアプログラムを個別にアップデートする

- 必要なソフトウェアについて **インストール** を選択します。

ダウンロードのキャンセル

- ダウンロードの開始時に **インストール** ボタンから置き換わったアクティビティインジケータの X をタップします。

キャンセルできるのはダウンロードのみです。インストールが始まった場合、キャンセルできません。

ソフトウェアアップデートのバックグラウンド検索

この機能はセンターディスプレイでオフにすることができます。

1. トップビューで **設定** を押します。
2. **システム** → **リモートアップデートサービス** を押します。
3. **ソフトウェア自動更新** を選択解除します。

利用可能なアップデートがある場合、センターディスプレイのステータスバーに **新しいソフトウェアを更新可能** というメッセージが表示されます。メッセージをタップすると、ホームビューの下部にあるサブビューでダウンロードアプリケーションが起動します。ダウンロードアプリケーションが起動するとすぐに、ダウンロードアプリケーションのボタン **システム更**

新 に、利用可能なアップデートの個数を示すアイコンが表示されます。

関連情報

- オンライン車両 (p. 494)
- アプリのダウンロード、アップデートおよびアンインストール (p. 500)
- リモートアップデート (p. 548)

車両とサービス工場間のデータ送信⁸

ボルボサービス工場への予約入庫に必要な時間は、サービス工場に車両が到着した後、すみやかにトラブルシューティングデータを送信することにより短縮することができます。

センターディスプレイの設定ビューで **到着時に自動的に接続する** オプションを選択すると、もっとも簡単にデータを送信することができます。

車両は速度が十分に低下するたびに、Wi-Fi ネットワークの探索を開始します。正規のボルボネットワーク(サービス工場で)が見つかると、センターディスプレイにメッセージが表示されるか、ポップアップが開きます。(手動接続の場合には適用されません。「サービス工場に手動で接続する」の項を参照してください)。

サービス工場に自動で接続する

i 注意

運転者が不要な接続問い合わせで困ることのないように(ボルボ認定ネットワークを備えたサービス工場の近くに駐車する機会が多い場合など)、運転者が5日間のうちに接続を2回拒否した場合、接続モードは手動に切り替わります。

◀ 運転者の確認が不要な場合

このオプションを使用すると、もっとも簡単にトラブルシューティングデータを送信できません。車両は運転者の確認を得ることなく接続します。

車両がサービス工場に到着し、スタートノブでエンジンを停止すると、センターディスプレイの上部にメッセージが表示されます。運転者がメッセージの **キャンセル** を押さない限り、運転席ドアを開けると、車両は自動的に接続します。

運転者の確認が必要な場合

このオプションを使用すると、車両が接続するときに運転者の確認が必要になります。

車両がサービス工場に到着し、スタートノブでエンジンを停止すると、センターディスプレイにポップアップウィンドウが開きます。運転者がポップアップウィンドウの **接続** ボタンを押せば、運転席ドアを開けたときに、車両は自動的に接続します。運転者がなにもしない、またはポップアップウィンドウの **キャンセル** ボタンを押すと、接続は行われません。

サービス工場に手動で接続する

手動接続はサービステクニシャンによって行われます。

接続モードの変更

車両の接続方法は、センターディスプレイの設定ビューで変更することができます。

1. トップビューで **設定** を押します。
2. **通信** → **Volvo サービスネットワーク** を押します。
3. **到着時に自動的に接続する、接続前に確認する、接続せず、確認しない** (手動接続) の中から接続します。

関連情報

- オンライン車両 (p. 494)
- 設定ビュー (p. 212)

⁸ 本機能は、サービス工場のサービス拡大に伴い徐々に導入される予定です。

車両を持ち上げる

車両をジャッキアップする場合は、カージャッキまたはサービスジャッキ/ガレージジャッキを車両のアンダーボディの取り付けポイントに正しく取り付けることが重要です。

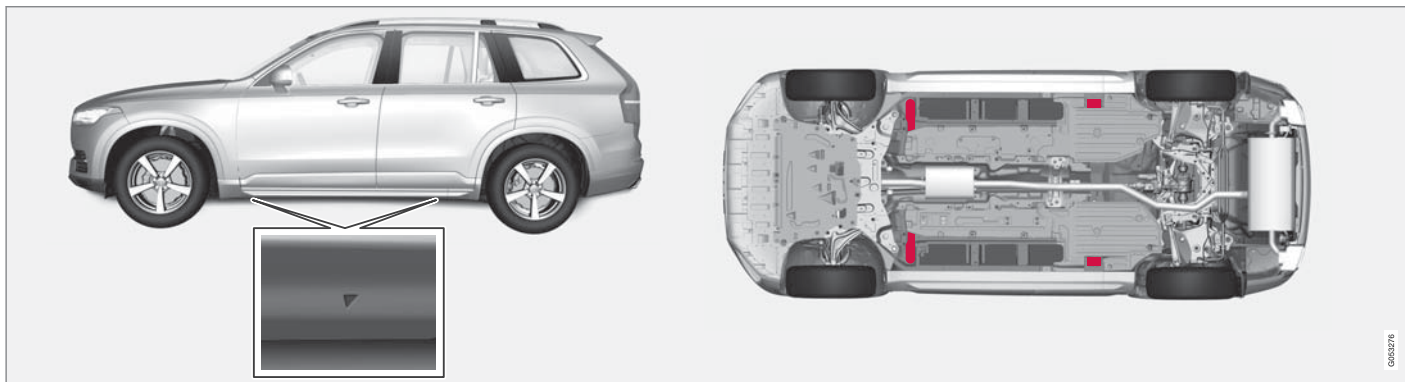
オートレベライザー*装備車の場合、ジャッキアップの前にエアサスペンション(装備されている場合)をオフにする必要があります。この機能はセンターディスプレイを使用してオフにしてください。

1. トップビューで **設定** を押します。
2. **My Car → サスペンション** を押します。
3. **サスペンションとペダリング制御の解除** を選択します。

i 注意

ボルボ社は、車両搭載ジャッキのみの使用を推奨しています。ボルボ純正以外のジャッキを使用する場合には、ジャッキに添付されている指示に従ってください。





プラスチックカバーの三角マークは、取り付けポイントの場所を示しています(赤で表示)。

ガレージジャッキで車両をジャッキアップする場合は、ジャッキをいずれかのリフトポイントの下に配置してください。車両がガレージジャッキから外れないように、注意してジャッキを配置してください。車両を安定させるとともに損傷を防止するため、ジャッキプレートにラバーパッドが取り付けられていることを確認してください。必ずアクスルスタンドなどを使用してください。

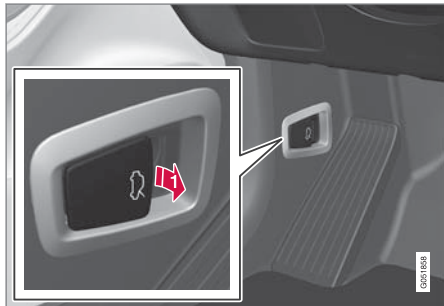
関連情報

- ホイールを交換する場合 (p. 534)
- ジャッキ* (p. 540)

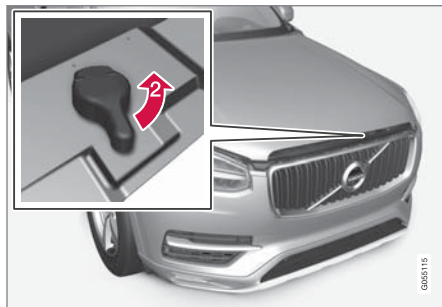
ボンネットの開閉

ボンネットは車内のハンドルとボンネットの下にあるハンドルを使用して開けることができます。

ボンネットを開ける



- 1** フットペダルの近くにあるハンドルを引いて、ボンネットを全開位置から解除します。



- 2** ボンネットの下にあるハンドルを反時計回りに回してボンネットをロックラッチから外し、ボンネットを持ち上げます。

警告 - ボンネットが閉じていない



ボンネットのラッチが外れると、ドライバーディスプレイの警告灯とグラフィックが点灯し、警告音が鳴ります。車両が走行し始めると、警告音が繰り返されます。

グラフィックについては、「ドアおよびシートベルトリマインダー」の項を参照してください。

i 注意

ボンネットがしっかりと閉まっているにも関わらず警告灯が点灯した場合、または警告音が鳴った場合は、ボルボ指定のサービス工場までご連絡ください。

ボンネットを閉じる

1. ボンネットが自重で下がり始めるまで、押し下げます。
2. ボンネットがロックキャッチに接触して停止したら、ボンネットを押し下げて完全に閉じます。

⚠ 警告

挟まれるおそれがあります。ボンネットを閉める際は、ボンネットの下に妨げるものがないことを確認してください。障害物がある場合、ケガをするおそれがあります。

⚠ 警告

ボンネットを閉めたときは、完全にロックされていることを確認してください。ボンネットの両サイドがカチッと音を立ててしっかりと閉まっている必要があります。



ボンネットが完全に閉じた状態

⚠ 警告

ボンネットを開けたまま、走行しないでください！

走行中にボンネットがしっかりと閉まっていない兆候がある場合は、ただちに停止して閉めます。

関連情報

- エンジンルームの概要 (p. 554)
- ドアおよびシートベルトリマインダー (p. 102)

エンジンルームの概要

この概要では、サービスと関係のあるコンポーネントをいくつか示します。

車両の電気駆動システムに含まれているコンポーネントの一部は、ボンネットの下にあります。このエリアでは特に慎重に作業を行い、通常のメンテナンスに関連したコンポーネント以外手をふれないでください。

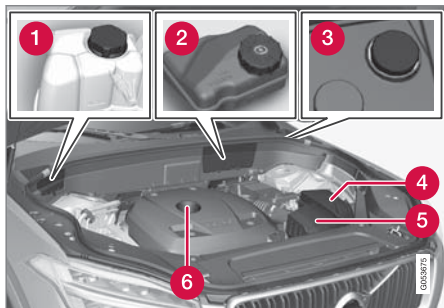
⚠ 警告

オレンジ色のケーブルの取り扱いには、必ず有資格者が行う必要があります。

⚠ 警告

車両のコンポーネントの中には高圧電流を使用しているものがあり、取り扱いを誤ると非常に危険です。

- このオーナーズマニュアルに明記されていない部品類には触らないでください。
- エンジンルーム内の各種フルードの点検/補充時には、十分注意してください。



エンジンタイプにより、エンジンルームの外観が図と異なる場合があります。

- ① エキスパンションタンク (冷却水)
- ② ブレーキフルードリザーバータンク (運転席側に配置)
- ③ ウォッシャー液フィルターパイプ⁹
- ④ セントラルエレクトリカルユニット
- ⑤ エアフィルター
- ⑥ エンジンオイルフィルターパイプ

⁹ ウォッシャー液は定期的 (給油時など) に補充してください。

⚠ 警告

ラジエーターファン (エンジンルームのフロント部分、ラジエーター後ろに配置) は、エンジンを停止した後しばらくしてからでも自動的に回転を開始する場合がありますのでご注意ください。

エンジンの洗浄は必ずサービス工場で行っていただくようお願いいたします。エンジンが高温のときは、火災につながるおそれがあります。

⚠ 警告

イグニッションシステムでは非常に高い危険電圧が使用されています。エンジンルーム内でなんらかの作業をする場合には、車両の電気系統を必ずイグニッション位置 **0** にしてください。

車両の電気系統がイグニッション位置 **II** のとき、あるいはエンジンが高温のときには、スパークプラグやイグニッションコイルにふれないでください。

関連情報

- ボンネットの開閉 (p. 553)
- ウォッシャー液リザーバータンク (p. 568)

- クーラントの補充 (p. 558)
- エンジンルーム内のヒューズ (p. 575)
- エンジンオイルの点検と補充 (p. 557)
- イグニッション位置 (p. 410)

エンジンオイル

エンジンのサービスインターバルに適応するため、指定されたエンジンオイルを使用してください。



ボルボ社の推奨品：




！ 重要


エンジンのサービスインターバルに適応できるように、工場特別な合成エンジンオイルがエンジンに充填されています。このオイルは、エンジンの寿命、始動性能、燃費および環境保全を十分考慮して選定されています。

エンジンのサービスインターバルに適応するため、指定されたエンジンオイルを使用してください。オイルの補充および交換時には、必ず指定グレードのオイルを使用してください。異なるオイルを使用すると、エンジンの寿命、始動性能、燃費および環境保全に悪影響を及ぼします。

規定のグレードおよび粘度を備えたエンジンオイルを使用しなかった場合、エンジン関係のコンポーネントが損傷するおそれがあります。ボルボ・カー・コーポレーションは、こういった損傷に対するいかなる責任も負いません。

オイル交換は、ボルボ指定のサービス工場に依頼されることをお勧めします。

ボルボでは、オイルレベル上昇/低下警告システムや油圧低下警告システムに、異なるシステムを使用しています。一部の車両には、油圧センサーが装備されています。その場合、ドライバーディスプレイの油圧低下警告灯  が使用されます。その他の車両には、オイルレベ

ルセンサーが使用されています。その場合、運転者への警告には、ドライバーディスプレイの警告灯  およびディスプレイテキストが使用されます。また、両方のシステムを搭載しているモデルもあります。詳しくは、ボルボ指定のディーラーにお問い合わせください。

エンジンオイルおよびオイルフィルターの交換時期は、別冊のメンテナンスノート(整備手帳)を参照してください。

ボルボ社が指定するオイルグレードよりも高いグレードのオイルは、使用が認められています。過酷な状況下で走行する際には、ボルボでは推奨オイルよりも高いグレードのオイルの使用を推奨しています。

関連情報

- エンジンオイルの点検と補充 (p. 557)
- エンジンオイルに対する過酷な走行条件 (p. 605)
- エンジンオイル - 仕様 (p. 604)

エンジンオイルの点検と補充

電子式オイルレベルセンサーでオイルの残量が検知されます。




フィラーパイプ¹⁰


場合によって、次のサービスまでの間にオイルを補充する必要があります。

エンジンオイルレベルに関する処置は、ドライバーディスプレイにメッセージが表示されるまで不要です。

警告

 このシンボルがメッセージ **エンジンオイル 販売店に お問い合わせください** と一緒に表示された場合、サービス工場にご連絡ください。ボルボ指定のサービス工場をお勧めします。オイルレベルが異常に高くなっている場合があります。

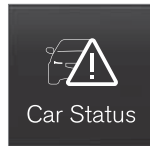
重要

 オイルレベル低下のメッセージ (例: **エンジンオイル: 低 エンジンオイル 0.5リットルを補充** など)と一緒にこのシンボルが表示された場合、指定された量のみ(0.5 Lなど)を補充してください。

警告

高温のエキゾーストパイプの上に、オイルをこぼさないでください。火災につながるおそれがあります。

オイルレベルを点検する



センターディスプレイのアプリケーションから **車両の状態** アプリを開き、**ステータス** を押してオイルレベルを表示します。



センターディスプレイのオイルレベル用グラフィック

オイルレベルは、エンジンが停止しているときに、センターディスプレイの電子式オイルレベルゲージを使用して点検します。

¹⁰ 電子式オイルレベルセンサー付きエンジンには、オイルレベルゲージがありません。

① 注意

オイルが補充または排出されても、システムは変化を直接検出することができません。オイルレベルが正しく表示されるためには、車両を約 30 km 走行させ、その後、エンジン停止状態で水平な場所に 5 分間静止させておく必要があります。

① 注意

オイルレベルの適切な測定条件(エンジン停止からの経過時間、車両の傾き、外気温など)が満たされていないと、センターディスプレイにメッセージ **データを取得不可** が表示されます。これは車両のシステムに問題があることを示すものではありません。

関連情報

- エンジンオイル (p. 556)
- エンジンオイル - 仕様 (p. 604)
- エンジンオイルに対する過酷な走行条件 (p. 605)
- イグニッション位置 (p. 410)
- 車両状態 (p. 544)

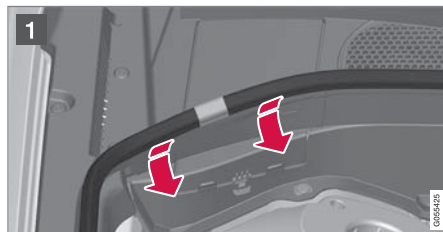
クーラントの補充

クーラントは内燃エンジンを冷却して正しい動作温度を維持させます。エンジンからクーラントに伝わった熱は車内ヒーターに使用されることがあります。

冷却水を補充するときは、容器に記載されている説明に従ってください。絶対に水だけを補充しないでください。冷却水の混合比が不適切な場合、凍結してエンジンが損傷するおそれがあります。

⚠ 警告

クーラントは、非常に高温になります。エンジンが温まったときにクーラントを補充する場合は、エキスパンションタンクのキャップを少しずつゆるめて、タンク内の圧力を逃がしてください。



- 1 ラバーストリップをエンジンルームの内側方向に押して外します。
- 2 リリースキャッチを外しフラップを上に戻して、プラスチックカバーの中のフラップを外します。
- 3 キャップを回して外し、クーラントを補充します。このレベルは、エキスパンションタンクの **MIN** と **MAX** のマークの範囲内にあれば正常です。

逆の順序で部品を元の位置に取り付けます。

重要

- 塩素、塩化物、およびその他の塩類は、クーリングシステムに錆が発生する原因となります。
- ボルボ社が推奨する、防錆剤入りの冷却水(クーラント)を使用してください。
- 冷却水の混合比は、水 50%、クーラント 50%になるようにしてください。
- クーラントと混合する水は、飲料水を使用してください。水質に問題がある場合は、ボルボ社が推奨する混合済みクーラントを使用してください。
- クーラント/クーリングシステムの部品交換の際は、飲料水または混合済みクーラントでクーリングシステムを洗浄してください。
- エンジンに、十分な量の冷却水が必要でず。冷却が十分ではないと、温度が異常に上昇し、シリンダーヘッドに損傷(亀裂)が発生するおそれがあります。

関連情報

- クーラント - 仕様 (p. 606)

エアコンディショナーシステムの点検整備

エアコンディショナーシステムは、必ずボルボ指定のサービス工場での点検整備および修理を行ってください。

トラブルシューティングと修理

エアコンディショナーシステムには、蛍光性の透写剤が含まれています。漏れ検知作業の際には、UV ライトを使用する必要があります。

ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

R134a 冷媒仕様車**警告**

エアコンディショナーシステムには、冷媒 R134a が加圧充填されています。このシステムの保守や修理は、必ずボルボ指定のサービス工場にご依頼ください。

R1234yf 冷媒仕様車**警告**

エアコンディショナーシステムには、冷媒 R1234yf が加圧充填されています。SAE J2845 (自動車用 A/C システムに使用される冷媒の安全な点検整備および格納のための技術トレーニング) に従い、冷媒システムの点検整備および修理は、必ず資格および技能を有する技術者が行い、システムの安全を確保する必要があります。

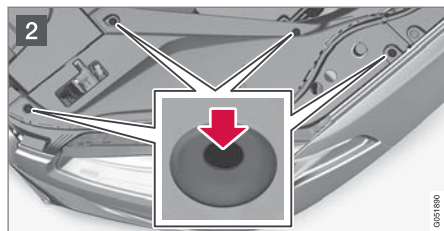
関連情報

- ボルボメンテナンスサービスプログラム (p. 544)

ランプ交換

ハロゲンヘッドライトのバルブは、運転者による交換が可能です。

ハロゲンヘッドライトのバルブは、サービス工場に依頼しなくても交換できますが、バルブを交換するには、事前にヘッドライトのプラスチックカバーを取り外す必要があります。



1 ラバーストリップをエンジンルームの内側方向に押して外します。

2 プラスチックカバーのクリップ4個のピンをドライバーなどで押し下げて解除し、カバーを取り外します。

カバーの取り付けは、取り外しと逆の順序で行ってください。

① 注意

クリップをカバーに取り付ける前に、クリップのピンを完全に押し戻す必要があります。カバーを取り付けたら、ピンの端面がクリップの表面と同じ高さになるまでピンを押し込む必要があります。

ヘッドライトの丸形ラバーカバーを取り外すと、ロービームランプの作業ができるようになります。

方向指示器、ハイビームおよびポジションランプのバルブは、ヘッドライトの楕円形カバーを取り外すと手が届くようになります。

その他のランプで不具合が発生した場合、サービス工場¹¹にご連絡ください。これは後退灯のバルブにも適用されます。LED¹²ランプに不具合が発生した場合、ランプユニット全体を交換する必要があります。

⚠ 警告

バルブ交換時には、車両の電気系統を必ずイグニッション位置 **0** にしてください。

❗ 重要

バルブのガラス部分は、絶対に触らないでください。指などで触れると、付いた脂がバルブ点灯中に熱で蒸発してリフレクターに付着し、リフレクターが劣化します。

① 注意

不具合のあるバルブを交換した後も、エラーメッセージが消えない場合には、車両をボルボ指定のサービス工場にお持ちください。

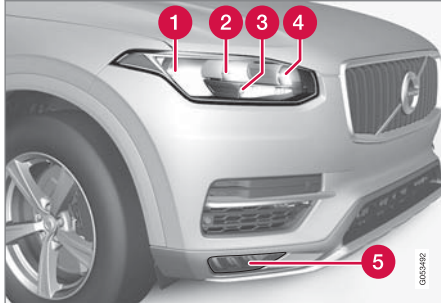
① 注意

ヘッドライトやリアランプなどのエクステリアランプでは、レンズの内側が一時的に曇る場合があります。これは異常ではありません。エクステリアランプは、このような曇りに耐えるように設計されています。ライトをしばらく点灯させると、曇りは自然に解消します。

¹¹ ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

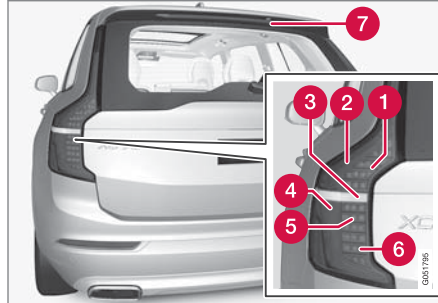
¹² LED (Light Emitting Diode)

ランプ、フロント (ハロゲンヘッドライト 装備車)



- ① ロービーム
- ② ハイビーム
- ③ ポジションランプ
- ④ 方向指示器
- ⑤ (未使用)

ランプ、リア



- ① ブレーキランプ(LED)¹²⁾
- ② テールランプ(LED)
- ③ 後退灯¹³⁾
- ④ テールランプ(LED)
- ⑤ 方向指示器(LED)
- ⑥ フォグランプ(LED)
- ⑦ ハイマウントブレーキランプ(LED)

関連情報

- ロービームランプ交換 (p. 562)
- ヘッドライトの楕円形カバーを外す (p. 562)

- バルブ仕様 (p. 565)
- イグニッション位置 (p. 410)

¹²⁾ LED(Light Emitting Diode)

¹³⁾ 交換については、ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

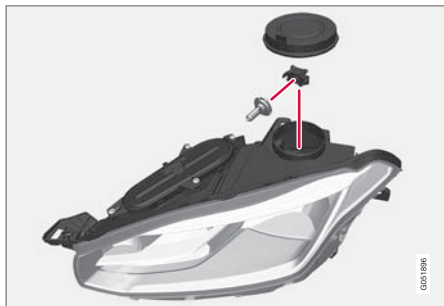
ロービームランプ交換

ハロゲンヘッドライトのロービームランプは、運転者による交換が可能です。

バルブを交換するには、事前にヘッドライトのプラスチックカバーを取り外す必要があります。「ランプ交換」の項を参照してください。

❗ 重要

バルブのガラス部分は、絶対に触らないでください。指などで触れると、付いた脂がバルブ点灯中に熱で蒸発してリフレクターに付着し、リフレクターが劣化します。



1. ヘッドライトの丸型ラバーカバーを外します。
2. バルブからコネクタを取り外します。
3. バルブをまっすぐに引き出して外します。

4. バルブを交換します。
5. バルブのガイドピンがまっすぐ上を向くようにして、バルブをソケットに取り付けてください。
6. コネクタを押し込みます。
7. ヘッドライトの丸型ラバーカバーを取り付けます。

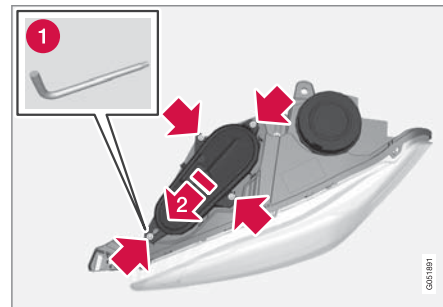
関連情報

- ランプ交換 (p. 560)
- バルブ仕様 (p. 565)

ヘッドライトの楕円形カバーを外す

ほとんどのヘッドライトバルブは、楕円形カバーを取り外すと作業できるようになります。

バルブを交換するには、事前にヘッドライトの楕円形カバーを取り外す必要があります。「ランプ交換」の項を参照してください。



1. サイズ T20 のトルクスツール(1)を使用してカバーの4つのスクリューをゆるめます。完全にはゆるめないでください。3~4回転で十分です。
 2. カバーを片側にスライドさせます。
 3. カバーを外します。
- 逆の順序でカバーを元の位置に取り付けます。

関連情報

- ハイビームランプ交換 (p. 563)
- デイタイムランニングライト/ポジションランプのランプ交換 (p. 564)
- フロント方向指示器ランプ交換 (p. 564)
- ランプ交換 (p. 560)

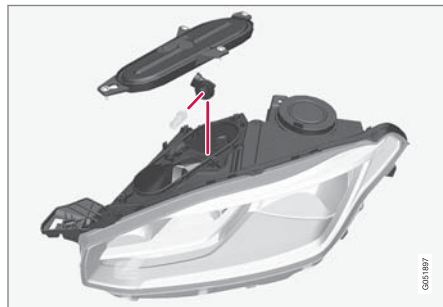
ハイビームランプ交換

ハロゲンヘッドライトのハイビームランプは、運転者による交換が可能です。

バルブを交換するには、事前にヘッドライトの楕円形カバーを外す必要があります。「ヘッドライトの楕円形カバーを外す」の項を参照してください。

❗ 重要

バルブのガラス部分は、絶対に触らないでください。指などで触れると、付いた脂がバルブ点灯中に熱で蒸発してリフレクターに付着し、リフレクターが劣化します。



1. ランプホルダーを上方向に向け、まっすぐ引き出してバルブを外します。

2. コネクターのロックラグ部分でプラスチックカバーを慎重にこじって外します。
3. バルブからコネクターを取り外します。
4. バルブを交換します。
5. バルブをソケットに取り付けて、下方向に向けます。ランプは1箇所でのみ固定することができます。

関連情報

- ヘッドライトの楕円形カバーを外す (p. 562)
- バルブ仕様 (p. 565)

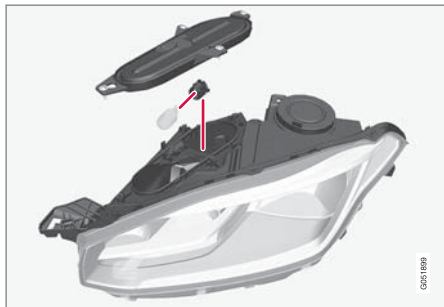
デイトイランニングライト/ポジションランプ¹⁵のランプ交換

ハロゲンヘッドライトのポジションランプバルブは、運転者による交換が可能です。

バルブを交換するには、事前にヘッドライトの楕円形カバーを外す必要があります。「ヘッドライトの楕円形カバーを外す」の項を参照してください。

① 注意

ハイビームバルブは、ランプホルダーを上方向に回し、まっすぐ引き出して外してください。これにより、ポジションランプバルブの作業がしやすくなります。



1. ソケットをまっすぐに引き出します。

¹⁵ 日本では、このバルブはポジションランプのみに使用されます。

2. バルブをまっすぐ引き出します。
3. バルブを交換します。
4. バルブホルダーをソケットに取り付けて、所定の位置に押し込みます。
5. ハイビームバルブが取り外されている場合、そのバルブをソケットに取り付けてねじ込みます。ランプは1箇所でのみ固定することができます。

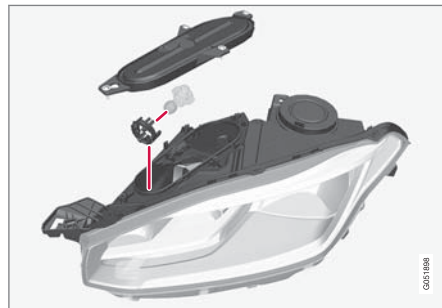
関連情報

- ヘッドライトの楕円形カバーを外す (p. 562)
- バルブ仕様 (p. 565)

フロント方向指示器ランプ交換

ハロゲンヘッドライトの方向指示器バルブは、運転者による交換が可能です。

バルブを交換するには、事前にヘッドライトの楕円形カバーを外す必要があります。「ヘッドライトの楕円形カバーを外す」の項を参照してください。



1. キャッチを同時に押して、バルブホルダーをまっすぐに引き出します。
2. 新品のバルブホルダー(バルブ付き)に交換します。
3. バルブホルダーをソケットに取り付けて、所定の位置に押し込みます。

関連情報

- ヘッドライトの楕円形カバーを外す (p. 562)
- バルブ仕様 (p. 565)

バルブ仕様

この仕様は、ハロゲンヘッドライトのバルブに関するものです。不具合が他のランプで発生した場合、サービス工場¹⁶に連絡してください。

機能	[W] ^A	タイプ
ロービーム	55	H7
ハイビーム	65	H9
方向指示器	24	PY24W
ポジションランプ	21/5	W21/5W

^A ワット

関連情報

- ランプ交換 (p. 560)

サービスポジションのワイパーブレード

ウインドスクリーンのワイパーブレードを交換する際は、サービスポジションにする必要があります。



サービスポジションのワイパーブレード

ワイパーブレードの交換、清掃、持ち上げなどを行うため(ウインドスクリーン上の氷を除去するときなど)には、必ずサービスポジションにしてください。

❗ 重要

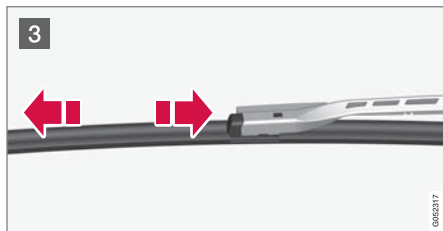
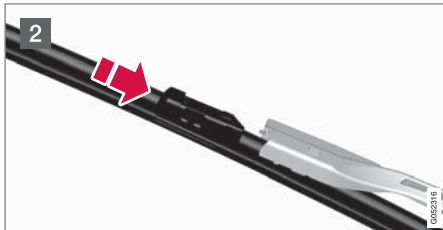
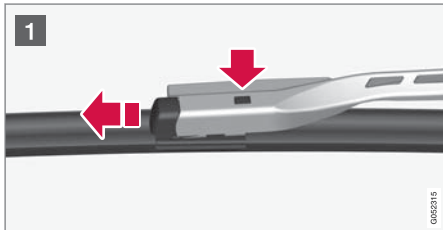
ワイパーブレードをサービスポジションにする前に、凍結していないことを確認してください。

¹⁶ ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

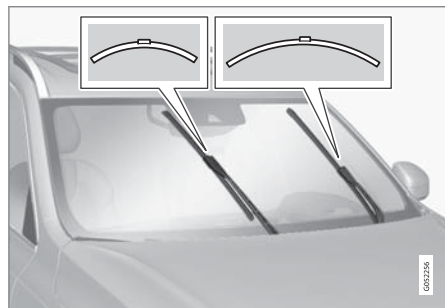
ワイパーブレードの交換

ワイパーブレードはウインドスクリーンやリアウインドの水滴を取り除きます。ウォッシャー液を同時に使用してウインドを洗浄すると良好な視界を保つことができます。ワイパースクリーンおよびリアウインドのワイパーブレードは交換することができます。

ウインドスクリーンワイパーブレードの交換



- 1 サービスポジションのときにはワイパーアームを折りたたんでください。ワイパーブレードのマウンティングにあるボタンを押しながら、ワイパーブレードをワイパーアームと並行方向にまっすぐ引き抜きます。
- 2 カチッと音がするまで、新しいワイパーブレードを差し込みます。
- 3 ワイパーブレードが確実に固定されているか確認します。
- 4 ワイパーアームをウインドスクリーンの方向に折って戻します。

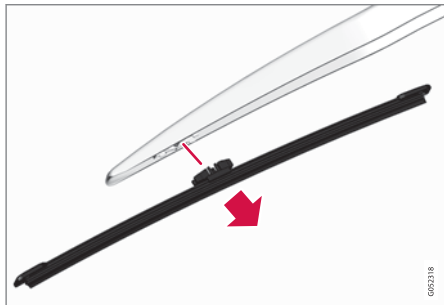


ワイパーブレードは、長さが異なります。

注意

ワイパーブレードは、長さが異なります。運転席側のワイパーブレードの方が、助手席側のワイパーブレードよりも長くなっています。

◀◀ リアウインドワイパーブレードの交換



1. ワイパーアームを起こします。
2. ワイパーブレードの内側部分(矢印の位置)をつかみます。
3. 反時計回りに回します。てこの応用でワイパーブレードの端部をワイパーアームに押し付けながら回すと、ブレードが外れやすくなります。
4. 新品のワイパーブレードを所定の位置に押し込みます。カチッという音が聞こえます。確実に取り付けられているか確認してください。
5. ワイパーアームを下げます。

❗ 重要

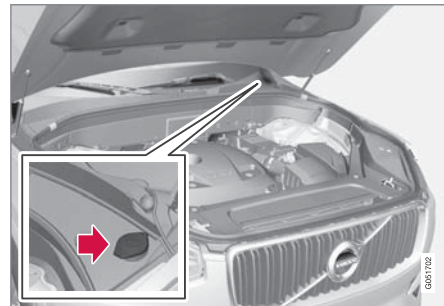
ワイパーブレードは定期的に点検してください。メンテナンスを怠ると、ワイパーブレードの耐用年数が短くなります。

関連情報

- サービスポジションのワイパーブレード (p. 565)
- エクステリアの清掃 (p. 587)


ウォッシャー液リザーバータンク

ウォッシャー液はヘッドライトとウインドの洗浄に使用します。気温が氷点下の場合、不凍液入りのウォッシャー液を使用する必要があります。



ウォッシャー液を補充するときは、青色のキャップを開けます。

❗ 注意

リザーバータンクのウォッシャー液が残り約 1L になった場合、シンボル  とともに、ドライバーディスプレイに **ウォッシャー液レベルが低すぎます。補充して下さい** が表示されます。

指定グレード： ボルボ純正ウォッシュ液 - 寒冷時の氷点下の気温でも凍結から保護します。

！ 重要

ボルボ純正ウォッシュ液、または推奨 pH(6～8)の同等品を適切に希釈(例：中性水と 1:1 の割合で希釈)して使用してください。

！ 重要

ポンプやリザーバータンク、ホース内で凍結しないように、温度が氷点下のときは、凍結防止効果のあるウォッシュ液を使用してください。

容量：

- ヘッドライトウォッシュ液**装備**の車両：5.3 リットル
- ヘッドライトウォッシュ液**非装備**の車両：3.5 リットル

関連情報

- ウィンドスクリーンおよびヘッドライトウォッシュ液 (p. 192)

バッテリー

電気系統は単極で、シャシおよびエンジンをアースとして使用します。

メインバッテリーは、電気系統の始動および電気装置の駆動に使用されます。ハイブリッドバッテリーは、内燃エンジンが始動する際に使用されます。

メインバッテリーはサービス工場で交換してください。

メインバッテリーは、二酸化炭素削減機能、Start/Stop および回生充電向けに設計された 12VAGM バッテリーで、車両のさまざまなシステムの機能に対応します。

バッテリーの耐用年数および性能は、エンジンの始動回数、車両の使用状況、運転方法、および天候など、色々な要素に影響されます。

- エンジン作動中は、絶対にバッテリーの接続を外さないでください。
- バッテリーの配線が正しく、確実に接続されているか確認してください。

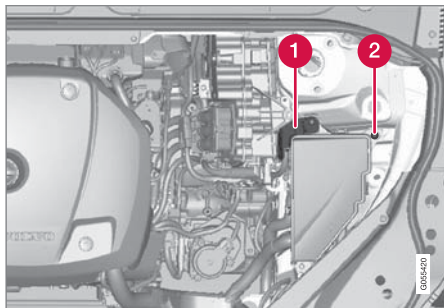
⚠ 警告

- バッテリーからは、非常に引火性の高い、酸素と水素の混合ガスが発生します。ジャンパーケーブルを正しく接続しないと、火花が発生し、バッテリーが爆発するおそれがあります。
- バッテリー液には、腐食性の強い希硫酸が使用されており、触れると重度のヤケドを負うおそれがあります。
- 電解液が目、皮膚または衣服に付着した場合は、ただちに大量の水で洗い流してください。目に入った場合は、すぐに医師の診察を受けてください。

外部のバッテリーまたはバッテリーチャージャーを接続する場合は、エンジンルーム内の車両のチャージングポイントを使用してください。カーゴスペースにある車両のメインバッテリーのバッテリー端子を使用しては**いけません**。

！ 重要

チャージングポイントからの電流を使用して別の車両のバッテリーを充電することはできません。他の車両のバッテリーを充電するときにチャージングポイントを使用すると、ヒューズが飛んで、チャージングポイントの機能が停止します。



- ① プラスチャージングポイント
- ② マイナスチャージングポイント

! 重要

メインバッテリーを充電する場合、必ず充電電圧制御機能付きの最新バッテリーチャージャーを使用してください。高速充電機能は使用しないでください。バッテリーが損傷するおそれがあります。

i 注意

メインバッテリーおよびハイブリッドバッテリーが両方とも放電している場合、**両方**のバッテリーを充電する必要があります。そのような場合、ハイブリッドバッテリーのみを最初に充電することはできません。

ハイブリッドバッテリーを充電するためには、メインバッテリーにある程度の残量が必要です。

! 重要

以下の指示に従わないと、外付けバッテリーやバッテリーチャージャーを接続した後、インフォテイメントの節電機能が一時的に解除される場合や、メインバッテリーの充電状態に関して誤ったメッセージが一時的にドライバーディスプレイに表示される場合があります。

- 外付けバッテリーまたはバッテリーチャージャーを接続する際、車両のメインバッテリーのマイナス端子は**絶対に使用しないでください。車両のマイナスチャージングポイントのみがアースポイントとして使用できます。**

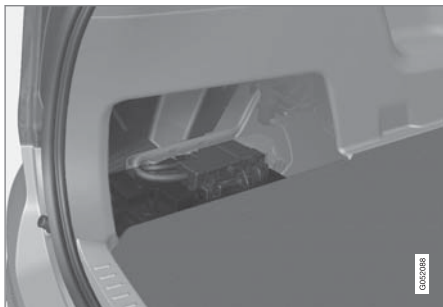
i 注意

放電/充電を頻繁に繰り返すと、バッテリーの耐用年数が短くなります。

バッテリーの寿命は走行状況や気候などさまざまな要因の影響を受けます。バッテリーの始動能力は時間が経つにつれて徐々に低下しますので、長時間使用しなかった場合や、短距離の運転を繰り返した場合には、充電が必要になります。極端に気温が低い場合にも始動能力が低下します。

バッテリーを良好な状態に保つために、車両を毎週少なくとも15分程度運転するか、自動トリクル充電機能の付いたバッテリー充電器を接続しておかれることをお勧めします。

バッテリーはつねにフルに充電された状態にしておくと、耐用年数をもっとも長くすることができます。



メインバッテリーはカーゴスペースにあります。

次表には、メインバッテリーの様子が記載されています。

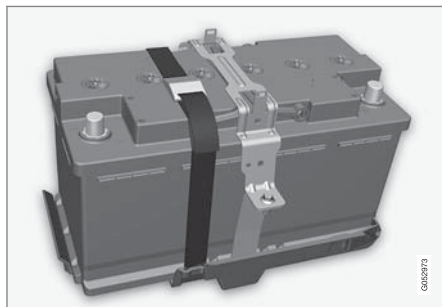
	バッテリー H8 AGM
電圧(V)	12
冷寒始動電流(コールドスタートキャパシティ) ^A - CCA ^B (A)	850
寸法、L×W×H(mm)	353×175×190
容量(Ah)	95

^A EN規格準拠。

^B Cold Cranking Amperes.

! **重要**

H8 AGM バッテリーにはリテーニングストラップがあります。リテーニングストラップがしっかりと締められていることを確認してください。



H8 AGM バッテリー(ストラップ付き)

バッテリーの交換は、ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

! **重要**

メインバッテリーを交換する場合、AGM¹⁷ タイプのバッテリーを取り付ける必要があります。

! **重要**

メインバッテリーを交換する場合は、既存のバッテリーと冷間始動性能およびタイプ(バッテリーのラベルを参照)が同じバッテリーと交換してください。

i **注意**

メインバッテリー容器のサイズは、元々取り付けられていたバッテリーの寸法と同じであるようにしてください。

関連情報

- バッテリーに表示されているシンボル (p. 572)
- 別のバッテリーによるジャンプスタート (p. 414)
- ハイブリッドバッテリー (p. 572)
- ハイブリッドバッテリーの充電 (p. 455)

¹⁷ Absorbed Glass Mat

バッテリーに表示されているシンボル

バッテリーには重要な情報と警告シンボルが表示されています。

	安全ゴーグルを着用してください。
	詳しくは、車両のオーナーズマニュアルを参照してください。
	お子様の手の届かない場所に保管してください。
	腐食性の強い希硫酸が入っています。

	火花、裸火禁止。
	爆発の危険。
	リサイクルに出すことが必要です。

i 注意

バッテリーには鉛が含まれています。使用済みのバッテリーは、環境に配慮した適切な方法でリサイクル処理してください。

関連情報

- バッテリー (p. 569)

ハイブリッドバッテリー

車両には、電動モーター操作用にメンテナンス不要の再充電式リチウムイオンタイプのバッテリーが装備されています。

i 注意

ハイブリッドバッテリーが放電している場合、車両は始動できません。

i 注意

メインバッテリーおよびハイブリッドバッテリーが両方とも放電している場合、**両方**のバッテリーを充電する必要があります。そのような場合、ハイブリッドバッテリーのみを最初に充電することはできません。

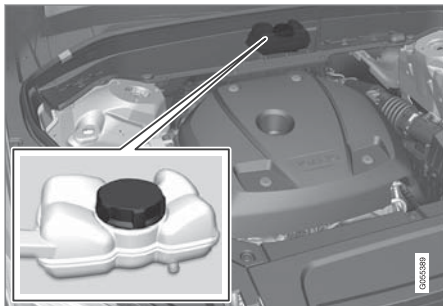
ハイブリッドバッテリーを充電するためには、メインバッテリーにある程度の残量が必要です。

⚠ 警告

ハイブリッドバッテリーの交換は、必ずサービス工場で行っていただく必要があります。ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

クーラント

ハイブリッドバッテリーのクーリングシステムには、別個のエキスパンションタンクがあります。



！ 重要

ハイブリッドバッテリーのクーラントの補充は、必ずサービス工場で行ってください。ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

関連情報

- ハイブリッドバッテリーの充電 (p. 455)
- バッテリー (p. 569)

ヒューズ

車両の電装品は、多くのヒューズによりショートや過負荷から保護されています。

⚠ 警告

オレンジ色のケーブルの取り扱い、必ず有資格者が行う必要があります。

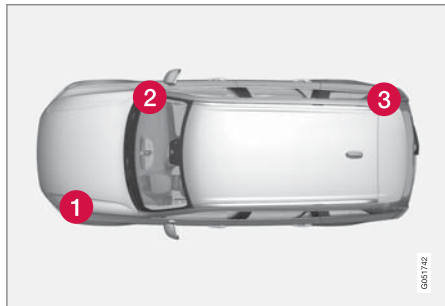
⚠ 警告

車両のコンポーネントの中には高圧電流を使用しているものがあり、取り扱いを誤ると非常に危険です。

このオーナーズマニュアルに明記されていない部品類には触らないでください。

電装品または電気機能が作動しない場合、電気回路に一時的に過剰な負荷がかかったため、ヒューズが切れたおそれがあります。同じ箇所でのヒューズが繰り返し切れる場合は、該当するヒューズの電気系統が故障しているおそれがあります。ボルボ指定のサービス工場に点検を依頼することをお勧めします。

セントラルエレクトリカルユニットの場所



左ハンドル車のセントラルエレクトリカルユニットの場所。右ハンドル車の場合、グローブボックス下のセントラルエレクトリカルユニットは左右逆になります。

- 1 エンジンルーム
- 2 グローブボックス下
- 3 カーゴスペース

関連情報

- ヒューズの交換 (p. 574)

ヒューズの交換

車両の電装品は、多くのヒューズによりショートや過負荷から保護されています。

交換

1. ヒューズ表を参照して、該当するヒューズを探します。
2. ヒューズを取り外して、中央の曲がったワイヤーが焼き切れているか、側面から見て点検します。
3. 切れていたら、必ず同じ色、同じアンペアのヒューズと交換します。

警告

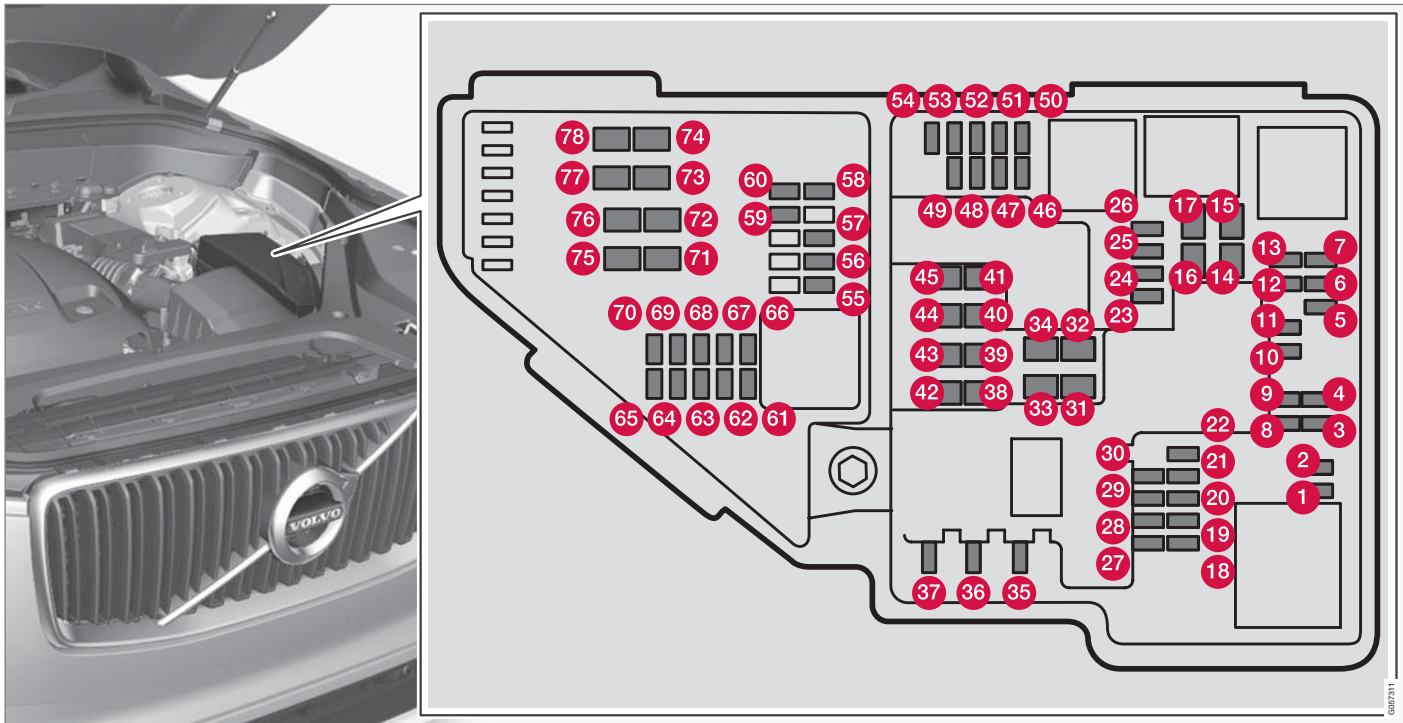
ヒューズを交換する際、絶対に異なるヒューズまたは高アンペアのヒューズを使用しないでください。高アンペアのヒューズを使用すると、過大な電流が流れてもヒューズが切れず、配線を損傷させて発火し、火災を起こしたり、電装品を損傷させるおそれがあります。

関連情報

- ヒューズ (p. 573)
- エンジンルーム内のヒューズ (p. 575)
- ヒューズ - グローブボックス下 (p. 579)
- カーゴスペース内ヒューズ (p. 583)

エンジンルーム内のヒューズ

エンジンルーム内のヒューズは、主にエンジンとブレーキシステムを保護します。



6AB0311

保守点検

- ◀◀ カバーの内側に、ヒューズを交換するときに使用するヒューズブライヤーがあります。

このヒューズボックスには、スペアヒューズを保管するスペースもあります。

位置

カバーの内側に、各ヒューズの位置を示すラベルがあります。

- 1～13、18～30、35～37、46～54 および 55～70 のヒューズは「Micro」タイプです。
- 14～17、31～34、38～45 および 71～78 のヒューズは、「MCASE」タイプです。交換は、必ずサービス工場¹⁸にご依頼ください。

	機能	[A] ^A
1	リアアクスルの電気モーターへの供給を制御するコンバーター	5
2	-	-
3	-	-
4	オートマチックトランスミッションのギヤ位置の選択/変更に使用するアクチュエーター用コントロールモジュール	5

	機能	[A] ^A
5	内燃エンジンのクーラントの高圧ヒーター用コントロールモジュール	5
6	空調用コントロールモジュール; 充電ユニット; 熱交換器用遮断バルブ; 空調装置を通過するクーラント用遮断バルブ	5
7	ハイブリッドバッテリー用コントロールモジュール; 電圧変換器 500V-12V 付き高電圧発生器/スターターモーター用高圧コンバーター	5
8	-	-
9	リアアクスルの電気モーターへの供給を制御するコンバーター	10
10	ハイブリッドバッテリー用コントロールモジュール; 電圧変換器 500V-12V 付き高電圧発生器/スターターモーター用高圧コンバーター	10
11	充電ユニット	5

	機能	[A] ^A
12	ハイブリッドバッテリーのクーラント用遮断バルブ; ハイブリッドバッテリー用クーラントポンプ 1	10
13	電気駆動システム用クーラントポンプ	10
14	ハイブリッドコンポーネント用クーリングファン	25
15	-	-
16	-	-
17	-	-
18	-	-
19	-	-
20	-	-
21	-	-
22	-	-
23	トンネルコンソールの USB ポート(フロント)*	5

¹⁸ ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

	機能	[A] ^A
24	トンネルコンソールの 12V 電源ソケット(フロント)	15
25	トンネルコンソールの 12V 電源ソケット(2列目シート用レッグルーム付近 ^B) トンネルコンソールの 12V 電源ソケット(リアシート間) ^C 、トンネルコンソールの USB ポート(リアシート間) ^C	15
26	カーゴスペースの 12V 電源ソケット* iPad ホルダー用 USB ポート ^C	15
27	-	-
28	-	-
29	-	-
30	-	-
31	ヒーターウインドスクリーン*、左側	短絡
32	ヒーターウインドスクリーン*、左側	40

	機能	[A] ^A
33	ヘッドライトウォッシャー*	25
34	ウインドスクリーンウォッシャー	25
35	-	-
36	ホーン	20
37	サイレン*	5
38	ブレーキシステムコントロールモジュール(バルブ、パーキングブレーキ)	40
39	ウインドスクリーンワイパー	30
40	リアウインドウォッシャー	25
41	ヒーターウインドスクリーン*、右側	40
42	パーキングヒーター*	20
43	ブレーキシステムコントロールボックス(ABS ポンプ)	40
44	-	-

	機能	[A] ^A
45	ヒーターウインドスクリーン*、右側	短絡
46	イグニッション ON 時に供給：エンジンコントロールユニット、トランスミッションコンポーネント、エレクトリックステアリングサーボ、セントラルエレクトロニックコントロールモジュール	5
47	外部車両騒音(一部市場)	5
48	右側ヘッドライト	7.5
49	-	-
50	-	-
51	-	-
52	エアバッグ	5
53	左側ヘッドライト	7.5
54	アクセルペダルセンサー	5



	機能	[A] ^A
55	トランスミッションコントロールモジュール ギヤセレクターレバーコントロールモジュール	15
56	エンジンコントロールモジュール (ECM)	5
57	-	-
58	-	-
59	-	-
60	-	-
61	エンジンコントロールモジュール; アクチュエーター; ターボチャージャー用バルブ	20
62	ソレノイド; バルブ; エンジンクーリングシステム用サーモスタット	10
63	バキュームレギュレーター (バルブ)	7.5
64	スポイラーローラーカバーコントロールモジュール、ラジエーターローラーカバーコントロールモジュール	5

	機能	[A] ^A
65	-	-
66	ラムダソンド(ヒーター付き酸素センサー)、フロント、ラムダソンド(ヒーター付き酸素センサー)、リア	15
67	エンジンオイルポンプ用ソレノイド、A/Cクラッチソレノイド、センターラムダソンド	15
68	-	-
69	エンジンコントロールモジュール (ECM)	20
70	イグニッションコイル、スパークプラグ	15
71	-	-
72	-	-
73	トランスミッションフルードポンプ用コントロールモジュール	30
74	バキュームポンプ用コントロールモジュール	40
75	トランスミッション用アクチュエーター	25

	機能	[A] ^A
76	-	-
77	-	-
78	-	-

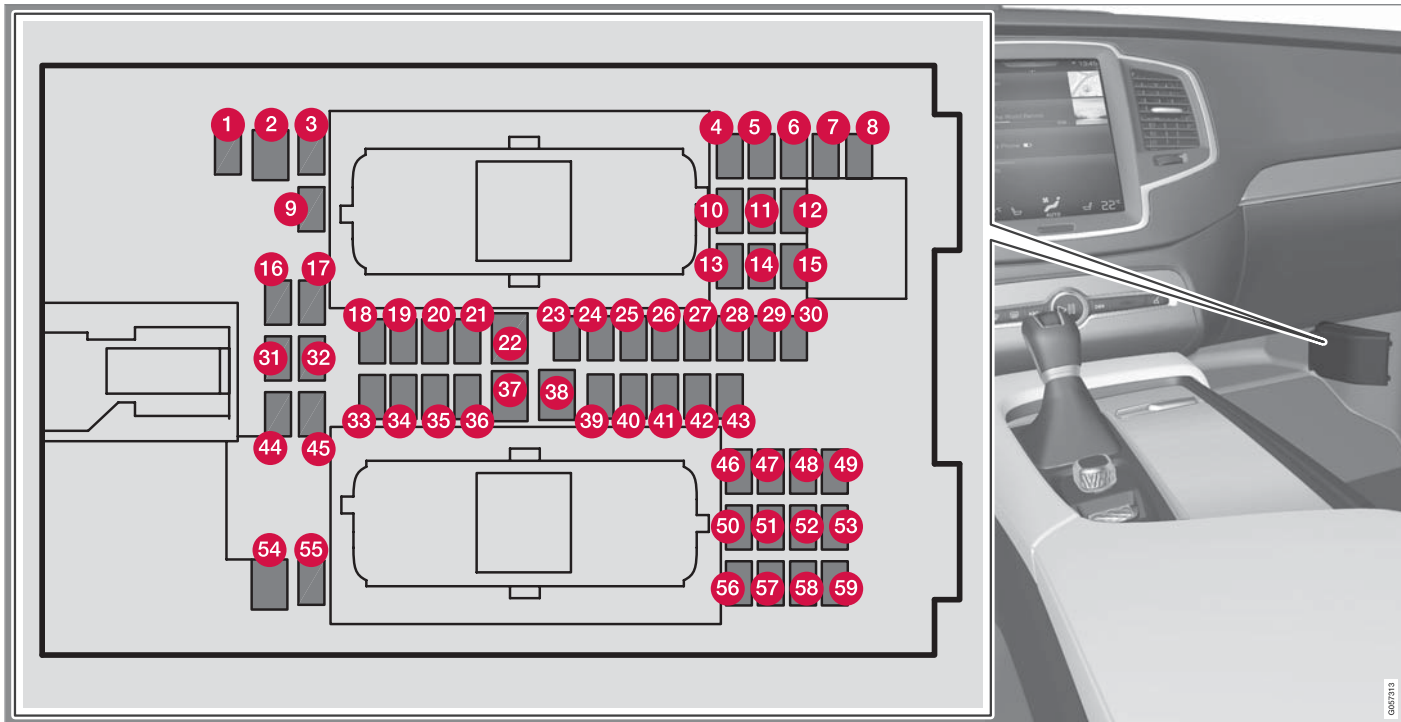
A アンペア
B Excellence 以外
C Excellence

関連情報

- ヒューズの交換 (p. 574)
- ヒューズ - グローブボックス下 (p. 579)
- カーゴスペース内ヒューズ (p. 583)

ヒューズ - グローブボックス下

グローブボックスの下のヒューズは、230V 電源コンセント、ディスプレイおよびドアモジュールなどを保護します。



エンジンルーム内のヒューズボックス用カバーの内側に、ヒューズを交換するとき使用するヒューズブライヤーがあります。

エンジンルーム内のヒューズボックスには、スペアヒューズを保管するスペースもあります。

位置

- 1、3～21、23～36、39～53 および 55～59 のヒューズは「Micro」タイプです。
- 2、22、37～38 および 54 のヒューズは、「MCASE」タイプです。交換は、必ずサービス工場¹⁹にご依頼ください。

	機能	[A] ^A
①	-	-
②	トンネルコンソールの 230V 電源ソケット(リアシート間) ^C	30 ^C
③	-	-
④	ムーブメントセンサー*	5
⑤	メディアプレーヤー	5
⑥	ドライバードisplay	5
⑦	センターコンソールのキーパッド	5
⑧	ソーラーセンサー	5
⑨	-	-
⑩	-	-

	機能	[A] ^A
⑪	ステアリングホイールモジュール	5
⑫	スタートノブおよびパーキングブレーキコントロール用モジュール	5
⑬	ステアリングホイールヒーター用ステアリングホイールモジュール*	15
⑭	-	-
⑮	-	-
⑯	-	-
⑰	-	-
⑱	エアコンディショナーシステム用コントロールモジュール	10
⑲	ステアリングホイールロック	7.5
⑳	診断ソケット OBDII	10
㉑	センターディスプレイ	5

	機能	[A] ^A
㉒	エアコンディショナーシステム用ファンモジュール(フロント)	40
㉓	-	-
㉔	コントロールライト、ルームランプ、ルームミラー防眩機能*、レインおよびライトセンサー*、トンネルコンソールのキーパッド(2列目シートのレッグルーム付近) ^{AB} 、フロントパワーシート* リアパワーシート ^C 、リアシートコンフォート機能用ディスプレイ ^C 、シートコンフォート(マッサージ)用モジュール(リア) ^C	7.5
㉕	運転者サポート機能用コントロールユニット	5
㉖	サンブラインド付きパノラマルーフ*	20
㉗	ヘッドアップディスプレイ*	5
㉘	ルームランプ	5
㉙	-	-

¹⁹ ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。



◀

	機能	[A] ^A
30	ルーフコンソールのディスプレイ (助手席のエアバッグ表示灯/シートベルトリマインダー)	5
31	-	-
32	湿度センサー	5
33	右リアドアのドアモジュール	20
34	カーゴスペース内ヒューズ	10
35	オンライン車両のコントロールモジュール、テレマティクス用コントロールモジュール	5
36	左リアドアのドアモジュール	20
37	オーディオコントロールユニット (アンプ)	40
38	エアコンディショナーシステム用ファンモジュール (リア)*	40
39	マルチバンドアンテナ用モジュール	5
40	シートコンフォート (マッサージ) 用モジュール (フロント)*	5
41	-	-

	機能	[A] ^A
42	リアウインドワイパー	15
43	フューエルポンプ用コントロールモジュール	15
44	エンジンルーム内のセントラル電気カルユニットのリレーコイル、トランスミッションフルードポンプ用リレー	5
45	-	-
46	運転席シートヒーター	15
47	助手席シートヒーター	15
48	クーラントポンプ	10
49	-	-
50	左側フロントドアのドアモジュール	20
51	サスペンション (アクティブシャシ) 用コントロールモジュール*	20
52	-	-
53	センサスコントロールモジュール	10

	機能	[A] ^A
54	-	-
55	-	-
56	右側フロントドアのドアモジュール	20
57	リアシートコンフォート機能用ディスプレイ ^C	5 ^C
58	TV* (一部市場)	5
59	ヒューズ 53 および 58 用のプライマリーヒューズ	15

A アンペア
B Excellence 以外
C Excellence

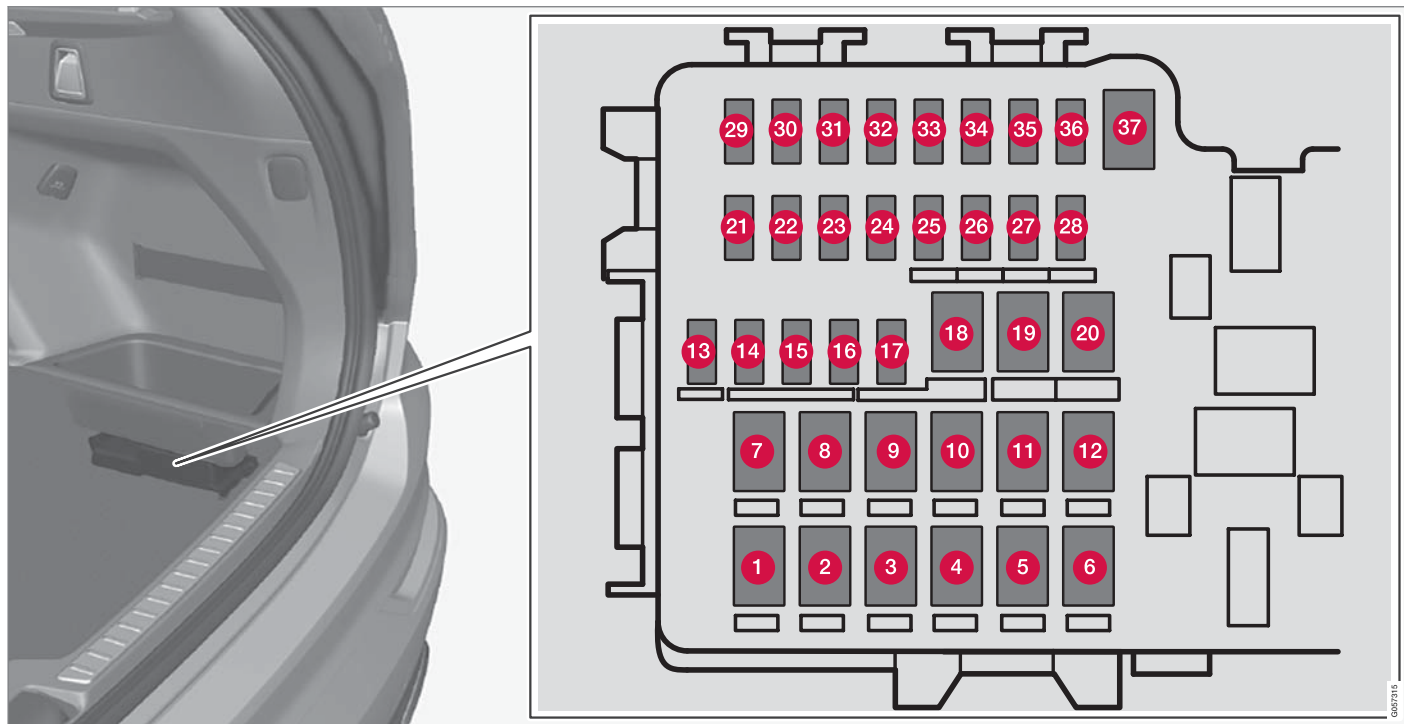
関連情報

- ヒューズの交換 (p. 574)
- エンジンルーム内のヒューズ (p. 575)
- カーゴスペース内ヒューズ (p. 583)

カーゴスペース内ヒューズ

カーゴスペース内のヒューズは、特にパワーシート*、エアバッグおよびシートベルトテンショナーを保護します。





セントラルエレクトリカルユニットは右側の収納スペースの下に配置されています。

エンジンルーム内のヒューズボックス用カバーの内側に、ヒューズを交換するときに使用するヒューズプライヤーがあります。

エンジンルーム内のヒューズボックスには、スペアヒューズを保管するスペースもあります。

位置

- 13～17 および 21～36 のヒューズは「Micro」タイプです。
- 1～12、18～20 および 37 のヒューズは、「MCASE」タイプです。交換は、必ずサービス工場²⁰にご依頼ください。

	機能	[A] ^A
①	リアウインドデフロスター	30
②	パワーシート(左リア) ^B	20 ^B
③	エアサスペンション用コンプレッサー*	40
④	電動ヒーター(右リア)	30
⑤	-	-
⑥	電動ヒーター(左リア)	30
⑦	パワーシート(右リア) ^B	20 ^B
⑧	-	-
⑨	パワーテールゲート*	25
⑩	助手席パワーシート*	20

	機能	[A] ^A
⑪	トウバーコントロールモジュール*	40
⑫	シートベルトプリテンショナーモジュール、右側	40
⑬	内部リレーコイル	5
⑭	-	-
⑮	足動作検知用モジュール*(パワーテールゲート操作用)	5
⑯	-	-
⑰	-	-
⑱	トウバーコントロールモジュール*	25
⑲	運転席パワーシート*	20
⑳	シートベルトプリテンショナーモジュール、左側	40
㉑	パーキングカメラ*	5
㉒	-	-

	機能	[A] ^A
㉓	Dedicated Short Range Communications DSRC 用コントロールモジュール	5
㉔	イオンエアクリーナー ^B	5 ^B
㉕	イグニッション ON 時に供給	10
㉖	エアバッグおよびシートベルトテンショナー用コントロールモジュール	5
㉗	冷蔵庫 ^B 、保温/保冷カップホルダー、リア ^B	10 ^B
㉘	シートヒーター(左リア)*	15
㉙	-	-
㉚	Blind Spot Information (BLIS)*	5
㉛	-	-
㉜	シートベルトプリテンショナーモジュール	5
㉝	排気ガス用アクチュエーター	5

²⁰ ボルボ指定のサービス工場にご依頼ください。

保守点検



	機能	[A] ^A
34	-	-
35	-	-
36	シートヒーター(右リア)*	15
37	-	-

A アンペア

B Excellence

関連情報

- ヒューズの交換 (p. 574)
- ヒューズ - グローブボックス下 (p. 579)
- エンジンルーム内のヒューズ (p. 575)

エクステリアの清掃

車両が汚れたらすぐに洗車してください。
油水分離装置のある自動洗車機で洗車してください。カーシャンプー（洗車用洗剤）を使用してください。

手洗い

- 塗装面に付着した鳥の糞は、すみやかに取り除いてください。鳥の糞などの成分で塗装を急速に変色させ、大量の水に浸したスポンジまたはやわらかい紙などを使用してください。変色の除去については、ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。
- 車体の下面の汚れは、水でよく洗い落としてください。
- 泥を含む水がすべて洗い落されるまで車両全体をすすいでください。洗淨中に引っかき傷ができるのを防止するためです。キーシリンダーなどには直接水をかけないでください。
- 汚れが取れにくい場合は、脱脂剤を温めないうで使用してください。表面が日光によって熱くなっていないか、注意してください。
- 十分な量のぬるま湯と、カーシャンプー（洗車用洗剤）およびスポンジを使用して洗車してください。
- ワイパーブレードは、洗剤を入れたぬるま湯、またはカーシャンプー（洗車用洗剤）で洗ってください。

- きれいで柔らかいセーム皮またはスクレーパーなどを使用して、車体から水分を拭き取ってください。直射日光によって水滴が乾いてしまわないように注意すれば、水滴によってシミがつく可能性が低くなります。シミができると、場合によっては磨いてとることが必要になります。

警告

エンジンの洗淨は、サービス工場にお問い合わせください。エンジンが高温のときは、火災につながるおそれがあります。

重要

ヘッドライトに汚れが付着していると機能に影響します。定期的（燃料補給時など）にヘッドライトを清掃してください。
腐食性のある洗剤は使用せず、代わりに水と傷がつかないようにスポンジで洗淨します。

注意

ヘッドライトやリアランプなどのエクステリアランプでは、レンズの内側が一時的に曇る場合があります。これは異常ではありません。エクステリアランプは、このような曇りに耐えるように設計されています。ライトをしばらく点灯させると、曇りは自然に解消します。

自動洗車機

自動洗車機を使用すると簡単に早く洗車をすることができますが、自動洗車機のブラシでは完全に洗淨できない箇所が多数あります。できるだけ、手で洗車されることをお勧めします。

注意

最初の数カ月間は、自動洗車機の使用は避け、洗車は必ず手で行ってください。新車のうちは、塗装面がまだ完全に硬化していないためです。

重要

自動洗車機に進入する前に、停車時のオートブレーキ（Auto Hold）およびパーキングブレーキの自動作動の機能をオフにしてください。これらの機能をオフにしないと、車両が停止しているときにブレーキシステムが故障し、車両を移動させることができなくなります。

回転ホイールで車両を移動させる洗車機では、以下の手順に従ってください。

1. 自動洗車機に車両を入れます。
2. トンネルコンソールのスイッチを使用して、停車時のオートブレーキ（Auto Hold）の機能をオフにします。

保守点検

- ◀ 3. センターディスプレイを使用して、パーキングブレーキの自動作動の機能をオフにします。
4. ギヤセレクターレバーを **N** 位置に動かします。
5. トンネルコンソールのスタートノブを **STOP** にして、エンジンを停止します。スタートノブは 4 秒以上 **STOP** 位置に保持してください。
- ◁ 自動洗車機を使用する準備が整いました。

❗ 重要

上記の手順を行わないと、システムは自動で **P** モードに切り替わります。ホイールが **P** モードにロックされます。このモードになっている場合は、車両を自動洗車機に入れることはできません。

高圧洗浄

高圧の水をかけるときは、広い範囲を動かすような動きで、ノズルの先端をボディ面(すべての外装部品に該当)から 30 cm 以上離してください。キーシリンダーなどには直接水をかけないでください。

ブレーキのテスト

雨や雪の中を長時間走行しているときは、ブレーキペダルを数回軽く踏むようにしてください。

い。摩擦熱により、ブレーキライニングを温めて水分を取り除くことができます。非常に湿度が高いときや冷寒時に発進したときにも、この方法が有効です。

⚠ 警告

洗車後は、パーキングブレーキも含め、ブレーキのテストを必ず行ってください。水分や錆がブレーキパッドに悪影響を与えていないか、ブレーキの制動効果が劣っていないか確認してください。

ワイパーブレード

ワイパーブレードにアスファルト、埃、または融雪剤が付着していたり、ウインドスクリーンに虫や氷などが付着していると、ワイパーブレードの耐用年数が短くなります。

清掃時には、ワイパーブレードをサービスポジションにしてください。

❗ 注意

ワイパーブレードおよびウインドスクリーンは、洗剤を入れたぬるま湯、またはカーシャンプー(洗車用洗剤)で定期的に洗ってください。強い溶剤を使用しないでください。

外装プラスチック、ラバー、およびトリムコンポーネント

カラープラスチックパーツやラバー、トリムコンポーネント(光沢のあるトリムモールディングなど)を清掃および手入れするときは、ボルボ純正専用クリーナー(ボルボディーラーでお求めになれます)のご使用をお勧めします。クリーナーの使用説明書の指示に従ってください。

❗ 重要

プラスチックおよびラバー部分に、ワックスがけおよびポリッシュ加工を行わないでください。

脱脂剤をプラスチックおよびラバー部分に使用する必要がある場合は、軽くこするようにしてください。柔らかい洗浄用スポンジを使用してください。

光沢のあるトリムモールディングを、磨かないでください。表面に傷が付いたり、光沢が失われたりする場合があります。

研磨剤の入った艶出し剤は使用しないでください。

ホイール

ボルボ社が推奨するクリーナー以外使用しないでください。

特にクロームメッキされたアルミホイールの場合、強力なホイールクリーナーを使用すると、表面にキズやシミが付くおそれがあります。

関連情報

- 磨きおよびワックスがけ (p. 589)
- サービスポジションのワイパーブレード (p. 565)
- 停車時のオートブレーキ (p. 434)
- パーキングブレーキを使用する (p. 432)
- オートマチックトランスミッションのギヤポジション (p. 416)

磨きおよびワックスがけ

車体の塗装面の艶が失われてきたときや、特に外装を保護したいときは、磨きとワックスがけを行ってください。新車購入後約1年間はポリッシュの必要はありませんが、ワックスがけをすることはできます。直射日光が当たる場所での磨き、またはワックスがけは避けてください。

磨きやワックスがけは、車両をよく洗い、完全に乾かしてから行ってください。車両に付着したアスファルトやタールなどは、タール用クリーナーやホワイトガソリンを使用して取り除いてください。取れにくいシミなどは、車体塗装面専用の研磨コンパウンドを使用して取り除いてください。

磨き剤で磨いてから、液体または固形ワックスを使用してワックスがけを行ってください。使用する製品に記載されている使用説明書に、必ず従ってください。磨き剤とワックスが、一緒になったタイプもあります。

重要

プラスチックおよびラバー部分に、ワックスがけおよびポリッシュ加工を行わないでください。

脱脂剤をプラスチックおよびラバー部分に使用する必要がある場合は、軽くこするようにしてください。柔らかい洗浄用スポンジを使用してください。

光沢のあるトリムモールディングを、磨かないでください。表面に傷が付いたり、光沢が失われたりする場合があります。

研磨剤の入った艶出し剤は使用しないでください。

重要

ボルボ純正のペイントトリートメント以外使用しないでください。他のペイントトリートメントなどのシーリング、プロテクション、光沢シーリングなど、その他の処置によって、塗装面が損傷を受けるおそれがあります。ペイントトリートメントなどで生じた損傷は、ボルボ社の保証が適用されません。

関連情報

- エクステリアの清掃 (p. 587)
- 塗装の損傷 (p. 592)

防錆

車両には優れた防錆処理が施されています。

ボディの防錆処理では、金属用の最新の金属保護コーティング、高品質塗装処理、金属の重なり部分の最小化と防錆処理、遮蔽用プラスチックコンポーネント、耐摩耗処理、傷つきやすい箇所への防錆剤追加が採用されています。この組み合わせにより、長期間にわたってボディは錆の問題を免れることができます。シャシでは、ホイールサスペンションの傷つきやすいコンポーネントに耐食鋳造アルミニウムが採用されています。

点検とメンテナンス

通常、車両の防錆処理はメンテナンス不要ですが、車両をきれいな状態に維持しておくこと、錆の発生する可能性をさらに低減させることができます。光沢のあるトリムコンポーネントには、強アルカリ性または強酸性の洗浄液を使用しないでください。跳ね石傷を見つけた場合は、すみやかに修復を行ってください。

関連情報

- エクステリアの清掃 (p. 587)
- 塗装の損傷 (p. 592)

内装の清掃

ボルボ社が推奨するクリーナーおよびカーケア製品のみを使用してください。定期的に清掃してください。汚れがついた場合はすぐに対処することが重要です。洗浄剤を使用する前に、掃除機をかけてください。

！ 重要

- 濃い色のジーンズやスウェードなど、衣類の素材によっては、色落ちして内装を変色させるおそれがありますのでご注意ください。内装が変色した場合、すみやかに内装の汚れた箇所を清掃して、適切に対処することが重要です。
- 車内の清掃には、強力な溶剤(ウォッシュャー液、ガソリン、ホワイトガソリンなど)を絶対に使用しないでください。内装やその他のインテリア用品を損傷するおそれがあります。
- 電気ボタンおよびコントロールのあるコンポーネントには、絶対に洗浄剤を直接吹き付けしないでください。代わりに、洗浄剤で湿らせた布を使用して、コンポーネントを拭いてください。
- 清掃時に尖った物やマジックテープなどを使用しないでください。内装布地に損傷を与えるおそれがあります。

布地内装および天井内装

ボルボ社は、布地内装および天井内装のお手入れのために、総合的な布地手入れ用品をご用意しています。説明書の指示通りに使用すると、内装の状態を良好に保つことができます。布地手入れ用品は、ボルボディーラーでお求められます。

レザー製内装*

ボルボ車のレザー製内装は、本来の外観が長続きするように処理されています。

レザー製内装は、時間の経過とともに変化して美しい風合いが生まれる、天然皮革の製品です。レザー特有の色や性質を保つためには、定期的な清掃とトリートメントが必要です。ボルボ社は、レザー製内装の清掃およびトリートメントのために、ボルボレザーケアキットという総合的なお手入れ用品をご用意しています。説明書の指示通りに使用すると、レザー表面の保護コーティングを良好な状態に保つことができます。

レザー特有の柔らかさと感触を保つため、年に1~4回清掃を行い、保護クリームを使用してお手入れされることをお勧めします(必要に応じて、お手入れの回数を増やしてください)。ボルボレザーケアキットは、ボルボディーラーでお求められます。

レザーステアリングホイール

レザーは呼吸します。レザー製ステアリングホイールにビニールのカバーをかけないでください。

い。レザーステアリングホイールの清掃には、ボルボレザーケアキットをお薦めします。

レザーパネル*

レザーは呼吸します。ダッシュボードの上部またはドアパネルのレザーには、絶対にカバーをかけないでください。レザーパネルの清掃には、ボルボレザーケアキットをお薦めします。

プラスチック製、金属製および木製インテリアパーツ

マイクロファイバークロス(ボルボ指定のディーラーにお問い合わせください)などのご使用をお薦めします。マイクロファイバークロスを湿らせ、内装各部を拭いて清掃してください。

汚れをとるために、強く擦ったり、削らないでください。強いシミ抜き溶剤は、絶対に使用しないでください。

シートベルト

水および中性洗剤を使用してください。ボルボ純正テキスタイル専用クリーナーはボルボディーラーでお求めになれます。シートベルトは、完全に乾かしてから巻き戻してください。

フロアマット

フロアカーペットを清掃するときは、フロアマットやカゴスペースのマットを取り外してください。埃や汚れは、掃除機で吸い取ってください。各フロアマットはピンで固定されています。

フロアマットを各ピンの部分でつかみ、まっすぐに持ち上げて取り外してください。

フロアマットを所定位置に装着する際には、各ピンの場所を押してください。

警告

各シートではフロアマットを1枚だけ使用してください。また、運転席のマットがペダルの横や下に引っかかることがないように、出発前に、マットがピンに確実に固定されていることを確認してください。

フロアマットにシミができた場合には、掃除機をかけて掃除した後、特殊テキスタイルクリーナーをご使用ください。フロアマットの清掃には、ボルボディーラーが推奨する洗剤をご利用ください。

関連情報

- センターディスプレイの清掃 (p. 591)

センターディスプレイの清掃

汚れ、シミおよび皮脂はセンターディスプレイの動作や読みやすさに影響を及ぼす可能性があります。マイクロファイバークロスを使用して、画面を頻繁に清掃してください。



センターディスプレイのホームボタン

1. ホームボタンを長押しして、センターディスプレイをオフにします。
2. 付属のマイクロファイバークロス(同等の品質なら別のマイクロファイバークロスも可)を使用して、画面を拭きます。画面は、乾燥したきれいなマイクロファイバークロスで小さい円を描くようにして拭く必要があります。必要であれば、マイクロファイバークロスをきれいな水で軽く湿らせます。
3. ホームボタンを短く押し、ディスプレイをオンにします。





重要

センターディスプレイの清掃には、砂や汚れの付着していないマイクロファイバークロスを使用してください。

重要

センターディスプレイを清掃する場合、画面を強く押さないように注意してください。強く押すと、画面が損傷するおそれがあります。

重要

センターディスプレイには液体または腐食性の化学薬品を直接スプレーしないでください。ウインドクリーナー、その他の洗浄剤、エアゾールスプレー、溶剤、アルコール、アンモニア、または研磨剤入りの洗浄剤は使用しないでください。

研磨布、ペーパータオルまたはティッシュペーパーは絶対に使用しないでください。センターディスプレイに傷がつくおそれがあります。

関連情報

- 内装の清掃 (p. 590)
- センターディスプレイの概要 (p. 34)

²¹ 必要時。

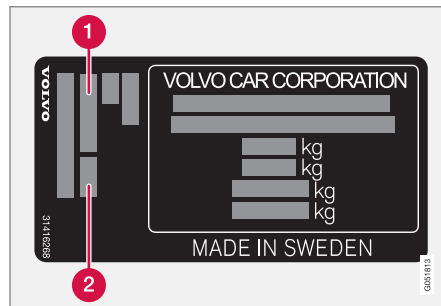
²² タッチアップペンのパッケージに含まれていたインストラクションに従ってください。

塗装の損傷

塗装は車両を錆から守るために重要な役割を果たしていますので、定期的に点検してください。塗装面にもっとも多く見られる損傷は、飛石による傷、引っかき傷、フェンダーやドア、バンパーの傷などです。

カラーコード

カラーコードラベルはドアピラーに貼付されています。右側リアドアを開けたときに確認できます。



1 エクステリアカラーコード

2 準エクステリアカラーコード

必ず正しい色の塗料を使用してください。

塗装面の小さな損傷の補修

塗装面に傷が付いた場合は、錆が発生しないようにただちに補修してください。

必要になる可能性のあるもの

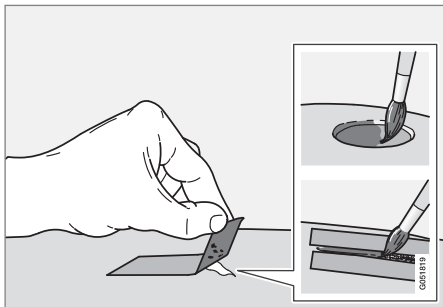
- プライマー²¹ – プラスチック塗料を施したバンパーなどには、スプレー缶に入った特殊な癒着性プライマーが利用できます。
- 下塗りとクリアコート – スプレー缶入りやタッチアップペンタイプ²²のものが利用できます。
- マスキングテープ
- 目の細かいサンドペーパー²¹

関連情報

- 塗装面の補修 (p. 593)
- タイプの表示 (p. 596)
- 防錆 (p. 590)

塗装面の補修

塗装面の補修は、車体をよく洗って乾燥させ、気温が 15 °C 以上のときに行ってください。



1. 損傷のある表面にマスキングテープを貼ります。剥がれかけた塗装の薄片が取り除けるようにテープを剥がします。

損傷が金属部分に達している場合には、プライマーを使って補修してください。損傷がプラスチック部分に達している場合には、癒着性プライマーを使用するとよりよい結果が得られます。スプレー缶の蓋にスプレーを吹きかけて、薄くブラシで伸ばします。

2. 塗装の前に、非常に目の細かい研磨材を使用して、必要な場所だけ慎重に研磨します(端が一様ではない場合など)。表面をよく洗浄して、乾くまでお待ちください。

3. プライマーをよく混ぜて、細い筆かマッチ棒などで損傷部分に塗ります。プライマーが乾いたら、下塗りとクリアコートで仕上げます。

引っかけ傷の場合も上記と同様に補修しますが、必要に応じてマスキングテープを使用して、傷のない部分を保護します。

タッチアップペンやスプレーペイントもボルボディーラーでお求めになれます。

注意

小石などによる傷で、金属部分に達しておらず、塗装に損傷のない部分が残っている場合には、清掃後すぐ下塗りとクリアコートで処理してください。

関連情報

- 塗装の損傷 (p. 592)
- エクステリアの清掃 (p. 587)

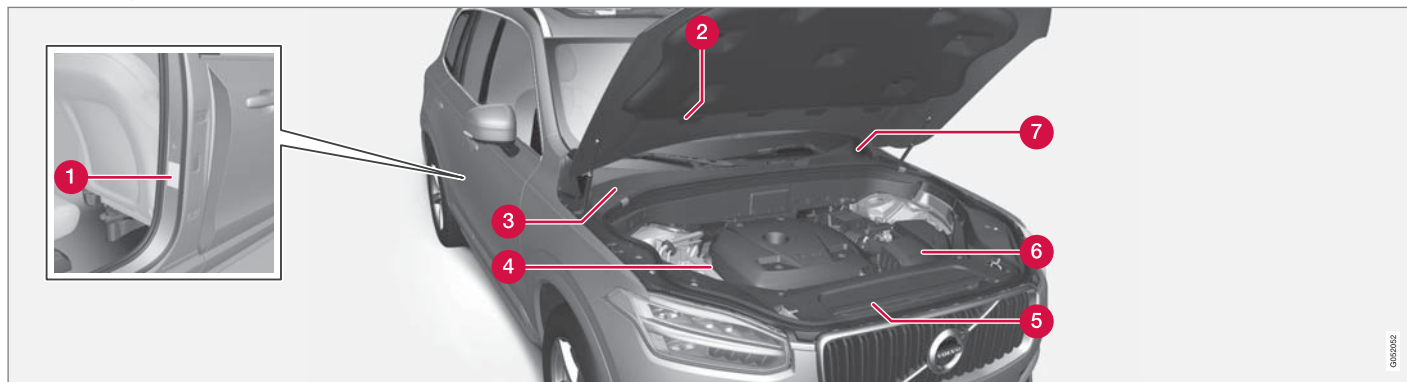
仕様

仕様

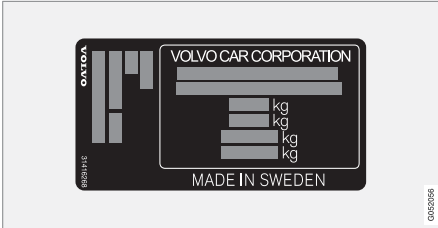
タイプの表示

タイプの表示や車両識別番号など、車両固有の情報は車両のラベルに記載されています。

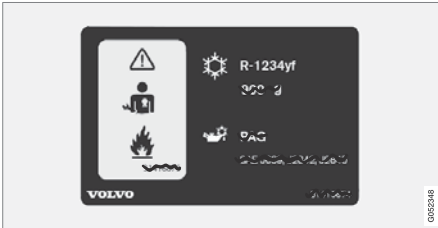
ラベルの位置



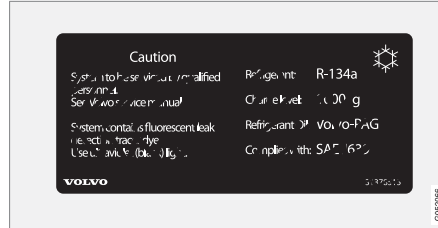
ボルボ指定のディーラーに車両についてのお問い合わせや、パーツあるいはアクセサリーのご注文をいただくときは、車両のシャシ(車台)番号(VIN)およびエンジンタイプをお知らせください。



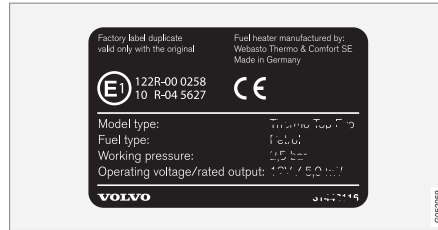
- ① タイプの表示、車台番号、許容最大重量、エクステリアカラーコードおよび型式指定番号。表示ラベルはドアピラーに貼付されています。右リアドアを開けたときに確認できます。



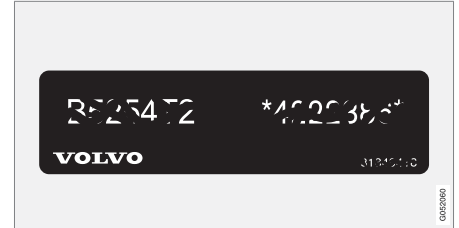
- ② R1234yf 冷媒仕様車用 A/C システム表示ラベル



- ② R134a 冷媒仕様車用 A/C システム表示ラベル



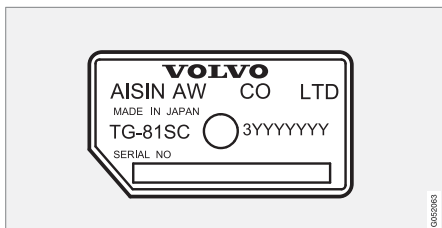
- ③ パーキングヒーターラベル



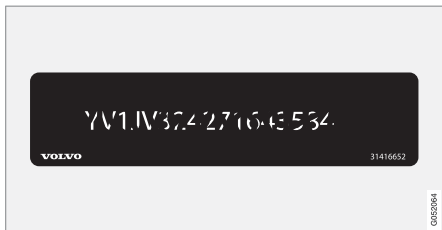
- ④ エンジンコードとエンジンシリアル番号



- ⑤ エンジンオイル用ラベル



- ⑥ トランスミッションタイプおよびシリアルナンバー



- ⑦ 車台番号(VIN)

実際の車両の各諸元値は、車検証記載の数値を参照してください。

① 注意

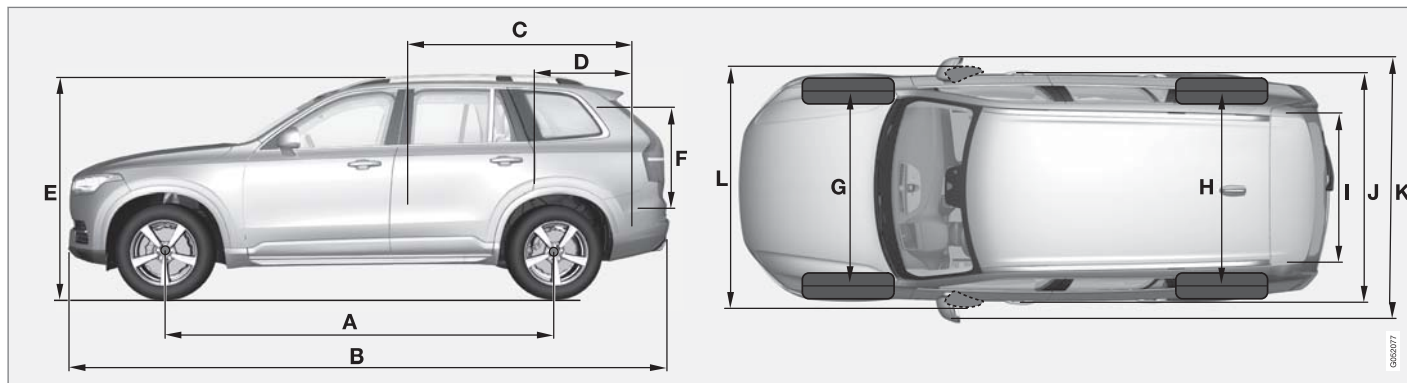
オーナーズマニュアルに掲載されている表示ラベルは、車両の表示ラベルと若干異なっている場合があります。ラベル掲載の目的は、ラベルの概観と車両に貼られている位置を示すことです。お客様の車両に関する情報は、車両のラベルに記載されています。

関連情報

- エアコンディショナー - 仕様 (p. 607)

寸法

車両の全長や高さなどの寸法が表内に記載されています。



寸法	mm
A ホイールベース	2984
B 全長	4950
C 荷室の長さ(フロア上の寸法、バックレストを倒した状態) ^A	2040 1260 ^B
D 荷室の長さ(フロア上の寸法)	761/898 ^C 554 ^D
E 全高	1776

寸法	mm
F 荷室の高さ	816
G トレッド(フロント) ^E	1673 ^F 1665 ^G
トレッド(フロント) ^H	1676 ^F 1668 ^G

寸法	mm
H トレッド(リア) ^E	1675 ^F 1667 ^G
	1679 ^F 1671 ^G
I 荷室の幅(フロア上の寸法)	1192

仕様



	寸法	mm
J	全幅	1923 ^I 1931 ^J 1958 ^K
K	全幅(ドアミラーを含む)	2140
L	全幅(格納式ドアミラーを含む)	2008

A 4人乗り車両には適用されません。

B 2列目シートから。

C 4人乗り車両。

D 7人乗り車両。

E エアサスペンション非装備車。

F 20インチ、21インチおよび22インチホイールに適用。

G 19インチホイールに適用。

H エアサスペンション装備車。

I ボディ幅

J 19インチホイール装着車の幅。

K 20インチ、21インチおよび22インチホイール装着車の幅。

重量

最大車両総重量などは車両のラベルに記載されています。

車両重量には、運転者、燃料タンク(90%給油状態)、全フルードが含まれます。

乗員やアクセサリーの重量、トウボール荷重(トレーラーけん引時)によって積載量は左右されます。これらは車両重量には含まれていません。

最大許容重量 = 車両総重量 - 車両重量

注意

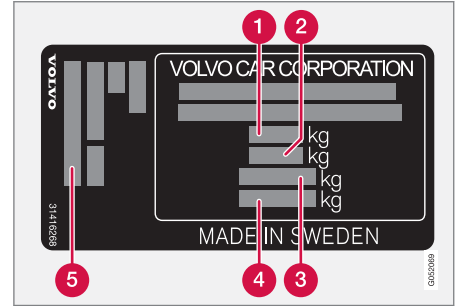
本書に記載の車両重量は、追加装備やアクセサリーのない、標準装備の車両に当てはまります。すなわち、最大許容重量は、追加されたアクセサリーの重量だけ、減少します。

最大許容重量を減少させるアクセサリーの例としては、キネティック(Kinetic)、モメントウム(Momentum)、およびスम्मム(Summum)の各レベルのオプション装備、さらに、トウバー、ロードキャリア、スペースボックス、オーディオシステム、補助ライト、GPS、フューエルドリブンエンジンブロックヒーター、スチールガードネット、カーペット、ラグジカバー、パワーシートなどがあります。

車両重量を確実に知るための方法は、実際に量ってみることです。

警告

車両走行性能は、搭載荷物の重量や、荷物を積む位置に影響を受けます。



表示ラベルはドアピラーに貼付されています。右リアドアを開けたときに確認できます。

- ① 最大車両総重量
- ② 最大けん引重量(車両+トレーラー)
- ③ 最大許容前軸荷重
- ④ 最大許容後軸荷重
- ⑤ 装備レベル

最大荷重：車検証をご覧ください。

最大ルーフ荷重：100 kg

関連情報

- タイプの表示 (p. 596)
- けん引重量およびトウボール荷重 (p. 602)

けん引重量およびトウボール荷重

トレーラーを使用して走行する際のけん引重量およびトウボール荷重が表内に記載されています。

最大重量、ブレーキ付きトレーラー

① 注意

トレーラー重量が 1,800 kg を超える場合は、安全装置の使用をお勧めします。

エンジン	エンジンコード ^A	トランスミッション	最大重量、ブレーキ付きトレーラー(kg)	最大トウボール荷重(kg)
T8 Twin Engine	B4204T35	オートマチック、TG-81SC	2400	140

^A エンジンコード、コンポーネントおよびシリアルナンバーは、エンジンに打刻されています。

① 重要

トレーラーを連結して走行する場合、走行速度を 100 km/h (62 mph) 以下に制限するという条件下で、車両総重量(トウボール荷重を含む)から 100 kg 以内の超過が可能になります。連結車両に関する国内の法的要件(速度など)を順守する必要があります。

最大重量、ブレーキ非装備トレーラー

最大重量、ブレーキ非装備トレーラー(kg)	最大トウボール荷重(kg)
750	50

関連情報

- タイプの表示 (p. 596)
- 重量 (p. 601)
- トレーラーなどのけん引 (p. 450)
- トレーラー・スタビリティ・アシスト* (p. 452)

エンジンの仕様

各エンジンタイプの仕様 (出力など) が表内に記載されています。

T8 Twin Engine はガソリンエンジンと電動モーターを使用して走行します (ERAD - Electric Rear Axle Drive)。

エンジン	エンジンコード ^A	出力 (kW/rpm)	出力 (hp/rpm)	トルク (Nm/rpm)	気筒数
T8 Twin Engine	B4204T35	235/5700	320/5700	400/2200-5400	4

^A エンジンコード、コンポーネントおよびシリアルナンバーは、エンジンに打刻されています。

電動モーター

最大出力: 65 kW (88 hp)

トルク: 240 Nm

関連情報

- タイプの表示 (p. 596)
- エンジンオイル - 仕様 (p. 604)
- クーラント - 仕様 (p. 606)

仕様

エンジンオイル - 仕様

各エンジンタイプに対応するエンジンオイルのグレードおよび容量が表内に記載されています。

ボルボ社の推奨品：



エンジン	エンジンコード ^A	オイルグレード	オイルフィルターを含む容量 (リットル)
T8 Twin Engine	B4204T35	カストロール エッジ Professional V 0W-20 または VCC RBS0-2AE 0w20	約 5.9

^A エンジンコード、コンポーネントおよびシリアルナンバーは、エンジンに打刻されています。

関連情報

- タイプの表示 (p. 596)
- エンジンオイルに対する過酷な走行条件 (p. 605)
- エンジンオイルの点検と補充 (p. 557)
- エンジンオイル (p. 556)

エンジンオイルに対する過酷な走行条件

過酷な走行条件では、通常よりも油温が上昇したり、オイル消費量が増加する場合があります。以下に過酷な走行条件をいくつか挙げます。

次のような状況で長時間走行する場合は、オイルレベルを通常よりも頻繁に点検してください：

- キャラバンやトレーラーけん引時
- 山道走行時
- 高速走行時
- 外気温が-30℃以下、または+40℃以上の環境で走行する場合

前述の項目は、低温で短距離を走行する際にも当てはまります。

過酷な条件下で走行する場合は、100%化学合成オイルの使用を推奨しています。エンジンにさらなる保護を提供します。

ボルボ社の推奨品：



重要

エンジンのサービスインターバルに適應できるように、工場で特別な合成エンジンオイルがエンジンに充填されています。このオイルは、エンジンの寿命、始動性能、燃費および環境保全を十分考慮して選定されています。

エンジンのサービスインターバルに適應するため、指定されたエンジンオイルを使用してください。オイルの補充および交換時には、必ず指定グレードのオイルを使用してください。異なるオイルを使用すると、エンジンの寿命、始動性能、燃費および環境保全に悪影響を及ぼします。

規定のグレードおよび粘度を備えたエンジンオイルを使用しなかった場合、エンジン関係のコンポーネントが損傷するおそれがあります。ボルボ・カー・コーポレーションは、こういった損傷に対するいかなる責任も負いません。

オイル交換は、ボルボ指定のサービス工場に依頼されることをお勧めします。

関連情報

- エンジンオイル - 仕様 (p. 604)
- エンジンオイル (p. 556)

クーラント - 仕様

指定グレード： ボルボ純正クーラントと水¹を 50%ずつ混ぜたもの。パッケージを参照してください。

トランスミッションフルード - 仕様

各トランスミッションタイプの指定トランスミッションフルードが表に記載されています。

オートマチックトランスミッション

	指定されたトランスミッションフルード
TG-81SC	AW1

① 注意

通常の走行条件下では、トランスミッションオイルの交換は不要です。

ブレーキフルード - 仕様

油圧式ブレーキシステムにはブレーキフルードが使用されています。ブレーキフルードは、ブレーキペダルからマスターブレーキシリンダーを通過して1つ以上のスレーブシリンダーへ油圧を伝達します。この油圧がメカニカルブレーキに作用します。

指定グレード： DOT 4

① 注意

ブレーキフルードは、認定のボルボサービス工場にて交換または充填されることをお薦めします。

¹ 水質は、基準 STD 1285.1 を満たしていなければなりません。

燃料タンク - 容量

各エンジンタイプに対する認定の燃料タンクの容量が表内に記載されています。

エンジン	容量(リットル)
ガソリンエンジン	約 50

関連情報

- 燃料給油口フラップの開閉と給油 (p. 441)

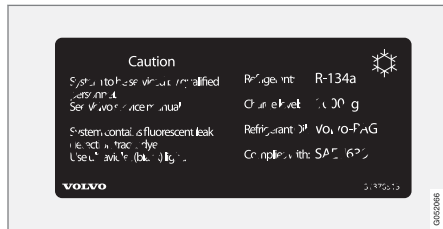
エアコンディショナー - 仕様

車両のエアコンディショナーシステムは、市場に応じて、R1234yf または R134a のいずれかの冷媒を使用します。どちらの冷媒が使用されているかは、ボンネットの内側に貼付されている表示ラベルで確認することができます。

エアコンディショナーシステムで使用されるフルードおよび潤滑剤の指定グレードおよび容量は以下の表に記載されています。

A/C ラベル

R134a 用ラベル



R1234yf 用ラベル



R1234yf のシンボル説明

シンボル	意味
	注記
	移動式エアコンディショナーシステム (MAC)
	潤滑剤タイプ
	移動式エアコンディショナーシステム (MAC) の点検整備には、指定のサービステクニシャンが必要です。
	可燃性冷媒

仕様

◀◀ 冷媒

R134a 冷媒仕様車

重量	指定グレード
1070 g	R134a

⚠ 警告

エアコンディショナーシステムには、冷媒 R134a が加圧充填されています。このシステムの保守や修理は、必ずボルボ指定のサービス工場にご依頼ください。

R1234yf 冷媒仕様車

重量	指定グレード
970 g	R1234yf

⚠ 警告

エアコンディショナーシステムには、冷媒 R1234yf が加圧充填されています。SAE J2845(自動車用 A/C システムに使用される冷媒の安全な点検整備および格納のための技術トレーニング)に従い、冷媒システムの点検整備および修理は、必ず資格および技能を有する技術者が行い、システムの安全を確保する必要があります。

コンプレッサーオイル

排気量	指定グレード
120 ml	PAG SP-A2

エバポレーター

⚠ 重要

A/C システムのエバポレーターは、絶対に修理したり、以前に使用していたエバポレーターと交換したりしないでください。新しいエバポレーターは、SAE J2842 に基づいて認証および表示されている必要があります。

関連情報

- エアコンディショナーシステムの点検整備 (p. 559)
- タイプの表示 (p. 596)

燃料消費量および CO2 排出量

燃料消費量と CO2 排出量は、さまざまな原因で悪化することがあります。

その例としては：

- 主要電源回路から定期的に車両が充電がされていない場合。
- 車両に追加装備がある場合は、車両の重量に影響します。
- 運転者の走行スタイル。
- モデルの基本バージョンに標準装備されているホイールよりも大きいホイールが装着されている場合、転がり抵抗が増加します。
- 高速で走行すると風抵抗が増加します。
- 燃料の品質、道路および交通の状況、天候、車両の状態。

前述の例を組み合わせて実施すると、燃費を大幅に向上することができます。

ⓘ 注意

悪天候、トレーラーをけん引しながらの走行、あるいは標高の高い地域での走行と不適切な燃料の使用などが組み合わさると、車両の燃費に影響を及ぼす場合があります。

関連情報

- タイプの表示 (p. 596)
- 重量 (p. 601)
- 経済的な走行 (p. 444)

承認タイヤ空気圧

各エンジンタイプに対する認定のタイヤ空気圧が表内に記載されています。

エンジン	タイヤサイズ	速度 (km/h)	重量、1~3名乗車		最大荷重		ECO プレッシャー ^A
			フロント (kPa) ^B	リア (kPa)	フロント (kPa)	リア (kPa)	フロント/リア (kPa)
T8 Twin Engine (B4204T35)	235/55 R 19	0 - 160 ^C	260	260	290	290	290
	275/45 R 20						
	275/40 R 21	160 ^D	280	280	310	310	-
	275/35 R 22						

^A 経済走行

^B 国によっては、SI 単位であるパスカル(pascal、Pa)の他に、バール(bar)が使用されます。1bar = 100kPa。

^C 0 - 100 mph

^D 100+ mph

関連情報

- タイプの表示 (p. 596)
- タイヤ空気圧の点検 (p. 518)

ハイブリッドバッテリー - 仕様

ハイブリッドバッテリー(ドライブモーターのバッテリー)は、電気モードで走行中に電気モーターに動力を供給するために使用されません。

タイプ: リチウムイオン

エネルギー量: 9.2 kWh

関連情報

- ハイブリッドバッテリーの充電 (p. 455)

50 音順索引

数字

4WD..... 427

あ

アクセサリおよび追加装備..... 23

アクティブ・ヨー・コントロール..... 310

アクティブハイビーム..... 181

アクティブベンディングライト..... 184

アダプティブクルーズコントロール... 326,
335

一時的解除..... 332

追い越し..... 334

機能..... 326

クルーズコントロール機能の変更... 337

故障診断..... 336

車間時間の設定..... 331

スタンバイモード..... 332

速度の管理..... 329, 330

レーダーセンサー..... 348

アプリ..... 500

ダウンロード、アップデートおよびア
ンインストール..... 500

アプリケーション

設定..... 216

アプローチライト..... 190

アラーム..... 299

アラームの機能解除..... 299

解除..... 302

自動作動..... 301

アレルギーおよび喘息を誘発する物質.. 220

アンテナ

位置..... 276

アンビエントライト..... 188

い

イグニッション位置..... 410

イモビライザー..... 297

インストルメントの概要

左ハンドル車..... 128

右ハンドル車..... 129

インターネット、オンライン車両参照.. 494

インテグレートッドブースタークッショ
ン..... 123

下げる..... 124

跳ね上げ..... 124

インテリア・エア・クオリティ・システム221

インテリセーフ

運転者サポート..... 29

インフォテイメントシステム (オーディ
オおよびメディア)..... 470

インフォメーション・ディスプレイ.... 131

インフレーターバルブカーテン..... 109

う

ウインタータイヤ..... 538

ウインド

サンブラインド..... 196

ウインドおよびガラス..... 33

ウインドスクリーン

投影画像..... 153

ヒーター..... 230

ウインドスクリーンウォッシャー..... 192

ウォッシャー

ウインドスクリーン..... 192

ウォッシャー液、補充..... 568

リアウインド..... 193

ウォッシャー液..... 568

ウォッシャーノズル、ヒーター..... 192

え

エアクオリティ..... 219, 221

アレルギーおよびぜん息..... 220

クリーンエアフィルター..... 220

エアコン..... 225

エアコンディショナー.....	218, 221, 225
温度コントロール.....	226
自動調節.....	224
センサー.....	218
センターディスプレイ.....	222
ゾーン.....	218
体感温度.....	219
パーキング.....	242
ファンコントロール.....	228
ボイスコントロール.....	159
リアシート.....	224
エアコンディショナー、自動調節.....	224
エアコンディショナー、フルード	
容量およびグレード.....	607
エアコンディショナーシステム... 218, 221	
修理.....	559
エアディストリビューション.....	233
オプション表.....	236
空気吹出口.....	233, 235
デフロスト.....	230
変更.....	234
リサーキュレーション.....	232
エアバッグ.....	104
運転席側.....	104
作動/非作動.....	106
助手席側.....	104, 106
エアバッグ、エアバッグ参照.....	104
エアリサーキュレーション.....	232

エクストラヒーター（補助ヒーター）... 252	
エタノール含有量	
体積に対し 10 %以下.....	443
エラーメッセージ	
アダプティブクルーズコントロール.....	338
メッセージおよびシンボル参照.....	338
レーン・デパーチャー・ウォーニング381	
エンジン	
オーバーヒート.....	438
解除する.....	413
始動.....	411
エンジン・ドラッグ・コントロール... 310	
エンジンオイル.....	556, 605
過酷な走行条件.....	605
グレードおよび容量.....	604
フィルター.....	556
エンジンオイル、注入.....	557
エンジンオイルレベルの点検.....	557
エンジン高温.....	438
エンジンの始動.....	411
エンジンの仕様.....	603
エンジンブレーキ、自動.....	436
エンジンルーム	
エンジンオイル.....	556
概要.....	554
クーラント.....	558
エンジンをオフにする.....	413

エンジンを停止する.....	413
----------------	-----

お

オイル、エンジンオイルも参照... 604, 605	
オイルレベルゲージ.....	557
オイルレベル低下.....	557
応急手当.....	541
オーナーズインフォメーション(オーナー様への情報).....	14
オーディオおよびメディア.....	470
オーディオ設定.....	470, 494
テキストメッセージ.....	492
電話.....	494
メディア.....	482
メディアを再生.....	476
オートブレーキ.....	434
衝突後.....	431
オートマチックトランスミッション... 416	
トレーラー.....	452
オートリロック機能.....	279
オートレバライザー.....	426
オーナーズマニュアル.....	19
エコラベル表示.....	33
センターディスプレイ内.....	15, 16
オーバーヒート.....	438, 452

オクタン値.....	443
温度	
コントロール.....	226
体感.....	219
オンライン車両.....	494
コネクテッド・サービス予約.....	545
サービスと修理の予約.....	545
車両を接続する.....	495
未接続/接続不良.....	498

か

カーゴスペース.....	262
固定ポイント.....	264
セーフティネット.....	268
電源ソケット.....	256
ライト.....	188
カーモデム	
車両をインターネットに接続する... 495	495
設定.....	499
外気温度計.....	139
外寸.....	599
快適環境維持機能	
オン/オフ.....	248
回転方向.....	517
各種計器および操作ボタン.....	128, 129
ガソリンのグレード.....	443

型式認定

タイヤ・プレッシャー・モニタリング	525
リモートコントロールキーシステム	303
レーダーシステム.....	352
カバー	
カーゴスペース.....	266
カメラセンサー.....	371
カメラセンサーの故障診断.....	356
カラーコード、塗装.....	592
カラーコード、ペイント.....	592
ガラス	

ラミネーテッド/強化.....	33
間欠ワイパー.....	190
冠水した道路.....	437

き

キー.....	274, 279
キーボード.....	50
ギヤシフトインジケーター.....	419
ギヤセレクターインヒビター.....	419
ギヤセレクターインヒビターの解除... 419	419
ギヤポジション	
オートマチックトランスミッション	416
救急用品キット.....	541

救急用品キット.....	541
三角警告板(停止表示板).....	540
給油.....	441
補充.....	441
緊急バンクリペアーキット.. 529, 530, 533	529, 530, 533
位置.....	529
概要.....	530
再点検.....	530
シーリングリキッド.....	529
対処.....	530
タイヤへの空気注入.....	533

く

クーラント.....	606
クーラント、注入.....	558
クーリングシステム	
オーバーヒート.....	438
駆動システム.....	421
曇り	
ヘッドライト内の凝結水.....	587
クリーン・ゾーン・インテリア・パッケー ジ.....	220
クリーンエアフィルター.....	220
クルーズコントロール.....	322, 323
一時的解除.....	324
解除する.....	326

速度の管理.....	323
車の鍵パッラー低下.....	294
グローブボックス.....	261

け

警告音

パーキングブレーキ.....	433
警告灯.....	137
アダプティブクルーズコントロール.....	326
エアバッグ - SRS.....	137
警告.....	137
シートベルトリマインダー.....	137
充電不良.....	137
スタビリティ&トラクション・コント ロール・システム.....	310
セーフティ.....	96
パーキングブレーキ作動.....	137
ブレーキシステムの不具合.....	137
メインバッテリーが充電されない.....	137
油圧低下.....	137
経済走行.....	444
携帯電話、電話を参照.....	489
けん引.....	454
けん引重量およびトウボール荷重.....	602
けん引フック.....	453

こ

小石などによる傷および引っかき傷592, 593	
交通情報.....	474
後部衝撃吸収リクライニング機構.....	97
後部衝撃吸収リクライニング機構付フロ ントシート.....	97
後部の下降.....	263
後部の上昇.....	263
コーナー・トラクション・コントロール	310
コントロールボックス.....	459
コンパス.....	199
校正.....	199

さ

サービスと修理の予約.....	545
サービスプログラム.....	544
サービスポジション.....	565
サイクリストの検知.....	369
最大ルーフ荷重.....	601
サイドエアバッグ.....	108
座席、シート参照.....	161

作動範囲

電気による走行中.....	608
サポート.....	18
三角警告板(停止表示板).....	540
サンバイザー.....	262
サンブラインド	
パノラマルーフ.....	200
リアドア.....	196

し

シート

後部衝撃吸収リクライニング機構.....	97
ヒーター.....	239
フロントパワーシート.....	162, 164
フロントマニュアルシート.....	161
ベンチレーション.....	240
メモリー機能フロントシート.....	163
リアシート.....	169
シートベルト.....	98
シートベルトテンショナー.....	99
シートベルトリマインダー.....	102
妊婦の方.....	96
バックル/バックル解除.....	100
シートベルト、シートベルト参照.....	98
シートベルトテンショナー.....	99
シートベルトリマインダー.....	102

シーリングリキッド.....	529
シガレットライター.....	260
システム	
アップデート.....	548
自動洗車機.....	587
自動速度リミッター.....	319
シミや汚れ.....	590
車間警告機能.....	363, 364
機能の限界.....	365
車間時間の設定.....	364
ジャッキ.....	540
車内内装.....	254
サンバイザー.....	262
シガレットライター.....	260
電源ソケット.....	256
トンネルコンソール.....	255
灰皿.....	261
車内ヒーター (パーキングヒーター).....	251
車両移動.....	455
車両機能	
センターディスプレイ内.....	48
車両重量.....	601
車両状態.....	544
車両総重量.....	601
車両通行帯ヘッドライト照射パターン.....	184

車両の状態	
タイヤ空気圧.....	521
車両を持ち上げる.....	551
ジャンプスタート.....	414
渋滞アシスタント.....	339
充電.....	459
充電の開始.....	460
充電の終了.....	463
ステータス.....	461
充電ケーブル.....	457
充電電流.....	456
収納スペース.....	254
グローブボックス.....	261
トンネルコンソール.....	255
重量	
車両重量.....	601
出力.....	603
電気モーター.....	603
衝突、衝突事故を参照.....	96
衝突警告システム.....	366
歩行者保護.....	369
レーダーセンサー.....	348
衝突事故.....	96, 98, 104, 110
照明スイッチ.....	179
触媒コンバーター	
けん引.....	454

助手席エアバッグ・カットオフ・スイッチ.....	106
シンボルおよびメッセージ	
アダプティブクルーズコントロール.....	338
オートブレーキ機能付衝突警告システム.....	374
センターディスプレイ・ステータスフィールド.....	46
パーキングエアコン.....	249
ハイブリッド関連.....	466
レーン・デパーチャー・ウォーニング.....	381
シンボルマーク	
表示灯.....	135

す

スキッド.....	440
スタビライザー	
トレーラー.....	452
スタビリティ・システム.....	310
スタビリティ&トラクション・コントロール・システム.....	310, 313
操作.....	311
スチールガードネット.....	270
スチールグリル.....	270
ステアリングフォースレベル、ステアリングフォース参照.....	310
ステアリングホイール.....	176, 177

キーパッド.....	176
ステアリングホイールの調節.....	177
パドル.....	176
ヒーター.....	241
ステアリングホイールのキーパッド....	176
ステアリングホイールの調節.....	177
ステアリングホイールのパドル.....	176
ステアリングホイールパドル.....	420
ステアリングホイールフォース、車速感 応式.....	310
ステアリングホイールロック.....	413
スピード違反取り締まりカメラ.....	361
スピンコントロール.....	310
スペアタイヤ.....	538
滑りやすい路面での運転.....	440
寸法.....	599
トーイングブラケット.....	449
せ	
<hr/>	
清掃	
シートベルト.....	591
自動洗車機.....	587
洗車.....	587
センターディスプレイ.....	591
内装.....	590

布製内装.....	590
ホイールリム.....	588
セーフティ.....	96
妊婦の方.....	96
セーフティモード.....	110
スタート/ムーブメント.....	111
設定.....	212
カテゴリー.....	213
システム設定.....	214
設定ビュー.....	212
リセット.....	215
設定の登録.....	216
センサー	
エアクオリティ.....	221
エアコンディショナー.....	218
洗車.....	587
センターディスプレイ	
エアコンディショナー.....	222
概要.....	34
ステータスバーのシンボル.....	46
清掃.....	591
設定変更.....	46
操作.....	37, 41
メッセージ.....	148
全輪駆動(AWD).....	427

そ

走行

ターニングシステム.....	438
トレーラーなどのけん引.....	450
走行距離.....	208
電気走行.....	445
走行中にご注意いただきたいこと.....	440
走行統計.....	211
走行特性の最適化.....	310, 422
速度記号、タイヤ.....	542
速度リミッター.....	315, 319
一時的解除.....	317
開始.....	316, 317
解除.....	318
側面衝撃吸収システム.....	108, 109

た

タイプの表示.....	596
タイヤ.....	516
圧力.....	518, 610
ウインタータイヤ.....	538
回転方向.....	517
仕様.....	610
タイヤプレッシャーモニタリング... ..	519
取り付け.....	537

取り外し.....	534
トレッド溝の深さ.....	538
トレッド磨耗インジケーター.....	517
パンク修理.....	529
保管.....	516
タイヤ空気圧表示ラベル.....	518
タイヤサイズ.....	534, 542
タイヤの空気を充填する.....	533
タイヤプレッシャーモニター	
解除する.....	519
調整.....	523
低タイヤ空気圧.....	522
タイヤモニタリング.....	519
高さ調整.....	426
脱着式トーイングブラケット.....	447
単位基準	
トリップコンピューター.....	209

ち

チャイルドシート.....	111, 112
アッパーマウンティングポイント... ..	114
インテグレートッドブースタークック ション.....	123
取付位置に関する表.....	116
ポジショニング/フィッティング... ..	112
ロアマウンティングポイント.....	115

i-Size/ISOFIX マウンティングポイ ント.....	118
i-Size 表.....	122
ISOFIX 表.....	119
チャイルドセーフティ.....	111
チャイルドロック.....	298
長期保管.....	464

つ

ツール.....	453, 539
----------	----------

て

ディスプレイ照度.....	179
ディスプレイのメッセージ.....	148
管理.....	149
保存済み.....	151
低速コントロール.....	435

データ

記録.....	22
車両とサービス工場間での転送.....	549
データリンクコネクター.....	23

テールゲート

パワーシート.....	289, 292
ロック/ロック解除.....	283, 285

デッドロック.....	282
解除.....	282
デフロスト.....	230
電気系統.....	569
電源ソケット.....	256
電動格納式ドアミラー.....	197
電動パーキングブレーキ.....	431
バッテリー電圧低下.....	433
電動パノラマルーフ.....	200
電動モーター	
仕様.....	603
テンポラリースペアタイヤ	
スペアタイヤ.....	538
電話.....	488
接続.....	489
通話.....	491
テキストメッセージ.....	492
ボイスコントロール.....	158

と

ドアミラー.....	196
自動防眩機能.....	197
リセット.....	197
ドアミラーのリセット.....	197
冬季の運転.....	440

トウバー	
折り畳み式.....	447
トレーシングブラケット.....	446, 447
仕様.....	449
時計、調節.....	140
塗装	
カラーコード.....	592
塗装面の損傷と補修.....	592, 593
ドライバー・アラート・コントロール..	375
操作.....	376
ドライバーディスプレイ	
アプリケーションメニュー.....	146
ハイブリッド関連情報.....	133
メッセージ.....	148
ドライバーパフォーマンス.....	211
ドライビングモード.....	422
ドライブトレイン	
トランスミッション.....	415
ドライブモード	
ドライバーディスプレイ内.....	133
トラクション・コントロール.....	310
トラブルシューティング	
アダプティブクルーズコントロール..	336
トランスミッション.....	415
オートマチック.....	416
トランスミッションオイル	
グレード.....	606

トリップコンピューター.....	208, 209, 211
トリップメーター、リセット.....	209
トリップメーター(走行距離計).....	208
トレーラー.....	452
ケーブル.....	450
蛇行.....	452
トレーラーなどのけん引.....	450, 452
トレーラー・スタビリティ・アシスト... 311,	452
トレーラーなどのけん引	
けん引重量.....	602
トウボール荷重.....	602
トレッド.....	517
トレッド溝の深さ.....	517, 538
トレッド磨耗インジケーター.....	517
トンネルコンソール.....	255
トンネルの検知.....	180

な

内装.....	590
---------	-----

に

二酸化炭素の排出.....	608
---------------	-----

日常の手入れ.....	587
レザー製内装.....	590
荷物固定用アイレット	
カーゴスペース.....	264
荷物の積み込み	
カーゴスペース.....	262
概要.....	262
長尺物.....	264
荷物固定用アイレット.....	264

ね

ネット

カーゴスペース.....	268
燃料蒸気.....	442
燃料タンク	
容量.....	607

は

パーキングエアコンディショナー.....	242
シンボルおよびメッセージ.....	249
パーキングヒーター.....	251
パーキングブレーキ.....	431, 432, 433
パークアシスト.....	383, 385, 387
機能.....	383, 385

パークアシスト・カメラ ...	388, 390, 393
設定.....	392
パークアシスト・パイロット.....	394
機能.....	394
機能の限界.....	399
シンボルおよびメッセージ.....	401
操作.....	396
パークアシスト・パイロット - PAP....	394
灰皿.....	261
ハイビーム.....	181
ハイブリッドバッテリー.....	572
充電.....	455
仕様.....	611
バイブレーションダンパー.....	446
バッグフック.....	265
バッグホルダー	265
バックレスト	
フロントシート、調節... 161, 162, 165	
リアシート、倒す.....	173, 175
リアシート、調節.....	172, 175
バッテリー.....	569
過負荷.....	439
警告灯.....	572
ジャンプスタート.....	414
ハイブリッド.....	572
バッテリーに表示されているシンボ ル.....	572

メイン.....	569
メンテナンス.....	569
バッテリー電圧低下	
バッテリー.....	439
パノラマルーフ	
開閉.....	201
サンブラインド.....	200
ベンチレーションポジション.....	203
バルブ、仕様.....	565
パワーウインド.....	194
リセット.....	195
パワーウインドのリセット.....	195
パワーシート.....	162, 164
パワーセーブモード.....	439
パワーテールゲート.....	289, 292
パンク.....	529
ハンドブレーキ.....	431, 432

ひ

ヒーター.....	250
ウインド.....	230
シート.....	239
ステアリングホイール.....	241
パーキングヒーター.....	251
補助ヒーター.....	252
ヒートッドウォッシュャーノズル.....	192

非常点滅灯.....	186
ビデオ.....	481, 482
設定.....	476
ヒューズ	
エンジンルーム内.....	575
カーゴスペース内.....	583
概要.....	573
グローブボックス下.....	579
交換.....	574
ヒューズボックス.....	573
表示灯.....	135
表示ラベル	596
ヒル・スタート・アシスト.....	434
ヒル・スタート・アシスト(HSA)....	434
ヒルディセントコントロール.....	436

ふ

ファン	
エアディストリビューション.....	234
空気吹出口.....	235
コントロール.....	228
フェリー輸送.....	426
フォグランプ	
リア.....	185
フットブレーキ.....	428, 430

フューエル.....	442, 443
燃費.....	608
プリコンディショニング.....	242
開始/停止.....	243
タイマー.....	245
フルード、容量.....	568, 606, 607
フルードおよびオイル.....	606, 607
ブレーキ.....	428
アダプティブブレーキランプ.....	430
アンチロックブレーキシステム、ABS.....	428
停車時のオートブレーキ.....	434
ハンドブレーキ.....	431, 432, 433
ブレーキアシストシステム、BAS.....	430
ブレーキシステム.....	427
ブレーキランプ.....	185
ブレーキアシスト	
衝突後.....	431
ブレーキ機能.....	427
ブレーキフルード	
グレード.....	606
ブレーキモード.....	416
ブレーキランプ.....	185
フロントシート	
エアコンディショナー.....	222
温度.....	226
ヒーター.....	239
ファン.....	228

ベンチレーション.....	240
フロントシート、パワー	
簡単な乗り降り.....	168
マッサージ.....	165
フロントシート、パワー.....	162, 164
シートの調節.....	162, 169
マルチファンクションコントロー	
ル.....	164, 165
メモリー機能.....	163
フロントシート、マニュアル.....	161
フロントワイパー.....	190
レインセンサー.....	191
へ	
ヘッドライト	
カバー.....	562
ヘッドライト光軸調整.....	179
ヘッドライト制御.....	178
ヘッドライト内の凝結水.....	587
ヘッドライトパターン、調整.....	184
ヘッドライトビーム	
車高調節.....	179
適応.....	184
ヘッドライトビームの適応.....	184
ヘッドレスト.....	170

ベンチレーション.....	233, 234, 235
シート.....	240

ほ

ホイール	
清掃.....	588
タイヤチェーン.....	538
取り付け.....	537
取り外し.....	534
ホイールおよびタイヤ	
タイヤロードインデックスおよび速	
度記号.....	542
ホイール交換.....	534
ホイールボルト.....	538
ロック可能.....	538
ホイールリム、寸法.....	541
ボイスコントロール.....	156
エアコンディショナー.....	159
設定.....	157
電話.....	158
マップナビゲーション.....	160
ラジオおよびメディア.....	158
方向指示器.....	186
防錆.....	590
ホームセーフライト点灯時間.....	189
ホーン.....	176

ポジションランプ	180
保守	
防錆	590
補助ヒーター	252
ボンネット、開ける	553

み

磨き	589
水たまりでの運転	437

め

メイクアップミラー	
ライト	188
メーター・パネルライト	179
メッセージおよびシンボル	
アダプティブクルーズコントロール	338
オートブレーキ機能付衝突警告シス	
テム	374
レーン・デパーチャー・ウォーニング	381
メディアプレーヤー	475
対応するファイルフォーマット	487
ボイスコントロール	158

も

モニタリングシステム	
タイヤ空気圧	519
モバイル対応オーナーズマニュアル	18

ら

ライセンス契約	502
ライト	
アクティブハイビーム	181
アクティブベンディングライト	184
アプローチライト	190
コントロール	178, 187
自動点灯機能、車内	187
車内	187
照明スイッチ	179
ディスプレイ照度	179
ハイビーム	181
バルブ、仕様	565
ヘッドライト光軸補正	179
ホームセーフライト	189
ポジションランプ	180
メーター・パネルライト	179
リアフォグランプ	185
ロービーム	180
ラゲッジカバー	266
ラジオ	471

設定	474
ボイスコントロール	158
ラジオ放送局の変更および検索	472
ラベル	596
ラミネーテッドガラス	33
ランプ	560
ランプ、バルブ交換	560
ハイビーム	563
フロント方向指示器	564
ポジションランプ	564
ロービーム	562

り

リアウインド	
ウオッシュャー	193
ヒーター	230
ワイパー	193
リアシート	169
エアコンディショナー	222, 224
温度	226
乗車/降車	175
前後位置の調節	171
バックレストの傾き調節	172
バックレストを倒す	173, 175
ヒーター	239
ファン	228
ヘッドレスト	170

リアドア	
サンブラインド.....	196
リセット、トリップメーター.....	209
リフティングツール.....	540
リモートアップデート.....	548
リモートコントロール、HomeLink®	
プログラム可能.....	205
リモートコントロールイモビライザー..	297
リモートコントロールキー.....	274, 279
作動範囲.....	276
損失.....	274
脱着式キーブレード.....	287
電池の交換.....	294
リモートコントロールキーシステム、型	
式認定.....	303

る

ルーフ荷重、最大重量.....	601
ルームミラー.....	198
自動防眩機能.....	198
ルームミラー/ドアミラー	
インテリア.....	198
コンパス.....	199
電動格納式.....	197
ドア.....	196
ヒーター.....	230

ルームランプ.....	187
オートマチック.....	187

れ

冷媒.....	559
レインセンサー.....	191
レーダーセンサー.....	326
機能の限界.....	349
レーン・キーピング・エイド	
操作.....	379, 380
レーン・キーピング・エイド - LKA..	377, 380, 381
レーン・デパーチャー・ウォーニング	
- LDW.....	377, 379, 381
レザー製内装、清掃方法.....	590

ろ

漏電遮断器.....	458
ロード・サイン・インフォメーション..	359
機能の限界.....	363
操作.....	359, 361, 362
ロードインデックス.....	542
ロービーム.....	180

ロール・スタビリティ・コントロール..	315
ロック	
ロック.....	277, 281
ロック解除.....	277, 281
ロック/ロック解除	
テールゲート.....	283, 285
ロック解除	
キーブレード付き.....	288
車外から.....	277
ロック確認.....	279
ロックホイールボルト.....	538

わ

ワイパー/ウォッシャー.....	190
ワイパーブレード	
交換.....	567
サービスポジション.....	565
ワックスがけ.....	589

A

A/C (エアコン).....	225
ABS	
アンチロックブレーキ.....	428

ACC(アダプティブクルーズコントロー
ル)..... 326, 335
Apple CarPlay..... 484
AUX
 メディア接続用ジャック..... 481
AWD(全輪駆動)..... 427

B

BLIS(ブラインド・スポット・インフォ
メーション・システム)..... 402, 403, 404
BLISのエラーメッセージ..... 408
BLISのメッセージ..... 408
Bluetooth
 車両をインターネットに接続する... 495
 接続..... 480
 設定..... 497
 電話..... 488

C

CD プレーヤー..... 480
City Safety™.... 366, 368, 369, 370,
 371, 374
CO₂ エミッション..... 608

CTA..... 404, 405, 406
CZIP (クリーン・ゾーン・インテリア・
パッケージ)..... 220

D

Drive-E
 環境理念..... 26

E

ECO プレッシュャー..... 518

F

FSC、環境ラベル..... 33

G

Gracenote®..... 478
GSI(ギヤセクターレバアシスタン
ス)..... 419

H

HDC..... 436
HomeLink®..... 205

I

IAQS (インテリア・エア・クオリティ・
システム)..... 221
IC (インフレーターブルカーテン)..... 109
iPod®、接続..... 481

L

LDW - Lane Departure Warning... 377,
 379, 381
LKA - Lane Keeping Aid... 377, 380, 381

M

Metric、Imperial、US..... 139

P

PACOS (助手席エアバッグ・カットオフ・スイッチ).....	106
PAP(パークアシスト・パイロット).....	394
Pilot Assist.....	339, 342
PIN コード.....	499

R

RSC (ロール・スタビリティ・コントロール).....	315
------------------------------	-----

S

Sensus	
接続およびエンターテイメント.....	30
SIM カード.....	499
SIPS (側面衝撃吸収システム)....	108, 109

T

TPMS(タイヤ・プレッシャー・モニタリング).....	519, 521, 523
TSA(トレーラー・スタビリティ・アシスト)	311, 452

TV.....	483, 484
---------	----------

Twin Engine

概要.....	55
シンボルおよびメッセージ.....	466

U

USB

車両をインターネットに接続する... 495
メディア接続用ジャック..... 481

V

Volvo ID.....	24
---------------	----

W

WHIPS (後部衝撃吸収リクライニング機構付フロントシート).....	97
--------------------------------------	----

Wi-Fi

インターネット接続を共有、ホットスポット.....	497
車両をインターネットに接続する... 495	
テクノロジーおよびセキュリティ... 499	
ネットワークを削除.....	498

